



garmit

オペレーションマニュアル

株式会社デンソー

目次

目的別	12
1 ログインする	12
2 モニタリングの準備	13
2.1 メニュー選択	13
2.2 所属を登録・編集する	16
2.3 ログインユーザーを登録・編集する	35
2.4 監視ポイントを登録・編集する	42
2.5 管理項目を編集する	62
2.6 電源系統を登録・編集する	70
2.7 ポイントをグルーピングする	82
2.8 電気錠設定を登録する	87
3 モニタリング	94
3.1 アラーム発生状況を確認する	94
3.2 閾値を変更する	106
3.3 温度分布でモニタリングする	110
3.4 リアルタイムの計測値を確認する	111
3.5 トレンドグラフで計測値を確認する	118
4 アセット情報を管理する	124
4.1 ラック情報を登録する	124
4.2 ラック情報を削除する	131
4.3 ラックのアラーム発生状況を確認する	132
4.4 ユニット情報を登録する	136
4.5 ユニット情報を削除する	143
4.6 同一ユニットに複数ユニット登録する	144
4.7 表示ユニット画像を変更する	146
4.8 ユニット画像を登録する	148
4.9 ユニット種別を追加・削除する	150
4.10 ユニットのアラーム発生状況を確認する	152
4.11 テンプレート登録する	153
4.12 テンプレートを利用する	154
4.13 ユニットを移動する	155

4.14	ラック・ユニット情報をまとめて登録する.....	158
5	ラック電気錠を操作する	160
5.1	電気錠の状態を確認する	160
5.2	電気錠の施錠/開錠操作をする.....	163
5.3	電気錠操作履歴を確認する.....	166
6	接続情報を確認する	169
6.1	ネットワーク接続情報を確認する	169
6.2	電源接続状況を確認する.....	178
7	データを出力する.....	181
7.1	アセットレポートを出力する.....	181
7.2	データレポートを出力する.....	189
7.3	スケジューリングしてレポートを出力する.....	194
8	帳票出力する	198
8.1	ラック・ユニット帳票を出力する	198
8.2	電気錠ログを帳票出力する.....	201
8.3	計測データを帳票出力する	204
9	データをまとめて登録する	207
9.1	ポイント情報をインポートする	208
9.2	ラック情報をインポートする.....	211
9.3	ユニット情報をインポートする	217
10	回線情報を管理する	222
10.1	配線盤情報を登録する.....	222
10.2	案件情報を登録する.....	228
10.3	回線情報を編集する.....	233

画面詳細	239
1 ログイン	239
2 ダッシュボード	241
3 フロアマップ	243
3.1 フロアマップ	243
3.2 アラーム表示	248
3.3 温度分布	250
3.4 分電盤表示	252
3.5 ラック詳細	254
3.6 ポイント詳細	256
3.7 簡易トレンドグラフ	258
4 リアルタイムモニタ	261
5 トレンドグラフ	265
5.1 トレンドグラフ	265
5.2 グラフ設定	269
6 インシデントログ	271
6.1 インシデントログ	271
6.2 表示設定	276
7 バッテリー	278
8 電気錠マップ	281
8.1 電気錠マップ	281
8.2 開錠目的編集	287
9 キャパシティ/ラック	288
10 アセット/ラック	292
10.1 ラック（参照モード）	292
10.2 ラック（編集モード）	295
10.3 帳票出力確認	307
10.4 帳票履歴	308
10.5 帳票フォーマット	310
10.6 帳票フォーマット登録	312
11 アセット/ユニット	314
11.1 ユニット（参照モード）	314
11.2 ユニット（編集モード）	317
11.3 ユニット画像表示設定	331

11.4	画像選択.....	334
11.5	テンプレート選択.....	335
12	アセット/ユニット移動	337
13	アセット/テンプレート	340
14	操作/電気錠	342
14.1	電気錠操作.....	342
14.2	開錠対象選択.....	345
15	コンシьюマー	347
15.1	コンシьюマー一覧.....	347
15.2	コンシьюマー編集.....	350
16	回線管理/案件	352
16.1	案件一覧.....	352
16.2	案件編集.....	355
16.3	回線詳細.....	359
17	回線管理/回線	364
17.1	回線一覧.....	364
17.2	回線編集.....	367
17.3	ファイル一覧.....	369
17.4	ファイル選択.....	371
18	回線管理/配線盤	373
18.1	配線盤一覧.....	373
18.2	配線盤編集.....	376
18.3	親配線盤設定.....	379
18.4	配線盤系統表示.....	381
19	回線管理/スケジュール	383
20	回線管理/回線接続履歴	385
21	コネクション/ネットワーク	387
21.1	ネットワーク接続一覧.....	387
21.2	ネットワーク接続登録.....	389
21.3	ネットワーク接続経路表示.....	392
22	コネクション/電源	394
23	スケジュール/作業	396
23.1	作業スケジュール表示	396
23.2	スケジュール登録	398

24	スケジュール/レポート	401
24.1	レポートスケジュール一覧	401
24.2	レポートスケジュール編集	403
24.3	出力結果	407
25	ポイントメンテナンス	409
25.1	ポイント一覧	409
25.2	ポイント編集	412
25.3	演算ポイント編集	418
25.4	演算対象追加	422
25.5	メンテナススケジュール確認	424
25.6	デフォルト値適用	425
26	所属メンテナンス	426
26.1	所属一覧	426
26.2	所属編集	429
27	ユーチャーメンテナンス	434
27.1	ユーザー一覧	434
27.2	ユーザー編集	436
28	タグメンテナンス	438
28.1	タグメンテナンス（参照モード）	438
28.2	タグメンテナンス（編集モード）	440
28.3	ラック選択	443
28.4	ユニット選択	445
29	電源系統メンテナンス	447
29.1	電源系統メンテナンス（参照モード）	447
29.2	電源系統メンテナンス（編集モード）	450
29.3	電源系統計測ポイント編集	453
29.4	分岐電源編集	455
30	ラックメンテナンス	457
31	ユニットメンテナンス	460
32	ロケーションメンテナンス	463
33	機器メンテナンス	467
33.1	機器一覧	467
33.2	機器編集	469
34	グラフィックメンテナンス	472

34.1	グラフィックメンテナンス（参照モード）	472
34.2	グラフィックメンテナンス（編集モード）	474
35	画像メンテナンス	478
35.1	画像一覧.....	478
35.2	画像編集.....	480
35.3	ユニット種別編集	482
36	コンシユーマーメンテナンス	483
37	電気錠メンテナンス	486
37.1	電気錠設定一覧.....	486
37.2	電気錠設定編集.....	489
38	案件メンテナンス	492
39	回線メンテナンス	495
40	配線盤メンテナンス	498
41	インポート/エクスポート.....	501
41.1	ポイント.....	501
41.2	ラック.....	504
41.3	ユニット	507
41.4	項目選択.....	510
42	アセットレポート.....	512
43	データレポート.....	516
43.1	帳票出力確認	520
43.2	帳票フォーマット登録	521
44	オペレーションログ	523
45	電気錠ログ	525
46	メール設定	528
46.1	メール送信設定.....	528
46.2	メールテンプレート設定.....	531
46.3	メールテンプレート選択.....	533
46.4	メールプレビュー.....	534
47	デフォルト設定	535
48	サウンド設定	537
48.1	サウンド設定.....	537
48.2	サウンド選択.....	540
49	ダッシュボード設定	542

49.1	お知らせ設定	544
49.2	ナビゲーション設定	546
49.3	オペレーションログ設定	547
49.4	外部リンク設定	548
50	パスワード変更	549
51	アラームサイドバー	551
52	共通	555
52.1	検索条件	555
52.2	ロケーション選択	559
52.3	所属選択	563
52.4	タグ選択	568
52.5	電源系統選択	570
52.6	ユーザー選択	575
52.7	操作機能選択	577
52.8	操作種別選択	579
52.9	ポイント選択	580
52.10	レイアウト選択	582
52.11	工事種別選択	584
52.12	回線種別選択	585
52.13	配線盤種別選択	587
52.14	ケーブル種別選択	588
52.15	一覧表示	589

改版履歴

日付	改版内容
2018/11/01	初版 (garmit Ver.1.0)
2019/03/11	<p>第 2 版 (garmit Ver.1.1) バッテリー監視機能に関する画面および操作を追記</p> <p>■目的別 P.14 バッテリーメニュー追加 (表 1 garmit メニュー一覧) P.25 バッテリー機能追加 (表 2 操作権限レベル一覧) P.115 新規作成 (3.4.3 バッテリーモニタで確認する)</p> <p>■画面詳細 P.278 新規作成 (7 バッテリー) P.469 項目 (機器種別)、操作追記 (33.2 機器編集)</p>
2019/03/20	<p>第 3 版 (garmit Ver.1.2) レポートスケジュール機能に関する画面および操作を追記</p> <p>■目的別 P.14 スケジュール/レポートメニュー追加 (表 1 garmit メニュー一覧) P.25 レポートスケジュール追加 (表 2 操作権限レベル一覧) P.194 新規作成 (7.3 スケジューリングしてレポートを出力する)</p> <p>■画面詳細 P.271 項目 (レポートスケジュール) 追記 (6.1 インシデントログ) P.401 新規作成 (24.2 スケジュール/レポート) P.429 操作追記 (26.2 所属編集) P.551 項目 (レポートスケジュール)、操作追記 (51.1 アラームサイドバー)</p>
2019/09/25	第 4 版 P.9 URL 追加、アカウント情報に関する記述を修正
2019/12/23	<p>第 5 版 (garmit Ver.1.3) 電気錠機能に関する画面および操作を追記</p> <p>■目的別 p.14 電気錠マップ、操作/電気錠、メンテナンス/電気錠メニュー追加 (表 1 garmit メニュー一覧) P.25 電気錠マップ、電気錠操作、電気錠設定追加 ポイント編集項目追記 (表 2 操作権限レベル一覧) p.160 新規作成 (5.1 ラック電気錠を操作する)</p> <p>■画面詳細 P.271 項目 (電気錠マップ) 追記 (6.1 インシデントログ) p.281 新規作成 (8.1 電気錠マップ) p.342 新規作成 (14.1 操作/電気錠) p.412 項目 (ON 値、OFF 値)、操作追記 (25.2 ポイント編集) p.474 項目 (分割ラック) 追記 (34.2 グラフィックメンテナンス (編集モード)) p.486 新規作成 (37.1 電気錠メンテナンス) p.551 項目 (電気錠マップ)、操作追記 (51.1 アラームサイドバー)</p>
2020/06/12	<p>第 7 版 (garmit Ver.1.5) ラック帳票出力機能に関する画面および操作を追記</p> <p>■目的別 p.25 ラック、ユニットに帳票出力関連の項目を追記 (表 2 操作権限レベル一覧)</p> <p>■画面詳細 p.307 新規作成 (10.3 帳票出力確認) p.308 新規作成 (10.4 帳票履歴) p.310 新規作成 (10.5 帳票フォーマット) p.312 新規作成 (10.6 帳票フォーマット登録)</p>
	第 8 版 (garmit Ver.1.6)

2020/10/30	<p>回線管理機能に関する画面および操作を追記</p> <p>■目的別</p> <p>p.14 回線管理/案件、回線管理/回線、回線管理/配線盤、回線管理/スケジュール、回線管理/回線接続履歴、メンテナンス/案件、メンテナンス/回線、メンテナンス/配線盤メニュー追加 (表 1 garmit メニュー一覧)</p> <p>p.25 案件一覧、案件編集、回線一覧、回線編集、配線盤一覧、配線盤編集、案件スケジュール、回線接続履歴、案件メンテナンス、回線メンテナンス、配線盤メンテナンス追加 (表 2 操作権限レベル一覧)</p> <p>p.222 新規作成 (10回線情報を管理する)</p> <p>■画面詳細</p> <p>p.239 操作追記 (1ログイン)</p> <p>P.271 項目 (案件/回線/配線盤) 追記 (6.1インシデントログ)</p> <p>p.352 新規作成 (16回線管理/案件)</p> <p>p.364 新規作成 (17回線管理/回線)</p> <p>p.373 新規作成 (18回線管理/配線盤)</p> <p>p.383 新規作成 (19回線管理/スケジュール)</p> <p>p.385 新規作成 (20回線管理/回線接続履歴)</p> <p>p.436 項目 (パスワード有効期限) 追記 (27.2ユーザー編集)</p> <p>p.492 新規作成 (38案件メンテナンス)</p> <p>p.495 新規作成 (39回線メンテナンス)</p> <p>p.498 新規作成 (40配線盤メンテナンス)</p> <p>p.523 操作追記 (0 オペレーションログ)</p> <p>p.551 項目 (案件、回線、配線盤)、操作追記 (51アラームサイドバー)</p> <p>p.555 操作追記 (52.1検索条件)</p> <p>p.584 新規作成 (52.11工事種別選択)</p> <p>p.585 新規作成 (52.12回線種別選択)</p> <p>p.587 新規作成 (52.13配線盤種別選択) 配線盤種別選択</p> <p>p.588 新規作成 (52.14ケーブル種別選択)</p>
2020/11/30	<p>第 9 版 (garmit Ver.1.7) ダッシュボード機能に関する画面および操作を追記</p> <p>■画面詳細</p> <p>P.256 新規作成 (2ダッシュボード)</p> <p>P.580 新規作成 (49ダッシュボード設定)</p>
2021/01/31	<p>第 10 版 (garmit Ver.1.8)</p> <p>■目的別</p> <p>P.4 電気錠ログメニュー追加 (表 1 garmit メニュー一覧)</p> <p>P.24 電気錠ログ操作権限レベル追加 (表 2 操作権限レベル一覧)</p> <p>P.86 電気錠設定に関する記述を『2 モニタリングの準備』に移動、内容追記</p> <p>P.165 電気錠操作履歴に関する内容を追記 (『5.3 電気錠操作履歴を確認する』)</p> <p>P.197 帳票出力に関する内容を追加 (『8 帳票出力する』)</p> <p>■画面詳細</p> <p>P.510 帳票出力に関する内容を追加 (『43 データレポート』)</p> <p>P.519 新規作成 (『45 電気錠ログ』)</p>
2021/06/30	<p>第 11 版 (garmit Ver.1.9)</p> <p>■目的別</p> <p>P.89 電気錠設定 (鍵種別) に関する内容を追記</p> <p>P.163 必須項目に関する内容を追加</p> <p>P.281～P.283 必須項目に関する内容を追加</p> <p>P.282 物理錠に関する内容を追加</p> <p>P.344～P.345 必須項目に関する内容を追加</p> <p>P.486～P.487 物理錠に関する内容を追加</p>

2021/07/30

第 12 版 (garmit 1.10)

■目的別

P.199 ラック・ユニットの帳票フォーマット登録方法を追記

P.236 PDF ファイル参照方法追記

P.237～238 ファイルアップロード方法（ドラッグ & ドロップ）について追記

■画面詳細

P.312～P.313 ファイル選択方法（ドラッグ&ドロップ）を追記

P.356 入力文字数変更（100→1000）

P.358 案件保存時の備考文字数および確定保存時の備考文字数制限について追記

P.362 入力文字数変更（100→2000）

P.367 入力文字数変更（100→2000）

P.368 回線編集画面の備考初期表示、編集した備考の接続履歴非反映を追記

P.369～P.370 PDF ファイル参照方法追記

P.371～P.372 ファイル選択方法（ドラッグ & ドロップ）を追記

P.385 回線接続履歴の検索条件（局入線番/備考）を追記

P.385～P.386 回線接続履歴のメモ入力について追記

第 13 版 (garmit1.11)

■目的別

P.210 ポイントインポート時の注意事項を追記

目的別

1 ログインする

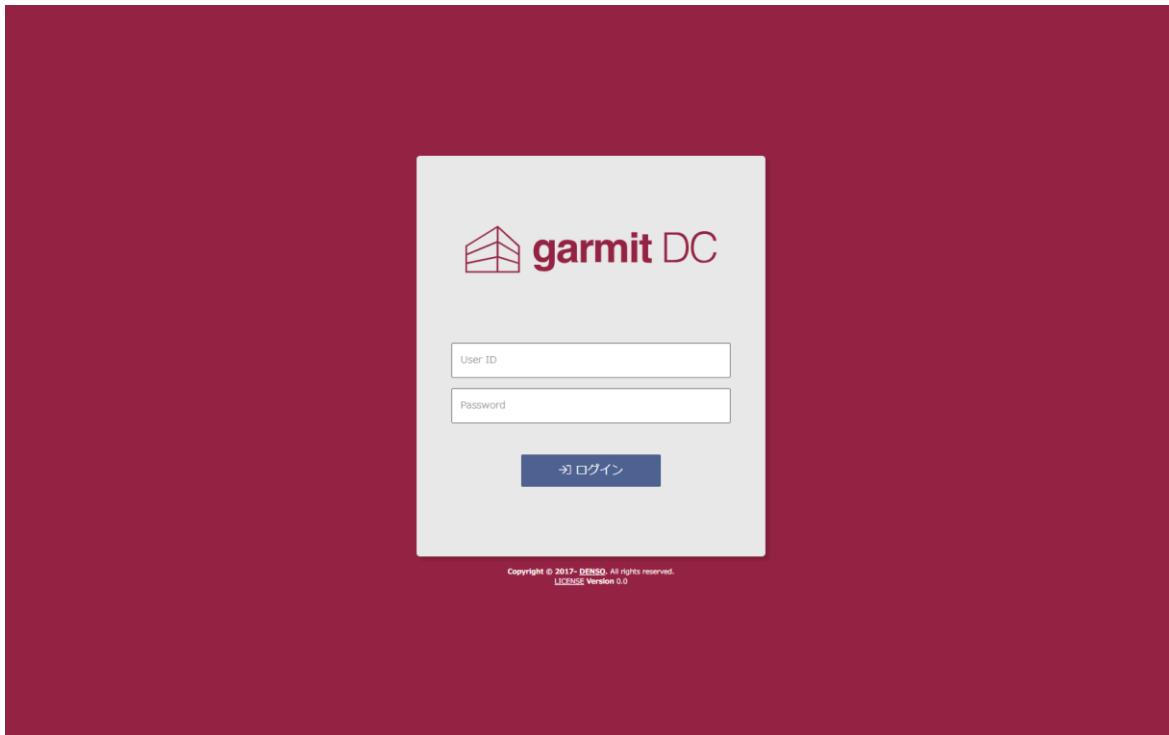


図 1 ログイン画面

ブラウザにて、garmitDC の URL を指定すると、[図 1](#) のような画面が表示されます。

User ID 欄には予め登録したユーザーID、Password 欄には予め登録したパスワードを入力します。

User ID および Password 入力後、「ログイン」ボタンをクリックします。

同一ユーザーでログインしますと、後からログインしたユーザーが有効となります。

※指定回数ログインに失敗すると、利用停止となり、ログイン不可となりますので、ご注意ください。

■garmit URL

http:// (WEB サーバーIP アドレス) (初期登録一覧に記載)

■初期登録アカウント

ユーザー名：システム管理者

ユーザーID： (初期登録一覧に記載)

パスワード： (初期登録一覧に記載)

2 モニタリングの準備

2.1 メニュー選択

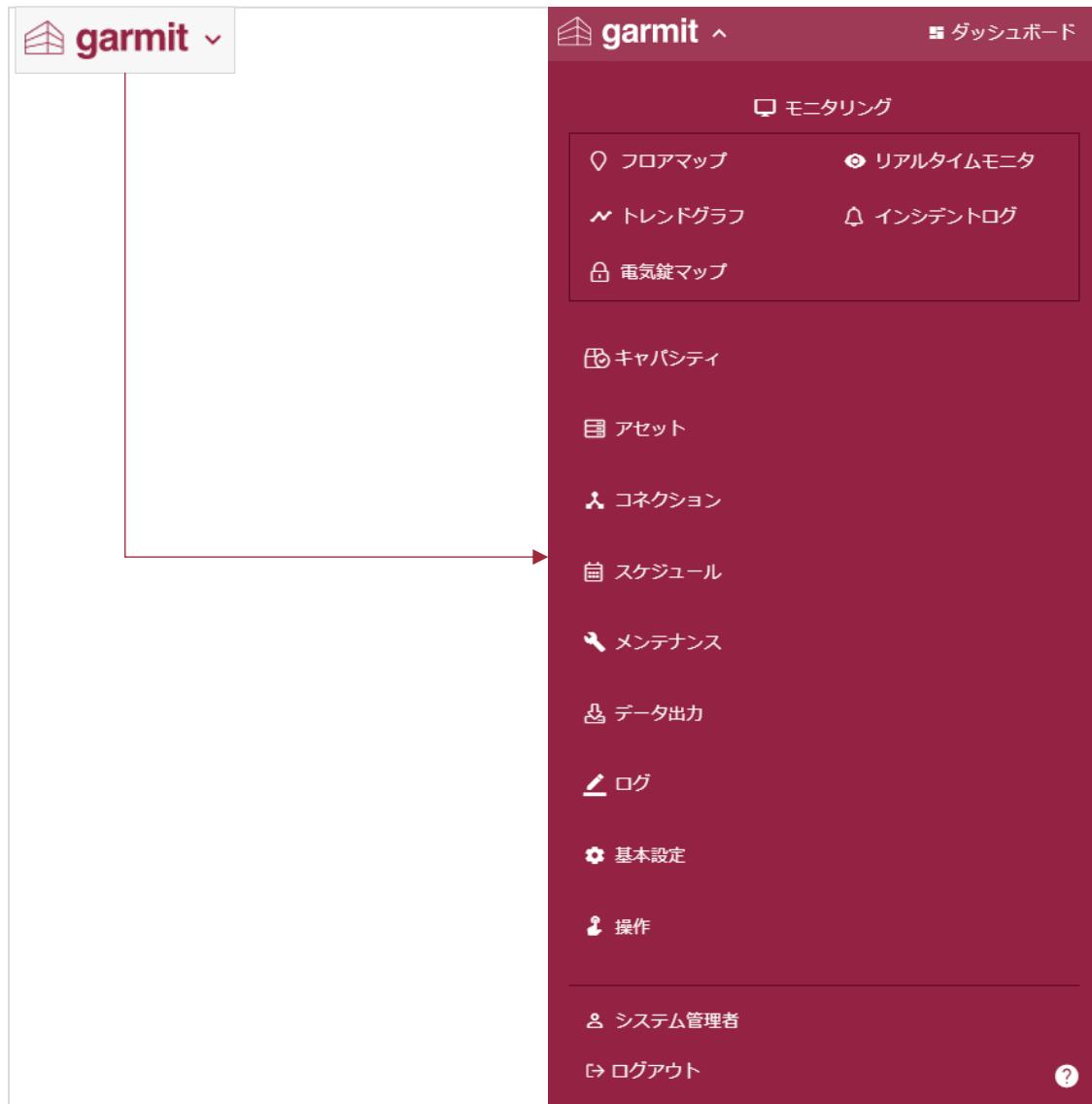


図 2 メニュー選択

画面左上のロゴマーク をクリックすると、メニュー一覧が表示されます。

一覧から、使用したいメニューを選択します。

注意!! 予め紐づけられた所属が参照可能なメニューのみ表示されます。

上図の場合は、全メニュー参照可能な場合に表示されるメニューです。

表1 garmit メニュー一覧

No.	メニュー（第1階層）	メニュー（第2階層）	備考
1	モニタリング	フロアマップ	
2		リアルタイムモニタ	
3		トレンドグラフ	
4		インシデントログ	
5		バッテリー	
6		電気錠マップ	
7	キャパシティ	ラック	
8	アセット	ラック	
9		ユニット	
10		ユニット移動	
11		テンプレート	
12	操作	電気錠	
13	コンシューマー		
14	回線管理	案件	
15		回線	
16		配線盤	
17		スケジュール	
18		回線接続履歴	
19	コネクション	ネットワーク	
20		電源	
21	スケジュール	作業	
22		レポート	
23		制御	
24	メンテナンス	ポイント	
25		所属	
26		ユーザー	
27		タグ	
28		電源系統	
29		ラック	
30		ユニット	
31		ロケーション	
32		機器	
33		グラフィック	
34		画像	
35		コンシューマー	
36		電気錠	

37		案件	
38		回線	
39		配線盤	
40	データ出力	インポート/エクスポート	
41		アセットレポート	
42		データレポート	
43	ログ	オペレーションログ	
44		電気錠ログ	
45	基本設定	メール設定	
46		デフォルト設定	
47		サウンド設定	
48		ダッシュボード設定	
49	パスワード変更		

2.2 所属を登録・編集する

garmit を利用するユーザーに紐づける所属情報を登録します。

導入時は、1種類だけ所属が登録されている状態です。

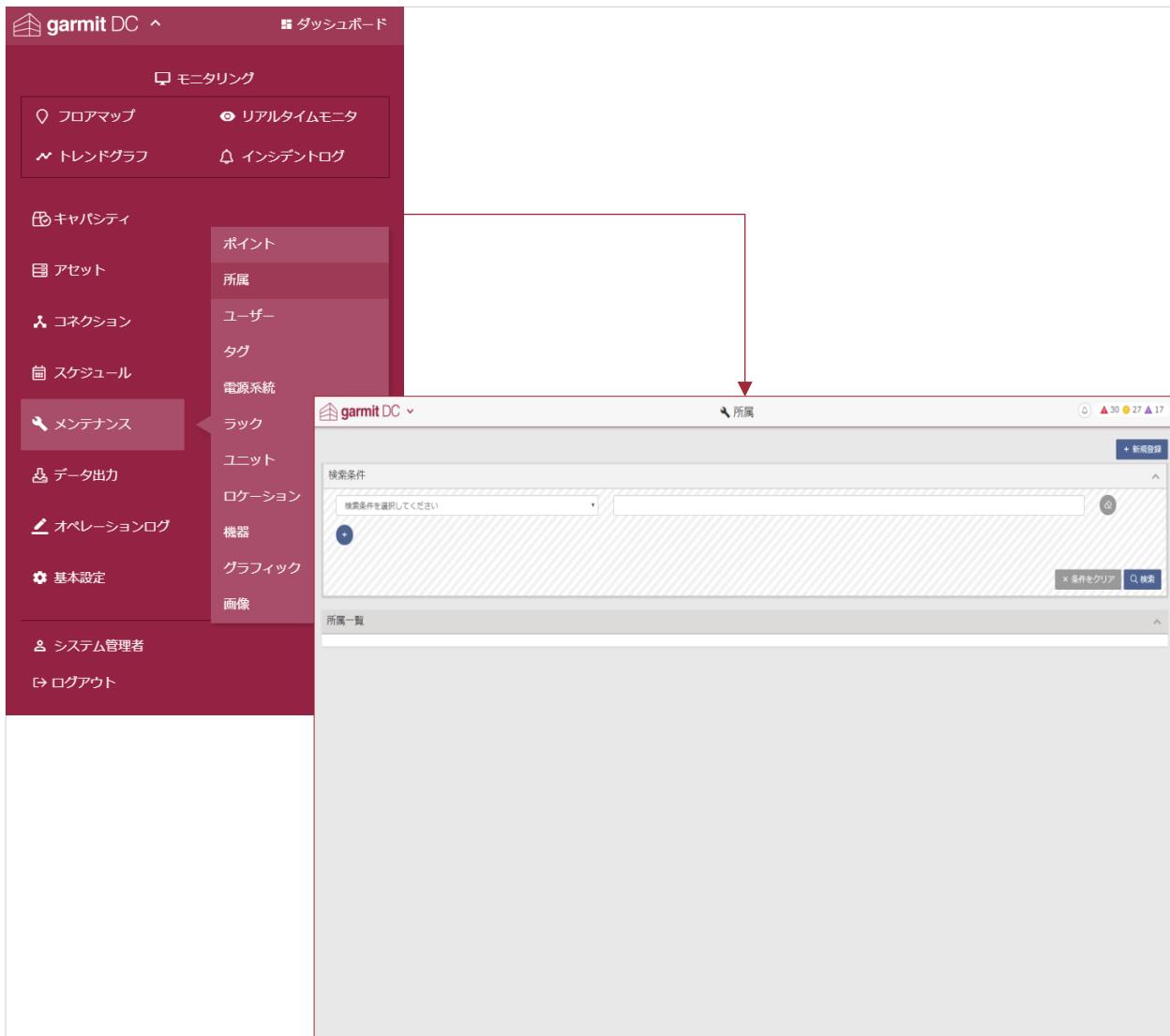


図 3 所属メンテナンス（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「メンテナンス」>「所属」を選択すると、所属画面（図 3）が表示されます。

2.2.1 所属情報を検索する

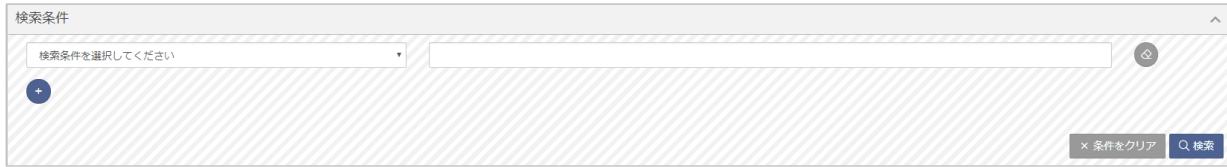


図 4 所属情報検索条件

(1) 検索条件を指定する

所属一覧画面にて、検索条件を指定します。

指定できる検索条件は、下記の通りです。検索条件を指定しない場合は、全件検索します。

検索条件	説明
所属	登録済みの所属から検索対象とする選択し、所属名が合致するものを検索する
ハッシュタグ	「#」+キーワードを入力し、コメントとして登録したキーワードから合致するものを検索する

(2) 検索条件を追加する

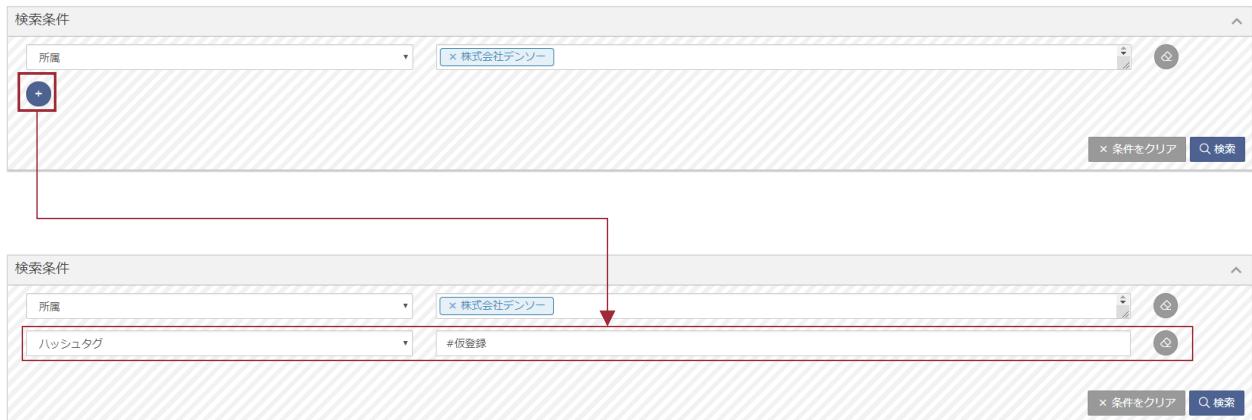


図 5 検索条件追加

検索条件を追加する場合には「+」ボタンをクリックすると、検索選択欄が追加表示されます（[図 5 参照](#)）。

同一検索条件で複数項目指定した場合は「OR 検索」、複数検索条件を指定した場合は「AND 検索」となります。

例 1) 検索条件 「所属」：「デンソー」、「デンソーソリューションズ」を選択して検索した場合

所属名が「デンソー」または「デンソーソリューションズ」である所属情報が表示されます。

例 2) 検索条件 「所属」：「デンソー」 / 検索条件 「ハッシュタグ」：「#仮登録」として検索した場合

所属名が「デンソー」と合致する 且つ ハッシュタグに「#仮登録」と登録してある所属情報が表示されます。

(3) 検索条件をすべてクリアする

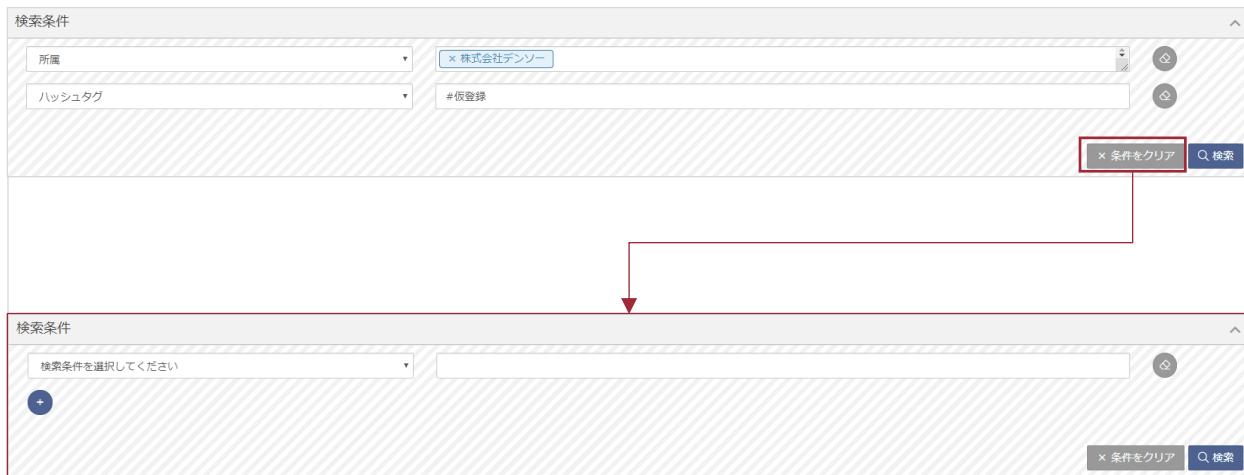


図 6 検索条件クリア

「条件をクリア」ボタンをクリックすると、すべての検索条件が解除され、初期状態表示となります。

検索条件毎のクリアボタン（）をクリックすると、該当する検索条件のみ解除します。

2.2.2 所属情報一覧を表示する

The screenshot shows the garmit DC application interface. At the top, there's a header with the garmit DC logo, a search bar labeled '所属', and various status indicators like '250 274 20'. Below the header is a search bar with placeholder text '検索条件を選択してください' and a '+' button. The main area is titled '所属一覧' (Department List). It features a table with columns: 所属ID (Department ID), 所属名 (Department Name), 許可クエーション名 (Authorization Name), メール送信タイミング (Email Timing), 條件レベル (Condition Level), 観測局名 (Observation Station Name), 上限ユーザー数 (Max User Count), データ登録開始日時 (Data Registration Start Date), and コメント (Comment). There are 25 entries listed, each with a small icon and a '編集' (Edit) button. The table has a header row with filters and sorting options. At the bottom left, it says '20 件中 1 から 10 までを表示' (Showing 1 to 10 of 20 items). On the right, there are buttons for '表示設定' (Display Settings) and 'レポート出力' (Report Output).

図 7 所属一覧表示

検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、検索結果が所属一覧として表示されます（[図 7](#)）。

検索直後は、所属 ID の昇順で表示されます。

検索条件に該当するデータがない場合には、その旨メッセージが表示されます。

一覧表示中に「レポート出力」ボタンをクリックすると、表示した全データが CSV ファイルに出力されます。

表示データが複数ページにわたる場合には、表示中のページ以外のデータも全て出力対象となります。

※ログインユーザーが紐づいている所属については編集不可であるため、一覧に表示されません。

(1) 所属一覧並べ替え

例) 所属 ID の昇順から降順に並べ替える場合

所属ID	所属名称	許可レーション名	メール送信タイミング	権限レベル	親所属名称	上限ユーザー数	データ参照開始日時	コメント
1	株式会社デンソー	東京第一センター...	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	150	2018/11/01	
2	株式会社デンソーソリューションズ	東京第一センター A棟 1階...	発生時/復旧時	システム管理者	株式会社デンソー	30	2018/11/15	
5	株式会社浜本製作所...	東京第一センター...	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	50		
7	株式会社ハマモトソリューションズ...		発生時/復旧時	システム管理者	株式会社浜本製作所...	20		
8	株式会社木村電子工業...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	30		
9	株式会社木村ネットワークス...		発生時/復旧時	システム管理者	株式会社木村電子工業...	10		
10	株式会社みやたま	東京第一センター A棟 1階 3列	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	80		
11	環境監視チーム	東京第一センター A棟 1階 3列	送信しない	運用管理者	株式会社みやたま	25		
12	環境監視＆アセット管理チーム		発生時/復旧時	運用管理者	株式会社みやたま	25		
13	オペレーター		発生時/復旧時	運用者	環境監視＆アセット管理チーム	10		

所属ID	所属名称	許可レーション名	メール送信タイミング	権限レベル	親所属名称	上限ユーザー数	データ参照開始日時	コメント
1018	技術グループ	東京第一センター...	送信しない	システム管理者	株式会社デンソー	10	2018/11/01	
1015	所属テスト2-3-1	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101...	送信しない	参照	所属テスト2-3	0	2018/10/11	
1014	所属テスト2-3	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101...	送信しない	システム管理者	所属テスト2	0	2018/10/11	
1013	所属テスト1-3	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101...	送信しない	参照	所属テスト	0	2018/10/11	
1012	所属テスト2-1	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101...	送信しない	運用者	所属テスト2	20	2018/10/11	
1011	所属テスト1-2	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101...	送信しない	システム管理者	所属テスト	6	2018/10/11	
1010	所属テスト2-2	東京第一センター A棟 2階 1列 TYO1A10101...	送信しない	システム管理者	所属テスト2	10	2018/10/11	
1009	子会社1-1	東京第一センター A棟 2階 2列 TYO1A2202	送信しない	システム管理者	子会社テスト1	5	2018/10/11	
1008	テスト2	東京第一センター A棟 2階 1列 TYO1A10101	送信しない	システム管理者	株式会社デンソーソリューションズ	1	2018/10/10	
1007	テスト	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101	送信しない	システム管理者	株式会社デンソーソリューションズ	1	2018/10/10	

図 8 所属一覧並べ替え

一覧に表示中の所属情報について、項目毎に昇順/降順で並べ替えることができます。

上図の例では、所属 ID 每を昇順→降順に並べ替えていますが、他の項目も同様に並べ替えができます。

並べ替え対象は、検索結果の全データ（現在のページに表示されていないものも含む）です。

(2) 所属一覧絞り込み

所属一覧では、所属情報の並べ替え、項目ごとのキーワード検索（絞り込み）ができます。

The screenshot shows two instances of the 'Employee List' search interface. In the top instance, a red box highlights the '所属名称' (Department Name) column, and a callout box states: '項目毎にキーワードを入力すると、入力したキーワードを含む情報のみ絞り込んで表示されます' (When you enter a keyword for each item, only information containing the entered keyword will be filtered and displayed). In the bottom instance, a red box highlights the '所属名称' input field, which contains the text 'デンソー'. A red arrow points from this input field to the corresponding row in the search results, where both rows for '株式会社デンソー' and '株式会社デンソーソリューションズ' are highlighted.

所属ID	所属名称	許可レーション名	メール送信タイミング	権限レベル	親所属名称	上限ユーザー数	データ参照開始日時	コメント
1	株式会社デンソー	東京第一センター...	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	150	2018/11/01	
2	株式会社デンソーソリューションズ	東京第一センター A棟 1階...	発生時/復旧時	システム管理者	株式会社デンソー	30	2018/11/15	
5	株式会社浜製作所...	東京第一センター...	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	50		
7	株式会社ハマモトソリューションズ...		発生時/復旧時	システム管理者	株式会社浜製作所...	20		
8	株式会社木村電子工業...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	30		
9	株式会社木村ネットワークス...		発生時/復旧時	システム管理者	株式会社木村電子工業...	10		
10	株式会社みやたま	東京第一センター A棟 1階 3列	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	80		
11	環境監視チーム	東京第一センター A棟 1階 3列	送信しない	運用管理者	株式会社みやたま	25		
12	環境監視＆アセッテ管理チーム		発生時/復旧時	運用管理者	株式会社みやたま	25		
13	オペレーター		発生時/復旧時	運用者	環境監視＆アセッテ管理チーム	10		

137 件中 1 から 10 までを表示

所属ID	所属名称	許可レーション名	メール送信タイミング	権限レベル	親所属名称	上限ユーザー数	データ参照開始日時	コメント
1	デンソー							
2	株式会社デンソーソリューションズ							

2 件中 1 から 2 までを表示

図9 所属一覧キーワード検索（絞り込み）

(3) 表示設定

一覧に表示する項目の指定も可能です。

表示設定

表示項目	表示項目
① 所属ID	
② 所属名	
③ 許可クエーション名	
④ メール送信タイミング	
⑤ 権限レベル	
⑥ 総括名	
⑦ 上層ユーザー数	
⑧ データ登録開始日時	
⑨ コメント	

所属一覧

所属ID	所属名	許可クエーション名	メール送信タイミング	権限レベル	総括名	上層ユーザー数	データ登録開始日時	コメント
1	株式会社デンソー	東京第一センター...	発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	150	2018/11/01	
5	株式会社日本製作所...	東京第一センター...	発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	50		
8	株式会社木村電子工業...		発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	30		
10	株式会社みやたま	東京第一センター A棟 3階	発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	80		#みやたま
15	株式会社オームコンピューター...		発生時/毎日時	運用管理者	システム管理	30		
16	株式会社まえだテクロジーズ...	東京第一センター A棟 4階	発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	40		#まえだ
19	いのうえエレクトロニクス株式会社...		発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	30		
20	株式会社久保ネットシステムズ...		発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	30		
24	株式会社久保ネットシステムズ...		発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	10		
25	福田電機株式会社...		発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	10		

図 10 所属一覧表示設定（全項目表示）

表示設定

表示項目	表示項目
④ データ登録開始日時	
⑨ コメント	
① 所属ID	
② 所属名	
③ 許可クエーション名	
④ メール送信タイミング	
⑤ 権限レベル	
⑥ 総括名	
⑦ 上層ユーザー数	

所属一覧

所属ID	所属名	許可クエーション名	メール送信タイミング	権限レベル	総括名	上層ユーザー数
1	株式会社デンソー	東京第一センター...	発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	150
5	株式会社日本製作所...	東京第一センター...	発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	50
8	株式会社木村電子工業...		発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	30
10	株式会社みやたま	東京第一センター A棟 3階	発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	80
15	株式会社オームコンピューター...		発生時/毎日時	運用管理者	システム管理	30
16	株式会社まえだテクロジーズ...	東京第一センター A棟 4階	発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	40
19	いのうえエレクトロニクス株式会社...		発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	30
20	株式会社久保ネットシステムズ...		発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	30
24	株式会社久保ネットシステムズ...		発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	10
25	福田電機株式会社...		発生時/毎日時	システム管理者	システム管理	10

図 11 所属一覧表示設定（非表示項目あり）

【参考】表示設定変更方法

一覧に表示する項目を変更するには、表示設定画面で表示項目と非表示項目をドラッグ & ドロップで移動します。

例) 「データ参照開始日時」、「コメント」を表示項目とする場合



図 12 表示項目変更方法

一覧に表示する項目の表示順序を変更するには、表示項目を上下にドラッグ & ドロップで移動します。

例) 「コメント」を「上限ユーザー数」の前に表示順序を変更する場合



図 13 表示順序変更方法

2.2.3 所属情報を新規登録する

The screenshot shows the 'New Registration' screen for 'Organization Collection' in the garmit DC application. The interface is in Japanese. Key visible fields include:

- 所属ID (編集不可)**: (Not Editable)
- 親所属***: 株式会社デンソー
- 権限レベル***: 選択してください (Must be selected) - A dropdown menu is open.
- メール送信タイミング***: 発生時, 復旧時, 続続時
- メール送信先**: (Email address input field)
- 所属名称***: (必選項目です) - Required field.
- 子所属 (編集不可)**: (Not Editable)
- 上限ユーザー数***: 0
- データ参照開始日***: 2019/03/19
- メール送信対象アラーム***: A large list of alarm types with radio button options for sending emails (送信する) or not (送信しない). Some examples include: 上限異常, 下限異常, 上限注意, 下限注意, ごじ開け, 開閉超過, 期限超過, 期間超過前, 荷重制限超過, 荷重制限超過前, スリープ機器異常, 通信異常, ファイルDL異常, メール送信異常, データ収集異常 (バック), データ収集異常 (傾斜), データ収集異常 (集計), レポート出力異常.
- コメント**: (Text area)
- ロケーション***: (必選項目です) - Required field.
- アクセスレベル***: モニタリング>フロアマップ, モニタリング>リアルタイムモニタ - Radio buttons for: 編集可, 讀取専用, 非表示.
- 所属ユーザー (編集不可)**: (Not Editable)

図 14 所属編集画面（新規登録）

所属画面（[図 7](#)）で、「新規登録」ボタンをクリックすると、所属編集画面（[図 14](#)）が表示されます。

所属名称、上限ユーザー数、権限レベル、メール送信タイミング参照可能なロケーション、利用可能な機能などを選択し、「保存」ボタンをクリックします。

保存結果が表示され、「OK」をクリックすると所属一覧が表示されます。

所属編集画面で、「キャンセル」ボタンをクリックすると、所属編集画面が消去され、一覧画面が表示されます。

項目名に「*」がついているものは、入力必須項目です。

(1) 権限レベル

権限レベルは、アクセスレベルが「編集可」とされている機能について、さらに権限を設定することができます。

設定可能な権限レベルは、「システム管理者/運用管理者/運用者/参照」の4種類です。

操作権限については、「[表 2 操作権限レベル一覧](#)」をご参照ください。

表2 操作権限レベル一覧

No.	画面名	項目名	パネル	権限レベル			
				システム管理者	運用管理者	運用者	参照
1	フロアマップ	閾値	ポイント詳細	○	○		
2		不感時間		○	○		
3	リアルタイムモニタ	閾値	ポイント詳細	○	○		
4		不感時間		○	○		
5	トレンドグラフ	グラフ設定（スケール）	検索結果	○	○	○	○
6		グラフ設定（メモリ）		○	○	○	○
7		グラフ設定（表示色）		○	○	○	○
8	インシデントログ	閾値	ポイント詳細	○	○		
9		不感時間		○	○		
10		アラーム確認	発生中アラーム	○	○	○	
11		アラーム削除		○	○		
12		レポート出力		○	○	○	○
13		表示設定		○	○	○	○
14	バッテリー	閾値	ポイント詳細	○	○		
15		不感時間		○	○		
16		手動再測定		○	○	○	
17	電気錠マップ	開錠		○	○	○	
18		施錠		○	○	○	
19		開錠目的		○	○	○	
20		詳細項目		○	○	○	
21		メモ		○	○	○	
22	ラック	ユニット数	ラック概要	○	○	○	
23		ラック種別		○	○	○	
24		ラック状況		○	○	○	
25		ラック重量		○	○	○	
26		耐荷重		○	○	○	
27		コメント		○	○	○	○
28		ラック詳細各項目	ラック詳細	○	○	○	
29		電源名称	電源設定	○	○		
30		インレット形状		○	○		
31		アウトレット数		○	○		
32		定格電流		○	○		
33		定格電圧		○	○		
34		ブレーカー割当		○	○		
35		閾値		○	○		
36		電源ポート		○	○		
37		コメント		○	○	○	○
38		リンク設定	リンク設定	○	○	○	
39		新規作成	ラック概要	○	○		
40		削除	ラック概要	○	○		
41		テンプレートへ追加	ラック概要	○	○	○	
42		出力	帳票出力	○	○	○	○
43		ダウンロード	帳票履歴	○	○	○	○
44		削除		○	○		
45		追加	帳票フォーマット	○	○		
46		削除		○	○		
47	ユニット	表示変更	ユニット概要	○	○	○	

48		ユニット No		○	○	○	
49		種別		○	○	○	
50		ステータス		○	○	○	
51		名称		○	○	○	
52		文字色		○	○	○	
53		背景色		○	○	○	
54		フォントサイズ		○	○	○	
55		画像		○	○	○	
56		搭載位置		○	○	○	
57		占有ユニット数		○	○	○	
58		重量		○	○	○	
59		定格電力		○	○	○	
60		ラック電源		○	○	○	
61		コメント		○	○	○	○
62		ユニット詳細各項目	ユニット詳細	○	○	○	
63		ラック電源	電源設定	○	○	○	
64		ポート番号		○	○	○	
65		消費電力		○	○	○	
66		補正值		○	○	○	
67		電力値		○	○	○	
68		リンク設定		○	○	○	
69		ネットワーク設定	ネットワーク設定	○	○	○	
70		追加	ユニット概要	○	○	○	
71		削除	ユニット概要	○	○	○	
72		テンプレートへ追加	ユニット概要	○	○	○	
73		出力	帳票出力	○	○	○	○
74		ダウンロード	帳票履歴	○	○	○	○
75		削除		○	○		
76		追加		○	○		
77		削除		○	○		
78	ユニット移動	全般		○	○	○	
79	テンプレート一覧	削除	検索結果	○	○		
80	電気錠操作	検索		○	○	○	○
81		開錠		○	○	○	
82		施錠		○	○	○	
83		開錠目的		○	○	○	
84		詳細項目		○	○	○	
85		メモ		○	○	○	
86	コンシューマー	名称		○	○		
87		ロケーション		○	○		
88		コンシューマー詳細 各項目		○	○	○	
89		新規作成		○	○	○	
90	案件一覧	編集		○	○	○	○
91		編集（一括）		○	○	○	
92		レポート出力		○	○	○	○
93		工事種別		○	○	○	
94	案件編集	工事番号	案件概要	○	○	○	
95		受付年月日		○	○	○	
96		ユーザー名		○	○	○	
97		担当者		○	○	○	
98		工事完了希望日		○	○	○	
99		開通年月日（廃 止年月日）		○	○	○	
100		工事立会日		○	○	○	

101		備考		○	○	○	○
102		詳細情報	詳細情報	○	○	○	○
103		回線種別	回線情報	○	○	○	
104		通信速度		○	○	○	
105		回線数		○	○	○	
106		追加		○	○	○	
107		編集		○	○	○	
108		削除		○	○	○	
109		回線（全般）	回線選択	○	○	○	
110		確定保存スイッチ		○	○	○	
111	回線一覧	編集		○	○	○	○
112		アップロード		○	○	○	○
113		ファイル		○	○	○	○
114	回線編集	備考	IDF線番情報	○	○	○	○
115		詳細情報	詳細情報	○	○	○	○
116	配線盤一覧	新規作成		○	○		
117		編集		○	○		
118		編集（一括）		○	○		
119		配線盤系統表示		○	○	○	○
120		レポート出力		○	○	○	○
121		配線盤編集	全般	○	○		
122	案件スケジュール	全般		○	○	○	○
123	回線接続履歴	全般		○	○	○	○
124	ネットワーク一覧	削除	検索結果	○	○		
125		追加	検索結果	○	○	○	
126	ネットワーク編集	接続/解除	ネットワーク設定	○	○	○	
127		名称		○	○	○	
128		ケーブル種別		○	○	○	
129		ケーブル規格		○	○	○	
130		通信速度		○	○	○	
131		帯域幅		○	○	○	
132		備考		○	○	○	○
133	レポートスケジュール	新規作成	レポートスケジュール一覧	○	○		
134		削除		○	○		
135		編集		○	○		
136		表示設定		○	○	○	○
137		表示		○	○	○	○
138		ダウンロード	出力ファイル一覧	○	○	○	○
139		削除		○	○		
140		所属		○	○		
141		検索条件		○	○		
142		スケジュール名		○	○		
143		出力ファイル名		○	○		
144		値種別		○	○		
145		出力間隔		○	○		
146		出力種別		○	○		
147		出力開始日		○	○		
148		出力終了日		○	○		
149		集計種別		○	○		
150		換算		○	○		
151		無効にする		○	○		
152	ポイント一覧	削除	検索結果	○			
153	ポイント編集	ポイント名称	ポイント情報	○	○		
154		表示名称		○	○		
155		ロケーション		○	○	○	

156		データ種別	測定情報	○			
157		ポイント種別		○			
158		メール送信可否		○	○	○	
159		タグ		○	○	○	
160		コメント		○	○	○	○
161		計測機器		○			
162		アドレス		○			
163		データ保存先		○			
164		データ倍率		○			
165		データ収集		○			
166		収集周期		○			
167		判定開始状況		○	○		
168		アラーム監視		○	○	○	
169		データフォーマット		○	○	○	
170		単位		○	○	○	
171		デマンド区分		○			
172		カウンタストップ値		○			
173		MQTT データ倍率		○			
174		閾値	アラーム判定情報	○	○		
175		不感時間		○	○		
176		ON メッセージ	表示情報	○	○		
177		OFF メッセージ		○	○		
178		ON 値		○	○		
179		OFF 値		○	○		
180		換算方法		○	○		
181		換算係数		○	○		
182		換算値フォーマット		○	○		
183		換算値単位		○	○		
184	所属一覧	削除	検索結果	○	○		
185	所属編集	所属名称	所属編集	○	○		
186		親所属		○	○		
187		権限レベル		○	○		
188		上限ユーザー数		○	○		
189		メール送信タイミング		○	○	○	
190		データ参照開始日		○	○	○	
191		メール送信先		○	○	○	
192		メール送信対象アラーム		○	○		
193		コメント		○	○	○	○
194		ロケーション		○	○		
195		アクセスレベル		○	○		
196	ユーザー一覧	削除	検索結果	○	○		
197	ユーザー編集	ユーザーID	ユーザー編集	○	○		
198		ユーザー名称		○	○	○	
199		パスワード		○	○		
200		パスワード（確認）		○	○		
201		所属		○	○	○	
202		利用停止		○	○	○	
203		タグメンテナンス		○	○	○	
204		編集			○	○	
205	電源系統	追加/削除			○	○	
206		親電源系統	電源系統	○	○		
207		電源系統名		○	○	○	
		配電方式		○	○		

208		定格電流		○	○		
209		定格電圧		○	○		
210		定格周波数		○	○		
211		分岐電源数		○	○	○	
212		インデックス	計測ポイント設定	○	○	○	
213		表示名称		○	○	○	
214		ポイント選択		○	○	○	
215		電源番号		○	○	○	
216		電源名称	分岐電源	○	○	○	
217		定格電流		○	○	○	
218		定格電圧		○	○	○	
219		表示位置		○	○	○	
220		ステータス		○	○		
221		ポイント選択		○	○	○	
222		削除		○	○		
223		並べ替え		○	○	○	
224	ラックメンテナンス	全般		○	○		
225	ユニットメンテナンス	全般		○	○		
226	ロケーションメンテナンス	並べ替え		○	○	○	
227		ノード追加		○	○		
228		子ノード追加		○	○		
229		ロケーション名称		○	○	○	
230		ラックとして登録		○	○	○	
231		ラック種別		○	○	○	
232		ラック利用状況		○	○	○	
233		ロケーション削除		○	○		
234	機器メンテナンス	全般		○			
235	グラフィックメンテナンス	全般		○	○		
236	コンシューマーメンテナンス	全般		○	○		
237	電気錠設定	新規作成		○	○		
238		削除		○	○		
239		編集		○	○		
240		レポート出力		○	○	○	○
241		ロケーション	電気錠設定編集	○	○		
242		対象		○	○		
243		電気錠ポイント		○	○		
244		電気錠施錠値		○	○		
245		ドアセンサポイント		○	○		
246		ドア閉値		○	○		
247		不感時間		○	○		
248	案件メンテナンス	全般		○	○		
249	回線メンテナンス	全般		○	○		
250	配線盤メンテナンス	全般		○	○		
251	データ出力	全般		○	○	○	○
252	オペレーションログ	全般		○	○	○	○
253	電気錠ログ	出力	帳票出力	○	○	○	○
254		追加	帳票フォーマット	○	○		
255		削除		○	○		
256	基本設定	全般		○			

(2) 上限ユーザー数

親所属に割り振られている上限ユーザー数から、その配下の所属に割り振られている上限ユーザー数を引いた範囲で設定します。

例) 親所属（A）に 100 ユーザー、A の配下の所属（A-1）に 10 ユーザー設定されている場合

A の配下に所属を作成する際は、90 ユーザーまで設定可能です。

(3) メール送信タイミングおよびメール送信先

アラームが発生した際にメールを送信するか否かを設定します。

送信するタイミングとしては、発生時/復旧時/継続時の設定ができます。

アラーム発生時のみメール通知したい場合は、発生時のみチェックしてください。

継続時をチェックすると、予め設定した継続メールの送信周期でメール通知します（アラーム発生中の場合）。

ポイントの設定にも「メール送信有無」の設定があるので、組合せにより、メール送信可否が異なります。

No.	ポイント設定	所属設定	メール送信
1	メール送信しない	発生時/復旧時/継続時のいずれも選択なし	メール送信しない
2	メール送信しない	発生時/復旧時/継続時のいずれか選択	メール送信しない
3	メール送信する	発生時/復旧時/継続時のいずれも選択なし	メール送信しない
4	メール送信する	発生時/復旧時/継続時のいずれか選択	メール送信する

(4) メール送信対象アラーム

発生したアラームにより、メール通知有無を設定します。

メール通知したいアラームのみ「送信する」にチェックし、他のアラームを「送信しない」にチェックすると、

「送信する」にチェックしたアラームの、設定した送信タイミングでメールを送信します。

尚、親所属で「送信しない」と設定したメール送信対象アラームについては、選択肢として表示されません。

(5) データ参照開始日

計測値を参照する場合、参照できるデータの開始日付を設定します。

2019 年 1 月 15 日と設定した場合、2019 年 1 月 14 日以前の計測値は参照できません。

※リアルタイムモニタ、トレンドグラフなどのデータ参照不可となります。

[図 14](#) の場合、参照できるのは、2019 年 1 月 15 日 0:00:00 以降の計測値となります。

(6) コメント

メモを登録しておくことができます。

「#」+キーワードで登録しておくと、所属検索条件の「ハッシュタグ」で検索することができます。

(7) ロケーション

当該所属で参照可能なロケーションを選択します。

ロケーションツリーには、親所属として選択された所属が参照可能なロケーションが表示されます。

親所属が参照できないロケーションは表示されません。

(8) アクセスレベル

メニューに表示される機能の権限を設定します。

権限は、編集可/読取専用/非表示のうち、どれかを選択します。

編集可...選択した機能で、データを編集することができます。 ※権限レベルによっては一部操作不可の項目あり。

読取専用...選択した機能で、データを参照することはできますが、変更はできません。

非表示...選択した機能はメニューに表示されません。

設定したアクセスレベルに応じたメニュー表示の例については、下図をご参照ください。

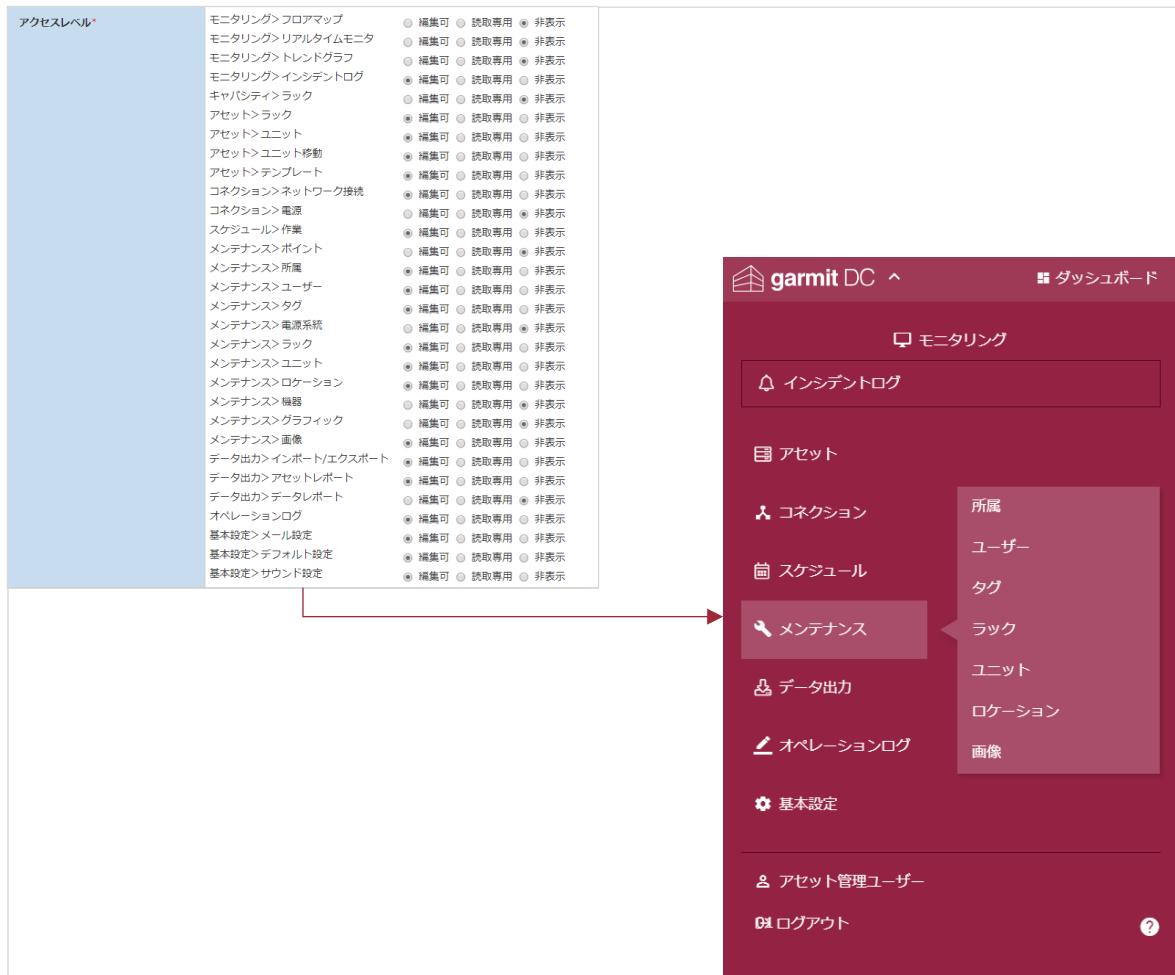


図 15 アクセスレベル設定とメニュー表示

2.2.4 所属情報を編集する

<所属一覧（複数選択）>

所属ID	所属名称	許可レーション名	メール送信タイミング	権限レベル	親所属名	上限ユーザー数	データ参照開始日時	コメント
1	株式会社デンソー	東京第一センター....	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	150	2018/11/01	
5	株式会社浜本製作所...	東京第一センター....	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	50		
8	株式会社木村電子工業...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	30		
10	株式会社みやたま	東京第一センター A棟 3階 3列	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	80		
15	株式会社オームラコンピューター...		発生時/復旧時	運用管理者	システム管理	30		
16	株式会社しまえだテクノロジーズ...	東京第一センター A棟 1階 4列	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	40		
19	いのうえエレクトロニクス株式会社...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	30		
20	鉢木電機工業株式会社...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	30		
24	株式会社久保ネットシステムズ...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	10		
25	磁田電機株式会社...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	10		

20 件中 1 から 10 までを表示

<所属編集（一括編集）>

図 16 所属編集（一括編集モード）

検索結果一覧で、所属情報を選択し「編集」ボタンをクリックする、もしくは一覧の編集アイコン（）をクリックすると所属情報編集画面（図 14）が表示されます。

一覧で複数の所属情報を選択して「編集」ボタンをクリックすると、一括編集モードで画面が表示されます（図 16 参照）

一括編集モードの所属編集画面では、編集対象項目にチェックを入れ、編集内容を入力します。

「保存」ボタンをクリックすると、一覧で選択した所属情報について、編集した項目が更新されます。

表3 所属情報一括編集項目一覧

No.	項目名
1	権限レベル
2	メール送信タイミング
3	データ参照開始日
4	メール送信対象アラーム

2.2.5 所属情報を削除する

所属一覧									
<input type="checkbox"/> 編集		<input type="checkbox"/> 削除							
所属ID	所属名称	許可ロケーション名	メール送信タイミング	権限レベル	親所属名称	上限ユーザー数	データ参照開始日時	コメント	
1	株式会社デンソー	東京第一センター...	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	150	2018/11/01		
5	株式会社浜本製作所...	東京第一センター...	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	50			
8	株式会社木村電子工業...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	30			
10	株式会社みやたま	東京第一センター A棟 1階 3列	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	80		#みやたま	
15	株式会社オームラコンピューター...		発生時/復旧時	運用管理者	システム管理	30			
16	株式会社まえだテクノロジーズ...	東京第一センター A棟 1階 4列	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	40		#まえだ	
19	いのうえエレクトロニクス株式会社...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	30			
20	鈴木電機工業株式会社...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	30			
24	株式会社久保ネットシステムズ...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	10			
25	磯田電機株式会社...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	10			

139 件中 1 から 10 までを表示

◀ ◁ 1 2 3 4 5 … 14 ▶ ▶

所属一覧で、所属情報を選択して「削除」ボタンをクリックする、もしくは一覧の各行に表示されている削除アイコン () をクリックすると、選択した所属情報が削除され、一覧が表示更新されます。

所属一覧									
<input type="checkbox"/> 編集		<input type="checkbox"/> 削除							
所属ID	所属名称	許可ロケーション名	メール送信タイミング	権限レベル	親所属名称	上限ユーザー数	データ参照開始日時	コメント	
1	株式会社デンソー	東京第一センター...	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	150	2018/11/01		
5	株式会社浜本製作所...	東京第一センター...	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	50			
8	株式会社木村電子工業...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	30			
10	株式会社みやたま	東京第一センター A棟 1階 3列	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	80			
15	株式会社オームラコンピューター...		発生時/復旧時	運用管理者	システム管理	30			
16	株式会社まえだテクノロジーズ...	東京第一センター A棟 1階 4列	発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	40			
19	いのうえエレクトロニクス株式会社...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	30			
20	鈴木電機工業株式会社...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	30			
24	株式会社久保ネットシステムズ...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	10			
25	磯田電機株式会社...		発生時/復旧時	システム管理者	システム管理	10			

139 件中 1 から 10 までを表示

◀ ◁ 1 2 3 4 5 … 14 ▶ ▶

図 18 所属情報削除（一括削除）

所属一覧で、複数の所属情報を選択して「削除」ボタンをクリックすると、所属情報が削除され、一覧が表示更新されます。

選択した所属の配下に子所属が紐づいている場合、所属にユーザーが紐づいている場合は削除できません。

子所属、ユーザーを削除した後に、削除してください。

但し、配下に紐づいているすべての子所属が親所属と一緒に選択されている場合は、削除できます。

2.3 ログインユーザーを登録・編集する

garmit を利用するログインユーザー情報を登録します。

ログインユーザーには、必ず所属を紐づける必要があります。

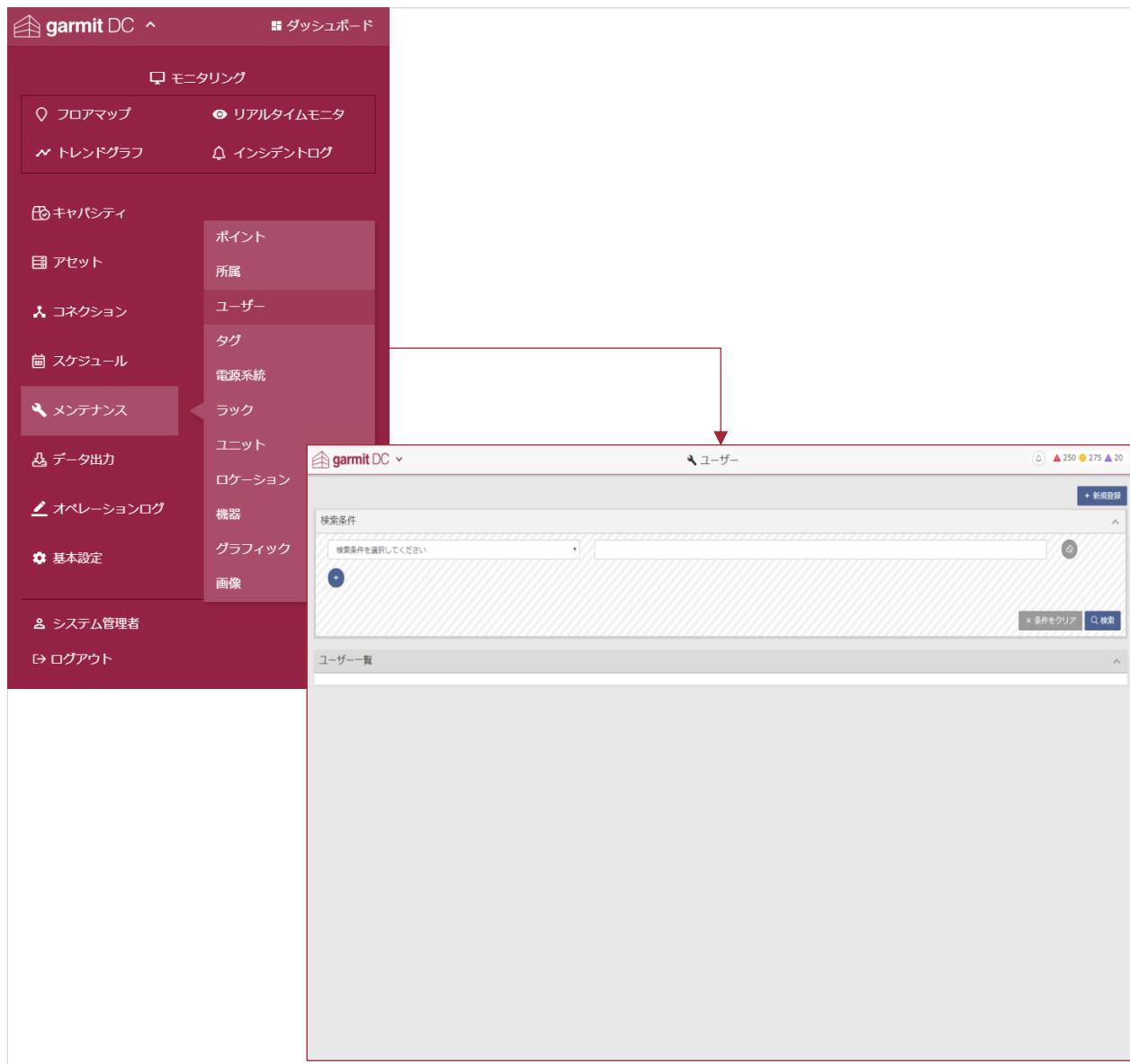


図 20 ユーザーメンテナンス（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「メンテナンス」>「ユーザー」を選択すると、ユーザー画面（図 20）が表示されます。

2.3.1 ユーザー情報を検索する

図 21 ユーザー情報検索条件

(1) 検索条件を指定する

ユーザー一覧画面にて、検索条件を指定します。

指定できる検索条件は、下記の通りです。検索条件を指定しない場合は、全件検索します。

検索条件	説明
ユーザー	登録済みのユーザーから検索対象を選択し、ユーザー名が合致するものを検索する
所属	登録済みの所属から検索対象を選択し、ユーザー名が合致するものを検索する

※検索条件の追加、クリア、検索方法については、「[2.2.1 所属情報を検索する](#)」と同様です。ご参照ください。

2.3.2 ユーザー情報一覧を表示する

The screenshot shows the 'User List' (ユーザー一覧) screen in the garmit DC application. At the top, there is a search bar with a dropdown menu labeled '検索条件' (Search Conditions) and a button labeled '検索' (Search). To the right of the search bar are buttons for '新規登録' (New Registration) and '条件をクリア' (Clear Conditions). Below the search bar is a table titled 'ユーザー一覧' (User List) containing the following data:

User ID	Name	Department
def01	参照権限ユーザー	参照グループ
denso01	デンソー-01	株式会社デンソーソリューションズ
denso02	デンソー-02	株式会社デンソーソリューションズ
denso03	デンソー-03	株式会社デンソーソリューションズ
denso10	デンソー-10	株式会社デンソーソリューションズ
denso11	デンソー-11	株式会社デンソーソリューションズ
denso12	デンソー-12	株式会社デンソーソリューションズ
denso13	デンソー-13	株式会社デンソーソリューションズ
dev01	技術グループ01	技術グループ
dev02	技術グループ02	技術グループ

At the bottom of the table, it says '47 件中 1 から 10 までを表示' (Displaying items 1 to 10 of 47). The interface also includes buttons for '編集' (Edit) and '削除' (Delete), and tabs for '表示設定' (Display Settings) and 'レポート出力' (Report Output).

図 22 ユーザー一覧表示

検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、検索結果がユーザー一覧として表示されます。

検索直後は、ユーザーIDの昇順で表示されます。

検索条件に該当するデータがない場合には、その旨メッセージが表示されます。

一覧表示中は、一覧情報の並べ替え、絞り込み、表示項目変更、レポート出力が可能です。

※操作方法については、「[2.2.2 所属情報一覧を表示する](#)」をご参照ください。

2.3.3 ユーザー情報を新規登録する

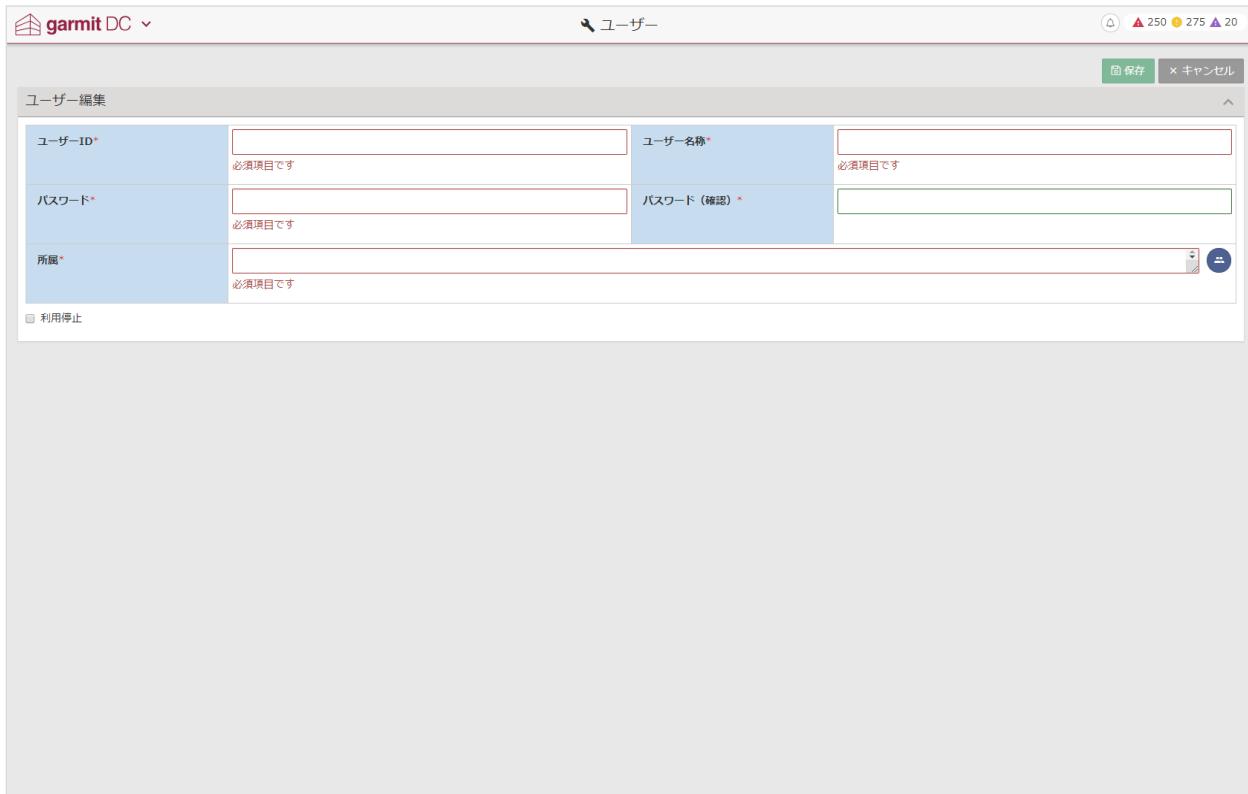


図 23 ユーザー編集画面（新規登録）

ユーザーメンテナンス画面で、「新規登録」ボタンをクリックすると、ユーザー編集画面（図 23）が表示されます。

ユーザーID、ユーザー名称、password（2回）を入力、所属を選択し、「保存」ボタンをクリックします。

保存結果が表示され、「OK」をクリックすると、ユーザー一覧画面が表示されます。

ユーザー編集画面で「キャンセル」ボタンをクリックすると、当該画面が消去され、一覧画面が表示されます。

項目名に「*」がついているものは、入力必須項目です。

(1) ユーザーID およびユーザー名称

任意の文字列を入力します。

(2) パスワード

passwordは、半角英字、半角数字、記号の3種類を組合せた8文字以上の文字を入力する必要があります。

passwordおよびpassword（確認）については、同様のpasswordを入力します。

passwordは、**新規登録時のみ入力必須項目です。**

(3) 所属

1つのユーザーに対し、複数の所属を設定することができます。

複数設定する場合は、メインの所属となる所属を選択する必要があります。

選択した複数所属のタグをクリックすると、メイン所属を変更することができます。

複数の所属を設定した場合、強い権限を持つ所属が優先して適用され、操作できます。

下図の例は、「株式会社デンソー」をメイン所属とした場合です。



図 24 ユーザー編集（所属）

2.3.4 ユーザー情報を編集する

<ユーザー編集（複数選択）>

The screenshot shows the 'User List' screen with the following data:

	ユーザーID	ユーザー名	所属
def01	def01	参照権限ユーザー	参照グループ
<input checked="" type="checkbox"/> denso01	denso01	デンソー-01	株式会社デンソー・ソリューションズ
<input checked="" type="checkbox"/> denso02	denso02	デンソー-02	株式会社デンソー・ソリューションズ
<input checked="" type="checkbox"/> denso03	denso03	デンソー-03	株式会社デンソー・ソリューションズ
denso10	denso10	デンソー-10	株式会社デンソー・ソリューションズ
denso11	denso11	デンソー-11	株式会社デンソー・ソリューションズ
denso12	denso12	デンソー-12	株式会社デンソー・ソリューションズ
denso13	denso13	デンソー-13	株式会社デンソー・ソリューションズ
dev01	dev01	技術グループ01	技術グループ
dev02	dev02	技術グループ02	技術グループ

47 件中 1 から 10 までを表示

↓

The screenshot shows the 'User Bulk Edit' screen with the following interface:

- Header: garmit DC ▾ ユーザー
- Buttons: 削除 (Delete), 署名 (Signature), 保存 (Save), キャンセル (Cancel)
- Form fields:
 - 所属 (Department): 必須項目です (Required field)

図 25 ユーザー編集画面

検索結果一覧で、ユーザー情報を選択し「編集」ボタンをクリックする、もしくは一覧の編集アイコン（）をクリックすると、ユーザー情報編集画面が表示されます。

一覧で、複数のユーザー情報を選択して「編集」ボタンをクリックすると、一括編集モードでユーザー編集画面が表示されます。

編集時は、パスワードは必須項目ではありません。新たに入力して保存すると、パスワードを変更してしまいますのでご注意ください。

※一括編集モードの編集画面の操作方法については、「[2.2.4 所属情報を編集する](#)」と同様です。ご参照ください。

2.3.5 ユーザー情報を削除する

ユーザー一覧					
		表示設定	レポート出力		
	10	件を表示			
編集	削除	ユーザーID	ユーザー名	所属	
<input type="checkbox"/>			def01	参照権限ユーザー	参照グループ
<input type="checkbox"/>			denso01	デンソー-01	株式会社デンソーソリューションズ
<input type="checkbox"/>			denso02	デンソー-02	株式会社デンソーソリューションズ
<input type="checkbox"/>			denso03	デンソー-03	株式会社デンソーソリューションズ
<input type="checkbox"/>			denso10	デンソー-10	株式会社デンソーソリューションズ
<input type="checkbox"/>			denso11	デンソー-11	株式会社デンソーソリューションズ
<input type="checkbox"/>			denso12	デンソー-12	株式会社デンソーソリューションズ
<input type="checkbox"/>			denso13	デンソー-13	株式会社デンソーソリューションズ
<input type="checkbox"/>			dev01	技術グループ01	技術グループ
<input type="checkbox"/>			dev02	技術グループ02	技術グループ

47 件中 1 から 10 までを表示

図 26 ユーザー情報削除

ユーザー一覧で、ユーザー情報を選択して「削除」ボタンをクリックする、もしくは一覧の各行に表示されている削除アイコン（）をクリックすると、選択したユーザー情報が削除され、一覧が表示更新されます。

ユーザー一覧					
		表示設定	レポート出力		
	10	件を表示			
編集	削除	ユーザーID	ユーザー名	所属	
<input type="checkbox"/>			def01	参照権限ユーザー	参照グループ
<input checked="" type="checkbox"/>			denso01	デンソー-01	株式会社デンソーソリューションズ
<input checked="" type="checkbox"/>			denso02	デンソー-02	株式会社デンソーソリューションズ
<input checked="" type="checkbox"/>			denso03	デンソー-03	株式会社デンソーソリューションズ
<input type="checkbox"/>			denso10	デンソー-10	株式会社デンソーソリューションズ
<input type="checkbox"/>			denso11	デンソー-11	株式会社デンソーソリューションズ
<input type="checkbox"/>			denso12	デンソー-12	株式会社デンソーソリューションズ
<input type="checkbox"/>			denso13	デンソー-13	株式会社デンソーソリューションズ
<input type="checkbox"/>			dev01	技術グループ01	技術グループ
<input type="checkbox"/>			dev02	技術グループ02	技術グループ

47 件中 1 から 10 までを表示

図 27 ユーザー情報削除（一括削除）

ユーザー一覧で、複数のユーザー情報を選択して「削除」ボタンをクリックすると、選択したユーザー情報が削除された状態で、一覧が表示更新されます。

2.4 監視ポイントを登録・編集する

監視ポイント情報を登録します。

ポイント毎の閾値、紐づけるロケーションや所属、収集に関する設定などを登録します。

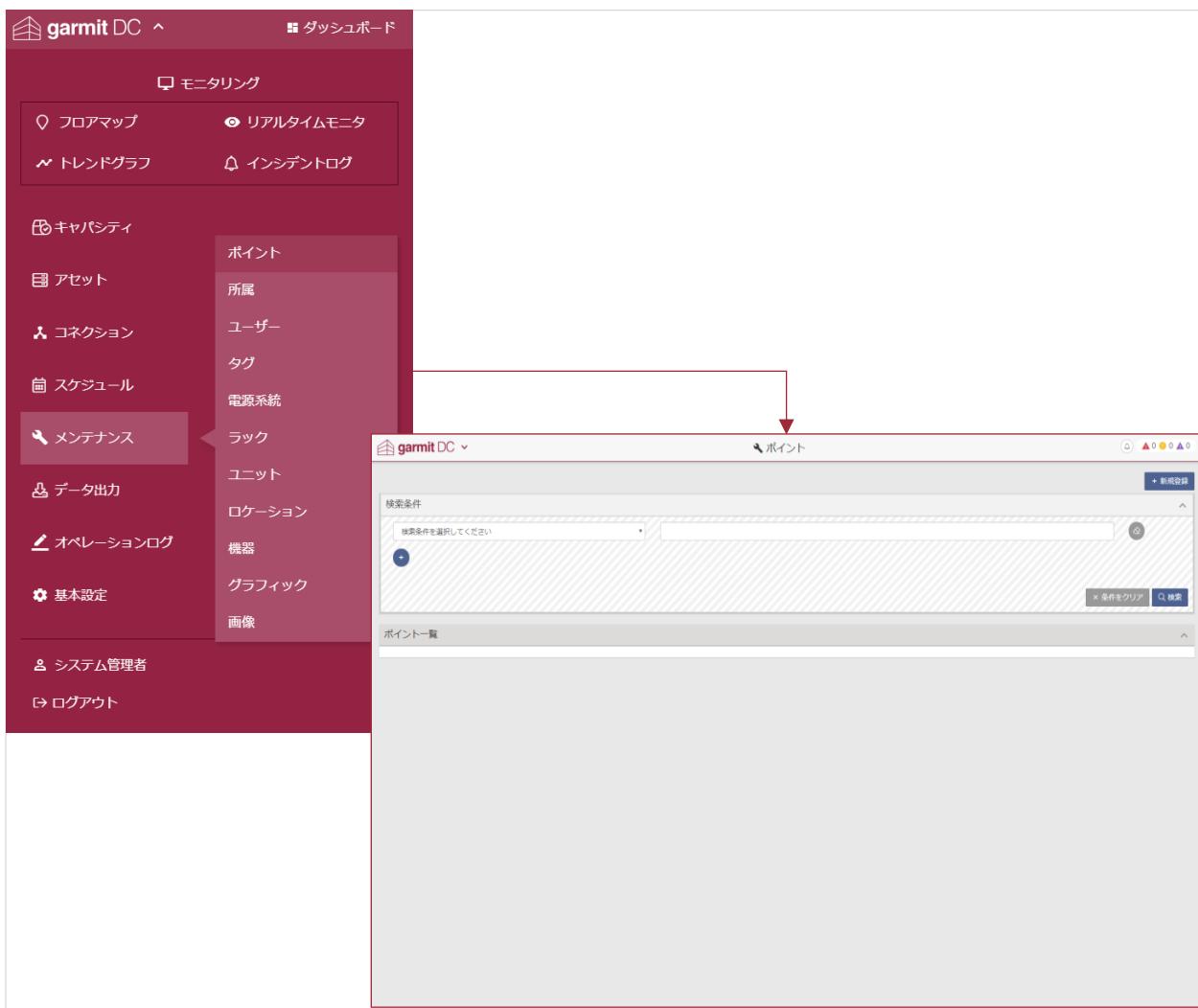


図 28 ポイントメンテナンス（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「メンテナンス」>「ポイント」を選択すると、ポイント画面（図 28）が表示されます。

2.4.1 ポイント情報を検索する

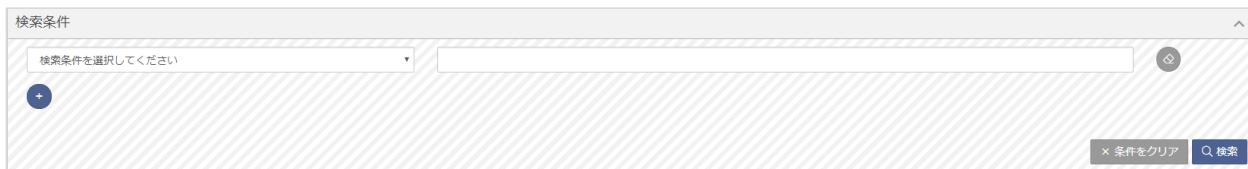


図 29 ポイント検索条件

(1) 検索条件を指定する

検索条件を指定します。

指定できる検索条件は、下記の通りです。検索条件を指定しない場合、全件検索します。

検索条件	説明
ロケーション	登録済みのロケーションから検索対象を選択し、紐づいているポイントを検索する
所属	登録済みの所属から検索対象を選択し、紐づいているポイントを検索する
タグ	登録済みのタグから検索対象を選択し、紐づいているポイントを検索する
電源系統	登録済みの電源系統から検索対象を選択し、紐づいているポイントを検索する
ハッシュタグ	「#」+キーワードを入力し、コメントとして登録したキーワードから合致するポイントを検索する

※検索条件の追加、検索条件クリア、検索方法については、「[2.2.1 所属情報を検索する](#)」と同様です。ご参照ください。

2.4.2 ポイント情報一覧を表示する

The screenshot shows the garmit DC software interface with the following details:

- Top Bar:** Includes the garmit DC logo, a search icon labeled "ポイント", and status indicators for battery level (250), signal strength (275), and connection count (20).
- Search Bar:** A search input field with placeholder text "検索条件を選択してください" and a search button.
- Table Headers:** The table has columns for Point ID (ポイント番号), Point Name (ポイント名称), Display Name (表示名称), Location (ロケーション), Data Type (データ種別), Point Type (ポイント種別), and Alarm Monitoring (アラーム監視).
- Data Rows:** 11 rows of point data are listed, corresponding to the points shown in the table below.
- Table Data:**

Point ID	Point Name	Display Name	Location	Data Type	Point Type	Alarm Monitoring
3	P-MCCB-A01-03		東京第一センター A棟 1階 2列...	電流	測定	監視する
9	P-MCCB-A02-01		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101	電流	演算	監視する
37	P-TYO1A1101-T	P-TYO1A1101-T_表示名称	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101	温度	測定	監視する
38	P-TYO1A1102-T	P-TYO1A1102-T_表示名称	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102	温度	測定	監視する
39	P-TYO1A1103-T	P-TYO1A1103-T_表示名称	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10103	温度	測定	監視する
40	P-TYO1A1104-T	P-TYO1A1104-T_表示名称	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10104	温度	測定	監視する
41	P-TYO1A1105-T		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10105	温度	測定	監視する
42	P-TYO1A1106-T		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10106	温度	測定	監視する
43	P-TYO1A1107-T		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10107	温度	測定	監視する
45	P-TYO1A1109-T		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10109	温度	測定	監視する
- Page Navigation:** Shows page 1 of 116.

図 30 ポイント一覧表示

検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、検索結果がポイント一覧として表示されます。

検索直後は、ポイント番号の昇順で表示されます。

検索条件に該当するデータがない場合には、その旨メッセージが表示されます。

一覧表示中は、一覧情報の並べ替え、絞り込み、表示項目変更、レポート出力が可能です。

※操作方法については、「[2.2.2 所属情報一覧を表示する](#)」と同様です。ご参照ください。

2.4.3 ポイント情報を新規登録する

The screenshot shows the 'Point Edit' screen for new registration. It consists of three main sections:

- Point Information (Point情報):** Fields include 'Point Number' (Point番号), 'Point Name*' (Point名称*), 'Display Name' (表示名称), 'Location*' (ロケーション*), 'Data Type*' (データ種別*), 'Point Type*' (Point種別*), 'Email Delivery*' (メール送信*), and 'Tag' (タグ).
- Measurement Information (測定情報):** Fields include 'Measuring Instrument' (計測機器), 'Sub-ID' (サブートID), 'Data Storage Location*' (データ保存先*), 'Data Collection Status*' (データ収集*), 'Judgment Start Status*' (判定開始状況*), 'Data Format*' (データフォーマット*), 'Address' (アドレス), 'Sampling Rate' (データ倍率), 'Collection Period*' (収集周期*), 'Alarm Monitoring*' (アラーム監視*), and 'Unit' (単位).
- Alarm Judgment Information (アラーム判定情報):** A section for setting alarm thresholds, with fields for 'Upper Limit Abnormal' (閾値(上限異常)) and 'Lower Limit Abnormal' (閾値(下限異常)).

図 31 ポイント編集画面（新規登録）

ポイント一覧画面で、「新規登録」ボタンをクリックすると、ポイント編集画面（図 31）が表示されます。

ポイント名称、ロケーション、計測機器情報、監視閾値などを入力し、「保存」ボタンをクリックします。

保存結果が表示され、「OK」をクリックすると、ポイント一覧が表示されます。

ポイント編集画面で「キャンセル」ボタンをクリックすると、当該画面が消去され、一覧画面が表示されます。

項目名に「*」がついているものは、入力必須項目です。

(1) ポイント名称および表示名称

任意の文字列を入力します。

(2) ロケーション

ポイント情報を紐づけるためのロケーションを選択します。

ロケーションツリーには、ログインユーザーの紐づく所属が参照可能なロケーションのみ表示されますので、

その中から対象となるロケーションを選択します。複数選択可能です。

(3) データ種別

データ種別（電流/温度/湿度 等）を選択します。

選択肢は、予め登録したデータ種別となります。

(4) ポイント種別

ポイント種別（測定/演算/仮想演算）を選択します。

No.	ポイント種別	説明
1	測定	計測機器からの取得したデータを DB に保存します
2	演算	他のポイントのデータを使用し演算した結果をデータとして DB に保存します
3	仮想演算	他のポイントのデータを使用し演算した結果を一時保持し、DB には保存しません

※演算式の登録方法は、「[2.4.6 演算ポイントを登録する](#)」をご参照ください。

(5) メール送信

当該ポイントのアラーム発生/復旧/継続時に、メールを送るか否か設定します。

アラーム時のメール送信設定は、ポイント毎に設定可能です。

ポイントのメール送信可否を「送信する」と設定しても、選択したロケーションに紐づく所属が「送信しない」と設定している場合は、アラーム時のメールは送信しません。

(6) タグ

登録済みのタグに、ポイントを追加設定します。

タグリストとして表示されるのは、ログインユーザーの所属に紐づけられたタグのみです。

タグ画面などで設定された、ログインユーザーの所属配下の所属に紐づくタグは、表示のみとなります。

設定されたタグは、検索条件の「タグ」で検索可能となります。

(7) 測定情報

ポイント編集画面では、データ収集に関する設定も行います。

各項目についてのデータ収集の動作は以下の通りです。

No.	項目名	設定値	動作
1	データ収集	収集中	計測機器からデータを収集します
2		停止中	計測機器からデータを収集しません
3	収集周期	(数値)	指定された周期で計測データを DB に書き込みます
4	判定開始状況 (※1)	判定開始	計測値 0 超過後、アラーム判定を実行しています
5		判定停止	計測値 0 超過するまで、アラーム判定しません
6	アラーム監視	監視する	アラーム監視します
7		監視しない	アラーム監視しません

(※1) 判定開始状況…「判定停止」の状態で、0 を超える値を検知すると自動的に「判定開始」状態に切り替わります。

(8) 閾値および不感時間

アラームと判定する閾値（上限異常/下限異常/上限注意/下限注意）、不感時間（異常発生/異常復旧/注意発生/注意復旧）を入力します。

閾値については、「上限異常> 上限注意> 下限注意> 下限異常」の大小関係でない場合はエラーとなります。

閾値を設定しない場合には、当該アラーム判定は行いません。

例) 上限注意の閾値が未設定の場合…上限注意のアラームは発生しません。

(9) デフォルト値適用

「デフォルト値を適用」ボタンをクリックすると、デフォルト値適用モーダルを表示し、適用対象の項目をチェックします。

デフォルト値適用画面の各項目は、編集不可です。

「適用」ボタンをクリックすると、ポイント編集画面の閾値、不感時間（デフォルト値適用画面の選択項目）に値が反映されます。

デフォルト値適用		適用前	適用後
<input checked="" type="checkbox"/> 閾値（上限異常）		A ⇒ 100	A
<input checked="" type="checkbox"/> 閾値（上限注意）		A ⇒ 25	A
<input checked="" type="checkbox"/> 閾値（下限注意）		A ⇒	A
<input checked="" type="checkbox"/> 閾値（下限異常）		A ⇒	A
<input checked="" type="checkbox"/> 不感時間（異常発生）	60 秒	⇒ 0 秒	秒
<input checked="" type="checkbox"/> 不感時間（注意発生）	60 秒	⇒ 0 秒	秒
<input checked="" type="checkbox"/> 不感時間（異常復旧）	60 秒	⇒ 0 秒	秒
<input checked="" type="checkbox"/> 不感時間（注意復旧）	60 秒	⇒ 0 秒	秒

図 32 デフォルト値適用

(10) 表示情報

計測値が 0 の場合に表示する文字列（OFF メッセージ）と計測値が 0 でない場合に表示する文字列（ON メッセージ）を入力します。

本項目は、ポイント種別が「接点」の場合を想定しておりますので、接点以外のデータで設定すると、0 でない場合は値が表示されず ON メッセージが表示されます。

(11) 換算情報

換算式および換算係数を設定します。

換算式は、四則演算（+/-×/÷）を選択し、換算係数は実数を入力します。

換算式および換算係数は、最大3つまで登録可能です。

換算式が登録されているポイントについては、フロアマップやリアルタイムモニタ等の換算表示モードで換算した結果が表示されます。



換算表示なし



換算表示モード

2.4.4 ポイント情報を編集する

<ポイント一覧（複数選択）>

ポイント一覧							
	編集	削除	表示設定	レポート出力	10	件を表示	▲
<input type="checkbox"/>	ポイント番号	ポイント名称	表示名称	ロケーション	データ種別	ポイント種別	アラーム監視
<input checked="" type="checkbox"/>	3	P-MCCB-A01-03		東京第一センター A棟 1階 2列...	電流	測定	監視する
<input checked="" type="checkbox"/>	9	P-MCCB-A02-01		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101	電流	演算	監視する
<input checked="" type="checkbox"/>	37	P-TYO1A1101-T	P-TYO1A1101-T_表示名称	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101	温度	測定	監視する
<input type="checkbox"/>	38	P-TYO1A1102-T	P-TYO1A1102-T_表示名称	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102	温度	測定	監視する
<input type="checkbox"/>	39	P-TYO1A1103-T	P-TYO1A1103-T_表示名称	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10103	温度	測定	監視する
<input type="checkbox"/>	40	P-TYO1A1104-T	P-TYO1A1104-T_表示名称	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10104	温度	測定	監視する
<input type="checkbox"/>	41	P-TYO1A1105-T		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10105	温度	測定	監視する
<input type="checkbox"/>	42	P-TYO1A1106-T		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10106	温度	測定	監視する
<input type="checkbox"/>	43	P-TYO1A1107-T		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10107	温度	測定	監視する
<input type="checkbox"/>	45	P-TYO1A1109-T		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10109	温度	測定	監視する

1159 件中 1 から 10 までを表示

1 2 3 4 5 … 116 >

<ポイント編集（一括編集）>

図 33 ポイント編集（一括編集）

検索結果一覧で、ポイント情報を選択し「編集」ボタンをクリックする、もしくは一覧の編集アイコンをクリックすると、ポイント情報編集画面が表示されます。項目の編集については、新規登録と同様です。

一覧で、複数のポイント情報を選択して「編集」ボタンをクリックすると、一括編集モードでポイント編集画面が表示されます。

※一括編集モードの編集画面の操作方法については、「[2.2.4 所属情報を編集する](#)」と同様です。ご参照ください。

2.4.5 ポイント情報を削除する

ポイント一覧						
	編集	削除		表示設定	レポート出力	
ポイント番号	ポイント名称	表示名称	ロケーション	データ種別	ポイント種別	アラーム監視
□	P-MCCB-A01-03		東京第一センター A棟 1階 2列...	電流	測定	監視する
□	9	P-MCCB-A02-01		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101	電流	演算
□	37	P-TYO1A1101-T	P-TYO1A1101-T_表示名称	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101	温度	測定
□	38	P-TYO1A1102-T	P-TYO1A1102-T_表示名称	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102	温度	測定
□	39	P-TYO1A1103-T	P-TYO1A1103-T_表示名称	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10103	温度	測定
□	40	P-TYO1A1104-T	P-TYO1A1104-T_表示名称	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10104	温度	測定
□	41	P-TYO1A1105-T		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10105	温度	測定
□	42	P-TYO1A1106-T		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10106	温度	測定
□	43	P-TYO1A1107-T		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10107	温度	測定
□	45	P-TYO1A1109-T		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10109	温度	測定

1159 件中 1 から 10 までを表示

図 34 ポイント情報削除

ポイント一覧で、ポイント情報を選択して「削除」ボタンをクリックする、もしくは一覧の各行に表示されている削除アイコンをクリックすると選択したポイント情報が削除され、一覧が表示更新されます。

演算ポイントの演算対象として設定されているポイントは削除できません。演算ポイントを削除後、ポイントを削除してください。

また、電気錠設定に設定されているポイントも削除できません。電気錠設定を削除後、ポイントを削除してください。

ポイント一覧						
	編集	削除		表示設定	レポート出力	
ポイント番号	ポイント名称	表示名称	ロケーション	データ種別	ポイント種別	アラーム監視
□	P-MCCB-A01-03		東京第一センター A棟 1階 2列...	電流	測定	監視する
□	9	P-MCCB-A02-01		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101	電流	演算
□	37	P-TYO1A1101-T	P-TYO1A1101-T_表示名称	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101	温度	測定
□	38	P-TYO1A1102-T	P-TYO1A1102-T_表示名称	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102	温度	測定
□	39	P-TYO1A1103-T	P-TYO1A1103-T_表示名称	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10103	温度	測定
□	40	P-TYO1A1104-T	P-TYO1A1104-T_表示名称	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10104	温度	測定
□	41	P-TYO1A1105-T		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10105	温度	測定
□	42	P-TYO1A1106-T		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10106	温度	測定
□	43	P-TYO1A1107-T		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10107	温度	測定
□	45	P-TYO1A1109-T		東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10109	温度	測定

1159 件中 1 から 10 までを表示

図 35 ポイント情報削除（一括削除）

ポイント一覧で、複数のポイント情報を選択して「削除」ボタンをクリックすると、選択したポイント情報が削除された状態で、一覧が表示更新されます。

※一括編集モードの編集画面の操作方法については、「[2.2.4 所属情報を編集する](#)」と同様です。ご参照ください。

2.4.6 演算ポイントを登録する

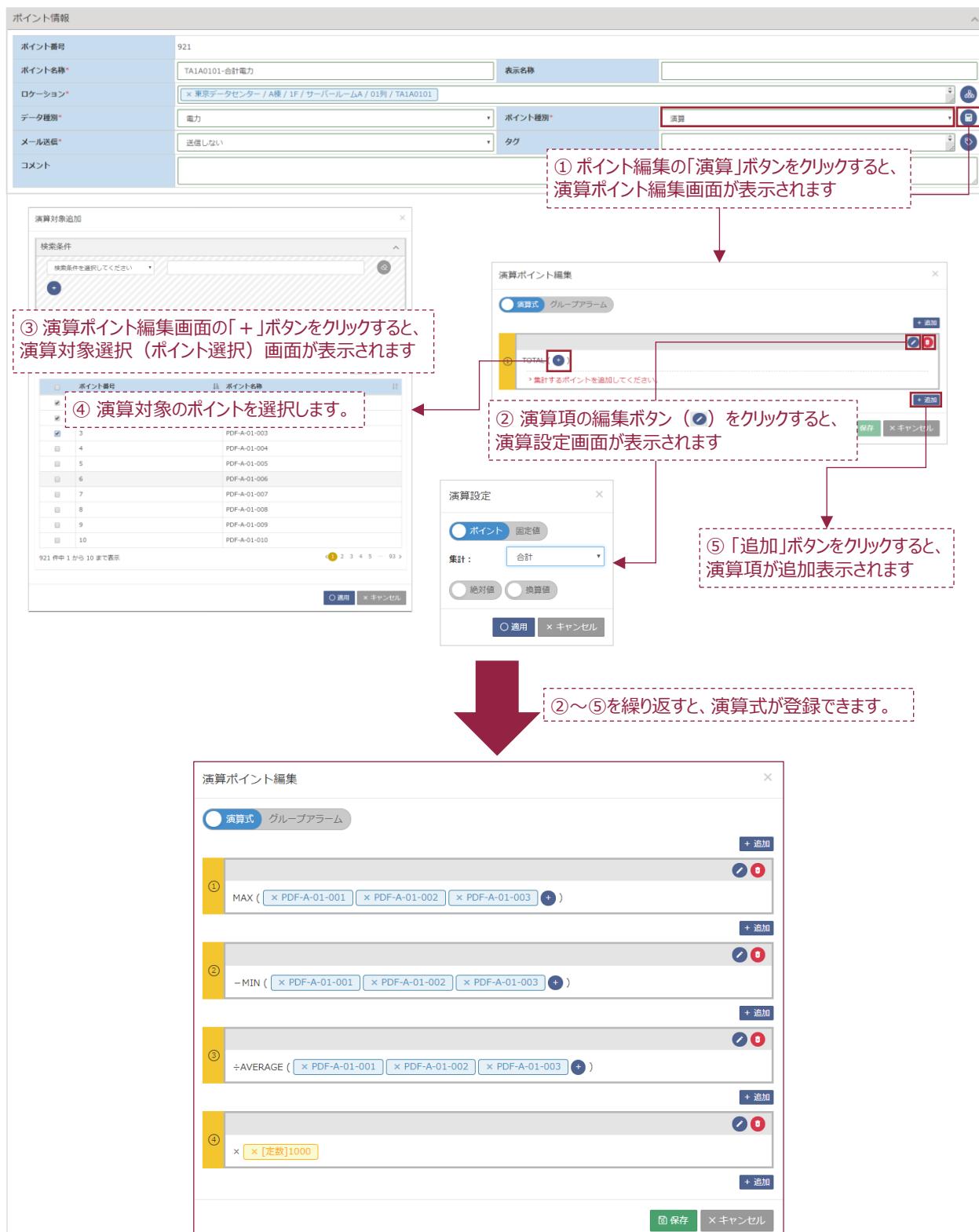


図 36 演算ポイント登録方法（演算式）

ポイント編集画面で、ポイント種別の「演算」もしくは「仮想演算」を選択すると、演算設定ボタン（）が有効となります。

演算設定ボタンをクリックすると、演算ポイント編集画面が表示されます。

演算ポイント編集画面では、演算式とグループアラームの登録ができます。

■演算式を登録する

(1) 演算設定

演算ポイント編集画面の演算項目毎に表示される編集ボタン（）をクリックすると、演算設定画面が表示されます。

演算対象種別、演算種別、集計方法、絶対値有無、換算値有無を設定します。

各選択肢は、以下の通りです。

- ・演算対象種別：ポイント/固定値

- ・演算種別： $+/-/\times/\div$ ※2 項目以降に設定

- ・集計方法：合計/最大/最小/平均

絶対値のスイッチを ON に設定すると、演算項目全体の演算結果を絶対値として扱います。

換算値のスイッチを ON に設定すると、選択したポイント情報に登録されている換算式の結果を用いて演算を行います。

換算式が登録されていない場合は、計測値で演算を行います。

【演算設定（1項目）】



【演算設定（2項目以降）】



図 37 演算式登録（演算設定：ポイント）

選択した集計方法の演算項での表示は、以下の通りです。

絶対値のスイッチが「ON」の場合は、「ABS」と表示されます。

No.	集計方法	演算項での表示
1	合計	TOTAL
2	最大	MAX
3	最小	MIN
4	平均	AVERAGE

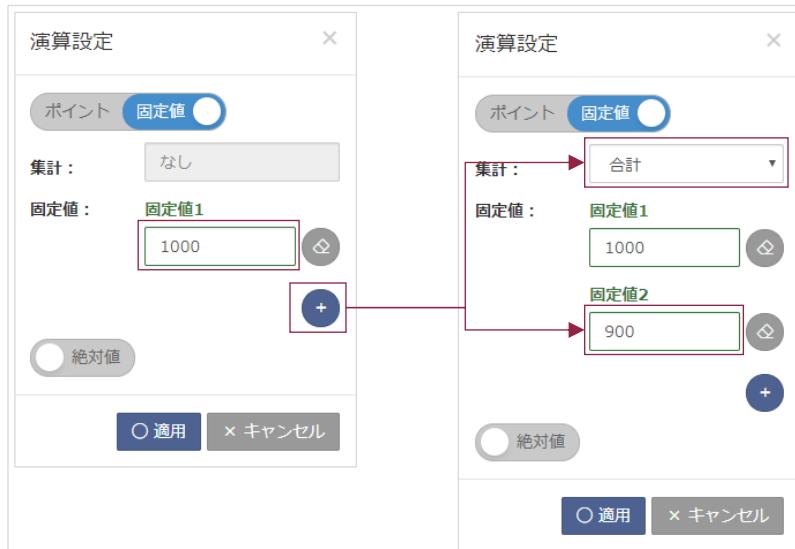


図 38 演算式登録（演算設定：固定値）

演算対象種別で、「固定値」を選択すると、固定値入力欄が表示されます。

追加ボタン（+）をクリックすると、固定値入力欄が追加表示されます。また、集計方法も選択可となります。

演算設定にて、固定値は、最大 20 個まで登録できます。

(2) 演算対象選択

演算ポイント編集画面の演算項毎に表示される「+」ボタンをクリックすると、演算対象選択画面が表示されます。

演算対象選択画面で、演算対象とするポイントを選択します。

The screenshot shows two windows side-by-side. On the left is the 'Calculation Point Selection' dialog, which has a search bar at the top and a list of points below. Points 1, 2, and 3 are selected, highlighted with a red border. On the right is the 'Calculation Point Edit' dialog, which displays a calculation expression. The first term is 'MAX (PDF-A-01-001, PDF-A-01-002, PDF-A-01-003)'. A red arrow points from the selected points in the selection dialog to this term. A callout box with a dashed border contains the text: '演算対象選択画面で選択したポイントが演算項に表示されます' (Selected points in the selection dialog are displayed in the calculation item).

This screenshot shows the same two dialogs. In the selection dialog, points 1, 2, and 3 are selected. In the edit dialog, the expression is '+ ABS (MIN (PDF-A-01-001[換], PDF-A-01-002[換], PDF-A-01-003[換]))'. A red arrow points from the selected points in the selection dialog to the '[換]' suffix on the third point in the expression. A callout box with a dashed border contains the text: '演算設定で、「換算値」をONに設定した場合は、ポイント名の後ろに[換]が表示されます' (If 'Conversion Value' is set to ON in the calculation settings, '[換]' will be displayed at the end of each point name).

This screenshot shows the 'Calculation Settings' dialog. It has tabs for 'Point' and 'Fixed Value'. Under 'Point', there is a section for 'Calculation' with operators (+, -, ×, ÷) and a dropdown for 'Aggregate'. Below that is a section for 'Conversion Value' with a radio button labeled 'Conversion Value' (which is selected, indicated by a red border). At the bottom are 'Apply' and 'Cancel' buttons.

図 39 演算式登録（演算対象選択）

選択したポイントは、演算項に反映されます。

演算設定で、「換算値」をONに設定した場合には、各ポイント名称の後ろに「[換]」が表示されます。

(3) 演算項追加

演算ポイント編集画面の演算項毎に表示される「追加」ボタンをクリックすると、演算項が追加表示されます。

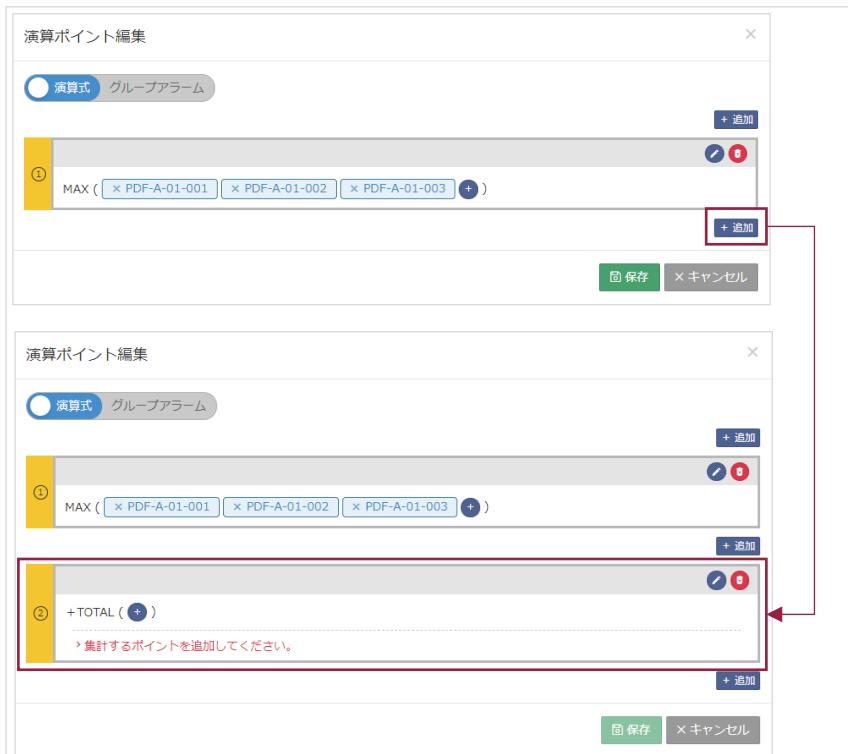


図 40 演算式登録（演算項追加）

編集中の演算項の下に表示されている「追加」ボタンをクリックすると、下に演算項が追加表示されます。

編集中の演算項の上に表示されている「追加」ボタンをクリックすると、上に演算項が挿入されます。

左図の演算式は、以下の通りとなります	
最大 (PDF-A01-001, PDF-A01-002, PDF-A01-003)	
-最小 (PDF-A01-001, PDF-A01-002, PDF-A01-003)	
÷平均 (PDF-A01-001, PDF-A01-002, PDF-A01-003)	
×1000	

■グループアラームを登録する

演算ポイント編集画面で、「グループアラーム」を選択します。。



図 41 演算ポイント編集（グループアラーム：初期表示）

グループアラームは、指定したポイントのうち、指定したアラームの件数を超えた場合にアラーム判定する設定を行います。

例) 指定した計測ポイント 10 ポイントのうち、3 ポイントでアラーム発生したら、演算ポイントとして上限注意アラーム発生、
5 ポイント以上でアラームが発生したら、演算ポイントとして上限異常アラーム発生とする。

(1) 演算設定

演算ポイント編集画面の演算項目毎に表示される編集ボタン () をクリックすると、演算設定画面が表示されます。

集計方法を選択します。選択肢は、以下の通りです。

- ・集計方法：注意/異常

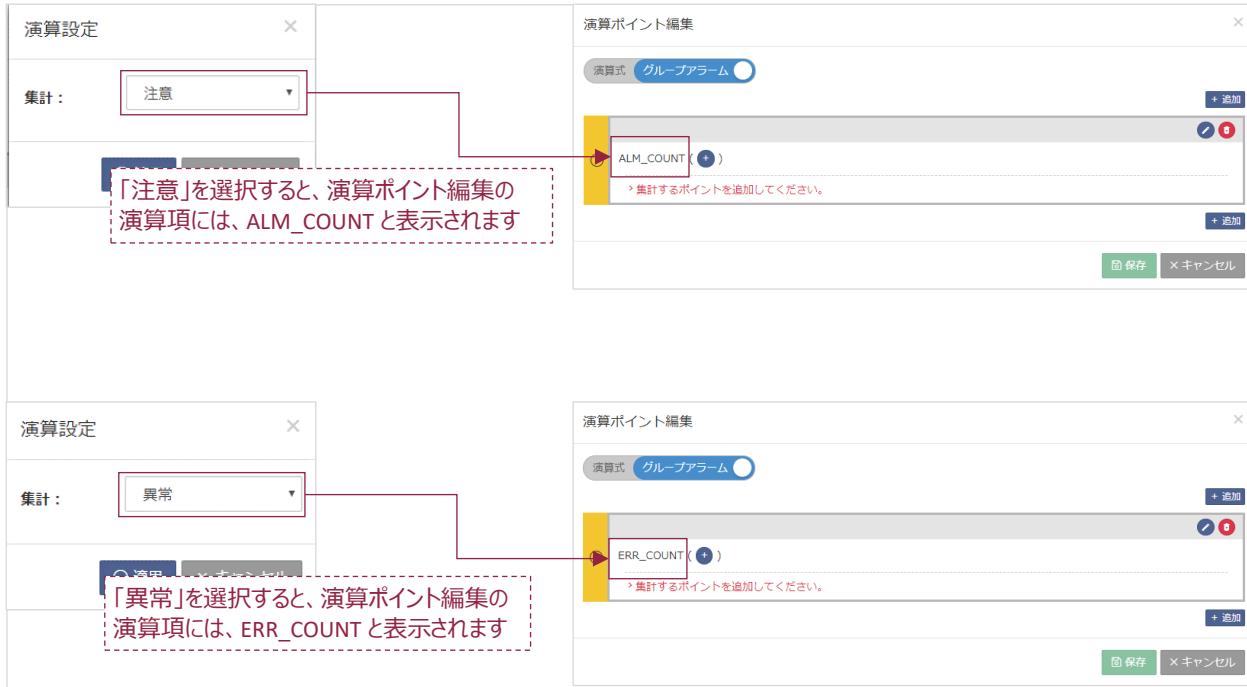


図 42 グループアラーム登録（演算設定）

演算設定で、「注意」を選択すると、演算対象として選択したポイントの注意アラーム（上限注意/下限注意）の発生件数をカウントする設定となります。

同様に、「異常」を選択すると、演算対象として選択したポイントの異常アラーム（上限異常/下限異常）の発生件数をカウントする設定となります。

(2) アラーム対象ポイント選択

演算ポイント編集画面の演算項目毎に表示される「+」ボタンをクリックすると、アラーム対象ポイント選択画面が表示されます。

アラーム対象ポイント選択画面で、ポイントを選択します。

※操作などは、演算式登録（[図 39](#)）と同様です。ご参照ください。

2.4.7 演算ポイントの閾値を登録する

登録した演算ポイントを監視対象とする場合は、ポイント編集画面で閾値を登録します。

(1) 演算ポイントを「演算式」として登録した場合

演算した結果に対する数値で、閾値を登録します。

登録された演算ポイント（演算式）

The screenshot shows the '演算式' tab selected in the top navigation bar. It displays four calculation steps:

- ① MAX (PDF-A-01-001, PDF-A-01-002, PDF-A-01-003)
- ② -MIN (PDF-A-01-001, PDF-A-01-002, PDF-A-01-003)
- ③ ÷AVERAGE (PDF-A-01-001, PDF-A-01-002, PDF-A-01-003)
- ④ × [定数]1000

下記演算式の演算結果（値）を監視します。

【演算式】

最大 (PDF-A01-001, PDF-A01-002, PDF-A01-003)
 -最小 (PDF-A01-001, PDF-A01-002, PDF-A01-003)
 ÷平均 (PDF-A01-001, PDF-A01-002, PDF-A01-003)
 ×1000

ポイント編集画面の閾値登録

The screenshot shows the 'アラーム判定情報' section with the following threshold settings:

閾値（上限異常）	100	閾値（下限異常）	90
閾値（下限異常）		閾値（上限注意）	
不感時間（異常発生）*	60	不感時間（注意発生）*	60
不感時間（異常復旧）*	60	不感時間（注意復旧）*	60

図 43 演算ポイントの閾値設定（演算式）

(2) 演算ポイントを「グループアラーム」として登録した場合

演算ポイントとして登録した注意および異常アラーム件数を、閾値として登録します。

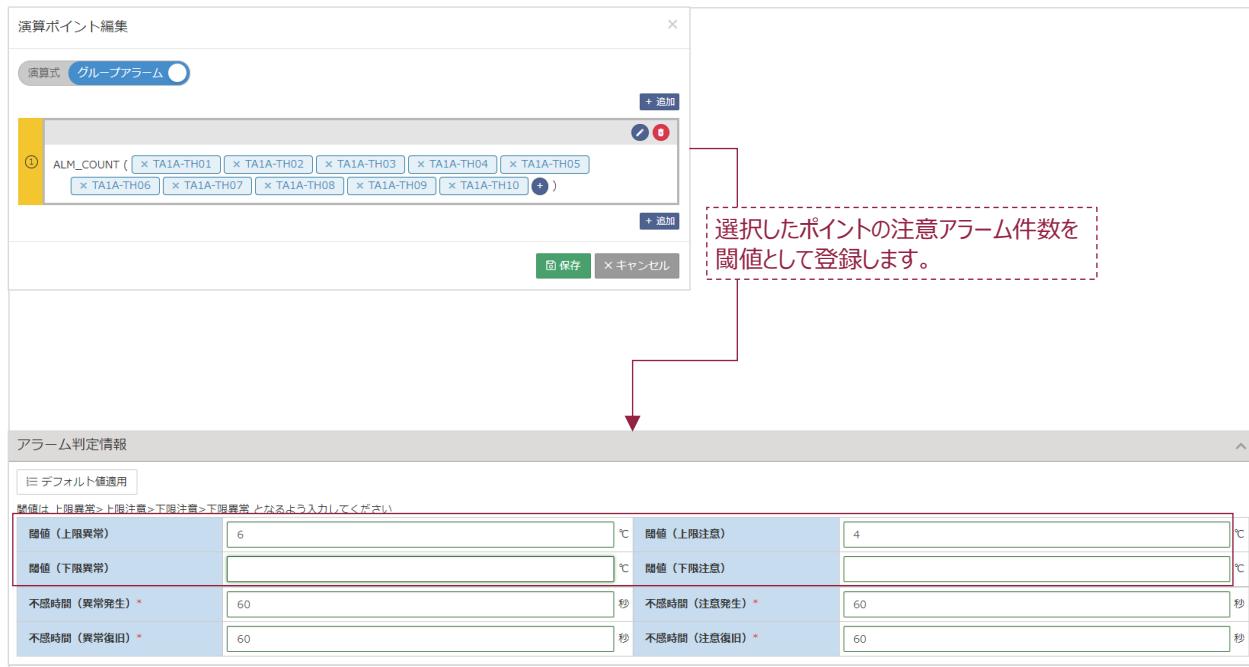


図 44 演算ポイントの閾値設定（グループアラーム）

上図の例は、選択したポイント 10 ポイントのうち、

- ・注意アラームが発生しているポイントが 4 ポイント以上の場合に、演算ポイントの上限注意アラーム
- ・注意アラームが発生しているポイントが 6 ポイント以上の場合に、演算ポイントの上限異常アラームとして判断します。

2.4.8 ポイント情報をまとめて登録する

ポイント情報については、画面からの登録する以外にも、CSV ファイルを使用し、まとめて登録することができます。

ポイント新規登録、登録済みポイントの編集が可能です。

詳細な操作については、「[9.1 ポイント情報をインポートする](#)」をご参照ください。

2.5 管理項目を編集する

ラック画面でラック詳細として登録する項目を設定します。

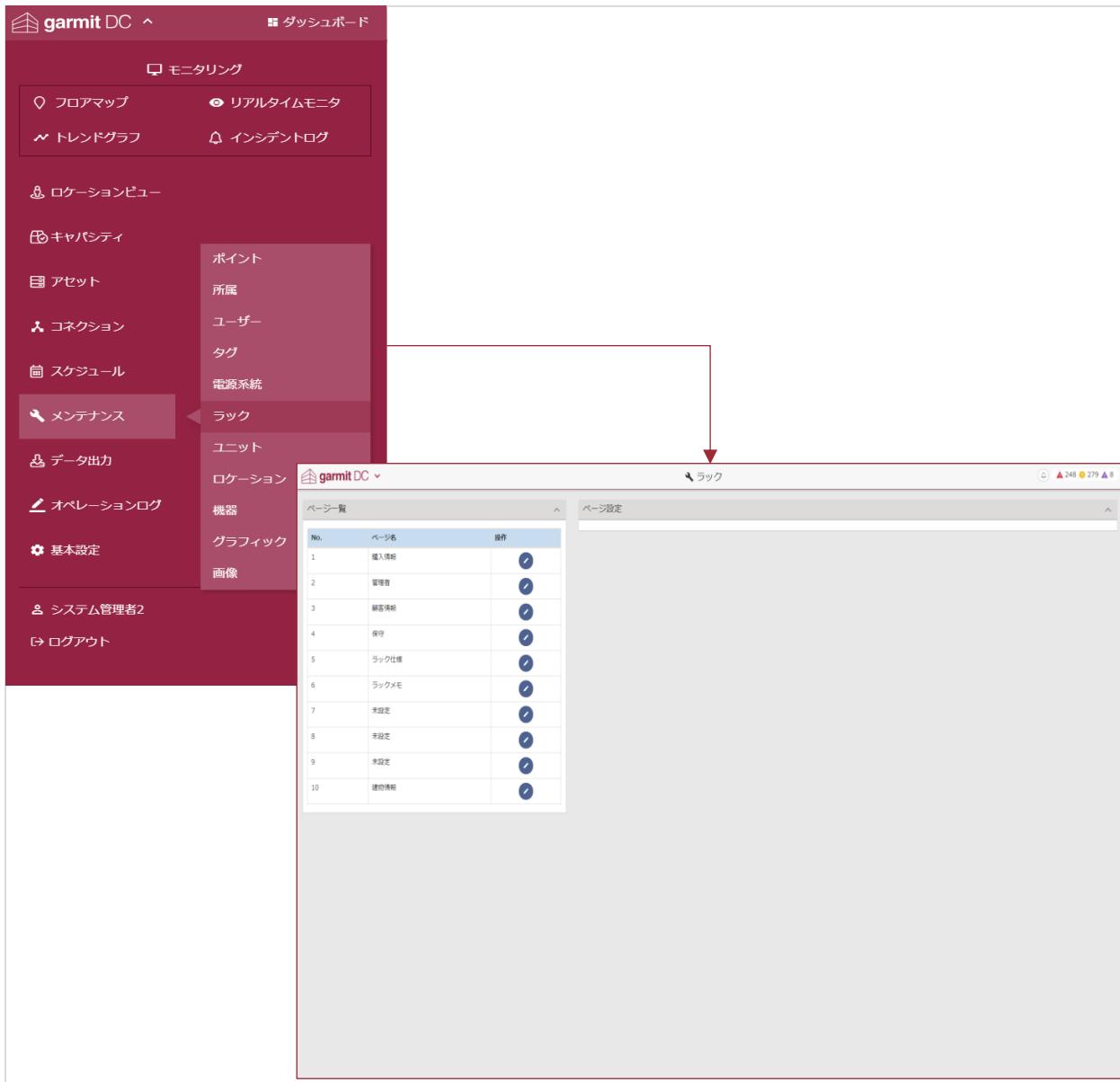


図 45 ラックメンテナンス（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「メンテナンス」>「ラック」を選択します。

ページ一覧に、登録済みのページ名称が表示されます。

※管理項目が登録されていないページも含めて表示されます。

2.5.1 ラック管理項目を編集する

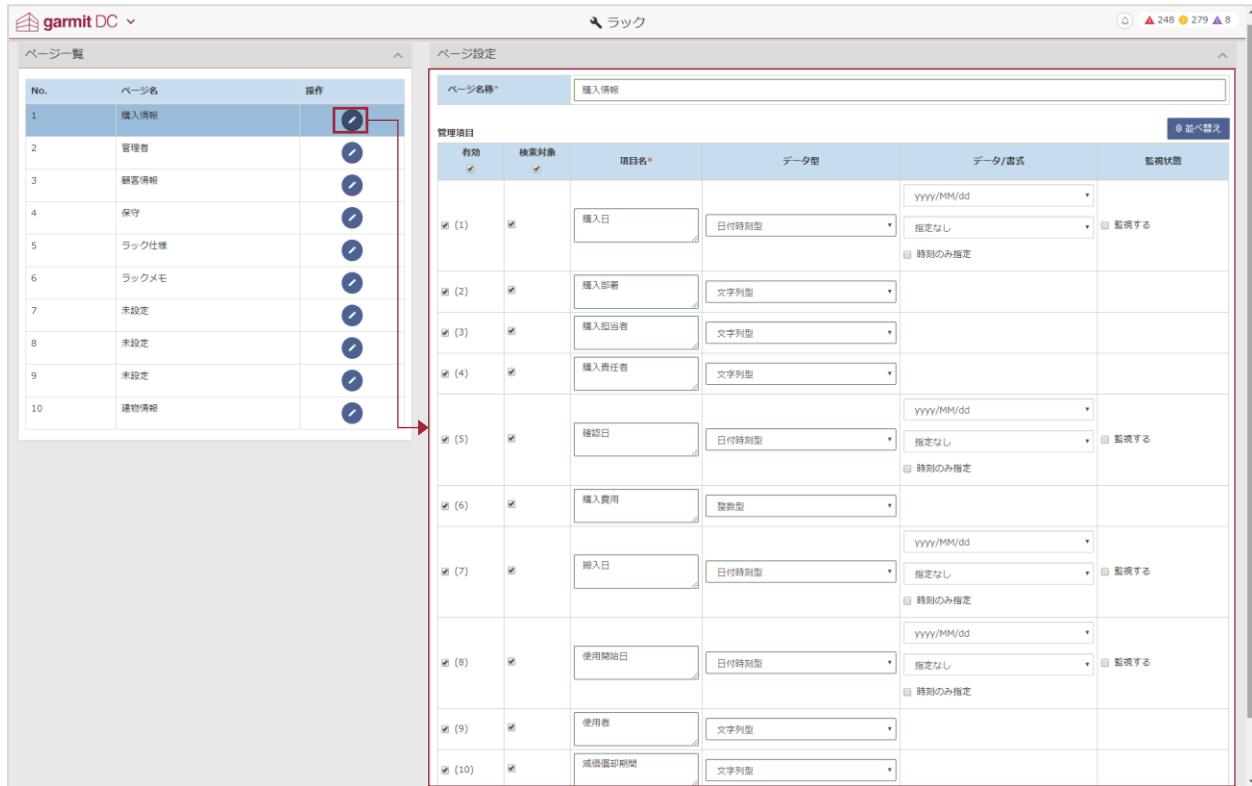


図 46 ラックメンテナンス（編集）

ページ一覧にて、編集対象のページの編集アイコン（）をクリックすると、編集対象項目がページ設定に表示されます。

ページ設定では、ページ名称および管理項目を入力します。

ラック管理項目としては、1 ページあたり 10 項目、10 ページ分（合計 100 項目）設定することができます。

各項目の登録可能なデータ型と書式は、「[表 4 使用可能なデータ型と書式一覧](#)」をご参照ください。

データが登録されている管理項目のデータ型を変更する場合、登録済みデータが全て削除されますので、
ご注意ください！

ラック画面のラック詳細に項目として表示する項目は、ページ設定の「有効」にチェックを入れます。

有効	検索対象	項目名*	データ型	データ/書式	監視状態
<input checked="" type="checkbox"/>		(1) 購入日	日付時刻型	yyyy/MM/dd 指定なし <input checked="" type="checkbox"/> 時刻のみ指定	<input type="checkbox"/> 監視する
<input checked="" type="checkbox"/>		(2) 購入部署	文字列型		
<input checked="" type="checkbox"/>		(3) 購入担当者	文字列型		
<input checked="" type="checkbox"/>		(4) 購入責任者	文字列型		
<input checked="" type="checkbox"/>		(5) 確認日	日付時刻型	HH:mm:ss <input checked="" type="checkbox"/> 時刻のみ指定	
<input checked="" type="checkbox"/>		(6) 購入費用	整数型		
<input checked="" type="checkbox"/>		(7) 購入日	日付時刻型	yyyy/MM/dd 指定なし <input checked="" type="checkbox"/> 時刻のみ指定	<input type="checkbox"/> 監視する
<input checked="" type="checkbox"/>		(8) 使用開始日	日付時刻型	yyyy/MM/dd 指定なし <input checked="" type="checkbox"/> 時刻のみ指定	<input type="checkbox"/> 監視する
<input type="checkbox"/>		(9) 使用者	文字列型		
<input type="checkbox"/>		(10) 減価償却期間	文字列型		

「有効」にチェックが入っている項目のみ、ラック詳細（ラック画面）の項目として表示されます

ラック画面（ラック詳細）

The diagram shows a red arrow pointing from the configuration table above to the 'Rack Details' view below. The 'Rack Details' view displays the columns corresponding to the rows in the configuration table where the 'Effective' checkbox is checked.

ラック詳細	
表示ページ	購入情報
(1) 購入日	yyyy/MM/dd
(2) 購入部署	
(3) 購入担当者	
(4) 購入責任者	
(5) 確認日	HH:mm:ss
(6) 購入費用	
(7) 購入日	yyyy/MM/dd
(8) 使用開始日	yyyy/MM/dd

図 47 ラックメンテナンス（ページ設定【有効】）

アセットレポートなどで、検索条件として設定したい項目については、ページ設定の「検索対象」にチェックを入れます。

有効	検索対象	項目名*	データ型	データ/書式	監視状態
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	購入日	日付時刻型	yyyy/MM/dd 指定なし <input type="checkbox"/> 時刻のみ指定	<input type="checkbox"/> 監視する
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	購入部署	文字列型		
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	購入担当者	文字列型		
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	購入責任者	文字列型		
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	確認日	日付時刻型	HH:mm:ss <input checked="" type="checkbox"/> 時刻のみ指定	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	購入費用	整数型		
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	搬入日	日付時刻型	指定なし <input type="checkbox"/> 時刻のみ指定	<input type="checkbox"/> 監視する
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	使用開始日	日付時刻型	yyyy/MM/dd 指定なし <input type="checkbox"/> 時刻のみ指定	<input type="checkbox"/> 監視する
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用者	文字列型		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	減価償却期間	文字列型		

「検索対象」にチェックが入っている項目のみ、
ラック詳細検索条件として表示されます

アセットレポート画面（検索条件）

選択してください
 ラック名
 ユニット数(U)
 ユニット数(列)
 ラック種別
 耐荷重
 購入情報 - 購入日
 購入情報 - 購入担当者
 購入情報 - 購入費用
 購入情報 - 確認日
 購入情報 - 使用開始日
 購入情報 - 購入部署
 購入情報 - 購入責任者
 購入情報 - 搬入日
 管理者 - 管理部門
 管理者 - 管理区分
 管理者 - 管理係数
 管理者 - 管理担当者
 管理者 - 管理責任者
 顧客情報 - 会社名

図 48 ラックメンテナンス（ページ設定【検索対象】）

表4 使用可能なデータ型と書式一覧

No.	データ型	書式	監視状態	備考
1	文字列型			
2	文字列型（複数行）			
3	整数型			
4	実数型	#+整数+「.」+小数部分		整数、小数部分を0埋め 例) 書式を「#0.00」とした場合:10.00
5	日付時刻型	日付	yyyy/MM/dd	監視する/監視しない 例) 2018/11/01
6			yyyy/M/d	監視する/監視しない 例) 2018/11/1
7			yyyy-MM-dd	監視する/監視しない 例) 2018-11-01
8			yyyy-M-d	監視する/監視しない 例) 2018-11-1
9			yyyy 年 MM 月 dd 日	監視する/監視しない 例) 2018 年 11 月 01 日
10			yyyy 年 M 月 d 日	監視する/監視しない 例) 2018 年 11 月 1 日
11		時刻	HH:mm:ss	監視する/監視しない 例) 01:10:01
12			H:m:s	監視する/監視しない 例) 1:10:1
13			HH 時 mm 分 ss 秒	監視する/監視しない 例) 01 時 10 分 01 秒
14			H 時 m 分 s 秒	監視する/監視しない 例) 1 時 10 分 1 秒
15	選択肢型	(選択肢を追加する)		

データ型が日付時刻型（日付を含む場合のみ）の場合は、監視有無の設定が可能です。

監視する場合には、日数を入力します。

データ型	データ/書式	監視状態
日付時刻型	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1; padding-right: 10px;">YYYY/MM/dd</div> <div style="flex: 1; border: 1px solid #ccc; padding: 2px;">指定なし</div> </div>	<input checked="" type="checkbox"/> 監視する <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 5px;"> 10 日前 </div>
	<input type="checkbox"/> 時刻のみ指定	

図49 ラックメンテナンス（管理項目監視設定）

上図の例の場合、ラック画面で指定した日付の 10 日前の 0:00 を超過すると、注意のアラームが発生します。

ラック画面で指定した日付を超過すると、異常アラームが発生します。

2.5.2 管理項目を並べ替える

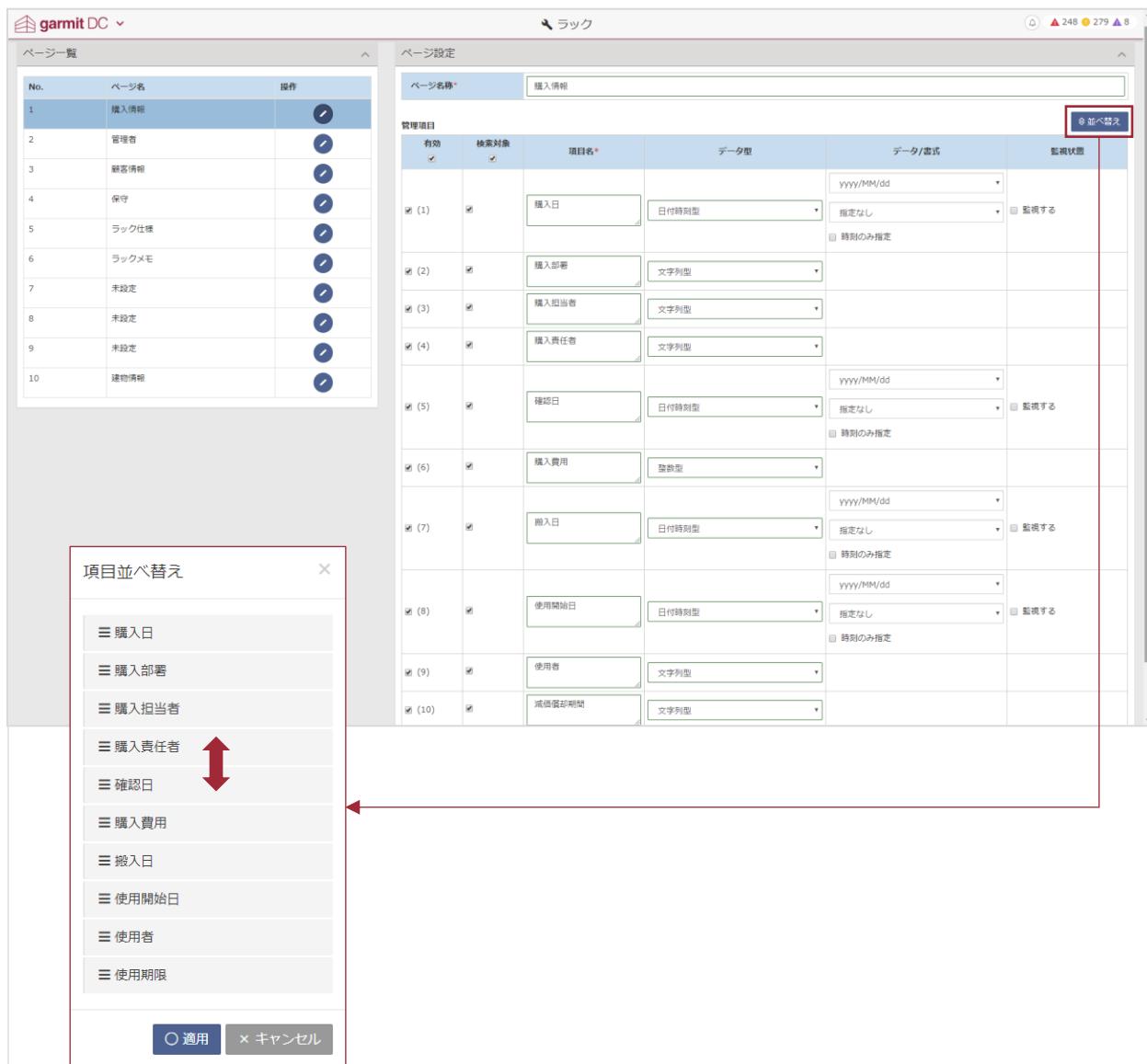


図 50 ラックメンテナンス（管理項目並べ替え）

ページ設定で、「並べ替え」ボタンをクリックすると、項目並べ替え画面が表示され、そこで表示項目をドラッグ & ドロップすると、表示順序が入れ替えて表示されます。

その状態で、項目並べ替え画面の「保存」ボタンをクリックすると、設定した表示順序で、ページ設定の管理項目が表示更新されます。

2.5.3 ユニット管理項目を編集する

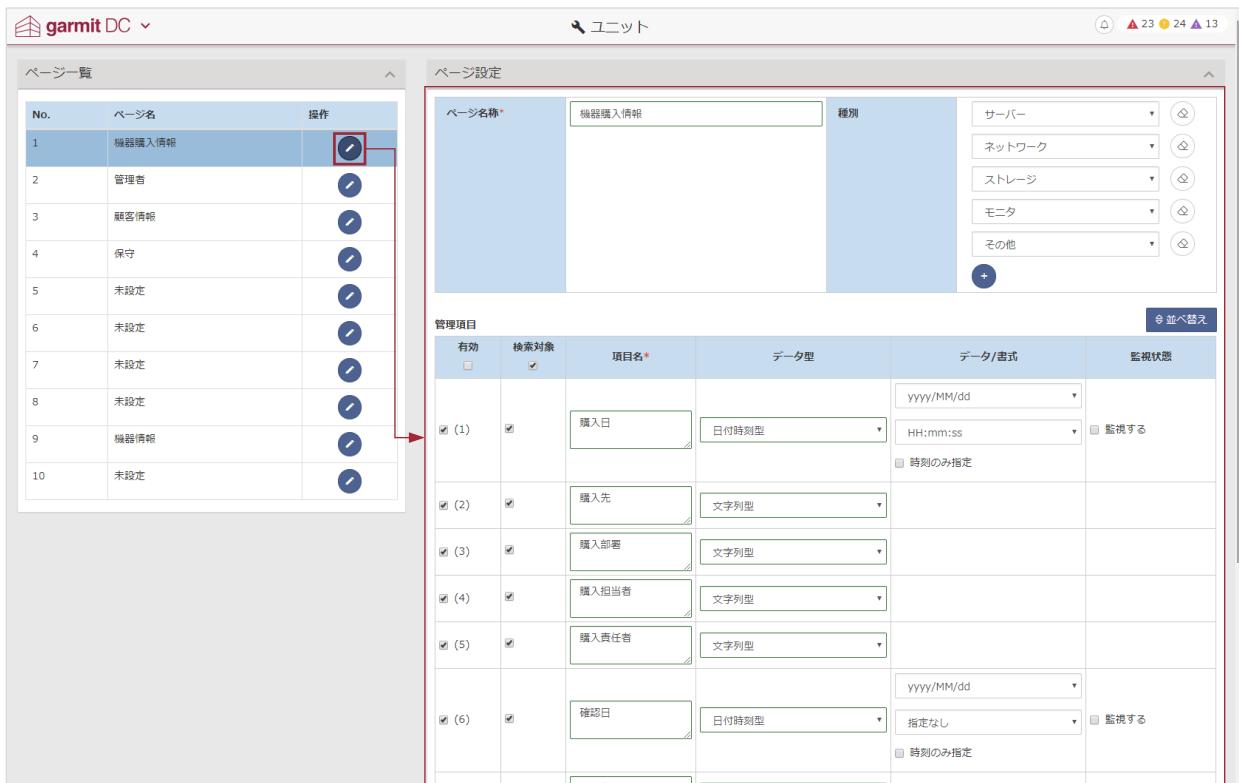


図 51 ユニットメンテナンス（編集）

ページ一覧にて、編集対象のページの編集アイコン（）をクリックすると、編集対象項目がページ設定に表示されます。

ページ設定では、ページ名称、対象ユニット種別、管理項目を入力します。

ユニット管理項目としては、1 ページあたり 10 項目、10 ページ分（合計 100 項目）設定することができます。

各項目の登録可能なデータ型と書式は、「[表 4 使用可能なデータ型と書式一覧](#)」をご参照ください。

データが登録されている管理項目のデータ型を変更する場合、登録済みデータが全て削除されますので、
ご注意ください！

各ページに設定したユニット種別は、ユニット画面にて選択したユニット種別に該当するページのみ表示します。

下図の例の場合、「顧客情報」というページは、種別が「サーバー」「ネットワーク」「ストレージ」の場合に有効となります。

ユニット画面で、ユニット種別「その他」を選択すると、上記の種別に該当しないため、ユニット詳細のページの選択肢には「顧客情報」は表示されません。

The screenshot illustrates the configuration of unit types and the resulting behavior in the unit details screen.

Unit Maintenance (Type) Screen:

- On the left, under "Page Settings", the "Page Name" is set to "顧客情報".
- On the right, under "Type", three types are selected: "サーバー" (Server), "ネットワーク" (Network), and "ストレージ" (Storage).

① Unit Maintenance screen: Type selection

A red box highlights the "Type" section, and a callout box indicates: "① ユニットメンテナンスで対象とした種別以外のユニット種別を選択します" (Select a unit type other than the one targeted in Unit Maintenance).

Unit Screen:

- The title bar shows "garmit DC" and the location path: 東京第一センター > A棟 > 1階 > 1列 > TYO1A10112.
- The main area displays a rack cabinet diagram with various server units labeled.
- The "Unit Selection" panel on the right shows:
 - Unit No.: 1
 - Unit Type: その他 (Other) - highlighted with a red box.
 - Unit ID: U-0000000050
 - Status: 新規 (New)
 - Name: ブランクパネル
 - Font Size: 12.0 px
 - Background Color: Black
 - Image (Front): None
 - Image (Back): None
 - Mounting Position: 38 U x 1 Column
 - Occupied Unit Count: 1 U x 1 Column
 - Weight: 0.5 kg
 - Power: 0 W
 - Power Source: Rack power
 - Comments: (なし)
- ② Page selection肢に該当ページが表示されません** (The page selection肢 does not display the corresponding page)
A red box highlights the "Display Page" dropdown, which is set to "機器購入情報" (Equipment Purchase Information). A callout box indicates: "② ページ選択肢に該当ページが表示されません" (The corresponding page is not displayed in the page selection肢).
- ※「顧客情報」が表示されない** (Customer Information is not displayed)
A red box highlights the "Customer Information" entry in the "Display Page" dropdown. A callout box indicates: "※「顧客情報」が表示されない" (Customer Information is not displayed).

図 52 ユニットメンテナンス（種別設定）

※管理項目の有効/無効、検索対象有無については、「[2.5.1 ラック管理項目を編集する](#)」と同様です。ご参照ください。

※管理項目の並べ替えについては、「[2.5.2 管理項目を並べ替える](#)」と同様です。ご参照ください。

2.6 電源系統を登録・編集する

電源系統図を表示するための情報を登録します。

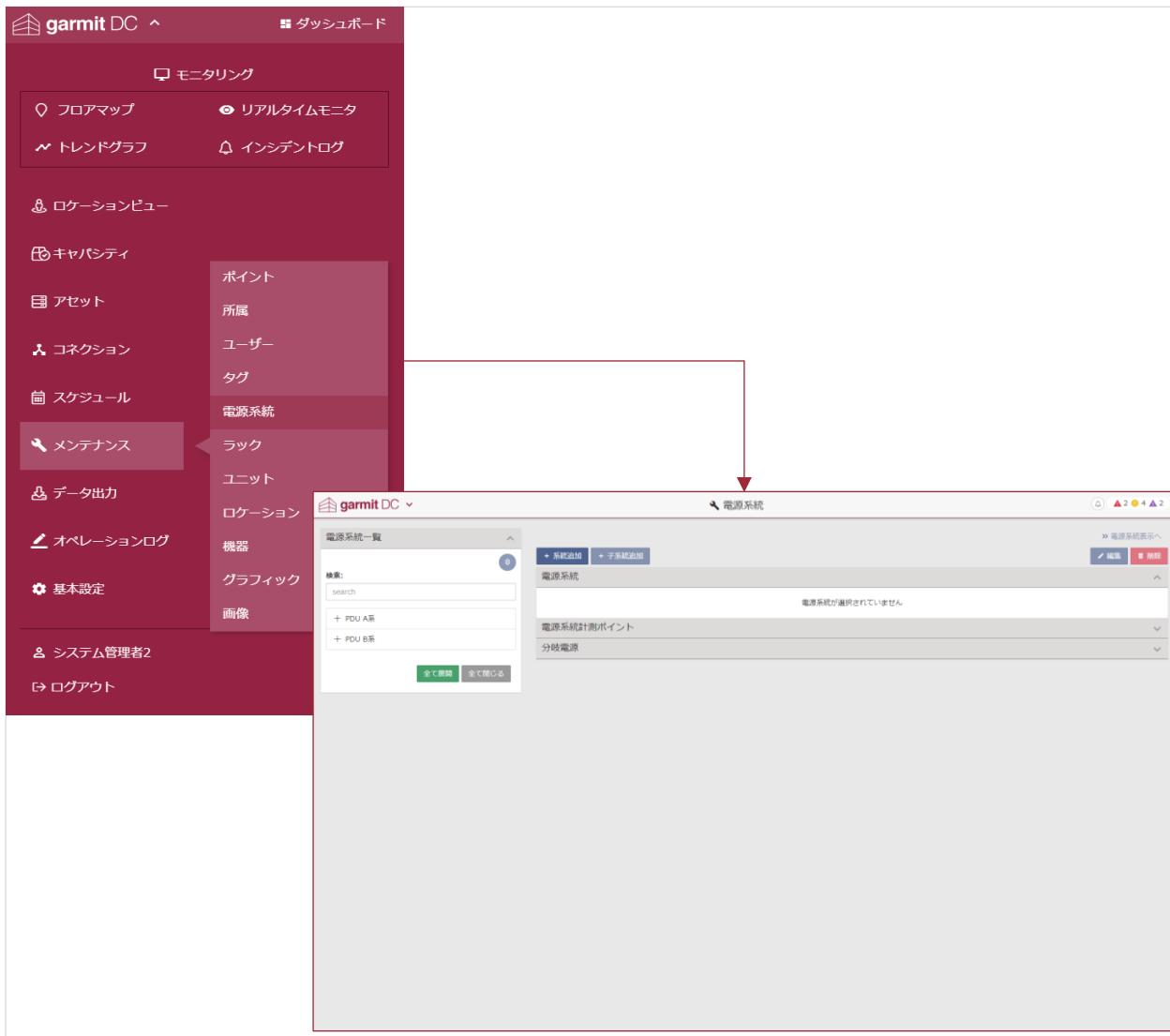


図 53 電源系統メンテナンス（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「メンテナンス」>「電源系統」を選択します。

画面左側の電源系統一覧に、登録済みの電源系統名称（最上位階層のみ）が表示されます。

2.6.1 電源系統を登録・編集する

2.6.1.1 系統を追加する

The screenshot shows the 'garmit DC' software interface. On the left, there is a sidebar titled '電源系統一覧' (Power System List) with a search bar and two buttons: '+ PDU A系' and '+ PDU B系'. Below these are '全て展開' (Expand All) and '全て閉じる' (Collapse All) buttons. In the center, there is a main panel titled '電源系統' (Power System). At the top of this panel are two buttons: '+ 系統追加' (Add System) and '+ 子系統追加' (Add Subsystem). The main area is divided into sections: '親電源系統' (Parent Power System), '電源系統名*' (Power System Name), '配電方式*' (Distribution Method), '対象外' (Excluded), '定格電流値' (Nominal Current Value), 'A', '定格電圧値' (Nominal Voltage Value), 'V', 'Hz', '定格周波数' (Nominal Frequency), '分歧電源数*' (Number of Subsources), '0 行 × 0 列 0', and a note '行: 1~100までの数値を入力してください' (Row: Enter a value between 1 and 100). Below these sections are '電源系統計測ポイント' (Power System Measurement Points) and '分歧電源' (Subsources) sections, each with a collapse button.

図 54 電源系統メンテナンス（新規追加）

電源系統一覧で未選択のまま「系統追加」ボタンをクリックすると、最上位階層に電源系統を追加します。

電源系統一覧で、任意の電源系統を選択した状態で「系統追加」ボタンをクリックすると、選択中の電源系統と同階層の電源系統を追加します。

また、電源系統一覧で、任意の電源系統を選択した状態で「子系統追加」ボタンをクリックすると、選択中の電源系統の配下に電源系統を追加します。

電源系統概要（[2.6.1.2](#)）、電源系統計測ポイント（[2.6.1.3](#)）、分歧電源（[2.6.1.4](#)）を入力し、「保存」ボタンをクリックすると、電源系統一覧に登録した電源系統名称が追加表示されます。

2.6.1.2 電源系統概要を登録・編集する

(1) 親電源系統を選択する

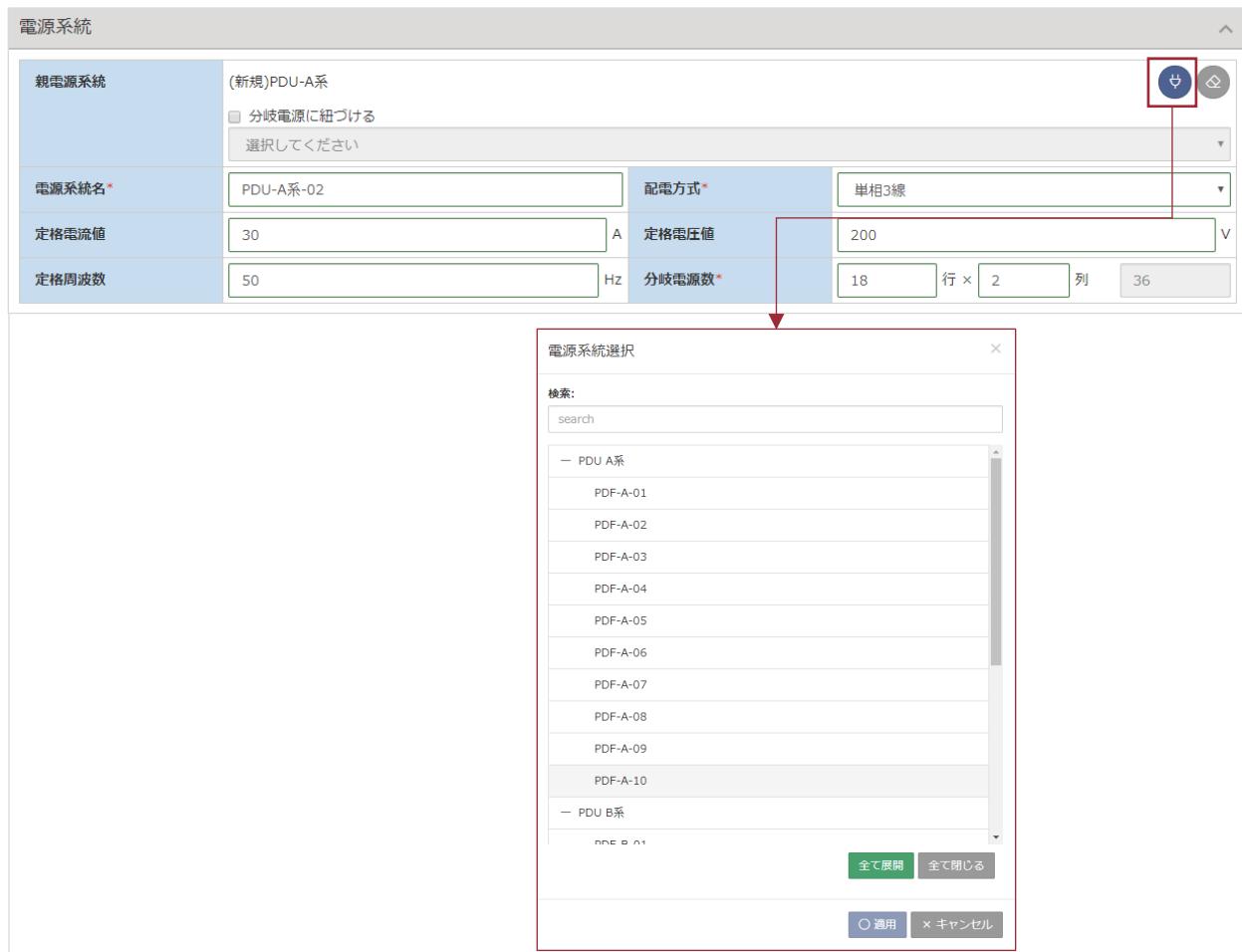


図 55 電源系統概要（親電源系統選択）

電源系統一覧にて、電源系統を選択した状態で、「編集」ボタンをクリックすると、選択中の電源系統情報を編集できます。

親電源系統を紐づける場合は、親電源系統の右上に表示されている電源系統選択ボタン（）をクリックし、表示された電源系統選択画面から、親として登録する電源系統を選択します。

電源系統一覧で、親電源系統を持つ電源系統を選択している場合には、登録済みの親電源系統名称を初期表示します。

親電源系統設定を解除する場合には、「クリア」ボタン（）をクリックします。

(2) 分岐電源に紐づける

The screenshot shows a software interface for managing power systems. At the top, there's a header '電源系統' (Power System). Below it, a section titled '親電源系統' (Parent Power Source System) contains a checkbox labeled '(新規)PDU-A系' (New PDU-A Series) and a dropdown menu '分岐電源に紐づける' (Associate with Branch Power Source) with the instruction '選択してください' (Please select). The main configuration area includes fields for '電源系統名*' (Power System Name) set to 'PDU-A系-02', '定格電流値' (Nominal Current Value) set to '30 A', '定格周波数' (Nominal Frequency) set to '50 Hz', '配電方式*' (Distribution Method) set to '単相3線' (Single-phase three-wire), '定格電圧値' (Nominal Voltage Value) set to '200 V', and '分岐電源数*' (Number of Branch Power Sources) set to '18 行 × 2 列 = 36'. A large downward arrow points from the 'Associate with Branch Power Source' section to a detailed list of branch power sources below. This list is titled '選択してください' (Please select) and contains a long list of options starting with 'PDU-A02-BR01' through 'PDU-A02-BR19'. A red box highlights the title '選択した親電源系統の分岐電源' (Selected Parent Power Source System Branch Power Source).

図 56 電源系統概要（分岐電源選択）

親電源系統の分岐電源に紐づける場合には、親電源系統の「分岐電源に紐づける」にチェックを入れると、親電源系統として選択した電源系統の分岐電源が選択肢として一覧表示されます。

表示された分岐電源の一覧から、対象の分岐電源を選択します。

(3) 分岐電源数を登録する

電源系統

親電源系統	PDU A系 □ 分岐電源に紐づける 選択してください		
電源系統名*	PDF-A-01	配電方式*	単相3線
定格電流値	600 A	定格電圧値	200 V
定格周波数	50 Hz	分岐電源数*	10 行 × 2 列 20

図 57 電源系統概要（分岐電源数）

分岐電源数を行および列を指定することで登録します。

本項目は、分岐電源数の最大数を登録し、分岐電源（[2.6.1.4](#)）を登録することで、電源系統図を自動で作成することができます。

例) 分岐電源数（分岐電源登録済）が 10 行 × 2 列の場合

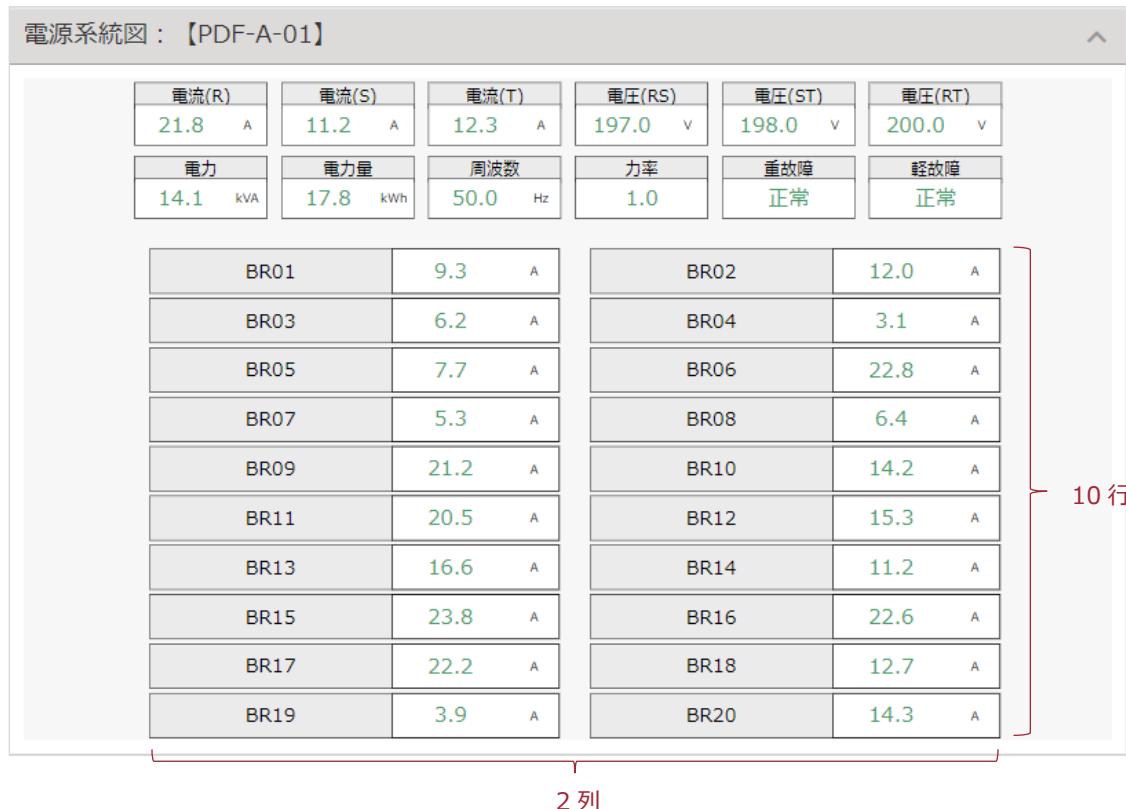


図 58 電源系統図（10 行 × 2 列）

2.6.1.3 電源系統計測ポイントを登録・編集する

(1) 計測ポイントを追加・編集する

The screenshot illustrates the process of managing power system measurement points. At the top, there's a toolbar with '削除' (Delete) and '+ 追加' (Add). A red box highlights the 'Edit' icon in the list of 12 items. A callout box labeled ① indicates that clicking the edit icon or the 'Add' button will open the 'Edit Power System Measurement Point' dialog.

Edit Power System Measurement Point Dialog:

- Index: 1 (highlighted with a red box)
- Display Name: 电流(R) (highlighted with a red box)
- Point: PDF-A-01_電流(R)
- Buttons: 「適用」 (Apply) and 「キャンセル」 (Cancel) (highlighted with a red box)

Point Selection Dialog:

A callout box labeled ② indicates that clicking the 'Point Selection' button in the edit dialog will open the 'Point Selection' dialog.

Point No	Point Name	Location	Alarm Monitoring	Upper Limit (Abnormal Value)	Lower Limit
21	PDF-A-01_電流(R)	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する	180	160
22	PDF-A-01_電流(S)	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する	180	160
23	PDF-A-01_電流(T)	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する	180	160
24	PDF-A-01_電圧(RS)	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する		
25	PDF-A-01_電圧(ST)	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する		
26	PDF-A-01_電圧(RT)	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する	1980	
27	PDF-A-01_電力	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する		
28	PDF-A-01_電力量	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する		
29	PDF-A-01_周波数	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する		
30	PDF-A-01_力率	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する		

A callout box labeled ③ indicates that selecting a point from the list and clicking 'Apply' will update the main edit dialog.

図 59 電源系統計測ポイント登録方法

電源系統計測ポイントは、分岐電源以外の計測値を紐づける場合に登録します。

例としては、マルチメーターで測定しているデータ（電流、電圧、電力、電力量 等）があります。

登録済みの計測ポイントを編集する場合は、一覧で編集対象となる計測ポイントを選択し、編集アイコン（）をクリックします。

新規登録する場合には、「追加」ボタンをクリックします。

表示された電源系統計測ポイント編集画面で、インデックス（表示順）、表示名称、紐づけるポイントを設定します。

紐づけるポイントは、ポイント選択画面で検索し、一覧からポイントを選択します。

電源系統計測ポイントとして登録したポイントは、電源系統図の上部に表示されます。

【電源系統図例】

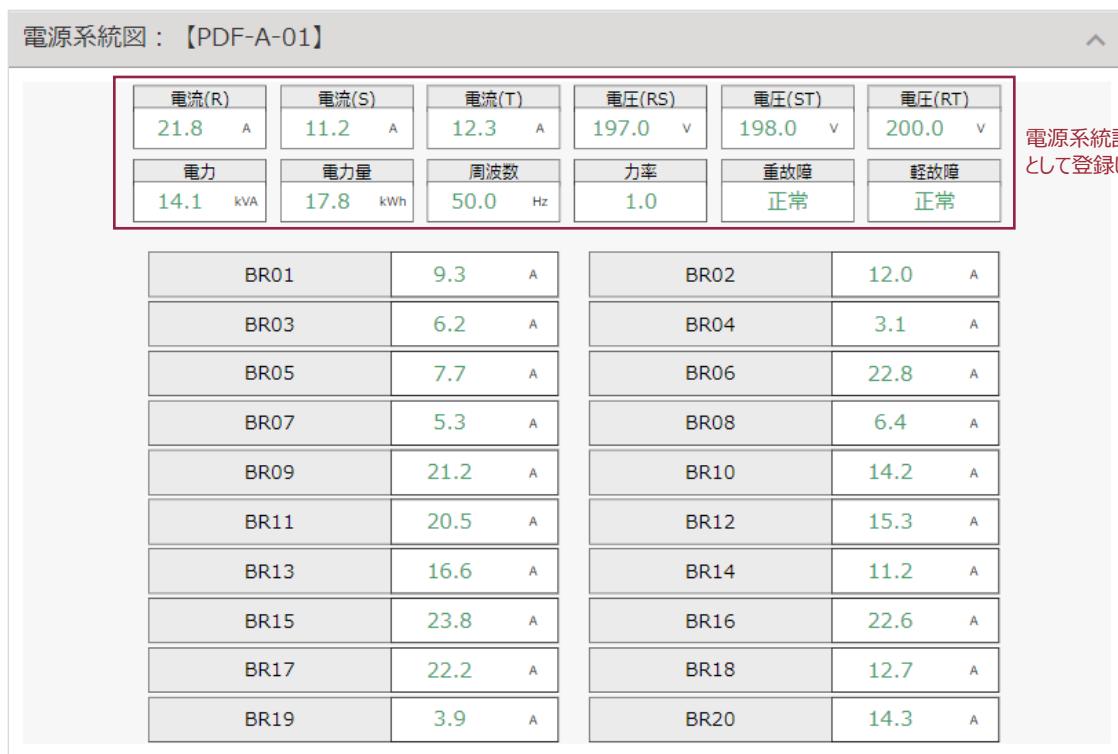


図 60 電源系統図（計測ポイント）

(2) 計測ポイントを削除する

電源系統計測ポイント				
		インデックス	表示名称	ポイント
<input checked="" type="checkbox"/>	 	1	電流(R)	PDF-A-01_電流(R)
<input checked="" type="checkbox"/>	 	2	電流(S)	PDF-A-01_電流(S)
<input type="checkbox"/>	 	3	電流(T)	PDF-A-01_電流(T)
<input type="checkbox"/>	 	4	電圧(RS)	PDF-A-01_電圧(RS)
<input type="checkbox"/>	 	5	電圧(ST)	PDF-A-01_電圧(ST)

図 61 電源系統計測ポイント削除

登録済みの計測ポイントを削除する場合は、計測ポイント一覧で削除対象となる計測ポイントを選択し、「削除」ボタンをクリックするか、対象となる計測ポイント行の削除アイコン（）をクリックします。

2.6.1.4 分岐電源を登録・編集する

(1) 分岐電源を追加・編集する

The screenshot shows the 'Power Source' registration interface. At the top, there is a toolbar with '削除' (Delete), '+ 追加' (Add), and a search bar. Below the toolbar is a table listing five power sources (BR01 to BR05). A red box highlights the edit icon in the first row. A dashed red box encloses the first four rows with the text: '①一覧の編集アイコンをクリックするまたは「追加」ボタンをクリックすると、分岐電源編集画面を表示します。' (When you click the edit icon in the list or the 'Add' button, the power source edit dialog will be displayed). An arrow points from this box down to the 'Edit Power Source' dialog.

分岐電源編集

電源名称*	BR01	ステータス*	未使用	
表示位置*	1 行 × 1 列	ポイント	PDF-A-01-001	
定格電流値	30	A	定格電圧値	200

② ポイントを紐づける場合は、ポイント選択ボタンをクリックすると、ポイント選択画面が表示されます。

ポイント選択

検索結果

ポイントNo	ポイント名称	ロケーション	アラーム監視	閾値(上限異常)	閾値
21	PDF-A-01_電流(R)	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する	180	160
22	PDF-A-01_電流(S)	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する	180	160
23	PDF-A-01_電流(T)	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する	180	160
24	PDF-A-01_電圧(RS)	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する		
25	PDF-A-01_電圧(ST)	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する		
26	PDF-A-01_電圧(RT)	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する	1980	
27	PDF-A-01_電力	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する		
28	PDF-A-01_電力量	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する		
29	PDF-A-01_周波数	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する		
30	PDF-A-01_力率	東京データセンター A棟 1F サーバールームA	する		

③ ポイントを選択して「適用」ボタンをクリックすると
分岐電源編集画面に反映されます。

図 62 分岐電源登録方法

登録済みの分岐電源を編集する場合は、一覧で編集対象となる分岐電源を選択し、編集アイコン（）をクリックします。

新規登録する場合には、「追加」ボタンをクリックします。

表示された分岐電源編集画面で、名称、定格電流、定格電圧、表示位置（行、列）、ステータス、紐づけるポイントを設定します。

紐づけるポイントは、ポイント選択画面で検索し、一覧からポイントを選択します。

(2) 分岐電源を削除する



		名称	定格電流値 (A)	定格電圧値 (V)	行	列	ステータス	ポイント	子電源系統
<input checked="" type="checkbox"/>	 	BR01	30	200	1	1	未使用	PDF-A-01-001	
<input checked="" type="checkbox"/>	 	BR02	30	200	1	2	未使用	PDF-A-01-002	
<input type="checkbox"/>	 	BR03	30	200	2	1	未使用	PDF-A-01-003	
<input type="checkbox"/>	 	BR04	30	200	2	2	未使用	PDF-A-01-004	
<input type="checkbox"/>	 	BR05	30	200	3	1	未使用	PDF-A-01-005	

20 件中 1 から 5 までを表示

< < 1 2 3 4 > >>

図 63 分岐電源削除

登録済みの分岐電源を削除する場合は、分岐電源一覧で削除対象となる分岐電源を選択し、「削除」ボタンをクリックするか、対象となる分岐電源行の削除アイコン（）をクリックします。

2.6.2 電源系統を削除する

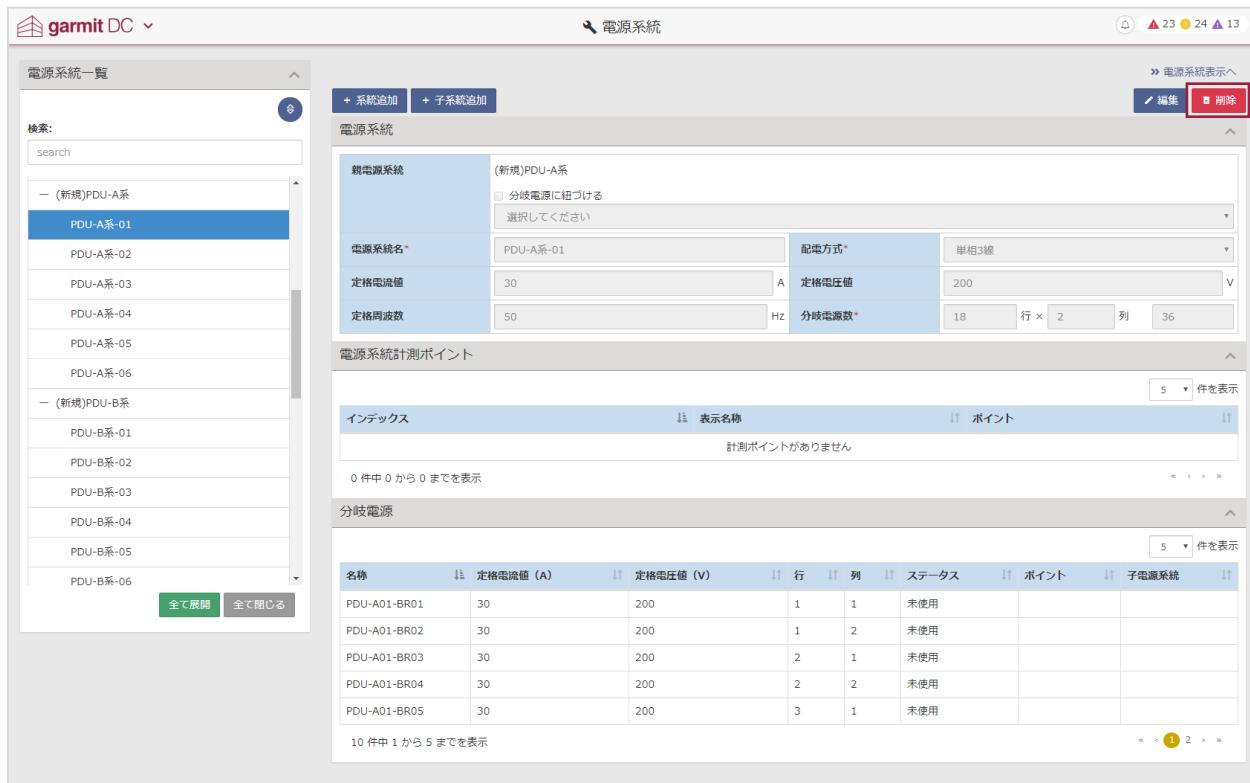


図 64 電源系統メンテナンス（削除）

電源系統一覧にて、削除対象の電源系統を選択した状態で、「削除」ボタンをクリックすると、電源系統が削除されます。

ただし、分岐電源がラック電源として紐づけられている場合には、削除できません。

2.6.3 電源系統一覧を並べ替える



図 65 電源系統一覧並べ替え

電源系統一覧で、電源系統を選択し、並べ替えアイコン（）をクリックすると、一覧が並べ替えモードで表示されます。

並べ替えモードの一覧で、項目をドラッグして順序を入れ替えて、「保存」ボタンをクリックします。

並べ替え対象となるのは、選択した電源系統と同階層の電源系統のみです。

親電源系統や子電源系統との入れ替えはできません。

2.7 ポイントをグルーピングする

任意のポイント、ラック、ユニットをグルーピング（タグ付け）することができます。

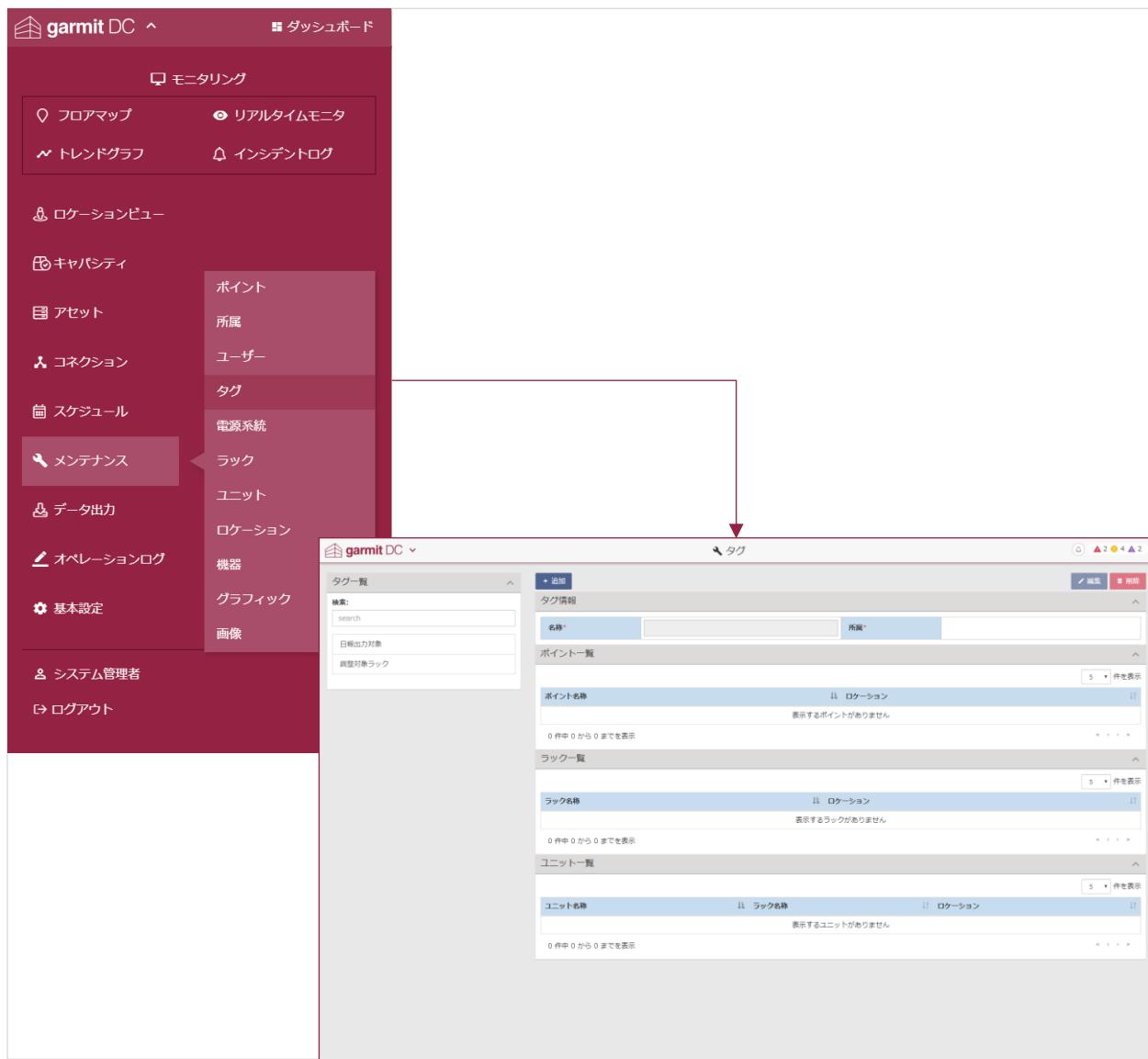


図 66 タグメンテナンス（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「メンテナンス」>「タグ」を選択すると、タグメンテナンス画面が表示されます。

初期表示は、登録済みのタグ一覧（未選択状態）です。

タグ一覧には、ログインユーザーの所属およびその配下の所属に紐づくタグ名称が表示されます。

2.7.1 タグを新規登録する

The screenshot shows the 'Tag Maintenance' interface in new registration mode. It consists of four main sections:

- タグ情報**: A form with fields for '名称*' (Name*) and '所属*' (Category*). Both fields are highlighted in red with the message '必須項目です' (Required item).
- ポイント一覧**: A list view with columns for 'ポイント名称' (Point Name) and 'ロケーション' (Location). It displays the message '表示するポイントがありません' (No points to display).
- ラック一覧**: A list view with columns for 'ラック名称' (Rack Name) and 'ロケーション' (Location). It displays the message '表示するラックがありません' (No racks to display).
- ユニット一覧**: A list view with columns for 'ユニット名称' (Unit Name), 'ラック名称' (Rack Name), and 'ロケーション' (Location). It displays the message '表示するユニットがありません' (No units to display).

Each section has a red '削除' (Delete) button and a blue '+ 追加' (Add) button. The '件を表示' (Items to display) dropdown is set to 5.

図 67 タグメンテナンス（新規登録）

タグメンテナンス画面で、「追加」ボタンをクリックすると、タグ情報が新規登録モードで表示されます（[図 67](#)）。

タグ名称を入力し、紐づける所属を選択します。

紐づける所属として選択できるのは、ログインユーザーの所属およびその配下の所属となります。

ポイント一覧で、「追加」ボタンをクリックすると、ポイント選択画面を表示され、グルーピング対象とするポイントを選択できます。

ラック一覧で、「追加」ボタンをクリックすると、ラック選択画面を表示され、グルーピング対象とするラックを選択できます。

このとき、選択したラックに搭載したユニットもまとめて登録することができます。

ユニット一覧で、「追加」ボタンをクリックすると、ユニット選択画面を表示され、グルーピング対象とするユニットを選択できます。

このとき、選択したユニットが搭載されているラックもまとめて登録することができます。

2.7.2 タグを編集する

Point ID	Point Name	Location	Description
PDF-A-01-001	PDF-A-01-001	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 T...	
PDF-A-01-002	PDF-A-01-002	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 T...	
PDF-B-01-001	PDF-B-01-001	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 T...	
PDF-B-01-002	PDF-B-01-002	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 T...	
TA1A-TH01	TA1A-TH01	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 T...	

Rack ID	Rack Name	Location	Description
TA1A0101	TA1A0101	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 T...	
TA1A0102	TA1A0102	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 T...	

Unit ID	Unit Name	Rack ID	Location
TA1A0103	ストレージサーバー	TA1A0103	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 T...
TA1A0102	テストNW L2スイッチ	TA1A0102	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 T...
TA1A0102	テストサーバー01	TA1A0102	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 T...
TA1A0102	テストサーバー02	TA1A0102	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 T...
TA1A0102	テストサーバー03	TA1A0102	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 T...

図 68 タグメンテナンス（編集）

タグメンテナンス画面で、タグ一覧から編集対象のタグを選択し、「編集」ボタンをクリックすると、タグ情報が編集モードで表示されます。

各入力項目、選択方法については、新規登録（[2.7.1](#)）と同様です。ご参照ください。

2.7.3 タグを削除する

The screenshot shows the garmit DC application window. The main title bar says 'garmit DC'. Below it, there's a toolbar with icons for search, refresh, and other functions. The main content area has several tabs: 'タグ一覧' (Tag List), 'タグ情報' (Tag Information), 'ポイント一覧' (Point List), 'ラック一覧' (Rack List), and 'ユニット一覧' (Unit List). In the 'タグ一覧' tab, there's a search bar and a table with columns '名前' (Name) and 'ロケーション' (Location). One row in the table is highlighted with a blue background. To the right of the table, there's a large red rectangular box highlighting the '削除' (Delete) button. The status bar at the bottom shows '33 件中 1 から 5 までを表示' (Showing 1 to 5 of 33 items).

図 69 タグメンテナンス（削除）

タグ一覧にて、削除対象のタグを選択した状態で、「削除」ボタンをクリックすると、タグ情報が削除されます。

2.7.4 ポイントメンテナンスから追加する

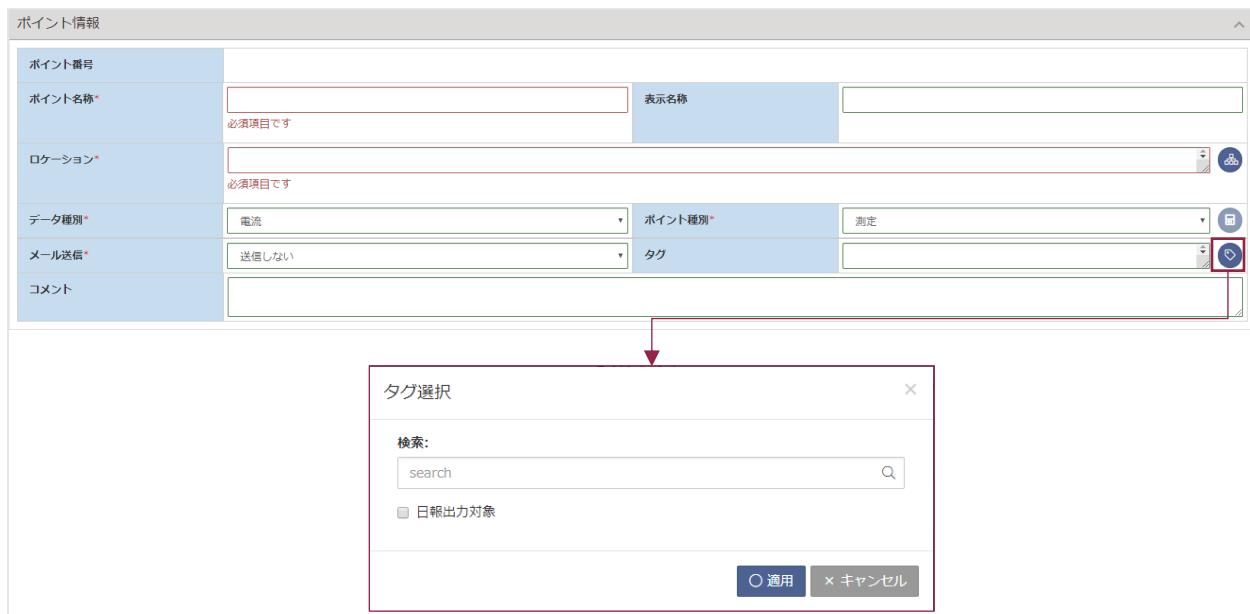


図 70 ポイントメンテナンス（タグ選択）

ポイント情報編集時、ポイント編集画面の「タグ選択」ボタン（）をクリックすると、タグ選択画面が表示されます。

このとき、タグ選択画面に表示されるのは、ログインユーザーの所属に紐づくタグ情報のみです。

※タグメンテナンスで一覧に表示されるのは、ログインユーザーの所属およびその配下に紐づくタグ情報の一覧が表示されます。

今回の例ですと、

タグメンテナンス画面に表示されるタグ一覧…「日報出力対象」「調整対象ラック」

ポイントメンテナンスのタグ選択画面に表示されるタグ一覧…「日報出力対象」

となります。

この場合、「日報出力対象」は、ログインユーザーの所属に紐づけられたタグ、「調整対象ラック」はログインユーザーの所属配下の所属に紐づけられ値でいるため、ポイント編集時のタグ一覧には表示されないということになります。

2.8 電気錠設定を登録する

電気錠とドアの状態の組合せにより、ラックこじ開けと判定する条件を設定します。

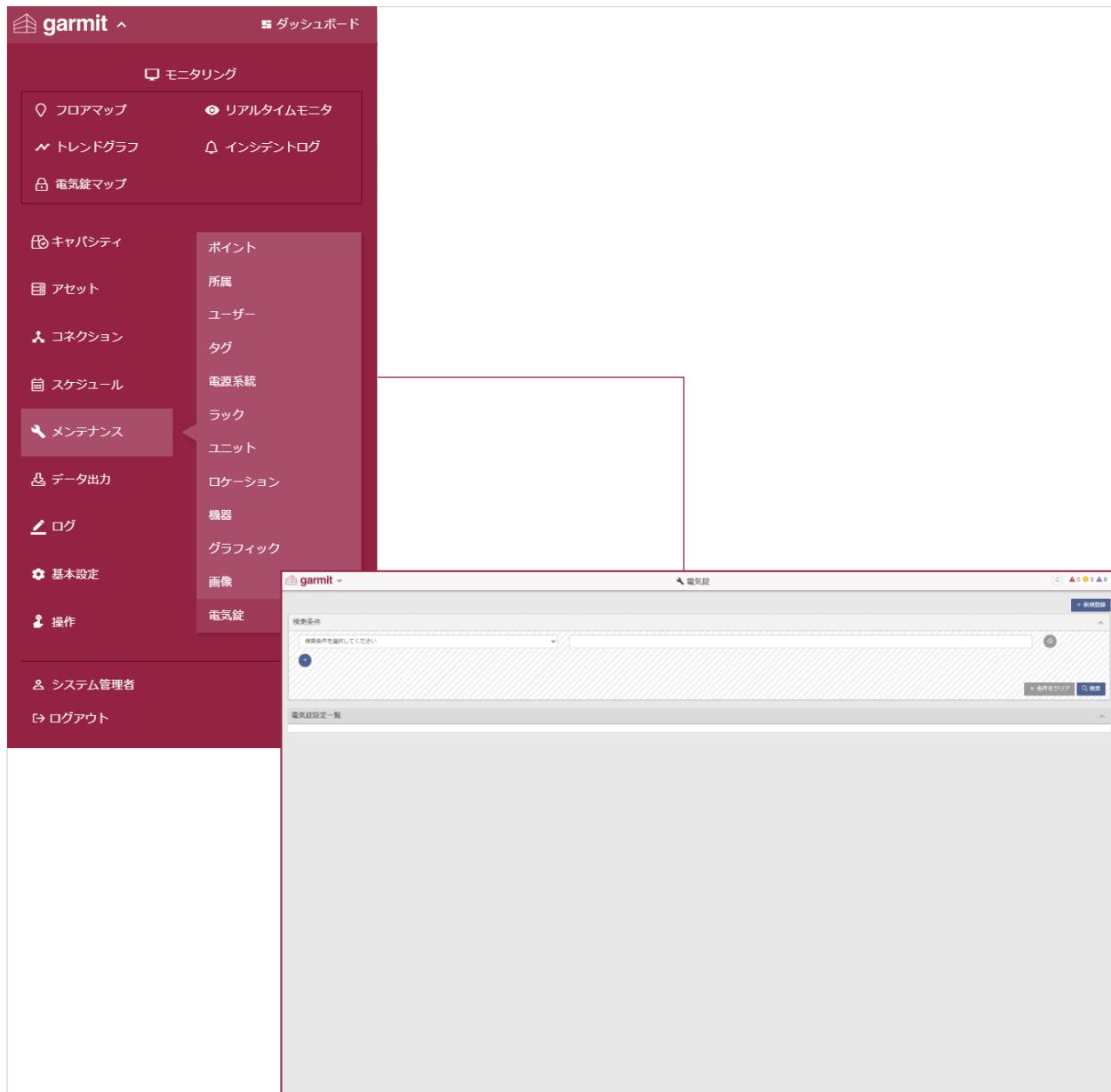


図 71 電気錠メンテナンス（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「メンテナンス」>「電気錠」を選択すると、電気錠メンテナンス画面（[図 71](#)）が表示されます。

2.8.1 電気錠設定を検索する

The screenshot shows a search conditions dialog box titled '検索条件' (Search Conditions). It has a dropdown menu labeled '検索条件を選択してください' (Please select a search condition) and a text input field. At the bottom right are two buttons: '× 条件をクリア' (Clear conditions) and a blue '検索' (Search) button.

図 72 電気錠設定検索条件

(1) 検索条件を指定する

検索条件を指定します。

指定できる検索条件は下記の通りです。検索条件を指定しない場合、全件検索します。

検索条件	説明
ロケーション	登録済みのロケーションから検索対象を選択し、紐づいている電気錠設定を検索する
所属	登録済みの所属から検索対象を選択し、紐づいている電気錠設定を検索する

※検索条件の追加、検索条件クリア、検索方法については、「[2.2.1 所属情報を検索する](#)」と同様です。ご参照ください。

2.8.2 電気錠設定を一覧表示する

設定ID	ロケーション	対象	電気錠ポイント	電気錠施設番号	ドアセンサポイント	ドア番号	ごじ開けアラーム発生不感時間(秒)	ごじ開けアラーム復旧不感時間(秒)
1	東京第1データセンター 2F A1 A110	前面 / 背面	2A110_電気錠	0 (LOCK)	2A110_ドア状態	1 (CLOSE)	60	60
2	東京第1データセンター 2F A1 A111	前面 / 背面	2A111_電気錠	0 (LOCK)	2A111_ドア状態	1 (CLOSE)	60	60
3	東京第1データセンター 2F A1 A112	前面 / 背面	2A112_電気錠	0 (LOCK)	2A112_ドア状態	1 (CLOSE)	60	60
4	東京第1データセンター 2F A1 A113	前面 / 背面	2A113_電気錠	0 (LOCK)	2A113_ドア状態	1 (CLOSE)	60	60
5	東京第1データセンター 2F A1 A114	前面 / 背面	2A114_電気錠	0 (LOCK)	2A114_ドア状態	1 (CLOSE)	60	60
6	東京第1データセンター 2F A1 A115	前面 / 背面	2A115_電気錠	0 (LOCK)	2A115_ドア状態	1 (CLOSE)	60	60
7	東京第1データセンター 2F A1 A116	前面 / 背面	2A116_電気錠	0 (LOCK)	2A116_ドア状態	1 (CLOSE)	60	60
8	東京第1データセンター 2F A1 A117	前面 / 背面	2A117_電気錠	0 (LOCK)	2A117_ドア状態	1 (CLOSE)	60	60
9	東京第1データセンター 2F A1 A118	前面 / 背面	2A118_電気錠	0 (LOCK)	2A118_ドア状態	1 (CLOSE)	60	60
10	東京第1データセンター 2F A2 A201	前面 / 背面	2A201_電気錠	0 (LOCK)	2A201_ドア状態	1 (CLOSE)	60	60

図 73 電気錠設定一覧

検索条件を指定して「検索」ボタンをクリックすると、検索結果が電気錠設定一覧として表示されます。

検索直後は、設定 ID の昇順で表示されます。

検索条件に該当するデータがない場合には、「検索条件に該当する電気錠設定がありません」とメッセージが表示されます。

一覧表示中は、一覧情報の並べ替え、絞り込み、表示項目変更、レポート出力が可能です。

※操作方法については、「[2.2.2 所属情報一覧を表示する](#)」と同様です。ご参照ください。

2.8.3 電気錠設定を新規登録する

The screenshot shows the 'garmit' application window with the title '電気錠'. The main area is titled '電気錠設定編集' (Edit Electric Lock Setting). The form contains the following fields:

ID			
ロケーション*	必須項目です		
鍵種別*	<input checked="" type="radio"/> 電気錠 <input type="radio"/> 物理錠		
対象*	前面 / 背面		
電気錠ポイント*	選択してください 必須項目です	電気錠施錠値*	選択してください 必須項目です
ドアセンサポイント*	選択してください 必須項目です	ドア閉値*	選択してください 必須項目です
こじ開け発生不感時間	60 秒	こじ開け復旧不感時間	60 秒

図 74 電気錠設定編集（新規登録）

電気錠設定一覧画面で、「新規登録」ボタンをクリックすると、電気錠設定編集画面（図 74）が表示されます。

ロケーション、鍵種別、対象、電気錠ポイント、電気錠施錠値、ドアセンサポイント、ドア閉値、不感時間を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

保存結果が表示され、「OK」をクリックすると、当該画面が消去され、一覧画面が表示されます。

電気錠設定編集画面で「キャンセル」ボタンをクリックすると、当該画面が消去され、一覧画面が表示されます。

項目名に「*」がついているものは、入力必須項目です。

(1) ロケーション

電気錠設定を登録する対象のロケーションを選択します。

(2) 鍵種別

ラック錠（物理錠/電気錠）の種別を選択します。

(3) 対象

対象（前面/背面/（前面/背面））を選択します。

(4) 電気錠ポイント

電気錠ポイントを選択します。

選択肢には選択したロケーションに紐づく、計測機器およびアドレスが設定されている接点ポイントのリストが表示されます。

(5) 電気錠施錠値

電気錠を施錠した時の値を選択します。

選択肢には、ポイントメンテナンスで電気錠ポイントとして登録した ON 値、OFF 値が表示されます。

(6) ドアセンサポイント

ドアセンサポイントを選択します。

選択肢には選択ロケーションに紐づく、計測機器およびアドレスが設定されている接点ポイントのリストが表示されます。

(7) ドア閉値

ドアが閉じている時の値を選択します。

選択肢には、ポイントメンテナンスでドアセンサポイントとして登録した ON 値、OFF 値が表示されます。

(8) こじ開け発生不感時間、こじ開け復旧不感時間

こじあけアラームと判定する不感時間（発生/復旧）を入力します。

単位は「秒」です。

【電気錠設定例】

電気錠設定編集	
ID	1
ロケーション*	東京第1データセンター / 1F / A / A10
種別*	<input checked="" type="radio"/> 電気錠 <input type="radio"/> 物理錠
対象*	前面 / 背面
電気錠ポイント*	A10_電気錠
ドアセンサポイント*	A10_ドア状態
こじ開け発生不感時間	0 秒
電気錠施錠値*	0 (LOCK)
ドア閉値*	1 (CLOSE)
こじ開け復旧不感時間	0 秒

図 75 電気錠設定編集画面

この画面では、電気錠・ドア共に締まっている状態を登録します。

電気錠の施錠時の値は、仕様によって変わります。

[図 75](#) の例ですと、電気錠の施錠が「0」、ドアの閉扉が「1」がどちらも締まっている設定となります。

この場合は、電気錠が「0」（施錠状態）、ドア状態が「0」（ドア開扉）となった場合にこじ開けとなります。

電気錠の設定と併せて、こじ開けと判定するまでの時間、こじ開け復旧と判定するまでの時間を設定します。

2.8.4 電気錠設定を編集する

<電気錠設定一覧（複数選択）>

電気錠設定一覧									
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
設定ID	ロケーション	対象	電気錠ポイント	電気錠操作値	トアセンサポイント	トア開閉	こじ開けアラーム発生不感時間（秒）	こじ開けアラーム復旧不感時間	
1	東京第1データセンター 2F A1 A110	前面 / 背面	2A110_電気錠	0 (LOCK)	2A110_ドア状態	1 (CLOSE)	60		
2	東京第1データセンター 2F A1 A111	前面 / 背面	2A111_電気錠	0 (LOCK)	2A111_ドア状態	1 (CLOSE)	60		
3	東京第1データセンター 2F A1 A112	前面 / 背面	2A112_電気錠	0 (LOCK)	2A112_ドア状態	1 (CLOSE)	60		
4	東京第1データセンター 2F A1 A113	前面 / 背面	2A113_電気錠	0 (LOCK)	2A113_ドア状態	1 (CLOSE)	60		
5	東京第1データセンター 2F A1 A114	前面 / 背面	2A114_電気錠	0 (LOCK)	2A114_ドア状態	1 (CLOSE)	60		
6	東京第1データセンター 2F A1 A115	前面 / 背面	2A115_電気錠	0 (LOCK)	2A115_ドア状態	1 (CLOSE)	60		
7	東京第1データセンター 2F A1 A116	前面 / 背面	2A116_電気錠	0 (LOCK)	2A116_ドア状態	1 (CLOSE)	60		
8	東京第1データセンター 2F A1 A117	前面 / 背面	2A117_電気錠	0 (LOCK)	2A117_ドア状態	1 (CLOSE)	60		
9	東京第1データセンター 2F A1 A118	前面 / 背面	2A118_電気錠	0 (LOCK)	2A118_ドア状態	1 (CLOSE)	60		
10	東京第1データセンター 2F A2 A201	前面 / 背面	2A201_電気錠	0 (LOCK)	2A201_ドア状態	1 (CLOSE)	60		

180 件中 1 から 10 までを表示

◀ 1 2 3 4 5 … 18 ▶ *

<電気錠設定編集（一括編集）>

図 76 電気錠設定編集（一括編集）

検索結果一覧で、電気錠設定を選択し「編集」ボタンをクリックする、もしくは一覧の編集アイコンをクリックすると、電気錠設定編集画面（[図 75](#)）が表示されます。項目の編集については、新規登録と同様です。

一覧で、複数の電気錠設定を選択して「編集」ボタンをクリックすると、一括編集モードで電気錠編集画面（[図 76](#)）が表示されます。

※一括編集モードの編集画面の操作方法については、「[2.2.4 所属情報を編集する](#)」と同様です。ご参照ください。

2.8.5 電気錠設定を削除する

電気錠設定一覧								
	設定ID	ロケーション	対象	電気錠ポイント	電気錠操作値	ドアセンサポイント	ドア開値	こじ開けアラーム発生不感時間(秒)
<input type="checkbox"/>	1	東京第1データセンター 2F A1 A110	前面 / 背面	2A110_電気錠	0 (LOCK)	2A110_ドア状態	1 (CLOSE)	60 60
<input type="checkbox"/>	2	東京第1データセンター 2F A1 A111	前面 / 背面	2A111_電気錠	0 (LOCK)	2A111_ドア状態	1 (CLOSE)	60 60
<input type="checkbox"/>	3	東京第1データセンター 2F A1 A112	前面 / 背面	2A112_電気錠	0 (LOCK)	2A112_ドア状態	1 (CLOSE)	60 60
<input type="checkbox"/>	4	東京第1データセンター 2F A1 A113	前面 / 背面	2A113_電気錠	0 (LOCK)	2A113_ドア状態	1 (CLOSE)	60 60
<input type="checkbox"/>	5	東京第1データセンター 2F A1 A114	前面 / 背面	2A114_電気錠	0 (LOCK)	2A114_ドア状態	1 (CLOSE)	60 60
<input type="checkbox"/>	6	東京第1データセンター 2F A1 A115	前面 / 背面	2A115_電気錠	0 (LOCK)	2A115_ドア状態	1 (CLOSE)	60 60
<input type="checkbox"/>	7	東京第1データセンター 2F A1 A116	前面 / 背面	2A116_電気錠	0 (LOCK)	2A116_ドア状態	1 (CLOSE)	60 60
<input type="checkbox"/>	8	東京第1データセンター 2F A1 A117	前面 / 背面	2A117_電気錠	0 (LOCK)	2A117_ドア状態	1 (CLOSE)	60 60
<input type="checkbox"/>	9	東京第1データセンター 2F A1 A118	前面 / 背面	2A118_電気錠	0 (LOCK)	2A118_ドア状態	1 (CLOSE)	60 60
<input type="checkbox"/>	10	東京第1データセンター 2F A2 A201	前面 / 背面	2A201_電気錠	0 (LOCK)	2A201_ドア状態	1 (CLOSE)	60 60

180 件中 1 から 10 までを表示

図 77 電気錠設定削除

電気錠設定一覧で、電気錠設定を選択して「削除」ボタンをクリックする、もしくは一覧の各行に表示されている削除アイコンをクリックすると、選択した電気錠設定が削除され、一覧が表示更新されます。

3 モニタリング

3.1 アラーム発生状況を確認する

3.1.1 フロアマップで確認する

フロアマップ上で、アラーム発生状況を確認します。

メニューから、「モニタリング」>「フロアマップ」を選択し、さらにレイアウト選択すると、フロアマップが表示されます。

フロアマップ情報の矩形（以下、オブジェクト）を選択すると、選択したオブジェクト（ロケーション）に紐づくポイントの計測値が表示されます。

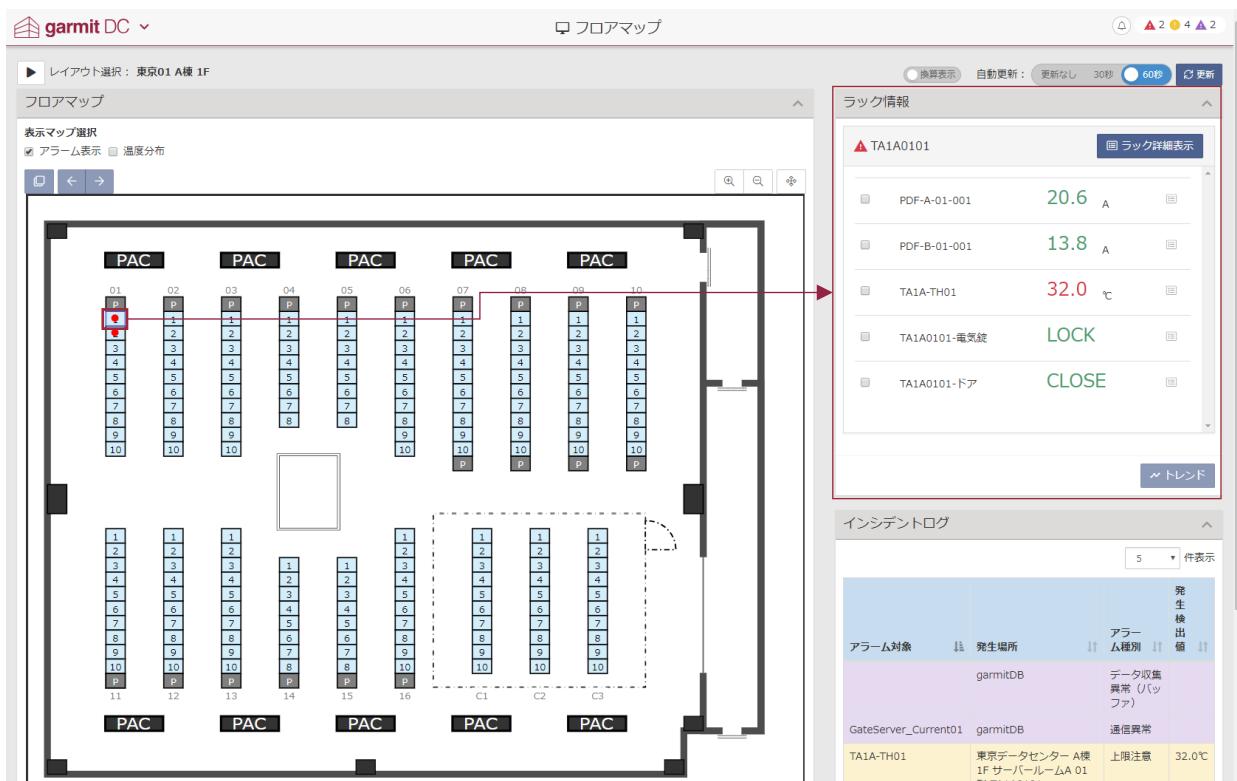


図 78 フロアマップ（アラーム表示）

フロアマップで、「アラーム表示」にチェックを入れると、アラームが発生しているポイントが紐づけられているオブジェクトにバッヂを表示します。

バッヂの表示色は、以下の通りです。

注意閾値超過の場合：黄（🟡） / 異常閾値超過の場合：赤（🔴）

3.1.2 ラック情報で確認する

フロアマップに表示されたラック情報で、さらに詳細な情報を確認することができます。

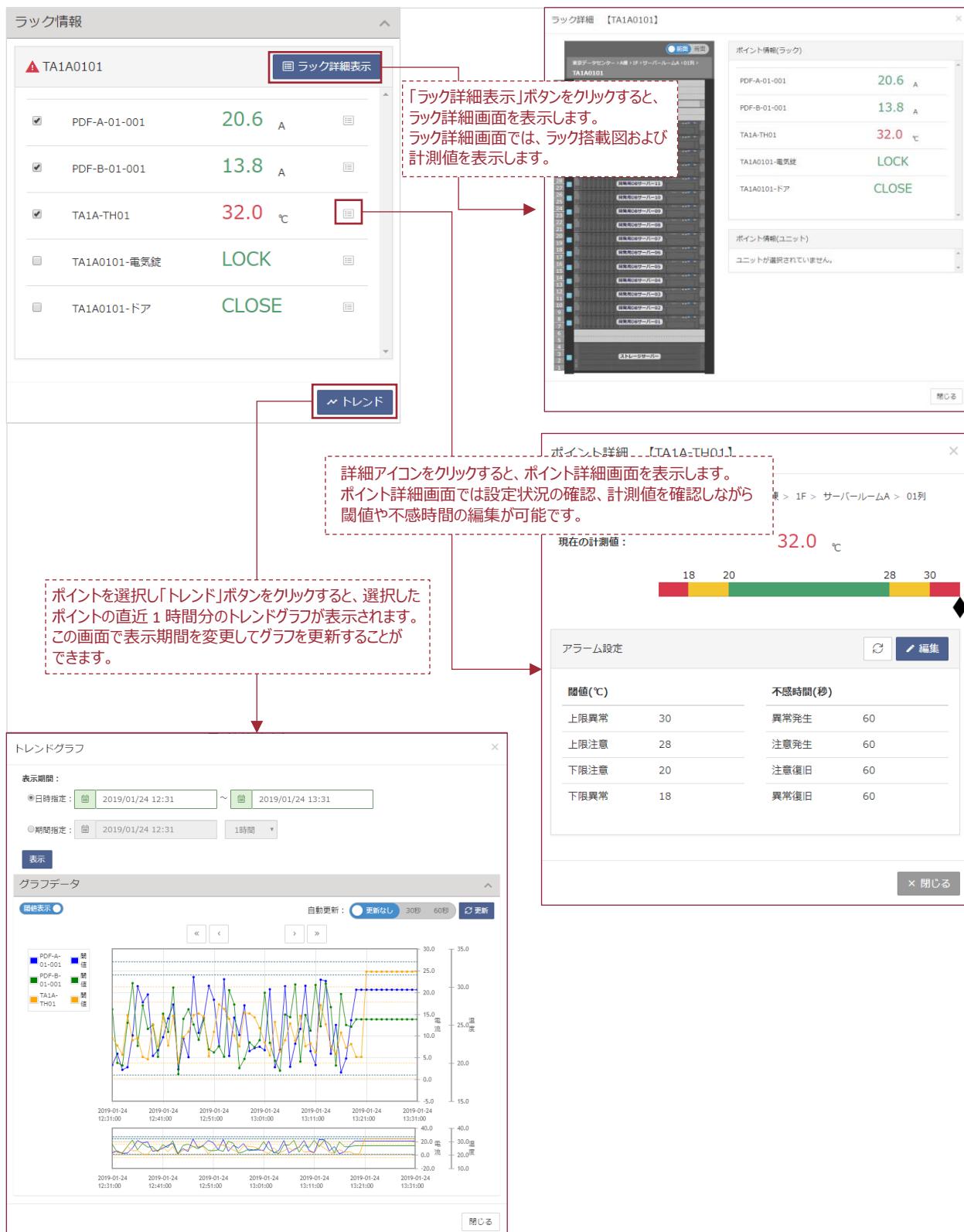


図 79 ラック情報からの各詳細表示

■アセット（ユニット）管理項目でアラームが発生している場合

ラック搭載図の該当するユニットの左側に、アラームアイコンが表示されます。



図 80 ラック詳細（アセットアラーム表示）

3.1.3 インシデントログで確認する

フロアマップに表示されたインシデントログは、選択したフロアマップで発生中のアラーム一覧を表示します。

全てのインシデントログを確認するには、フロアマップに表示されたインシデントログの「インシデントログ」ボタンをクリックするか、メニューから「モニタリング」>「インシデントログ」を選択します。

The diagram illustrates the workflow for viewing incident logs. It starts with a screenshot of the 'garmit DC' interface showing a floor map with several alarm notifications. A red box highlights the '△ インシデントログ' (Incident Log) button located at the bottom right of the floor map area. A red arrow points from this button to a second screenshot, which shows the 'garmit DC' interface with the 'モニタリング' (Monitoring) menu open. The 'インシデントログ' (Incident Log) option is selected and highlighted with a red box. A red arrow points from this menu item to a third screenshot, which displays the 'Incident Log' list page ('インシデントログ' tab selected). This page shows a detailed list of incidents, including their alarm ID, target, date, location, confirmation date, previous date, and alarm type. The list includes entries for system errors and specific alarms like 'TYO1A10101 保守期限'.

アラーム番号	アラーム対象	発生日時	発生場所	確認日時	復旧日時	アラーム種別
44497	▲ システムエラー	2019/01/09 16:43:00	東京DB			データ収集異常(実計)
44496	▲ システムエラー	2019/01/09 16:43:00	メイン-DB			データ収集異常(実計)
44495	G-MCCB-B02	2019/01/09 16:02:15	メイン-DB			通信異常
44482	P-TYO1A101-T	2019/01/09 10:11:00	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10107	2019/01/09 13:08:34		上限注意
44476	TYO1A10115	2019/01/09 09:36:10	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10115	2019/01/09 16:41:14		荷重制限超過
44437	TYO1A10116	2019/01/08 16:03:20	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10116	2019/01/09 16:42:37		荷重制限超過
44436	TYO1A10116	2019/01/08 16:03:20	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10116	2019/01/09 16:45:16		荷重制限超過
44435	TYO1A10115	2019/01/08 16:03:20	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10115			荷重制限超過
44390	TYO1A2102 保守期限	2018/12/31 00:00:00	東京第一センター A棟 2階 1列 TYO1A2102			期限超過
44389	TYO1A10101 無償保証期間	2019/12/31 00:00:00	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101			期限超過

図 81 インシデントログ

インシデントログの初期表示は、システムに登録した全ての監視ポイントでアラームが発生中のものだけ表示します。

The screenshot shows the 'Incident Log' interface. At the top, there are buttons for 'Delete' (削除), 'Confirm' (確認), and a filter for 'Unconfirmed' (未確認のみ). Below is a table with columns: Alarm ID (アラーム番号), Alarm Target (アラーム対象), Occurrence Location (発生場所), Occurrence Time (発生日時), Recovery Time (復旧日時), Confirmation Time (確認日時), and Confirmation Person (確認者). The table contains several rows of alarm data, with the last row highlighted in pink.

アラーム番号	アラーム対象	発生場所	発生日時	復旧日時	確認日時	確認者
2943	TA1A-TH03	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0103	2019/01/22 20:09:00			
2935	▲ システムエラー	garmitDB	2019/01/22 19:46:20			
2933	▲ システムエラー	garmitDB	2019/01/22 19:45:41			
2932	TA1A-TH01	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0101	2019/01/21 18:45:00			
2931	▲ 異常	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0101	2019/01/21 18:45:00			
2939	● 注意	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0102	2019/01/20 00:00:00			
2938	● 注意	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0102	2019/01/20 00:00:00			
2940	▲ 異常	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0102	2018/12/31 00:00:00			

図 82 インシデントログ（初期表示）

(1) アラームを確認状態にする

アラーム発生中として表示されているアラームを、「確認済み」として表示する場合には、アラーム一覧の該当アラームにチェックを入れて「確認」ボタンをクリックするか、確認対象アラームの確認アイコン（）をクリックすると、確認状態となります。

確認状態となると、対象アラームの背景色が白で表示されます。

The screenshot shows two rows of alarm data. The first row has a checked checkbox in the header and a checked checkmark icon in the second column. The second row has an unchecked checkbox in the header and an unchecked checkmark icon in the second column. A red dashed box highlights the second row, with a callout pointing to it stating: '発生中のアラームを「確認状態」とすると該当するアラームの背景色が白で表示されます' (When an active alarm is set to 'confirmed status', the background color of the corresponding alarm will be white).

<input checked="" type="checkbox"/>		● 注意	2939	テストサーバー02 保守契約期限	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0102	2019/01/20 00:00:00			
<input type="checkbox"/>		● 注意	2939	テストサーバー02 保守契約期限	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0102	2019/01/20 00:00:00			2019/01/23 20:19:42

図 83 アラーム確認済み登録

3.1.4 アラームサイドバーで確認する

アラームの発生状況は、右上のアラーム件数、アラーム件数をクリックすると表示されるアラームサイドバーで確認することができます。

またアラームが発生した際の通知タイミングは、 マークをクリックすると、「非表示/異常のみ/異常+注意」を選択できます。

初期表示時は、「異常のみ」となっています。

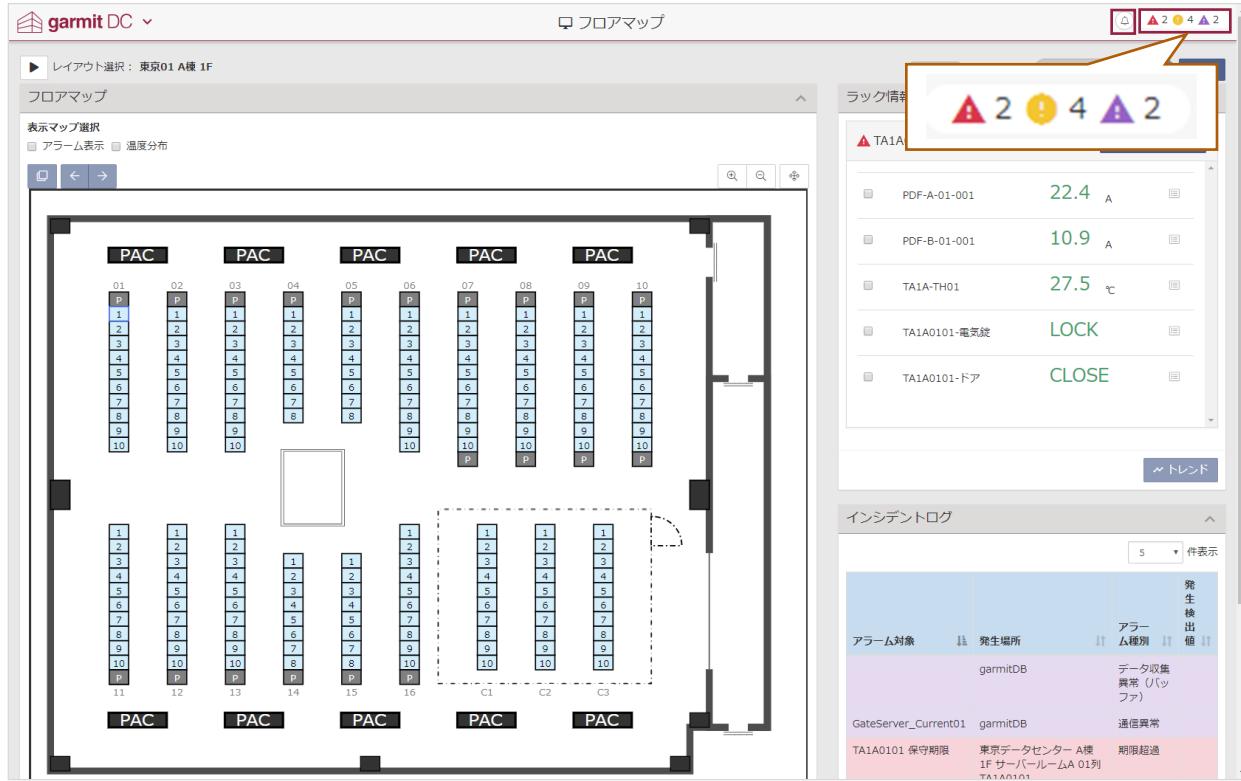


図 84 アラーム件数表示

アラーム種別ごとに設定しているアイコンは、以下の通りです。

- 異常アラーム（上限異常/下限異常の閾値超過、期限超過、耐荷重超過）
- 注意アラーム（上限注意/下限注意の閾値超過、期限超過前、耐荷重超過前）
- システムエラー（通信異常、スレーブ異常などのシステム関連のエラー）

上図の場合は、異常アラーム：2 件、注意アラーム：4 件、システムエラー：2 件という内容です。



図85 アラームサイドバー

アラームサイドバーには、発生中アラームのうち、最新の最大5件で表示されます。

異常アラームが発生した場合、注意アラームも発生しますので、2件分表示されます。

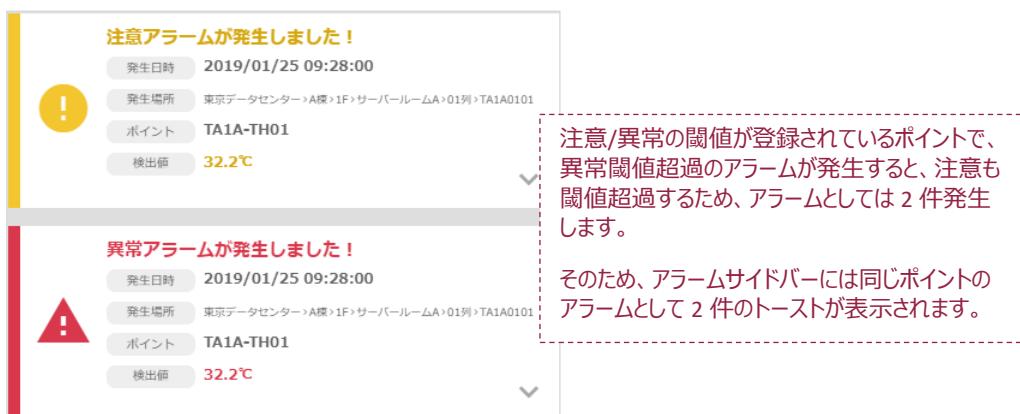


図86 アラームサイドバー（トースト表示）

アラームサイドバーに表示されるアラームは、 アイコンをクリックすると、ボタンが表示されます。



図 87 アラームトースト（閾値超過）

閾値超過（上限異常/下限異常/上限注意/下限注意）は、「フロアマップ」と「トレンドグラフ」のボタンが表示されます。

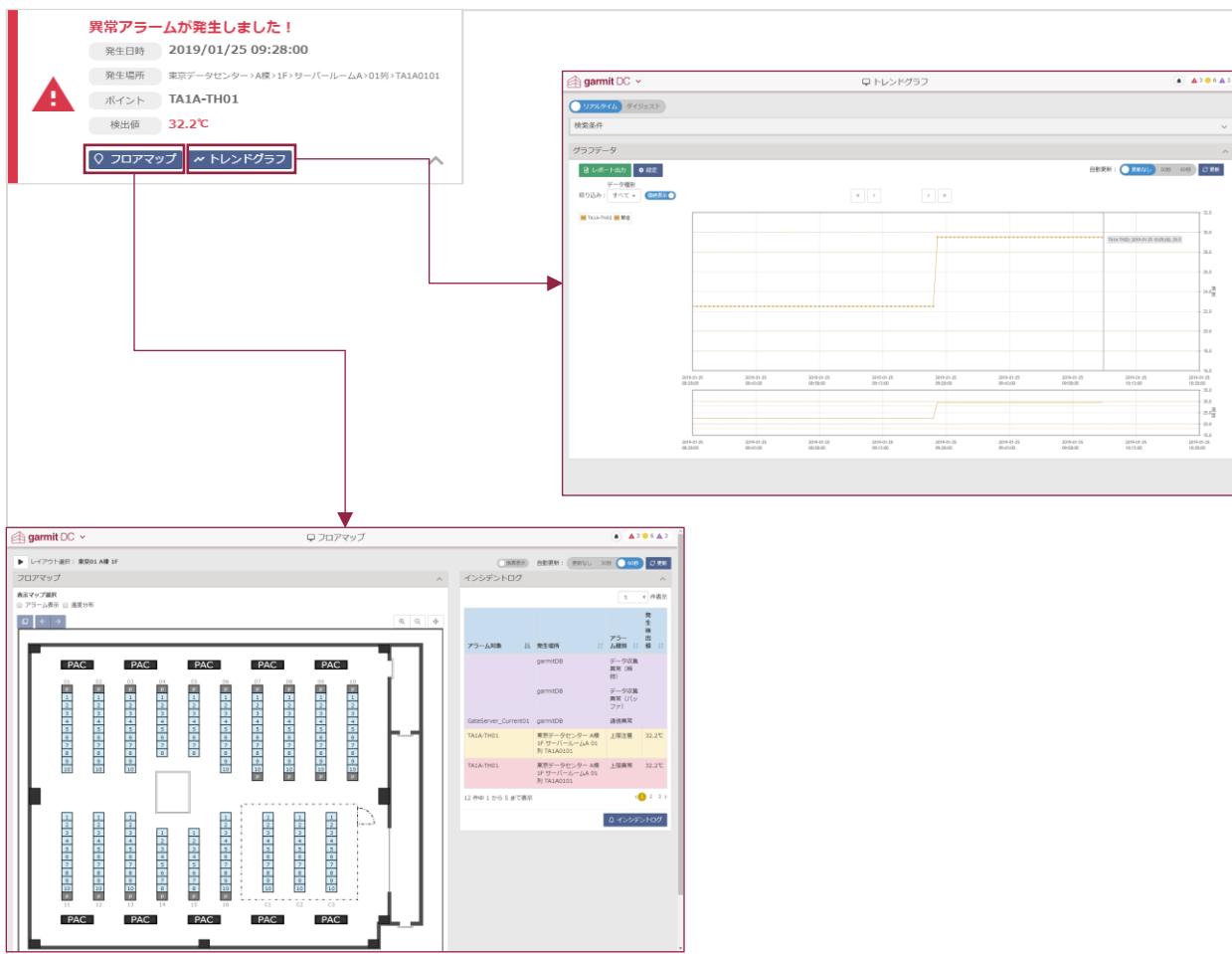


図 88 アラームトーストからの画面遷移（閾値超過）

「フロアマップ」ボタンをクリックすると、ポイントが紐づけられているロケーションを表示したフロアマップに遷移します。

「トレンドグラフ」ボタンをクリックすると、トレンドグラフに遷移し、対象のポイントのトレンドグラフが表示されます。



図 89 アラームトースト（アセットアラーム【ラック】）

ラックに関するアセットアラーム（耐荷重超過/耐荷重超過前/期限超過/期限超過前）は、「ラック」のボタンが表示されます。

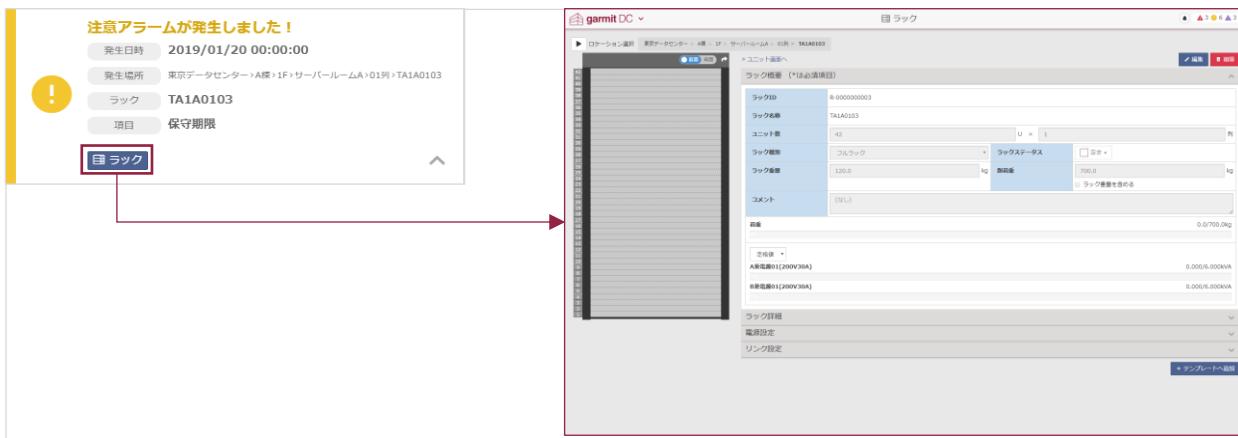


図 90 アラームトーストからの画面遷移（アセットアラーム【ラック】）

「ラック」ボタンをクリックすると、ラック画面に遷移し、対象ラックの情報が表示されます。



図 91 アラームトースト（アセットアラーム【ユニット】）

ユニットに関するアセットアラーム（期限超過/期限超過前）は、「ユニット」のボタンが表示されます。

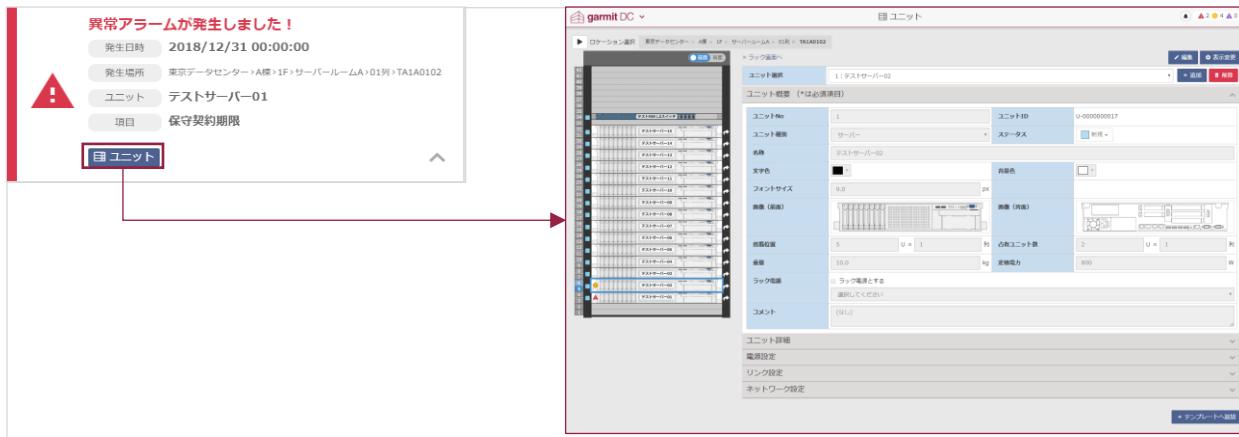


図 92 アラームトーストからの画面遷移（アセットアラーム【ユニット】）

「ユニット」ボタンをクリックすると、ユニット画面に遷移し、対象ユニットの情報が表示されます。



図 93 アラームトースト（システムエラー）

システムエラーの場合は、通信異常、スレーブ機器異常の時のみ「機器」のボタンが表示されます。

その他のシステムエラーの場合は、ボタンは表示されません。

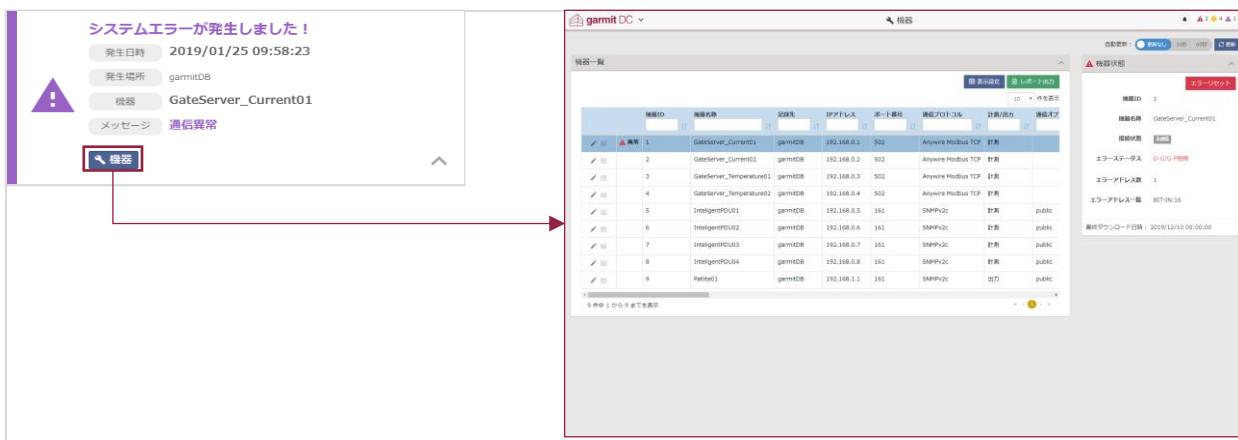


図 94 アラームトーストからの画面遷移（システムエラー【通信異常】）

「機器」ボタンをクリックすると、機器メンテナンスに遷移し、対象となる機器が選択状態で表示されます。

アラームサイドバー下部に表示される「インシデントログ」ボタンをクリックすると、インシデントログに遷移します。

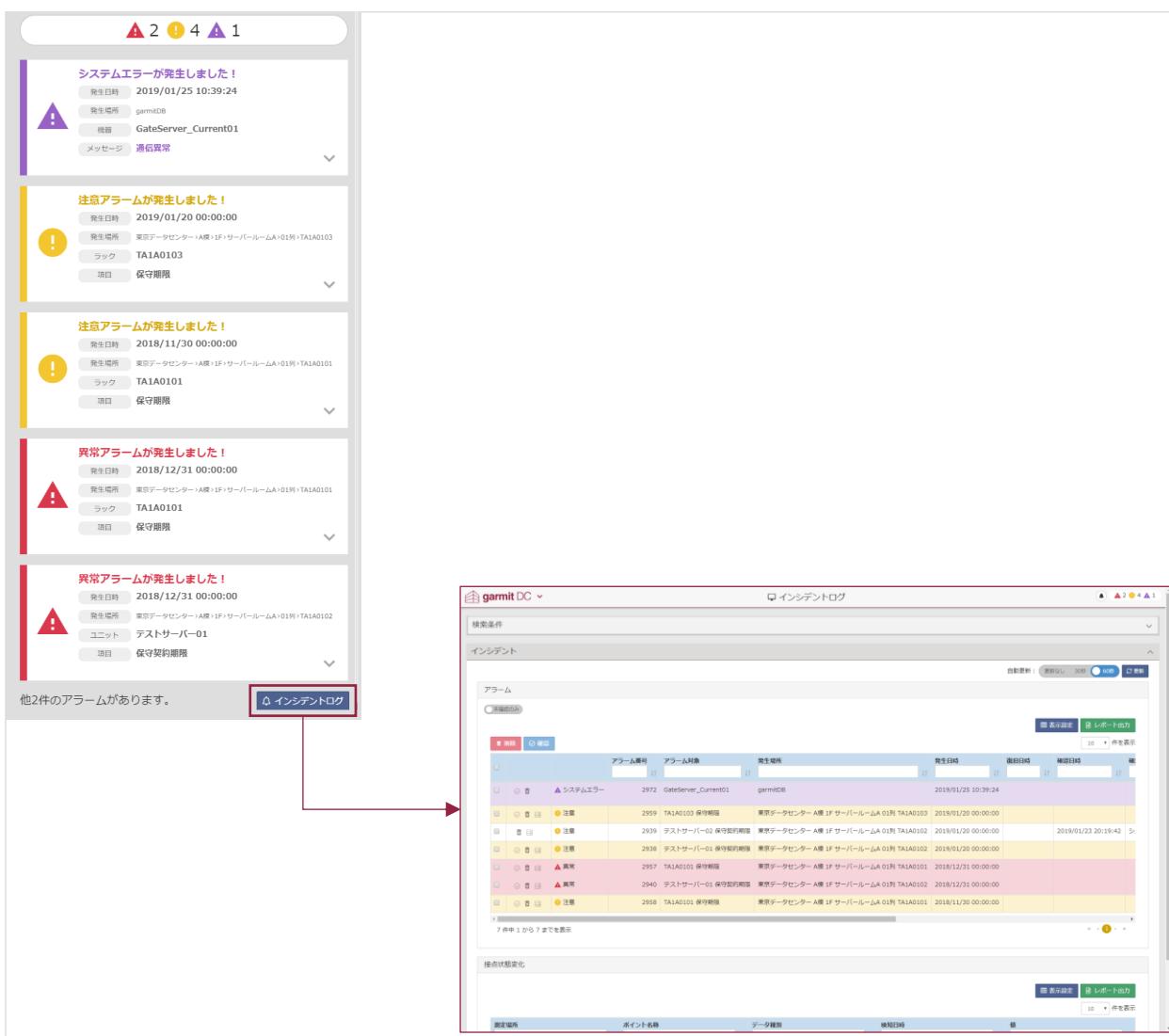


図 95 アラームサイドバーからの画面遷移（インシデントログ）

3.2 閾値を変更する

導入時に、予め監視ポイントの閾値および不感時間を設定しておきますが、実測値を鑑み、アラームの発生/復旧を繰り返す場合があります。その際は閾値および不感時間を変更することができます。

3.2.1 ポイント編集画面で変更する

ポイント編集画面で、閾値を変更します（詳細は、「[2.4.3 ポイント情報を新規登録する](#)」をご参照ください）。

The screenshot shows the garmit DC software interface for point registration. The top navigation bar includes icons for file operations and status indicators (▲ 250, □ 275, ▲ 20). The main window has tabs for 'Point Information' and 'Measurement Information'. The 'Point Information' tab displays fields for 'Point ID' (必選項目), 'Point Name' (必選項目), 'Location' (必選項目), 'Data Type' (電流), 'Point Type' (測定), 'Email' (送信しない), and 'Tag'. The 'Measurement Information' tab shows settings for 'Instrument' (選択してください), 'Sub-ID' (サブID), 'Data Storage' (データ保存先: メインDB), 'Data Collection' (データ収集: 停止中), 'Status' (判定開始状況: 判定停止), 'Format' (データフォーマット: #0.0), 'Address' (アドレス), 'Sampling Rate' (データ倍率: 0.1), 'Collection Interval' (収集周期: 60 秒), 'Alarm Monitoring' (アラーム監視: 監視する), and 'Unit' (単位). The bottom section, 'Alarm Judgment Information', contains fields for 'Default Value Selection' (デフォルト値選択), 'Upper Limit Abnormal' (閾値(上限異常)), 'Upper Limit Warning' (閾値(上限注意)), 'Lower Limit Abnormal' (閾値(下限異常)), and 'Lower Limit Warning' (閾値(下限注意)).

図 96 ポイント登録画面

3.2.2 ポイント詳細モーダルで変更する

プロアマップやリアルタイムモニタにて、特定の監視ポイントの詳細モーダルから閾値および不感時間が設定できます。

計測値を確認しながら閾値および不感時間をすることができます。

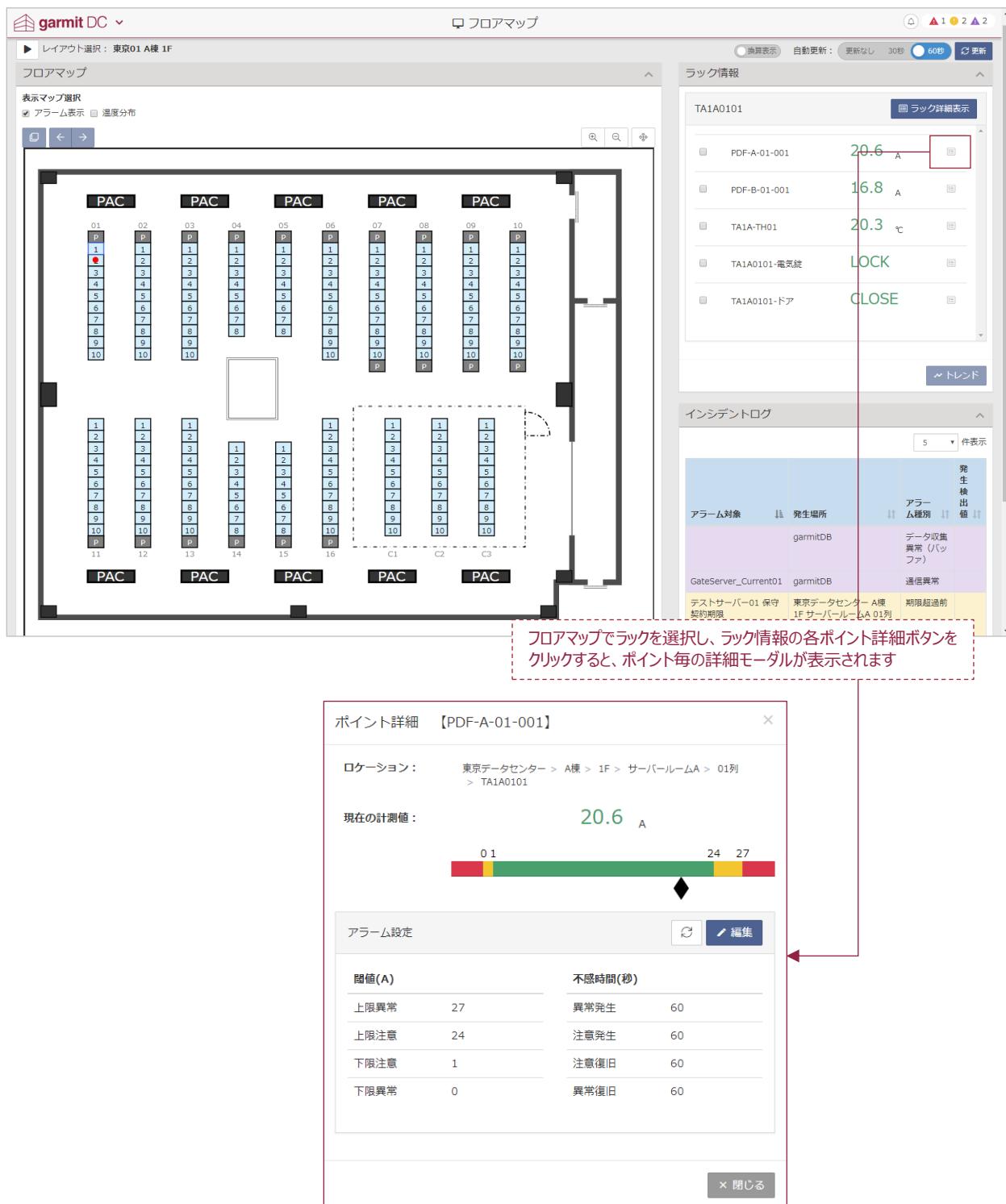


図 97 フロアマップからポイント詳細モーダル表示

garmit DC v リアルタイムモニタ

検索条件

モニタリングデータ

自動更新: [更新なし] 30秒 60秒 [更新]

換算表示 [開場] 詳細 アナログデータ

並べ替え: ポイント名稱 [並] [縦] 級り込み: すべて すべて 20 件を表示

データ種別 アラーム種別

Point ID	Point Name	Current Value	Unit	Previous Value
PDF-A-01-001	PDF-A-01-001	17.6	A	(前回: 17.6A)
PDF-A-01-002	PDF-A-01-002	28.5	A	(前回: 28.5A)
PDF-A-01-003	PDF-A-01-003	7.9	A	(前回: 7.9A)
PDF-A-01-004	PDF-A-01-004	10.4	A	(前回: 10.4A)
PDF-A-01-005	PDF-A-01-005	17.3	A	(前回: 17.3A)
PDF-A-01-006	PDF-A-01-006	14.9	A	(前回: 14.9A)
PDF-A-01-007	PDF-A-01-007	3.8	A	(前回: 3.8A)
PDF-A-01-008	PDF-A-01-008	13.2	A	(前回: 13.2A)
PDF-A-01-009	PDF-A-01-009	23.3	A	(前回: 23.3A)
PDF-A-01-010	PDF-A-01-010	18.6	A	(前回: 18.6A)
PDF-A-01-011	PDF-A-01-011	11.9	A	(前回: 11.9A)
PDF-A-01-012	PDF-A-01-012	14.4	A	(前回: 14.4A)
PDF-A-01-013	PDF-A-01-013	13.3	A	(前回: 13.3A)
PDF-A-01-014	PDF-A-01-014	3.4	A	(前回: 3.4A)
PDF-A-01-015	PDF-A-01-015	21.2	A	(前回: 21.2A)
PDF-A-01-016	PDF-A-01-016	3.0	A	(前回: 3.0A)
PDF-A-01-017	PDF-A-01-017	3.1	A	(前回: 3.1A)
PDF-A-01-018	PDF-A-01-018	22.8	A	(前回: 22.8A)
PDF-A-01-019	PDF-A-01-019	6.9	A	(前回: 6.9A)
PDF-A-01-020	PDF-A-01-020	12.6	A	(前回: 12.6A)

105 件中 1 から 20 までを表示

接点データ

並べ替え: ポイント名稱 [並] [縦] 級り込み: すべて すべて 20 件を表示

データ種別 アラーム種別

リアルタイムモニタで表示される各ポイントの設定アイコンをクリックすると、ポイント詳細モーダルが表示されます

PAC1-運転状態 PAC2-機器状態

ポイント詳細 【PDF-A-01-001】

ロケーション: 東京データセンター > A棟 > サーバールームA > 01列 > TAA0101

現在の計測値: 22.3 A

アラーム設定

閾値	不感時間(秒)
上限異常	27
上限注意	24
下限注意	1
下限異常	0
異常発生	60
注意発生	60
注意復旧	60
異常復旧	60

x 閉じる

図 98 リアルタイムモニタからポイント詳細モーダル表示

ポイント詳細モーダルで、閾値および不感時間の変更ができます。

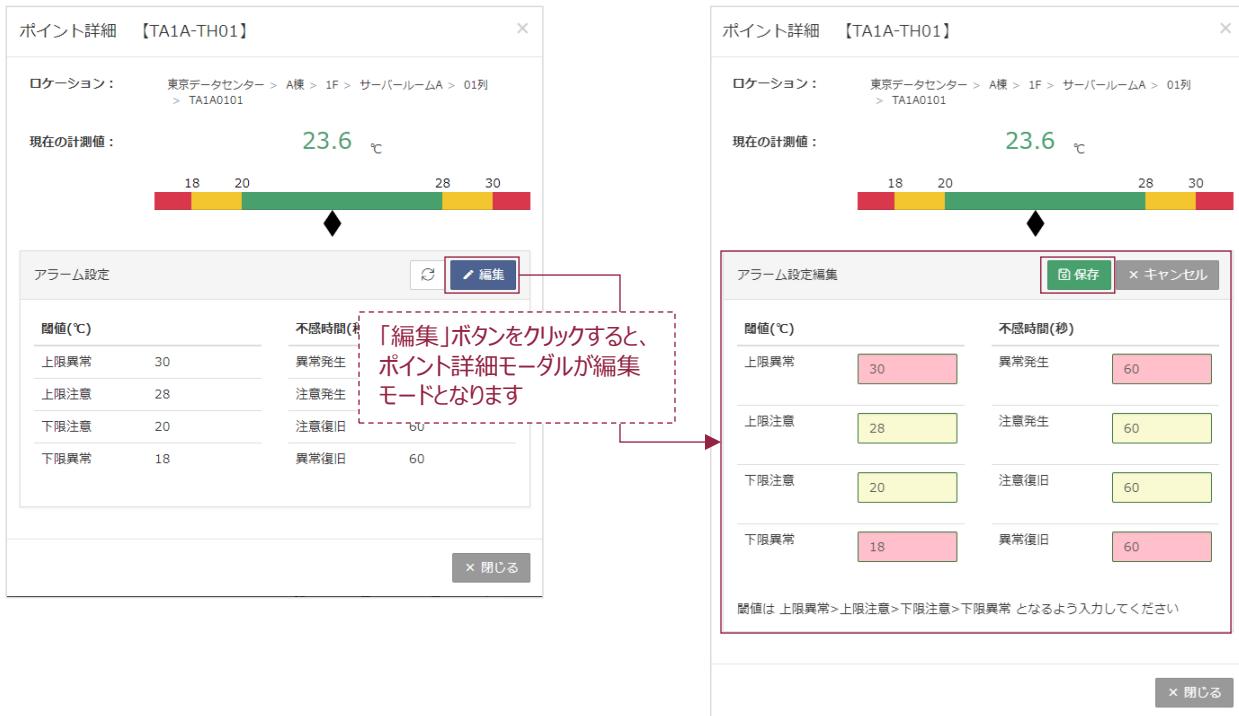


図 99 閾値および不感時間変更（ポイント詳細モーダル）

「編集」ボタンをクリックすると、ポイント詳細モーダルが編集モードとなります。

編集モードとなると、各閾値、各不感時間の値が入力可能となります。

閾値は必須項目ではありませんが、不感時間は必須項目です。

必須項目の未入力、閾値の大小関係（上限異常>上限注意>下限注意>下限異常）が正しくない場合は、保存できません。

3.3 溫度分布でモニタリングする

温度のデータを収集している場合には、フロアマップの温度分布状況を確認することができます。



図 100 溫度分布図（フロアマップ）

メニューから、「モニタリング」>「フロアマップ」を選択し、さらにレイアウト選択すると、フロアマップが表示されます。

フロアマップが表示された状態で、「温度分布」にチェックを入れると温度分布図が表示されます。

温度分布図では、温度の傾向を把握するために利用することを想定しております。

計測点の数によって、温度分布の正確さは変わります。計測点が多いほど、正確な温度分布図を表示することができます。

実際の計測値については、リアルタイムモニタやトレンドグラフなどで確認できます。

3.4 リアルタイムの計測値を確認する

3.4.1 フロアマップで確認する

フロアマップ上で、オブジェクトを選択すると、それに紐づくポイントの最新計測値が表示されます。

自動更新モードを設定すると、定期的に計測値が表示更新されます。

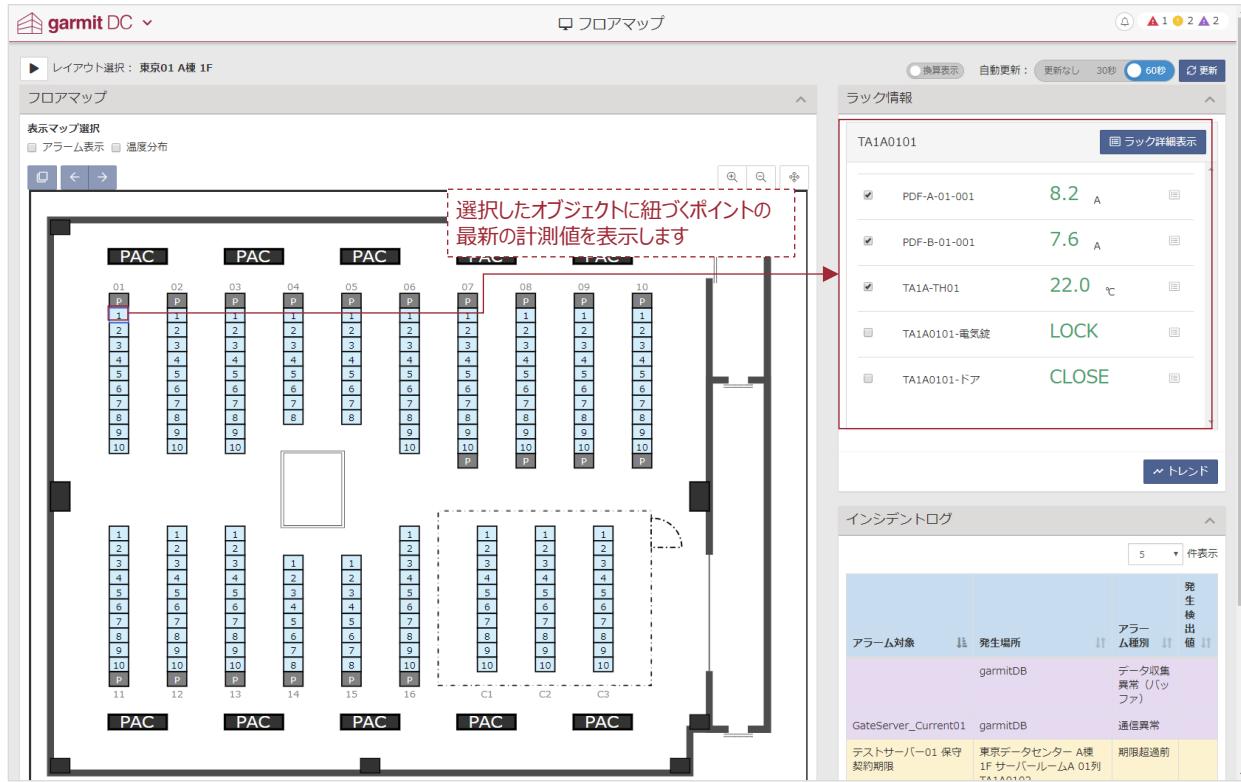


図 101 計測値表示（フロアマップ）

3.4.2 リアルタイムモニタで確認する

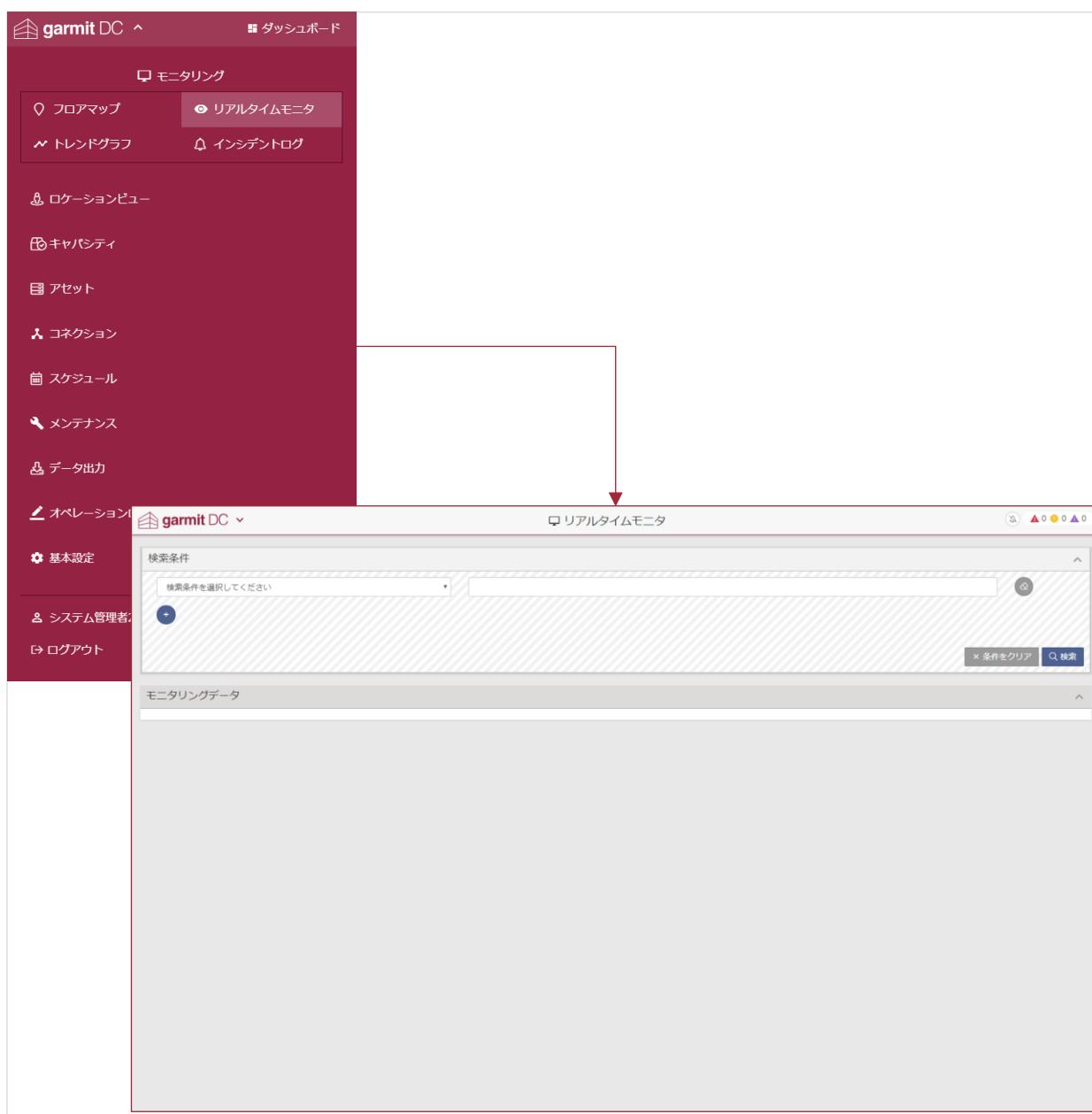


図 102 リアルタイムモニタ（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「モニタリング」>「リアルタイムモニタ」を選択すると、リアルタイムモニタ画面が表示されます。

検索条件を指定すると、該当するポイントの最新の計測値が表示されます。

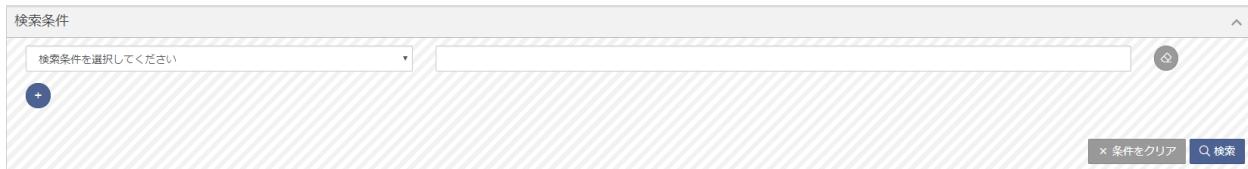


図 103 検索条件（リアルタイムモニタ）

(1) 検索条件を指定する

検索条件を指定します。

指定できる検索条件は、下記の通りです。検索条件を指定しない場合、全件検索します。

検索条件	説明
ロケーション	登録済みのロケーションから検索対象を選択し、紐づいているポイントを検索する
所属	登録済みの所属から検索対象を選択し、紐づいているポイントを検索する
タグ	登録済みのタグから検索対象を選択し、紐づいているポイントを検索する
電源系統	登録済みの電源系統から検索対象を選択し、紐づいているポイントを検索する
ハッシュタグ	「#」+キーワードを入力し、コメントとして登録したキーワードから合致するポイントを検索する

※検索条件の追加、検索条件クリア、検索方法については、「[2.2.1 所属情報を検索する](#)」と同様です。ご参照ください。

(2) 検索結果（計測値）を表示する

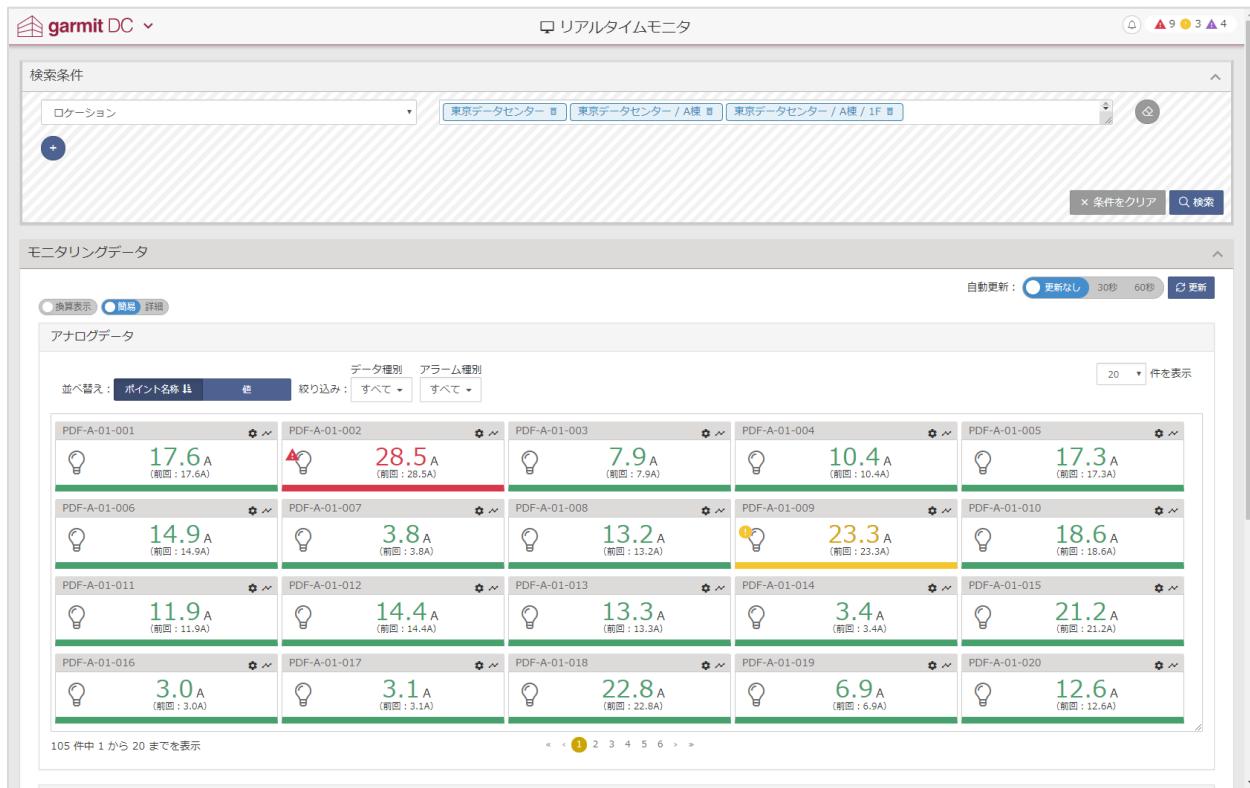


図 104 リアルタイムモニタ（データ表示）

検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、該当するポイントの最新の計測値が表示されます。

表示されたポイントについては、ポイント名称および値の昇順/降順に並べ替えて表示することができます。

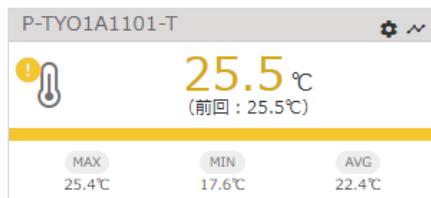
また、データ種別（電流/温度 等）やアラーム種別（異常/注意/正常）で表示データを絞り込むこともできます。

■「換算表示」を ON にした場合

ポイント編集で、換算式が登録されているポイントについては、換算式の結果を表示します。

換算式が登録されていないポイントについては、表示内容は変わりません。

■「簡易/詳細」で「詳細」が有効になっている場合



計測値ボックスの下部に、当日の最大値、最小値、平均値が表示されます。

「簡易」が有効になっている場合には、最大値、最小値、平均値が表示されません。

3.4.3 バッテリーモニタで確認する

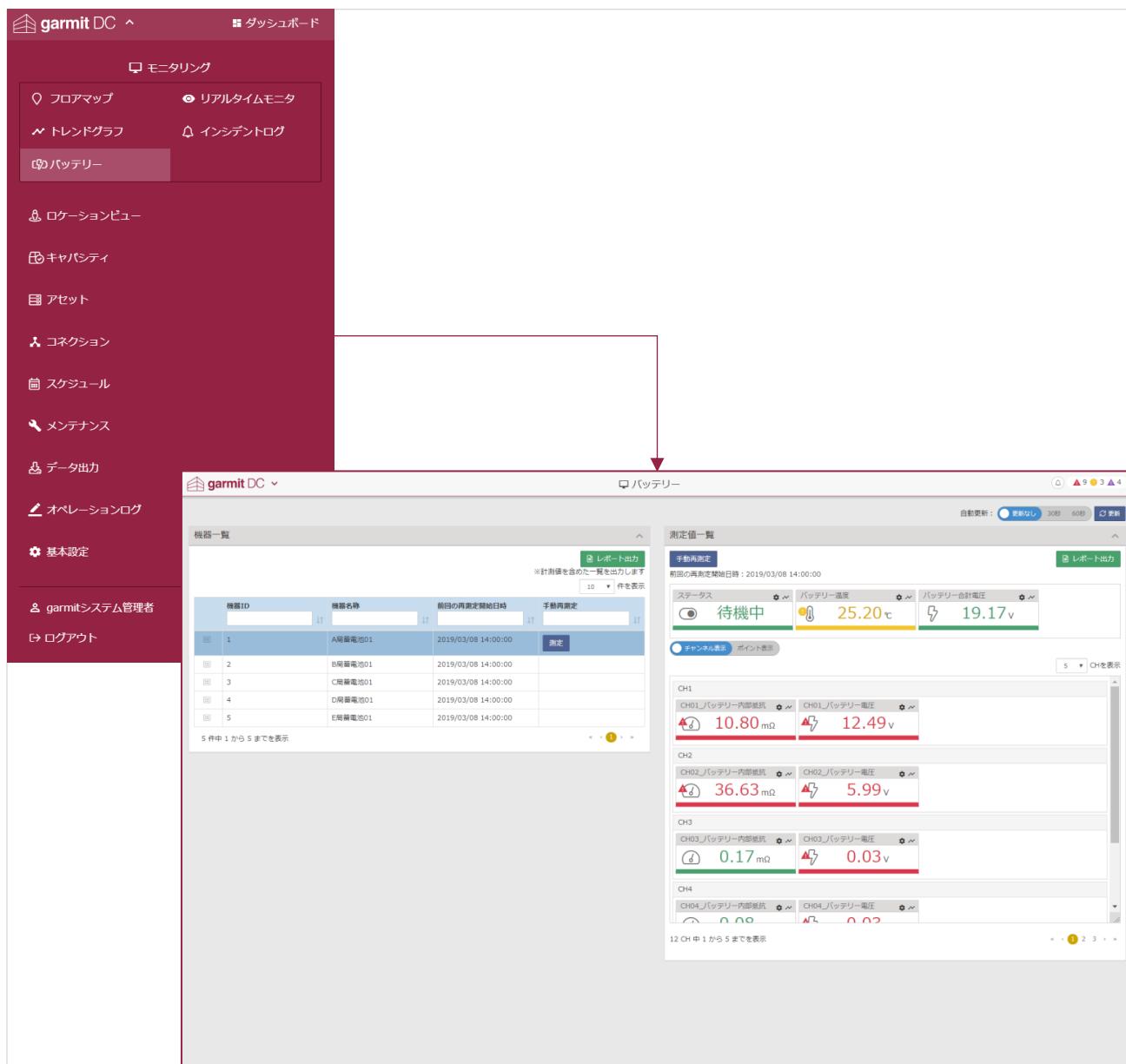


図 105 バッテリーモニタ（メニュー選択→初期表示）

メニューから、「モニタリング」>「バッテリー」を選択すると、バッテリーモニタ画面が表示されます。

初期表示時は、登録済みの機器一覧（機器種別が「バッテリモニタ」のみ）と、機器一覧の最上位行の機器に紐づくポイントの計測値が測定値一覧に表示されます。

(1) 機器を選択する

機器一覧で、詳細アイコン（）をクリックすると、選択した機器に紐づくポイントの計測値が、測定値一覧に表示されます。



garmit DC バッテリーモニタ (チャンネル表示) のスクリーンショットです。左側の「機器一覧」画面では、複数の機器（A-E）がリストされています。右側の「測定値一覧」画面では、選択された機器（A）に関する詳細なデータが表示されています。各チャンネル（CH1-CH4）ごとに、バッテリー内部抵抗と電圧が測定されています。アラーム色で表示される値は、CH1 の 10.80 mΩ と CH2 の 36.63 mΩ です。

詳細アイコンをクリックすると、選択した機器に紐づくポイントの計測値が表示されます。

閾値超過している場合は、アラーム色で表示します。

図 106 バッテリーモニタ (チャンネル表示)

測定値一覧の初期表示は、チャンネル表示モードで表示されます。

・チャンネル表示モード：CH 毎に計測値（電圧、抵抗など）が表示されます。

・ポイント表示モード：CH に関係なくポイント名称、もしくは計測値の順に表示されます。

ポイント表示モード時のみ、リアルタイムモニタと同様、ポイント名称もしくは値での並べ替え、データ種別およびアラーム種別での絞り込みが可能です。

機器メンテナンスにて、機器の使用状況が「未使用」となっている機器については、「測定」ボタンが表示されません。

(2) 測定する

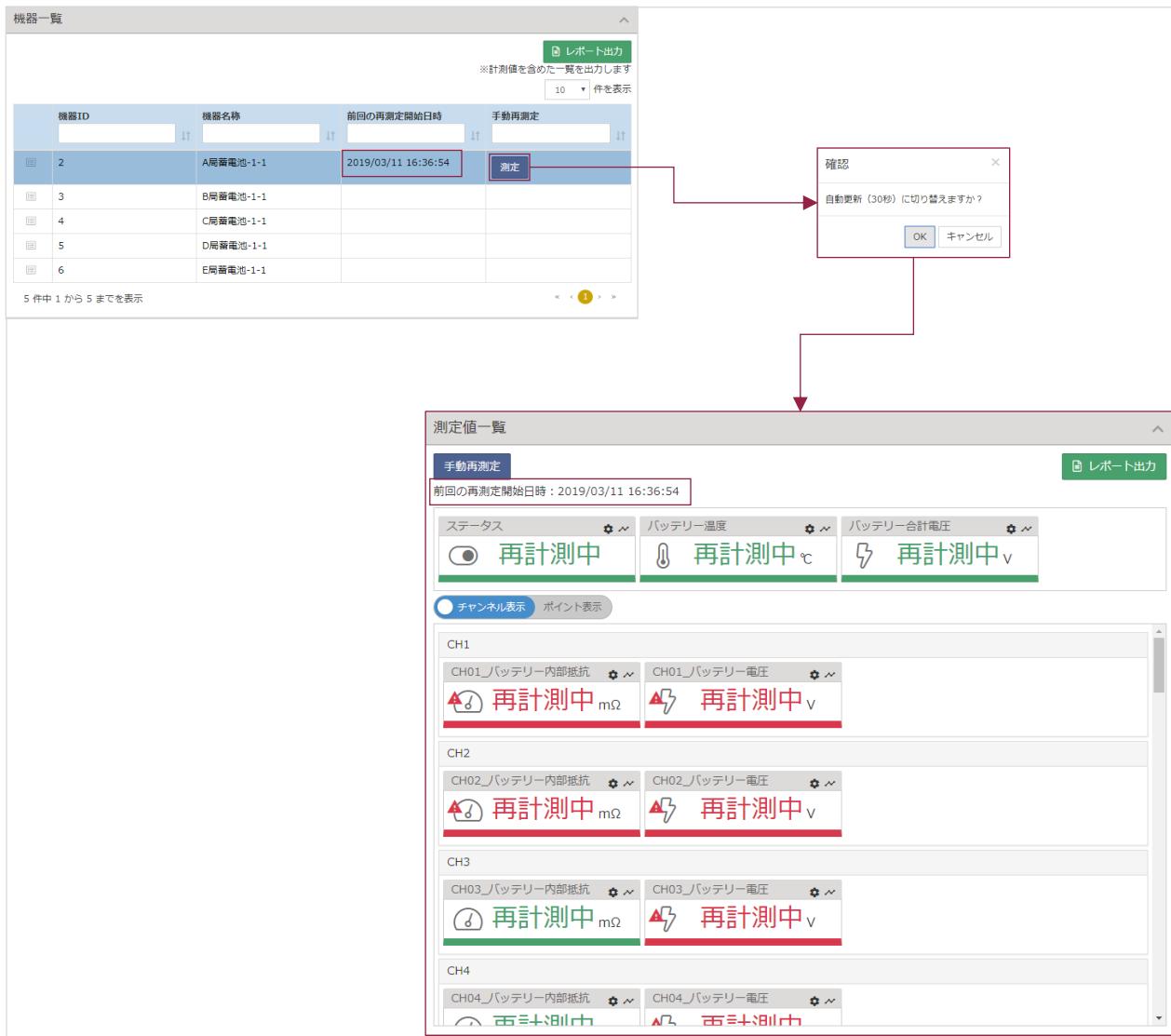


図 107 バッテリーモニタ（計測中）

機器一覧の「測定」ボタンをクリックすると、計測を開始します。

自動更新が「30 秒」以外に設定されている場合には、確認メッセージが表示されます。※「30 秒」設定の場合は、表示されません。

測定を開始すると、機器一覧、測定値一覧の「前回の再測定開始日時」が更新されます。

測定開始後、画面を表示更新（手動更新もしくは自動更新）すると、測定値に「再計測中」という文字が表示され、予め指定した時間を経過すると、測定値一覧に最新の計測値が表示されます。

測定値一覧の「手動再測定」ボタンをクリックした場合も、上記と同様の動作となります。

このとき、機器一覧の「レポート出力」ボタンをクリックすると、全機器とそれに紐づく計測値が CSV ファイルに出力されます。

また、測定値一覧の「レポート出力」ボタンをクリックすると、選択中の機器とそれに紐づく計測値が CSV ファイルに出力されます。

3.5 トレンドグラフで計測値を確認する

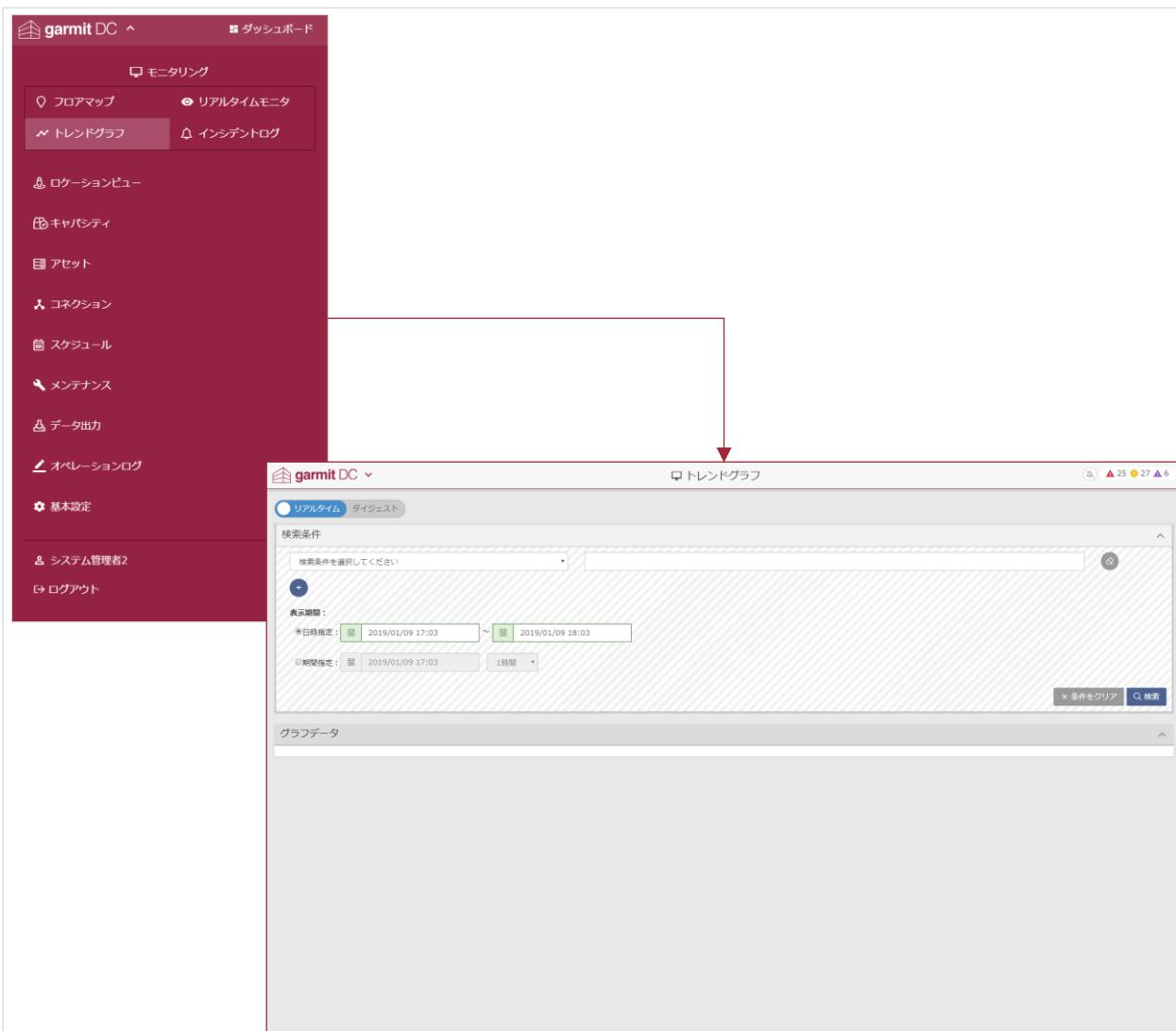


図 108 トレンドグラフ（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「モニタリング」>「トレンドグラフ」を選択すると、トレンドグラフ画面が表示されます。

検索条件を指定すると、条件に合致するポイントの時系列のグラフが表示されます。

3.5.1 トレンドグラフで確認する

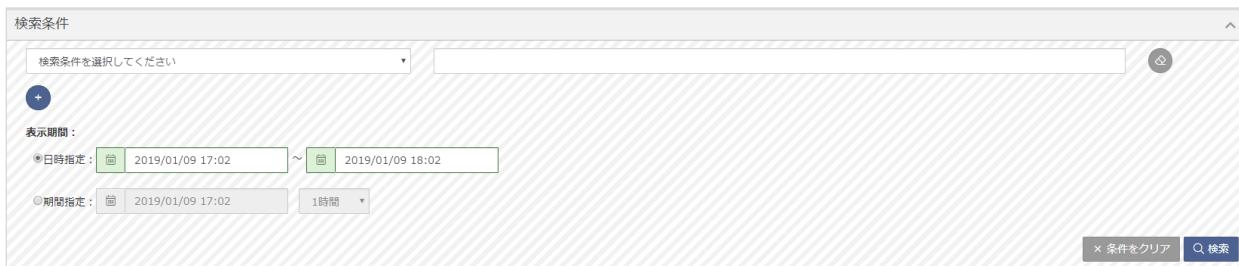


図 109 検索条件（トレンドグラフ：リアルタイム）

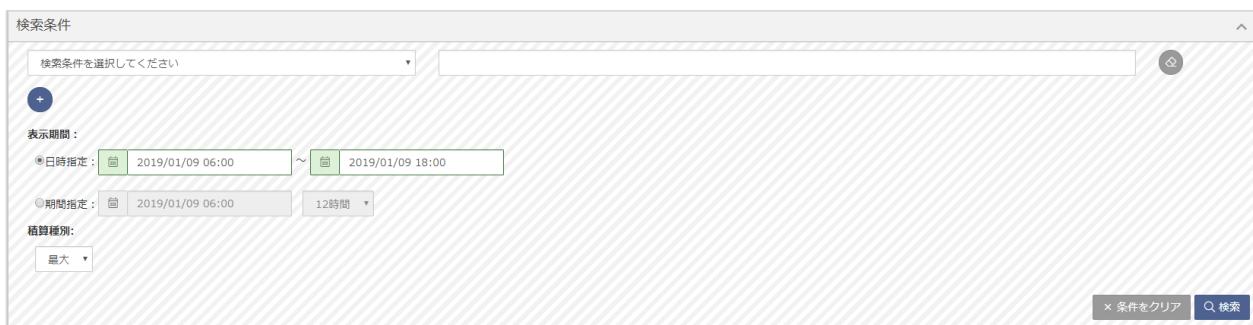


図 110 検索条件（トレンドグラフ：ダイジェスト）

(1) 検索条件を指定する

検索条件については、「[2.2.1 所属情報を検索する](#)」と同様です。ご参照ください。

■リアルタイムの場合

表示期間を指定します。

- ・日時指定...グラフ表示期間の From および To の日時を指定します。
- ・期間指定...グラフ表示対象の From の日付とそこからの期間を指定します。

■ダイジェストの場合

表示期間および積算種別を指定します。

- ・日時指定...グラフ表示期間の From および To の日時を指定します。
- ・期間指定...グラフ表示対象の From の日付とそこからの期間を指定します。
- ・積算種別...集計したデータのうち、最大/最小/平均/瞬時（※1）/差分（※2）を選択します。

※1 瞬時…毎正時（00 分）に取得したデータ

※2 差分…毎正時と 1 時間前の正時の瞬時データの差分

(2) 検索結果（グラフ）を表示する

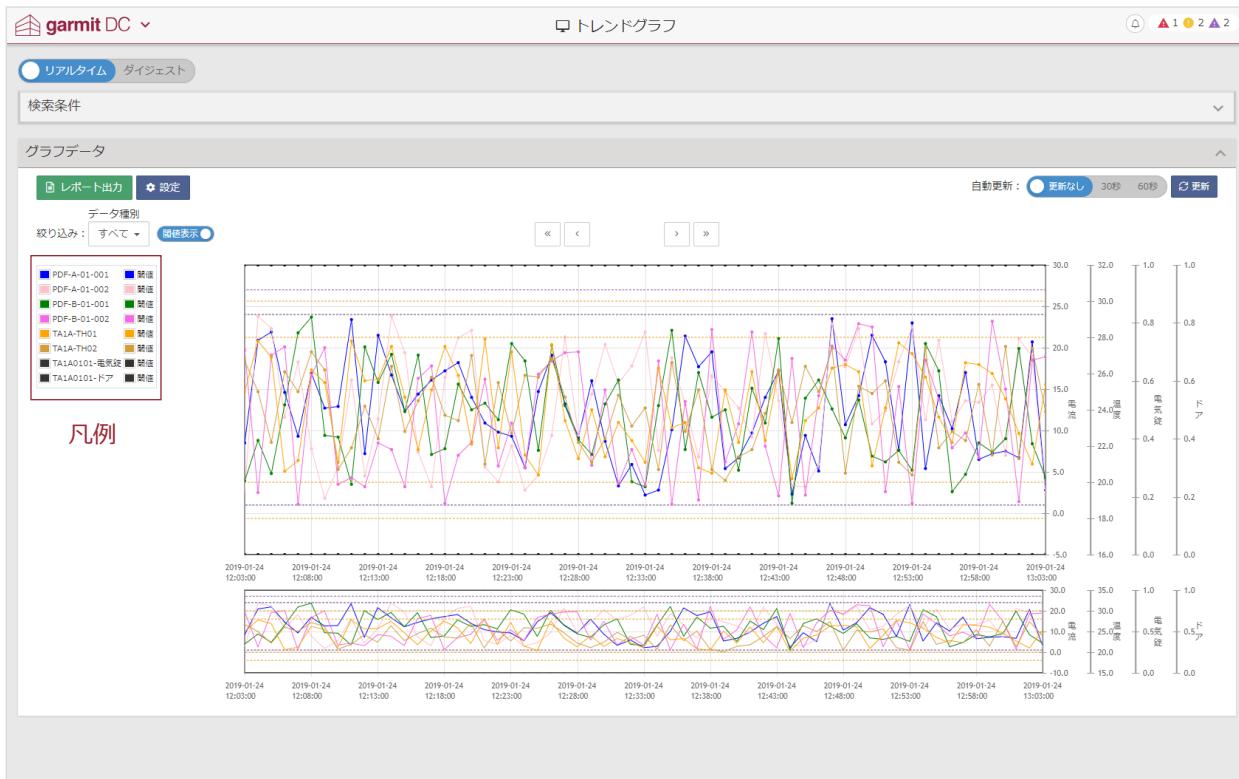


図 111 トレンドグラフ（グラフ表示）

検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、該当するポイントの時系列グラフが表示されます。

グラフの初期表示時は、2つのグラフエリアが表示されます。各グラフエリアには、計測データ以外に各ポイントの閾値も表示します。

表示中のグラフを、データ種別（電流/温度等）で絞り込むことができます。

全ポイントの閾値を非表示とする場合は、閾値表示を OFF にしてください。

ポイントの一部の閾値を非表示とする場合には、画面左部の凡例にて、該当するポイントの閾値をクリックしてください。

凡例の表示をクリックすると、取り消し線が表示され、グラフからは該当するポイントの計測データグラフおよび閾値が非表示となります。

取り消し線が表示されている状態で、再度クリックすると、取り消し線が消去され、グラフには計測データグラフおよび閾値が表示されます。

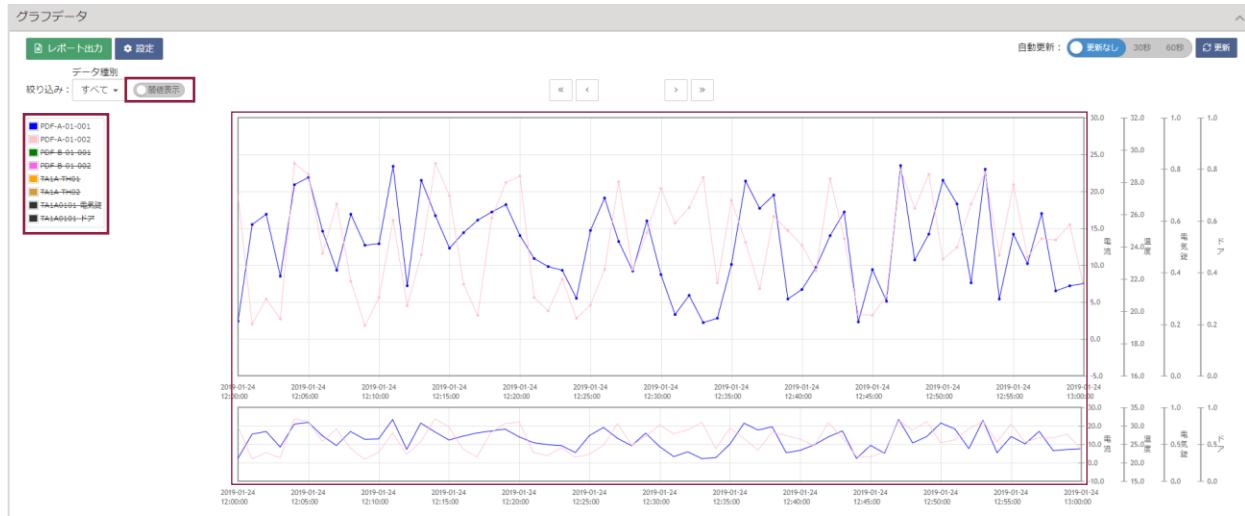


図 112 トレンドグラフ（閾値非表示）

このとき、「レポート出力」ボタンをクリックすると、グラフに表示されているデータが CSV ファイルで出力されます。

絞り込んで表示している場合は、絞り込んだ状態でのデータが CSV ファイルで出力されます。

(3) グラフを拡大表示する



図 113 トレンドグラフ（拡大表示）

表示されているグラフのうち、全体グラフ（下部に表示されているグラフ）で範囲指定すると、指定のグラフを拡大して表示します。

グラフを拡大表示しているときは、グラフ更新はできません。

全体グラフをダブルクリックすると、元のグラフ表示（上下ともに同じグラフ表示）に戻ります。

グラフエリアに表示しているトレンドグラフは、データ種別（電流、温度等）で絞り込んで表示することができます。

(4) グラフ表示色を変更する

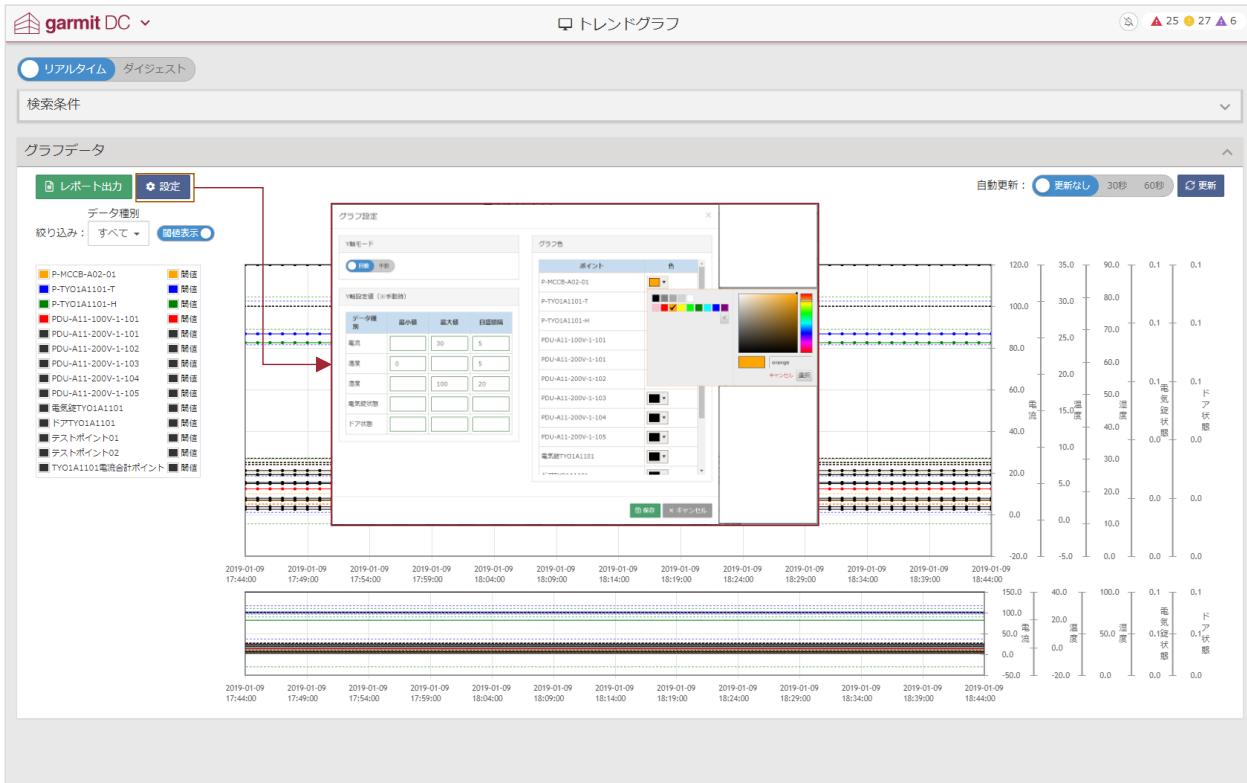


図 114 トレンドグラフ（グラフ設定）

トレンドグラフの「設定」ボタンをクリックすると、グラフ設定画面が表示されます。

グラフ設定画面では、Y 軸の表示モード（自動/手動）、データ種別毎のスケール（手動の場合のみ）、ポイント毎の表示色を設定できます。

・Y 軸の表示モードが「自動」の場合

グラフ領域の Y 軸が、表示されるデータの最大/最小に応じてスケールが変わります。

そのため、すべての表示データがグラフエリア内に収まります。

・Y 軸表示モードが「手動」の場合

グラフ領域の Y 軸が、設定された値で固定されるため、表示データの値によってはグラフエリアに収まらない場合があります。

4 アセット情報を管理する

4.1 ラック情報を登録する

ラックに関する情報を登録・編集します。

ラック概要、ラック詳細、電源設定（分岐電源との紐づけ）、リンク設定を行います。

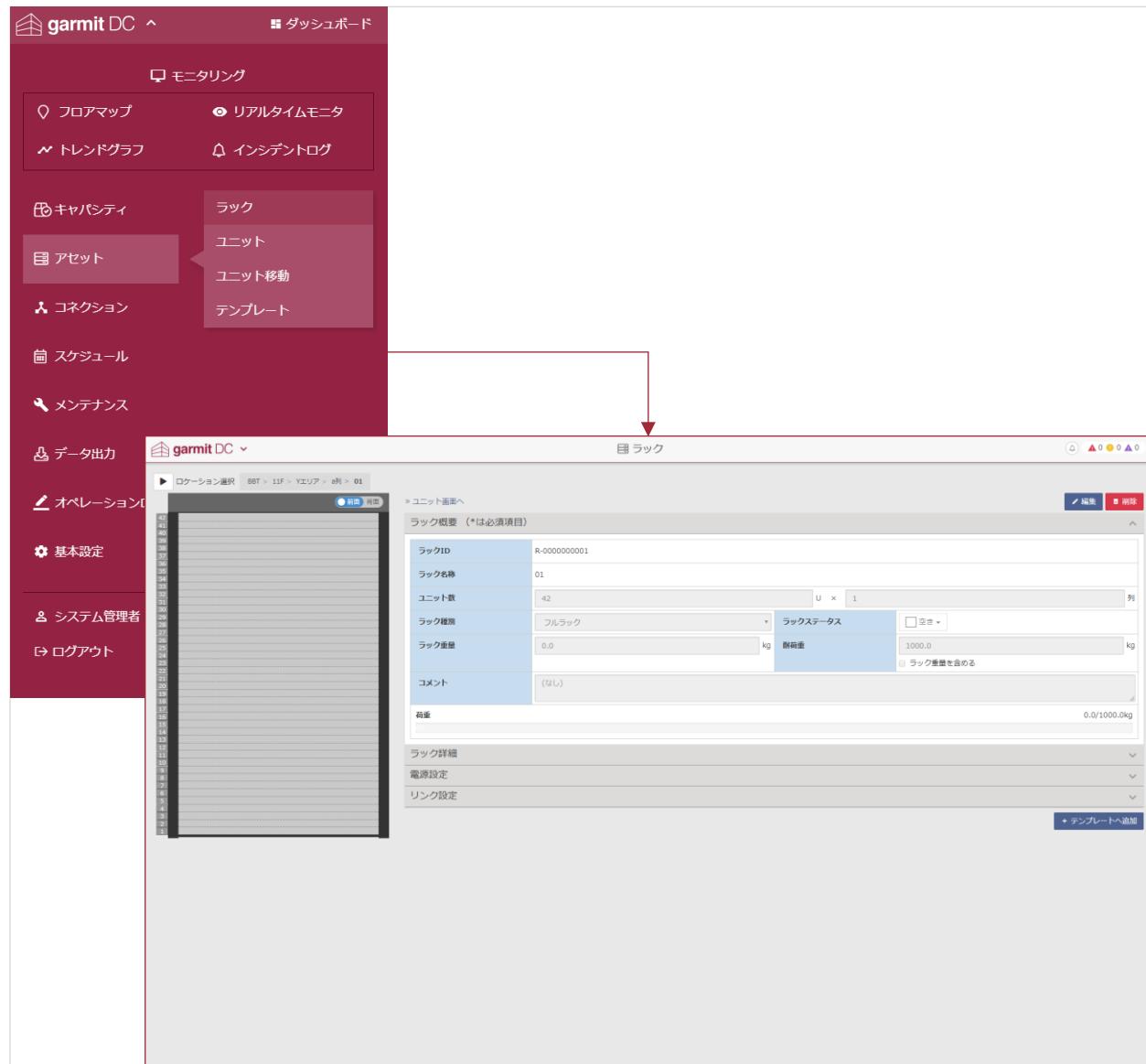


図 115 ラック（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「アセット」>「ラック」を選択すると、ラック画面が表示されます。

ロケーション選択で、編集対象のロケーション（ラック）を選択します。

4.1.1 ラック概要を登録する

ラックID	R-0000000006		
ラック名称	01		
ユニット数*	42	U × 1	列
ラック種別*	フルラック	ラックステータス*	<input type="checkbox"/> 空き
ラック重量*	0 kg	耐荷重*	1000 kg <input type="checkbox"/> ラック重量を含める
コメント			
荷重	0.0/1000.0kg		
定格値			
電源1(200V30A)	0.000/6.000kVA		
電源2(200V30A)	0.000/6.000kVA		

図 116 ラック（概要）

ラック概要を登録します。

項目名に「*」がついているものは、入力必須項目です。

ラック ID は自動採番、ラック名称は最下層のロケーション名をラック名としているため、編集できません。

耐荷重監視において、ラック重量も含めて監視する場合には、「ラック重量を含める」にチェックを入れてください。

例) ラック重量 : 50kg、 耐荷重 : 650kg の場合

「ラック重量を含める」チェック ON : 搭載ユニット重量の合計値が 600kg を超えると耐荷重超過と判定します

「ラック重量を含める」チェック OFF : 搭載ユニット重量の合計値が 650kg を超えると耐荷重超過と判定します

ユニット画面から、ユニットの重量を登録した場合は、耐荷重グラフにユニット重量合計が表示されます。

また、ユニット画面から、ユニット毎の消費電力を登録した場合は、ラック電源の使用率がグラフ表示されます。

4.1.2 ラック詳細を登録する

ラック詳細			
表示ページ	購入情報		
(1)購入日	<input type="text"/> yyyy/MM/dd	(2)購入担当者	
(3)購入責任者		(4)購入費用	
(5)搬入日	<input type="text"/> yyyy/MM/dd	(6)使用開始日	<input type="text"/> yyyy/MM/dd
(7)固定資産管理番号		(8)予算番号	
(9)稟議決済番号		(10)減価償却費	

図 117 ラック（詳細）

ラック情報の詳細を登録します。

表示ページの選択肢として表示されるのは、ラックメンテナンスで登録したページです。

項目については、ラックメンテナンスで「有効」と設定した項目が表示されます。

※ () 内の番号は、ラックメンテナンスで設定した項目番号です。

有効	検索対象	項目名*	データ型	データ/書式	監視状態
<input checked="" type="checkbox"/> (1)	<input checked="" type="checkbox"/>	購入日	日付時刻型	yyyy/MM/dd 指定なし <input type="checkbox"/> 時刻のみ指定	<input type="checkbox"/> 監視する
<input checked="" type="checkbox"/> (2)	<input checked="" type="checkbox"/>	購入部署	文字列型		
<input checked="" type="checkbox"/> (3)	<input checked="" type="checkbox"/>	購入担当者	文字列型		
<input checked="" type="checkbox"/> (4)	<input checked="" type="checkbox"/>	購入責任者	文字列型		
<input checked="" type="checkbox"/> (5)	<input checked="" type="checkbox"/>	確認日	日付時刻型	yyyy/MM/dd 指定なし <input type="checkbox"/> 時刻のみ指定	<input type="checkbox"/> 監視する
<input checked="" type="checkbox"/> (6)	<input checked="" type="checkbox"/>	購入費用	整数型		
<input checked="" type="checkbox"/> (7)	<input checked="" type="checkbox"/>	搬入日	日付時刻型	yyyy/MM/dd 指定なし <input type="checkbox"/> 時刻のみ指定	<input type="checkbox"/> 監視する
<input checked="" type="checkbox"/> (8)	<input checked="" type="checkbox"/>	使用開始日	日付時刻型	yyyy/MM/dd 指定なし <input type="checkbox"/> 時刻のみ指定	<input type="checkbox"/> 監視する
<input checked="" type="checkbox"/> (9)	<input checked="" type="checkbox"/>	使用者	文字列型		
<input checked="" type="checkbox"/> (10)	<input checked="" type="checkbox"/>	減価償却期間	文字列型		

図 118 ラックメンテナンス画面（購入情報ページ）

4.1.3 電源情報を登録する

The screenshot shows the 'Power Supply Settings' (電源設定) screen. At the top, there is a header with a back arrow and a title. Below the header, there is a table for power supply configuration:

電源No.	1 : 電源1	+ 電源追加	削除
電源名称*	電源1		
インレット形状*	L6-30P	アウトレット数*	30
定格電流値*	30 A	定格電圧値*	200 V
ブレーカー割り当て	該当ブレーカー : RackPDU > PX3-1833JV-E2F5 No.1		
閾値*	<input checked="" type="checkbox"/> ブレーカーの閾値を使用 上限異常 上限注意		
		kVA	kVA

Below this table is a larger table for outlet settings (アウトレット). It has columns for '削除' (Delete), 'アウトレット番号*' (Outlet Number), 'アウトレット形状' (Outlet Shape), and 'ポイント' (Point). The 'アウトレット番号' column contains numbers 1 through 11. The 'アウトレット形状' column shows 'C-13' for all outlets. The 'ポイント' column contains icons for monitoring points.

図 119 ラック（電源設定）

ラック電源の情報を登録します。

電源毎にインレット形状、アウトレット数、各アウトレットの形状などの登録の他、電源系統に登録した電源系統との紐づけも行います。

ラック電源のアウトレット毎に計測している場合には、各アウトレットに対し、監視ポイントを紐づけることで、アウトレット毎に計測が可能となります。

(1) ラック電源を追加する

「+ 電源追加」ボタンをクリックすると、各項目欄が空欄で表示されます（新規登録モード）。

アウトレット数を入力すると、アウトレット番号、形状などの入力が可能となります。

(2) ブレーカーを割り当てる

ブレーカー割当の「選択」ボタンをクリックすると、ブレーカー選択画面が表示されます。



図 120 ブレーカー選択

検索条件で、電源系統を選択し、「検索」ボタンをクリックすると、該当するブレーカー一覧が表示されます。

検索条件を指定せずに検索した場合は、全検索となります。

ラック電源として割り当てるブレーカーを選択し、「適用」ボタンをクリックすると、電源設定に反映されます。

ブレーカーを割り当てる場合、入力した定格電流および定格電圧がブレーカーの設定と違いがありますと、エラーとなります。

下図の例では、割り当てたブレーカーの定格電流および定格電圧は 30A/200V にも拘わらず、入力値が 10A/100V となっているためエラーメッセージが表示されています。

電源No.	1 : A系電源01	+ 電源追加	削除
電源名称*	A系電源01		
インレット形状*	L6-30R	アウトレット数*	30
定格電流値*	10	定格電圧値*	100
ブレーカーの定格電流と一致していません。ブレーカーの定格電流は「30A」です		ブレーカーの定格電圧と一致していません。ブレーカーの定格電圧は「200V」です	
ブレーカー割り当て	該当ブレーカー : PDF-A-01 > BR01		
閾値*	<input checked="" type="checkbox"/> ブレーカーの閾値を使用 上限異常 <input type="text"/> kVA 上限注意 <input type="text"/> kVA		

図 121 割当ブレーカーの定格値と入力値が違う場合

(3) アウトレット情報を登録する

ラック電源のアウトレットに関する情報を登録します。

アウトレット番号、アウトレット形状、紐づけるポイントを登録します。必須項目は、アウトレット番号のみです。

アウトレット形状は、導入時に予め登録しておきます。

アウトレット毎に計測可能な電源の場合は、計測ポイントを紐づけておくと、アウトレット毎の電流値を確認することができ、

機器毎の電流（電力）監視ができます。

アウトレット	削除	アウトレット番号*	アウトレット形状	ポイント
		1	C-13	PDF-A-01-033
		2	C-13	PDF-A-01-034
		3	C-13	PDF-A-01-035

図 122 ラック電源設定（アウトレット）

アウトレット毎に表示されるポイント選択アイコン（）をクリックすると、ポイント選択画面が表示されます。

アウトレット毎に表示される解除アイコン（）をクリックすると、ポイントの紐づけを解除します。

ポイントNo	ポイント名称	ロケーション	アラーム監視	閾値（上限界）
1	PDF-A-01-001	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0101	する	27
2	PDF-A-01-002	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0102	する	27
3	PDF-A-01-003	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0103	する	27
4	PDF-A-01-004	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0104	する	27
5	PDF-A-01-005	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0105	する	27
6	PDF-A-01-006	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0106	する	27
7	PDF-A-01-007	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0107	する	27
8	PDF-A-01-008	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0108	する	27
9	PDF-A-01-009	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0109	する	27
10	PDF-A-01-010	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列 TA1A0110	する	27

図 123 ポイント選択

4.1.4 リンク設定を登録する

リンク設定			
削除	No.	タイトル*	URL*
<input type="checkbox"/>	1	デンソーHP	https://www.kk-denso.co.jp/
■ 削除			+ 追加

図 124 ラック（リンク設定）

ラックに付随する情報（メーカーサイト、マニュアルを格納したファイルサーバーなど）のリンク先を設定します。

リンク先を設定しますと、ラック搭載図の右上にアイコンが表示されます。

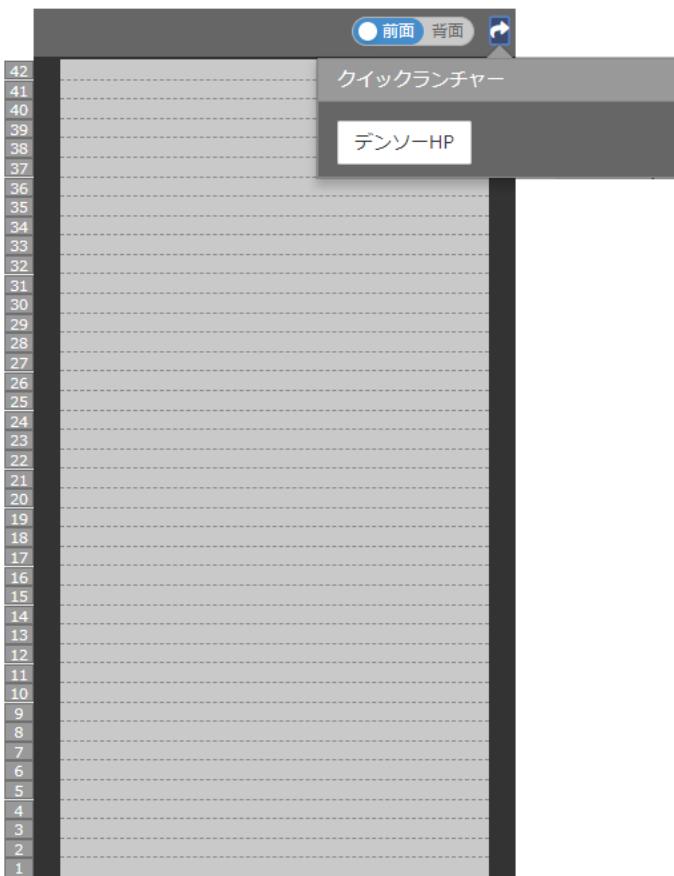


図 125 リンク先表示（ラック：クリックランチャー）

クリックランチャーが表示された状態で、タイトルをクリックすると、リンク先に設定した URL でブラウザもしくはエクスプローラーが表示されます。

4.2 ラック情報を削除する

登録済みのラック情報を削除します。

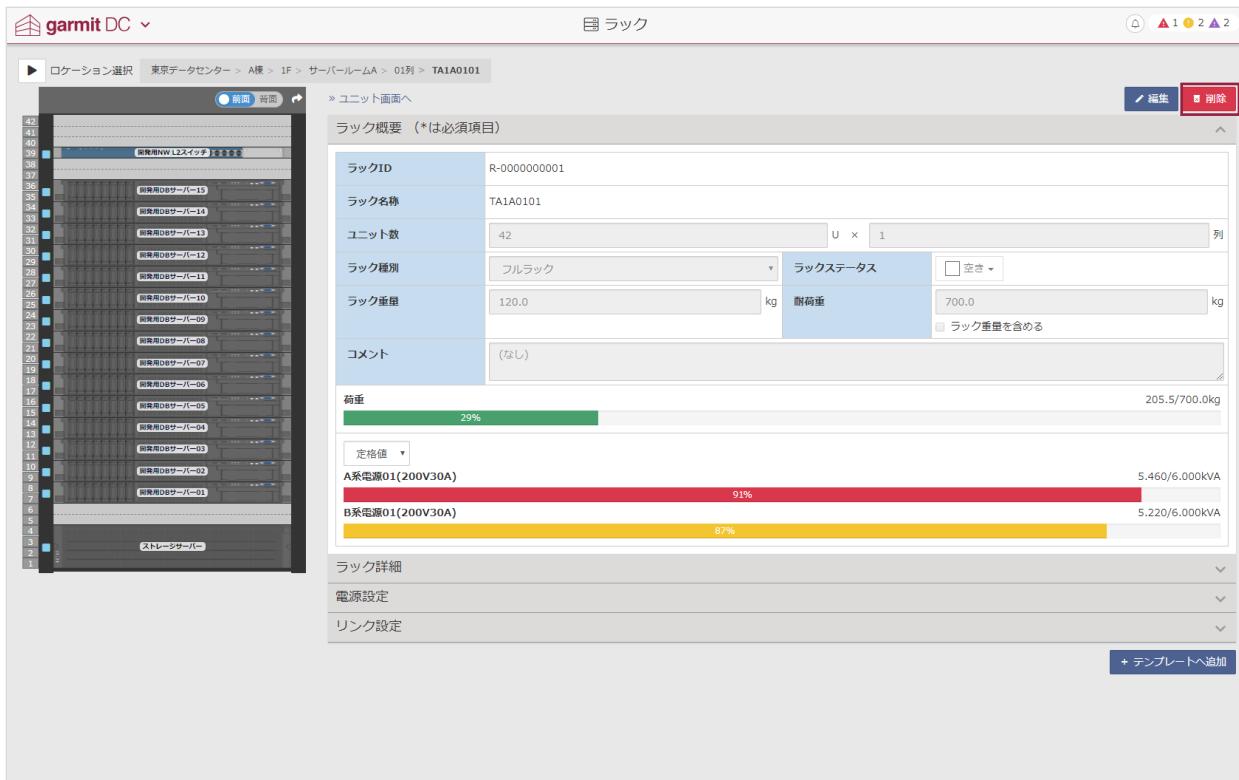


図 126 ラック

ラック画面で、ロケーション（ラック）を選択し、「削除」ボタンをクリックすると、表示中のラック情報が削除されます。

このとき、**ラックに紐づけられているユニット情報もすべて削除されますので、ご注意ください。**

4.3 ラックのアラーム発生状況を確認する

ラックに関するアラームの発生状況を確認することができます。

ラックに関するアラームについては、耐荷重超過、電力の閾値超過、期限超過を監視します。

各アラームの判定基準は、以下の通りです。

No.	アラーム種別	判定基準	備考
1	耐荷重制限超過	ラックの耐荷重に対し、搭載されたユニット重量の合計値が耐荷重を超過する	
2	耐荷重制限超過前	ラックの耐荷重に対し、搭載されたユニット重量の合計値が指定した割合を超過する	
3	上限異常（電力）	ラック電源で指定した上限異常閾値を超過する	
4	上限注意（電力）	ラック電源で指定した上限注意閾値を超過する	
5	期限超過	日付時刻型で登録された項目で、期限日時を超過する	
6	期限超過前	日付時刻型で登録された項目で、期限日時から指定された日数前を超過する	ラックメンテナンスで「監視する」と設定された場合のみ

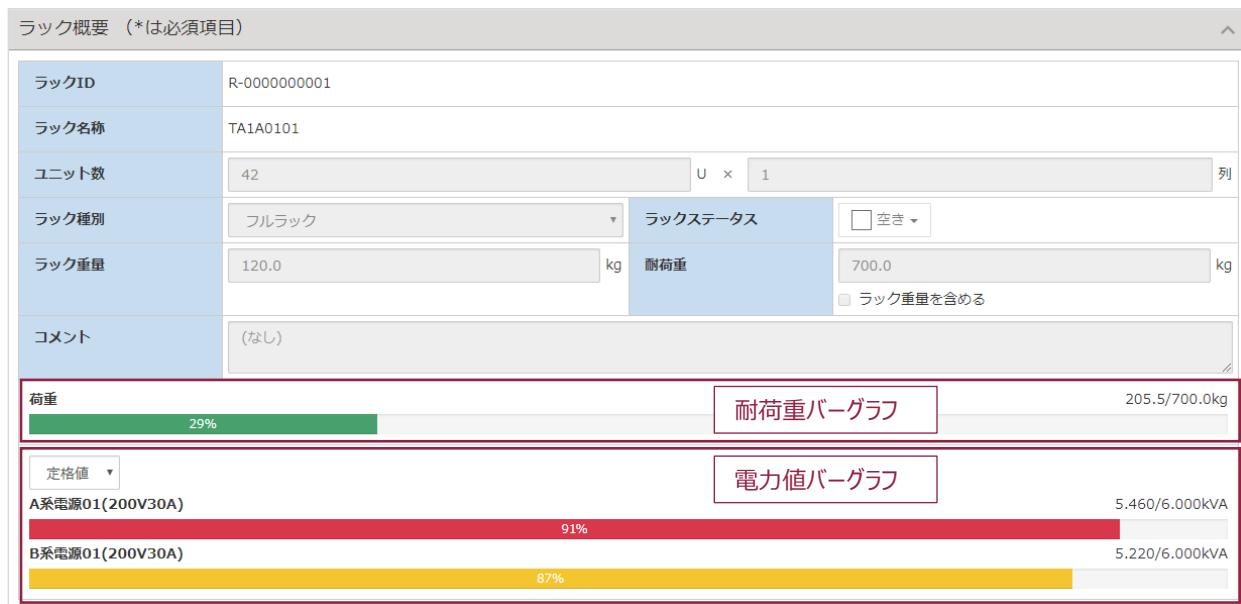
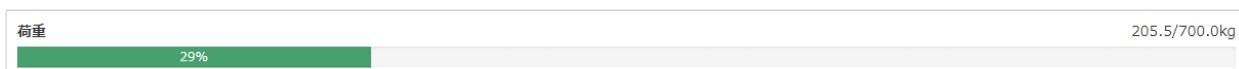


図 127 ラック（ラック概要）

4.3.1 耐荷重制限超過/耐荷重制限超過前

耐荷重注意閾値を 80%とした場合のバーグラフの表示は、以下の通りです。



上図の例では、ラックの耐荷重が 700kg に対し、ユニット重量の合計値が 205.5kg であり、閾値超過していないので正常色（緑）のバーグラフが表示されます。



ラックに搭載したユニット重量の合計が、耐荷重注意閾値を超過すると、上図のようなバーグラフとなります。



ラックに搭載したユニット重量の合計が、耐荷重（700kg）を超えると、上図のようなバーグラフとなります。

4.3.2 上限異常（電力）/上限注意（電力）

電源使用率をバーグラフで表示します。

電源使用率は、定格値と実測値の2種類のバーグラフで表示します。

定格値は、ユニット毎に登録した消費電力の合計値をもとに算出した使用率です。

実測値は、ブレーカーに紐づけられたポイントの計測値をもとに算出した使用率です。ブレーカーに紐づけられず、アウトレット毎にポイントが紐づけられている場合は、アウトレット毎の合計値を算出した使用率を表示します。

ブレーカーにポイントが紐づけられていない場合は実測値のバーグラフは表示されません。

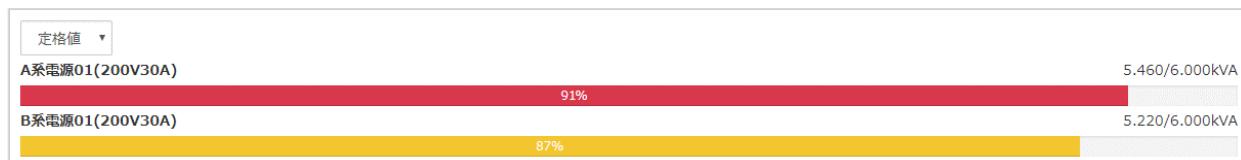


図 128 電源使用率バーグラフ（定格値）

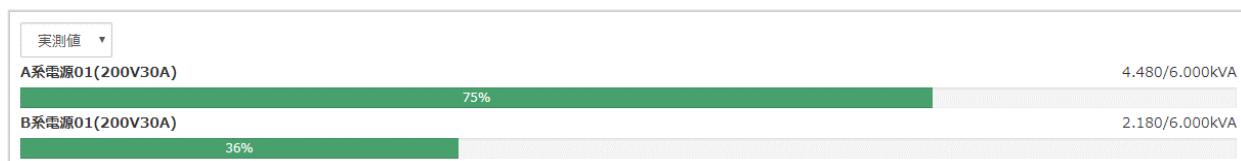


図 129 電源使用率バーグラフ（実測値）

アラーム判定基準の閾値については、ラック電源設定で登録した内容によって変わります。

(1) ラック電源設定でブレーカーを割り当てない場合

ラック電源設定の上限異常、上限注意に登録した閾値でアラーム判定を行います。

(2) ラック電源設定でブレーカーを割り当てた場合

・「ブレーカーの閾値を使用」しない

(1) と同様、ラック電源設定の上限異常、上限注意に登録した閾値でアラーム判定を行います。

・「ブレーカーの閾値を使用」する

電源系統メンテナンスで、ブレーカー（分岐電源）に紐づけたポイントの閾値でアラーム判定を行います。

ブレーカーにポイントが紐づけられていない場合は、アラーム判定を行いません。

4.3.3 期限超過/期限超過前

ラックメンテナンスにて、項目のデータ型に日付時刻型を選択すると、監視状態設定が可能となります。

監視する設定とすると、期限超過前アラーム判定基準（日数）の入力欄が表示されます。

有効	検索対象	項目名*	データ型	データ/書式	監視状態
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	保守会社名	文字列型		
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	保守期限	日付時刻型	yyyy/MM/dd 指定なし 時刻のみ指定	<input checked="" type="checkbox"/> 監視する 31 日前
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	メモ	文字列型（複数行）		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	未設定	文字列型		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	未設定	文字列型		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	未設定	文字列型		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	未設定	文字列型		

ラック詳細					
【ラック画面（ラック詳細）】					
保守期限を「2019/12/31」と登録している					
(5)保守期限	2019/12/31	(2)保守連絡先	03-1234-5678		
		(4)保守費用	300000		
		(6)メモ			

図 130 期限超過アラーム判定基準設定

上図の例の場合、2019 年 12 月 31 日より 31 日前の 0:00 を経過すると、期限超過前アラームと判定します。

2019 年 12 月 31 日の 0:00 を経過すると、期限超過アラームと判定します。

期限超過に関するアラームは、アラームトーストで通知されます。



図 131 アラームトースト

4.4 ユニット情報を登録する

ユニットに関する情報を登録・編集します。

ユニット概要、ユニット詳細、電源設定（分岐電源との紐づけ）、リンク設定、ネットワーク設定を行います。

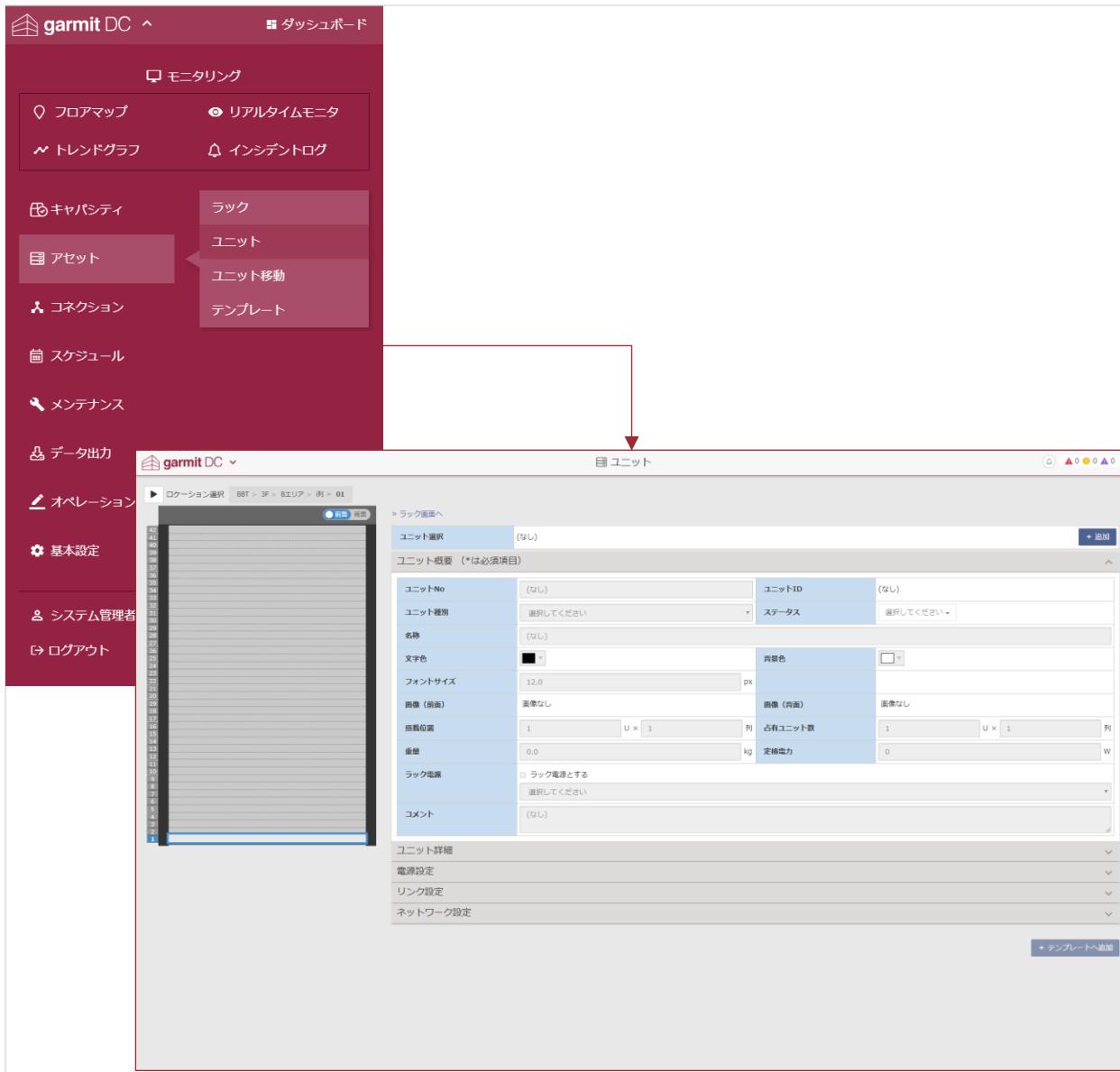


図 132 ユニット（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「アセット」>「ユニット」を選択すると、ユニット画面が表示されます。

ロケーション選択で、編集対象のロケーション（ラック）を選択します。

4.4.1 ユニット概要を登録する

ユニット選択 (新規ユニット)

ユニット概要 (*は必須項目)

ユニットNo* 1 ユニットID (なし)

ユニット種別* サーバー テンプレート選択

ステータス* 選択してください 必須項目です

名称* 必須項目です

文字色* 黒 背景色*

フォントサイズ* 12 px

画像 (前面) 画像なし 画像 (背面) 画像なし

搭載位置* 1 U × 1 列 占有ユニット数* 1 U × 1 列

重量* 0 kg 定格電力* 0 W

ラック電源 ラック電源とする 選択してください

コメント

図 133 ユニット (概要)

初期登録時は、「追加」ボタンをクリックすると、編集モードとなります。

ユニット ID は自動採番ですので、編集できません。

ユニット No. は、搭載位置が重複する場合に、ユニット毎に付与する一意の番号となります。

手動入力項目ですが、既存のユニット No の場合は、エラーとなります。

ユニットステータスは、下記 3 種類から選択します。

・新規 (新規)

・予約済み (予約)

・利用中 (利用)

選択したステータスは、ラック搭載図の対象ユニットの左側に表示されます。



図 134 ラックステータス表示

ラック搭載図に表示するユニット画像の設定をしない場合には、ユニット概要で指定した背景色、文字色で表示します。

画像の「選択」ボタンをクリックすると、画像選択画面が表示されます。



図 135 画像選択

ラックに搭載した機器（UPS など）をラック電源として登録する場合には、「ラック電源とする」にチェックを入れてください。

搭載機器をラック電源として登録する際の手順は以下の通りです。

1. (ラック画面) ラック電源情報を登録します（保存します）
2. (ユニット画面) 「ラック電源とする」にチェックを入れ、登録済みのラック電源情報から、該当するラック電源を選択します。

コメントに「#」+キーワードを登録すると、ユニット検索時の条件（ハッシュタグ）で検索することができます。

4.4.2 ユニット詳細を登録する

ユニット詳細	
表示ページ	機器情報
(1)メーカー名	(2)型番
(3)ホスト名	(4)機種名
(5)寸法	(6)ステータス 選択してください
(7)マニュアル	

図 136 ユニット（詳細）

ユニット情報の詳細を登録します。

表示ページは、概要で選択した「ユニット種別」に応じて変わります。

項目については、ユニットメンテナンスで「有効」と設定した項目が表示されます。

4.4.3 電源設定情報を登録する

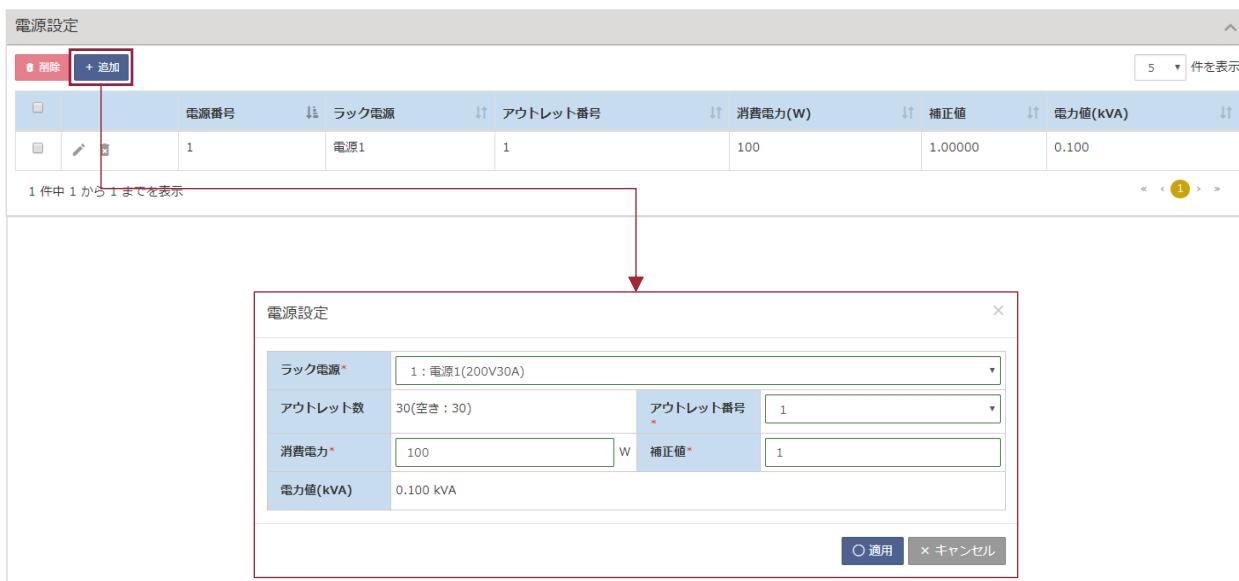


図 137 ユニット電源設定

ユニット電源設定を登録します。

ラック電源、選択した電源のアウトレット番号、消費電力、補正值を入力します。

ここで登録した消費電力は、ラック画面の電源使用率（定格値）に反映されます。

4.4.4 リンク設定を登録する

リンク設定			
削除	No.	タイトル*	URL*
<input type="checkbox"/>	1	デンソーHP	https://www.kk-denso.co.jp/
[削除] [+ 追加]			

図 138 ユニット（リンク設定）

ユニットに付随する情報（メーカーサイト、マニュアルを格納したファイルサーバーなど）のリンク先を設定します。

リンク先を設定すると、編集対象ユニットの右側にアイコンが表示されます。

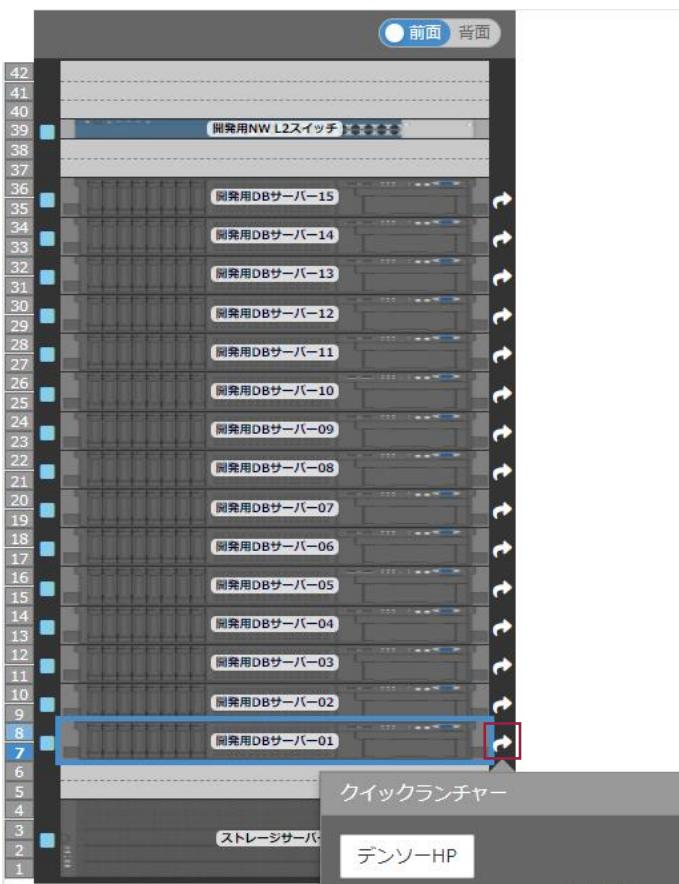


図 139 リンク先表示（ユニット：クリックランチャー）

クリックランチャーが表示された状態で、タイトルをクリックすると、リンク先に設定した URL でブラウザもしくはエクスプローラーが表示されます。

4.4.5 ネットワーク設定を登録する

ネットワーク設定

ポート数*		4					
ポート一覧							
削除	ポート番号*	名称*	コネクタ形状				
	1	ポート1	選択してください				
	2	ポート2	選択してください				
	3	ポート3	選択してください				
	4	ポート4	選択してください				
		※ IPアドレス一覧へ適用					
IPアドレス一覧							
削除	No.	種別*	名称*	IPアドレス*	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ	ポート
	1	IPv4	アドレス1	192.168.0.1	255.255.255.0	192.168.0.255	1
	2	IPv4	アドレス2	192.168.0.2	255.255.255.0	192.168.0.255	2
	3	IPv4	アドレス3	192.168.0.3	255.255.255.0	192.168.0.255	3
	4	IPv4	アドレス4	192.168.0.4	255.255.255.0	192.168.0.255	4
		※ IPアドレスの設定内容も変更される可能性があるため。					

図 140 ユニット（ネットワーク設定）

ユニット毎のネットワークポートおよび IP アドレスを設定します。

ポート一覧で、ポート数を変更した場合は、「IP アドレス一覧へ適用」ボタンをクリックしてください。

※IP アドレスの設定内容も変更される可能性があるため。

4.5 ユニット情報を削除する

登録済みのユニット情報を削除します。

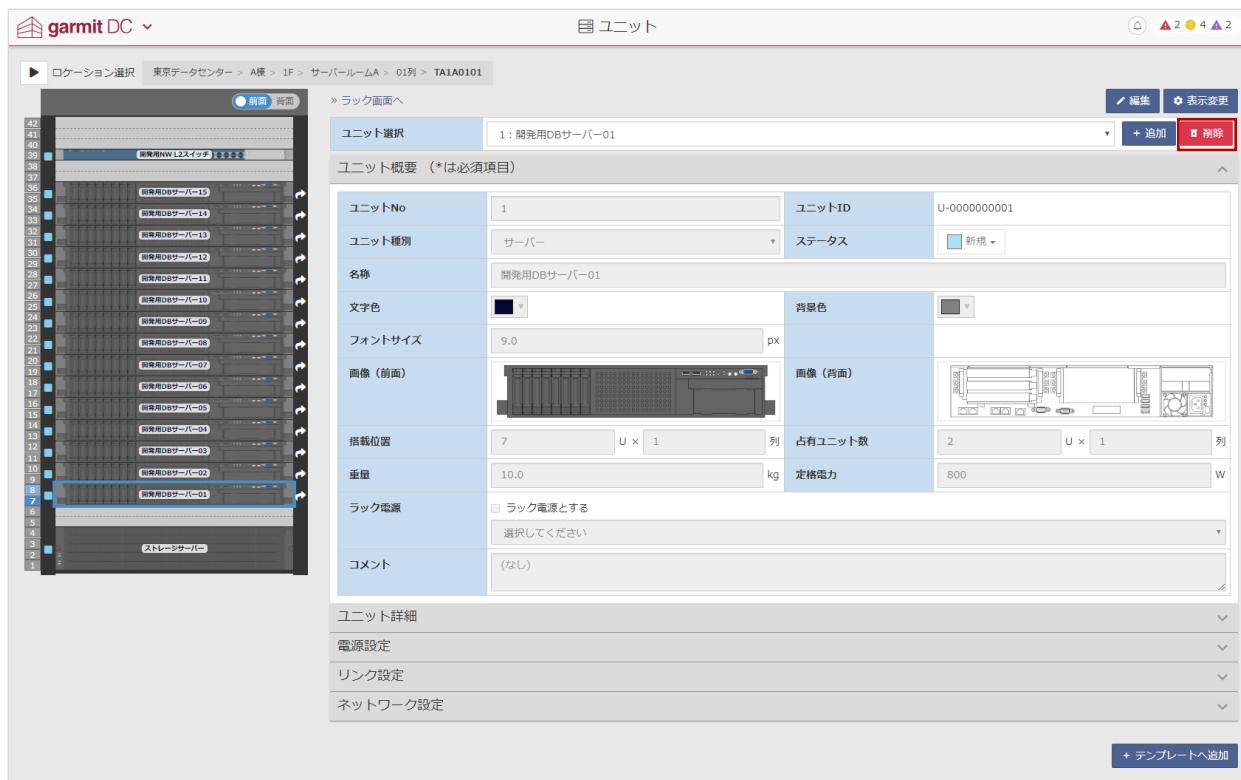


図 141 ユニット

ラック搭載図から削除対象ユニットを選択し、「削除」ボタンをクリックすると、選択中のユニット情報が削除されます。

ユニットに紐づいている電源設定情報、ネットワーク情報なども削除されるため、ラック画面のバーグラフも更新されます。

4.6 同一ユニットに複数ユニット登録する

同一ラック、同一ユニットに複数台のユニット情報を登録できます。

The screenshot displays the garmit DC software interface for managing rack units. It shows two stacked 'Unit Registration' forms.

Top Form (Unit 1):

- Unit ID:** U-0000000034
- Type:** Storage
- Name:** Storage Server
- Front Image:** A placeholder image for the front panel.
- Mounting Position:** 1U x 1
- Weight:** 50.0 kg
- Rack Power:** Checkboxes for rack power and selection.
- Comments:** (none)

Bottom Form (Unit 2):

- Unit ID:** (none)
- Type:** Server
- Name:** (必選項目)
- Front Image:** Placeholder image.
- Mounting Position:** 1U x 1
- Weight:** 0 kg
- Rack Power:** Checkboxes for rack power and selection.
- Comments:** (none)

図 142 ユニット登録（複数ユニット）

ユニット情報が登録済みの搭載位置を選択し、「追加」ボタンをクリックすると、新規登録モードで入力ができるようになります。

ユニット No.は登録済みのユニット No.以外の番号が指定できます。特に指定しない場合は、連番となります。

ユニット情報を入力し「保存」すると、ラック搭載図の搭載位置の右側に、登録ユニット数が表示されます。

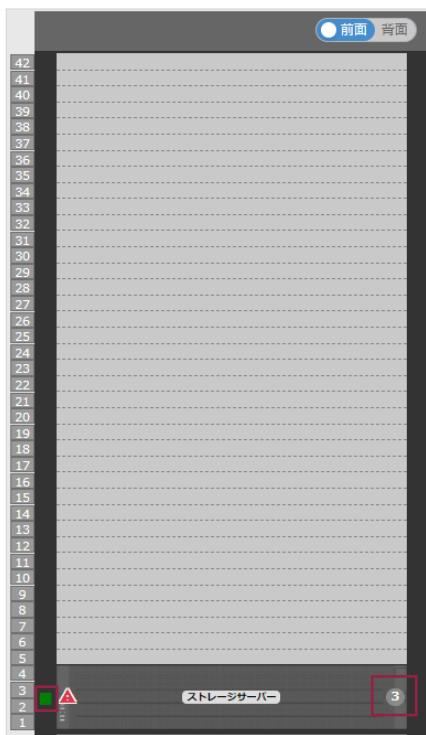


図 143 ラック搭載図（複数ユニット登録）

同一搭載位置に複数のユニットを登録した場合のステータスについては、優先度の高いものを表示します。

選択可能なラックスステータスの優先度は、以下の通りです。

- ・新規（優先度：3）
- ・予約済み（優先度：2）
- ・利用中（優先度：1）

※優先度の数字が小さいものほど、優先度が高くなります。

ステータスの異なるユニットを複数登録した場合は、上記の優先度で一番高いものをラック搭載図に表示します。

例) ステータスが「新規」、「予約済み」、「利用中」のユニット 3 台を同一位置に搭載した場合

ラック搭載図には、「利用中（■）」のステータスが表示されます。

4.7 表示ユニット画像を変更する

ユニット情報を登録すると、特に指定しない場合には、登録されたユニット情報の画像を表示します。

ユニット情報画像でない画像を搭載図に表示したい場合には、変更することができます。

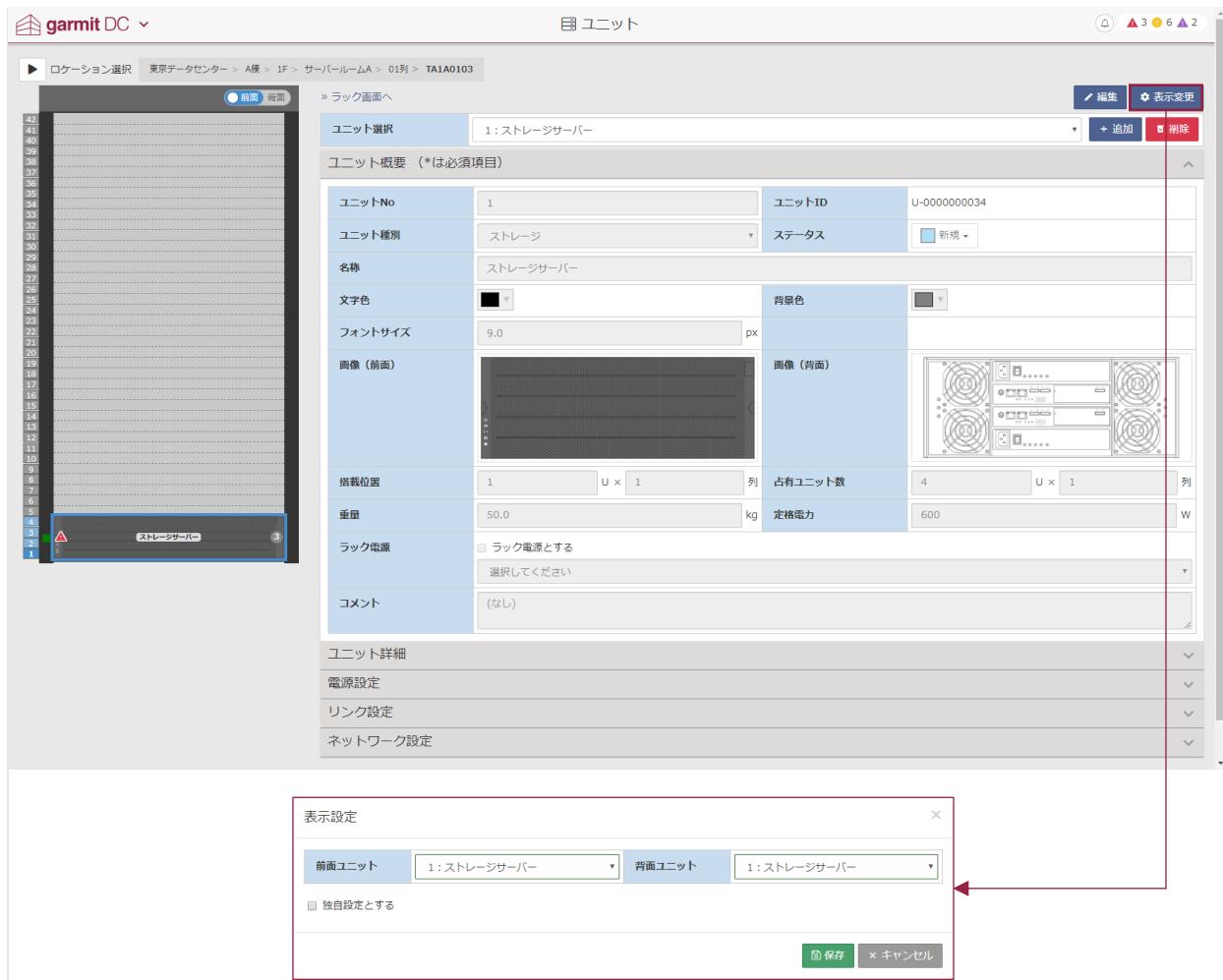


図 144 ユニット表示画像変更

ユニット画面で、「表示変更」ボタンをクリックすると、表示設定モーダルが表示されます。

表示設定モーダルで、表示画像を変更すると、搭載図に表示されるユニット画像が更新されます。

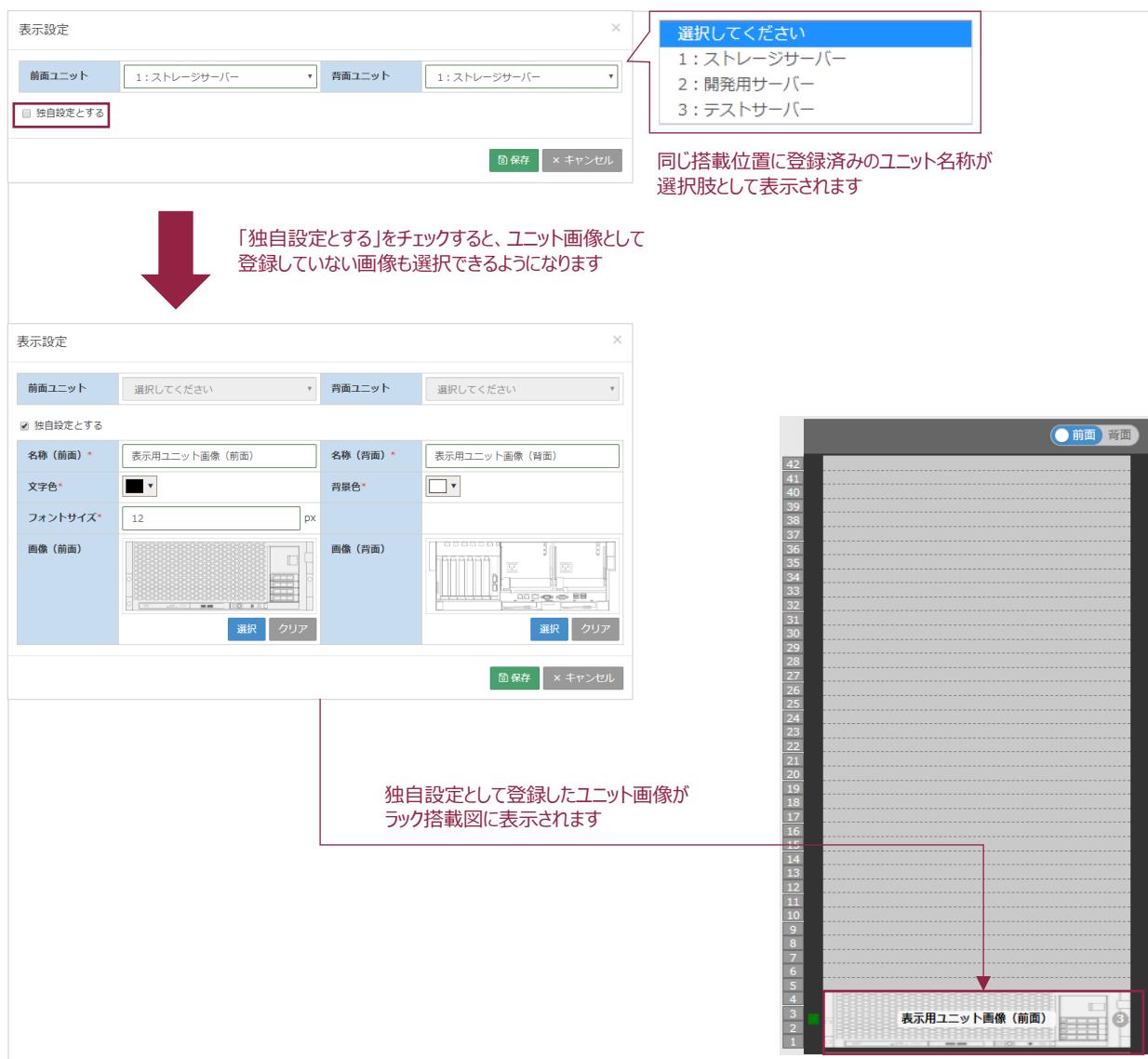


図 145 ユニット表示画像変更方法

4.8 ユニット画像を登録する

ラック搭載図に表示するユニット画像を登録します。

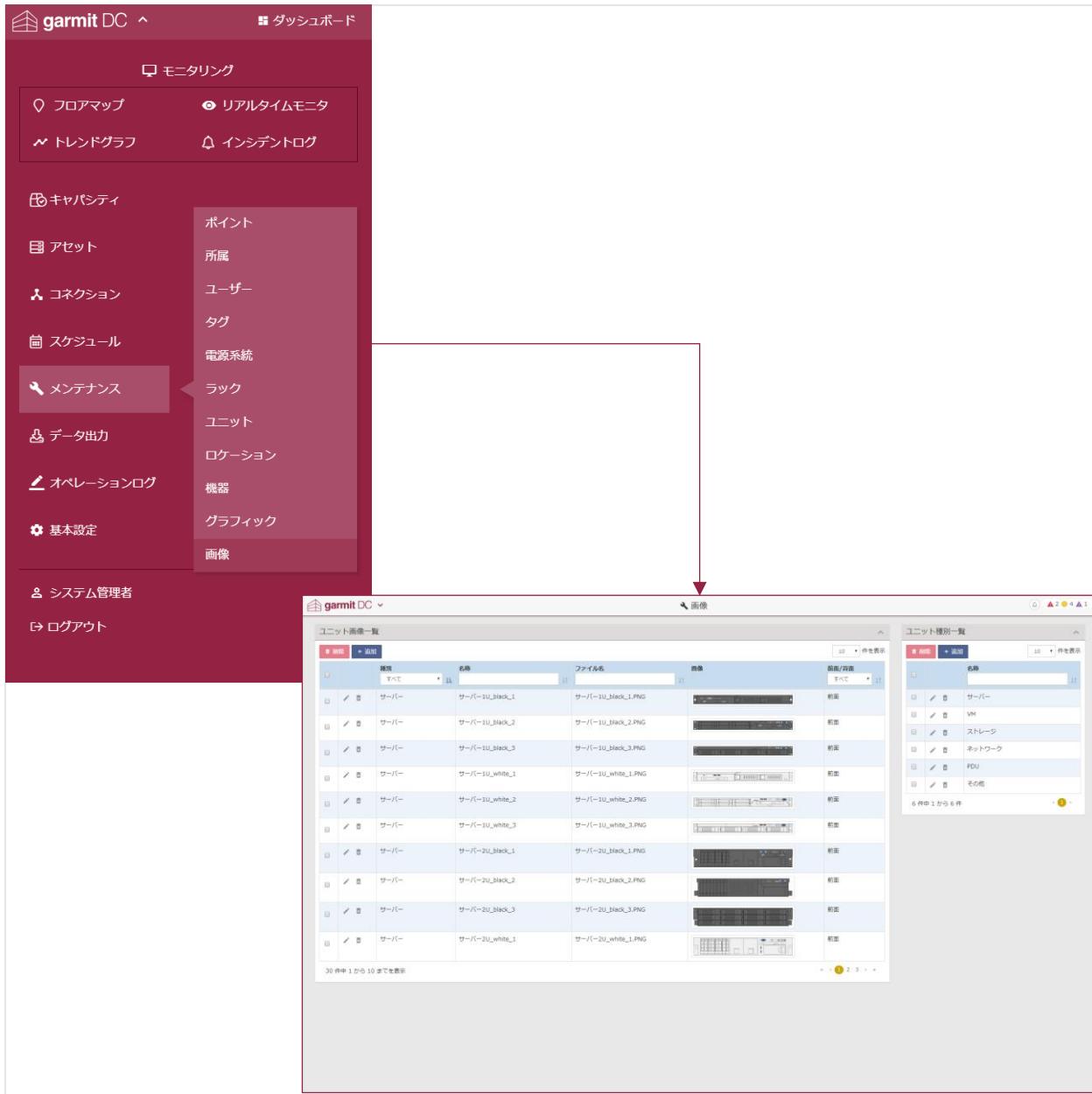


図 146 画像メンテナンス（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「メンテナンス」>「画像」を選択すると、画像メンテナンス画面が表示されます。

この画面から、ユニット画像を登録します。

4.8.1 画像ファイルを追加する

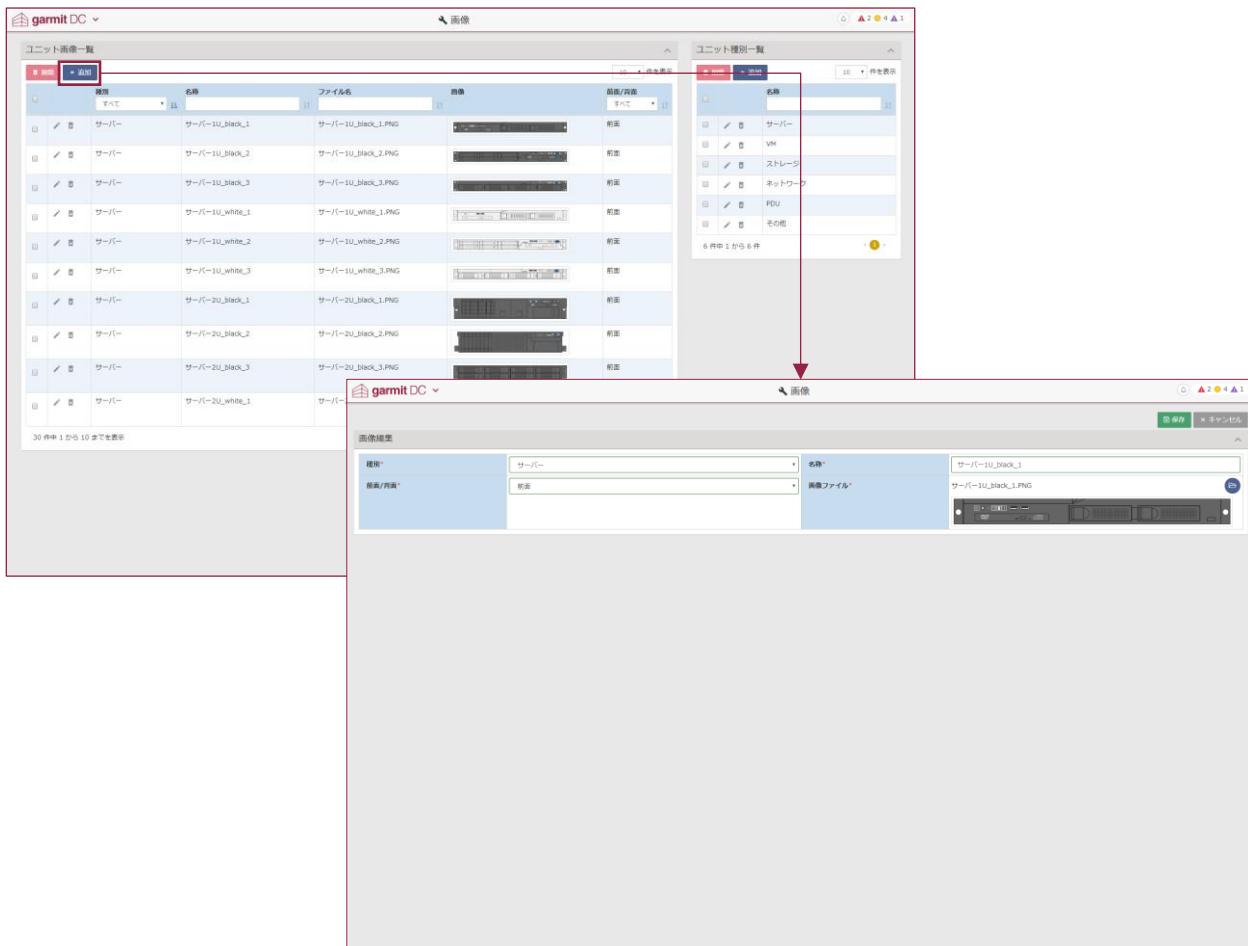


図 147 画像メンテナンス画面遷移

画像一覧の「追加」ボタンをクリックする、もしくは編集アイコン（）をクリックすると、画像編集画面を表示します。

画像編集画面では、ユニット種別、名称、前面/背面、ユニット画像ファイルを指定します。

各項目を指定し、「保存」ボタンをクリックすると、画像一覧に反映されます。

画面一覧に表示されているユニット画像は、ユニット登録時の画像選択モーダルに表示されます。

4.9 ユニット種別を追加・削除する

画像メンテナンス画面から、ユニット種別を追加します。

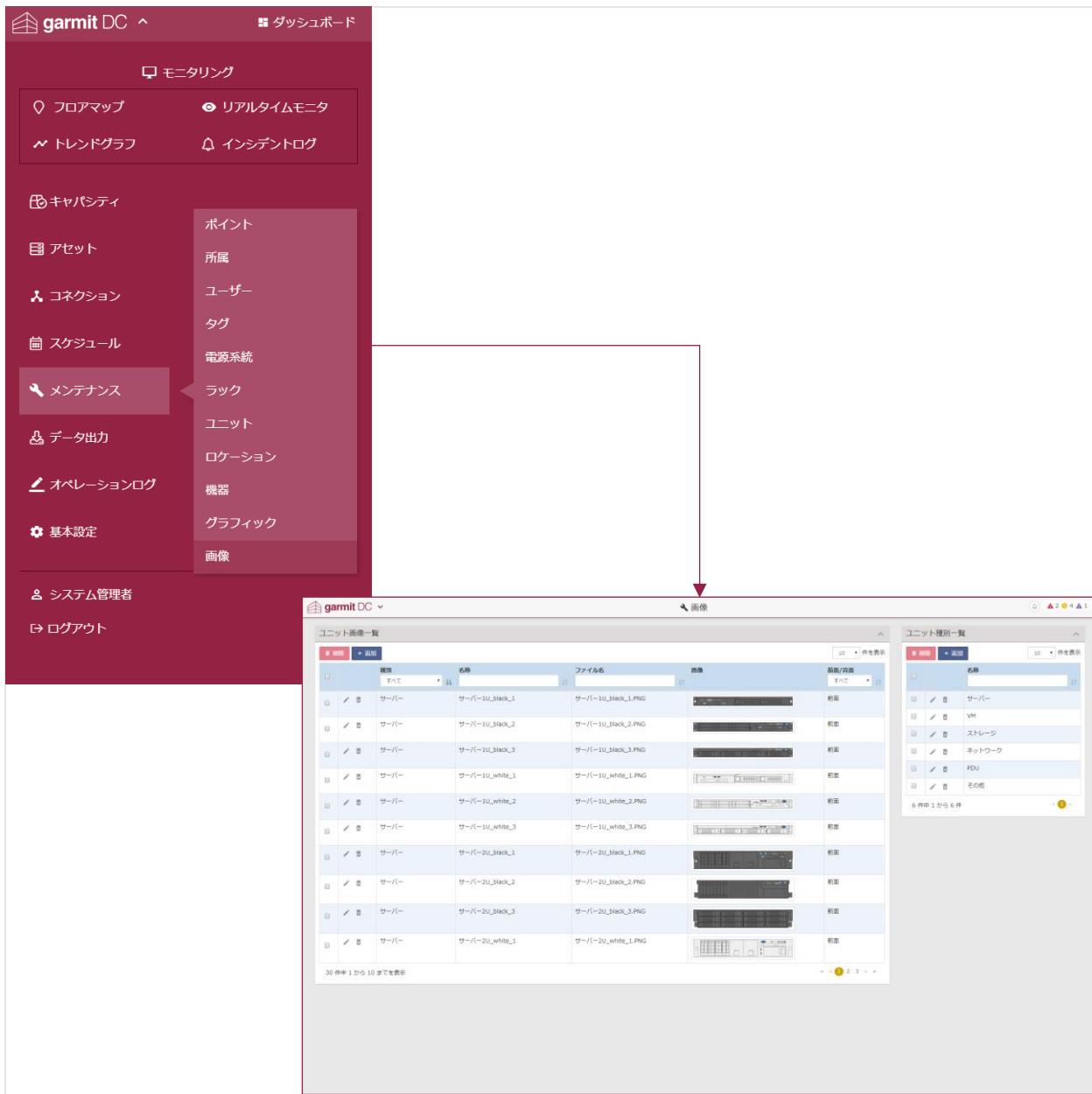


図 148 画像メンテナンス（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「メンテナンス」>「画像メンテナンス」を選択すると、画像メンテナンス画面が表示されます。

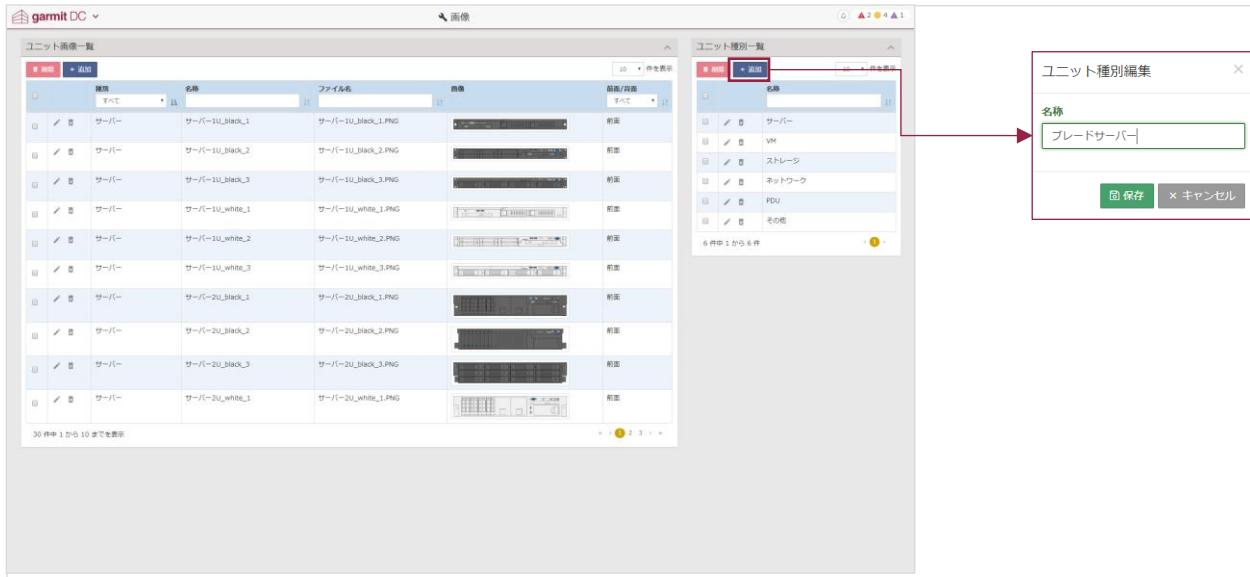


図 149 ユニット種別追加

(1) ユニット種別を追加する

画像メンテナンス画面のユニット種別一覧で、「追加」ボタンをクリックすると、ユニット種別編集モーダルが表示されます。

表示されたモーダルに、ユニット種別名称を入力し、「保存」ボタンをクリックすると、ユニット種別一覧に反映されます。

ユニット種別一覧にて、各ユニット種別行に表示される編集アイコン (edit icon) をクリックすると、ユニット種別編集モーダルが表示されます。登録済みのユニット種別名称を変更できます。

(2) ユニット種別を削除する

ユニット種別一覧にて、削除対象となるユニットを選択して「削除」ボタンをクリックする、もしくは各ユニット種別行に表示される削除アイコン (trash icon) をクリックすると、選択したユニット種別が削除できます。

ユニット情報に紐づけられている場合は削除できません。ユニット種別との紐づけを解除してから削除してください。

4.10 ユニットのアラーム発生状況を確認する

ユニットに関するアラームの発生状況を確認することができます。

ユニットに関するアラームについては、期限超過を監視します。

※アラーム判定基準は、「[4.3.3 期限超過/期限超過前](#)」同様です。ご参照ください。

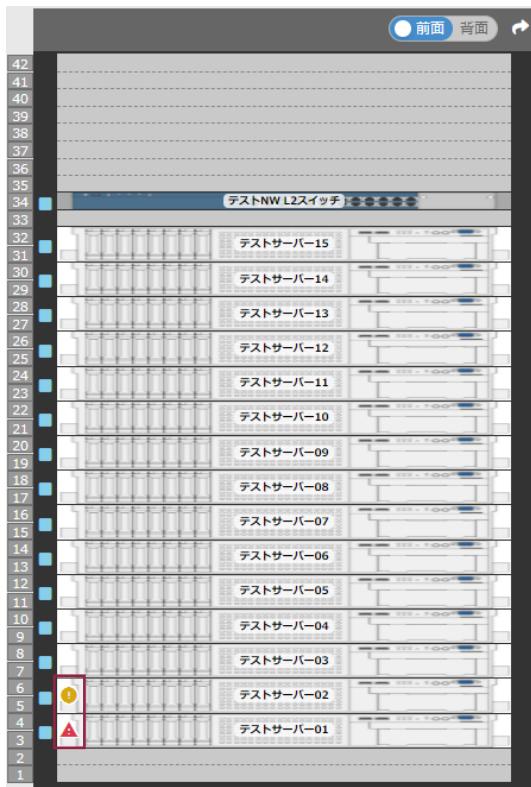


図 150 ラック搭載図

アラーム（期限超過/期限超過前）が発生しているユニットには、ラック搭載図にアラームアイコンが表示されます。

4.11 テンプレート登録する

登録したラック情報、ユニット情報を、テンプレートとして登録します。

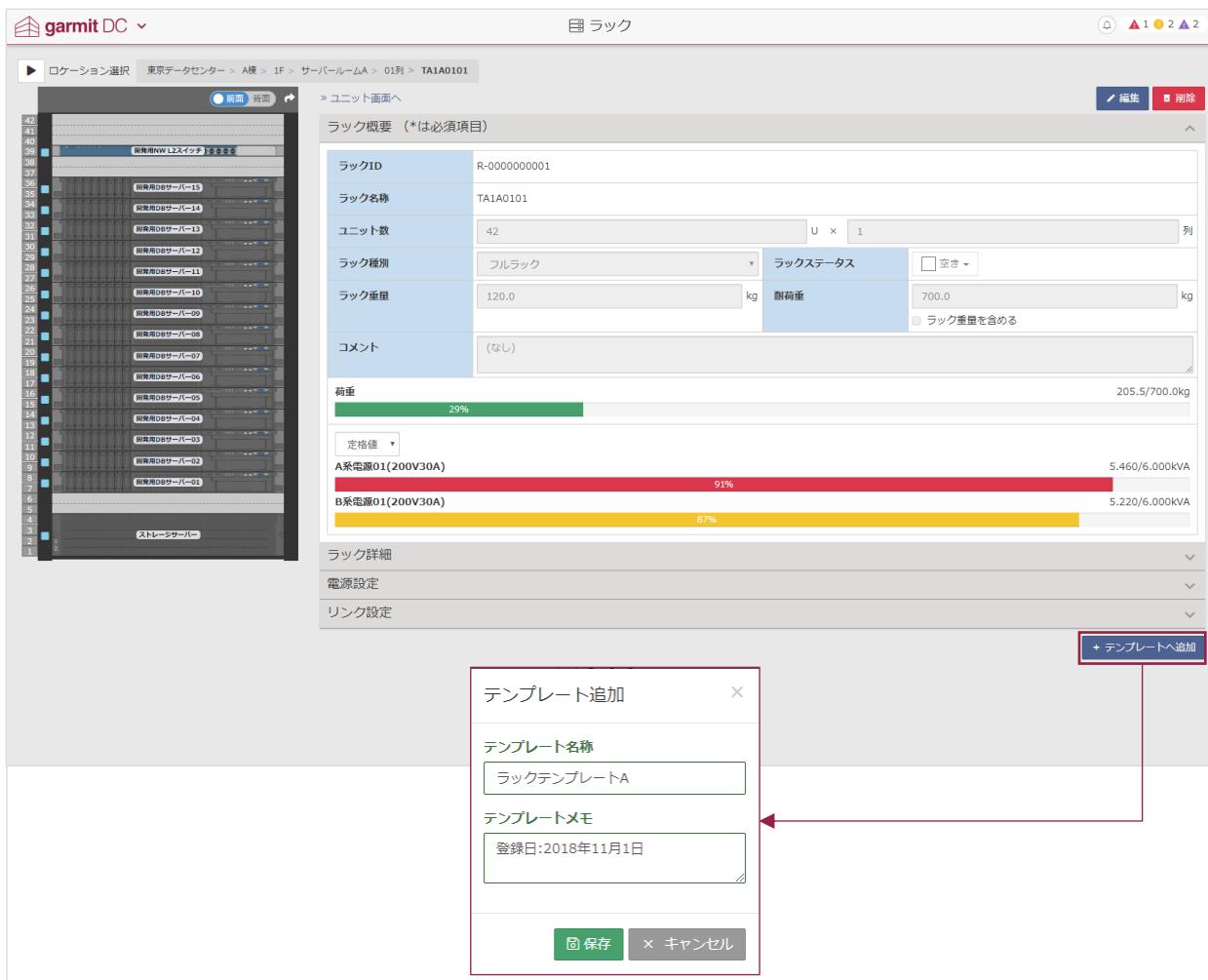


図 151 テンプレート登録

ラックおよびユニット画面が参照モードのときに、「+テンプレート追加」ボタンをクリックすると、テンプレート追加モーダルが表示されます。

テンプレート追加モーダルにて、テンプレート名称（必須）とテンプレートメモ（任意）を入力し、「保存」ボタンをクリックすると
表示中のラック情報をテンプレートとして登録できます。

テンプレートとして登録できるのは、**ラック、ユニットともに概要および詳細情報のみ**です。

4.12 テンプレートを利用する

登録済みのテンプレート情報を利用して、ラック情報およびユニット情報を登録することができます。

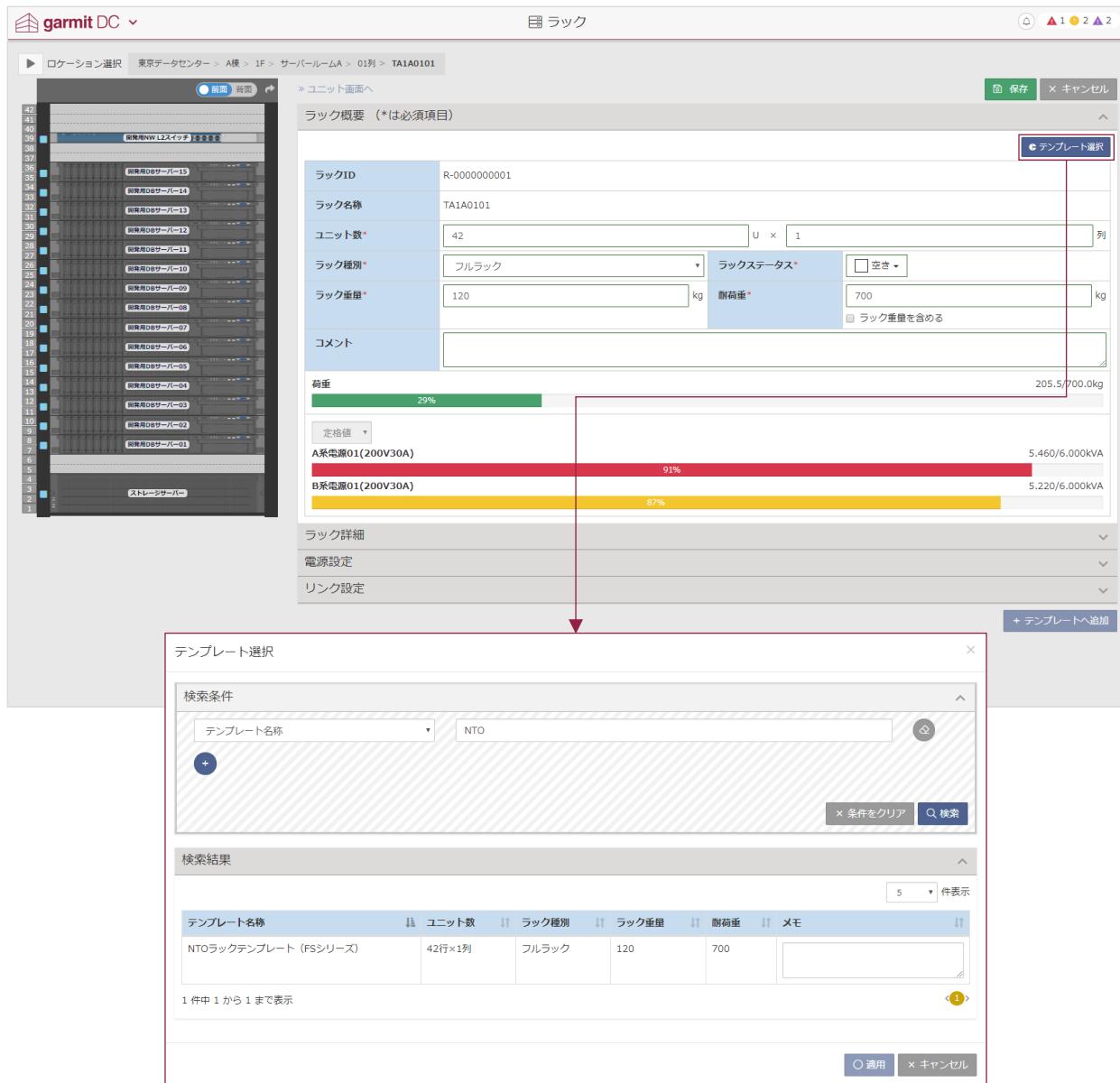


図 152 テンプレート選択

ラック画面が編集モードのときに、「テンプレート選択」ボタンをクリックすると、テンプレート選択画面が表示されます。

テンプレート選択画面で、検索条件を指定して合致したテンプレート情報から、対象となるテンプレートを選択し、「適用」ボタンをクリックすると、ラック画面に反映されます。

テンプレートの検索条件は、以下の通りです。

検索条件	説明
テンプレート名称	キーワードを入力し、テンプレート名称と合致するテンプレート情報を検索する（部分一致）
テンプレートメモ	キーワードを入力し、テンプレートメモと合致するテンプレート情報を検索する（部分一致）

4.13 ユニットを移動する

ラックに搭載したユニットを移動します。

別のラックへの移動、同一ラックの別ユニットへの移動も可能です。

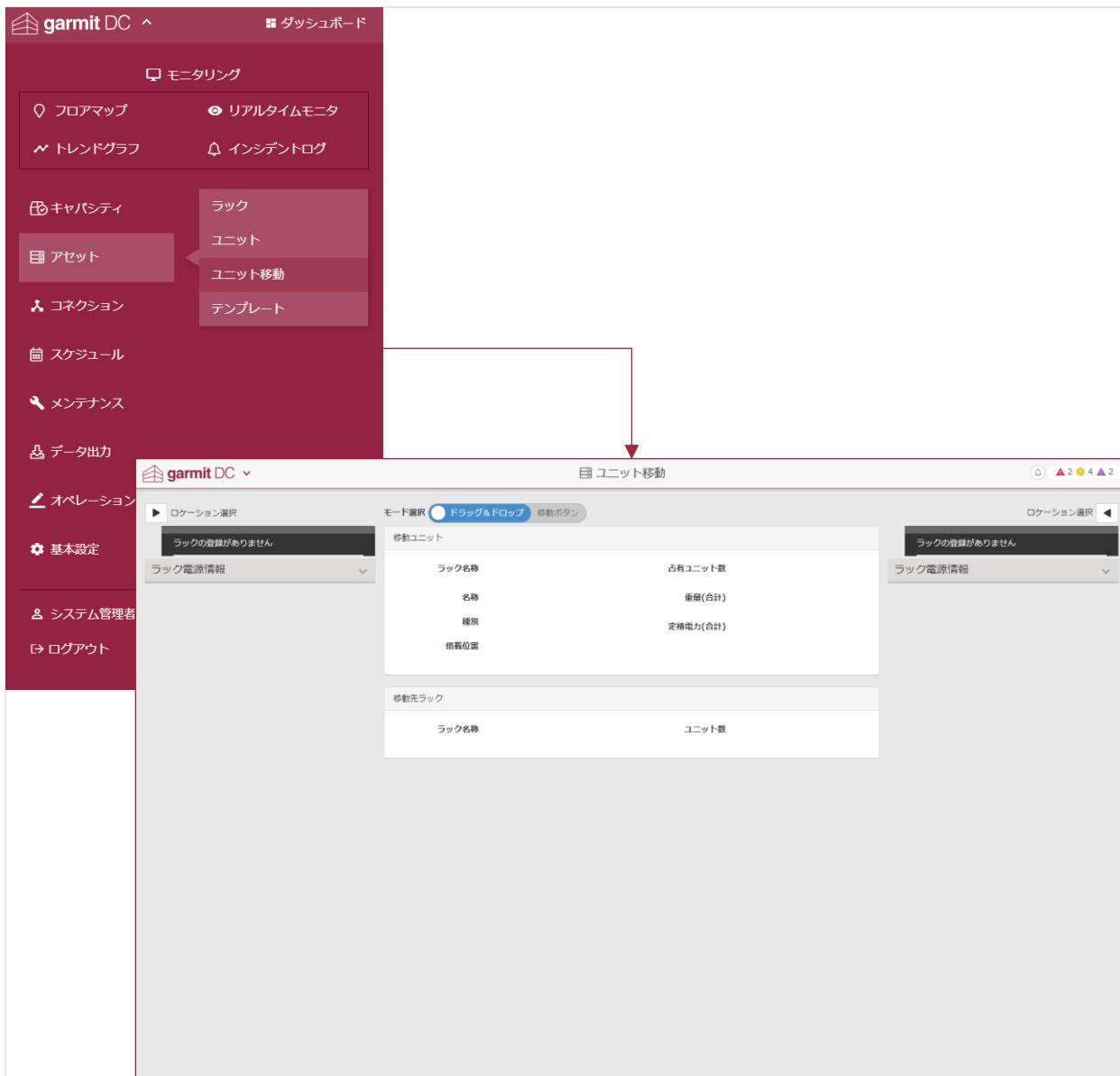


図 153 ユニット移動（メニュー選択→画面表示）

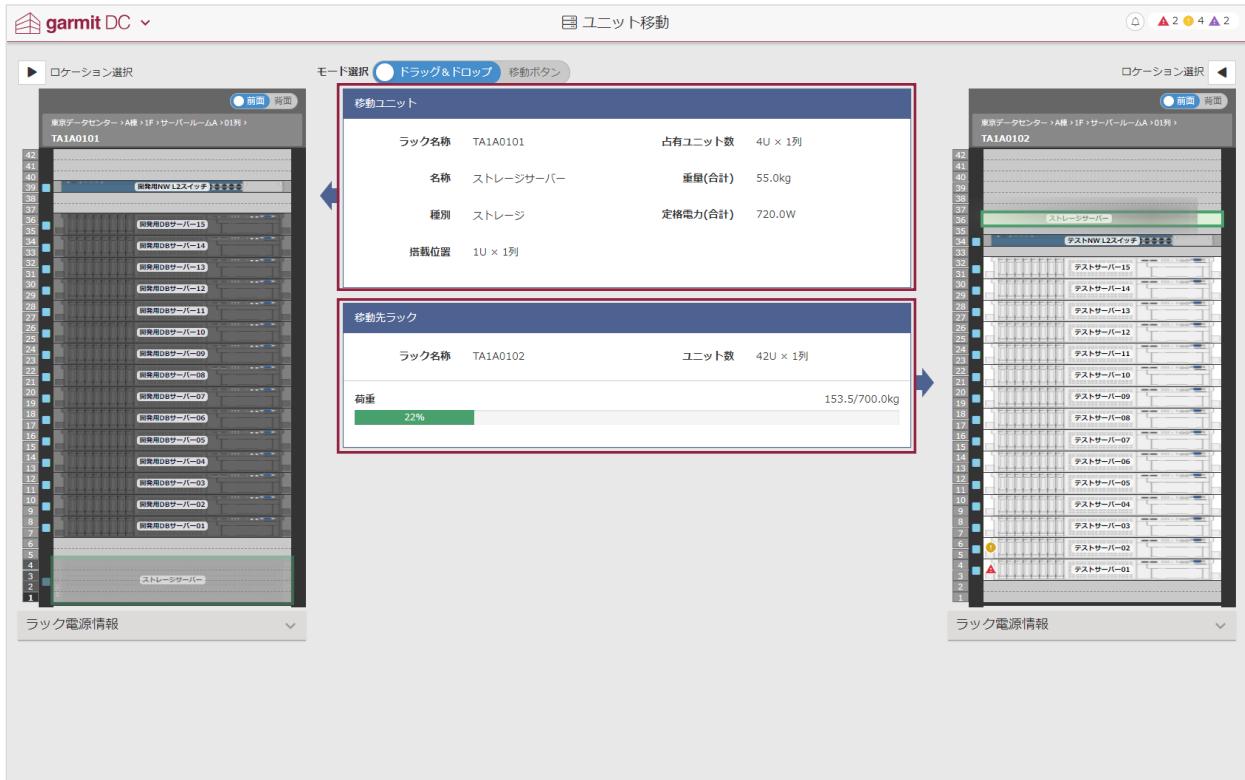


図 154 ユニット移動（ドラッグ & ドロップ）

移動先および移動元のロケーションを選択し、表示されたラック搭載図から移動対象のユニットを選択します。

選択したユニットを、移動先のラックへドラッグ & ドロップすると、ユニットを移動します。

ユニット移動する際、移動するユニットの情報、移動先のラック情報が画面中央部に表示されます。

ユニット移動すると、ユニットに紐づけられていた電源情報、ネットワーク情報などは全て解除されますので、ご注意ください！

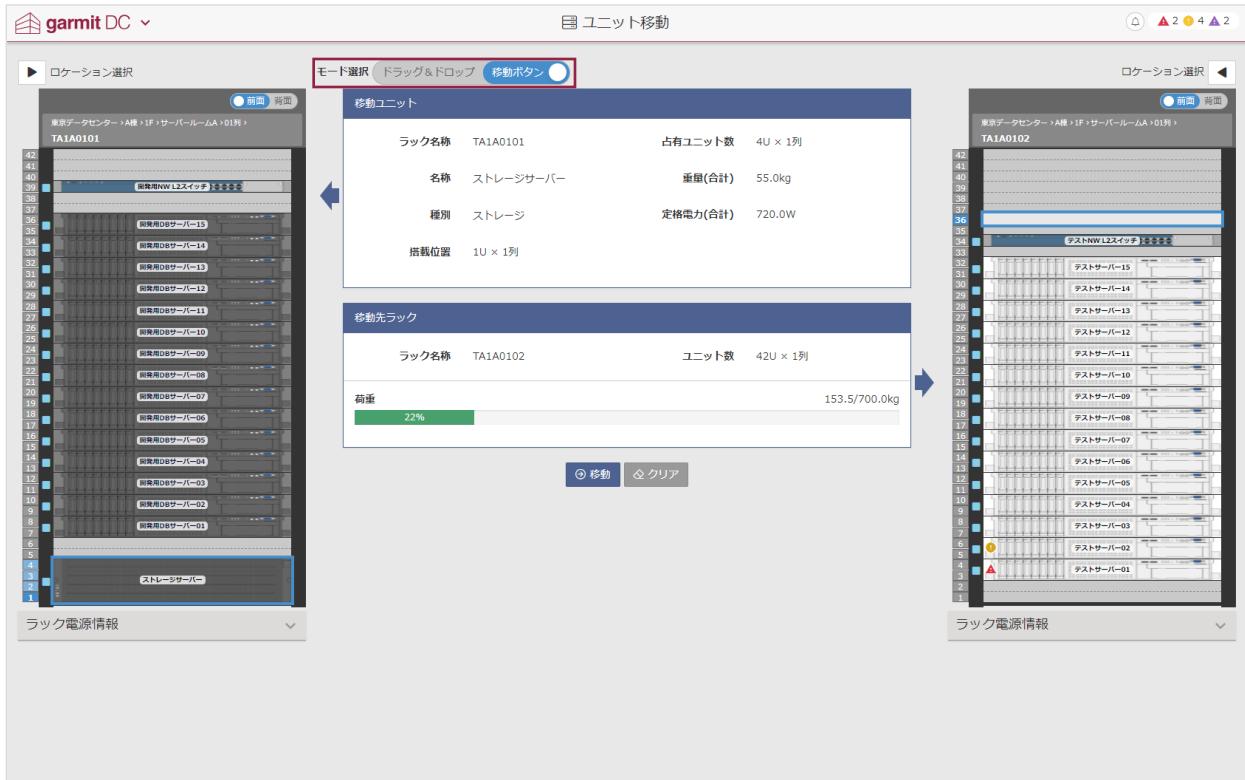


図 155 ユニット移動（移動ボタン）

移動方法としては、ドラッグ & ドロップの他、移動ボタンを表示しての移動も可能です。

モード選択で移動方法を指定します。

移動ボタンモードの場合の手順は以下の通りです。

1. 移動元ラックから、移動ユニットを選択します。
2. 移動先ラックの搭載位置を選択します
→この時点で、「移動」ボタンが有効となります
3. 「移動」ボタンをクリックします。

4.14 ラック・ユニット情報をまとめて登録する

ラックおよびユニット情報については、画面から登録する以外にも、CSV ファイルを使用し、まとめて登録することができます。

新規登録および登録済の情報の編集が可能です。

詳細な操作については、「[9.2 ラック情報をインポートする](#)」、「[9.3 ユニット情報をインポートする](#)」をご参照ください。

ユニット移動時に、移動ユニット選択モーダルが表示されます。

同一搭載位置に複数ユニット登録されている場合は、そのうちの一部を移動することも可能です。

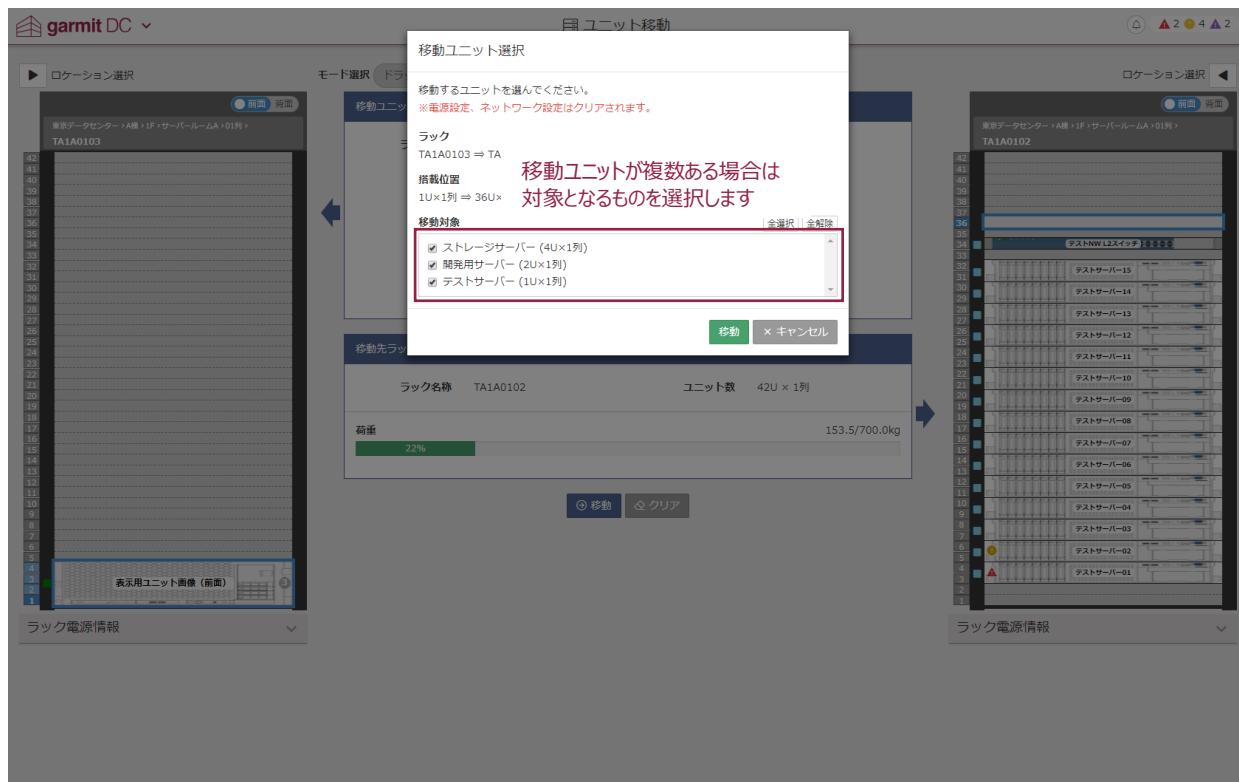


図 156 移動ユニット選択モーダル

ユニット移動後、ユニット画面遷移モーダルが表示されますので、移動したユニットの電源設定およびネットワーク設定をすぐに登録する場合は、「ユニット画面へ」ボタンをクリックしてください。

「ユニット画面へ」ボタンをクリックすると、移動先ラックを選択した状態のユニット画面に遷移します。



ここでキャンセルしても、後から登録することができます。

5 ラック電気錠を操作する

5.1 電気錠の状態を確認する

5.1.1 電気錠マップで確認する

電気錠マップ上で、電気錠ラックの状態を確認します。

メニューから、「モニタリング」>「電気錠マップ」を選択し、さらにレイアウト選択すると、電気錠マップが表示されます。

オブジェクトを選択すると、選択したオブジェクトに紐づく電気錠ラックが選択され、選択ラックの一覧に表示されます。

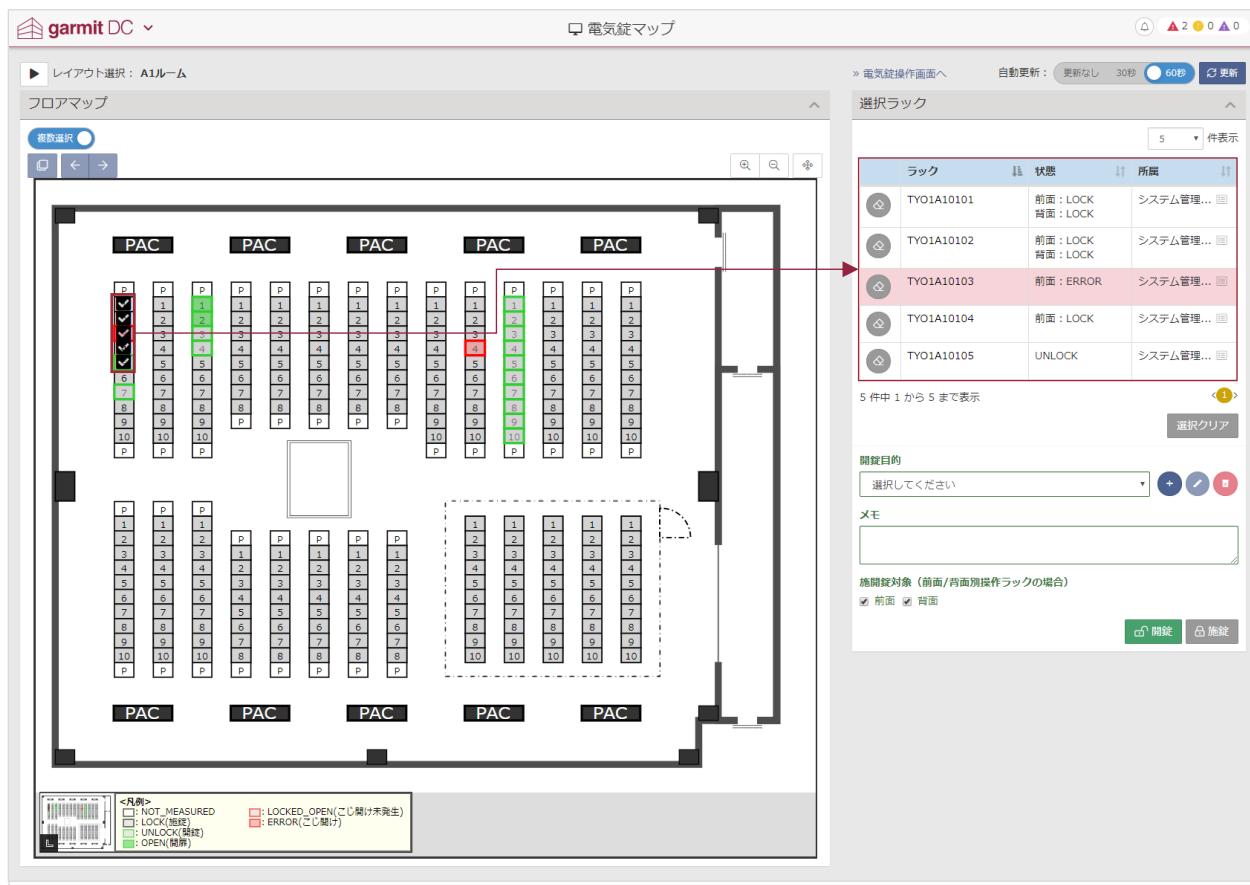


図 157 電気錠マップ

5.1.2 電気錠ラック一覧で確認する

一覧で電気錠ラックの状態を確認します。

メニューから、「操作」>「電気錠」を選択すると、電気錠操作画面が表示されます。

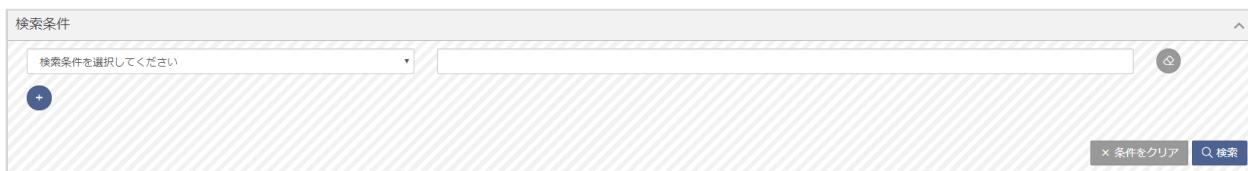


図 158 電気錠ラック検索条件

(1) 検索条件を指定する

検索条件を指定します。

指定できる検索条件は、下記の通りです。検索条件を指定しない場合、全件検索します。

検索条件	説明
ロケーション	登録済みのロケーションから検索対象を選択し、紐づいている電気錠ラックを検索する
所属	登録済みの所属から検索対象を選択し、紐づいている電気錠ラックを検索する

※検索条件の追加、検索条件クリア、検索方法については、「[2.2.1 所属情報を検索する](#)」と同様です。ご参照ください。

(2) 検索ボタンをクリックして一覧を表示する

検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、検索結果が電気錠ラック一覧として表示されます。

検索直後は、ユーザーIDの昇順で表示されます。

検索条件に該当するデータがない場合には、その旨メッセージが表示されます。

一覧表示中は、一覧情報の並べ替え、絞り込み、表示項目変更、レポート出力が可能です。

※操作方法については、「[2.2.2 所属情報一覧を表示する](#)」をご参照ください。

garmit DC

電気錠

電気錠マップへ

検索条件

ロケーション 東京第一センター / A棟 / 1階 / 1列 条件をクリア 検索

ラック一覧

更新 表示設定 レポート出力 件を表示

	ロケーション	ラック名	ステータス	ロケーション
TYO1A10101	TYO1A10101	前面 : LOCK 背面 : LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101	
TYO1A10102	TYO1A10102	前面 : LOCK 背面 : LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102	
▲異常	TYO1A10103	前面 : ERROR	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10103	
TYO1A10104	TYO1A10104	前面 : LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10104	
TYO1A10105	TYO1A10105	UNLOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10105	
TYO1A10106	TYO1A10106	前面 : LOCK 背面 : LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10106	
TYO1A10107	TYO1A10107	前面 : UNLOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10107	
TYO1A10108	TYO1A10108	前面 : LOCK 背面 : LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10108	
TYO1A10109	TYO1A10109	前面 : LOCK 背面 : LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10109	
TYO1A10110	TYO1A10110	前面 : LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10110	

23 件中 1 から 10 までを表示

図 159 電気錠ラック一覧表示

5.2 電気錠の施錠/開錠操作をする

5.2.1 電気錠マップで操作する

電気錠マップで、施錠/開錠したいラックをクリックして選択します。

開錠目的（※開錠の場合のみ）、必須詳細項目、メモを入力し「施錠」または「開錠」をクリックします。

※OPEN 状態の電気錠は施錠できません。

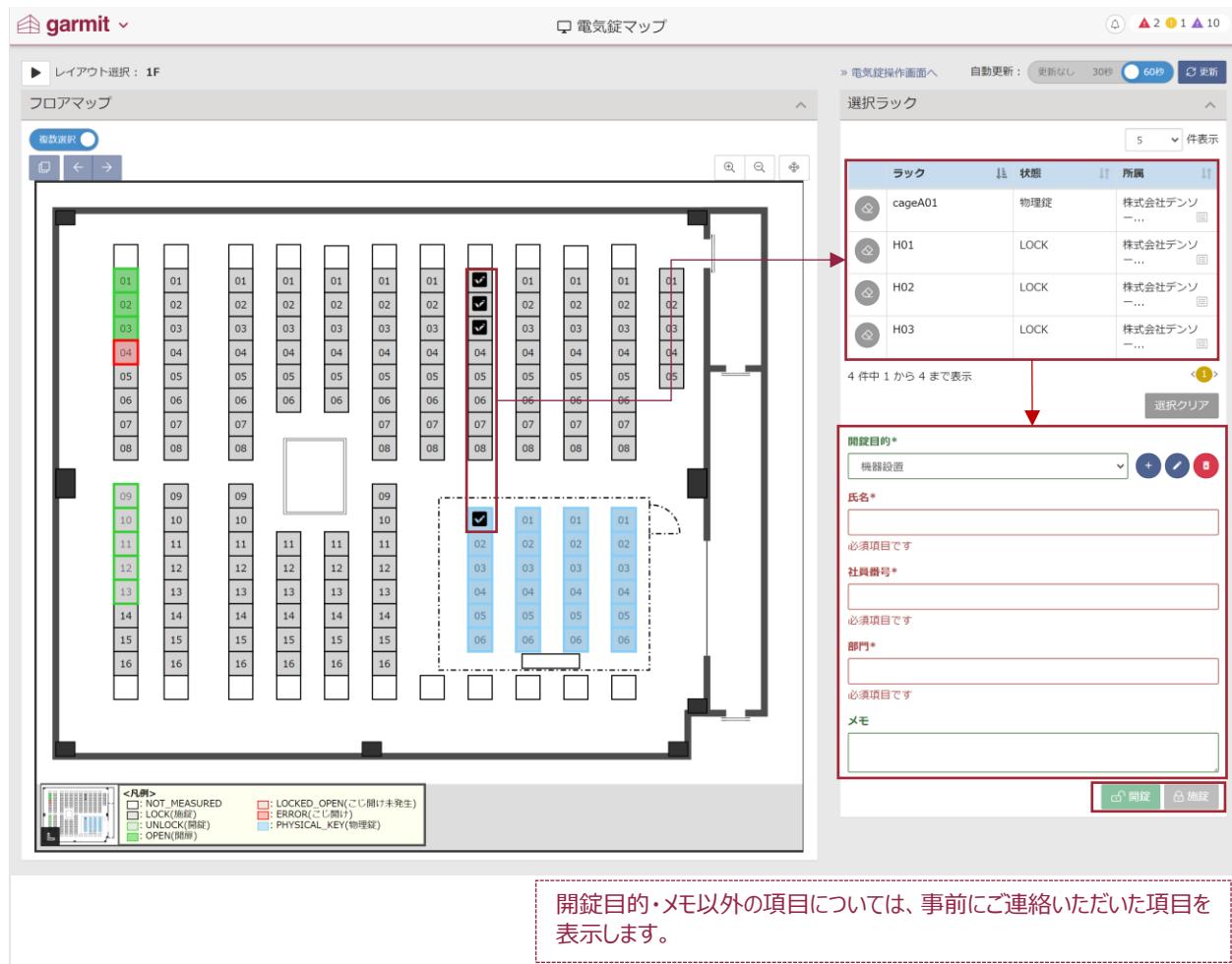


図 160 施錠/開錠操作（電気錠マップ）

5.2.2 電気錠ラック一覧で操作する

<開錠の場合>

The screenshot shows a 'Lock List' interface with the following columns:

- 選択 (Selection)
- 状態 (Status) icon
- ロック名 (Lock Name)
- ステータス (Status)
- ロケーション (Location)

The data rows include:

選択	状態	ロック名	ステータス	ロケーション
<input checked="" type="checkbox"/>	LOCK	TYO1A10101	前面：LOCK 背面：LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101
<input checked="" type="checkbox"/>	LOCK	TYO1A10102	前面：LOCK 背面：LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102
<input checked="" type="checkbox"/>	LOCK	TYO1A10103	▲異常 前面：ERROR	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10103
<input type="checkbox"/>	LOCK	TYO1A10104	前面：LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10104
<input type="checkbox"/>	LOCK	TYO1A10105	UNLOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10105
<input type="checkbox"/>	LOCK	TYO1A10106	前面：LOCK 背面：LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10106
<input type="checkbox"/>	LOCK	TYO1A10107	前面：UNLOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10107
<input type="checkbox"/>	LOCK	TYO1A10108	前面：LOCK 背面：LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10108
<input type="checkbox"/>	LOCK	TYO1A10109	前面：LOCK 背面：LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10109
<input type="checkbox"/>	LOCK	TYO1A10110	前面：LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10110

Below the table, it says "359 件中 1 から 10 までを表示" (Showing 1 to 10 of 359 items). At the bottom right, there are navigation arrows and page numbers (1, 2, 3, 4, 5, ..., 36).

A red box highlights the 'Open' button for lock TYO1A10106. A red arrow points from this button down to the 'Open Target Selection' dialog box.

The 'Open Target Selection' dialog box contains the following fields:

- 開錠目的* (Open Purpose): 機器設置 (Machine Setup)
- 氏名* (Name): (empty)
- 必須項目です (Required item)
- 社員番号* (Employee Number): (empty)
- 必須項目です (Required item)
- 部門* (Department): (empty)
- 必須項目です (Required item)
- メモ (Memo): メモ (empty)
- 開錠 (Open) button
- キャンセル (Cancel) button

図 161 開錠操作（電気錠ラック一覧）

ラック一覧で、ラックを選択し「開錠」ボタンをクリックする、もしくは一覧の開錠アイコン (开錠アイコン) をクリックすると開錠対象選択画面が表示されます。

開錠目的、詳細項目、メモを入力し、開錠対象を選択して「開錠」ボタンをクリックすると、開錠命令が登録されます。

<施錠の場合>

The screenshot shows the 'Rack List' screen with the following details:

- Header:** ラック一覧 (Rack List) with a refresh button and search bar.
- Buttons:** 開錠 (Unlock) and 合施錠 (Lock) are visible at the top left. The '合施錠' button is highlighted with a red box.
- Table:** A grid of 11 rows representing racks, each with a checkbox, lock icon, rack name, status, and location. The last row (TYO1A11110) has its status and location fields highlighted with a red box.
- Bottom:** Page navigation buttons (20件中 1から10までを表示), a search bar, and a red arrow pointing down to the 'Lock Target Selection' dialog.

The 'Lock Target Selection' dialog is shown below:

施錠対象選択	
氏名*	<input type="text"/>
必須項目です	
社員番号*	<input type="text"/>
必須項目です	
部門*	<input type="text"/>
必須項目です	
メモ	<input type="text"/>
<input type="button" value="合施錠"/> <input type="button" value="× キャンセル"/>	

図 162 施錠操作（電気錠ラック一覧）

ラック一覧で、ラックを選択し「施錠」ボタンをクリックする、もしくは一覧の施錠アイコン（）をクリックすると施錠対象選択画面が表示されます。

メモを入力し、施錠対象を選択して「施錠」ボタンをクリックすると、施錠命令が登録されます。

※OPEN 状態の電気錠は施錠できません。

※ *

5.3 電気錠操作履歴を確認する

ラックの電気錠操作の履歴を確認することができます。

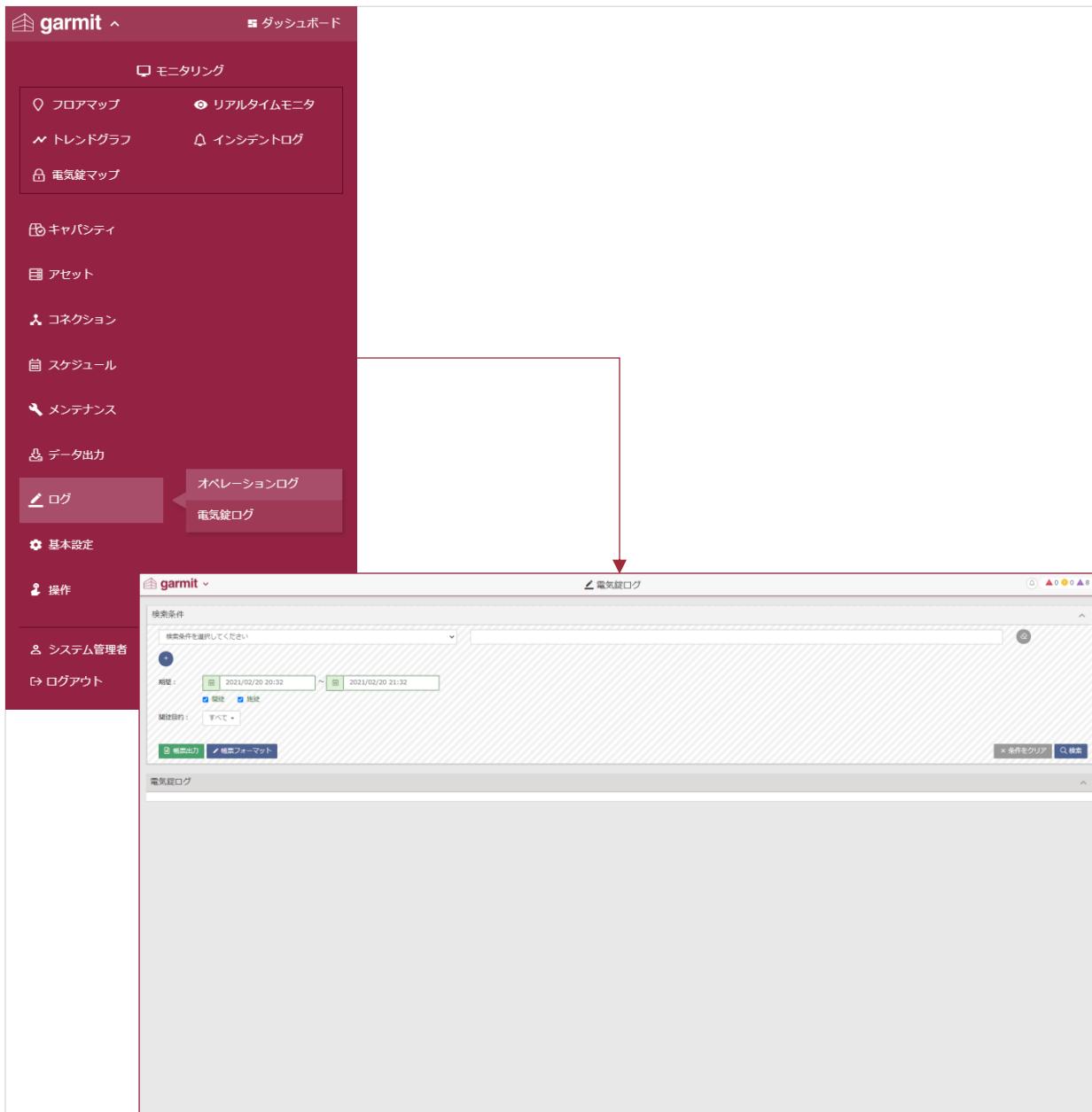


図 163 電気錠ログ（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「ログ」>「電気錠ログ」を選択すると、電気錠ログ画面が表示されます。

5.3.1 電気錠ログを検索する



図 164 電気錠ログ検索条件

電気錠ログ画面にて、検索条件を指定します。

指定できる検索条件は、下記の通りです。検索条件を指定しない場合は、全件検索します。

<基本検索条件>

検索条件	説明
ロケーション	登録済みのロケーションから検索対象を選択し、紐づいている電気錠ログを検索する
所属	登録済みの所属から検索対象を選択し、紐づいている電気錠ログを検索する
タグ	登録済みのタグから検索対象を選択し、紐づいている電気錠ログを検索する
ユーザー	登録済みのユーザーから検索対象を選択し、紐づいている電気錠ログを検索する

基本検索条件の他に、期間、操作種別、開錠目的を指定します。

期間	説明
検索開始日	検索開始日時を指定し、対象期間の電気錠ログを検索する（必須）
検索終了日	検索終了日時を指定し、対象期間の電気錠ログを検索する（必須）
操作種別	説明
開錠	指定した期間に開錠操作した電気錠ログを検索する（開錠/施錠どちらかは必須）
施錠	指定した期間に施錠操作した電気錠ログを検索する（開錠/施錠どちらかは必須）
開錠目的	説明
未選択	開錠目的が未登録のものも含めて電気錠ログを検索する
すべて	登録された全ての開錠目的に該当する電気錠ログを検索する
登録した目的	選択した開錠目的に該当する電気錠ログを検索する

5.3.2 電気錠ログ一覧を表示する

ログ名	ロケーション	開錠日時	開錠ユーザー	開錠目的	開錠時コメント	施錠日時	施錠ユーザー	施錠時コメント
Test-03	東京渋谷データセンター 2F	2021/02/20 10:17	システム管理者	機器設置	2021/02/20 前面開錠	2021/02/20 10:18	システム管理者	2021/02/20 前面施錠
Test-03	東京渋谷データセンター 2F	2021/02/20 10:14	システム管理者	機器撤去	2021/02/20 前面開錠	2021/02/20 10:15	システム管理者	2021/02/20 前面施錠
Test-03	東京渋谷データセンター 2F	2021/02/20 10:12	システム管理者	機器設置	2021/02/20 前面開錠	2021/02/20 10:13	システム管理者	2021/02/20 前面施錠
Test-03	東京渋谷データセンター 2F	2021/02/20 10:12	システム管理者	機器設置	2021/02/20 前面開錠	2021/02/20 10:16	システム管理者	2021/02/20 前面施錠
Test-03	東京渋谷データセンター 2F	2021/02/20 10:10	システム管理者	修理対応	2021/02/20 前面・背面開錠	2021/02/20 10:11	システム管理者	2021/02/20 前面・背面施錠
Test-03	東京渋谷データセンター 2F	2021/02/20 10:10	システム管理者	修理対応	2021/02/20 前面・背面開錠	2021/02/20 10:11	システム管理者	2021/02/20 前面・背面施錠
Test-03	東京渋谷データセンター 2F	2021/02/20 10:08	システム管理者	修理対応	2021/02/20 前面・背面開錠	2021/02/20 10:09	システム管理者	2021/02/20 前面施錠
Test-03	東京渋谷データセンター 2F	2021/02/20 10:08	システム管理者	修理対応	2021/02/20 前面・背面開錠	2021/02/20 10:09	システム管理者	
Test-03	東京渋谷データセンター 2F	2021/02/20 10:06	システム管理者	修理対応	2021/02/20 前面開錠	2021/02/20 10:07	システム管理者	2021/02/20 前面・背面施錠
Test-03	東京渋谷データセンター 2F	2021/02/20 10:04	システム管理者	修理対応	2021/02/20 前面開錠	2021/02/20 10:05	システム管理者	2021/02/20 前面施錠

図 165 電気錠ログ一覧表示

検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、検索結果が電気錠ログ一覧として表示されます。

検索直後は、開錠日時の降順で表示されます。

検索条件に該当するデータがない場合には、その旨メッセージが表示されます。

※操作方法については、「[2.2.2 所属情報一覧を表示する](#)」と同様です。ご参照ください。

6 接続情報を確認する

6.1 ネットワーク接続情報を確認する

機器同士のネットワーク接続情報を登録・編集します。

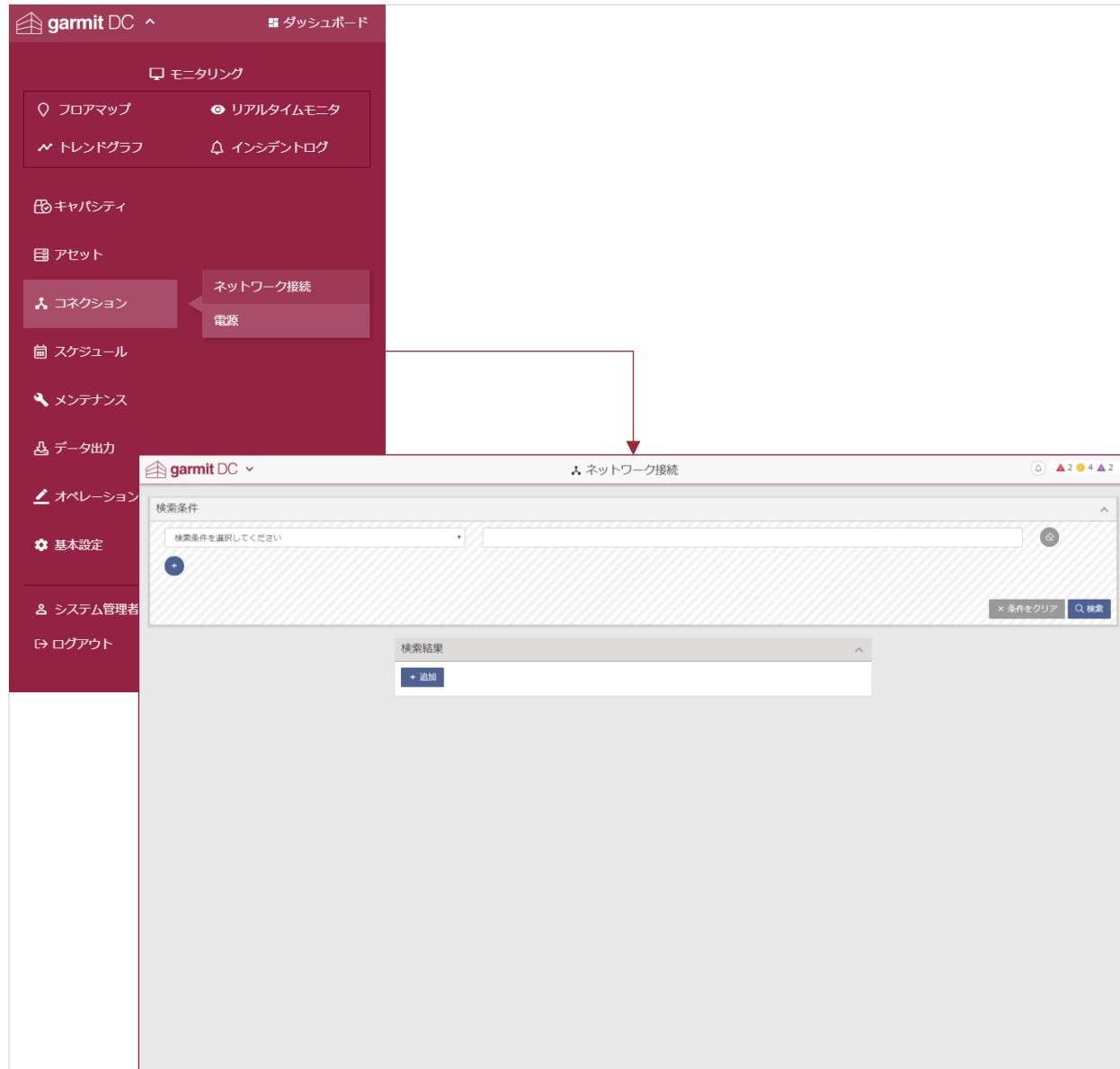


図 166 ネットワーク接続（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「コネクション」>「ネットワーク」を選択すると、ネットワーク接続画面（図 166）が表示されます。

6.1.1 ネットワーク接続情報を検索する

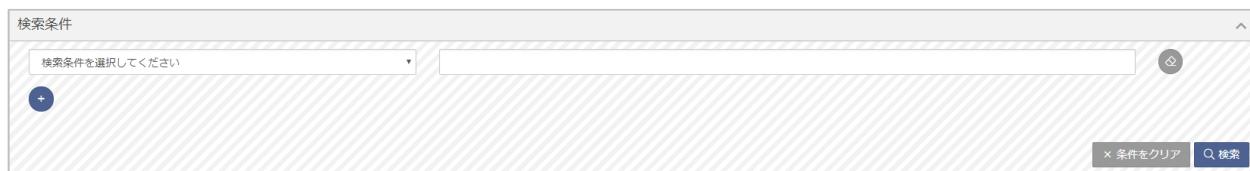


図 167 ネットワーク接続情報検索条件

(1) 検索条件を指定する

指定できる検索条件は、下記の通りです。検索条件を指定しない場合は、全件検索します。

表示するのは、検索条件に合致したラックに搭載された機器に紐づくネットワーク接続情報です。

検索条件	説明
ロケーション	登録済みのロケーションから検索対象を選択し、紐づいているラックを検索する
所属	登録済みの所属から検索対象を選択し、紐づいているラックを検索する
タグ	登録済みのタグから検索対象を選択し、紐づいているラックを検索する
ハッシュタグ	「#」+キーワードを入力し、コメントとして登録したキーワードから合致するラックを検索する

※検索条件の追加、クリア、検索方法については、「[2.2.1 所属情報を検索する](#)」と同様です。ご参照ください。

6.1.2 ネットワーク接続情報一覧を表示する

	接続元ラック	接続元ユニット	ポート	接続先ラック	接続先ユニット	ポート
1	TA1A0101	開発用DBサーバー01	1	TA1A0101	開発用NW L2スイッチ	1
2	TA1A0101	開発用DBサーバー01	2	(なし)	(なし)	(なし)
3	TA1A0101	開発用DBサーバー01	3	(なし)	(なし)	(なし)
4	TA1A0101	開発用DBサーバー01	4	(なし)	(なし)	(なし)
5	TA1A0101	開発用DBサーバー02	1	TA1A0101	開発用NW L2スイッチ	2
6	TA1A0101	開発用DBサーバー02	2	(なし)	(なし)	(なし)
7	TA1A0101	開発用DBサーバー02	3	(なし)	(なし)	(なし)
8	TA1A0101	開発用DBサーバー02	4	(なし)	(なし)	(なし)
9	TA1A0101	開発用DBサーバー03	1	TA1A0101	開発用NW L2スイッチ	3
10	TA1A0101	開発用DBサーバー03	2	(なし)	(なし)	(なし)

図 168 ネットワーク接続情報一覧

検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、検索結果がネットワーク接続情報一覧として表示されます。

検索直後は、接続元ラック名の昇順で表示されます。

検索条件に該当するデータがない場合には、その旨メッセージが表示されます。

一覧表示中は、一覧情報の並べ替え、レポート出力が可能です。

※操作方法については、「[2.2.2 所属情報一覧を表示する](#)」と同様です。ご参照ください。

6.1.3 ラック搭載図を表示する

The screenshot shows the garmit DC application interface. At the top, there's a navigation bar with icons for search, refresh, and filters. Below it is a search bar labeled '検索条件' (Search Conditions) and a search result table titled '検索結果' (Search Results). The table has columns for '接続元ラック' (Source Rack), '接続元ユニット' (Source Unit), 'ポート' (Port), '接続先ラック' (Destination Rack), '接続先ユニット' (Destination Unit), and 'ポート' (Port). The results show multiple connections between racks TA1A0101 and TA1A0101. On the left and right sides of the main window, there are detailed rack mounting diagrams for racks TA1A0101 and TA1A0101 respectively, showing individual server slots and their connections. A bottom panel displays 'ユニット情報' (Unit Information) for selected units.

図 169 ネットワーク接続情報一覧（ラック搭載図表示）

ネットワーク接続情報一覧で、接続情報が登録されているもの（○がついているもの）を選択すると、接続元ユニットと接続先ユニットが搭載されているラック搭載図と各ユニット情報（ユニット名称、ネットワークポート数）が表示されます。

また、一覧の下部には、選択したネットワーク接続情報の詳細が表示されます。

This screenshot shows the detailed information for a selected network connection. It includes fields for '名称' (Name: 開発用ネットワーク01), '通信速度' (Communication Speed: 1Gbps), 'ケーブル種別' (Cable Type: メタル), '帯域幅' (Bandwidth: 100MHz), 'ケーブル規格' (Cable Standard: 1000Base-T), and '備考' (Remarks: #garmit開発用).

図 170 選択ネットワーク接続情報

6.1.4 ネットワーク接続情報を新規登録する



図 171 ネットワーク情報登録画面（新規登録：初期表示）

ネットワーク接続情報一覧で、「追加」ボタンをクリックすると、ネットワーク接続情報登録画面が表示されます。

(1) ネットワーク接続情報を入力する



図 172 ネットワーク接続情報登録（ユニット選択・情報入力）

接続元ラック、接続先ラックをロケーションから選択し、それぞれの接続対象ユニットを選択します。

選択したユニットに登録されているポート番号を選択します。

ポート番号の一覧に「★」がついているものは、すでに接続しているユニットがあることを示しています。

パッチパネルのような、1つのポートに IN/OUT があるようなものについては、同じポート番号を選択し、ポート詳細番号を一意にすることで登録できます。

同一ポート番号 + 同一ポート詳細番号の情報は登録できません。

また、ネットワーク接続情報（名称、ケーブル種別、ケーブル規格、通信速度、帯域幅、備考）を入力します。

ケーブル種別は、メタル/光の2種類となります。

備考は、「#」+キーワードで登録しておくと、検索条件の「ハッシュタグ」で検索することができます。

(2) 選択したユニット同士を接続状態とする

ネットワーク接続状態変更方法は、下図の通りです。

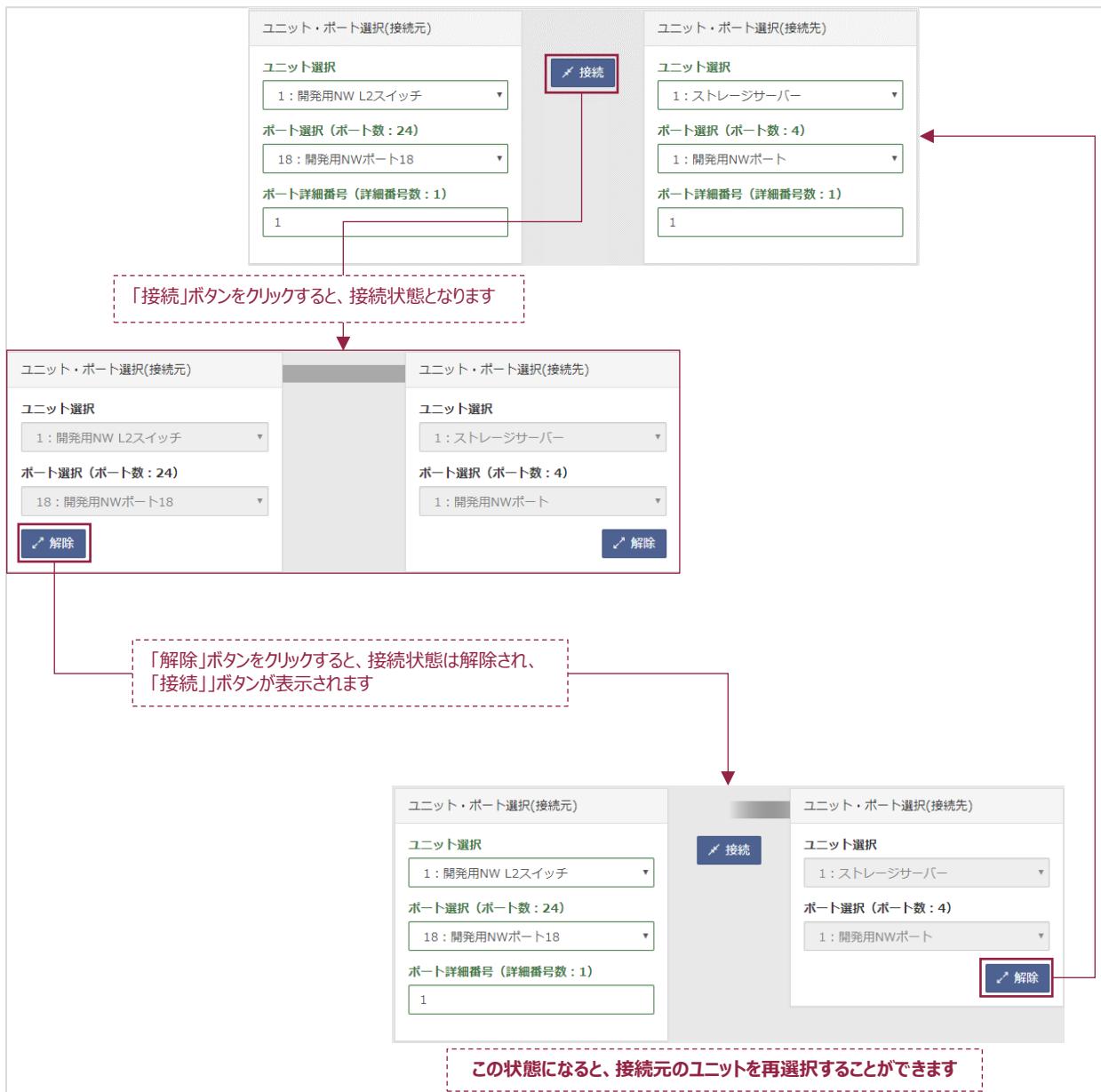


図 173 ネットワーク接続設定変更

ネットワークの接続状態が「接続」になっていないと、「保存」ボタンはクリックできません。

ネットワーク接続情報を保存すると、ネットワーク接続情報一覧に戻ります。

6.1.5 ネットワーク接続情報を削除する

登録済みのネットワーク接続情報を削除します。



	接続元ラック	接続元ユニット	ポート	接続先ラック	接続先ユニット	ポート
<input type="checkbox"/>	TA1A0101	開発用DBサーバー-01	1	TA1A0101	開発用NW L2スイッチ	1
<input checked="" type="checkbox"/>	TA1A0101	開発用DBサーバー-01	2	(なし)	(なし)	(なし)
<input checked="" type="checkbox"/>	TA1A0101	開発用DBサーバー-01	3	(なし)	(なし)	(なし)
<input type="checkbox"/>	TA1A0101	開発用DBサーバー-01	4	(なし)	(なし)	(なし)
<input type="checkbox"/>	TA1A0101	開発用DBサーバー-02	1	TA1A0101	開発用NW L2スイッチ	2
<input type="checkbox"/>	TA1A0101	開発用DBサーバー-02	2	(なし)	(なし)	(なし)
<input type="checkbox"/>	TA1A0101	開発用DBサーバー-02	3	(なし)	(なし)	(なし)
<input type="checkbox"/>	TA1A0101	開発用DBサーバー-02	4	(なし)	(なし)	(なし)
<input type="checkbox"/>	TA1A0101	開発用DBサーバー-03	1	TA1A0101	開発用NW L2スイッチ	3
<input type="checkbox"/>	TA1A0101	開発用DBサーバー-03	2	(なし)	(なし)	(なし)

176 件中 1 から 10 までを表示

< < 1 2 3 4 5 ⋯ 18 > >

図 174 ネットワーク接続情報一覧（削除）

一覧から、削除対象とするネットワーク接続情報を選択し「削除」ボタンをクリックするか、削除対象のネットワーク情報に表示されている削除アイコン（☒）をクリックすると、選択したネットワーク接続情報を削除します。

このとき、接続情報のみ削除される（紐づけが解除される）ので、接続元ラック一覧から項目が削除されることはありません。

＜削除前＞

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○	TA1A0101	開発用DBサーバー-01	1	TA1A0101	開発用NW L2スイッチ	1
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		TA1A0101	開発用DBサーバー-01	1	(なし)	(なし)	(なし)

＜削除後＞

6.1.6 ネットワーク接続経路を表示する

登録したネットワーク情報をもとに、ネットワーク経路を表示します。



図 175 ネットワーク接続経路

ネットワーク接続画面で表示される接続情報一覧で、表示対象とするネットワーク情報を選択し、「経路表示」ボタンをクリックするとネットワーク接続経路が表示されます。

ネットワーク接続経路で、ネットワーク情報を選択すると、画面下部にユニット情報とネットワーク情報が表示されます。

「選択モード」が OFF の場合は、ネットワーク情報の表示位置を動かすことができます。

※ネットワーク経路図の形を変更できます。

6.2 電源接続状況を確認する

電源系統の接続状況を表示します。

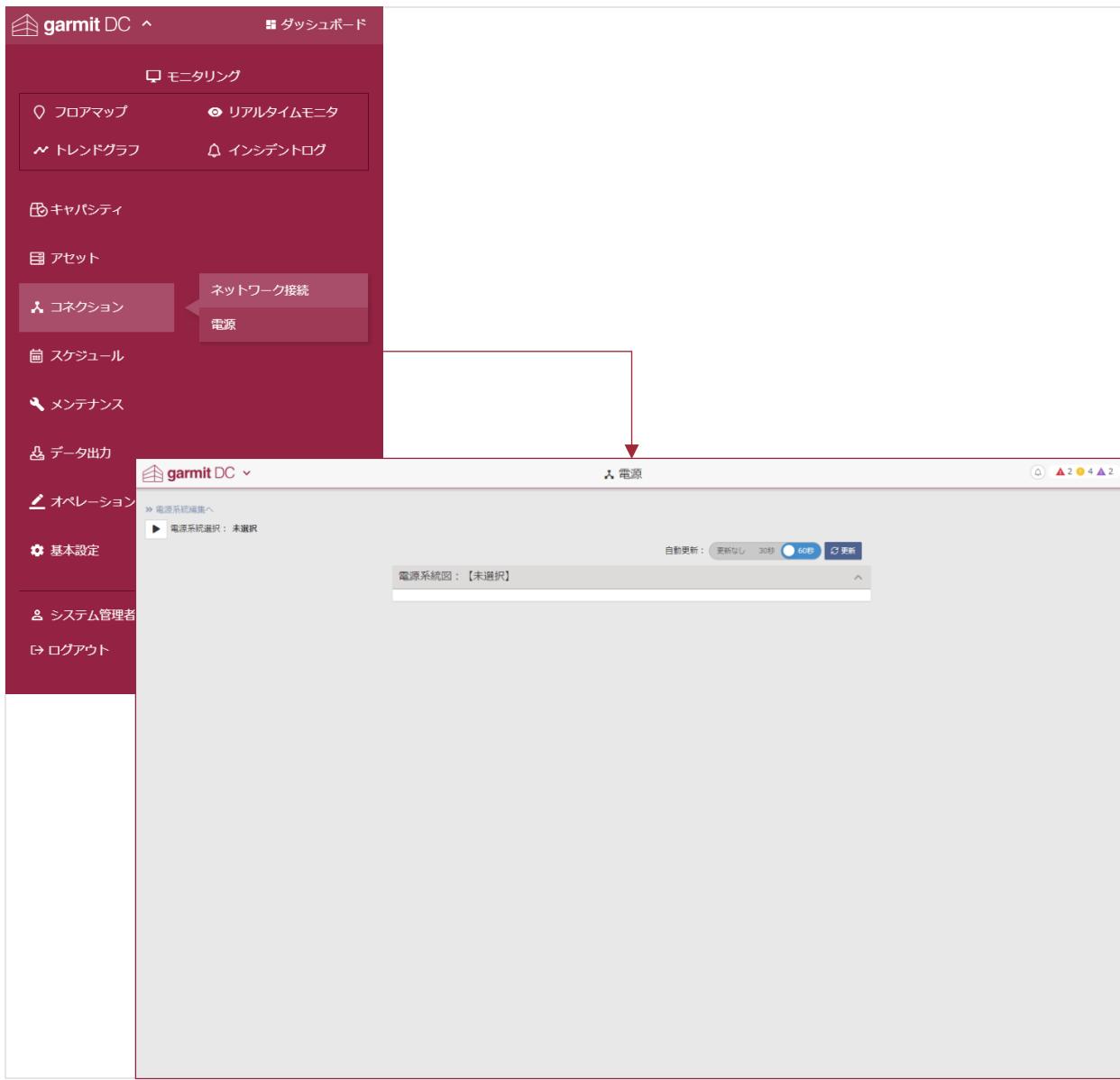


図 176 電源接続（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「コネクション」>「電源」を選択すると、電源系統表示画面（図 176）が表示されます。

6.2.1 電源系統図を表示する

The screenshot shows the garmit DC software interface. On the left, there is a navigation tree under the heading '電源' (Power). The tree includes categories like 'PDU A系' and 'PDU B系', with specific items such as 'PDF-A-01', 'PDF-A-02', 'PDF-A-03', etc., listed under 'PDU A系'. The item 'PDF-A-01' is highlighted with a blue background and a red rectangular border. A vertical red arrow points downwards from this selection to a detailed power system diagram on the right. This diagram is titled '電源系統図：[PDF-A-01]' and contains various tables of data. At the top of the diagram area, there are buttons for '自動更新' (Automatic Update) with options '30秒' (30 seconds) and '60秒' (60 seconds), and a '更新' (Update) button.

電源系統を選択すると、該当する電源系統図が表示されます

図 177 電源系統選択

電源系統画面で、電源系統を選択すると、該当する電源系統図が表示されます。

計測ポイントを紐づけている場合は、計測値も表示されます。

6.2.2 電源系統を表示する

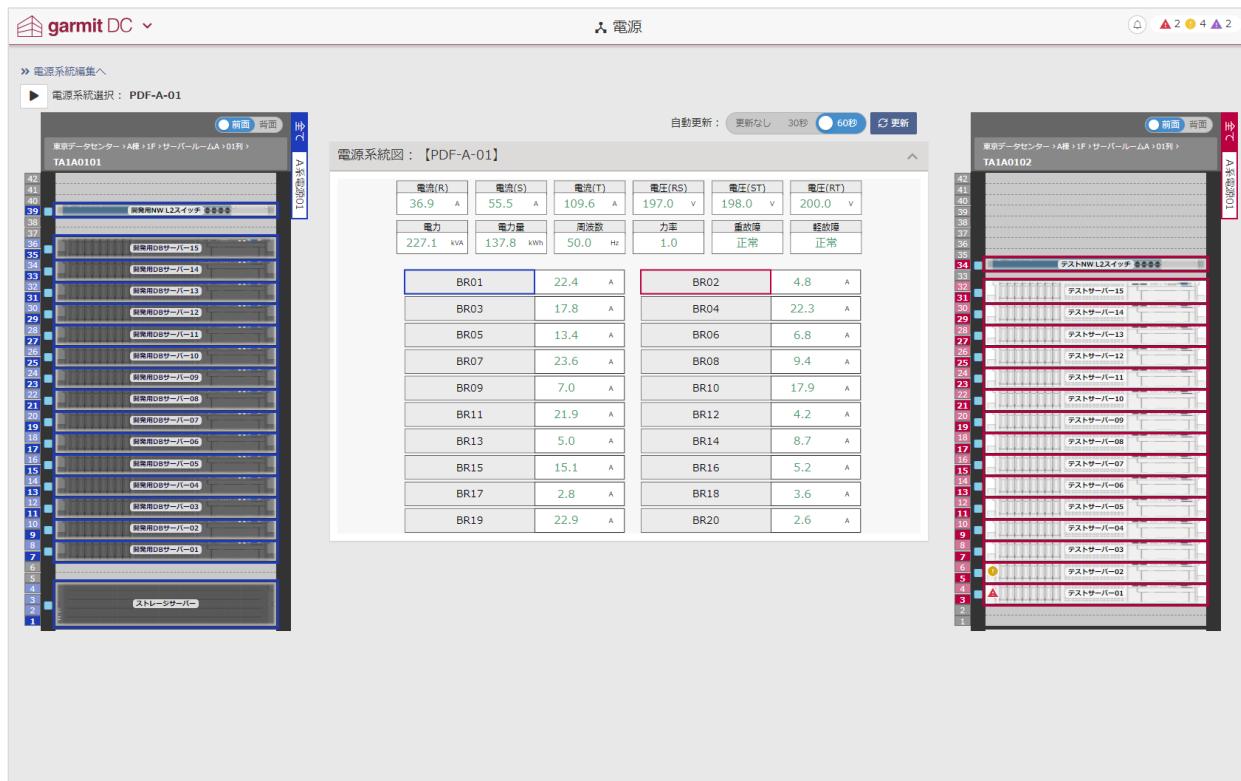


図 178 電源系統表示

電源系統図で、分岐電源を選択すると、ラック電源として紐づいている場合は、該当するラックのラック搭載図が表示されます。

さらに、ラック電源の各アウトレットをユニット電源として紐づけている場合には、電源系統図の分岐電源から、ユニットまでの系統を同色の枠で表示されます。

電源系統のラック搭載図は、2つまで表示できます。

7 データを出力する

7.1 アセットレポートを出力する

ラック、ユニットに関する情報を CSV ファイルで出力します。

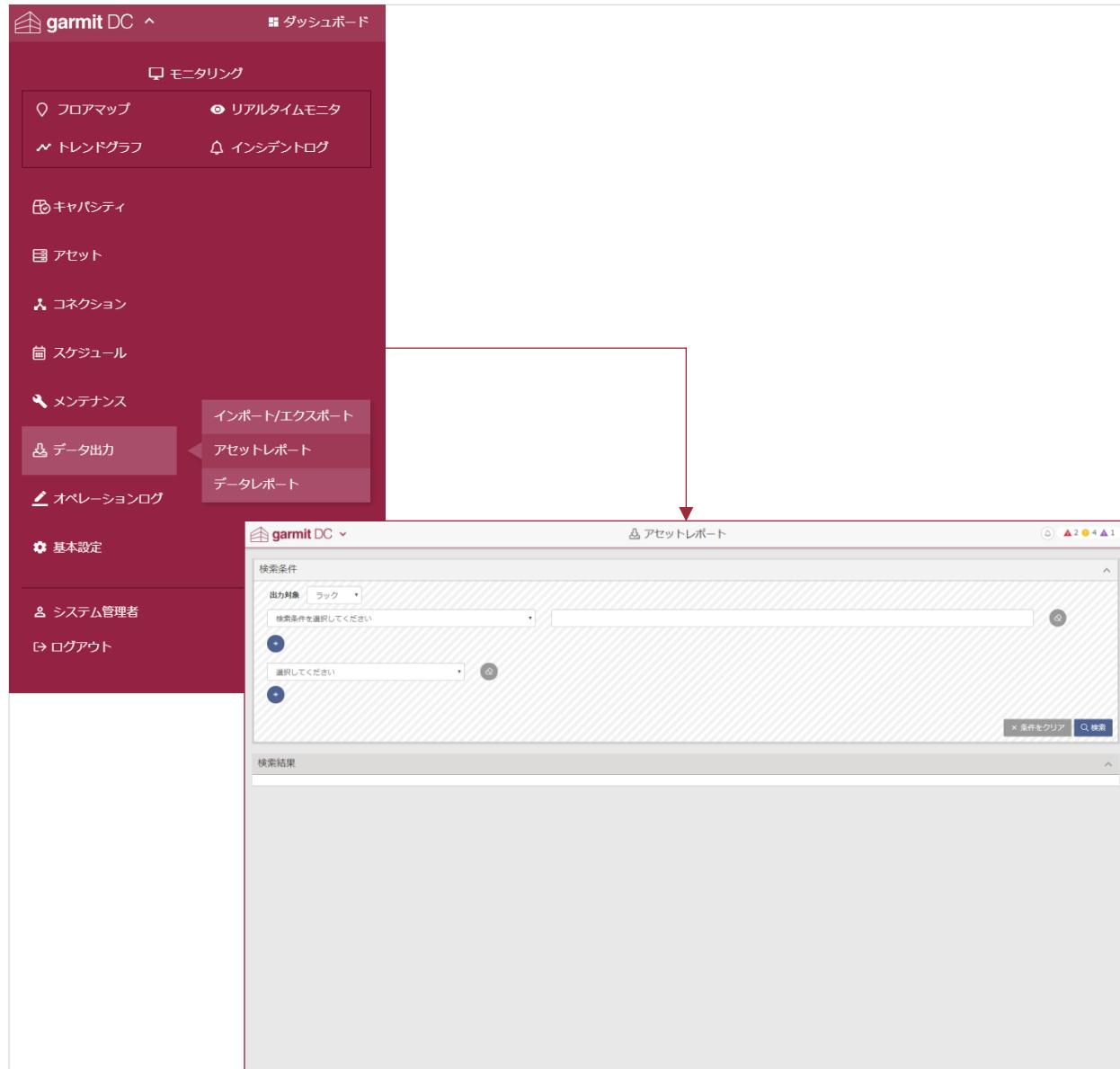


図 179 アセットレポート（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「データ出力」>「アセットレポート」を選択すると、アセットレポート画面（図 179）が表示されます。

7.1.1 検索条件を指定する

The screenshot shows a search interface titled '検索条件' (Search Conditions). It includes a dropdown menu for '出力対象' (Output Target) set to 'ラック' (Rack). There are two search input fields: the top one is '検索条件を選択してください' (Please select search conditions) and the bottom one is '選択してください' (Please select). A search button labeled '検索' (Search) is located at the bottom right, along with a '条件をクリア' (Clear conditions) link.

図 180 ラックおよびユニット検索条件

指定できる検索条件は、下記の通りです。検索条件を指定しない場合、選択された出力対象について全件検索します。

<基本検索条件（共通）>

検索条件	説明
ロケーション	登録済みのロケーションから検索対象を選択し、紐づいているラックを検索する
所属	登録済みの所属から検索対象を選択し、紐づいているラックを検索する
タグ	登録済みのタグから検索対象を選択し、紐づいているラックを検索する
電源系統	登録済みの電源系統から検索対象を選択し、ラック電源紐づいているラックを検索する
ハッシュタグ	「#」+キーワードを入力し、コメントとして登録したキーワードから合致するものを検索する

<詳細検索条件（ラック）>

検索条件	説明
ラック名称	キーワードを入力し、ラック名称として登録したキーワードから合致するものを検索する（文字列）
ユニット数（U）	指定した U 数に該当するラックを検索する（数値）
ユニット数（列）	指定した列数に該当するラックを検索する（数値）
ラック種別	指定したラック種別に該当するラックを検索する
耐荷重	指定した耐荷重に該当するラックを検索する（数値）
ラック詳細項目 1	詳細については、ラックメンテナンスで「検索対象」とした項目を表示する（最大 100 件）
...	ラックメンテナンスで指定した項目およびデータ型で、該当するラックを検索する
ラック詳細項目 100	ラックメンテナンスで指定した項目およびデータ型で、該当するラックを検索する
ラック電源名称	キーワードを入力し、ラック電源名称として登録したキーワードから合致するものを検索する（文字列）
定格電流値	指定した定格電流値（電源）に該当するラックを検索する（数値）
定格電圧値	指定した定格電圧値（電源）に該当するラックを検索する（数値）
アウトレット数	指定したアウトレット数の電源が紐づいているラックを検索する（数値）

<詳細検索条件（ユニット）>

検索条件	説明
ユニット名称	キーワードを入力し、ユニット名称として登録したキーワードから合致するものを検索する（文字列）
ユニット種別	選択肢から選択したユニット種別に該当するユニットを検索する（選択肢）
ユニットステータス	選択肢から選択したユニットステータスに該当するユニットを検索する（選択肢）
ユニット搭載位置（U）	指定した搭載位置（U）に該当するユニットを検索する（数値）
ユニット搭載位置（列）	指定した搭載位置（列）に該当するユニットを検索する（数値）
占有ユニット数（U）	指定した占有 U 数に該当するユニットを検索する（数値）
占有ユニット数（列）	指定した占有列数に該当するユニットを検索する（数値）
重量	指定した重量に該当するユニットを検索する（数値）
定格電力値	指定した定格電力値に該当するユニットを検索する（数値）
ユニット詳細項目 1	詳細については、ユニットメンテナンスで「検索対象」とした項目を表示する（最大 100 件）
...	ユニットメンテナンスで指定した項目およびデータ型で、該当するユニットを検索する
ユニット詳細項目 100	ユニットメンテナンスで指定した項目およびデータ型で、該当するユニットを検索する
電源名称	キーワードを入力し、電源名称として登録したキーワードから合致するユニットを検索する（文字列）

※検索条件の追加、検索条件のクリア、検索方法については、「[2.2.2 所属情報一覧を表示する](#)」と同様です。ご参照ください。

詳細検索条件については、データ型によって検索方法の指定が異なります。

データ型	検索条件	説明
文字列		入力したキーワードに合致する情報を検索する（部分一致）
数値	次の値の間	From/To の値を指定し、その間に合致する情報を検索する
	次の値の間以外	From/To の値を指定し、その間にない値に合致する情報を検索する
	次の値に等しい	値を指定し、その値と合致する情報を検索する
	次の値に等しくない	値を指定し、その値ではない情報を検索する
	次の値より大きい	値を指定し、その値より大きい値と合致する情報を検索する（指定値は含まない）
	次の値より小さい	値を指定し、その値より小さい値と合致する情報を検索する（指定値は含まない）
	次の値以上	値を指定し、その値以上の値と合致する情報を検索する（指定値は含む）
	次の値以下	値を指定し、その値以下の値と合致する情報を検索する（指定値は含む）
日付時刻	期間	From/To の日付を指定し、該当する期間に合致する情報を検索する
選択肢		選択肢から選択した項目に合致する情報を検索する

The screenshot shows the 'Asset Search Condition Specification' interface. It includes the following fields:

- ラック名称:** TA1A0101
- ユニット数(U) 次の値の間:** 20 ~ 42
- ユニット数(U) 次の値の間以外:** 20 ~ 42
- ユニット数(U) 次の値に等しい:** 42
- ユニット数(U) 次の値より大きい:** 42
- ユニット数(U) 次の値より小さい:** 42
- ユニット数(U) 次の値以上:** 42
- ユニット数(U) 次の値以下:** 42
- 購入情報 - 購入日:** 期間: 2019/01/01 ~ 2019/01/31
- ラック種別:** フルラック, 一致
- ラック種別:** フルラック, 不一致

図 181 アセット検索条件指定

7.1.2 アセットレポートを表示する

(1) ラック情報一覧を表示する

ラック名	開閉	最大ユニット数	ラック種別	ラックステータス	ラック重量	前後重	重畠を含める	コメント	更新者	更新日	電源	購入日
TA1A0101	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	42U×1列	フルラック	空き	120.0	700.0	含めない		システム管理者	2019/01/24	電源	2019
TA1A0102	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	42U×1列	フルラック	空き	120.0	700.0	含めない		システム管理者	2019/01/21	電源	2019
TA1A0103	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	42U×1列	フルラック	空き	120.0	700.0	含めない		システム管理者	2019/01/22	電源	2019
TA1A0104	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	42U×1列	フルラック	空き	120.0	700.0	含めない		システム管理者	2019/01/21	電源	2019
TA1A0105	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	42U×1列	フルラック	空き	120.0	700.0	含めない		システム管理者	2019/01/21	電源	2019
TA1A0106	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	42U×1列	フルラック	空き	120.0	700.0	含めない		システム管理者	2019/01/21	電源	2019
TA1A0107	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	42U×1列	フルラック	空き	120.0	700.0	含めない		システム管理者	2019/01/21	電源	2019
TA1A0108	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	42U×1列	フルラック	空き	120.0	700.0	含めない		システム管理者	2019/01/21	電源	2019
TA1A0109	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	42U×1列	フルラック	空き	120.0	700.0	含めない		システム管理者	2019/01/21	電源	2019
TA1A0110	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	42U×1列	フルラック	空き	120.0	700.0	含めない		システム管理者	2019/01/21	電源	2019

図 182 アセットレポート（ラック）

出力対象を「ラック」として検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、検索結果がアセットレポートとして表示されます。

ここで表示されるのは、ラック画面で登録したラック概要およびラック詳細の内容です。

検索直後は、ラック名称の昇順で表示されます。

検索条件に合致するデータがない場合には、その旨メッセージが表示されます。

一覧表示中は、一覧情報の並べ替え、絞り込み、表示項目変更、レポート出力が可能です。

※操作方法については、「[2.2.2 所属情報一覧を表示する](#)」と同様です。ご参照ください。

(2) ラック電源一覧を表示する

The screenshot shows the garmit DC application interface. At the top, there's a search bar with '検索条件' (Search Conditions) and dropdowns for '出力対象' (Output Target) set to 'ラック' (Rack) and 'ロケーション' (Location) set to '東京データセンター / A棟 / 1F / サーバールームA / 01列' (Tokyo Data Center / Building A / 1st Floor / Server Room A / 01 Row). Below the search bar is a '選択してください' (Select) button.

In the center, a modal window titled '詳細情報' (Detailed Information) is open, showing a table for 'ラック電源一覧' (Rack Power Source List). The table has columns: ラック名稱 (Rack Name), 電源番号 (Power Supply Number), 電源名稱 (Power Supply Name), インレット形状 (Inlet Shape), アウトレット数 (Number of Outlets), コメント (Comment), and 定格電流 (额定电流). Two rows are listed:

ラック名稱	電源番号	電源名稱	インレット形状	アウトレット数	コメント	定格電流
TA1A0101	1	A系電源01	L6-30R	30		
TA1A0101	2	B系電源01	L6-30R	30		

Below the modal, the main application interface shows a list of racks with their details. One row is selected, highlighted in blue, showing '東京データセンター A棟 1F サーバールーム' (Tokyo Data Center Building A 1st Floor Server Room). To the right, a detailed view of power source history is shown, with a red box highlighting the '電源' (Power) column in the table.

図 183 アセットレポート（ラック電源一覧）

ラック一覧の「電源」ボタンをクリックすると、選択したラックに登録したラック電源一覧がモーダルで表示されます。

ラック電源一覧には、ラック画面の電源設定で登録した項目が表示されます。

(3) ユニット一覧を表示する

ラック名	ユニット名	隔間	ユニットNo	ラック電源	占有ユニット数	搭載位置	ユニット種別	ステータス	重量	電源/NW	フォントサイズ
TA1AO101	開発用DBサーバー-01	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	TA1AO101	1	2U×1列	7U×1列	サーバー	新規	10.0	電源/NW	9.0 #1
TA1AO101	開発用DBサーバー-02	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	TA1AO101	1	2U×1列	9U×1列	サーバー	新規	10.0	電源/NW	9.0 #1
TA1AO101	開発用DBサーバー-03	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	TA1AO101	1	2U×1列	11U×1列	サーバー	新規	10.0	電源/NW	9.0 #1
TA1AO101	開発用DBサーバー-04	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	TA1AO101	1	2U×1列	13U×1列	サーバー	新規	10.0	電源/NW	9.0 #1
TA1AO101	開発用DBサーバー-05	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	TA1AO101	1	2U×1列	15U×1列	サーバー	新規	10.0	電源/NW	9.0 #1
TA1AO101	開発用DBサーバー-06	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	TA1AO101	1	2U×1列	17U×1列	サーバー	新規	10.0	電源/NW	9.0 #1
TA1AO101	開発用DBサーバー-07	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	TA1AO101	1	2U×1列	19U×1列	サーバー	新規	10.0	電源/NW	9.0 #1
TA1AO101	開発用DBサーバー-08	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	TA1AO101	1	2U×1列	21U×1列	サーバー	新規	10.0	電源/NW	9.0 #1
TA1AO101	開発用DBサーバー-09	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	TA1AO101	1	2U×1列	23U×1列	サーバー	新規	10.0	電源/NW	9.0 #1
TA1AO101	開発用DBサーバー-10	東京データセンター A棟 1F サーバールームA 01列	TA1AO101	1	2U×1列	25U×1列	サーバー	新規	10.0	電源/NW	9.0 #1

図 184 アセットレポート（ユニット）

出力対象を「ユニット」として検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、検索結果がアセットレポートとして表示されます。

ここで表示されるのは、ユニット画面で登録したユニット概要およびユニット詳細の内容です。

検索直後は、ラック名称の昇順で表示されます。

検索条件に合致するデータがない場合には、その旨メッセージが表示されます。

一覧表示中は、一覧情報の並べ替え、絞り込み、表示項目変更、レポート出力が可能です。

※操作方法については、「[2.2.2 所属情報一覧を表示する](#)」と同様です。ご参照ください。

(4) 電源一覧・ネットワーク一覧を表示する

The screenshot shows the garmit DC Asset Report interface. At the top, there's a search bar with '検索条件' (Search Conditions) and a dropdown for '出力対象' (Output Target) set to 'ユニット'. Below it is a 'ロケーション' (Location) section with a map icon and a dropdown menu. The main area has tabs for '電源一覧' (Power List) and 'ネットワーク一覧' (Network List). The '電源一覧' tab is currently active, displaying a table with columns: ユニット名 (Unit Name), ラック電源名 (Rack Power Name), アウトレット番号 (Outlet Number), 電力 (Power), and 電源/NW (Power/NW). A red arrow points to the '電源/NW' button in this table. The 'ネットワーク一覧' tab shows a table with columns: ユニット名 (Unit Name), ポート番号 (Port Number), ポート名 (Port Name), コネクタ形状 (Connector Shape), IPアドレス種別 (IP Address Type), IPアドレス名 (IP Address Name), and IPアドレス (IP Address). A red arrow also points to the '電源/NW' button in this table. The bottom part of the interface shows a list of units with their names and locations.

図 185 アセットレポート（電源一覧/ネットワーク一覧）

ユニット一覧の「電源/NW」ボタンをクリックすると、選択したユニットに登録した電源一覧およびネットワーク一覧が表示されます。

電源一覧、ネットワーク一覧には、それぞれユニット画面で登録した電源設定、ネットワーク設定の内容が表示されます。

7.1.3 アセットレポートを出力する

アセットレポート一覧表示中に、「レポート出力」ボタンをクリックすると、表示されているアセットレポートが CSV ファイルで出力されます。

出力方法は、出力対象により異なります。

(1) 出力対象が「ラック」の場合

出力方法は、「ラックのみ/まとめて出力/分けて出力」の 3 通りです。

- ・「ラックのみ」を選択した場合

表示されたラック一覧のみ CSV ファイルに出力されます。

出力ファイル名 : RackListReport.csv

- ・「まとめて出力」を選択した場合

表示されたラック一覧、それぞれに紐づくラック電源一覧を 1 つの CSV ファイルにまとめて出力されます。

出力ファイル名 : RackListReport.csv

- ・「分けて出力」を選択した場合

表示されたラック一覧、それぞれに紐づくラック電源一覧を別々の CSV ファイルにわけて出力されます。

出力ファイル名（ラック一覧） : RackListReport.csv

出力ファイル名（ラック電源一覧） : RackPowerListReport.csv

(2) 出力対象が「ユニット」の場合

ユニットの場合は「ユニットのみ/まとめて出力/分けて出力」の 3 通りです。

- ・「ユニットのみ」を選択した場合

表示されたユニット一覧のみ CSV ファイルに出力されます。

出力ファイル名 : UnitListReport.csv

- ・「まとめて出力」を選択した場合

表示されたラック一覧、それぞれに紐づくラック電源一覧を 1 つの CSV ファイルにまとめて出力されます。

出力ファイル名 : UnitListReport.csv

- ・「分けて出力」を選択した場合

表示されたラック一覧、それぞれに紐づくラック電源一覧を別々の CSV ファイルにわけて出力されます。

出力ファイル名（ユニット一覧） : UnitListReport.csv

出力ファイル名（電源一覧） : UnitPowerListReport.csv

出力ファイル名（ネットワーク一覧） : UnitNetworkListReport.csv

7.2 データレポートを出力する

計測データを CSV ファイルで出力します。

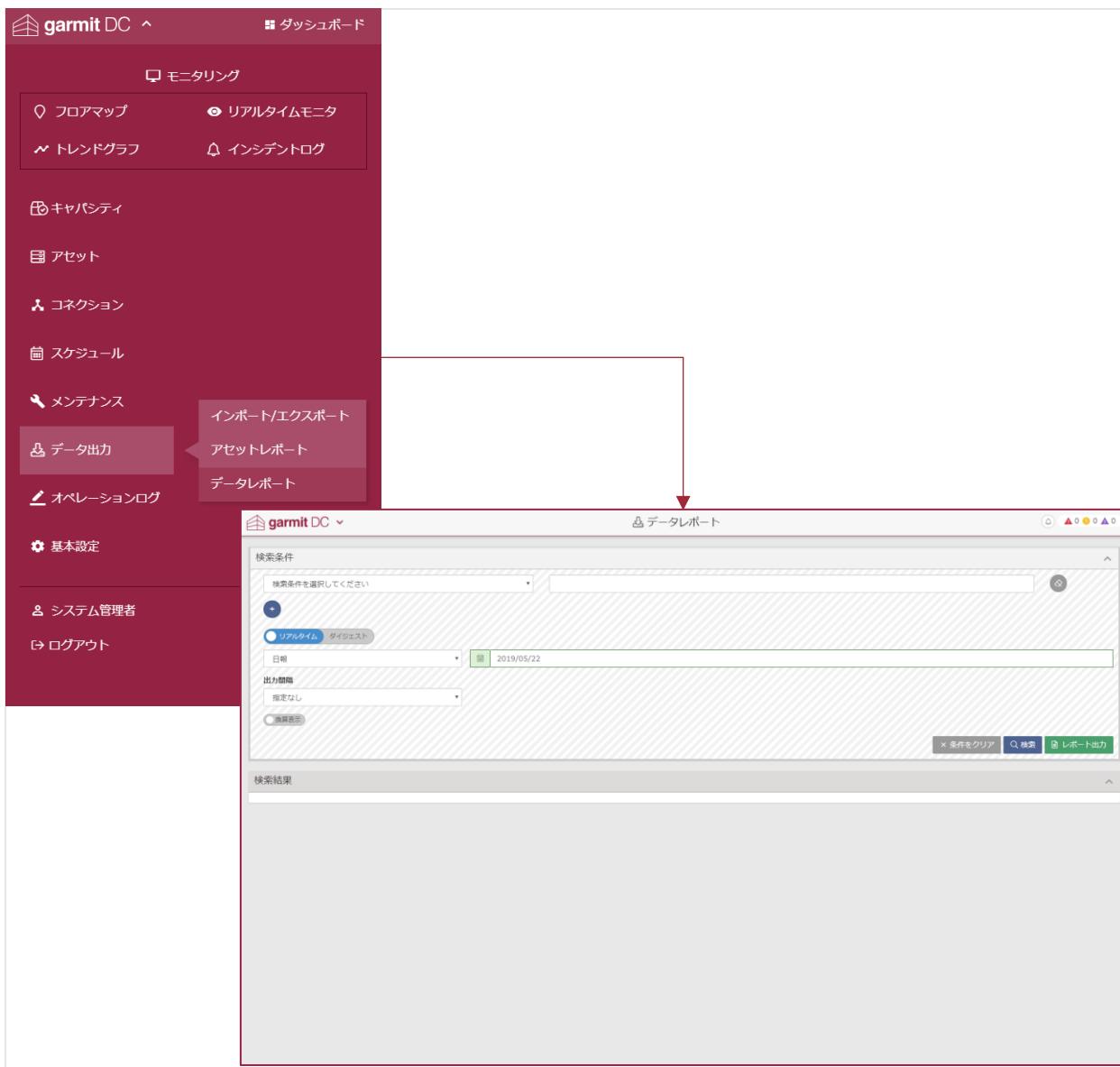


図 186 データレポート（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「データ出力」>「アセットレポート」を選択すると、アセットレポート画面が表示されます。

7.2.1 検索条件を指定する

データの検索条件を指定します。

The screenshot shows the 'Search Conditions' window for real-time data. It includes fields for selecting search conditions, choosing between 'Real-time' and 'Digest' modes, specifying a date range (from May 22, 2019), setting an output interval (no specification), and displaying calculated values. Buttons for clearing conditions, performing a search, and generating a report are at the bottom.

図 187 リアルタイムデータ検索条件

The screenshot shows the 'Search Conditions' window for digest data. It includes fields for selecting search conditions, choosing between 'Real-time' and 'Digest' modes, specifying a date range (from May 22, 2019), setting a calculation type (maximum), and displaying calculated values. Buttons for clearing conditions, performing a search, and generating a report are at the bottom.

図 188 ダイジェストデータ検索条件

指定できる検索条件は、下記の通りです。検索条件を指定しない場合、全件検索します。

<基本検索条件（共通）>

検索条件	説明
ロケーション	登録済みのロケーションから検索対象を選択し、紐づいているポイントを検索する
所属	登録済みの所属から検索対象を選択し、紐づいているポイントを検索する
タグ	登録済みのタグから検索対象を選択し、紐づいているポイントを検索する
電源系統	登録済みの電源系統から検索対象を選択し、紐づいているポイントを検索する
ハッシュタグ	「#」+キーワードを入力し、コメントとして登録したキーワードから合致するポイントを検索する
換算表示	各ポイントに登録した換算式で演算した結果を表示・出力する

<対象期間（リアルタイム）>

基本検索条件の他に、出力種別、出力対象期間、出力間隔を指定します。

出力種別	説明
日報	日付を指定し、対象となる日付のデータを検索する
期間	From/To の日時を指定し、対象期間のデータを検索する
出力間隔	説明
指定なし	ポイント毎に設定した収集周期でデータを出力する
1 分	検索条件で指定した期間のデータを 1 分間隔で出力する
5 分	検索条件で指定した期間のデータを 5 分間隔で出力する
10 分	検索条件で指定した期間のデータを 10 分間隔で出力する

<対象期間（ダイジェスト）>

基本検索条件の他に、出力種別、出力対象期間、積算種別を指定します。

出力種別	説明
日報	日付を指定し、対象となる日付のデータを検索する
月報	年月を指定し、対象となるデータを検索する
年報	年を指定し、対象となるデータを検索する
期間	From/To の日時を指定し、対象期間のデータを検索する
積算種別	説明
最大	1 時間ごとに集計するデータのうちの最大値を出力する
最小	1 時間ごとに集計するデータのうちの最小値を出力する
平均	1 時間ごとに集計するデータの平均値を出力する
瞬時	毎正時（00 分）のリアルタイムデータ（測定値）を出力する
差分	毎正時（00 分）と 1 時間前の正時（00 分）のリアルタイムデータの差分を出力する

7.2.2 データレポートを表示する

The screenshot shows the garmit DC application window titled "データレポート" (Data Report). The top navigation bar includes icons for file operations and a search bar. The main area is divided into two sections: "検索条件" (Search Conditions) and "検索結果" (Search Results).

検索条件 (Search Conditions):

- ロケーション: 東京データセンター / A棟 / 1F / サーバールームA / 01列
- リアルタイム: ダイジェスト
- 日時: 2019/05/22
- 出力範囲: 指定なし
- 計算表示

検索結果 (Search Results):

リスト表示: すべて

ポイント名	PDF-A-01-001	PDF-A-01-002	PDF-A-01-003	PDF-A-01-004	PDF-A-01-005	PDF-A-01-006	PDF-A-01-007	PDF-A-01-008	PDF-A-01-009	PDF-A-01-010
ロケーション	TA1A0101 01列 サー バールームA 1F A棟 東京データ...	TA1A0102 01列 サー バールームA 1F A棟 東京データ...	TA1A0103 01列 サー バールームA 1F A棟 東京データ...	TA1A0104 01列 サー バールームA 1F A棟 東京データ...	TA1A0105 01列 サー バールームA 1F A棟 東京データ...	TA1A0106 01列 サー バールームA 1F A棟 東京データ...	TA1A0107 01列 サー バールームA 1F A棟 東京データ...	TA1A0108 01列 サー バールームA 1F A棟 東京データ...	TA1A0109 01列 サー バールームA 1F A棟 東京データ...	TA1A0110 01列 サー バールームA 1F A棟 東京データ...
単位	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
2019/04/14 00:00:00	17.6	18.4	7.9	10.4	17.3	14.9	3.8	13.2	23.3	18.6
2019/04/14 00:01:00	17.6	18.4	7.9	10.4	17.3	14.9	3.8	13.2	23.3	18.6
2019/04/14 00:02:00	17.6	18.4	7.9	10.4	17.3	14.9	3.8	13.2	23.3	18.6
2019/04/14 00:03:00	17.6	18.4	7.9	10.4	17.3	14.9	3.8	13.2	23.3	18.6
2019/04/14 00:04:00	17.6	18.4	7.9	10.4	17.3	14.9	3.8	13.2	23.3	18.6
2019/04/14 00:05:00	17.6	18.4	7.9	10.4	17.3	14.9	3.8	13.2	23.3	18.6
2019/04/14 00:06:00	17.6	18.4	7.9	10.4	17.3	14.9	3.8	13.2	23.3	18.6

図 189 データレポート

検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、検索結果としてデータレポートが表示されます。

検索条件に合致するデータがない場合には、その旨メッセージが表示されます。

一覧に表示されているデータを、データ種別（電流、温度等）で絞り込むことができます。

7.2.3 データレポートを CSV 出力する

データレポート一覧表示中に、「レポート出力」ボタンをクリックすると、表示されているデータ一覧が CSV ファイルで出力されます。

出力ファイルは、出力種別、積算種別などの条件により異なります。

(1) 出力対象が「リアルタイム」の場合

- ・出力種別で「日報」を選択した場合

ファイル名 : RealTime_ (年月日時分) .csv ※時分は常に「0000」

- ・出力種別 : 「期間」を選択した場合

ファイル名 : RealTime_ (From 年月日時分) - (To 年月日時分) .csv

(2) 出力対象が「ダイジェスト」の場合

- ・出力種別「日報」/積算種別「最大」を選択した場合

ファイル名 : Summary_ (年月日時分) (max) .csv ※時分は常に「0000」

- ・出力種別「日報」/積算種別「最小」を選択した場合

ファイル名 : Summary_ (年月日時分) (min) .csv ※時分は常に「0000」

- ・出力種別「日報」/積算種別「平均」を選択した場合

ファイル名 : Summary_ (年月日時分) (ave) .csv ※時分は常に「0000」

- ・出力種別「日報」/積算種別「瞬時」を選択した場合

ファイル名 : Summary_ (年月日時分) (snp) .csv ※時分は常に「0000」

- ・出力種別「日報」/積算種別「差分」を選択した場合

ファイル名 : Summary_ (年月日時分) (diff) .csv ※時分は常に「0000」

- ・出力種別「月報」/積算種別「最大」を選択した場合 … その他の積算種別は、「日報」と同様

ファイル名 : Summary_ (年月) (max) .csv

- ・出力種別「年報」/積算種別「最大」を選択した場合 … その他の積算種別は、「日報」と同様

ファイル名 : Summary_ (年) (max) .csv

- ・出力種別「期間」/積算種別「最大」を選択した場合 … その他の積算種別は、「日報」と同様

ファイル名 : Summary_ (年) (max) .csv

- ・出力種別「日報」/積算種別「最大」を選択した場合 … その他の積算種別は、「日報」と同様

ファイル名 : Summary_ (From 年月日時分) - (To 年月日時分) (max) .csv

7.3 スケジューリングしてレポートを出力する

レポート出力のスケジュールを登録して、計測データを CSV ファイルで出力します。

The screenshot shows two overlapping windows of the garmit DC application.

Left Window (Top): A sidebar menu titled "garmit DC". The "Schedule" option is highlighted in red. A red arrow points from the "Schedule" button in the sidebar to the "Report" button in the dropdown menu below it.

出力結果	レポートスケジュールID	スケジュール名	所属名	出力日時	次回出力日時	倍種別	出力種別	出力開始日	出力終了日	出力件数
1	リアルタイム-日報	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	リアルタイム	日報				指2
2	リアルタイム-期間-1	株式会社デンソー				リアルタイム	期間	1	31	指2
3	リアルタイム-期間-2	株式会社デンソー				リアルタイム	期間	1	15	指2
4	ダイジェスト-日報	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	ダイジェスト	日報				指2
5	ダイジェスト-月報	株式会社デンソー				ダイジェスト	月報			指2
6	ダイジェスト-年報	株式会社デンソー				ダイジェスト	年報			指2
7	ダイジェスト-期間-1	株式会社デンソー				ダイジェスト	期間	月末	月末	指2
8	ダイジェスト-期間-2	株式会社デンソー				ダイジェスト	期間	1	15	指2
9	テストスケジュール1 (権限)	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	リアルタイム	日報				5分
10	テストスケジュール2 (追加)	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	リアルタイム	日報				指2

Right Window (Bottom): A table titled "Report Schedule List". The table lists 10 scheduled reports with columns for ID, Name, Type, Frequency, and Start/End Dates.

出力結果	レポートスケジュールID	スケジュール名	所属名	出力日時	次回出力日時	倍種別	出力種別	出力開始日	出力終了日	出力件数
1	リアルタイム-日報	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	リアルタイム	日報				指2
2	リアルタイム-期間-1	株式会社デンソー				リアルタイム	期間	1	31	指2
3	リアルタイム-期間-2	株式会社デンソー				リアルタイム	期間	1	15	指2
4	ダイジェスト-日報	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	ダイジェスト	日報				指2
5	ダイジェスト-月報	株式会社デンソー				ダイジェスト	月報			指2
6	ダイジェスト-年報	株式会社デンソー				ダイジェスト	年報			指2
7	ダイジェスト-期間-1	株式会社デンソー				ダイジェスト	期間	月末	月末	指2
8	ダイジェスト-期間-2	株式会社デンソー				ダイジェスト	期間	1	15	指2
9	テストスケジュール1 (権限)	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	リアルタイム	日報				5分
10	テストスケジュール2 (追加)	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	リアルタイム	日報				指2

図 190 スケジュール/レポート（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「スケジュール」>「レポート」を選択すると、レポートスケジュール一覧画面が表示されます。

7.3.1 スケジュールを登録する

図 191 レポートスケジュール編集画面（新規登録）

レポートスケジュール一覧画面で、「新規登録」ボタンをクリックすると、レポートスケジュール編集画面が表示されます。

スケジュール名、所属、検索条件、出力ファイル名などを設定し、「保存」ボタンをクリックします。

保存結果が表示され、「OK」をクリックすると、レポートスケジュール一覧画面が表示されます。

レポートスケジュール編集画面で「キャンセル」ボタンをクリックすると、当該画面が消去され、一覧画面が表示されます。

項目名に「*」がついているものは、**入力必須項目**です。

レポート出力のタイミングは下記の通り、出力種別によって異なります。

- ・「日報」の場合：毎日
- ・「月報」の場合：毎月 1 日
- ・「年報」：毎年 1 月 1 日
- ・「期間」：出力終了日の翌日

7.3.2 スケジュールを削除する

出力スケジュール一覧										
	出力結果	レポートスケジュールID	スケジュール名	所属名	出力日時	次回出力日時	値種別	出力種別	出力開始日	出力終了日
<input type="checkbox"/>				1	リアルタイム-日報	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	リアルタイム	日報
<input type="checkbox"/>				2	リアルタイム-期間-1	株式会社デンソー			リアルタイム	期間
<input type="checkbox"/>				3	リアルタイム-期間-2	株式会社デンソー			リアルタイム	期間
<input type="checkbox"/>				4	ダイジェスト-日報	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	ダイジェスト	日報
<input type="checkbox"/>				5	ダイジェスト-月報	株式会社デンソー			ダイジェスト	月報
<input type="checkbox"/>				6	ダイジェスト-年報	株式会社デンソー			ダイジェスト	年報
<input type="checkbox"/>				7	ダイジェスト-期間-1	株式会社デンソー			ダイジェスト	期間
<input type="checkbox"/>				8	ダイジェスト-期間-2	株式会社デンソー			ダイジェスト	期間
<input type="checkbox"/>				9	テストスケジュール1 (編集)	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	リアルタイム	日報
<input type="checkbox"/>				10	テストスケジュール2 (追加)	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	リアルタイム	日報

図 192 スケジュール削除

レポートスケジュール一覧で、レポートスケジュールを選択して「削除」ボタンをクリックする、もしくは一覧の各行に表示されている削除アイコン () をクリックすると、選択したレポートスケジュールが削除され、一覧が表示更新されます。

出力スケジュール一覧										
	出力結果	レポートスケジュールID	スケジュール名	所属名	出力日時	次回出力日時	値種別	出力種別	出力開始日	出力終了日
<input checked="" type="checkbox"/>				1	リアルタイム-日報	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	リアルタイム	日報
<input checked="" type="checkbox"/>				2	リアルタイム-期間-1	株式会社デンソー			リアルタイム	期間
<input checked="" type="checkbox"/>				3	リアルタイム-期間-2	株式会社デンソー			リアルタイム	期間
<input type="checkbox"/>				4	ダイジェスト-日報	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	ダイジェスト	日報
<input type="checkbox"/>				5	ダイジェスト-月報	株式会社デンソー			ダイジェスト	月報
<input type="checkbox"/>				6	ダイジェスト-年報	株式会社デンソー			ダイジェスト	年報
<input type="checkbox"/>				7	ダイジェスト-期間-1	株式会社デンソー			ダイジェスト	期間
<input type="checkbox"/>				8	ダイジェスト-期間-2	株式会社デンソー			ダイジェスト	期間
<input type="checkbox"/>				9	テストスケジュール1 (編集)	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	リアルタイム	日報
<input type="checkbox"/>				10	テストスケジュール2 (追加)	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	リアルタイム	日報

図 193 所属情報削除（一括削除）

レポートスケジュールを削除すると、そのレポートスケジュールで出力済みのすべてのファイルが削除されますのでご注意ください。

7.3.3 出力ファイルをダウンロードする

レポートスケジュール一覧画面から、出力結果を表示します。

出力結果	レポートスケジュールID	スケジュール名	所属名	出力日時	次回出力日時	値種別	出力種別	出力開始日	出力終了日	出力
<input type="checkbox"/>	1	リアルタイム-日報	株式会社デンソー	2019/03/19 00:00:00	2019/03/20 00:00:00	リアルタイム	日報			指定期間
<input type="checkbox"/>	2	リアルタイム-期間-1	株式会社デンソー			リアルタイム	期間	1	31	指定期間
<input type="checkbox"/>	3	リアルタイム-期間-2	株式会社デンソー			リアルタイム	期間	1	15	指定期間
<input type="checkbox"/>	4	ダイジェスト-年報	株式会社デンソー			ダイジェスト	日報			
<input type="checkbox"/>	5	ダイジェスト-期間-1	株式会社デンソー			ダイジェスト	月報			
<input type="checkbox"/>	6					ダイジェスト	年報			
<input type="checkbox"/>	7					ダイジェスト	期間	月末	月末	
<input type="checkbox"/>	8							15		
<input type="checkbox"/>	9							5分		
<input type="checkbox"/>	10									指定期間

13 件中 1 から 10 までを表示

出力結果

出力ファイル一覧

出力日時	ファイル名
2019/03/18 01:00:00	1_realtime_daily_20190318.csv
2019/03/17 01:00:00	1_realtime_daily_20190317.csv
2019/03/16 01:00:00	1_realtime_daily_20190316.csv
2019/03/15 01:00:00	1_realtime_daily_20190315.csv
2019/03/14 01:00:00	1_realtime_daily_20190314.csv

5 件中 1 から 5 までを表示

<< < > >>

図 194 出力結果の表示

出力ファイル一覧で、出力ファイルを選択して「ダウンロード」ボタンをクリックする、もしくは一覧の各行に表示されているダウンロードアイコン（）をクリックすると、CSV ファイルが出力されます。

8 帳票出力する

任意のフォーマットで Excel 出力することができます。

8.1 ラック・ユニット帳票を出力する

8.1.1 帳票フォーマットを作成する

The screenshot shows an Excel spreadsheet titled "ラック帳票フォーマット.xlsx". The sheet contains several sections of data:

- Row 1:** ロケーション #R_Location_ALL, ラック名称 #R_Name
- Row 2:** ラック情報 (ラックステータス #R_Status, ラック種別 #R_Type, ユニット数 #R.RowCount_U, 耐荷量 #R_MaxLoad_kg)
- Row 3:** 現在の空き #R_BlankUnit_U
- Row 4:** 耐荷量 #R_CurrentLoad_kg
- Row 5:** ラック立面図(前面) #R_FrontView, ラック立面図(背面) #R_RearView
- Row 6:** ユニット情報 (Table with columns: 指定位置, ユニット名称, 占有(U), ユニット番号, 種別, ステータス, 重量(kg), 定格電力(W), コメント). The table has 10 rows.

図 195 帳票フォーマットファイル例

Excel アプリケーションを使用して、ラックおよびユニット帳票の出力フォーマットを作成します。

ラック・ユニットの情報を埋め込みたい箇所にタグ（#xxxxx）を入力します。

※使用可能なタグの一覧については、別途資料（『ラック帳票埋込タグ一覧』）をご参照ください。

フォーマットの作成が完了したら、**xlsx 形式**で保存します。

※旧形式 **xls** には対応しておりません。

8.1.2 帳票フォーマットを登録する

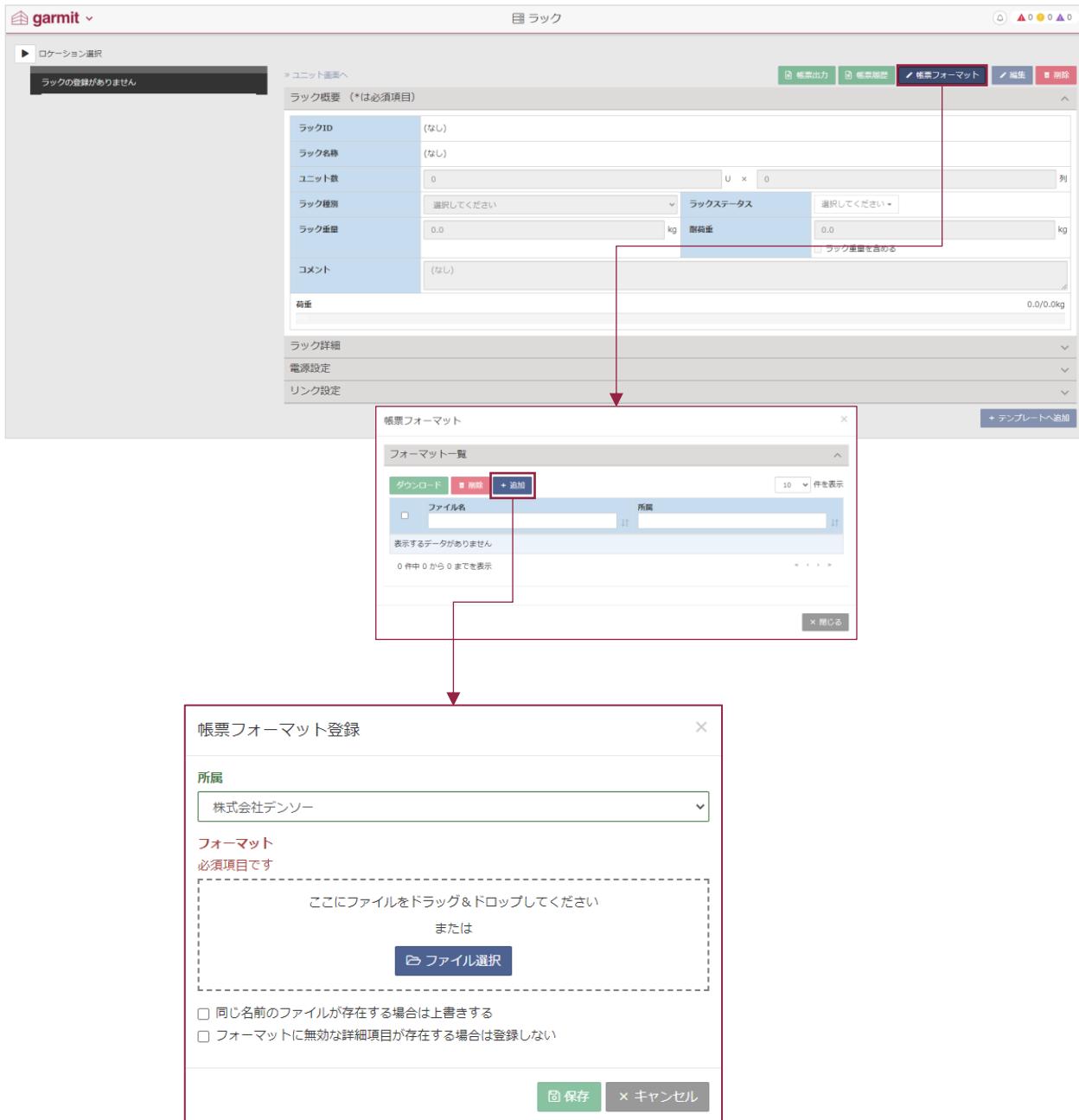


図 196 帳票フォーマット登録画面遷移

garmit のメニューから、「アセット」>「ラック」を選択すると、ラック画面を表示します。

「帳票フォーマット」をクリックすると、帳票フォーマットの一覧を表示します。

「追加」ボタンをクリックすると、帳票フォーマットの登録画面を表示します。

所属、フォーマット、上書き保存の可否、無効な詳細項目のチェックの有無を指定し、「保存」ボタンをクリックすると、

帳票フォーマット一覧に追加されます。

8.1.3 帳票を出力する

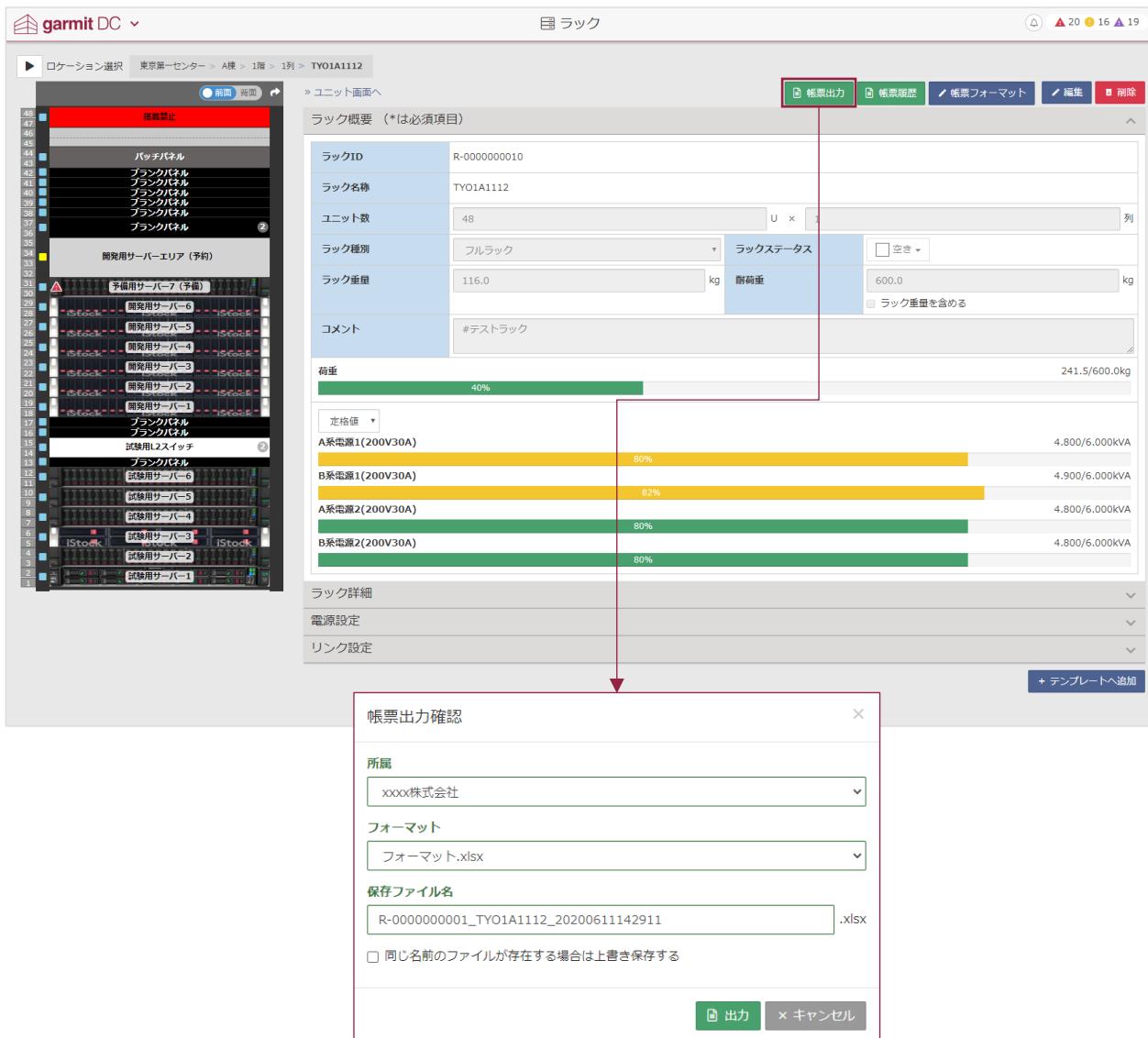


図 197 帳票出力画面遷移

ラック画面で「帳票出力」をクリックすると、帳票出力確認画面を表示します。

所属、フォーマット、保存ファイル名、上書き保存の可否の各項目を設定し、「出力」をクリックすると、出力処理が開始され、処理が終わるとブラウザにファイルがダウンロードされます。

出力したファイルは出力履歴画面（[図 272](#)）で、再度ダウンロードすることも可能です。

8.2 電気錠ログを帳票出力する

8.2.1 帳票フォーマットを作成する

ラック開錠/施錠記録					
出力日: #OUTPUT_YEAR年#OUTPUT_MONTH月#OUTPUT_DAY日					
条件		#TITLE			
期間		#SCH_F_YEAR年#SCH_F_MONTH月#SCH_F_DAY日 ~ #SCH_T_YEAR年#SCH_T_MONTH月#SCH_T_DAY日			
場所		#LOG_F_YEAR年#LOG_F_MONTH月#LOG_F_DAY日 ~ #LOG_T_YEAR年#LOG_T_MONTH月#LOG_T_DAY日			
申請日時		ラック番号	目的	申請者	操作ユーザー
#ROW_1	開錠	#OPEN_TIME	#LOCATION_3#LOCATION_4 #PURPOSE	#SDATA_O_1	#USER_O
#ROW_1	施錠	#CLOSE_TIME	#LOCATION_3#LOCATION_4 #PURPOSE	#SDATA_C_1	#USER_C
#ROW_2	開錠	#OPEN_TIME	#LOCATION_3#LOCATION_4 #PURPOSE	#SDATA_O_1	#USER_O
#ROW_2	施錠	#CLOSE_TIME	#LOCATION_3#LOCATION_4 #PURPOSE	#SDATA_C_1	#USER_C
#ROW_3	開錠	#OPEN_TIME	#LOCATION_3#LOCATION_4 #PURPOSE	#SDATA_O_1	#USER_O
#ROW_3	施錠	#CLOSE_TIME	#LOCATION_3#LOCATION_4 #PURPOSE	#SDATA_C_1	#USER_C
#ROW_4	開錠	#OPEN_TIME	#LOCATION_3#LOCATION_4 #PURPOSE	#SDATA_O_1	#USER_O
#ROW_4	施錠	#CLOSE_TIME	#LOCATION_3#LOCATION_4 #PURPOSE	#SDATA_C_1	#USER_C
#ROW_5	開錠	#OPEN_TIME	#LOCATION_3#LOCATION_4 #PURPOSE	#SDATA_O_1	#USER_O
#ROW_5	施錠	#CLOSE_TIME	#LOCATION_3#LOCATION_4 #PURPOSE	#SDATA_C_1	#USER_C
#ROW_6	開錠	#OPEN_TIME	#LOCATION_3#LOCATION_4 #PURPOSE	#SDATA_O_1	#USER_O
#ROW_6	施錠	#CLOSE_TIME	#LOCATION_3#LOCATION_4 #PURPOSE	#SDATA_C_1	#USER_C
#ROW_7	開錠	#OPEN_TIME		#SDATA_O_1	#USER_O

図 198 電気錠ログ帳票フォーマット例

Excel アプリケーションを使用して、電気錠ログ帳票の出力フォーマットを作成します。

電気錠ログの情報を埋め込みたい箇所にタグ（#xxxxx）を入力します。

※使用可能なタグの一覧については、別途資料（『電気錠ログ帳票埋込タグ一覧』）をご参照ください。

フォーマットの作成が完了したら、**xlsx 形式**で保存します。

※旧形式 **xls** には対応しておりません。

8.2.2 帳票フォーマットを登録する

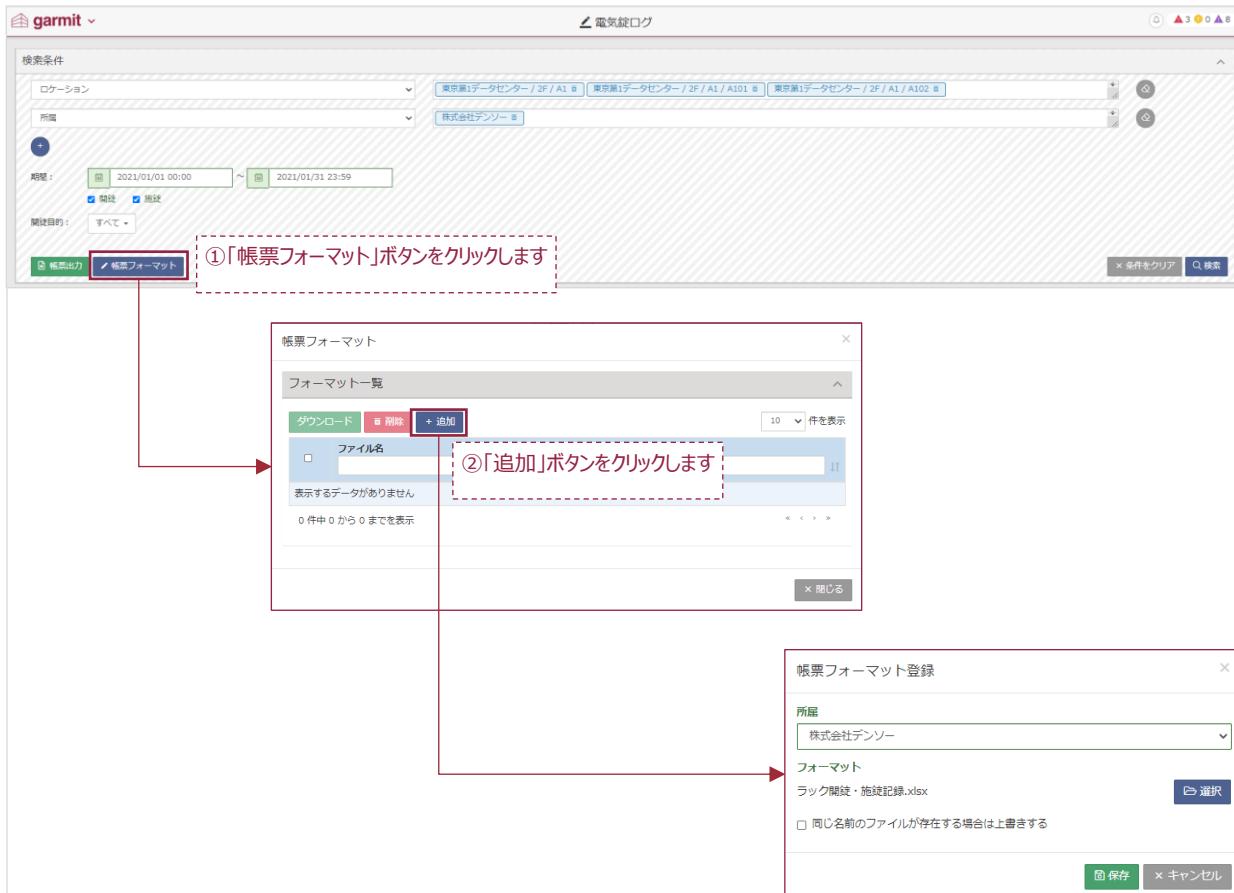


図 199 電気錠ログ帳票フォーマット登録画面遷移

garmit のメニューから、「ログ」>「電気錠ログ」を選択すると、電気錠ログ画面を表示します（[図 163](#)）。

「帳票フォーマット」をクリックすると、帳票フォーマットの一覧を表示します（[図 199 中段](#)）。

「追加」ボタンをクリックすると、帳票フォーマットの登録画面を表示します（[図 199 下段](#)）。

帳票フォーマット一覧に追加されます。

詳細な操作については、『[45 電気錠ログ](#)』をご参照ください。

8.2.3 帳票を出力する



図 200 帳票出力画面遷移

電気錠ログ画面で「帳票出力」をクリックすると、帳票出力確認画面（[図 200](#)）を表示します。

所属、フォーマット、タイトルの各項目を設定し「出力」をクリックすると、出力処理が開始されます。

処理が終わるとブラウザにファイルがダウンロードされます。

8.3 計測データを帳票出力する

8.3.1 帳票フォーマットを作成する

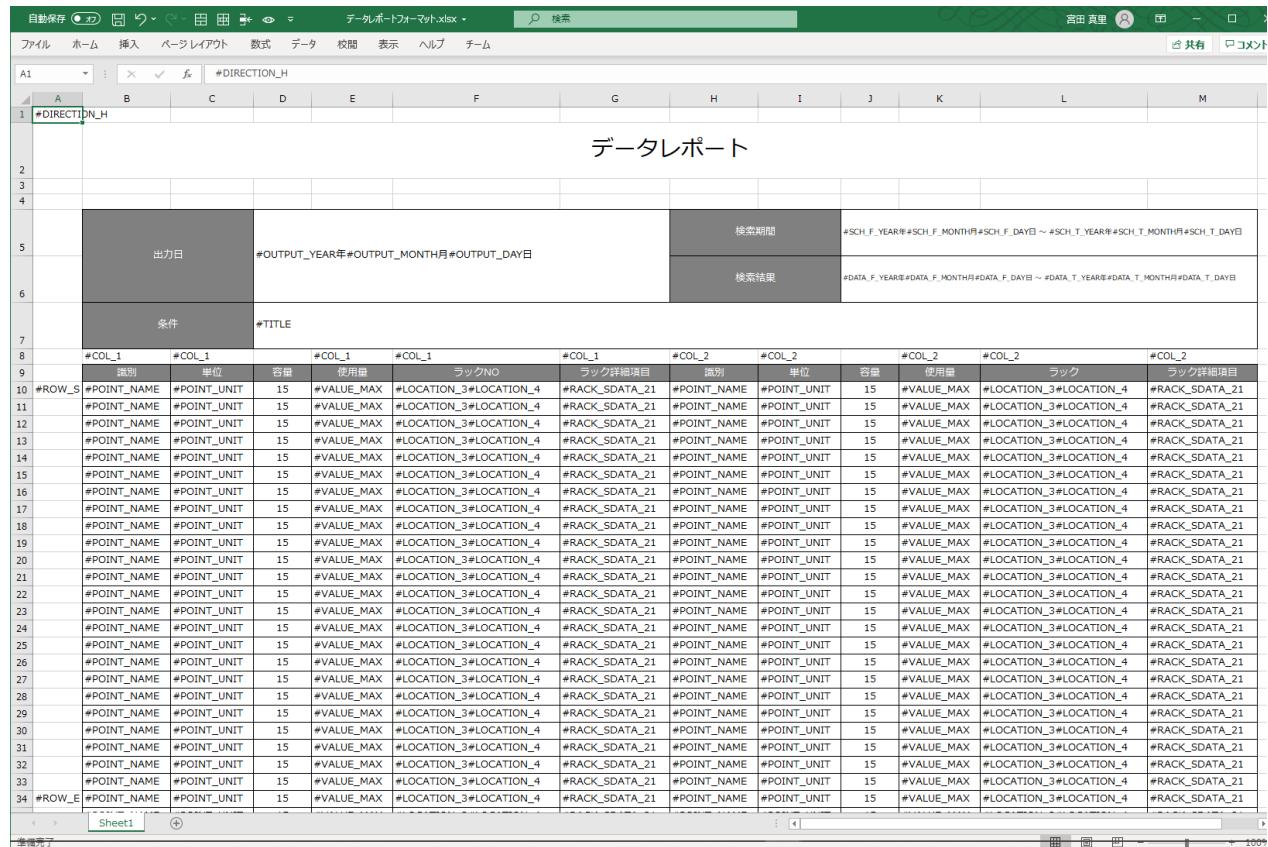


図 201 データレポートフォーマット例

Excel アプリケーションを使用して、データレポートの出力フォーマットを作成します。

計測データ関連の情報を埋め込みたい箇所にタグ（#xxxxxx）を入力します。

※使用可能なタグの一覧については、別途資料（『データレポート帳票埋入タグ一覧』）をご参照ください。

フォーマットの作成が完了したら、**xlsx 形式**で保存します。

※旧形式.xlsには対応しておりません。

8.3.2 帳票フォーマットを登録する

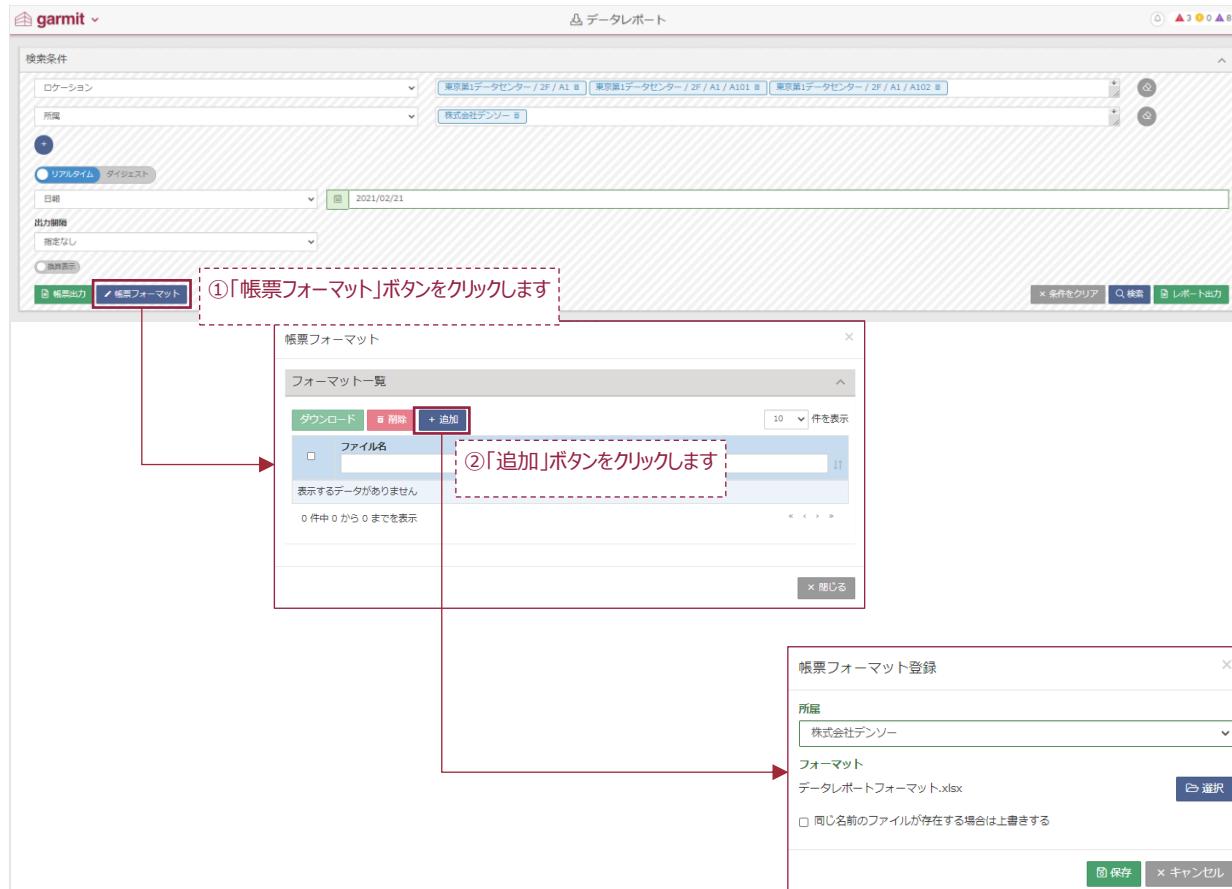


図 202 電気錠ログ帳票フォーマット登録画面遷移

garmit のメニューから、「データ出力」>「データレポート」を選択すると、データレポート画面を表示します（[図 186](#)）。

「帳票フォーマット」をクリックすると、帳票フォーマットの一覧を表示します（[図 202](#) 中段）。

「追加」ボタンをクリックすると、帳票フォーマットの登録画面を表示します（[図 202](#) 下段）。

帳票フォーマット一覧に追加されます。

詳細な操作については、『[43 データレポート](#)』をご参照ください。

8.3.3 帳票出力する

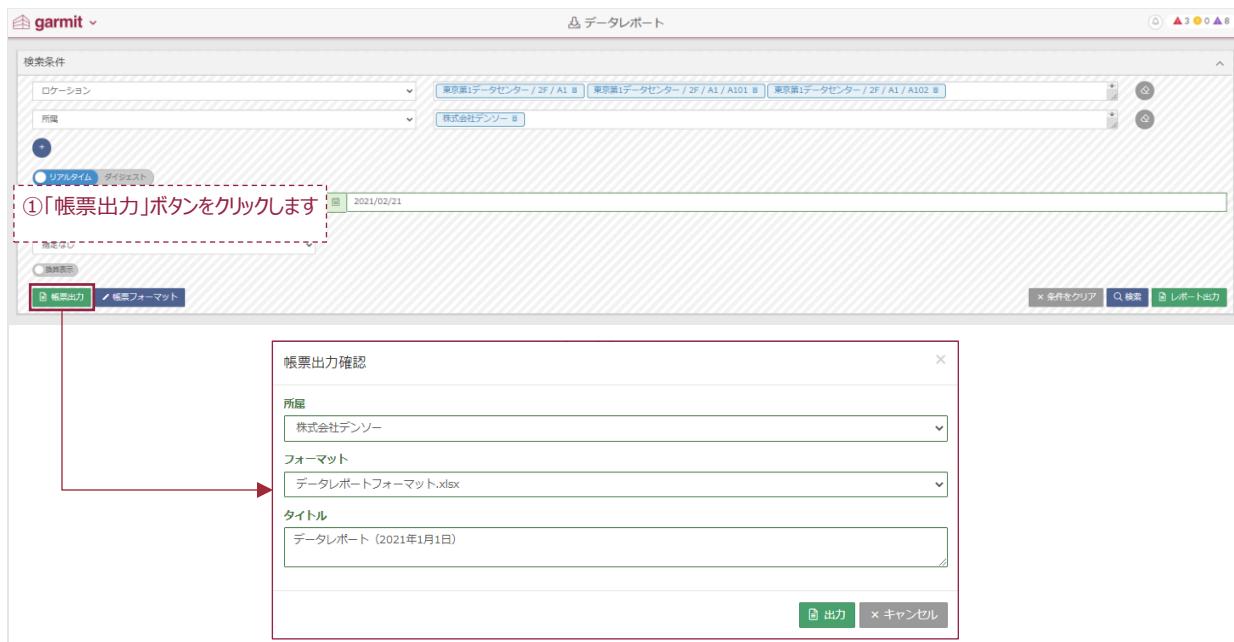


図 203 帳票出力画面遷移

データレポート画面で「帳票出力」をクリックすると、帳票出力確認画面（[図 203](#)）を表示します。

所属、フォーマット、タイトルの各項目を設定し「出力」をクリックすると、出力処理が開始されます。

処理が終わるとブラウザにファイルがダウンロードされます。

9 データをまとめて登録する

ポイント情報、ラック情報、ユニット情報を CSV ファイルでインポートすることで、まとめて登録することができます。

画面から登録する項目が多いので、大量データの登録・変更する場合は、インポート機能をご利用ください。

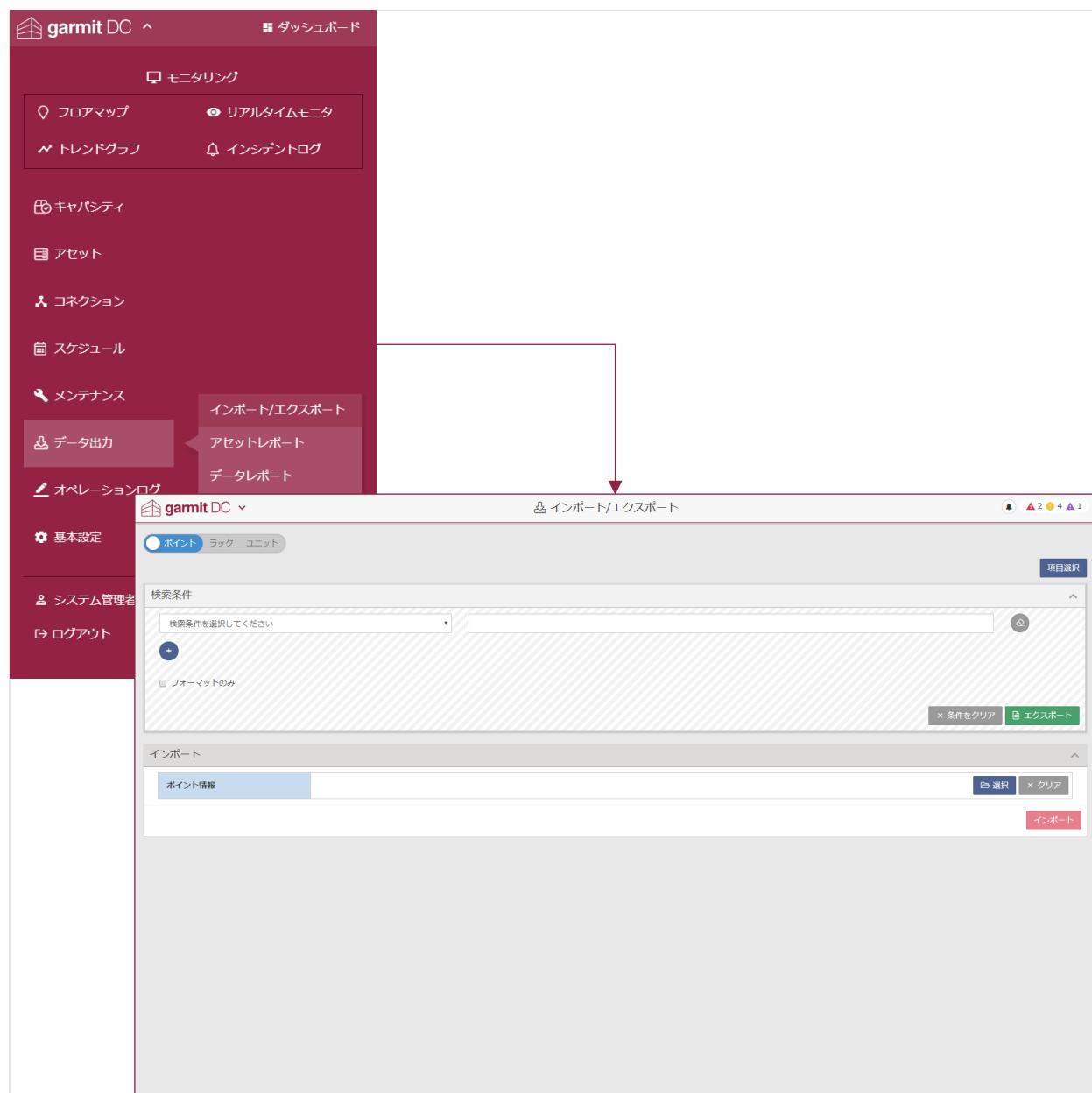


図 204 インポートエクスポート（メニュー選択→画面表示）

メニューから、「データ出力」>「インポート/エクスポート」を選択すると、インポート/エクスポート画面が表示されます。

9.1 ポイント情報をインポートする

ポイント情報を CSV ファイルで作成し、まとめて登録します。

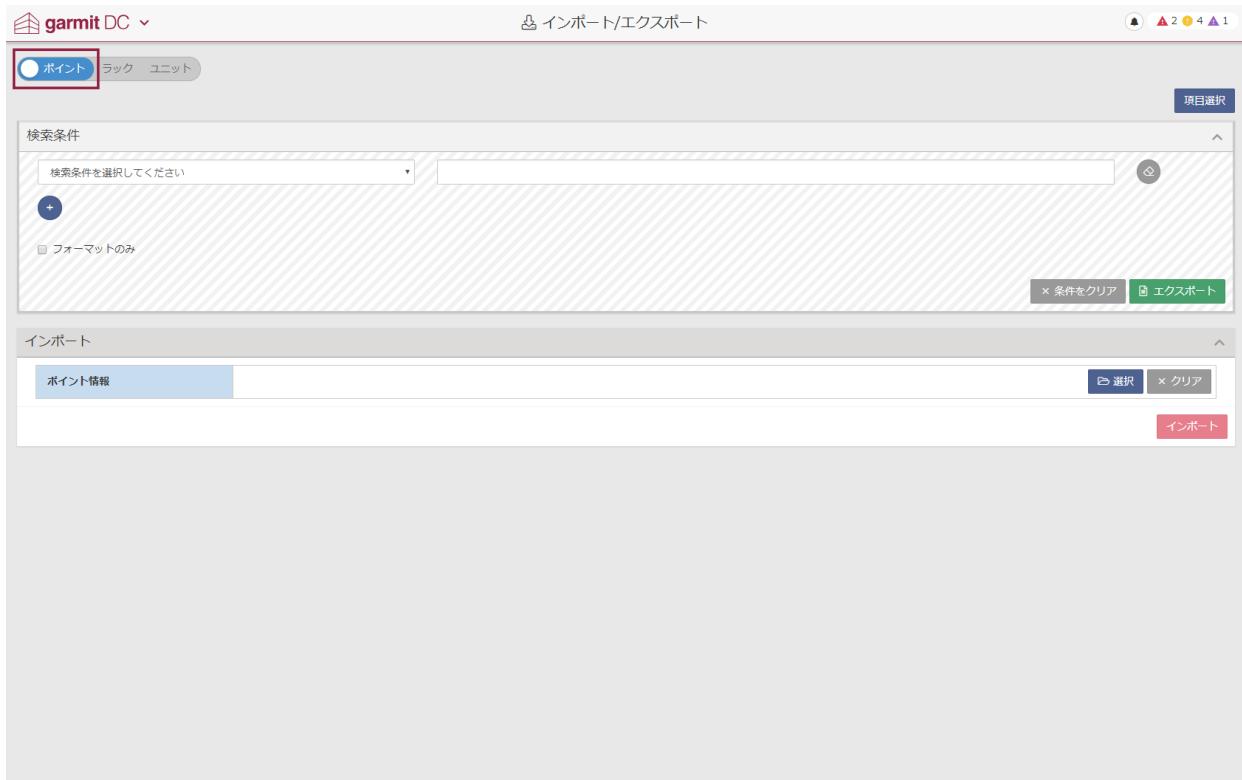


図 205 インポート（ポイント選択）

ポイント情報をインポートするときは、「ポイント/ラック/ユニット」スイッチのうち、「ポイント」を選択します。

9.1.1 インポートフォーマットをエクスポートする

インポートするファイルフォーマットは決まっているため、フォーマットをエクスポートする必要があります。

(1) エクスポートする項目を選択する

「項目選択」ボタンをクリックすると、項目選択モーダルが表示されます。

ポイント情報としてインポート可能な項目一覧が表示されますので、その中から必要なものを選択し、「適用」ボタンをクリックします。

選択項目は保存されますので、次回以降も同じ項目でエクスポートすることができます。



図 206 項目選択モーダル（ポイント）

背景色が黄色の項目は、インポートするときのキー項目となるため、非選択項目にはできません。

また、「*」マークのついている項目は、新規のデータをインポートするときに必須となる項目です。

※このエクスポート機能は、インポートするためのフォーマットおよびデータ登録状態を確認することを主目的としているため
キー項目や必須項目が表示されます。

(2) エクスポートする

検索条件を指定し、「エクスポート」ボタンをクリックすると、検索条件に該当するポイント情報が CSV ファイルで出力されます。

指定可能な検索条件は、「[2.4.1 ポイント情報を検索する](#)」と同様です。

検索条件欄の「フォーマットのみ」にチェックを入れ、「エクスポート」ボタンをクリックすると、項目名のみ CSV ファイルで出力されます。

出力されるファイル名は以下の通りです。

ポイント情報 : PointList.csv

9.1.2 ポイント情報をインポートする

指定フォーマットに従い、CSV ファイルを作成し、インポートします。



図 207 インポート（ポイント）

「選択」ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されるので、インポート対象のファイルを選択します。

ファイルが選択されると、「インポート」ボタンが有効となりますので、「インポート」ボタンをクリックします。

インポートが完了すると、完了した旨のメッセージが表示されます。

インポートに失敗した場合は、エラーの箇所およびエラーメッセージが表示されます。

再インポートする際、表示されているファイル名と同じファイル名を編集した場合は、一度選択状態を解除してから再度、ファイルを選択してください。

再選択しないと、前回と同じ内容の CSV ファイルでインポートされます。

解除：ファイル名表示中に「クリア」ボタンをクリックすると、ファイル選択状態が解除されます（ファイル名非表示）。

インポートする各項目の説明については、別途資料（『インポート項目説明（ポイント）』）をご参照ください。

■インポートファイル作成時の注意点

- 必須項目となっている項目は、項目名のみ記載されている状態だとインポートできません。
必須項目の名称が記載されている場合は、必ずデータも記載してください。
- ポイントにタグを紐づけてインポートする場合、同じ名称のタグすべて紐づけられます。

9.2 ラック情報をインポートする

ラック情報を CSV ファイルで作成し、まとめて登録します。

ラックに関する情報は、下記 4 つに分けて登録します。

- ① ラック情報（ラック画面：ラック概要、ラック詳細）
- ② 電源情報（ラック画面：電源設定）
- ③ アウトレット情報（ラック画面：電源設定のアウトレット）
- ④ リンク情報（ラック画面：リンク設定）

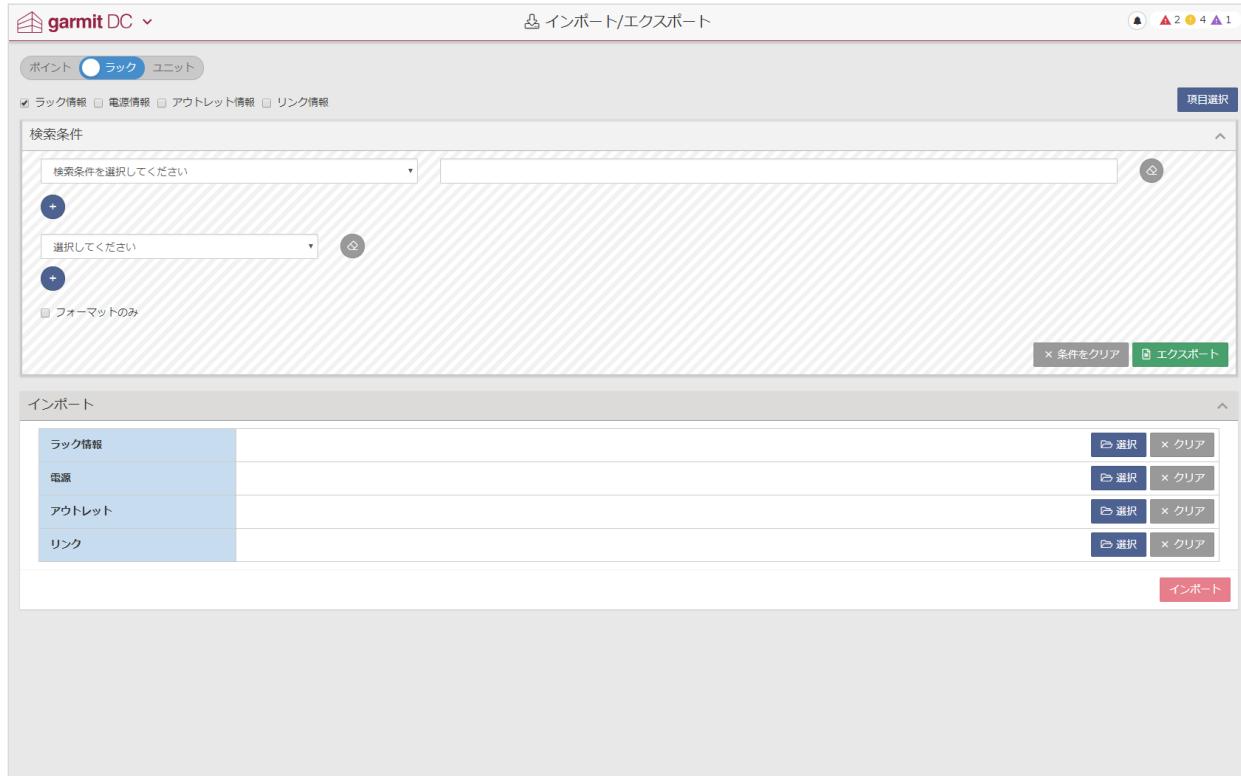


図 208 インポート（ラック選択）

ラック情報をインポートするときは、「ポイント/ラック/ユニット」スイッチのうち、「ラック」を選択します。

9.2.1 インポートフォーマットをエクスポートする

インポートするファイルフォーマットが決まっているため、フォーマットをエクスポートする必要があります。

ラックについては、分けてインポートする仕様のため、フォーマットも4種類あります。

(1) エクスポートする項目を選択する

「項目選択」ボタンをクリックすると、項目選択モーダルが表示されます。

ラックに関する情報としてインポート可能な項目が、出力カテゴリ毎に一覧表示されますので、その中から必要なものを選択し、

「適用」ボタンをクリックします。

選択項目は保存されますので、次回以降も同じ項目でエクスポートすることができます。



図 209 項目選択モーダル（ラック）

キー項目、必須項目については、ポイント情報と同様です。

(2) エクスポートする

検索条件を指定し、「エクスポート」ボタンをクリックすると、指定した検索条件に該当するラック情報が CSV ファイルで出力されます。

指定可能な検索条件は、「[7.1 アセットレポートを出力する](#)」と同様です。

検索条件欄の「フォーマットのみ」にチェックを入れ、「エクスポート」ボタンをクリックすると、項目名のみ CSV ファイルで出力されます。

CSV ファイルは、出力カテゴリごとに出力されます。ファイル名は以下の通りです。

- ・ラック情報 : RackList.csv
- ・電源情報 : RackPowerList.csv
- ・アウトレット情報 : RackOutletList.csv
- ・リンク情報 : RackLinkList.csv

9.2.2 ラック情報をインポートする

指定フォーマットに従い、CSV ファイルを作成し、インポートします。

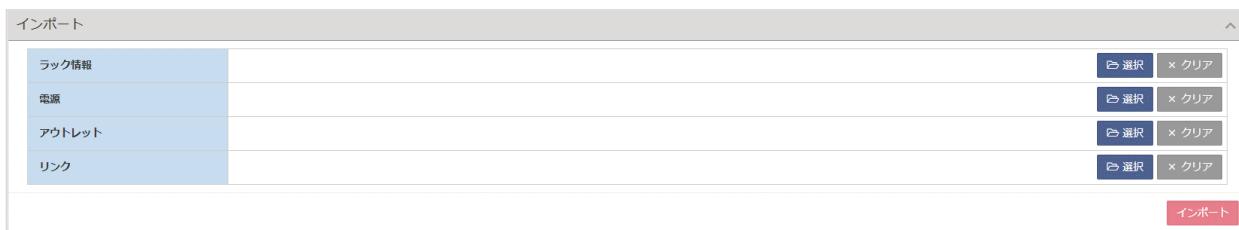


図 210 インポート（ラック）

「選択」ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されるので、インポート対象のファイルを選択します。

ファイルが選択されると、「インポート」ボタンが有効となりますので、「インポート」ボタンをクリックします。

インポートが完了すると、完了した旨のメッセージが表示されます。

インポートに失敗した場合は、エラーの箇所およびエラーメッセージが表示されます。

再インポートする際、表示されているファイル名と同じファイル名を編集した場合は、一度選択状態を解除してから再度、ファイルを選択してください。

再選択しないと、前回と同じ内容の CSV ファイルでインポートされます。

解除：ファイル名表示中に「クリア」ボタンをクリックすると、ファイル選択状態が解除されます（ファイル名非表示）。

インポートする各項目の説明については、別途資料（『インポート項目説明（ラック）』）をご参照ください。

■インポートファイル作成時の注意点■

・必須項目となっている項目は、項目名のみ記載されている状態だとインポートできません。

→必須項目の項目名が記載されている場合は、必ずデータも記載してください。

・紐づけ ID とラック ID を同時に指定することはできません。

・新規にラックをインポートする場合は、紐づけ ID を指定するか、未使用のラック ID を指定する必要があります。

未使用のラック ID が不明の場合には、紐づけ ID を使ってインポートしてください。

※既存のラック ID を指定すると、ラック情報を更新してしまうのでご注意ください！

・ラック電源、アウトレットの番号を指定しない場合は、自動連番となります。

【インポートファイル作成例（新規登録）】

① ラック情報

新規登録する場合、ラック ID は未割当なので、未使用のラック ID を指定するか、紐づけ ID を使用します。

登録済みラックが多くなると未使用ラック ID が分かりづらいので、紐づけ ID を指定することをお勧めします。

紐づけ ID を指定すると、インポート時に未使用的ラック ID を自動的に付与します。

紐づけ ID	ラック ID	ロケーション	ユニット数 (U)	ユニット数 (列)	ラック種別	ラックステータス	重量	耐荷重	ラック重量を含める
1		東京第一センター A 棟 1F サーバール ーム A 1 列 TA1A0101	42	1	フルラック	空き	70	700	含める

② 電源情報

ラック情報で指定した紐づけ ID を指定し、電源情報を作成します。

紐づけ ID + 電源番号で一意となるように作成する必要があります。

紐づけ ID	ラック ID	電源番号	電源名称	インレット形状	アウトレット数	定格電流	定格電圧	ブレーカー閾値利用
1		1	ラック A 系電源 01	L6-30	20	30	200	使用する
1		2	ラック B 系電源 01	L6-30	20	30	200	使用する

③ アウトレット情報

ラック情報で指定した紐づけ ID、電源情報で指定した電源番号を指定し、アウトレット情報を作成します。

紐づけ ID + 電源番号 + アウトレット番号で一意となるように作成する必要があります。

紐づけ ID	ラック ID	電源番号	アウトレット番号	アウトレット形状	ポイント番号
1		1	1	C-13	
1		1	2	C-13	
1		1	3	C-13	
1		2	1	C-13	
1		2	2	C-13	
1		2	3	C-13	

④ リンク情報

ラック情報で指定した紐づけ ID を指定し、リンク情報を作成します。

紐づけ ID + リンク番号で一意となるように作成する必要があります。

紐づけ ID	ラック ID	リンク番号	タイトル	URL
1		1	Title01	http://www.xxxxxx
1		2	Title02	http://www.yyy/yyy

紐づけ ID を使用してインポートする場合には、必ずラック情報のインポートと一緒に実行する必要があります。

紐づけ ID を使用して、電源情報、アウトレット情報、リンク情報のみのインポートはできません（紐づけ対象が不明なため）

【インポートファイル作成例（編集）】

① ラック情報

既存のラックを編集する場合、ラック ID を使用します。

紐づけ ID	ラック ID	ロケーション	ユニット数 (U)	ユニット数 (列)	ラック種別	ラックス テータス	重量	耐荷重	ラック重量を含める
	R-0000000001	東京第一センター A 棟 1F サーバールーム A 1 列 TA1A0101	42	1	フルラック	空き	70	700	含める

② 電源情報

既存のラック ID を指定し、電源情報を作成します。

電源情報単独でもインポートできます

ラック情報と一緒にインポートする場合、ラック情報がないラック ID を指定して他ラックの電源情報をインポートできます。

紐づけ ID	ラック ID	電源番号	電源名称	インレット形状	アウトレット数	定格電流	定格電圧	ブレーカー閾値利用
	R-0000000001	1	ラック A 系電源 01	L6-30	20	30	200	使用する
	R-0000000002	2	ラック B 系電源 01	L6-30	20	30	200	使用する

③ アウトレット情報

既存のラック ID を指定し、アウトレット情報を作成します。

アウトレット情報単独でもインポートできます。

紐づけ ID	ラック ID	電源番号	アウトレット番号	アウトレット形状	ポイント番号
	R-0000000001	1	1	C-13	
	R-0000000001	1	2	C-13	
	R-0000000001	1	3	C-13	
	R-0000000002	2	1	C-13	
	R-0000000002	2	2	C-13	
	R-0000000002	2	3	C-13	

④ リンク情報

既存のラック ID を指定し、リンク情報を作成します。

リンク情報単独でもインポートできます。

紐づけ ID	ラック ID	リンク番号	タイトル	URL
	R-0000000001	1	Title01	http://www.xxxxxx
	R-0000000001	2	Title02	http://www.yyyyyy

9.3 ユニット情報をインポートする

ユニット情報を CSV ファイルで作成し、まとめて登録します。

ユニットに関する情報は、下記 5 つに分けて登録します。

- ① ユニット情報（ユニット画面：ユニット概要）
- ② 電源情報（ユニット画面：電源設定）
- ③ リンク情報（ユニット画面：リンク設定）
- ④ ポート情報（ユニット画面：ネットワーク設定のポート）
- ⑤ IP アドレス情報（ユニット画面：ネットワーク設定の IP アドレス）

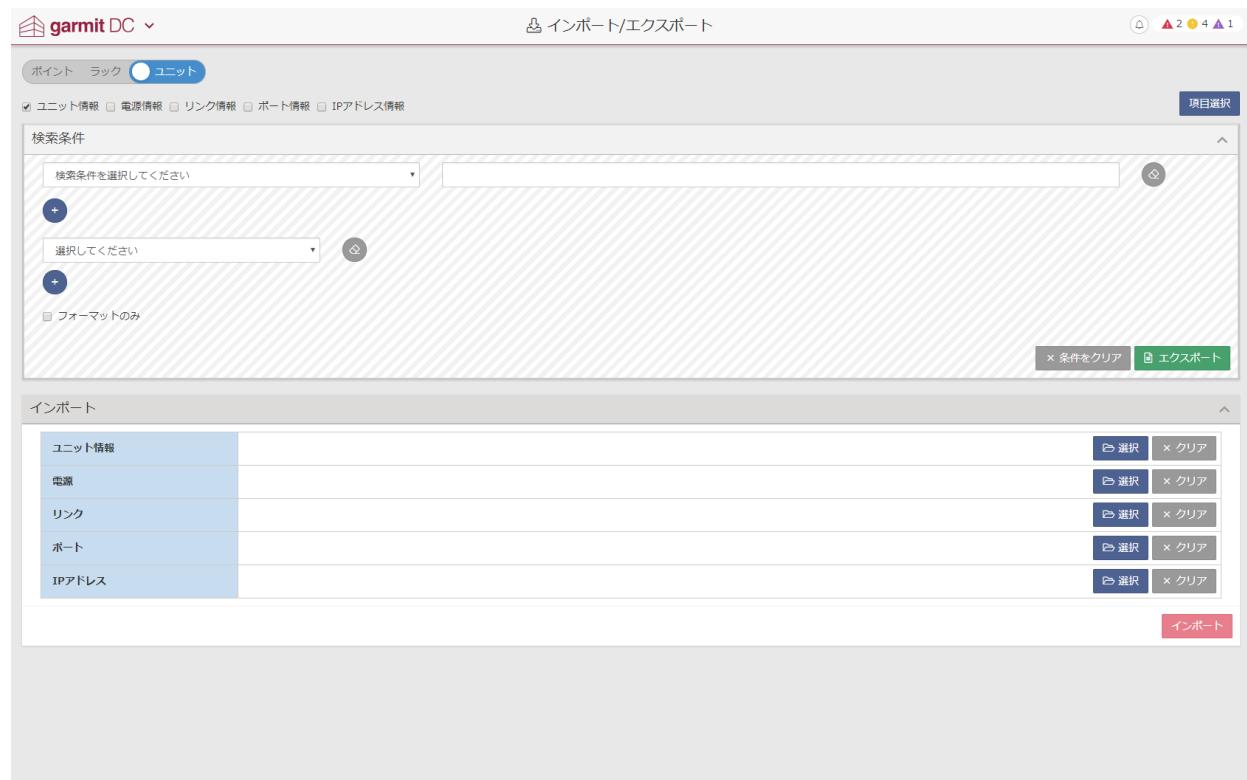


図 211 インポート（ユニット選択）

ユニット情報をインポートするときは、「ポイント/ラック/ユニット」スイッチのうち、「ユニット」を選択します。

9.3.1 インポートフォーマットをエクスポートする

インポートするファイルフォーマットが決まっているため、フォーマットをエクスポートする必要があります。

ユニットについては、分けてインポートする仕様のため、フォーマットも 5 種類あります。

(1) エクスポートする項目を選択する

「項目選択」ボタンをクリックすると、項目選択モーダルが表示されます。

ユニットに関する情報としてインポート可能な項目が、出力カテゴリ毎に一覧表示されますので、その中から必要なものを選択し、

「適用」ボタンをクリックします。

選択項目は保存されますので、次回以降も同じ項目でエクスポートすることができます。

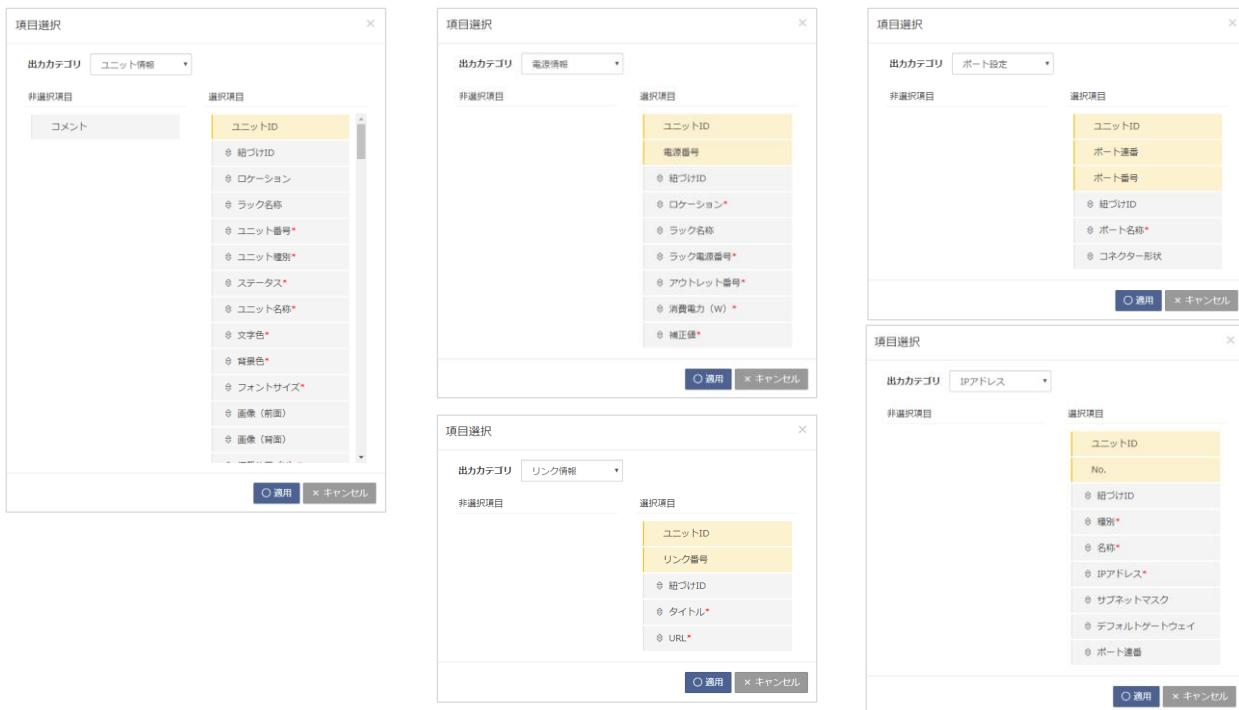


図 212 項目選択モーダル（ユニット）

キー項目、必須項目については、ポイント情報と同様です。

(2) エクスポートする

検索条件を指定し、「エクスポート」ボタンをクリックすると、指定した検索条件に該当するユニット情報が CSV ファイルで出力されます。

指定可能な検索条件は、[『7.1 アセットレポートを出力する』](#)と同様です。

検索条件欄の「フォーマットのみ」にチェックを入れ、「エクスポート」ボタンをクリックすると、項目名のみ CSV ファイルで出力されます。

CSV ファイルは、出力カテゴリごとに出力されます。ファイル名は以下の通りです。

- ・ユニット情報 : UnitList.csv
- ・電源情報 : UnitPowerList.csv
- ・リンク情報 : UnitLinkList.csv
- ・ポート情報 : UnitPort.csv
- ・IP アドレス情報 : UnitIPAddressList.csv

9.3.2 ユニット情報をインポートする

指定フォーマットに従い、CSV ファイルを作成し、インポートします。



図 213 インポート（ユニット）

「選択」ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されるので、インポート対象のファイルを選択します。

ファイルが選択されると、「インポート」ボタンが有効となりますので、「インポート」ボタンをクリックします。

インポートが完了すると、完了した旨のメッセージが表示されます。

インポートに失敗した場合は、エラーの箇所およびエラーメッセージが表示されます。

再インポートする際、表示されているファイル名と同じファイル名を編集した場合は、一度選択状態を解除してから

再度、ファイルを選択してください。

再選択しないと、前回と同じ内容の CSV ファイルでインポートされます。

解除：ファイル名表示中に「クリア」ボタンをクリックすると、ファイル選択状態が解除されます（ファイル名非表示）。

インポートする各項目の説明については、別途資料（『インポート項目説明（ユニット）』）をご参照ください。

■インポートファイル作成時の注意点■

- ・必須項目となっている項目は、項目名のみ記載されている状態だとインポートできません。
→必須項目の項目名が記載されている場合は、必ずデータも記載してください。
 - ・紐づけ ID とユニット ID を同時に指定することはできません。
 - ・新規にユニットをインポートする場合は、紐づけ ID を指定するか、未使用のユニット ID を指定する必要があります。
未使用のユニット ID が不明の場合には、紐づけ ID を使ってインポートしてください。
- 既存のユニット ID を指定すると、ユニット情報を更新してしまうのでご注意ください！

※ユニットファイルの作成については、ラックのインポートファイルと同様ですので、ご参照ください。

10 回線情報を管理する

10.1 配線盤情報を登録する

局入や IDF 等の配線盤に関する情報を登録・編集します。

メニューから、「回線管理」>「配線盤」を選択すると、下図のような画面が表示されます。

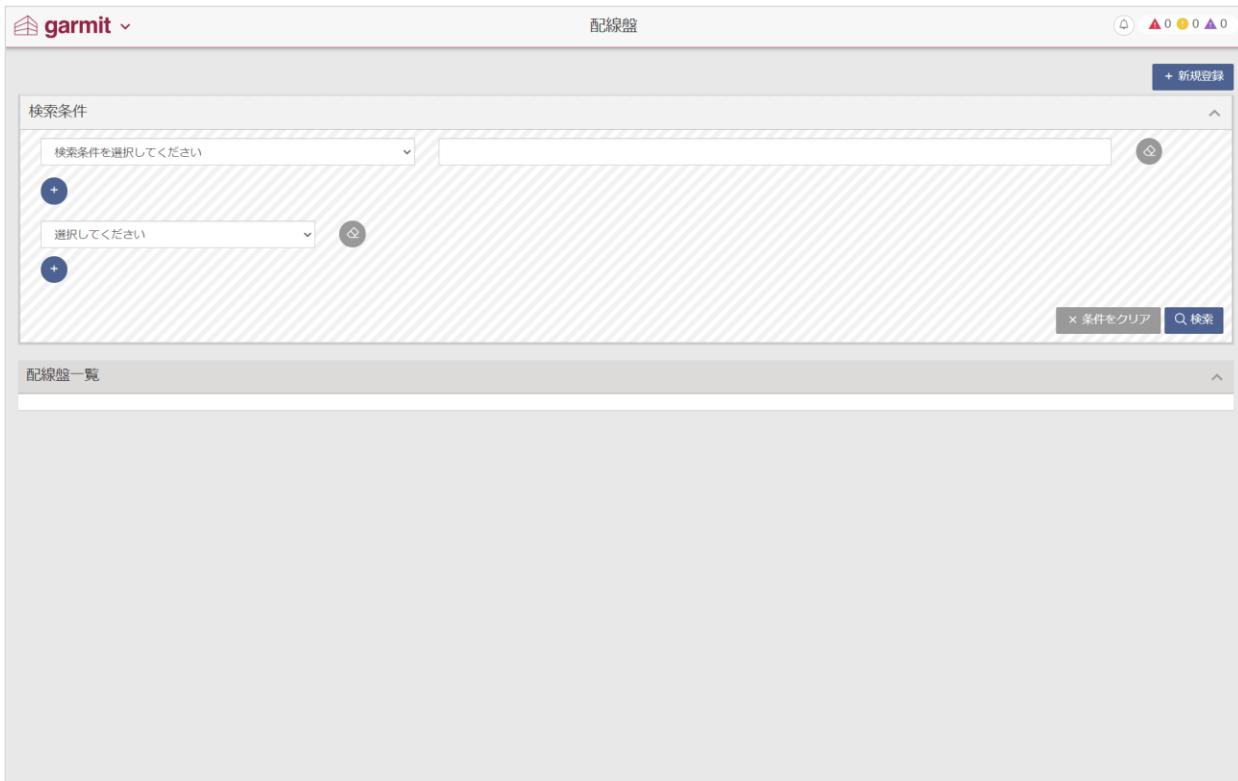


図 214 配線盤一覧

「新規登録」ボタンをクリックすると、配線盤編集（新規登録）画面を表示します。

検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当する配線盤一覧を表示します。

検索条件を指定しない場合には、登録済みの全配線盤を一覧表示します。

10.1.1 配線盤を新規登録する

The screenshot shows the 'New Registration' screen for a Distribution Board (配線盤). The interface is in Japanese. At the top right, there are icons for search, refresh, and navigation. Below the header, there are two main sections: 'Distribution Board Information' (配線盤情報) and 'Detailed Information' (詳細情報).

配線盤情報

種別*	選択してください 必須項目です	メタル/光*	選択してください 必須項目です
名称*	必須項目です		
ロケーション*	必須項目です		
開始端番*	1	終了端番*	必須項目です
備考			

詳細情報

表示ページ	ページ1
(1)項目1-1（文字列）	
(3)項目1-3（日付）	yyyy/MM/dd
(5)項目1-5（選択肢）	選択してください
(2)項目1-2（整数）	
(4)項目1-4（実数）	0.0
(6)項目1-6（複数行）	

図 215 配線盤編集（新規登録）

配線盤一覧で、「新規登録」ボタンをクリックすると、配線盤編集（新規登録）画面（図 215）が表示されます。

各項目に登録する配線盤の情報を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

保存結果が表示され、「OK」をクリックすると、配線盤一覧画面が表示されます。

配線盤編集（新規登録）画面で「キャンセル」ボタンをクリックすると、当該画面が消去され、配線盤一覧画面が表示されます。

項目名に「*」がついているものは、**入力必須項目**です。

(1)種別

配線盤の種別（局入/IDF/PT）を選択します。

(2)メタル/光

ケーブルの種別（メタル/光）を選択します。

(3)名称

配線盤の名称を入力します。

(4)親配線盤

種別が「局入」でないとき、親配線盤となる配線盤とその経路を選択します。

(5)ロケーション

配線盤のロケーション（設置場所）を選択します。

(6)開始/終了線番

配線盤の開始/終了線番を入力します。

配線盤登録時に開始線番～終了線番の IDF 線番を作成します。

(7)備考

備考を入力します。

(8)詳細情報

配線盤情報の詳細を登録します。

表示ページの選択肢として表示されるのは、配線盤メンテナンスで登録したページです。

項目については、配線盤メンテナンスで「有効」と設定した項目が表示されます。

10.1.2 配線盤情報を編集する

<配線盤一覧>

	配線盤種別	名称	ロケーション	開始端番	終了端番	備考	メタル/光	親配線盤	ページ1 - 項目1-1 (文字列)
<input type="checkbox"/>	IDF	IDF1-1-1	センター 1F 電算室1-1	1	100		メタル	局入(メタル) IDF3-1-1 IDF2-1-1	
<input type="checkbox"/>	IDF	IDF2-1-1	センター 2F 電算室2-1	1	100		メタル	局入(メタル) IDF3-1-1...	
<input type="checkbox"/>	局入	局入(メタル)	センター 3F IDF室3-1	1	100		メタル		AAA
<input type="checkbox"/>	局入	局入(光)	センター 3F IDF室3-1	1	100		光		BBB
<input type="checkbox"/>	IDF	IDF3-1-1	センター 3F 電算室3-1	1	100		メタル	局入(メタル)	
<input type="checkbox"/>	PT	PT3-1-1	センター 3F 電算室3-1	1	100		光	局入(光)	
<input type="checkbox"/>	IDF	IDF3-2-1	センター 3F 電算室3-2	1	100		メタル	局入(メタル)	

7件中 1から7までを表示

<配線盤編集（編集）>

garmit

配線盤情報

種別*	IDF	メタル/光*	メタル
名称*	IDF1-1-1	親配線盤*	局入(メタル) IDF3-1-1 IDF2-1-1
ロケーション*	センター / 1F / 電算室1-1		
開始端番*	1	終了端番*	100
備考			

詳細情報

表示ページ	ページ1
(1)項目1-1 (文字列)	
(3)項目1-3 (日付)	yyyy/MM/dd
(5)項目1-5 (選択肢)	選択してください
(2)項目1-2 (整数)	
(4)項目1-4 (実数)	0.0
(6)項目1-6 (複数行)	

図 216 配線盤編集（編集）

検索結果一覧の編集対象の編集アイコンをクリックすると、配線盤編集（編集）画面（図 216）が表示されます。項目の編集については、新規登録と同様です。

10.1.3 配線盤情報を削除する

配線盤一覧								
配線盤種別		名称	ロケーション	開始線番	終了線番	備考	メタル/光	親配線盤
<input type="checkbox"/>			IDF	IDF1-1-1	センター 1F 電算室1-1	1	100	メタル
<input type="checkbox"/>			IDF	IDF2-1-1	センター 2F 電算室2-1	1	100	メタル
<input type="checkbox"/>			局入	局入(メタル)	センター 3F IDF室3-1	1	100	メタル
<input type="checkbox"/>			局入	局入(光)	センター 3F IDF室3-1	1	100	光
<input type="checkbox"/>			IDF	IDF3-1-1	センター 3F 電算室3-1	1	100	メタル
<input type="checkbox"/>			PT	PT3-1-1	センター 3F 電算室3-1	1	100	光
<input type="checkbox"/>			IDF	IDF3-2-1	センター 3F 電算室3-2	1	100	メタル

図 217 配線盤一覧（削除）

配線盤一覧で、配線盤を選択して「削除」ボタンをクリックする、もしくは一覧の各行に表示されている削除アイコンをクリックすると、選択した配線盤が削除され、一覧が表示更新されます。

10.1.4 配線盤の経路を確認する

<配線盤一覧>

記録盤種別	名称	ロケーション	開始線番	終了線番	備考	メタル/光	親記録盤	ページ1 - 項目1-1 (文字列)
IDF	IDF1-1-1	センター 1F 電算室1-1	1	100		メタル	局入(メタル) IDF3-1-1 IDF2-1-1	
IDF	IDF2-1-1	センター 2F 電算室2-1	1	100		メタル	局入(メタル) IDF3-1-1...	
局入	局入(メタル)	センター 3F IDF室3-1	1	100		メタル		AAA
局入	局入(光)	センター 3F IDF室3-1	1	100		光		BBB
IDF	IDF3-1-1	センター 3F 電算室3-1	1	100		メタル	局入(メタル)	
PT	PT3-1-1	センター 3F 電算室3-1	1	100		光	局入(光)	
IDF	IDF3-2-1	センター 3F 電算室3-2	1	100		メタル	局入(メタル)	

7件中 1 から 7 までを表示

<配線盤系統表示>

配線盤経路

経路
経路1

- 局入(メタル)
 - IDF3-1-1
 - IDF2-1-1

IDF1-1-1

配線盤情報

種別	IDF	メタル/光	メタル
名称	IDF1-1-1		
ロケーション	センター / 1F / 電算室1-1		
開始線番	1	終了線番	100
備考			

詳細情報

表示ページ	ページ1		
(1)項目1-1 (文字列)		(2)項目1-2 (整数)	
(3)項目1-3 (日付)	yyyy/MM/dd	(4)項目1-4 (実数)	0.0
(5)項目1-5 (選択肢)	選択してください	(6)項目1-6 (複数行)	

子配線盤一覧

記録盤種別	記録盤名称	ロケーション	メタル/光	開始線番	終了線番	備考
IDF	IDF2-1-1	センター / 2F / 電算室2-1	メタル	1	100	

1件中 1 から 1 までを表示

図 218 配線盤系統表示

検索結果一覧の表示対象の詳細アイコンをクリックすると、配線盤系統表示画面（図 218）が表示されます。当該配線盤までの経路情報や配線盤の情報（詳細情報含む）、子配線盤の一覧を確認できます。

10.2 案件情報を登録する

案件情報を登録、編集します。

メニューから、「回線管理」>「案件」を選択すると、下図のような画面が表示されます。

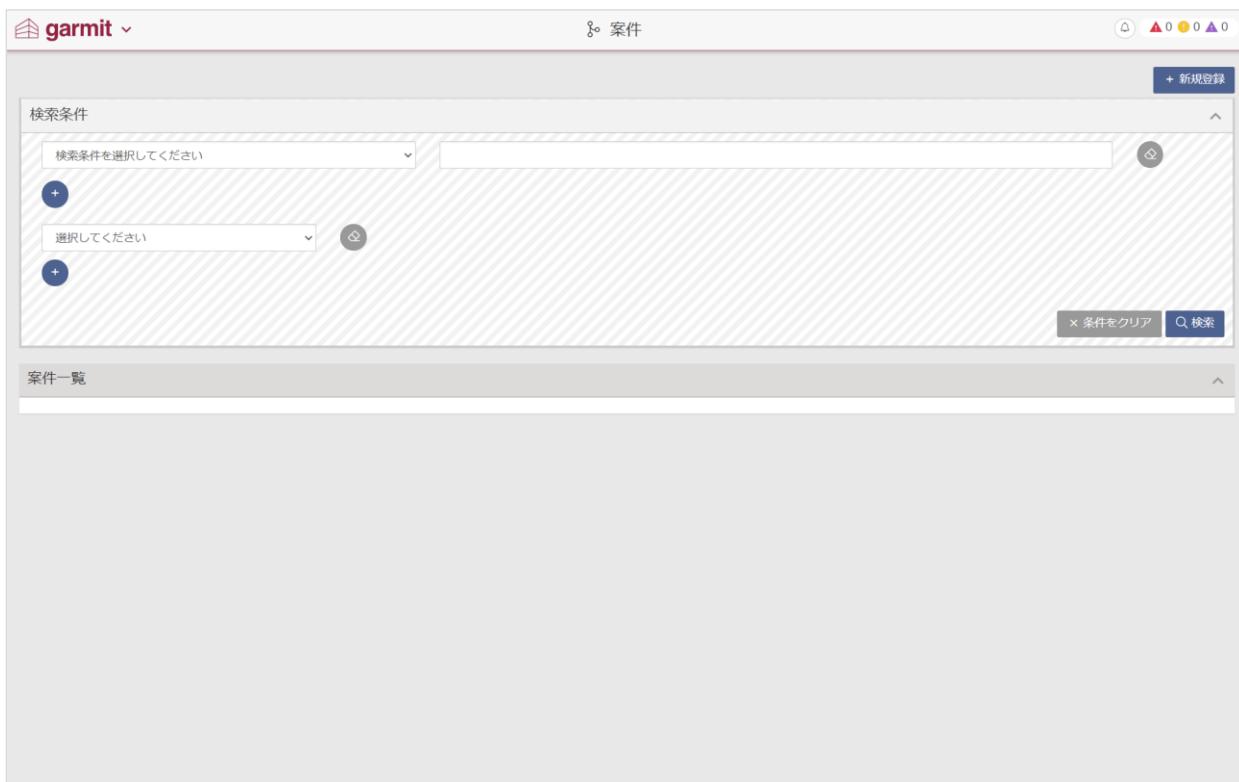


図 219 案件一覧

「新規登録」ボタンをクリックすると、案件編集（新規登録）画面（[図 219](#)）を表示します。

検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当する案件一覧を表示します。

検索条件を指定しない場合には、登録済みの全案件を一覧表示します。

10.2.1 案件を新規登録する

図 220 案件編集（新規登録）

案件一覧で、「新規登録」ボタンをクリックすると、案件編集（新規登録）画面（図 220）が表示されます。

各項目に登録する案件の情報を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

保存結果が表示され、「OK」をクリックすると、案件一覧画面が表示されます。

新規登録時は「未確定」の案件として保存されます。新規登録した案件を編集する際に、案件を確定保存することが出来ます。

案件編集（新規登録）画面で「キャンセル」ボタンをクリックすると、当該画面が消去され、案件一覧画面が表示されます。

項目名に「*」がついているものは、入力必須項目です。

(1)工事種別

工事種別（新設/変更/撤去）を選択します。

※新規登録時のみ編集可能です。

(2)案件概要

案件の概要となる情報（工事番号/受付年月日/ユーザー名/担当者/工事完了希望日/開通年月日/工事立会日/備考）を入力します。

(3) 詳細情報

案件情報の詳細を登録します。

表示ページの選択肢として表示されるのは、案件メンテナンスで登録したページです。

項目については、案件メンテナンスで「有効」と設定した項目が表示されます。

(4) 回線

案件の対象となる回線の情報を入力します。

まず、回線種別、通信速度、回線数を入力します。

次に、案件に紐づける回線情報を追加します。

「追加」ボタンをクリックすると回線詳細画面が表示されるので、各項目を入力して「適用」ボタンをクリックします。

※各項目の詳細については、「[16.3 回線詳細](#)」をご参照ください。

回線詳細

回線ID*	<input type="text"/> 必須項目です	ワイヤ	選択してください
回線名*	<input type="text"/> 必須項目です		
ロケーション*	<input type="text"/> 必須項目です		
線番*	局入線番 <input type="text"/> 配線盤は必須項目です		
	IDF線番 <input type="text"/> 配線盤は必須項目です		
備考*	<input type="text"/> 必須項目です		
<input type="button" value="○ 適用"/> <input type="button" value="× キャンセル"/>			

図 221 回線詳細

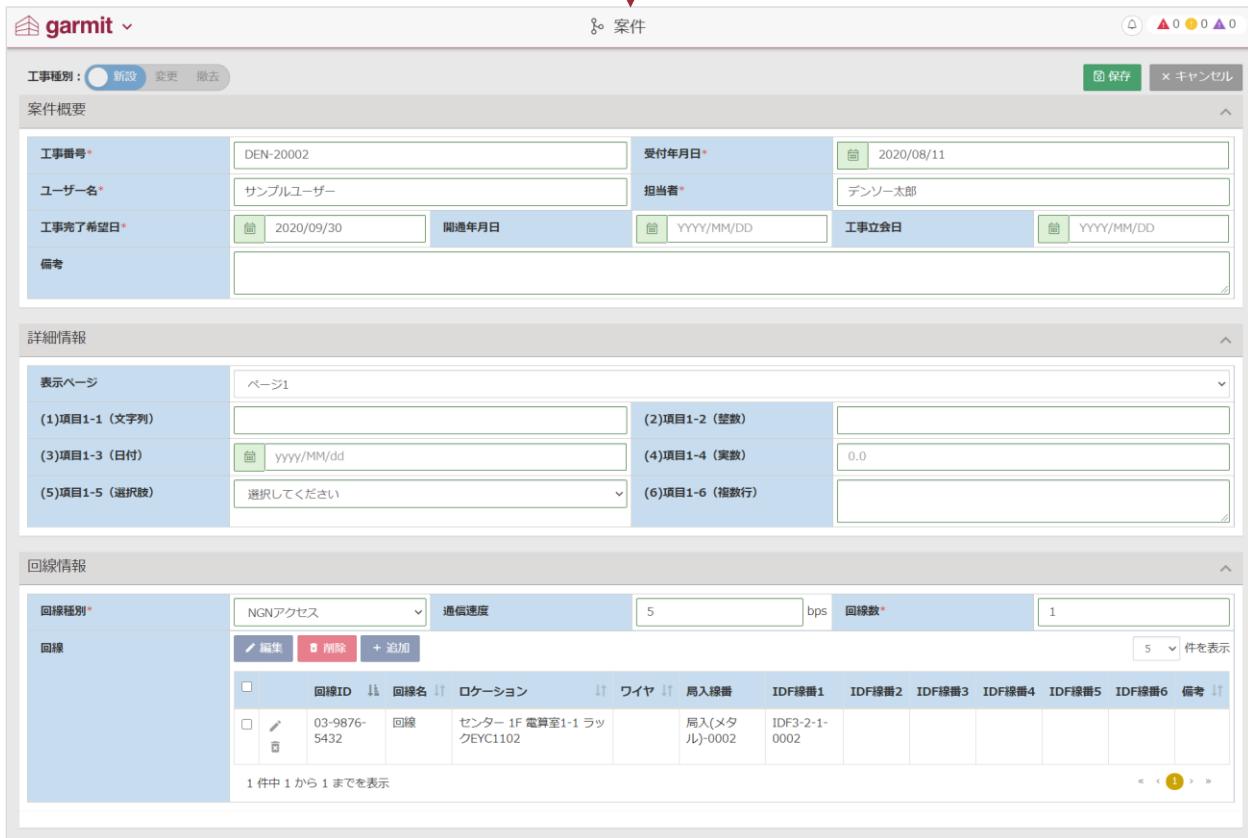
10.2.2 案件情報を編集する

<案件一覧>



The screenshot shows a table with columns: 案件ID, 工事種別, 工事番号, 受付年月日, ユーザー名, 担当者名, 工事完了希望日, 開通日, 廃止日, 工事立会日, 回線種別, 通信速度. There are three rows of data. The second row has an edit icon (pencil) next to the case ID. A red box highlights this edit icon. The bottom of the screen shows pagination: 3件中 1 から 3 までを表示.

<案件編集（編集）>



The screenshot shows the 'garmit' application interface for editing a case. It includes sections for Case Summary (案件概要), Detailed Information (詳細情報), and Connection Information (回線情報). In the Connection Information section, there is a dropdown for '回線種別' set to 'NGNアクセス', a speed input field '通信速度' with value '5 bps', and a connection count input field '回線数' with value '1'. Below these are tables for '回線' and '回線接続' (Line Connection) with one item listed.

図 222 案件編集（編集）（未確定）

検索結果一覧の編集対象の編集アイコンをクリックすると、案件編集（編集）画面（図 222）が表示されます。項目の編集については、新規登録と同様です。

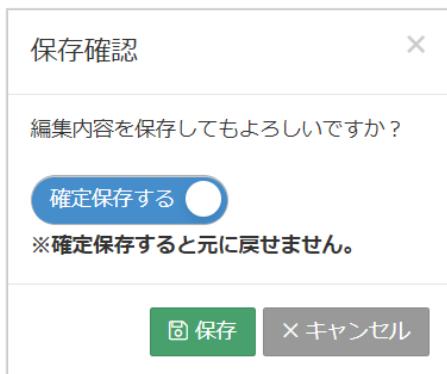


図 223 保存確認（編集）（未確定）

未確定の案件を編集して保存する際、「確定保存する」かどうか選択できます。

確定保存の際には、下記の項目が必須項目となり、未入力の場合は保存時にエラーとなります。

工事完了希望日/開通年月日（廃止年月日）/工事立会日/備考/回線一覧

確定保存すると、案件に紐づけた回線情報が登録されて回線一覧画面に反映されます。

確定保存した案件は、備考および詳細項目以外については編集不可となります。

工事番号*	DEN-20001	受付年月日*	2020/08/11
ユーザーネーム*	サンプルユーザー	担当者*	デンソー太郎
工事完了希望日*	2020/08/31	開通年月日	2020/09/01
備考			

表示ページ	ページ1		
(1)項目1-1（文字列）		(2)項目1-2（整数）	
(3)項目1-3（日付）	yyyy/MM/dd	(4)項目1-4（実数）	0.0
(5)項目1-5（選択肢）	選択してください	(6)項目1-6（複数行）	

回線種別*	光回線	通信速度	10 bps	回線数*	1																								
回線	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回線ID</th> <th>回線名</th> <th>ロケーション</th> <th>ワイヤ</th> <th>局入線番</th> <th>IDF線番1</th> <th>IDF線番2</th> <th>IDF線番3</th> <th>IDF線番4</th> <th>IDF線番5</th> <th>IDF線番6</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>03-1234-5678</td> <td>回線1</td> <td>センター 1F 電算室1-1 ラック EYC1101</td> <td></td> <td>局入(メタル)-0001</td> <td>IDF3-2-1-0001</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					回線ID	回線名	ロケーション	ワイヤ	局入線番	IDF線番1	IDF線番2	IDF線番3	IDF線番4	IDF線番5	IDF線番6	備考	03-1234-5678	回線1	センター 1F 電算室1-1 ラック EYC1101		局入(メタル)-0001	IDF3-2-1-0001						
回線ID	回線名	ロケーション	ワイヤ	局入線番	IDF線番1	IDF線番2	IDF線番3	IDF線番4	IDF線番5	IDF線番6	備考																		
03-1234-5678	回線1	センター 1F 電算室1-1 ラック EYC1101		局入(メタル)-0001	IDF3-2-1-0001																								
1件中 1 から 1 までを表示																													

図 224 案件編集（編集）（確定済）

10.3 回線情報を編集する

登録済みの回線情報を一覧で確認します。回線情報の編集や、回線に関するファイルのアップロードを行います。

メニューから、「回線管理」>「回線」を選択すると、下図のような画面が表示されます。

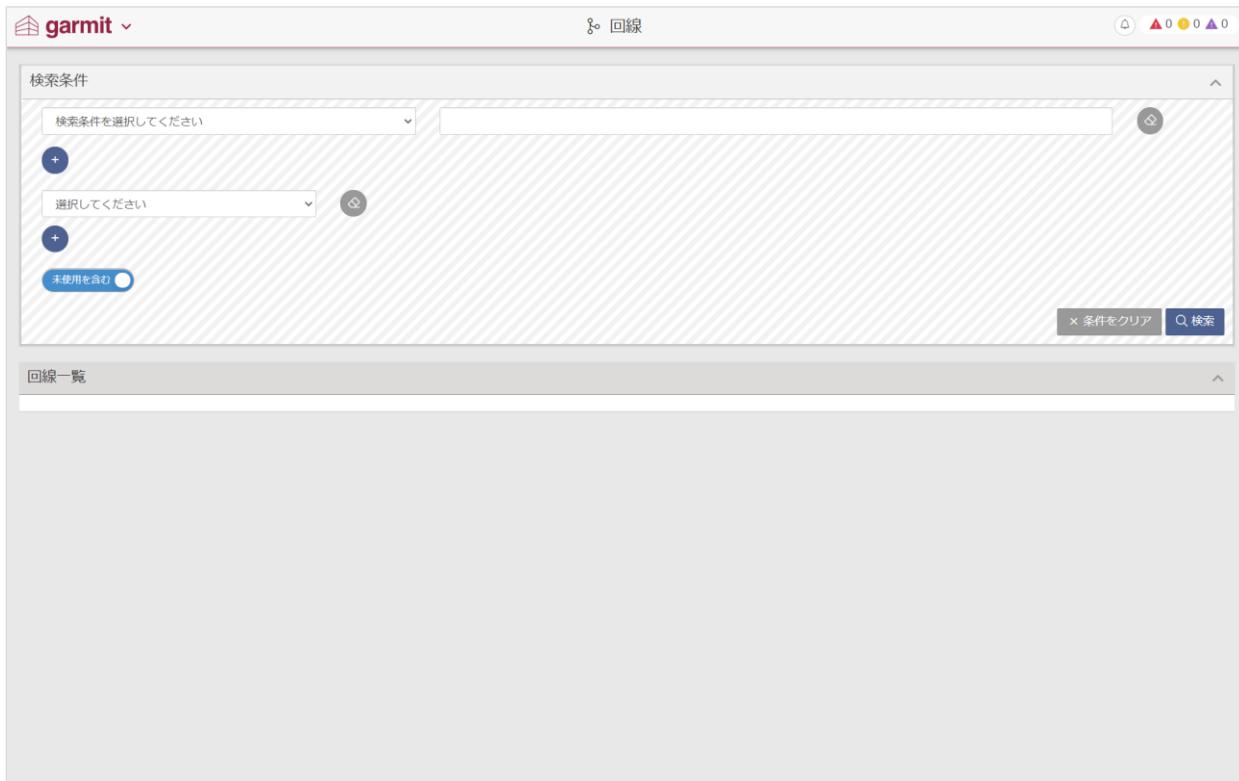


図 225 回線一覧

検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当する回線一覧を表示します。

検索条件を指定しない場合には、登録済みの回線を一覧表示します。

※線番（IDF/PT 線番）は配線盤画面で配線盤を登録時に自動で登録されます。また、案件画面で案件情報を確定保存すると回線情報が自動で登録されます。

10.3.1 回線情報を編集する

<回線一覧>

ファイル	IDF線番	局入線番	中継線番(1)	中継線番(2)	中継線番(3)	中継線番(4)	中継線番(5)	使用状態	回線ID	回線種別	ワ...
<input type="checkbox"/>	IDF3-2-1-0001	局入(メタル)-0001						使用中	03-1234-5678	光回線	
<input type="checkbox"/>	IDF3-1-1-0003	局入(メタル)-0003						使用中	XXXX-XXXX-XXXX	光回線	4
<input type="checkbox"/>	IDF3-1-1-0004	局入(メタル)-0004						使用中	XXXX-XXXX-XXXX	光回線	4
<input type="checkbox"/>	IDF3-1-1-0001							未使用			
<input type="checkbox"/>	IDF3-1-1-0002							未使用			
<input type="checkbox"/>	IDF3-1-1-0005							未使用			
<input type="checkbox"/>	IDF3-1-1-0011							未使用			
<input type="checkbox"/>	IDF3-1-1-0012							未使用			
<input type="checkbox"/>	IDF3-1-1-0013							未使用			
<input type="checkbox"/>	IDF3-1-1-0014							未使用			

490 件中 1 から 10 までを表示

<回線編集>

IDF線番	IDF3-2-1-0001		
局入線番	局入(メタル)-0001		
回線ID	03-1234-5678		
ワイヤ			
回線名	回線1		
ユーザー名	サンプルユーザー		
工事番号	DEN-20001	開通年月日	2020/09/01
備考			

詳細情報

表示ページ	ページ1		
(1)項目1-1 (文字列)			
(3)項目1-3 (日付)	yyyy/MM/dd		
(5)項目1-5 (選択肢)	選択してください		
(2)項目1-2 (整数)			
(4)項目1-4 (実数)	0.0		
(6)項目1-6 (複数行)			

図 226 回線編集

検索結果一覧の編集対象の編集アイコンをクリックすると、回線編集画面（図226）が表示されます。

各項目に登録する回線の情報を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

保存結果が表示され、「OK」をクリックすると、回線一覧画面が表示されます。

回線編集画面で「キャンセル」ボタンをクリックすると、当該画面が消去され、回線一覧画面が表示されます。

(1)IDF線番情報

案件情報の確定保存時に登録された情報が表示されます。

備考のみ編集が可能です。

(2)詳細情報

回線情報の詳細を登録します。

表示ページの選択肢として表示されるのは、回線メンテナンスで登録したページです。

項目については、回線メンテナンスで「有効」と設定した項目が表示されます。

10.3.2 ファイルをアップロードする

図 227 ファイル一覧表示

ファイル	IDF線番	局入線番	中継線番(1)	中継線番(2)	中継線番(3)	中継線番(4)	中継線番(5)	使用状態	回線ID	回線種別	ワ...
ファイル	IDF3-2-1-0001	局入(メタル)-0001						使用中	03-1234-5678	光回線	
ファイル	IDF3-1-1-0003	局入(メタル)-0003						使用中	XXXX-XXXX-XXXX	光回線	4...
ファイル	IDF3-1-1-0004	局入(メタル)-0004						使用中	XXXX-XXXX-XXXX	光回線	4...
ファイル	IDF3-1-1-0001							未使用			
ファイル	IDF3-1-1-0002							未使用			
ファイル	IDF3-1-1-0005							未使用			
ファイル	IDF3-1-1-0011							未使用			
ファイル	IDF3-1-1-0012							未使用			
ファイル	IDF3-1-1-0013							未使用			
ファイル	IDF3-1-1-0014							未使用			

490 件中 1 から 10 までを表示

次へ < 1 2 3 4 5 … 49 >

図 227 ファイル一覧表示

ファイル名
12Y-0001.pdf
12Y-0001-2.pdf

2 件中 1 から 2 までを表示

次へ < 1 2 3 4 5 … 49 >

閉じる

回線一覧で「ファイル」ボタンをクリックすると、その回線に登録されているファイルの一覧を確認できます。

ファイル一覧でファイルを選択して「ダウンロード」ボタンをクリックすると、選択したファイルがブラウザにダウンロードされます。

一覧の各行に表示されているダウンロードアイコンをクリックすると、新しいタブで PDF ファイルを開きます。

また、ファイルを選択して「削除」ボタンをクリックする、もしくは一覧の各行に表示されている削除アイコンをクリックすると、選択したファイルが削除され、一覧が表示更新されます。



図 228 ファイル選択

ファイル一覧で、「追加」ボタンをクリックすると、ファイル選択画面が表示されます。

「選択」ボタンをクリックして追加するファイルを選択し、「保存」ボタンをクリックするとファイル一覧に選択したファイルが追加されます。

また、アップロードしたいファイルを指定範囲内（点線内）にドラッグ & ドロップし、「保存」ボタンをクリックするとファイル一覧に選択したファイルが追加されます。

<回線一覧>

	ファイル	IDF線番	局入線番	中継線番(1)	中継線番(2)	中継線番(3)	中継線番(4)	中継線番(5)	使用状態	回線ID	回線種別	ワ...
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="button" value="編集"/> ファイル	IDF3-2-1-0001	局入(メタル)-0001						使用中	03-1234-5678	光回線	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="button" value="編集"/> ファイル	IDF3-1-1-0003	局入(メタル)-0003						使用中	XXXX-XXXX-XXXX	光回線	42
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="button" value="編集"/> ファイル	IDF3-1-1-0004	局入(メタル)-0004						使用中	XXXX-XXXX-XXXX	光回線	42
<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="編集"/> ファイル	IDF3-1-1-0001							未使用			
<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="編集"/> ファイル	IDF3-1-1-0002							未使用			
<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="編集"/> ファイル	IDF3-1-1-0005							未使用			
<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="編集"/> ファイル	IDF3-1-1-0011							未使用			
<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="編集"/> ファイル	IDF3-1-1-0012							未使用			
<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="編集"/> ファイル	IDF3-1-1-0013							未使用			
<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="編集"/> ファイル	IDF3-1-1-0014							未使用			

490 件中 1 から 10 までを表示

« < 1 2 3 4 5 … 49 > »

<ファイル選択>

ファイル
必須項目です

ここにファイルをドラッグ&ドロップしてください
または

同じファイル名がある場合は上書きする

図 229 複数回線へのファイルの一括アップロード

ファイルを複数の回線に一括でアップロードする場合は、回線一覧で対象の回線にチェックを入れ、「アップロード」ボタンをクリックします。

ファイル選択画面が表示されるので、「選択」ボタンをクリックして追加するファイルを選択する、もしくはアップロードしたいファイルを指定範囲内（点線内）にドラッグ&ドロップし、「保存」ボタンをクリックします。

画面詳細

1 ログイン

■機能

garmit DC のサイトにログインします。

ログインに指定回数失敗すると、利用停止となりますのでご注意ください。



図 230 ログイン画面

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ユーザーID	登録済みのユーザーIDを入力する		
2	パスワード	ユーザーのパスワードを入力する		
3	ログイン	ユーザーID、パスワードに該当するユーザー情報を検索してログイン可否を判定する		

■表示

ブラウザから、指定 URL（garmit DC サイト）にアクセスすると、当該画面（[図 230](#)）が表示されます。

■操作

1. ログイン

- (1) ユーザーID、パスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。
- (2) ログインに成功するとトップ画面に遷移します。失敗した場合は、エラーメッセージが表示されます。
※パスワードが有効期限切れの場合にはパスワード変更画面（[図 390](#)）が表示されるので、パスワードを変更して再度ログインして下さい。

2 ダッシュボード

■機能

各種お知らせ（システムメンテナンスなど）、メニューナビゲーション、発生中のアラームや操作履歴を表示します。

The screenshot displays the garmit Dashboard with several key components:

- Top Bar:** Includes the garmit logo, a search bar labeled "ダッシュボード", and a status indicator showing the last login time: "前回ログイン日時 : 2020/10/23 10:11".
- Announcements (お知らせ):** A red box highlights the "お知らせ" section containing messages about maintenance and safety periods.
- Schedule (本日のスケジュール):** A red box highlights the schedule section listing tasks like "工事立会日" and "完了希望日".
- Case Management (案件管理):** A red box highlights the case management section.
- Logs (インシデントログ and オペレーションログ):** Two red boxes highlight the incident log and operation log sections, which show a list of events and operations with details like date, location, and operator.
- External Links (外部リンク):** A red box highlights the external links section with links to the home page, manual, and Denso products.

Annotations with numbers ① through ⑪ point to specific UI elements: ① the status bar, ② the announcement message, ③ the "もっと見る" button, ④ the schedule entry, ⑤ the "もっと見る" button, ⑥ the case management tab, ⑦ the incident log header, ⑧ the incident log table, ⑨ the operation log header, ⑩ the operation log table, and ⑪ the external links section.

図 231 ダッシュボード画面

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	前回ログイン日時	前回ログインした日時を表示する		
2	お知らせ	掲載開始～終了日時に該当するお知らせを表示する	最大 5 件	
3	もっと見る	表示期間に該当する全てのお知らせをモーダルで表示する		
4	本日のスケジュール	ログイン当日にスケジュールされている予定を表示する	最大 5 件	
5	もっと見る	該当する全てのスケジュールをモーダルで表示する		
6	ナビゲーション	メニューに紐づけられたナビゲーションボタンを表示する	最大 5 件	
7	インシデントログ	最新のインシデントログ（発生中のみ）を表示する	最大 10 件	
8	インシデントログボタン	インシデントログ画面へ遷移する		
9	オペレーションログ	最新のオペレーションログを表示する	最大 10 件	
10	オペレーションログボタン	オペレーションログ画面へ遷移する		
11	外部リンク	紐づけた URL へ遷移する（別画面）	最大 5 件	

■表示

garmit にログインするもしくはメニューから「ダッシュボード」を選択すると、当該画面（図 231）が表示されます。

■操作

1. もっと見る（お知らせ）

お知らせが 6 件以上ある場合に表示され、掲載期間に該当するお知らせをモーダルで表示します。

2. もっと見る（本日のスケジュール）

本日のスケジュールが 6 件以上ある場合に表示され、該当するスケジュールをモーダルで表示します。

3. メニューへ遷移

ナビゲーションボタンをクリックすると、紐づけられたメニューのトップ画面に遷移します。

4. インシデントログへ遷移

インシデントログ画面へ遷移します。

5. オペレーションログへ遷移

オペレーションログ画面へ遷移します。

6. 外部リンクへ遷移

外部リンクボタンをクリックすると、紐づけられた URL に該当するページを表示します（別画面）。

3 フロアマップ

3.1 フロアマップ

■機能

フロアマップ上で計測ポイントのアラーム発生状況や温度分布などの監視をします。

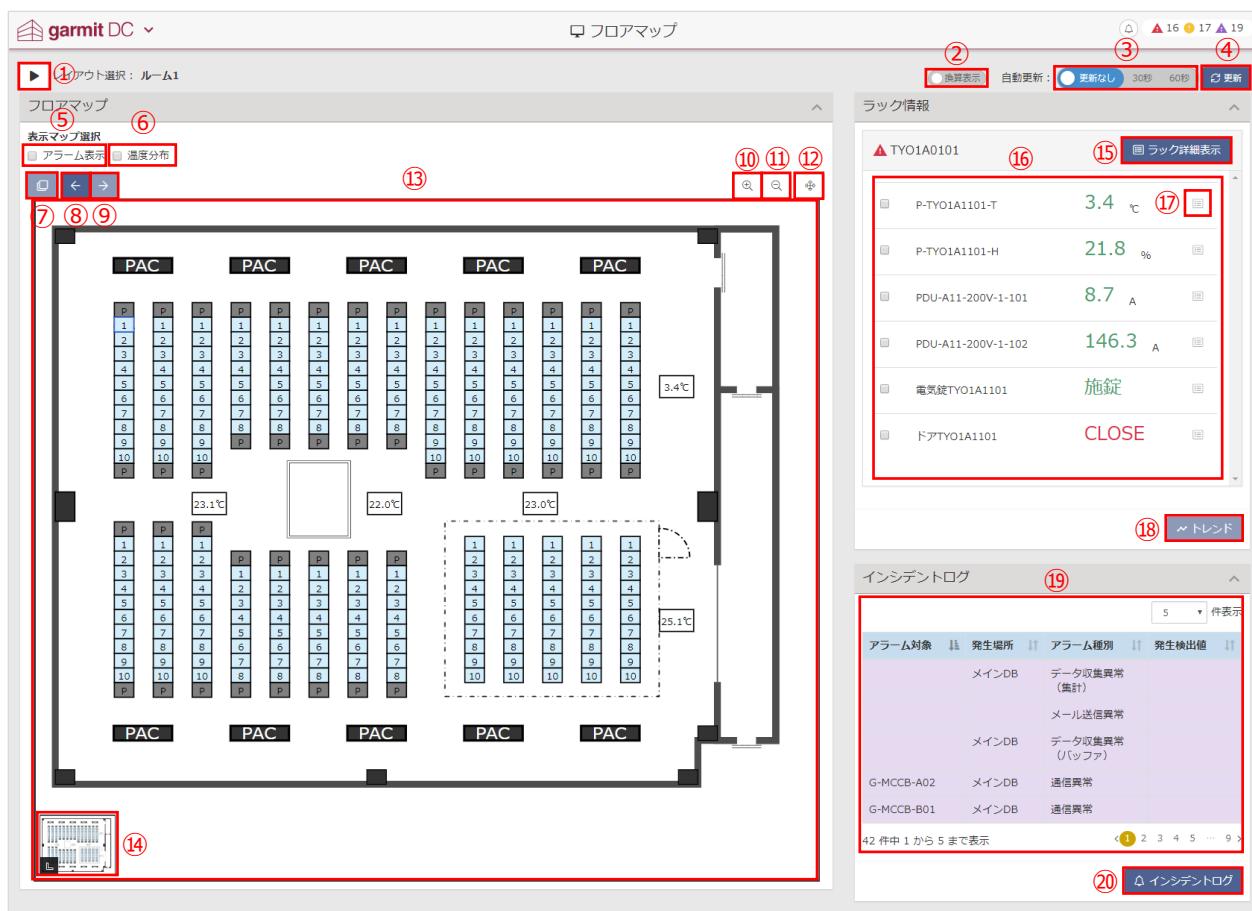


図 232 フロアマップ画面

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	レイアウト選択	レイアウトツリーを表示して表示するレイアウトを選択する		
2	換算表示	表示する計測値を換算表示にするかどうか切り替える		
3	自動更新	画面の自動更新周期を切り替える	更新なし/30 秒/60 秒	
4	手動更新	画面を手動で表示更新する		
5	アラーム表示	チェック状態のとき、フロアマップ上にアラームの発生状況（図 235）を表示する		
6	温度分布	チェック状態のとき、フロアマップ上に温度分布（図 236）を表示する		
7	リンク元レイアウトに戻る	リンク元のレイアウトに遷移する		
8	前のレイアウトに戻る	1つ前のレイアウトを表示する		
9	次のレイアウトに進む	次のレイアウトを表示する		
10	拡大	フロアマップを拡大する		
11	縮小	フロアマップを縮小する		
12	元のサイズに戻す	フロアマップを元のサイズに戻す		
13	フロアマップ	選択したレイアウトの俯瞰図を表示する		
14	表示領域	フロアマップで表示している領域を示す		
15	ラック詳細表示	ラック詳細（図 239）を表示する		
16	ポイント一覧	選択中のラックに紐づくポイント一覧を表示する		
17	ポイント詳細	ポイント詳細（図 240）を表示する		
18	トレンド	ポイント一覧で選択したポイントのトレンドグラフ（図 241）を表示する		
19	インシデントログ一覧	表示中のフロアマップに紐づく発生中のインシデントログを一覧表示する		
20	インシデントログ	インシデントログ画面（図 246）に遷移する		

■表示

メインメニューから、「モニタリング」>「フロアマップ」を選択すると、当該画面（図 232）を表示します。

■操作

1. レイアウト選択

- (1) 「レイアウト選択」ボタンをクリックして、レイアウト選択ツリーを表示します。
- (2) レイアウト選択ツリーから、表示対象レイアウトを選択すると、フロアマップに選択したレイアウトが表示されます。

また、選択したレイアウト名称が、フロアマップ上部に表示されます。

2. オブジェクト選択

フロアマップ上の矩形（以下、オブジェクト）をクリックまたはダブルクリックすると、オブジェクトが紐づいている情報が表示されます。

- ・ポイントが紐づいている場合...クリックするとポイント情報が表示されます



図 233 ポイント情報

- ・ラック情報が紐づいている場合...クリックするとラック情報が表示されます。



図 234 ラック情報

- ・電源系統が紐づいている場合...ダブルクリックすると電源系統図が表示されます（『[3.4 分電盤表示](#)』参照）。

3. アラーム表示

アラーム表示にチェックを入れると、フロアマップのオブジェクト上に、アラームの発生状況がバッジで表示されます（『[3.2 アラーム表示](#)』参照）。

4. 温度分布表示

温度分布にチェックを入れると、フロアマップ上に温度分布図が表示されます（『[3.3 温度分布](#)』参照）。

5. 電源系統表示

電源系統が紐づくオブジェクトをダブルクリックすると、電源系統図が表示されます（『[3.4 分電盤表示](#)』参照）。

6. リンク元レイアウトに戻る

フロアマップのオブジェクトをダブルクリックして、別のレイアウトや電源系統図に遷移した際、「リンク元レイアウトに戻る」ボタンをクリックすると、元のレイアウトに戻ります。

7. 前のレイアウトに戻る

「←」ボタンをクリックすると、現在のレイアウトを表示する前に表示していたレイアウトに戻ります。

8. 次のレイアウトに進む

「→」ボタンをクリックすると、現在のレイアウトに戻る前に表示していたレイアウトが表示されます。

9. フロアマップサイズ変更

下記ボタンをクリックすると、フロアマップの表示サイズを変更できます。

- ・「拡大」…フロアマップが拡大されます。
- ・「縮小」…フロアマップが縮小されます。
- ・「元のサイズに戻す」…フロアマップが初期表示時の倍率に戻ります。

また、マウスホイールでも拡大縮小ができます。

10. ラック詳細表示

「ラック詳細表示」ボタンをクリックすると、ラックの詳細情報が表示されます（『[3.5 ラック詳細](#)』参照）。

11. ポイント詳細表示

「ポイント詳細」アイコンをクリックすると、ポイントの詳細情報が表示されます（『[3.6 ポイント詳細](#)』参照）。

12. レンドグラフ表示

「レンド」アイコンをクリックすると、簡易レンドグラフが表示されます（『[3.7 簡易レンドグラフ](#)』参照）。

13. インシデントログへの遷移

「インシデントログ」ボタンをクリックすると、インシデントログ画面へ遷移します（『[6.1 インシデントログ](#)』参照）。

14. 換算表示

「換算表示」スイッチを ON にすると、計測値が換算値で表示されます。

15. 画面表示更新（自動/手動）

自動更新周期を「30 秒」または「60 秒」に設定すると、自動で画面の表示が更新されます。

「手動更新」ボタンをクリックすると、クリックした時点で画面の表示が更新されます。

3.2 アラーム表示

■機能

フロアマップ上にアラームの発生状況を表示します。

マップのオブジェクトに紐づくポイント、ラック、電源系統でアラームが発生している場合には、バッジを表示します。

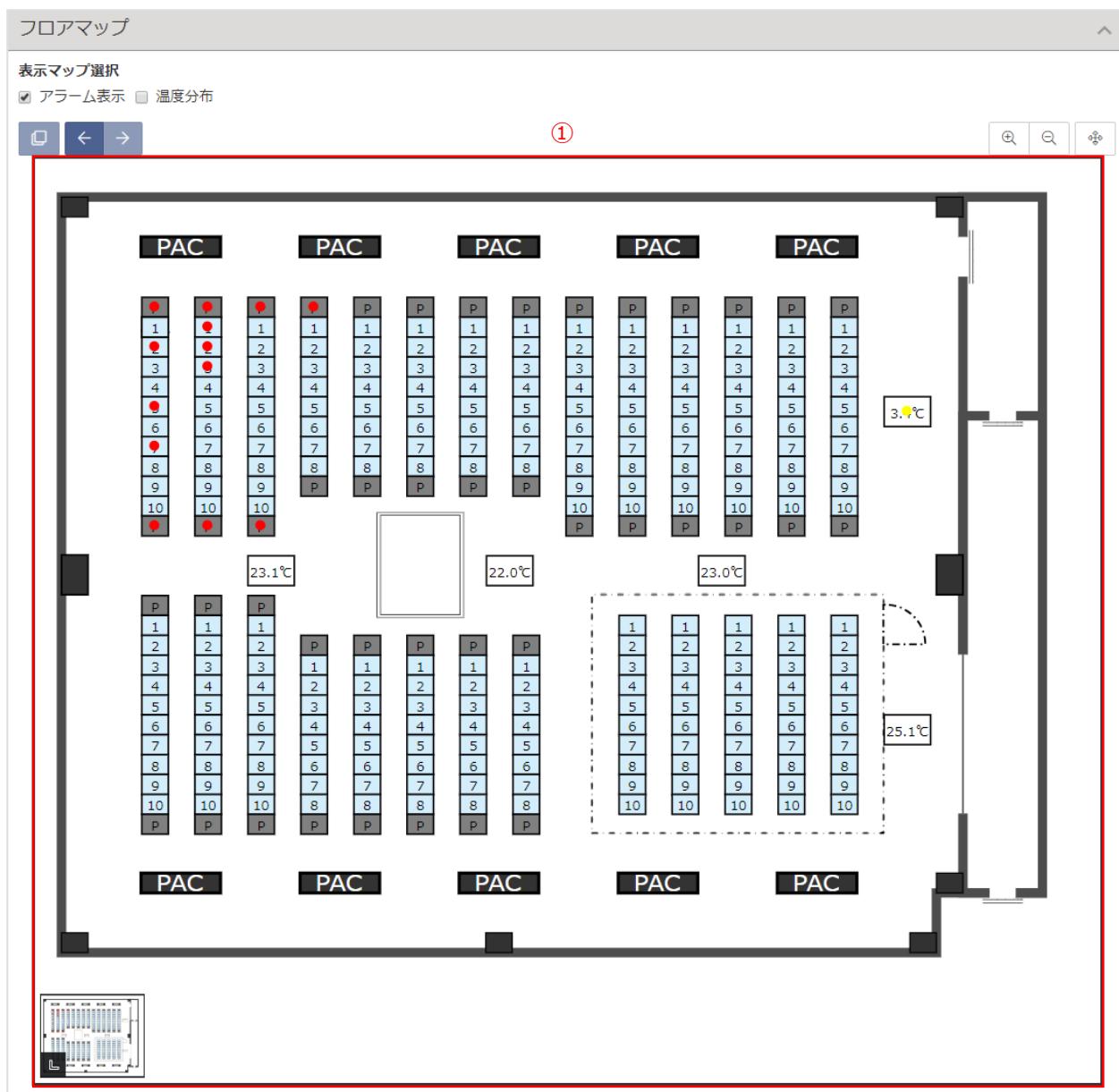


図 235 フロアマップ（アラーム表示）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	フロアマップ（アラーム表示）	表示しているオブジェクトに紐づいたポイント、ラック、電源系統でエラーが発生している場合には当該オブジェクト上にバッジ表示する		

■表示

フロアマップ画面の表示マップ選択で「アラーム表示」にチェックを入れると、当該画面を表示します。

表示内容の詳細は、以下の通りです。

・計測ポイントの閾値超過：赤（異常）/黄（注意）

　＜条件＞各ポイントで設定した閾値（異常/注意）を超過する

・日付超過：赤（異常）/黄（注意）

　＜条件＞設定期日を過ぎている場合：異常/設定期日までの指定日数を過ぎている場合：注意

・耐荷重超過：赤（異常）/黄（注意）

　＜条件＞耐荷重を超過した場合：異常/予め設定した耐荷重の閾値（割合）を超過した場合：注意

■操作

1. アラーム表示の表示/非表示

「アラーム表示」のチェックを外すと、アラーム表示が非表示になります。

再度、「アラーム表示」チェックを入れると、アラーム状況が表示されます。

3.3 溫度分布

■機能

フロアマップの温度分布図を表示します。

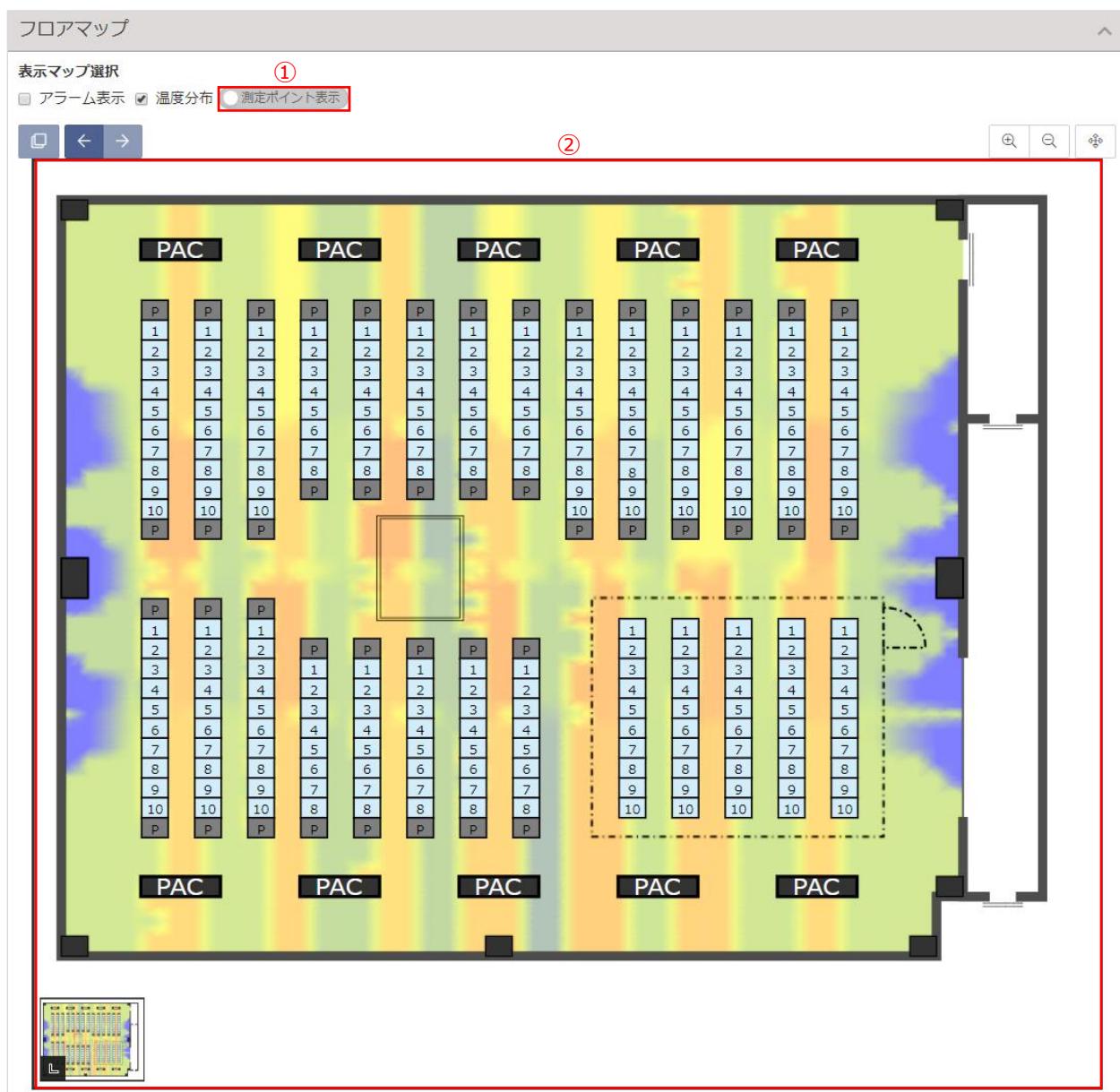


図 236 フロアマップ（温度分布）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	測定ポイント表示	ON の場合はフロアマップ（温度分布）に測定ポイントを表示する		
2	フロアマップ（温度分布）	計測値をもとに温度分布図を描画する 温度分布の表示色は、青→緑→黄→赤（温度：低→高）の順とする		

■表示

フロアマップ画面の表示マップ選択で「温度分布」にチェックを入れると、当該画面を表示します。

■操作

1. 測定ポイントの表示/非表示切替

「測定ポイント表示」をクリックすると、測定ポイントの表示/非表示が切り替わります。

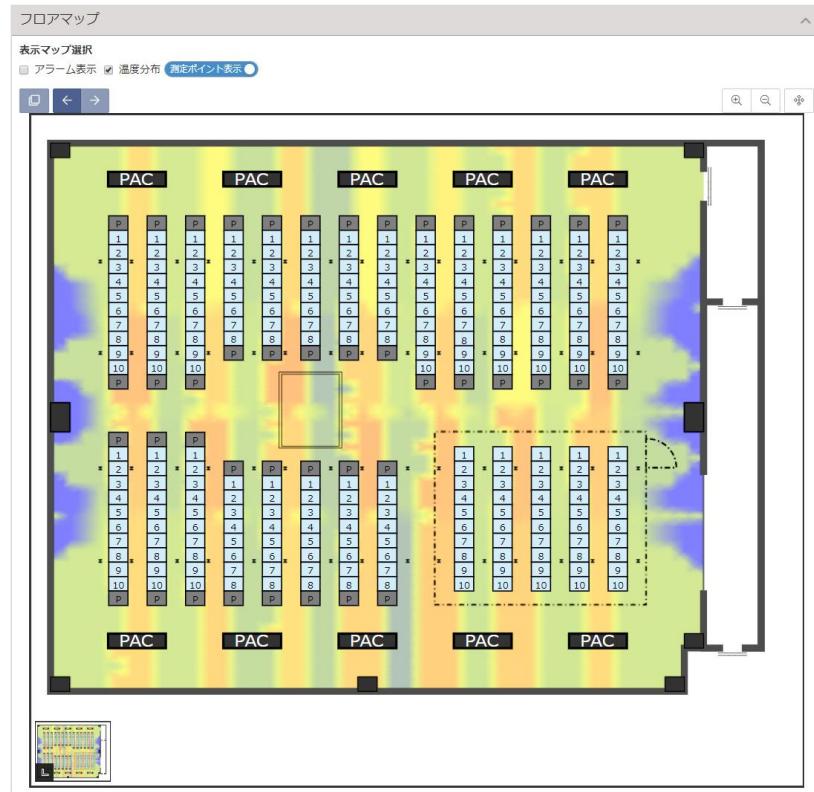


図 237 測定ポイント表示

2. 温度分布の非表示

温度分布のチェックを外すと、温度分布が非表示になります。

3.4 分電盤表示

■機能

電源系統の分電盤図と電源系統に紐づくポイントの情報を表示します。

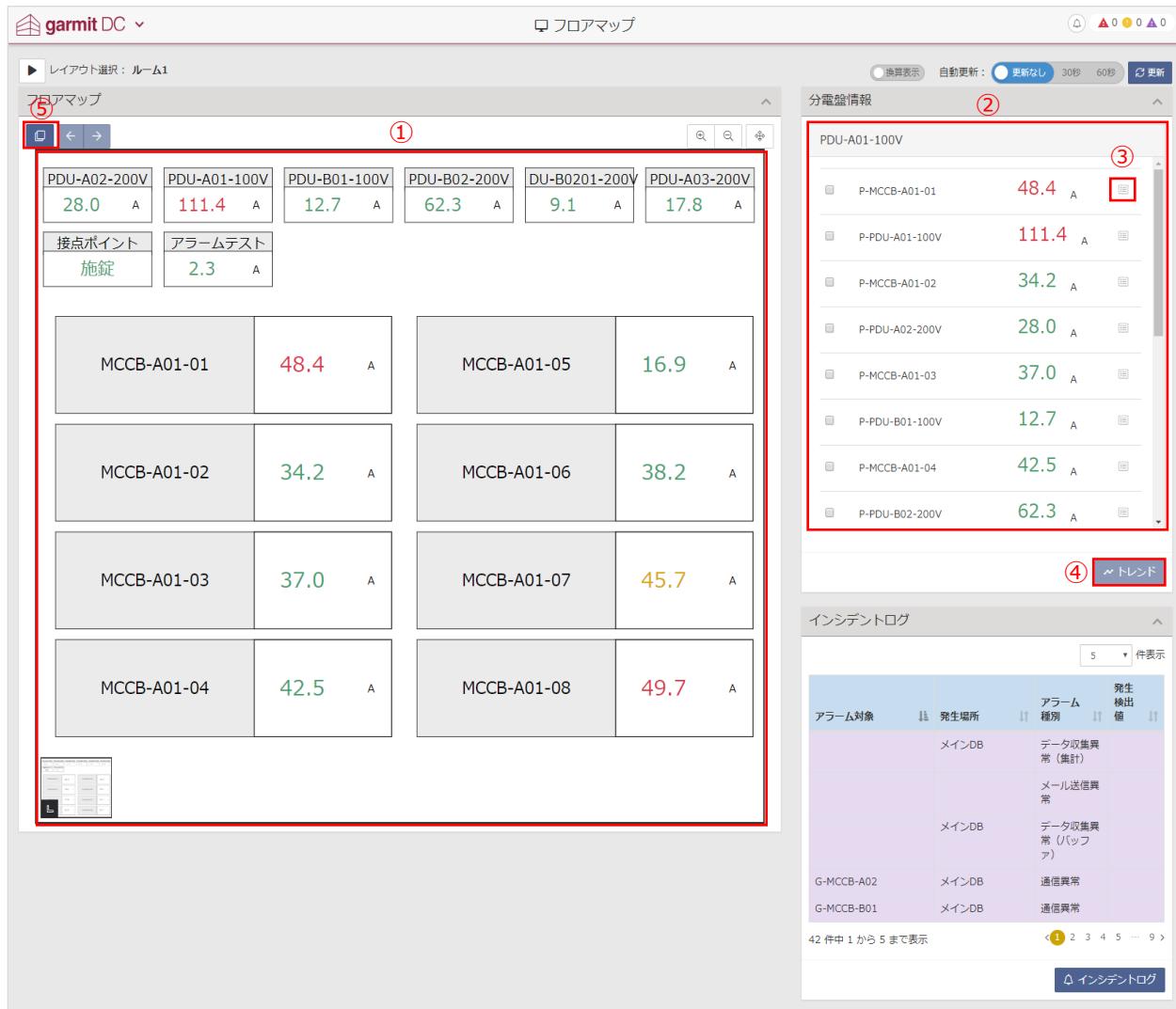


図 238 フロアマップ（分電盤表示）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	分電盤図	分電盤図を表示する 上部に電源系統計測ポイントを表示し、下部に分岐電源を表示する		
2	分電盤情報	表示中の電源系統に紐づくポイントを一覧で表示する		
3	ポイント詳細	ポイント詳細を表示する		
4	トレンド	分電盤情報で選択したポイントのトレンドグラフを表示する		
5	リンク元レイアウトに戻る	分電盤情報を表示する元のレイアウトを表示する		

■表示

フロアマップで電源系統が紐づくオブジェクトをダブルクリックすると、当該画面（[図 238](#)）を表示します。

■操作

1. ポイント詳細表示

分電盤情報の「ポイント詳細」アイコンをクリックすると、ポイント詳細画面（[図 240](#)）が表示されます。

2. トレンドグラフ表示

(1) 分電盤情報でトレンドグラフを表示したいポイントにチェックを入れます。

(2) 「トレンド」ボタンをクリックすると、簡易トレンドグラフ画面（[図 241](#)）が表示されます。

3. リンク元レイアウトに戻る

分電盤図の左上の「リンク元レイアウトに戻る」ボタンをクリックすると、分電盤図を表示する前に表示していたレイアウトに戻ります。

3.5 ラック詳細

■機能

ラックの詳細を表示します。

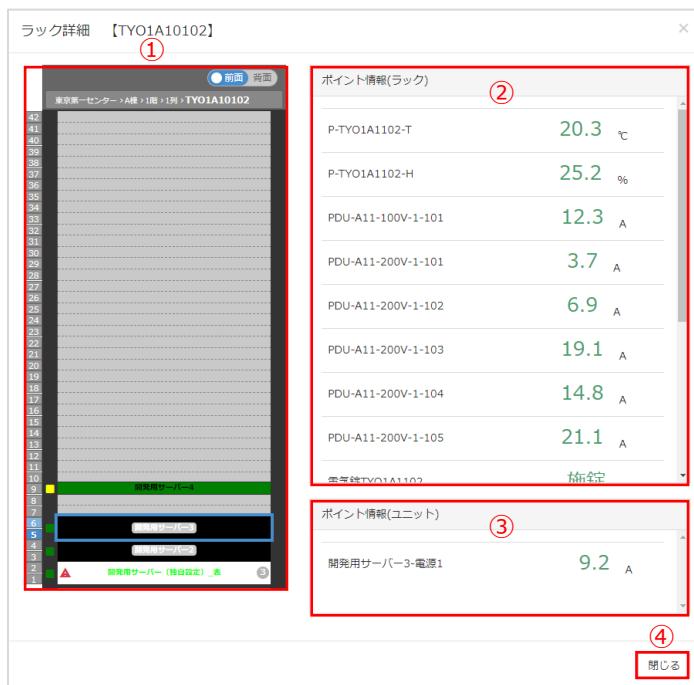


図 239 ラック詳細

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ラック搭載図	ラックの搭載図を表示する		
2	ポイント情報 (ラック)	ラックに紐づくポイントを一覧表示する		
3	ポイント情報 (ユニット)	ラック搭載図で選択中のユニットに紐づくポイントを一覧表示する		
4	閉じる	当該画面を消去する		

■表示

フロアマップ画面で「ラック詳細」ボタンをクリックすると、当該画面（[図 239](#)）を表示します。

■操作

1. ユニット選択

ラック図でユニットを選択すると、「ポイント情報（ユニット）」にユニットに紐づくポイントの一覧が表示されます。

2. 閉じる

「閉じる」ボタンをクリックすると、当該画面を消去します。

3.6 ポイント詳細

■機能

ポイントの詳細情報を表示します。また、アラーム設定の変更が可能です。



図 240 ポイント詳細

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ロケーション	ポイントが紐づくロケーションを表示する		
2	計測値	ポイントの現在の計測値を表示する		
3	バーグラフ	閾値に対して計測値がどのくらいの値であるのかをバーグラフで表示する		
4	更新	表示中の閾値、不感時間の値を表示更新する		
5	編集	アラーム設定を編集可にする		
6	閉じる	当該画面を消去する		
7	閾値	アラームの閾値を入力する	-999999～999999	*上限異常>上限注意>下限注意>下限異常となるように入力すること
8	不感時間	アラームの不感時間を入力する	0～2147483647	*必須項目
9	保存	編集内容を保存する		
10	キャンセル	編集内容を破棄する		

■表示

フロアマップ画面で「ポイント詳細」アイコンをクリックすると、当該画面（図 240）を表示します。

■操作

1. アラーム設定編集

- (1) 「編集」ボタンをクリックして、アラーム設定を編集可能にします。
- (2) 閾値、不感時間を編集します。
- (3) 「保存」ボタンをクリックします。

2. 更新

「更新」ボタンをクリックすると、アラーム設定の最新値を取得します。

3. 閉じる

「閉じる」ボタンをクリックすると、当該画面を消去します。

3.7 簡易トレンドグラフ

■機能

簡易トレンドグラフを表示します。



図 241 簡易トレンドグラフ

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	表示期間	グラフの表示期間を指定する		※自動更新なしの場合のみ指定可
2	表示	指定した表示期間のグラフを表示する		※自動更新時には操作不可
3	自動更新	自動更新周期を設定する 更新なし/30秒/60秒 初期表示は「更新なし」		
4	手動更新	手動でグラフ表示更新する		
5	グラフ（拡大）	グラフ（全体）で選択した部分のグラフを拡大表示する 初期表示時はグラフ（全体）と同じグラフを表示する		
6	グラフ（全体）	表示対象ポイントの期間指定した全体グラフを表示する		
7	閾値表示	閾値の表示/非表示を切り替える		
8	凡例	グラフの凡例を表示する クリックすると系列の表示/非表示を切り替える		
9	グラフ表示領域移動（グラフ全領域前）	グラフエリアに描画するグラフをグラフ表示期間分前に移動する		※自動更新時のみ表示
10	グラフ表示領域移動（グラフ一部領域前）	グラフエリアに描画するグラフを1目盛分前に移動する		※自動更新時のみ表示
11	グラフ表示領域移動（グラフ一部領域後）	グラフエリアに描画するグラフを1目盛分後に移動する		※自動更新時のみ表示
12	グラフ表示領域移動（グラフ全領域後）	グラフエリアに描画するグラフをグラフ表示期間分後に移動する		※自動更新時のみ表示
13	閉じる	当該画面を消去する		
14	表示期間	グラフの表示期間を選択する 10分/30分/1時間/3時間		※自動更新時に指定可

■表示

フロアマップ画面で任意のポイントにチェックを入れ、「トレンド」ボタンをクリックすると当該画面（図241）を表示します。

■操作

1. 表示範囲の指定

- (1) グラフの表示範囲を指定します。
- (2) 「表示」ボタンをクリックすると、指定した表示範囲のグラフが表示されます。

2. 表示範囲の移動

下記のボタンをクリックすると、グラフの表示範囲が移動します。

- ・「<<」...グラフエリアに描画するグラフをグラフ表示期間分前に移動
- ・「<」...グラフエリアに描画するグラフを 1 目盛分前に移動
- ・「>」...グラフエリアに描画するグラフを 1 目盛分後に移動
- ・「>>」...グラフエリアに描画するグラフをグラフ表示期間分後に移動

3. 閾値表示/非表示切替

「閾値表示」スイッチをクリックすると、閾値の表示/非表示を切り替えます。

4. グラフポイント表示切替

凡例でポイントをクリックすると、そのポイントのグラフ表示/非表示を切り替えます。

5. グラフの拡大表示

グラフ（全体）で拡大表示したい範囲をドラッグで選択すると、グラフ（拡大）に選択した範囲が表示されます。

グラフ（全体）でダブルクリックすると、拡大表示が解除されて全範囲が表示されます。

6. 画面表示更新

自動更新周期を「30 秒」または「60 秒」に設定すると、設定した周期で最新のトレンドグラフが描画されます。

「手動更新」ボタンをクリックすると、クリックした時点での最新のトレンドグラフが描画されます。

7. 閉じる

「閉じる」ボタンをクリックすると、当該画面を消去します。

4 リアルタイムモニタ

■機能

計測ポイントのリアルタイム監視をします。

The screenshot displays the garmit DC Real-time Monitor interface. At the top, there is a search bar with a location dropdown (①) set to '東京データセンター / A棟 / 1F / サーバールームA / 01列 / TA1A0101' (②), a search button (③), and a clear button (④). To the right are navigation icons (⑤, ⑥) and a status bar (⑦, ⑧) showing '条件をクリア' and '検索'.

Below the search bar is a header with 'モニタリングデータ' (⑨), a refresh button (⑩), and an auto-refresh dropdown (⑪) set to '更新なし' (No Refresh). The main area is divided into two sections:

- Analogue Data (アナログデータ):** This section contains a grid of 20 monitoring points. Each point is represented by a card with a lightbulb icon and a value. For example, PDF-A-01-001 shows 17.6 A (前回: 17.6A), PDF-B-01-003 shows 28.5 A (前回: 28.5A), and TA1A-TH01 shows 17.3 A (前回: 17.3A). The cards have a green header for most values and a yellow header for PDF-B-01-003. Buttons for 'データ増刷' (⑫) and 'アラーム種別' (⑬) are located above the grid, along with a sorting dropdown (⑭). A page navigation bar (⑯) is at the bottom of the grid.
- Point Data (接点データ):** This section shows six contact status points. Each point has a lightbulb icon and a status indicator (e.g., 正常, 異常, CLOSE, UNLOCK). The first point, LED-1, is labeled '正常' (Normal). The second point, LED-2, is labeled '異常' (Abnormal). The third point, TA1A0101_ドア状態, is labeled 'CLOSE'. The fourth point, TA1A0101_電気錠, is labeled 'UNLOCK'. The fifth point, TA1A0102_電気錠, is labeled 'LOCK'. A page navigation bar (⑯) is at the bottom of this section.

図 242 リアルタイムモニタ

・正常値



・注意閾値超過



・異常閾値超過



・換算値表示



・詳細表示

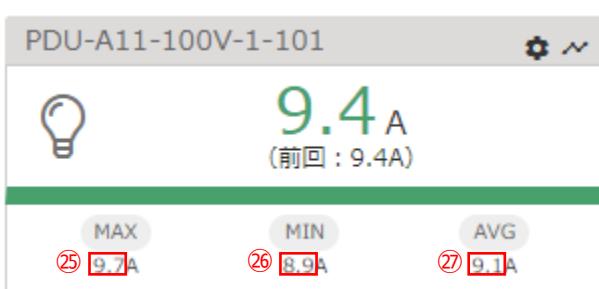


図 243 計測値表示

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション/所属/タグ/電源系統/ハッシュタグ	※電源系統は電源系統メンテナンスの権限が読み取り専用以上で指定可能
2	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
3	条件削除	検索条件を削除する		
4	条件追加	検索条件を追加表示する		
5	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
6	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
7	換算表示	各ポイントに登録した換算式で演算した結果を表示する		
8	簡易/詳細	簡易表示および詳細表示を切り替える		
9	自動更新	画面の自動更新周期を切り替える	更新なし/30秒/60秒	
10	更新	画面を手動で表示更新する		
11	並び替え	データを並び替えて表示する ・ポイント名称 ・値		
12	絞り込み（データ種別）	表示中のデータをデータ種別で絞り込んで表示する		
13	絞り込み（アラーム種別）	表示中のデータをアラーム種別で絞り込んで表示する		
14	データ一覧	検索条件に該当するデータを一覧表示する アナログデータと接点データは別で表示する		
15	詳細	ポイント詳細画面を表示する		
16	トレンドグラフ	簡易トレンドグラフ画面を表示する		
17	表示件数	1ページに表示する件数を選択する	20/50/100/200/500	
18	データ種別アイコン	データ種別に応じたアイコンを表示する		
19	測定値	取得した測定値を表示する		
20	単位	ポイント毎に登録した単位を表示する		
21	前回値	前回の測定値を表示する		
22	アラーム種別アイコン	アラーム発生中の場合は、異常/注意のアイコンを表示する		
23	換算値	ポイント毎に登録した換算式で演算した値を表示する		
24	換算値単位	ポイント毎に登録した換算値単位を表示する		
25	最大値	当日の最大値を表示する		
26	最小値	当日の最小値を表示する		
27	平均値	当日の平均値を表示する		

■表示

メインメニューから、「モニタリング」>「リアルタイムモニタ」を選択すると、当該画面（図242）を表示されます。

■操作

1. 検索

検索条件を指定して、「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当するポイントの測定値が一覧で表示されます。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. 換算表示

換算表示スイッチを ON にすると、ポイント毎に登録した換算式の演算結果、換算値単位で測定値が表示されます。

3. 簡易/詳細切替

簡易/詳細切替スイッチをクリックすると、測定値の簡易表示と詳細表示が切り替えられます。

詳細表示では、表示当日の最大値、最小値、平均値が表示されます。

4. 並び替え

表示中の測定値一覧をポイント名称または測定値順に並び替えます。ボタンをクリックすることごとに昇順/降順を切り替えます。

5. 計測値絞り込み

当該画面にて、データ種別、インシデント状態を指定することで表示している測定値一覧をさらに絞り込んで表示します。

6. 画面表示更新

自動更新周期を「30 秒」または「60 秒」に設定すると、自動で画面の表示が更新されます。

「手動更新」ボタンをクリックすると、クリックした時点で画面の表示が更新されます。

7. ポイント詳細表示

「詳細」アイコンをクリックすると、ポイント詳細画面（[図 240](#)）が表示されます。

8. トレンドグラフ表示

「トレンドグラフ」アイコンをクリックすると、簡易トレンドグラフ画面（[図 241](#)）が表示されます。

5 トレンドグラフ

5.1 トレンドグラフ

■機能

計測データを時系列に沿ったトレンドグラフで表示します。

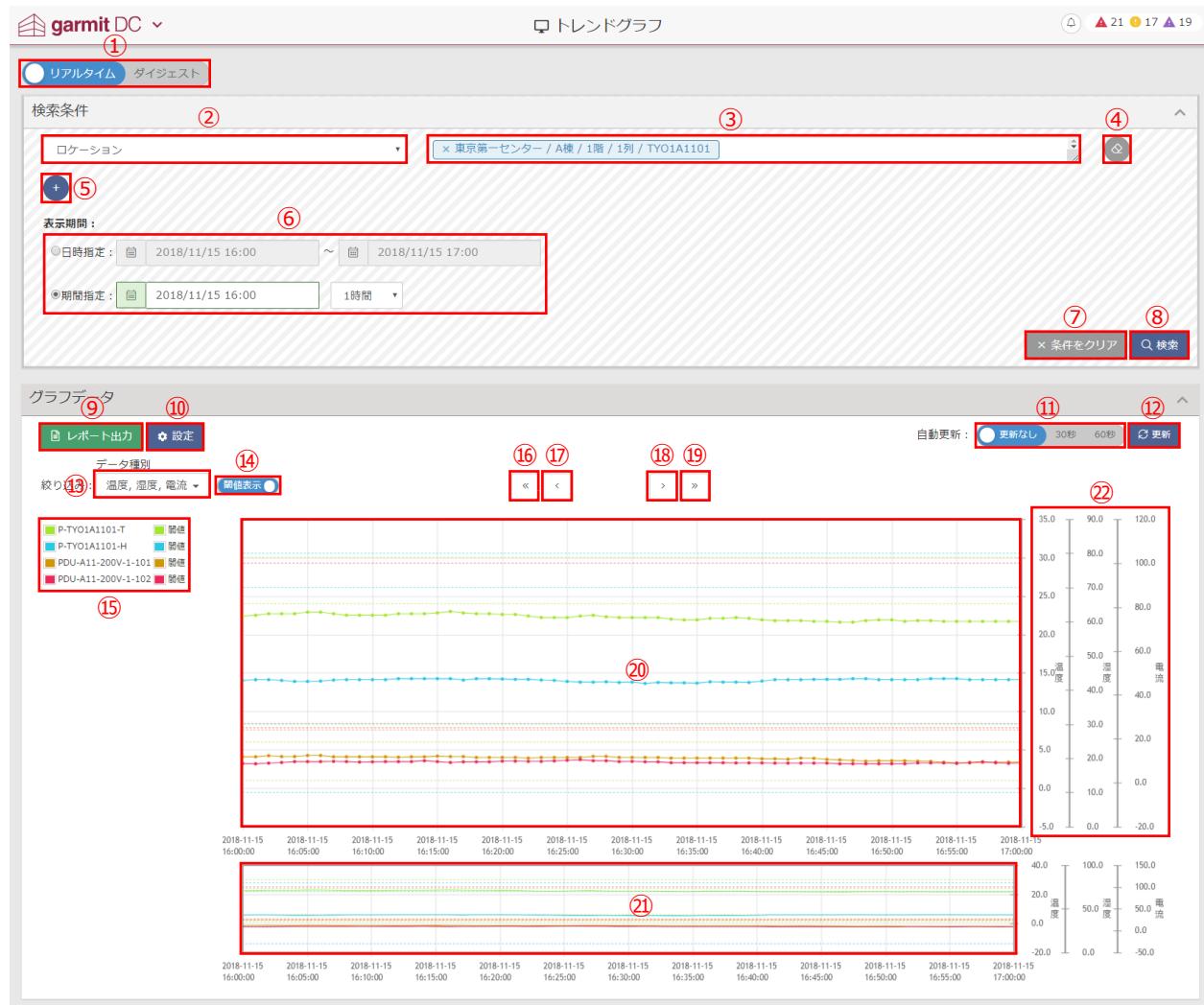


図 244 トレンドグラフ

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	リアルタイム/ダイジェスト	トレンドグラフ表示対象とするデータを選択する		
2	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション/所属/タグ/電源系統/ハッシュタグ	※電源系統は電源系統メンテナンスの権限が読み取り専用以上で指定可能
3	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
4	条件削除	検索条件を削除する		
5	条件追加	検索条件を追加表示する		
6	グラフ表示期間	グラフ表示対象の日時を指定する		※自動更新なしの場合のみ
7	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
8	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
9	レポート出力	グラフエリアに表示中の計測データを CSV ファイルに出力する		
10	設定	グラフ設定画面を表示する		
11	自動更新	自動更新周期を設定する 更新なし/30 秒/60 秒 初期表示は更新なし		
12	手動更新	手動でグラフ表示更新する		
13	データ種別	グラフ表示するデータ種別を選択する		※複数選択可能
14	閾値表示	閾値の表示/非表示を切り替える		
15	凡例	グラフの凡例を表示する クリックすると系列の表示/非表示を切り替える		
16	グラフ表示領域移動（グラフ全領域前）	グラフエリアに描画するグラフをグラフ表示期間分前に移動する		
17	グラフ表示領域移動（グラフ一部領域前）	グラフエリアに描画するグラフを 1 目盛分前に移動する		
18	グラフ表示領域移動（グラフ一部領域後）	グラフエリアに描画するグラフを 1 目盛分後に移動する		
19	グラフ表示領域移動（グラフ全領域後）	グラフエリアに描画するグラフをグラフ表示期間分後に移動する		
20	グラフ（拡大）	グラフ（全体）で選択した部分のグラフを拡大表示する		
21	グラフ（全体）	表示対象ポイントの期間指定した全体グラフを表示する		
22	グラフスケール	グラフを表示する際のスケールを表示する		

■表示

メインメニューから、「モニタリング」>「トレンドグラフ」を選択すると、当該画面（図 244）を表示します。

■操作

1. トレンドグラフ表示

検索条件を指定して、「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当するポイントのグラフが表示されます。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. 表示範囲の移動

下記のボタンをクリックすると、グラフの表示範囲が移動します。

- ・「<<」...グラフエリアに描画するグラフをグラフ表示期間分前に移動
- ・「<」...グラフエリアに描画するグラフを 1 目盛分前に移動
- ・「>」...グラフエリアに描画するグラフを 1 目盛分後に移動
- ・「>>」...グラフエリアに描画するグラフをグラフ表示期間分後に移動

3. データ種別による絞り込み表示

「データ種別」で表示するデータ種別にチェックを入れて選択すると、チェックを入れたデータ種別のポイントのみに絞り込んで表示されます。

4. 閾値表示/非表示切替

「閾値表示」スイッチをクリックすると、閾値の表示/非表示を切り替えます。

5. グラフポイント表示切替

凡例でポイントをクリックすると、そのポイントのグラフ表示/非表示を切り替えます。

6. グラフの拡大表示

グラフ（全体）で拡大表示したい範囲をドラッグで選択すると、グラフ（拡大）に選択した範囲が表示されます。

グラフ（全体）でダブルクリックすると、拡大表示が解除されて全範囲が表示されます。

拡大表示時に、グラフ（全体）をダブルクリックすると、グラフ（拡大）のグラフ表示が元に戻ります。

7. 画面表示更新

自動更新周期を「30 秒」または「60 秒」に設定すると、設定した周期で最新のトレンドグラフが描画されます。

「手動更新」ボタンをクリックすると、クリックした時点での最新のトレンドグラフが描画されます。

8. レポート出力

「レポート出力」ボタンをクリックすると、グラフに表示されているポイントについて、表示期間のデータを CSV ファイルで出力されます。

データを絞り込んでいる場合は、絞り込んだ状態のデータが出力されます。

5.2 グラフ設定

■機能

トレンドグラフの設定を行います。



図 245 グラフ設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	Y 軸モード	軸のスケールを自動/手動で切り替える		
2	データ種別	データ種別を表示する		
3	最小値	軸の最小値を入力する	-9999～9999	
4	最大値	軸の最大値を入力する	-9999～9999	
5	目盛間隔	軸の目盛間隔を入力する	0.1～9999	
6	ポイント	ポイント名称を表示する		
7	色	ポイントのグラフ色を選択する		
8	保存	グラフ設定を保存して当該画面を消去する		
9	キャンセル	グラフ設定を破棄して当該画面を消去する		

■表示

トレンドグラフ画面で「設定」ボタンをクリックすると当該画面（図 245）を表示します。

■操作

1. Y 軸モード設定

画面初期表示時は、常に「自動」に設定されています。

Y 軸モード設定は、設定時ののみ有効となります。

・自動

「自動」に設定した場合は、トレンドグラフに表示されるデータの最大値/最小値に合わせてスケールを変えて表示されます。

・手動

「手動」に設定した場合は、トレンドグラフに表示されるデータに関わらず設定した最大値/最小値/目盛間隔で表示されます。

・最大/最小/目盛間隔

Y 軸モードの「自動/手動」に関わらず、最大/最小/目盛間隔を保存できます。

Y 軸設定値は、データ種別毎に設定することができます。

「自動」の場合は、トレンドグラフには反映されません。

2. グラフ表示色設定

ポイント毎のグラフ表示色を変更することができます。

表示色は、カラーパレットから選択します。



グラフ表示色は、ログインユーザー毎に保存することができます。次回表示以降も設定した表示色でグラフ表示されます。

3. 保存

Y 軸モード、グラフ表示色などを設定し、「保存」ボタンをクリックすると、トレンドグラフに反映されます。

6 インシデントログ

6.1 インシデントログ

■機能

アラーム発生履歴（インシデントログ）および接点の状態変化を一覧で表示します。

The screenshot displays two main sections of the garmit DC software interface:

Incident Log (インシデントログ) Section:

- Search Conditions (検索条件):** Includes search criteria for "アラーム" (①) and "接点状態変化" (②). A dropdown menu shows locations: 東京第一センター / A棟 (③), 東京第一センター / A棟 / 1階 (④), and 東京第一センター / A棟 / 1階 / 1列 (⑤).
- Date Range:** Set to 2018/11/01 00:00 ~ 2019/12/31 23:59 (⑥).
- Buttons:** Includes "条件をクリア" (⑦) and "検索" (⑧).
- Table Headers:** アラーム (⑪), 発生日 (⑫), 備考 (⑬), 削除 (⑭), 新規 (⑮), 表示設定 (⑯), 自動更新 (⑯), and レポート出力 (⑰).
- Table Data:** A list of 28 incidents from page 1 to 10. Each row includes incident number (⑯), alarm type (⑯), location (⑯), date (⑯), and status (⑯). Some rows are highlighted in yellow or pink.

Contact Status Change Section:

- Table Headers:** 測定場所 (測定場所), ポイント名称 (測定場所), データ種別 (測定場所), 検知日時 (測定場所), and 値 (測定場所).
- Table Data:** A list of 1635 contact status changes from page 1 to 164. Each row includes measurement location, point name, data type, detection time, and value (CLOSE or OPEN). Some rows are highlighted in yellow or pink.

図 246 インシデントログ

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索対象	検索対象を選択する ・アラーム ・接点状態変化		
2	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション/所属/ タグ/電源系統/ハ ッシュタグ	※電源系統は電源系 統メンテナンスの権限 が読み取り専用以上で指 定可能
3	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
4	条件削除	検索条件を削除する		
5	条件追加	検索条件を追加表示する		
6	発生日時	発生日時を指定する		
7	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
8	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
9	自動更新	自動更新周期を設定する 更新なし/30 秒/60 秒 初期表示は更新なし		
10	手動更新	手動で表示更新する		
11	発生中のみ	ON になると発生中アラームのみを一覧に表示 する		
12	未確認のみ	ON になると未確認アラームのみを一覧に表示 する		
13	削除	アラームを削除する		
14	確認	アラームを確認状態にする		
15	表示設定	表示設定画面を表示する		
16	レポート出力	アラーム一覧を CSV ファイルに出力する		
17	アラーム一覧	アラームの発生履歴を一覧で表示する		※初期表示では発生 中アラームを一覧表示 する
18	確認	アラームを確認状態にする		
19	削除	アラームを削除する		
20	フロアマップ	フロアマップ画面に遷移する		
21	トレンドグラフ	トレンドグラフログを表示する		
22	レポートスケジュール	レポートスケジュール編集画面に遷移する		
23	電気錠マップ	電気錠マップ画面に遷移する		
24	ラック/ユニット	ラック/ユニット画面に遷移する		
25	案件/回線/配線盤	案件編集/回線編集/配線盤編集画面に遷 移する		
26	表示設定	表示設定画面を表示する		
27	レポート出力	接点状態変化一覧を CSV ファイルに出力する		
28	接点状態変化一覧	接点の状態変化履歴を一覧表示する		※初期表示では過去 24 時間以内の接点 状態変化履歴を一覧 表示する

■表示

メインメニューから、「モニタリング」>「インシデントログ」を選択すると、当該画面（図 246）を表示します

初期表示時は、発生中のアラームのみ表示します。

■操作

1. インシデントログの検索

検索条件を指定して、「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当するインシデントログが表示されます。

「検索」ボタンをクリックすると、自動更新モードは「更新なし」となります。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

・アラーム一覧表示

指定期間に発生したインシデントログが表示されます。

検索直後は、検索条件に該当し、「発生中」のアラームのみ表示されます。

発生中アラームについては、以下の表示となります。

- ・異常アラーム発生中...背景色：ピンク

- ・注意アラーム発生中...背景色：黄色

・接点状態変化

指定期間に状態が変化した記録が表示されます。

2. 表示モード変更

・「発生中のみ」

「発生中のみ」を ON にすると、アラーム一覧には、発生中のアラームのみ表示されます。

「発生中のみ」を OFF にすると、アラーム一覧には、復旧したアラームも含めて表示されます。

・「未確認のみ」

「未確認のみ」を ON にすると、アラーム一覧には、発生中/復旧済みに関わらず、未確認のアラームが表示されます。

「未確認のみ」を OFF にすると、アラーム一覧には、確認済みアラームも含めて表示されます。

3. アラームの確認

確認状態にしたいアラームの確認ボタンをクリックすると、アラームが確認状態になります。



図 247 確認ボタン

まとめて確認状態にする場合は、確認したいアラームにチェックを入れ、左上の「確認」ボタンをクリックしてください。

チェックしたアラームに確認済みのアラームが含まれていると、「確認」ボタンがクリックできません

		アラーム番号	アラーム対象	発生場所	発生日時	復旧日時	確認日時	確認者
<input type="checkbox"/>		▲ システムエラー	44484	東京DB	2019/01/09 10:43:10			
<input checked="" type="checkbox"/>		▲ システムエラー	44483	メインDB	2019/01/09 10:43:10			
<input type="checkbox"/>		▲ システムエラー	44478	G-MCCB-B02	2019/01/09 09:37:11		2019/01/09 10:06:41	久保
<input type="checkbox"/>		▲ 異常	44389	TYO1A10101 無信保証期間	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101	2018/12/31 00:00:00		

図 248 一括確認

4. アラームの削除

削除したいアラームの削除ボタンをクリックするとアラームが削除されます。



図 249 削除ボタン

まとめて削除する場合は、削除したいアラームにチェックを入れ、左上の削除ボタンをクリックしてください。

		アラーム番号	アラーム対象	発生場所	発生日時	復旧日時	確認日時	確認者
<input type="checkbox"/>		▲ システムエラー	44484	東京DB	2019/01/09 10:43:10			
<input checked="" type="checkbox"/>		▲ システムエラー	44483	メインDB	2019/01/09 10:43:10			
<input type="checkbox"/>		▲ システムエラー	44478	G-MCCB-B02	2019/01/09 09:37:11		2019/01/09 10:06:41	久保
<input type="checkbox"/>		▲ 異常	44389	TYO1A10101 無信保証期間	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101	2018/12/31 00:00:00		

図 250 一括削除

5. 自動更新の切替

自動更新は「更新なし」「30秒」「60秒」のいずれかをクリックすることで、更新周期を切り替えることができます。

右側の「更新」ボタンをクリックすると選択したタイミングで、インシデントログを表示更新します。



図 251 自動更新の切替

6. 表示設定

「表示設定」ボタンをクリックすると、表示設定画面（[図 252](#)）が表示されます。

7. レポート出力

「レポート出力」ボタンをクリックすると、一覧の内容が CSV 形式で出力されます。

6.2 表示設定

■機能

一覧に表示する項目を設定します。



図 252 表示設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	非表示項目	非表示にする項目を表示する 項目を表示項目にドラッグすると表示項目に 設定できる		
2	表示項目	表示する項目を表示する 項目を非表示項目にドラッグ&ドロップすると非 表示項目に設定できる ドラッグ&ドロップして表示順を並び替えることが できる		
3	保存	選択中の表示項目を一覧画面に適用し、当 該画面を消去する		
4	キャンセル	当該画面を消去する		

■表示

インシデントログ画面やポイント一覧画面などの一覧の右上にある「表示設定」ボタンをクリックすると、当該画面（図 252）を表示します。

■操作

1. 設定

(1) 項目をドラッグ＆ドロップして非表示項目、表示項目を設定します。

表示項目について、一覧に表示したい順序にドラッグ＆ドロップすることで並び替えることができます。

※非表示項目は並び替えできません。



図 253 表示項目設定

(2) 「保存」ボタンをクリックして編集内容を保存すると、保存内容が一覧に適用されます。

7 バッテリー

■機能

各バッテリーを計測し、計測値を画面に表示します。

本画面から、手動で計測操作を行うことも可能です。



図 254 バッテリー監視

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	自動更新	自動更新周期を設定する 更新なし/30 秒/60 秒 初期表示は更新なし		
2	手動更新	手動でグラフ表示更新する		
3	レポート出力（機器一覧）	表示中の機器一覧および測定値を CSV ファイルに出力する		
4	機器一覧	登録済みの機器を一覧表示する		※機器種別：バッテリモニタのみ
5	測定（機器一覧）	選択した機器に対し測定要求を送信する		
6	手動再測定（測定値一覧）	機器一覧で選択中の機器に対し測定要求を送信する		
7	レポート出力（測定値一覧）	表示中の測定値一覧を CSV ファイルに出力する		
8	計測値（CH 紐づけなし）	チャンネルに紐づけられていない計測値を表示する		
9	表示モード	計測値の表示方法を選択する チャンネル表示/ポイント表示		
10	計測値（CH 紐づけあり）	チャンネルに紐づけられた計測値を表示する		
11	並べ替え	表示中の測定値一覧を昇順/降順で並べ替える ポイント名称/値		ポイント表示モードのみ
12	絞り込み	表示中の測定値一覧をデータ種別、アラーム種別で絞り込み表示する		ポイント表示モードのみ

■表示

メインメニューから、「モニタリング」>「バッテリー」を選択すると、当該画面（図 254）が表示されます。

初期表示時は、登録済みの機器一覧、機器一覧の最上位行に表示されている機器に紐づく測定値一覧が、チャンネル表示モードで表示されます。

機器一覧には、機器メンテナンスにて、機器種別「バッテリモニタ」と指定された機器のみ表示されます。

登録済みの機器がない場合には、その旨機器一覧にメッセージが表示されます。

■操作

1. 機器選択

- (1) 表示中の機器一覧にて、「詳細」アイコンをクリックすると、紐づく計測値を測定値一覧が表示されます。
- (2) 紐づいているポイントがない場合には、その旨測定値一覧にメッセージが表示します。

2. 測定

- (1) 機器一覧の各行に表示している「測定」ボタンをクリックすると、選択中の機器に対し、測定要求を送信します。

また、機器一覧および測定値一覧の「前回の再測定開始日時」が表示更新されます。

- (2) 測定値一覧の各計測値には、「計測中」と表示されます。

- (3) 指定時間経過すると、取得した計測値が測定値一覧に表示されます。

※使用状況が「未使用」の機器については、「測定」および「手動再測定」ボタンが表示されません。

3. 手動再測定

- (1) 測定値一覧の「手動再測定」ボタンをクリックすると、選択中の機器に対し、測定要求を送信します。

- (2) 測定値一覧の各計測値には、「計測中」と表示されます。

- (3) 指定時間経過すると、取得した計測値が測定値一覧に表示されます。

4. 表示モード変更

- (1) 表示モードで、「チャンネル表示」を選択すると、チャンネル毎に測定値一覧が表示されます。

- (2) 表示モードで、「ポイント表示」を選択すると、ポイント名称の昇順で測定値一覧が表示されます。

ポイント表示モードの場合は、ポイント名称および値の昇順/降順で並べ替えることができます。

また、表示中の測定値をデータ種別、アラーム種別で絞り込むこともできます。

5. レポート出力（機器一覧）

- (1) 機器一覧に表示されている「レポート出力」ボタンをクリックすると、表示中の機器とそれに紐づく計測値が CSV ファイルで出力されます。

ファイル名：BatteryDataReport_yyyymmddHHMMss.csv ※yyyymmddHHMMss…レポート出力した年月日時分秒

6. レポート出力（測定値一覧）

- (1) 測定値一覧に表示されている「レポート出力」ボタンをクリックすると、選択中の機器とそれに紐づく計測値が CSV ファイルで出力されます。

ファイル名：BatteryDataReport_(GateId)_yyyymmddHHMMss.csv

その他、ポイント毎に表示されるポイント詳細（）、トレンドグラフ（）をクリックした場合の操作は、

『[4. リアルタイムモニタ](#)』と同様ですので、ご参照ください。

8 電気錠マップ[°]

8.1 電気錠マップ[°]

■機能

フロアマップ上にラックの電気錠、扉開閉の状態を表示します。ラックを選択して開錠/施錠命令を登録できます。

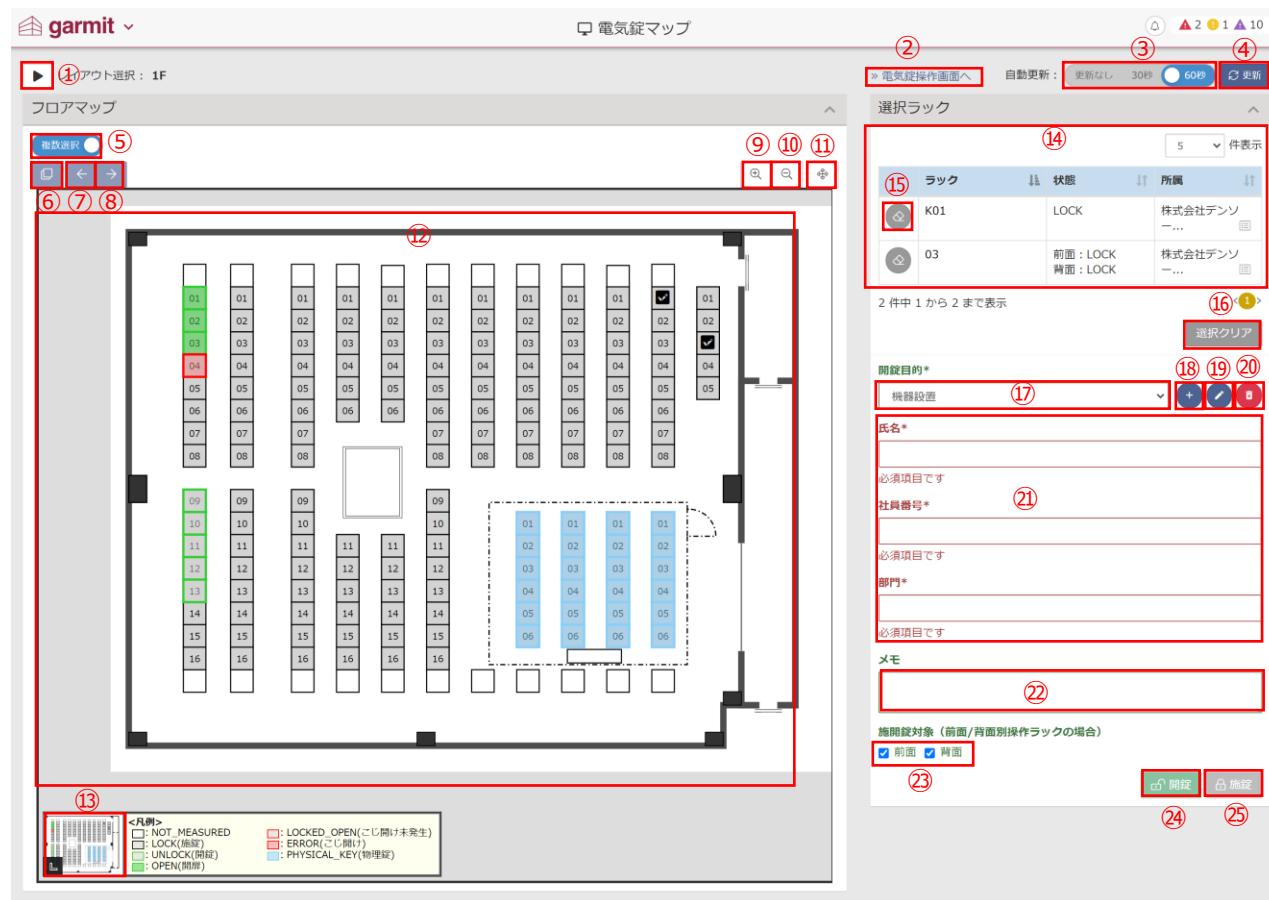


図 255 電気錠マップ[°]

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	レイアウト選択	レイアウトツリーを表示して表示するレイアウトを選択する		
2	電気錠操作画面へ	電気錠操作画面へ遷移する		
3	自動更新	画面の自動更新周期を切り替える	更新なし/30 秒 /60 秒	
4	手動更新	画面を手動で表示更新する		
5	複数選択	複数選択の ON/OFF を切り替える ON の場合… フロアマップ上をドラッグすると範囲内の ラックが選択できる OFF の場合… フロアマップ上をドラッグするとフロアマッ プの表示領域を移動できる		
6	リンク元レイアウトに戻る	リンク元のレイアウトに遷移する		
7	前のレイアウトに戻る	1 つ前のレイアウトを表示する		
8	次のレイアウトに進む	次のレイアウトを表示する		
9	拡大	フロアマップを拡大する		
10	縮小	フロアマップを縮小する		
11	元のサイズに戻す	フロアマップを元のサイズに戻す		
12	フロアマップ	選択したレイアウトの俯瞰図を表示す る		
13	表示領域	フロアマップで表示している領域を示す		
14	選択ラック一覧	フロアマップ上で選択したラックを一覧 表示する		
15	クリア	該当ラックの選択を解除する		
16	選択クリア	すべてのラックの選択を解除する		
17	開錠目的	開錠目的を選択する		
18	開錠目的追加	開錠目的編集画面を表示して開錠 目的を新規登録する		
19	開錠目的編集	開錠目的編集画面を表示して開錠 目的を編集する		
20	開錠目的削除	選択中の開錠目的を削除する		
21	詳細項目	施解錠時の詳細項目を入力する		事前登録が必要 ※印のついているもの は必須項目
22	メモ	施開錠時のメモを入力する	300 文字以内	
23	施開錠対象	施開錠対象を選択する	前面/背面	
24	開錠	選択中のラックを開錠する		
25	施錠	選択中のラックを施錠する		

■表示

メインメニューから、「モニタリング」>「電気錠マップ」を選択すると、当該画面（図 255）を表示します。

■操作

1. レイアウト選択

- (1) 「レイアウト選択」ボタンをクリックして、レイアウト選択ツリーを表示します。
 - (2) レイアウト選択ツリーから、表示対象レイアウトを選択すると、フロアマップに選択したレイアウトが表示されます。
- また、選択したレイアウト名称が、フロアマップ上部に表示されます。

オブジェクト（フロアマップ上の矩形）は下記の通り、色分けして表示されます。

ステータス	表示	電気錠	ドアセンサ	備考
NOT_MEASURED	□	—	—	※電気錠/ドアセンサポイントなし または電気錠/ドアセンサポイントが未計測状態
LOCK	■	施錠	閉	
UNLOCK	■	開錠	閉	
OPEN	■	開錠	開	
ERROR	■	施錠	開	※こじ開けアラームが発生中
LOCKED_OPEN	■	施錠	開	※こじ開けアラームが未発生
PHYSICAL_KEY	■	—	—	物理錠

ラックの前面/背面別操作ラックの場合には下記の優先順で表示されます。

NOT_MEASURED < LOCK < UNLOCK < OPEN < LOCKED_OPEN < ERROR

2. ラック選択

電気錠設定を登録済みで計測中のラックが紐づくオブジェクト（フロアマップ上の矩形）をクリックすると、選択ラック一覧にクリックしたラックが追加されます。

分割ラックのオブジェクトを選択した場合は分割ラック選択画面が表示されるので、選択するラックにチェックを入れて適用ボタンをクリックします。

分割ラック選択			
5 件表示			
ラック	状態	所属	
<input checked="" type="checkbox"/> TYO1A10140-1	前面：LOCK 背面：LOCK	システム管理...	
<input checked="" type="checkbox"/> TYO1A10140-2	前面：LOCK 背面：LOCK	システム管理...	
<input type="checkbox"/> TYO1A10140-3	前面：LOCK 背面：LOCK	システム管理...	
<input type="checkbox"/> TYO1A10140-4	前面：LOCK 背面：LOCK	システム管理...	

4 件中 1 から 4 まで表示 < 1 >

適用

図 256 分割ラック選択

選択中のラックのオブジェクト上には黒いチェックマークが表示されます。また、分割ラックのオブジェクトで一部が選択中の場合には白抜きのチェックマークが付きます。

3. 複数選択

複数選択を ON にすると、フロアマップ上でドラッグした範囲にあるラックを一括選択できます。

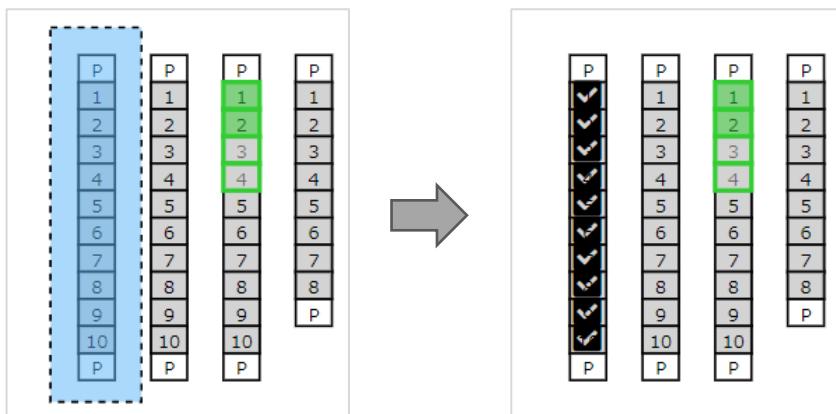


図 257 複数ラック選択

4. 選択クリア

選択ラック一覧で、選択を解除したいラックのクリアボタンをクリックすると選択が解除されます。

また、「選択クリア」ボタンをクリックするとすべてのラックの選択が解除されます。

5. 開錠

- (1) 開錠したいラックをフロアマップで選択します。
- (2) 開錠目的を選択します（必須）。
- (3) 詳細項目を入力します。 ※設定によっては必須
- (4) メモを入力します（任意）。
- (5) 選択中のラックに前面/背面別操作ラックがある場合は、施開錠対象を選択します。
- (6) 「開錠」ボタンをクリックします。

6. 施錠

- (1) 施錠したいラックをフロアマップで選択します。
- (2) メモを入力します（任意）。
- (3) 詳細項目を入力します。※設定によっては必須
- (4) 選択中のラックに前面/背面別操作ラックがある場合は、施開錠対象を選択します。
- (5) 「施錠」ボタンをクリックします。

※OPEN状態の電気錠は施錠できません。

7. 前のレイアウトに戻る

「←」ボタンをクリックすると、現在のレイアウトを表示する前に表示していたレイアウトに戻ります。

8. 次のレイアウトに進む

「→」ボタンをクリックすると、現在のレイアウトに戻る前に表示していたレイアウトが表示されます。

9. フロアマップサイズ変更

下記ボタンをクリックすると、フロアマップの表示サイズを変更できます。

- ・「拡大」…フロアマップが拡大されます。
- ・「縮小」…フロアマップが縮小されます。
- ・「元のサイズに戻す」…フロアマップが初期表示時の倍率に戻ります。

また、マウスホイールでも拡大縮小ができます。

10. 画面表示更新（自動/手動）

自動更新周期を「30秒」または「60秒」に設定すると、自動で画面の表示が更新されます。

「手動更新」ボタンをクリックすると、クリックした時点で画面の表示が更新されます。

11. 開錠目的の追加・編集

- (1) 開錠目的欄の「追加」ボタンをクリックします。
- (2) 開錠目的編集画面が表示されるので、開錠目的を入力して「保存」をクリックします。

12. 開錠目的の編集

- (1) 編集したい開錠目的を選択して、「編集」ボタンをクリックします。
- (2) 開錠目的編集画面が表示されるので、開錠目的を入力して「保存」をクリックします。

13. 開錠目的の削除

削除したい開錠目的を選択して、「削除」ボタンをクリックします。

開錠目的が1つしか登録されていない場合は削除できません。

8.2 開錠目的編集

■機能

開錠目的の編集を行います。



図 258 開錠目的編集

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	開錠目的	開錠目的を入力する	30 文字以内	
2	保存	編集した内容を保存する		
3	キャンセル	当該画面を消去する		

■表示

電気錠マップ画面の開錠目的欄で「追加」または「編集」ボタンをクリックすると、当該画面（図 258）を表示します。

■操作

1. 開錠目的編集

- (1) 開錠目的を 30 文字以内で入力します。
- (2) 「保存」ボタンをクリックします。

9 キャパシティ/ラック

■機能

連続空きラックを検索し、該当するラックに供給する電源情報を表示します。



図 259 キャパシティ/ラック

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	レイアウト選択	表示するレイアウトを選択する		
2	表示中レイアウト	表示中のレイアウト名称を表示する		
3	ラックステータス	ラック利用状況の表示/非表示を選択する		
4	リンク元に戻る	リンク元のレイアウトに遷移する		
5	前のレイアウトに戻る	1つ前のレイアウトを表示する		
6	次のレイアウトに進む	次のレイアウトを表示する		
7	拡大	フロアマップを拡大する		
8	縮小	フロアマップを縮小する		
9	元のサイズに戻す	フロアマップを元のサイズに戻す		
10	フロアマップ	選択したレイアウトの俯瞰図を表示する 検索に該当する箇所を黄色の太枠で囲って表示する		
11	表示領域	フロアマップで表示している領域を示す		
12	凡例	ラックステータスの凡例を表示する		
13	連続空きラック数	検索したい連続空きラック数を入力する		
14	ラック種別	検索したいラック種別を選択する		
15	検索	入力した連続空きラック数に該当する箇所を検索する		
16	ラック電源情報	選択したラック群に紐づく電源情報を一覧表示する		

■表示

メインメニューから、「キャパシティ」>「ラック」を選択すると、当該画面（図 259）を表示します。

■操作

1. 連続空きラック検索

- (1) レイアウトを選択してフロアマップを表示します。
- (2) 連続空きラック数、ラック種別を指定して「検索」ボタンをクリックすると、該当する箇所を黄色で囲んで表示します。

2. 電源供給状況表示

- (1) 連続空きラック検索で検索に該当したラックを選択すると、指定したラックから連続空きラック分を赤枠で囲み、選択ラックに電源供給している分電盤のオブジェクトを赤で表示します。

※入力したラック数を超える連続空きラックの場合は、入力したラック数分ずつ選択可能です。

例) 検索した連続空きラック数 : 3 ラック

連続 5 ラックの空きラックがある場合、下図のような 3 パターンの選択が可能。

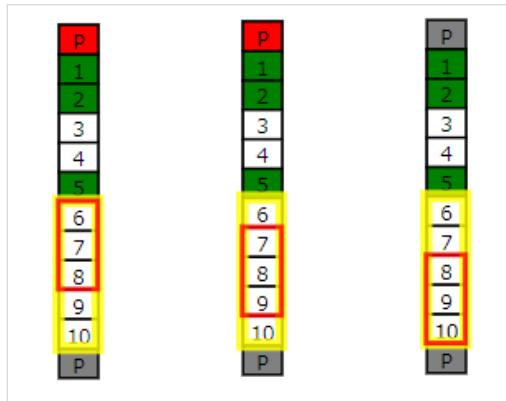


図 260 連続空きラック選択例

- (2) 連続空きラック選択時、赤で表示されている電源系統オブジェクトをマウスオーバーすると、当該電源系統の電流値と計測値（分岐電源から供給済みの電流値の合計）がポップアップ表示されます。



図 261 電源供給状況表示

3. 電源情報表示

連続空きラック数検索で、該当する連続空きラックをクリックすると、選択したラックに供給する電源情報を表示します。

一覧には、ラック名称、供給する電源の電源系統名、定格電圧、定格電流が表示されます。

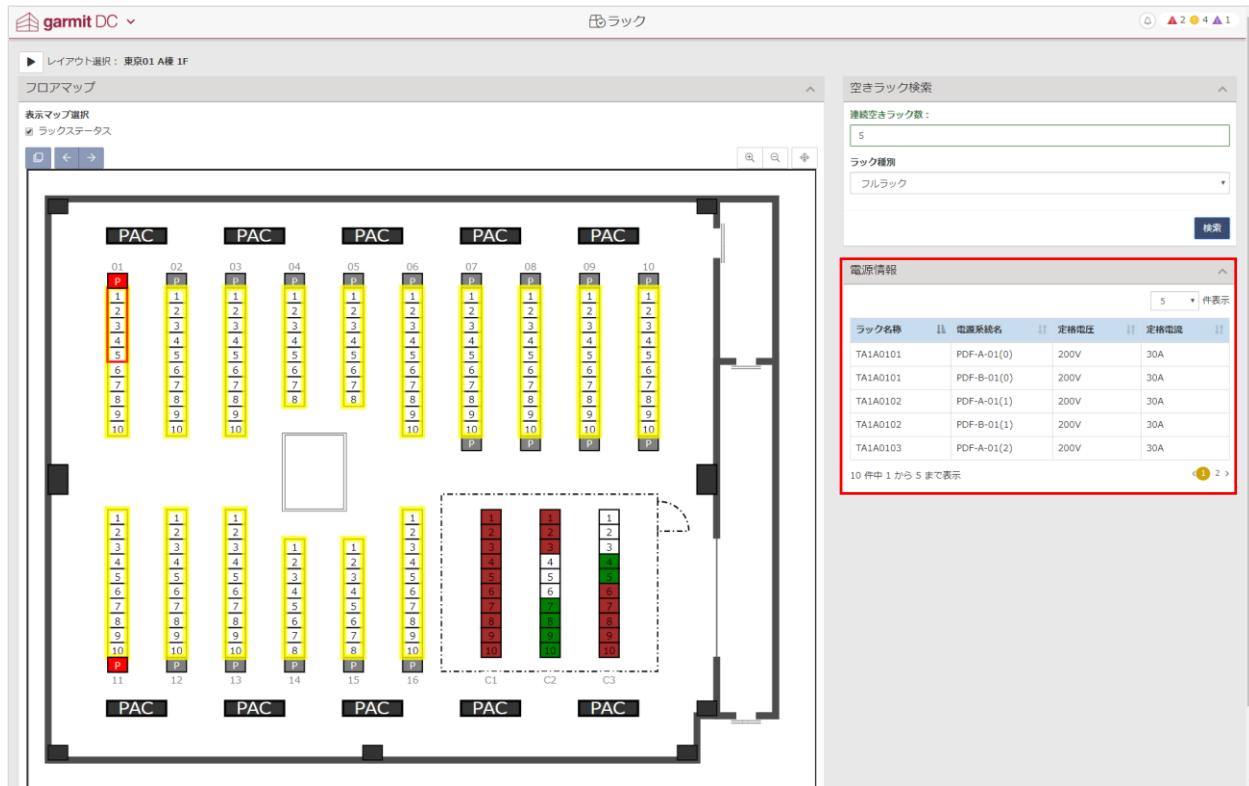


図 262 キャパシティ（電源情報表示）

10 アセット/ラック

10.1 ラック（参照モード）

■機能

ラックの情報を表示します。

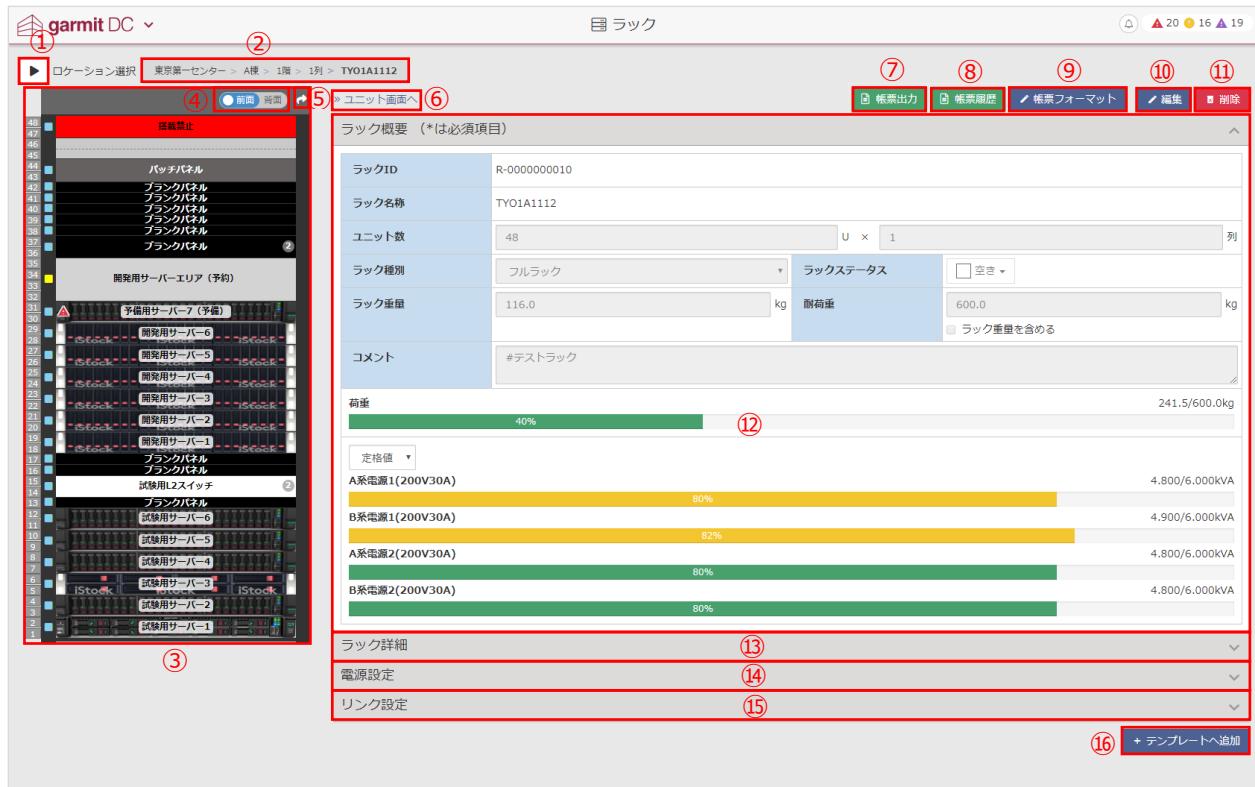


図 263 ラック（参照モード）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ロケーション選択	ロケーション選択ツリーを表示してロケーションを選択する		
2	ロケーション	選択したロケーションを表示する		
3	ラック搭載図	選択したロケーションに紐づくラックの搭載図を表示する		
4	前面/背面	ラック搭載図の前面/背面表示を切り替える		
5	クリックランチャー	クリックランチャーを表示する		
6	ユニット画面へ	ユニット画面（図 275）へ遷移する		
7	帳票出力	帳票出力確認画面（図 271）を表示する		
8	帳票履歴	帳票履歴画面（図 272）を表示する		
9	帳票フォーマット	帳票フォーマット画面（図 273）を表示する		
10	編集	編集モード（図 265）にする		
11	削除	選択したロケーションに紐づくラック情報を削除する		
12	ラック概要	ラック概要を表示する		
13	ラック詳細	ラック詳細を表示する		
14	電源設定	電源設定情報を表示する		
15	リンク設定	クリックランチャーで表示するリンク情報を表示する		
16	テンプレートへ追加	ラック概要、ラック詳細情報をテンプレートとして登録する		

■表示

メインメニューから、「アセット」>「ラック」を選択すると、当該画面（図 263）を表示します。

■操作

1. ラック情報の表示

「ロケーション選択」でロケーションを選択すると、選択したロケーションに紐づくラックの情報が表示されます。

ラック情報が未登録のロケーションを選択した場合、ラック搭載図に「ラックの登録がありません」と表示されます。

前面/背面のスイッチをクリックすると、交互にラック搭載図を切り替えて表示されます。

2. クリックランチャー表示

(1) ラック搭載図の「クリックランチャー」ボタン（）をクリックすると、クリックランチャーが表示されます。

(2) 表示されたクリックランチャーから、リンク設定で指定した URL に遷移します。



3. ラックの編集

(1) 「ロケーション選択」で、編集対象のロケーション（ラック）を選択します。

(2) 「編集」ボタンをクリックすると、編集モードに変わるので、必要項目を編集して「保存」ボタンをクリックします

※編集方法の詳細は、『[10.2 ラック（編集モード）](#)』をご参照ください。

4. ラックの削除

(1) 「ロケーション選択」で、削除対象のロケーション（ラック）を選択します。

(2) 「削除」ボタンをクリックすると、選択したラック情報が削除されます。

※このとき、ラックに搭載されているユニットの情報も全て削除されますので、ご注意ください。

5. テンプレートへ追加

(1) 「ロケーション選択」で、テンプレートとして登録するラックを選択します。

(2) 「テンプレートへ追加」ボタンをクリックすると、テンプレート追加モーダルが表示されます。

(3) テンプレート追加モーダルで、各項目を入力し「保存」ボタンをクリックすると、テンプレートとして登録されます。



図 264 テンプレート追加

6. ラックの帳票出力

(1) 「帳票出力」ボタンをクリックすると、帳票出力確認モーダルが表示されます。

(2) 帳票出力確認モーダルで、各項目を入力し「出力」ボタンをクリックすると、帳票が出力されます。

7. ラックの帳票履歴表示

「帳票履歴」ボタンをクリックすると、帳票の出力履歴が一覧で表示されます。

8. ラックの帳票フォーマット登録

(1) 「帳票フォーマット」ボタンをクリックすると、帳票フォーマットモーダルが表示されます。

(2) 帳票フォーマットモーダルで「追加」ボタンをクリックすると、帳票フォーマット登録モーダルが表示されます。

(3) 帳票フォーマット登録モーダルで、各項目を入力し「保存」ボタンをクリックすると、帳票フォーマットが新規登録されます。

10.2 ラック（編集モード）

■機能

ラック情報の編集を行います。

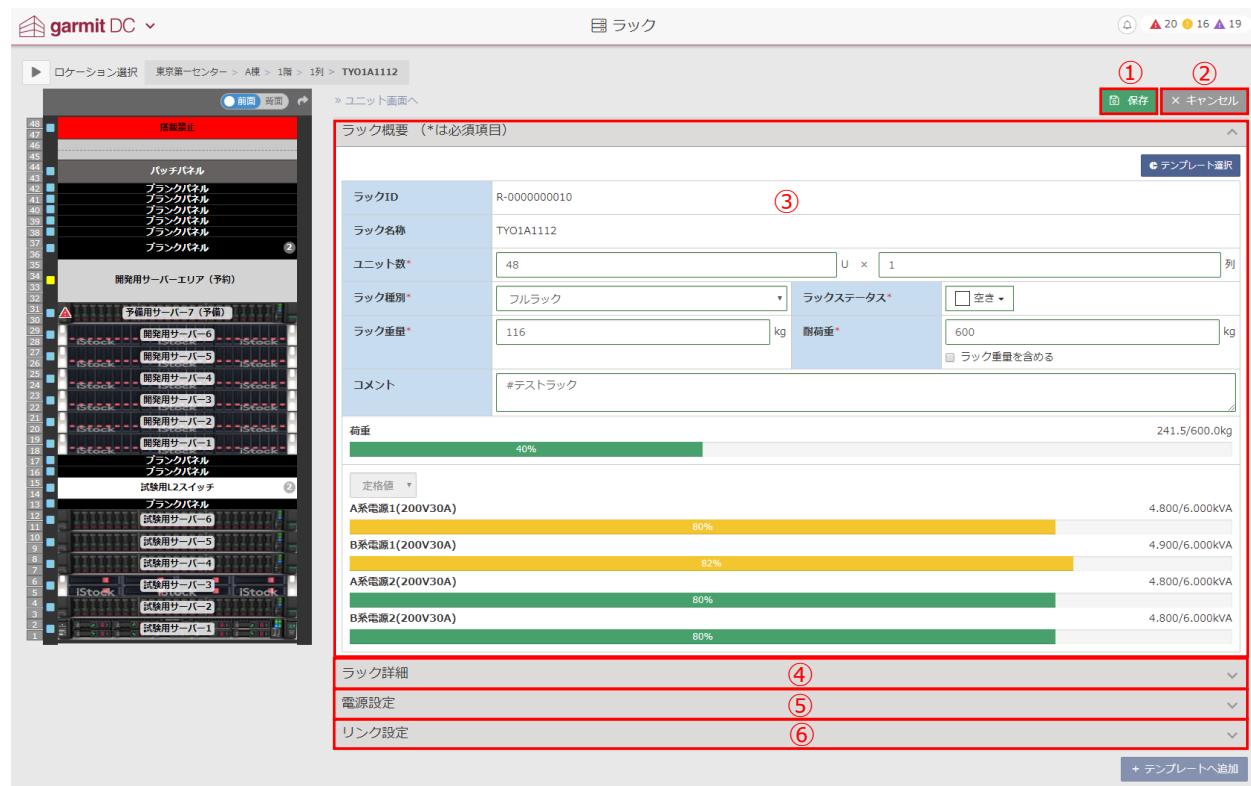


図 265 ラック（編集モード）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	保存	編集内容を保存して参照モードに戻る		
2	キャンセル	編集内容を破棄して参照モードに戻る		
3	ラック概要	ラック概要（図 266）を編集する		
4	ラック詳細	ラック詳細（図 267）を編集する		
5	電源設定	電源設定（図 268）を編集する		
6	リンク設定	リンク設定（図 270）を編集する		

■表示

ラック画面（参照モード）（図 263）で「編集」ボタンをクリックすると当該画面（図 265）を表示します。

■操作

1. ラック情報保存

「保存」ボタンをクリックすると、ラック概要、ラック詳細、電源設定、リンク設定の内容を保存します。

2. キャンセル

「キャンセル」ボタンをクリックすると、編集モードを解除し、参照モード（図 263）で表示されます。

※ラック概要、ラック詳細、電源設定、リンク設定についての操作方法は、次頁以降に記載します。

10.2.1 ラック概要

■機能

ラック概要情報を編集・表示します。

図 266 ラック概要

■要素

No.	名称	説明	制限	備考
1	テンプレート選択	テンプレート選択画面を表示してテンプレートを選択する		
2	ラック ID	ラック ID を表示する		※編集不可
3	ラック名称	ラック名称を表示する ラック名称=ロケーション名称		※編集不可
4	ユニット数 (U)	ユニット数 (U) を入力する	1~60	
5	ユニット数 (列)	ユニット数 (列) を入力する	1~60	
6	ラック種別	ラック種別を選択する		
7	ラックステータス	ラックのステータスを選択する		
8	ラック重量	ラックの重量を入力する	0~10000	
9	耐荷重	ラックの耐荷重を入力する	0~10000	
10	ラック重量を含める	チェックを ON にすると、ラック重量+ラックに搭載中のユニット重量を合わせた重量で耐荷重設定とする		
11	コメント	コメントを入力する	100 文字以内	
12	搭載率	耐荷重に対する搭載重量をグラフ表示する		
13	電源使用率	定格値および実測値で電源使用率をグラフ表示する		※参照モード時に定格値/実測値を選択可能

■表示

ラック画面で「ラック概要」欄のタイトルをクリックすると、当該画面（図 266）を表示します。

初期表示は、ロケーション未選択状態です。

■操作

1. ラック概要編集

下記の項目を入力します。

・ラック ID/ラック名称

ラック ID は自動採番、ラック名称は選択したロケーションの最下層のロケーション名としているため、編集できません。

・ユニット数（U/列）

指定範囲の数値を入力してください。

・ラック種別

ラック種別を選択してください。選択肢は、以下の通りです。

ラック種別：フルラック/ハーフラック/クオーターラック/1/8 ラック

・ラックステータス

ラックステータスを選択してください。選択肢は、以下の通りです。

ラックステータス：空き/予約済み/使用中

・ラック重量

指定範囲の数値を入力してください。

・耐荷重

指定範囲の数値を入力してください。

・ラック重量を含める

耐荷重監視を行う際に、ラック重量を含めた耐荷重の監視を行うかを選択します。

例）ラック重要：50kg、耐荷重：650kg の場合

「ラック重量を含める」チェック ON：搭載ユニット重量の合計値が 600kg を超えると耐荷重超過と判定します

「ラック重量を含める」チェック OFF：搭載ユニット重量の合計値が 650kg を超えると耐荷重超過と判定します

・コメント

指定文字数の文字列を入力してください。

コメント欄に「#」+キーワードで入力すると、検索条件の「ハッシュタグ」として検索することができます。

2. テンプレート選択

- (1) 「テンプレート選択」ボタンをクリックすると、テンプレート選択画面（[図 285](#)）が表示されます。
- (2) テンプレート選択画面で選択されたテンプレート内容が、ラック概要およびラック詳細に反映されます。

10.2.2 ラック詳細

■機能

ラック詳細項目の表示・編集を行います。

表示ページ		購入情報	
(1) 購入日	2018/10/01	(2) 購入部署	DSG
(3) 購入担当者	デンソー太郎	(4) 購入責任者	デンソー責任者
(5) 確認日	2018/10/02	(6) 購入費用	800000
(7) 搬入日	2018/10/03	(8) 使用開始日	2018/10/15
(9) 使用者	デンソー次郎	(10) 減価償却期間	2020/12/31

図 267 ラック詳細

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	表示ページ	編集対象ページを選択する		
2	管理項目一覧	ラックメンテナンスで設定した項目を表示する	項目の型によって異なる	

■表示

ラック画面で「ラック詳細」欄のタイトルをクリックすると、当該画面（図 267）を表示します。

■操作

1. 編集

- (1) 編集対象のページを選択します。
- (2) 選択したページに設定された項目を入力します。

ここに表示される項目は、ラックメンテナンスで設定された項目です。

各項目の入力制限に沿って入力してください。

No.	データ型	制限事項	備考
1	文字列型	128 文字以内	
2	文字列型（複数行）	1000 文字以内 改行含める	
3	整数型	-10000000～10000000	
4	実数型	指定フォーマット -10000000～10000000 例) 書式を「#.00」とした場合:10.00	整数、小数部分を 0 埋め 例) 書式を「#.00」とした場合:10.00
5	日付時刻型	指定フォーマット	
6	選択肢型	ラックメンテナンスで指定した選択肢	

10.2.3 電源設定

■機能

ラックの電源設定の表示・編集を行います。

電源設定

電源No.	① 1 : R-0000000001-PS01	+ 電源追加	③ 削除		
電源名称*	④ R-0000000001-PS01				
インレット形状*	⑤ 2P	アウトレット数*	⑥ 20		
定格電流値*	⑦ 10 A	定格電圧値*	⑧ 100 V		
ブレーカー割り当て	⑨ 該当ブレーカー : MCCB-A01-01 ⑩ 選択 ⑪ 解除				
閾値*	⑫ ブレーカーの閾値を使用 上限異常 ⑬ 上限注意 ⑭ 上限異常 ⑮ 上限注意 ⑯ kVA ⑰ kVA				
アウトレット	削除	アウトレット番号*	アウトレット形状	ポイント	⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲
		1 ⑮	2P ⑯	P-MCCB-A01-01 ⑰	⑱ ⑲
		2	2P	P-MCCB-A01-01	⑳ ㉑
		3	2P	P-MCCB-A01-01	⑳ ㉑
		4	2P	P-MCCB-A01-01	⑳ ㉑
		5	2P	P-MCCB-A01-01	⑳ ㉑
	⑳ 削除	+ 追加 ㉑			
コメント	㉒				

図 268 電源設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	電源 No.	編集対象の電源を選択する		
2	電源追加	新しい電源を追加する		
3	削除	電源 No.で選択中の電源情報を削除する		
4	電源名称	電源名称を入力する	32 文字以内	
5	インレット形状	インレット形状を選択する		
6	アウトレット数	アウトレット数を入力する	0~100	
7	定格電流値	定格電流値を入力する	0~10000	
8	定格電圧値	定格電圧値を入力する	0~10000	
9	ブレーカー割り当て	選択中のブレーカーを表示する		
10	選択	ブレーカー選択画面を表示してブレーカーを選択する		
11	解除	選択中のブレーカーを解除する		
12	ブレーカーの閾値を使用	ブレーカー割り当てで選択中のブレーカーの閾値を使用する		
13	上限異常 (kVA)	上限異常の閾値を入力する	0~100000	
14	上限注意 (kVA)	上限注意の閾値を入力する	0~100000	
15	アウトレット番号	アウトレット番号を入力する	1~100	
16	アウトレット形状	アウトレット形状を選択する		
17	ポイント名称	アウトレットと紐づけたポイント名称を表示する		
18	ポイント選択	ポイント選択画面を表示してアウトレットに紐づけるポイントを選択する		
19	解除	ポイントの紐づけを解除する		
20	削除	アウトレット一覧でチェック状態のアウトレットを削除する		
21	追加	アウトレットを追加する		
22	コメント	コメントを入力する	200 文字以内	

■表示

ラック画面で「電源設定」欄のタイトルをクリックすると、当該画面（図 268）を表示します。

■操作

1. 電源追加

(1) 「電源追加」ボタンをクリックします。

(2) 各項目を入力します。

・電源 No.

自動採番のため、電源 No の編集はできません。

・電源名称

制限文字数内で文字数を入力してください。

・インレット形状

インレット形状を選択してください。

※インレット形状の選択肢については導入前に必要な選択肢をインタビューします。

・アウトレット数

指定範囲の数値を入力してください。

・定格電流値/定格電圧値

指定範囲の数値を入力してください。

ブレーカーを割り当てた場合、選択したブレーカーの定格値と異なる場合は、エラーメッセージが表示されます。

・ブレーカー割り当て

「選択」ボタンをクリックすると、ブレーカー選択画面が表示されます。

ブレーカーを選択し「適用」ボタンをクリックすると、ブレーカー割り当て欄に電源系統名とブレーカー名が表示されます。

名称	定格電流値	定格電圧値	ステータス	ポイント	子電源系統
BR01	30	200	未使用	PDF-A-01-001	
BR02	30	200	未使用	PDF-A-01-002	
BR03	30	200	未使用	PDF-A-01-003	
BR04	30	200	未使用	PDF-A-01-004	
BR05	30	200	未使用	PDF-A-01-005	
BR06	30	200	未使用	PDF-A-01-006	
BR07	30	200	未使用	PDF-A-01-007	
BR08	30	200	未使用	PDF-A-01-008	
BR09	30	200	未使用	PDF-A-01-009	
BR10	30	200	未使用	PDF-A-01-010	

図 269 ブレーカー選択画面

・閾値（上限異常/上限注意）

指定範囲の数値を入力してください。入力する数値の単位は、kVAとなります。

「ブレーカーの閾値を使用」をチェックすると、本項目は選択不可となります。

設定された閾値に従い、ラック概要に表示されている電源使用率のバーグラフの表示色が変わります。

- ・アウトレット番号

指定範囲内の数値を入力してください。アウトレット数を超える数量のアウトレット情報は登録できません。

- ・アウトレット形状

アウトレット形状を選択してください。

※アウトレット形状の選択肢については導入前に必要な選択肢をインタビューします。

- ・ポイント選択

「ポイント選択」ボタンをクリックすると、ポイント選択画面（[図 426](#)）が表示されます。

ポイント選択画面で選択されたポイント名称が表示されます。

- ・ポイント紐づけ解除

「ポイント解除」ボタンをクリックすると、アウトレットとポイントの紐づけを解除します。

※ポイント情報は削除されません。

- ・コメント

制限文字数の文字を入力してください。

- ・アウトレット追加

アウトレットの「追加」ボタンをクリックすると、アウトレット一覧に新しい行が追加されるので、アウトレット情報を入力します。

- ・アウトレット削除

アウトレット一覧で削除対象のアウトレットを選択した状態で、「削除」ボタンをクリックすると対象アウトレット情報が削除されます。

2. 電源編集

(1) 編集対象の電源 No.を選択します。

(2) 各項目を入力します。 詳細は、<電源追加>と同様です。ご参照ください。

3. 電源削除

(1) 削除対象の電源 No.を選択します。

(2) 「削除」ボタンをクリックすると、選択した電源情報が削除されます。

※電源の追加、編集、削除はラック画面で「保存」ボタンをクリックするまでは DB に反映されません。

10.2.4 リンク設定

■機能

ラックのリンク設定の表示・編集を行います。

リンク設定				
削除	No.	タイトル*	URL*	
<input type="checkbox"/>	1	製造元	http://www.kk-denso.co.jp/	
<input type="checkbox"/>	2	取扱説明書	http://example.co.jp/rack/manual.pdf	

① タイトル*
② URL*
③ 削除
④ 追加

図 270 リンク設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	タイトル	クリックランチャー上に表示する文字列を入力する	32 文字以内	
2	URL	参照先の URL を入力する	2083 文字以内	
3	削除	リンク設定一覧でチェックされたリンク設定情報を削除する		
4	追加	リンク設定情報を追加する		

■表示

ラック画面で「リンク設定」欄のタイトルをクリックすると、当該画面（図 270）を表示します。

■操作

1. リンクの追加

(1) 「追加」ボタンをクリックすると一番下に新しい行が追加されます。

(2) タイトル、URL を入力します。

※最大 6 件まで追加可能です。

2. リンクの削除

- (1) 削除対象のリンクを選択します。
- (2) 「削除」ボタンをクリックすると、選択した電源情報が削除されます。

※リンクの追加、編集、削除はラック画面で「保存」ボタンをクリックするまでは DB に反映されません。

10.3 帳票出力確認

■機能

ラック帳票を出力します。



図 271 帳票出力確認画面

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	所属	所属を選択する		
2	フォーマット	フォーマットを選択する		
3	保存ファイル名	保存ファイル名を入力する	45 文字以内	
4	上書き保存の可否	同じ名前のファイルが存在する場合に上書きを許可するかどうかを選択する		
5	出力	帳票を出力する		
6	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

ラック画面もしくはユニット画面の「帳票出力」ボタンをクリックすると、帳票出力確認画面（図 271）が表示されます。

■操作

1. 帳票出力

- (1) 所属を選択します。
- (2) フォーマットを選択します。
- (3) 保存ファイル名を入力します。
- (4) 同じ名前のファイルが存在する場合に上書きを許可する場合はチェックボックスにチェックを入れます。
- (5) 「出力」ボタンをクリックします。

10.4 帳票履歴

■機能

帳票出力の履歴のダウンロード、削除を行います。

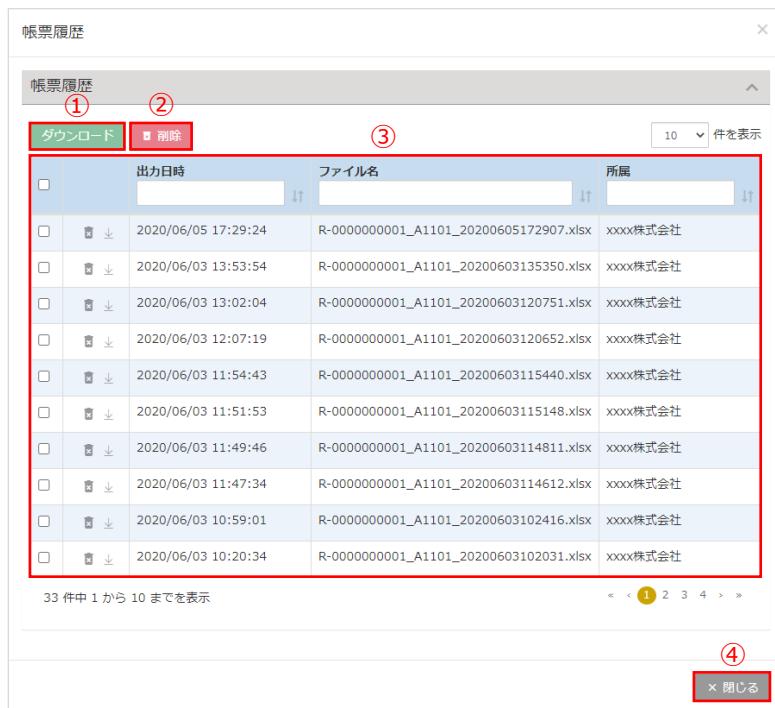


図 272 帳票履歴画面

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ダウンロード	帳票をダウンロードする		
2	削除	帳票を削除する		
3	帳票履歴	帳票履歴を一覧表示する		
4	閉じる	当該画面を閉じる		

■表示

ラック画面もしくはユニット画面の「帳票履歴」ボタンをクリックすると、帳票履歴画面（図 272）が表示されます。

■操作

1. 帳票履歴ダウンロード

ダウンロードしたい帳票履歴の行の「ダウンロード」アイコンをクリックする、もしくはダウンロードする帳票履歴（※複数可）にチェックを入れて左上の「ダウンロード」ボタンをクリックします。

2. 帳票履歴削除

削除したい帳票履歴の行の「削除」アイコンをクリックする、もしくは削除する帳票履歴（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「削除」ボタンをクリックします。

10.5 帳票フォーマット

■機能

帳票フォーマットの追加、削除を行います。



図 273 帳票フォーマット画面

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ダウンロード	帳票をダウンロードする		
2	削除	帳票を削除する		
3	追加	帳票フォーマット登録画面（図 274）を表示する		
4	帳票フォーマット一覧	帳票フォーマットを一覧表示する		
5	閉じる	当該画面を閉じる		

■表示

ラック画面もしくはユニット画面の「帳票フォーマット」ボタンをクリックすると、当該画面が表示されます。

■操作

1. 帳票フォーマットダウンロード

ダウンロードしたい帳票フォーマットの行の「ダウンロード」アイコンをクリックする、もしくはダウンロードする帳票フォーマット（※複数可）にチェックを入れて左上の「ダウンロード」ボタンをクリックします。

2. 帳票フォーマット削除

削除したい帳票フォーマットの行の「削除」アイコンをクリックする、もしくは削除する帳票フォーマット（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「削除」ボタンをクリックします。

3. 帳票フォーマット追加

(1) 「追加」ボタンをクリックします。

(2) 帳票フォーマット登録画面（[図 274](#)）が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

10.6 帳票フォーマット登録

■機能

帳票フォーマットを新規登録します。

帳票フォーマット登録

所属 ①

株式会社デンソー

フォーマット ②

ラック帳票フォーマット.xlsx ②

ここにファイルをドラッグ&ドロップしてください
または ④

③ ファイル選択

□ 同じ名前のファイルが存在する場合は上書きする ⑤

□ フォーマットに無効な詳細項目が存在する場合は登録しない ⑥

⑦ ⑧

固 保存 キャンセル

図 274 帳票フォーマット登録画面

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	所属	所属を選択する		
2	フォーマット	選択中のフォーマットファイル名を表示する		
3	フォーマット選択	ファイル選択ダイアログを開いてフォーマットファイルを選択する	拡張子:.xlsx のみ対応 ファイルサイズ: 2MB 以下	
4	ドラッグ & ドロップ	選択したファイルを指定領域内にドラッグ & ドロップする	拡張子:.xlsx のみ対応 ファイルサイズ: 2MB 以下	
5	上書き保存の可否	同じ名前のファイルが存在する場合に上書きを許可するかどうかを選択する		
6	無効な詳細項目のチェック有無	フォーマットファイル内に無効な詳細項目を指定するタグを含む場合に登録不可とするかどうかを選択する		
7	保存	編集した内容を保存する		
8	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

帳票フォーマット画面で「追加」ボタンをクリックすると、帳票フォーマット登録画面（図 274）が表示されます。

■操作

1. フォーマットファイルの作成

- (1) Excel アプリケーションを起動し、新規ファイルを作成します。
- (2) ラック、ユニットの各項目の値を埋め込みたいセルに、タグを入力します。

※使用可能なタグの一覧については、別途資料（『ラック帳票埋込タグ一覧』）をご参照ください。

- (3) ファイルをxlsx 形式で保存します。

2. 帳票フォーマット登録

- (1) 帳票フォーマットを紐づける所属を選択します。
- (2) 「選択」ボタンをクリックしてファイル選択ダイアログを開き、フォーマットファイルを選択します。もしくは、対象ファイルを指定領域内にドラッグ & ドロップします。
- (3) 同じ名前のファイルが存在する場合に上書きを許可する場合はチェックボックスにチェックを入れます。
- (4) フォーマットファイルに無効な詳細項目を指定するタグを含む場合に登録不可とする場合はチェックボックスにチェックを入れます。
- (5) 「保存」ボタンをクリックします。

11 アセット/ユニット

11.1 ユニット（参照モード）

■機能

ユニット情報を表示します。



図 275 ユニット（参照モード）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ロケーション選択	ロケーション選択ツリーを表示してロケーションを選択する		
2	ロケーション	選択したロケーションを表示する		
3	ラック搭載図	選択したロケーションに紐づくラックの搭載図を表示する		
4	ラック画面へ	ラック画面へ遷移する		
5	帳票出力	帳票出力確認画面（図 271）を表示する		
6	帳票履歴	帳票履歴画面（図 272）を表示する		
7	帳票フォーマット	帳票フォーマット画面（図 273）を表示する		
8	編集	編集モード（図 276）にする		
9	表示変更	ラック搭載図に表示するユニット画像を設定する		
10	ユニット選択	選択中のユニットに複数のユニットを搭載している場合、編集対象ユニットを選択する		
11	追加	新規ユニットを追加する		
12	削除	選択中のユニットを削除する		
13	ユニット概要	ユニット概要を表示する		
14	ユニット詳細	ユニット詳細を表示する		
15	電源設定	電源設定を表示する		
16	リンク設定	リンク設定を表示する		
17	ネットワーク設定	ネットワーク設定を表示する		
18	テンプレートへ追加	ユニット概要、ユニット詳細、ポート数の情報をテンプレートに追加する		

■表示

メインメニューから「アセット」>「ユニット」を選択すると、ユニット画面（参照モード）（図 275）を表示します。

■操作

1. ユニット情報の表示

- (1) 「ロケーション選択」でロケーションを選択すると、選択したロケーションに紐づくラックの搭載図が表示されます。
ラック情報が未登録のロケーションを選択した場合、ラック搭載図に「ラックの登録がありません」と表示されます。
- (2) ラック搭載図ユニットを選択します。
- (3) （複数ユニット登録されている場合）ユニット選択で、表示対象ユニットを選択します。

※同一搭載位置に複数ユニット搭載されている場合は、ユニット No.が最小のものが初期表示されます。

2. ユニットの追加

- (1) ラック搭載図から、搭載位置を選択します。
- (2) 「追加」ボタンをクリックすると、編集モードとなるので、必要項目を入力して「保存」ボタンをクリックします。

※編集方法の詳細は、『[11.2 ユニット（編集モード）](#)』をご参照ください。

3. ユニットの編集

- (1) ラック搭載図から、編集対象のユニットを選択します。
- (2) (複数ユニット登録されている場合) ユニット選択で、編集対象ユニットを選択します。
- (3) 「編集」ボタンをクリックすると、編集モードに変わるので、必要項目を編集して「保存」ボタンをクリックします。

※編集方法の詳細は、『[11.2 ユニット（編集モード）](#)』をご参照ください。

4. ユニットの削除

- (1) ラック搭載図から、削除対象のユニットを選択します。
- (2) (複数ユニット登録されている場合) ユニット選択から、削除対象のユニットを選択します。
- (3) 「削除」ボタンをクリックすると、選択したユニット情報が削除されます。

5. 表示変更

ラック搭載図に表示するユニット画像を変更します。

- (1) 「表示変更」ボタンをクリックすると、表示設定画面（[図 283](#)）が表示されます。
- (2) 表示設定画面で選択したユニット画像が、ユニット画像欄に表示されます。

6. テンプレートへ追加

※操作方法は、『[10.1 ラック（参照モード）](#)』と同様です。ご参照ください。

7. ラックの帳票出力

※操作方法は、『[10.1 ラック（参照モード）](#)』と同様です。ご参照ください。

8. ラックの帳票履歴表示

※操作方法は、『[10.1 ラック（参照モード）](#)』と同様です。ご参照ください。

9. ラックの帳票フォーマット登録

※操作方法は、『[10.1 ラック（参照モード）](#)』と同様です。ご参照ください。

11.2 ユニット（編集モード）

■機能

ユニット情報を編集します。

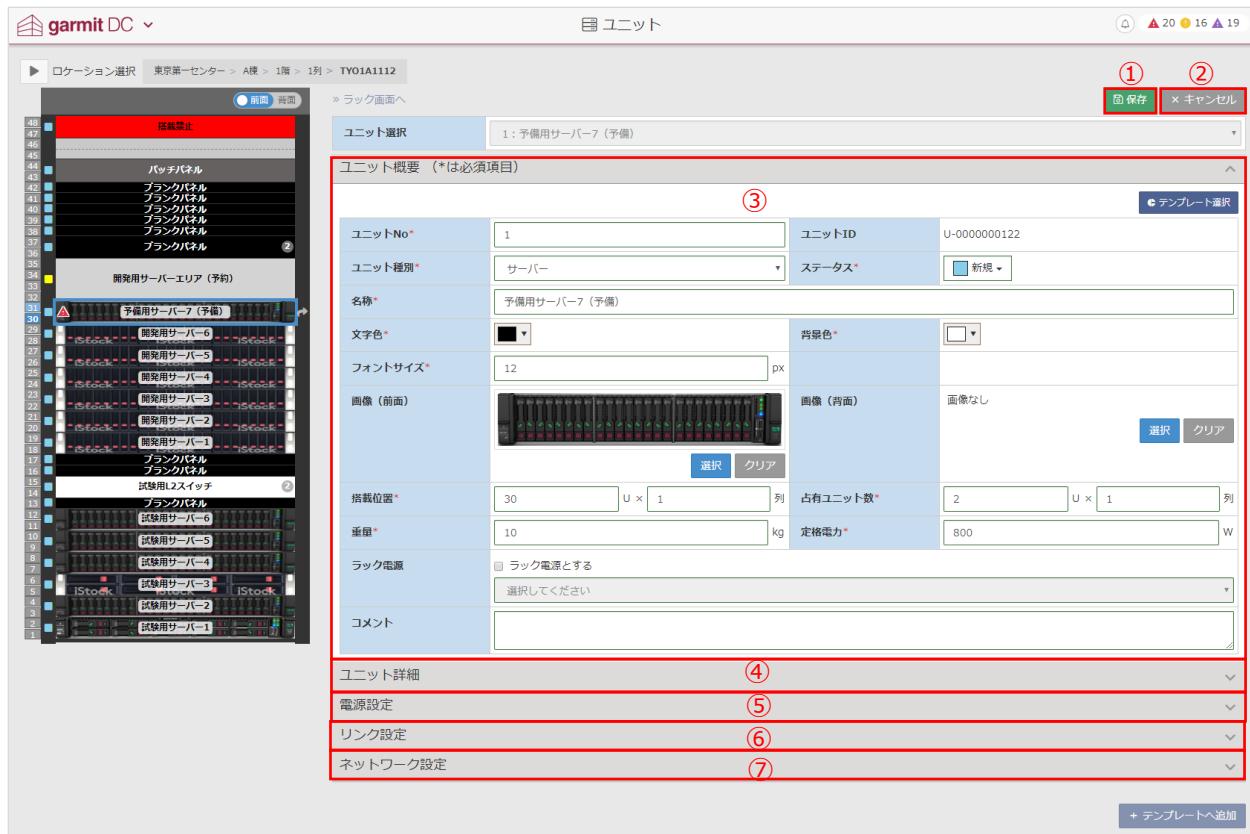


図 276 ユニット（編集モード）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	保存	編集内容を保存して参照モードに戻る		
2	キャンセル	編集内容を破棄して参照モードに戻る		
3	ユニット概要	ユニット概要（図 277）を編集する		
4	ユニット詳細	ユニット詳細（図 278）を編集する		
5	電源設定	電源設定（図 279）を編集する		
6	リンク設定	リンク設定（図 281）を編集する		
7	ネットワーク設定	ネットワーク設定（図 282）を編集する		

■表示

ユニット（参照モード）（図 275）で「編集」ボタンをクリックすると当該画面（図 276）を表示します。

■操作

ユニット概要、ユニット詳細、電源設定、リンク設定、ネットワーク設定についての操作方法は、次頁以降に記載します。

11.2.1 ユニット概要

■機能

ユニット詳細項目の表示・編集を行います。

ユニット概要 (*は必須項目)

ユニットNo*	1 ②	ユニットID	U-0000000001 ③	① テンプレート選択
ユニット種別*	サーバー ④	ステータス*	新規 ⑤	
名称*	開発用DBサーバー-01 ⑥			
文字色*	黒 ⑦	背景色*	白 ⑧	
フォントサイズ*	9 ⑨	px		
画像（前面）	 ⑩			画像（背面） ⑪ 選択 クリック⑫
搭載位置*	7 ⑯	U × 1 ⑰	列	占有ユニット数* 2 ⑯ U × 1 ⑰ 列
重量*	10 ⑯	kg ⑰		定格電力* 800 ⑯ W ⑰
ラック電源	ラック電源とする ⑲			選択してください ⑳
コメント	⑲			

図 277 ユニット概要

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	テンプレート選択	テンプレート選択画面を表示してテンプレートを選択する		
2	ユニット No	任意の数字を入力する	1～20	
3	ユニット ID	ユニット ID を表示する		
4	ユニット種別	ユニット種別を選択する		
5	ステータス	ユニットのステータスを選択する		
6	名称	ユニットの名称を入力する	32 文字以内	
7	文字色	文字色を選択する		
8	背景色	背景色を選択する		
9	フォントサイズ	表示するフォントサイズを入力する	6～72	
10	画像（前面）	選択中の画像を表示する 画像未選択の場合は「画像なし」と表示する		
11	選択	画像選択画面を表示して画像を選択する		
12	クリア	選択中の画像（前面）をクリアする		
13	画像（背面）	選択中の画像を表示する 画像未選択の場合は「画像なし」と表示する		
14	選択	画像選択画面を表示して画像を選択する		
15	クリア	選択中の画像（背面）をクリアする		
16	搭載位置（U）	搭載位置（U）を入力する	1～（搭載中ラックの U 数）	
17	搭載位置（列）	搭載位置（列）を入力する	1～（搭載中ラックの列数）	
18	占有ユニット数（U）	占有ユニット数（U）を入力する	1～（搭載中ラックの U 数）	
19	占有ユニット数（列）	占有ユニット数（列）を入力する	1～（搭載中ラックの列数）	
20	重量	搭載機器の重量を入力する	0～1000	
21	定格電力	搭載機器の定格電力を入力する	0～10000	
22	ラック電源とする	ラック電源としての設定可否を選択する		
23	ラック電源	ラック電源を選択する		
24	コメント	コメントを入力する	100 文字以内	

■表示

ユニット画面で「ユニット詳細」欄のタイトルをクリックすると、当該画面を表示します。

■操作

1. ユニット概要編集

下記の各項目を入力します。

・ユニット No.

制限範囲の数値を入力してください。

・ユニット ID

自動採番のため、編集はできません。

・ユニット種別

ユニット種別を選択してください。選択肢は、画像メンテナンス（[図 357](#)）で登録したユニット種別となります。

・ステータス

ステータスを選択してください。選択肢は以下の通りです。

ステータス：新規/予約/利用

※標準では上記 3 つの選択肢となっておりますが、ステータスの追加・削除のご要望があればお問合せください。

・名称

指定文字数内の文字列を入力してください。

・文字色/背景色

文字色および背景色をカラーパレットから選択します。

背景色は、ユニット画像を表示しない場合に、ラック搭載図に表示されます。



・フォントサイズ

ラック搭載図に表示する文字のフォントを指定します。

指定範囲の数値を入力してください。

・前面画像/背面画像

「選択」ボタンをクリックすると、画像選択画面（[図 284](#)）が表示されます。

画像選択画面で選択した画像が表示されます。

「クリア」ボタンをクリックすると、画像が未選択状態となります。

・搭載位置（U/行）

指定範囲の数値を入力してください。

・占有ユニット数（U/行）

指定範囲の数値を入力してください。

・重量

指定範囲の数値を入力してください。

・定格電力

指定範囲の数値を入力してください。

・ラック電源とする/ラック電源

選択したユニットをラック電源として使用する場合は、「ラック電源とする」にチェックを入れます。

「ラック電源とする」にチェックをいれると、搭載ラックのラック電源として登録した電源一覧が表示されます。

ラック電源として紐づける電源を選択してください。

・コメント

指定文字数の文字列を入力してください。

コメント欄に「#」+キーワードで入力すると、検索条件の「ハッシュタグ」として検索することができます。

2. テンプレート選択。

(1) 「テンプレート選択」ボタンをクリックすると、テンプレート選択画面（[図 285](#)）が表示されます。

(2) テンプレート選択画面で選択されたテンプレート内容が、ユニット概要およびユニット詳細、ポート数に反映されます。

11.2.2 ユニット詳細

■機能

ユニット詳細項目の表示・編集を行います。

ユニット詳細			
表示ページ	管理者		
(1)管理者	デンソーアーラム	(2)管理区分	社内管理
(3)管理係数	1.01	(4)管理担当者	03-3927-8801
(5)管理責任者	デンソーソリューションズ		

図 278 ユニット詳細

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	表示ページ	編集対象ページを選択する		
2	管理項目一覧	ユニットメンテナンスで設定した項目を表示する	項目の型によって異なる	ラック詳細と同様

■表示

ユニット画面で「ユニット詳細」欄のタイトルをクリックすると、当該画面（図 278）を表示します。

■操作

1. 編集

- (1) 編集対象のページを選択します。
- (2) 選択したページに設定された項目を入力します。

ここに表示される項目は、ユニットメンテナンスで設定された項目です。

各項目の入力制限に沿って入力してください。

※入力制限については、『10.2.2 ラック詳細』と同様です。ご参照ください。

11.2.3 電源設定

■機能

ユニットの電源設定の表示・編集を行います。

ラック電源	アウトレット番号	消費電力(W)	補正值	電力値(kVA)
R-0000000001-PS01	1	20	1.00000	0.020
R-0000000001-PS01	2	20	1.00000	0.020
R-0000000001-PS01	1	20	1.00000	0.020
R-0000000001-PS01	2	20	1.00000	0.020

図 279 電源一覧

ラック電源*	⑥ 1 : R-0000000001-PS01(100V10A)		
アウトレット数	⑦ 20(空き : 12)	アウトレット番号	⑧ 1
消費電力*	⑨ 20 W	補正值*	⑩ 1
電力値(kVA)	⑪ 0.020 kVA	⑫	⑬

図 280 電源編集

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	削除	ユニット電源一覧でチェック状態の電源を削除する		
2	追加	電源を新規追加する		
3	ユニット電源一覧	ユニットに紐づく電源を一覧表示する		
4	編集	電源編集画面を表示してユニット電源を編集する		
5	削除	ユニット電源を削除する		
6	ラック電源	ユニットに電源供給するラック電源を選択する		
7	アウトレット数	選択したラック電源の全アウトレット数および空きアウトレット数を表示する		※編集不可
8	アウトレット番号	当該ユニットに接続するアウトレット番号を選択する		
9	消費電力	当該ユニットの消費電力を入力する	0～10000	
10	補正值	補正值を入力する	0～1	※小数点以下5桁以内
11	電力値 (kVA)	消費電力と補正值の演算結果を表示する		
12	適用	編集内容をユニット電源一覧に適用する		
13	キャンセル	編集内容を破棄する		

■表示

ユニット画面で「電源設定」欄のタイトルをクリックすると、当該画面（図 279）を表示します。

■操作

1. 電源追加

- (1) 「追加」ボタンをクリックします。
- (2) 電源編集画面（図 280）が表示されるので必要な項目を入力します。

・ラック電源

搭載ラックに登録済みのラック電源一覧から、対象となる電源を選択します。

・アウトレット数（空き）

選択したラック電源の全アウトレット数と空きアウトレット数を表示します。※編集不可

・アウトレット番号

ユニットと紐づけるラック電源のアウトレット番号を選択します。

一覧には、空きアウトレット番号の一覧が表示されます。

・消費電力 (W)

指定範囲の数値を入力してください。単位は「W」です。

・補正值

指定範囲の数値を入力してください。0～1 の実数で入力可能です。

・電力値 (kVA)

入力した消費電力、補正值を使った計算値を表示します。 ※編集不可

計算式： (消費電力) × (補正值) × 0.001

(3) 「適用」ボタンをクリックすると、ユニット電源一覧に追加されます。

2. 電源編集

(1) 編集対象電源の「編集」ボタンをクリックします。

(2) 各項目を入力します。詳細は、<電源追加>と同様です。ご参照ください。

(3) 「適用」ボタンをクリックすると、変更がユニット電源一覧に反映されます。

3. 電源個別削除

(1) 削除対象電源行に表示されている「削除」アイコンをクリックすると、選択した電源情報が削除されます。

4. 電源一括削除

(1) 削除対象電源を選択します。

(2) 「削除」ボタンをクリックすると、選択した電源が全て削除されます。

※電源の追加、編集、削除はラック画面で「保存」ボタンをクリックするまでは DB に反映されません。

11.2.4 リンク設定

■機能

ユニットのリンク設定の表示・編集を行います。

削除	No.	タイトル*	URL*
<input type="checkbox"/>	1	製造元	http://www.kk-denso.co.jp/
<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	2	取扱説明書	http://example.co.jp/rack/manual.pdf

① 削除 **②** + 追加

図 281 リンク設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	タイトル	クリックランチャー上に表示する文字列を入力する	32 文字以内	
2	URL	参照先の URL を入力する	2083 文字以内	
3	削除	リンク設定一覧でチェックされたリンク設定情報を削除する		
4	追加	リンク設定情報を追加する		

■表示

ユニット画面で「リンク設定」欄のタイトルをクリックすると、当該画面（[図 281](#)）を表示します。

■操作

1. リンクの追加

- (1) 「追加」ボタンをクリックすると一番下に新しい行が追加されます。
- (2) タイトル、URL を入力します。

※最大 6 件まで追加可能です。

2. リンクの削除

- (1) 削除対象のリンクを選択します。
- (2) 「削除」ボタンをクリックすると、選択した電源情報が削除されます。

※リンクの追加、編集、削除はラック画面で「保存」ボタンをクリックするまでは DB に反映されません。

11.2.5 ネットワーク設定

■機能

ユニットのネットワーク設定の表示・編集を行います。

The screenshot shows the 'Network Settings' window with two main sections: 'Port List' and 'IP Address List'.

Port List Section:

- ① Port Count:** Displays '4'.
- ② Port Number:** Column header for port numbers 1, 2, and 3.
- ③ Port Name:** Column header for port names.
- ④ Connector Type:** Column header for connector types.
- ⑤ Delete:** Button to delete selected port.
- ⑥ Add:** Button to add a new port.
- ⑦ IP Address List Apply:** Button to apply IP address list changes.

削除	ポート番号	ポート名稱	コネクタ形状
	1	ポート1	RJ-45
	2	ポート2	RJ-45
⑤	3	ポート3	選択してください

IP Address List Section:

- ⑧ No.:** Column header for IP address numbers.
- ⑨ Type:** Column header for IP address types (IPv4).
- ⑩ Name:** Column header for IP address names.
- ⑪ IP Address:** Column header for IP addresses (192.168.0.1).
- ⑫ Subnet Mask:** Column header for subnet masks.
- ⑬ Default Gateway:** Column header for default gateways.
- ⑭ Port:** Column header for ports.
- ⑮ Delete:** Button to delete selected IP address.
- ⑯ Add:** Button to add a new IP address.

削除	No.	種別	名稱	IPアドレス	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ	ポート
	1	IPv4	アドレス1	192.168.0.1	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ	選択
⑮	2	IPv4	アドレス2	未定	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ	選択

図 282 ネットワーク設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ポート数	当該ユニットのネットワークポート数を入力する	0~100	
2	ポート番号	ポート番号を入力する	1~100	
3	ポート名称	ポートの名称を入力する	32 文字以内	
4	コネクタ形状	コネクタの形状を選択する		
5	削除	ポート一覧で選択中のポート情報を削除する		
6	追加	ポートを追加する		
7	IP アドレス一覧へ適用	削除対象の IP アドレス情報をチェックする		
8	No.	自動採番の連番を表示する		
9	種別	ネットワークアドレス種別を選択する		
10	名称	IP アドレスの名称を入力する	32 文字以内	
11	IP アドレス	IP アドレスを入力する	64 文字以内	
12	サブネットマスク	サブネットマスクを入力する	64 文字以内	
13	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力する	64 文字以内	
14	ポート	IP アドレスを紐づけるためのポートを選択する		
15	削除	IP アドレス一覧で選択中のアドレス情報を削除する		
16	追加	IP アドレスを追加する		

■表示

ユニット画面で「ネットワーク設定」欄のタイトルをクリックすると、当該画面（図 282）を表示します。

■操作

1. ポート数入力

(1) 選択したユニットのポート数を、指定範囲の数値で入力してください。

2. ポート追加

(1) ポート一覧の「追加」ボタンをクリックすると、一覧の最下部に新しい行が追加表示されます。

(2) 各項目を入力します。

・ポート番号

指定範囲の数値を入力してください。

※ポート数に入力した値まで追加できます。

・名称

指定文字数内の文字列を入力してください。

・コネクタ形状

コネクタ形状を選択してください。

※コネクタ形状の選択肢については導入前に必要な選択肢をインタビューします。

3. ポート削除

(1) 削除対象のポートを選択します。

(2) ポート一覧の「削除」ボタンをクリックすると、選択したポートが削除されます。

4. IP アドresse一覧への適用

(1) ポート一覧でポート数、ポート番号などを変更すると、「IP アドresse一覧へ適用」ボタンが有効となりますので、クリックします。

本操作により、IP アドresse登録時に選択するポート番号に反映されます。

5. IP アドレス追加

(1) IP アドレステーブルの「追加」ボタンをクリックすると、一覧の最下部に新しい行が追加表示されます。

(2) 各項目を入力します。

・No.

自動採番のため、編集はできません。

・種別

種別を選択します。選択肢は、以下の通りです。

種別：Ipv4/Ipv6

・名称

指定文字数内の文字列を入力してください。

・IP アドレス/サブネットマスク/サブネットマスク

指定文字数内の文字列を入力してください。

・ポート番号

IP アドレスに割り振るポート番号を選択してください。

選択肢は、ポート一覧に追加したポート番号となります。

※最大 100 件まで登録できます。

6. IP アドレス削除

(1) 削除対象の IP アドレスを選択します。

(2) IP アドレステーブルの「削除」ボタンをクリックすると、選択した IP アドレス情報が削除されます。

11.3 ユニット画像表示設定

■ 機能

ラック搭載図に表示するユニットの設定を行います。

表示設定

前面ユニット	② 選択してください	背面ユニット	③ 選択してください
<input checked="" type="checkbox"/> 独自設定とする <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>名称（前面）*</p> <p>④ WEBサーバー</p> <p>文字色*</p> <p>⑥ ■</p> <p>フォントサイズ*</p> <p>⑧ 12 px</p> <p>画像（前面）</p> <p>⑨ </p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>名称（背面）*</p> <p>⑤ WEBサーバー</p> <p>背景色*</p> <p>⑦ □</p> <p>画像（背面）</p> <p>⑪ </p> </div> </div>			
<div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> ⑩ 選択 ⑪ クリア ⑫ 選択 ⑬ クリア </div>			
⑭ 保存 ⑮ キャンセル			

図 283 表示設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	独自設定とする	ラック搭載図のユニットの表示を独自に設定するかどうかをチェックする		
2	前面ユニット	ラック搭載図の前面に表示するユニットを選択する		※独自設定としないときに編集可
3	背面ユニット	ラック搭載図の背面に表示するユニットを選択する		※独自設定としないときに編集可
4	名称（前面）	ラック搭載図の前面に表示するユニットの名称を入力する	32 文字以内	
5	名称（背面）	ラック搭載図の背面に表示するユニットの名称を入力する	32 文字以内	
6	文字色	文字色を選択する		
7	背景色	背景色を選択する		
8	フォントサイズ	フォントサイズを入力する	6~72	
9	画像（前面）	選択中の画像を表示する 画像未選択の場合は「画像なし」と表示する		
10	選択	画像選択画面を表示して画像を選択する		
11	クリア	選択中の画像（前面）をクリアする		
12	画像（背面）	選択中の画像を表示する 画像未選択の場合は「画像なし」と表示する		
13	選択	画像選択画面を表示して画像を選択する		
14	クリア	選択中の画像（背面）をクリアする		
15	保存	編集内容を保存し、画面を消去する		
16	キャンセル	編集内容を破棄し、画面を消去する		

■表示

ユニット（参照モード）（[図 276](#)）で「表示設定」ボタンをクリックすると、当該画面（[図 283](#)）を表示します。

■操作

- 各項目を入力します。

・前面ユニット/背面ユニット

登録済みのユニット名称が選択肢としてリスト表示されるので、ラック搭載図に表示するユニット名称を選択してください。

※「独自設定とする」チェックが OFF の場合のみ、編集可能です。

・名称（前面）/名称（背面）

ラック搭載図に表示するユニット名称を入力します。

制限文字数内の文字列を入力してください。

・文字色/背景色

文字色および背景色をカラーパレットから選択します。

背景色は、ユニット画像を表示しない場合に、ラック搭載図に表示されます。



・フォントサイズ

ラック搭載図に表示する文字のフォントを指定します。

指定範囲内の数値を入力してください。

・画像（前面） / 画像（背面）

「選択」ボタンをクリックすると、画像選択画面（[図 284](#)）が表示されます。

画像選択画面で選択した画像が表示されます。

「クリア」ボタンをクリックすると、画像が未選択状態となります。

2. 「適用」ボタンをクリックすると、当該画面を閉じ、ユニット画面に選択した画像が反映されます。

11.4 画像選択

■機能

ユニット画面に表示する画像を選択します。



図 284 画像選択画面

■表示

ユニット画面で、画像の「選択」ボタンをクリックすると、当該画面（図 284）が表示されます。

初期表示は、登録済みの画像一覧が 1 ページ 10 件ずつ表示されます。

■操作

1. 画像絞り込み

- (1) 画像一覧のタイトル（ユニット種別、名称、ファイル名、画像、前面/背面）でキーワードを入力もしくは選択します。
- (2) 入力もしくは選択したキーワードに該当する画像一覧が絞り込まれた状態で表示されます。

2. 画像選択

- (1) 画像一覧から画像を選択し、「適用」ボタンをクリックすると、ユニット画面に反映されます。

11.5 テンプレート選択

■機能

ラックおよびユニットのテンプレートを選択し、概要・詳細（ユニットの場合はポート数）をテンプレートの値で入力します。



図 285 テンプレート選択画面

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索条件	検索条件を指定する		※画面によって指定可能な検索条件が異なる
2	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		※選択した検索条件によって入力方法が異なる
3	クリア	検索条件を削除する		
4	追加	検索条件を追加表示する		
5	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
6	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
7	テンプレート一覧	検索条件に該当するポイントを一覧表示する チェック状態で選択/未選択を切り替える		
8	適用	当該画面を閉じ、選択したテンプレート情報を呼び出し元の画面に反映する		
9	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

ラック画面もしくはユニット画面の「テンプレート選択」ボタンをクリックすると、当該画面（図 285）が表示されます。

■操作

1. テンプレート情報を検索します。

(1) 検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックします。

(2) 該当するテンプレート情報を、検索結果として一覧表示します。

該当するテンプレート情報がない場合は、その旨メッセージ表示します。

※ラック画面から呼び出された場合は、ラックのテンプレート情報が検索対象となります。

※ユニット画面から呼び出された場合は、ユニットのテンプレート情報が検索対象となります。

2. テンプレートを選択します。

(1) テンプレート一覧からテンプレートを選択し、「適用」ボタンをクリックすると、呼出元画面にテンプレートの値が反映されます。

12 アセット/ユニット移動

■機能

ユニットを移動します。

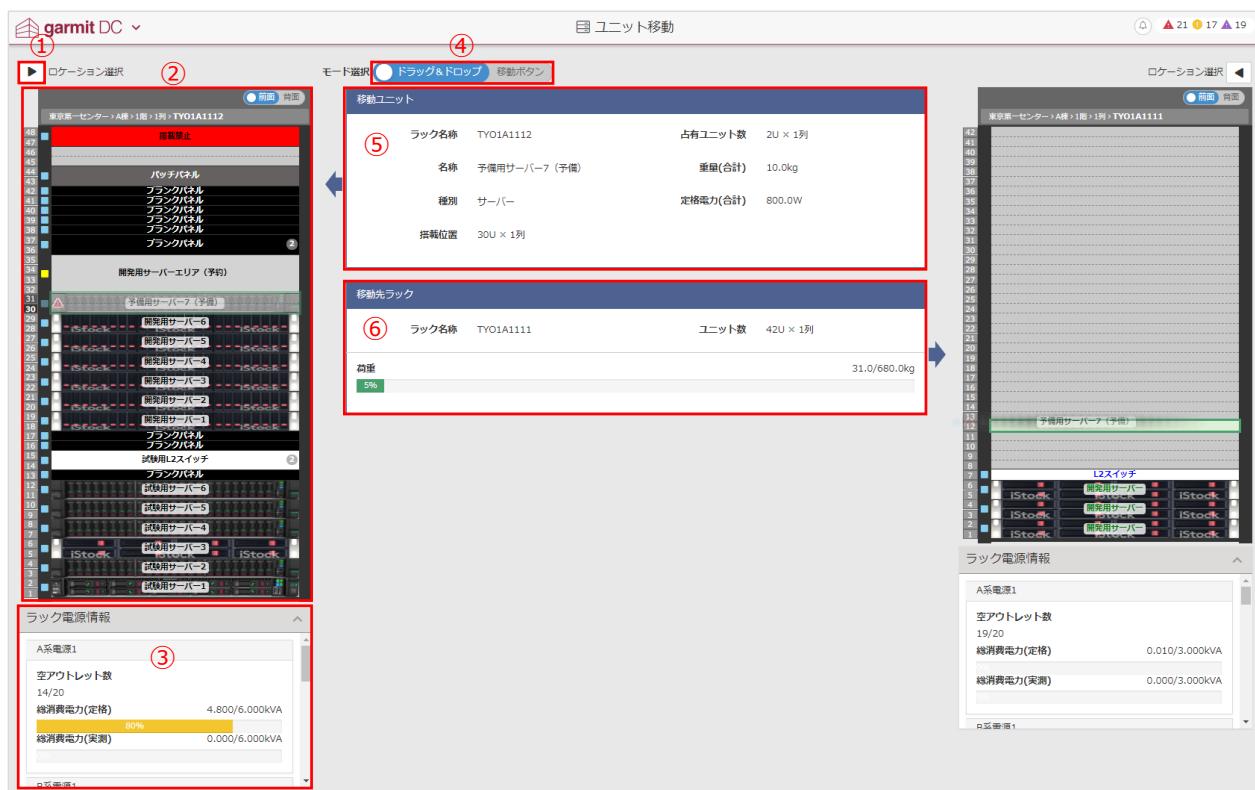


図 286 ユニット移動（ドラッグ&ドロップモード）

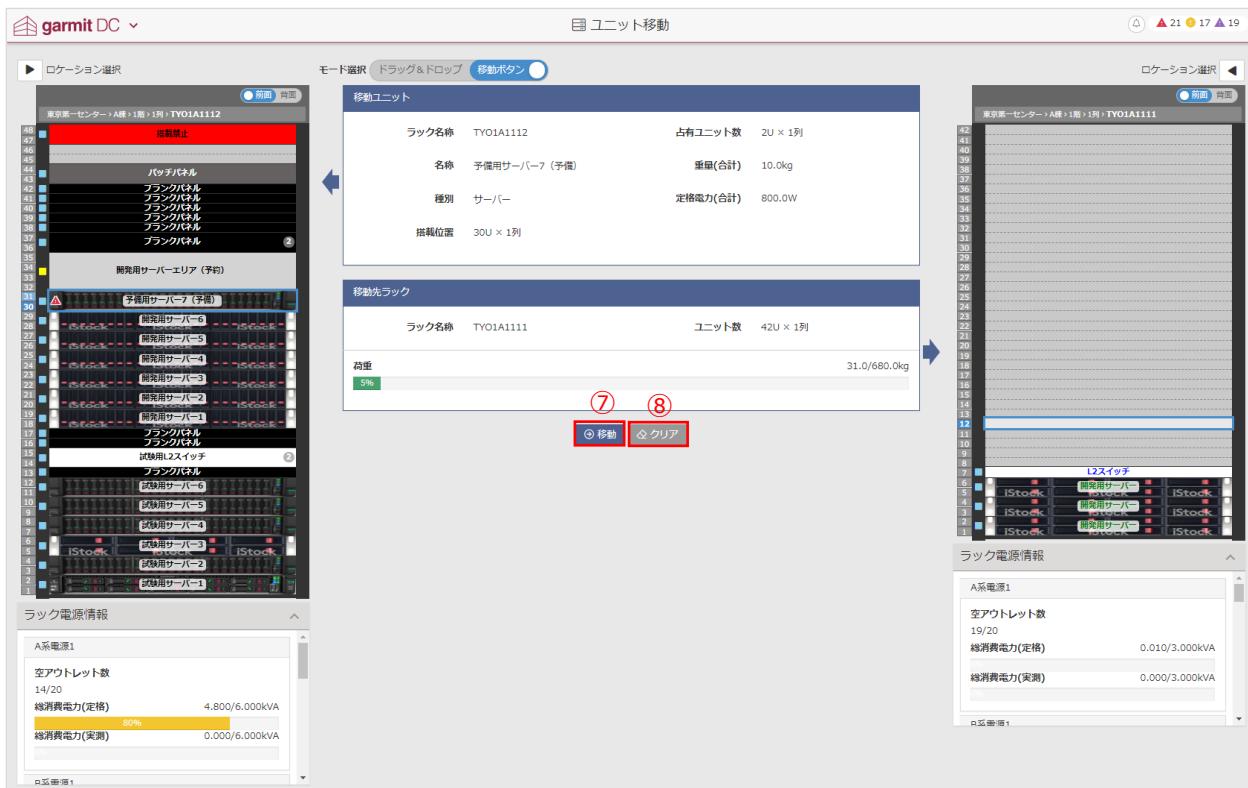


図 287 ユニット移動（移動ボタンモード）

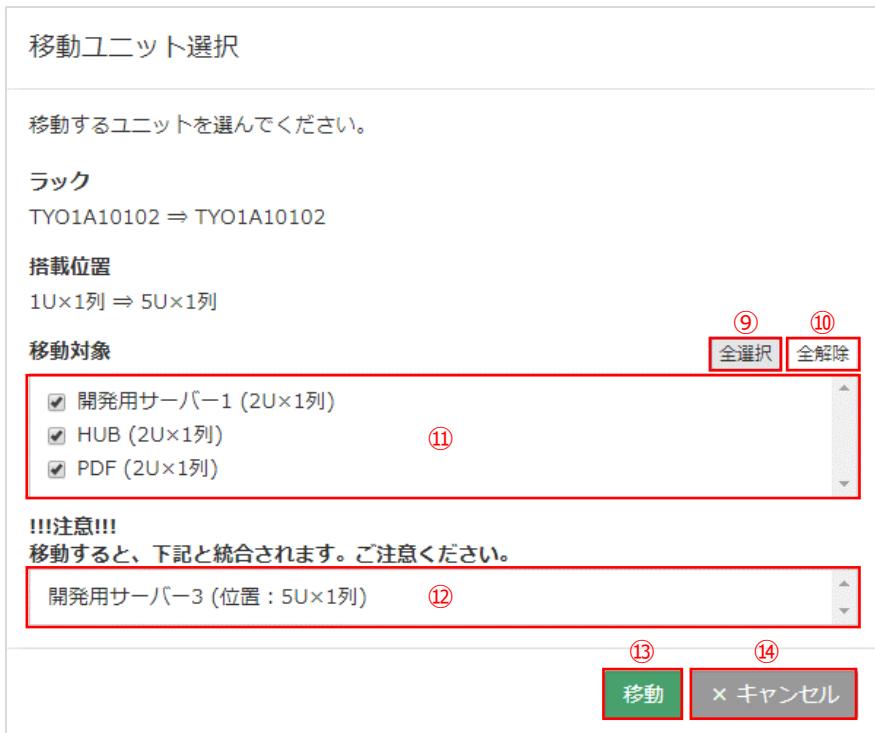


図 288 移動ユニット選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ロケーション選択	ロケーション選択ツリーを表示してロケーションを選択する		
2	ラック搭載図	選択したロケーション（ラック）の搭載図を表示する		
3	ラック電源情報	選択したロケーション（ラック）に紐づく電源情報を表示する		
4	移動モード選択	ユニットの移動方法を切り替える		
5	移動ユニット情報	移動対象ユニットの情報を表示する		
6	移動先ラック情報	移動先ラックの情報を表示する		
7	移動	移動ユニット選択画面を表示する		※移動モードが「移動ボタン」のときのみ表示
8	クリア	ユニット選択状態を解除する		※移動モードが「移動ボタン」のときのみ表示
9	全選択	移動対象を全選択する		
10	全解除	移動対象の選択を全て解除する		
11	移動対象	移動するユニットを選択する		
12	統合ユニット	移動先で統合されるユニットを表示する		
13	移動	移動対象で選択したユニットを移動する		
14	キャンセル	当該画面を破棄する		

■表示

メインメニューから、「アセット」>「ユニット移動」を選択すると、当該画面を表示します。

■操作

1. ユニット移動

(1) ロケーション選択で移動したいユニットが搭載されているラックおよび、移動先のラックを選択します。

※どちらが接続元、接続先でも移動できます。

※同じラック内で移動する場合には、左右で同じラックを選択してください。

(2) 移動モードが「ドラッグ＆ドロップ」の場合、移動したいユニットを移動先ラックの搭載する位置までドラッグします。

移動モードが「移動ボタン」の場合、移動したいユニットを選択してから移動先ラックの搭載する位置を選択し、

「移動」ボタンをクリックします。

(3) 移動ユニット選択画面が表示されるので、移動対象をチェックして「移動」ボタンをクリックします。

(4) 移動完了メッセージが表示されます。「ユニット画面へ」ボタンをクリックすると移動先のユニット画面へ遷移します。



図 289 保存完了メッセージ

13 アセット/テンプレート

■機能

ラック・ユニットのテンプレートの一覧を表示します。



図 290 テンプレート

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	出力対象	出力対象を選択する	ラック/ユニット	
2	検索条件	検索条件を指定する	テンプレート名称/ テンプレートメモ	
3	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
4	条件削除	検索条件を削除する		
5	条件追加	検索条件を追加表示する		
6	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
7	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
8	削除	テンプレート一覧でチェックを入れたテンプレートを削除する		
9	表示設定	表示設定画面を表示し、テンプレート一覧画面に表示する項目を設定する		
10	レポート出力	表示中のテンプレート一覧を CSV 出力する		
11	テンプレート一覧	検索条件に該当するテンプレートを一覧表示する		
12	削除	テンプレートを削除する		

■表示

メインメニューから、「アセット」>「テンプレート」を選択すると、当該画面（[図 290](#)）を表示します。

■操作

1. テンプレート検索

検索条件を指定して「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当するテンプレートの一覧が表示されます。

※検索方法の詳細は、『[5.2.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. テンプレートの削除

削除したいテンプレートの「削除」ボタンをクリックします。

3. テンプレートの一括削除

(1) 削除したいテンプレートにチェックを入れます。

(2) テンプレート一覧の左上の「削除」ボタンをクリックします。

4. 表示設定

(1) 「表示設定」ボタンをクリックして表示設定画面を表示します。

(2) 非表示項目、表示項目を設定します。

※設定方法の詳細は、『[6.2 表示設定](#)』と同様です。ご参照ください。

5. レポート出力

「レポート出力」ボタンをクリックすると、一覧に表示されている内容が CSV 形式でファイルに出力されます。

14 操作/電気錠

14.1 電気錠操作

■機能

電気錠の施錠/開錠命令を登録します。

The screenshot shows the garmit DC software interface for managing electric locks. The main window title is "garmit DC" and the sub-tab is "電気錠".

Top Bar:

- ① "電気錠マップ" button
- ② Search condition dropdown menu
- ③ Search input field
- ④ "更新" (Update) button
- ⑤ "新規登録" (New Registration) button
- ⑥ "条件をクリア" (Clear Conditions) button
- ⑦ "検索" (Search) button

Rack List Area:

- ⑧ "開錠" (Unlock) button
- ⑨ "施錠" (Lock) button
- ⑩ "件を表示" (Number of items to display) dropdown
- ⑪ "選択" (Select) checkbox
- ⑫ "編集" (Edit) button
- ⑬ "表示設定" (Display Settings) button
- ⑭ "レポート出力" (Report Output) button
- ⑮ "更新" (Update) button

ラック名	ステータス	ロケーション	所属
TYO1A10101	前面：LOCK 背面：LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101	システム管理 読取専用グループ（システム管理者）...
TYO1A10102	前面：LOCK 背面：LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102	システム管理 読取専用グループ（システム管理者）...
TYO1A10103	▲異常	前面：ERROR	システム管理 読取専用グループ（システム管理者）...
TYO1A10104	前面：LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10104	システム管理 読取専用グループ（システム管理者）...
TYO1A10105	UNLOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10105	システム管理 読取専用グループ（システム管理者）...
TYO1A10106	前面：LOCK 背面：LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10106	システム管理 読取専用グループ（システム管理者）...
TYO1A10107	前面：UNLOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10107	システム管理 読取専用グループ（システム管理者）...
TYO1A10108	前面：LOCK 背面：LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10108	システム管理 読取専用グループ（システム管理者）...
TYO1A10109	前面：LOCK 背面：LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10109	システム管理 読取専用グループ（システム管理者）...
TYO1A10110	前面：LOCK	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10110	システム管理 読取専用グループ（システム管理者）...

359 件中 1 から 10 までを表示

図 291 電気錠操作

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	電気錠マップへ	電気錠マップ画面へ遷移する		
2	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション/所属	
3	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
4	条件削除	検索条件を削除する		
5	条件追加	検索条件を追加表示する		
6	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
7	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
8	開錠	開錠対象選択画面を表示する		
9	施錠	施錠対象選択画面を表示する		
10	ラック一覧	検索結果に該当する電気錠ラック情報を一覧表示する		
11	開錠	開錠対象選択画面を表示する		
12	施錠	施錠対象選択画面を表示する		
13	手動更新	手動で表示更新する		
14	表示設定	表示設定画面を表示する		
15	レポート出力	ラック一覧に表示している内容を CSV 出力する		

■表示

メインメニューから、「操作」>「電気錠」を選択すると、当該画面（図 291）を表示します。

■操作

1. ラック検索

検索条件を指定して「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当するラックの一覧が表示されます。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. ラックの開錠

- (1) 開錠するラックの行の「開錠」アイコンをクリックする、もしくは開錠するラック（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「開錠」ボタンをクリックします。
- (2) 開錠対象選択画面が表示される。
- (3) 開錠目的を選択する（任意）。
- (4) メモを入力する（任意）。
- (5) 選択中のラックが前面/背面別操作ラックの場合は開錠対象を選択する。
- (6) 「開錠」ボタンをクリックする。

3. ラックの施錠

- (1) 施錠するラックの行の「施錠」アイコンをクリックする、もしくは施錠するラック（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「施錠」ボタンをクリックします。
- (2) 施錠対象選択画面が表示される。
- (3) メモを入力する（任意）。
- (4) 選択中のラックが前面/背面別操作ラックの場合は施錠対象を選択する。
- (5) 「施錠」ボタンをクリックする。

4. 表示設定

- (1) 「表示設定」ボタンをクリックして表示設定画面を表示します。
- (2) 非表示項目、表示項目を設定します。

※設定方法の詳細は、『[6.2 表示設定](#)』と同様です。ご参照ください。

5. レポート出力

「レポート出力」ボタンをクリックすると、一覧に表示されている内容が CSV 形式でファイルに出力されます。

14.2 開錠対象選択

■機能

開錠対象を選択して開錠命令を登録します。

図 292 開錠対象選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	開錠目的	開錠目的を選択する		
2	開錠目的追加	開錠目的編集画面を表示して開錠目的を新規登録する		
3	開錠目的編集	開錠目的編集画面を表示して開錠目的を編集する		
4	開錠目的削除	選択中の開錠目的を削除する		
5	詳細項目	開錠時の詳細項目を入力する		事前登録が必要 ※印のついているものは必須項目
6	メモ	開錠時のメモを入力する	300 文字以内	
7	開錠対象	開錠対象を選択する	前面/背面	
8	開錠	選択中のラックを開錠する		
9	キャンセル	当該画面を消去する		

■表示

電気錠操作画面で「開錠」アイコンまたは「開錠」ボタンをクリックすると、当該画面（

 292) を表示します。

■操作

1. 開錠

- (1) 開錠目的を選択します（任意）。
- (2) 詳細項目を入力します。 ※設定によっては必須
- (3) メモを入力します（任意）。
- (4) 選択中のラックに前面/背面別操作ラックがある場合は、施開錠対象を選択します。
- (5) 「開錠」ボタンをクリックします。

2. 開錠目的の追加・編集

- (1) 開錠目的欄の「追加」ボタンをクリックします。
- (2) 開錠目的編集画面が表示されるので、開錠目的を入力して「保存」をクリックします。

3. 開錠目的の編集

- (1) 編集したい開錠目的を選択して、「編集」ボタンをクリックします。
- (2) 開錠目的編集画面が表示されるので、開錠目的を入力して「保存」をクリックします。

4. 開錠目的の削除

削除したい開錠目的を選択して、「削除」ボタンをクリックします。

15 コンシューマー

15.1 コンシューマー一覧

■機能

コンシューマー情報の追加、編集、削除を行います。

The screenshot shows the garmit software interface for managing consumers. At the top, there's a header with the garmit logo and a search bar labeled 'コンシューマー'. Below the header is a toolbar with several icons. The main area is a table titled 'コンシューマー一覧' (Consumer List) showing four rows of consumer data. Each row includes edit and delete buttons. The table has columns for Consumer ID, Name, Location, Type, Address, Contract Date, Area, and Lighting/Air Conditioning/Cubicicle. A search bar at the bottom allows filtering by name.

Numbered callouts point to specific UI elements:

- (1) + 新規登録 (New Registration)
- (2) 検索条件 (Search Conditions)
- (3) 検索 (Search)
- (4) ▲ (Up arrow)
- (5) + (Add)
- (6) (Edit)
- (7) (Delete)
- (8) + (Add)
- (9) × 条件をクリア (Clear Conditions)
- (10) Q 検索 (Search)
- (11) 編集 (Edit)
- (12) 削除 (Delete)
- (13) 表示設定 (Display Settings)
- (14) レポート出力 (Report Output)
- (15) 件を表示 (Show Items)

図 293 コンシューマー一覧

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	新規登録	コンシューマー情報を新規登録する		
2	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション/コンシューマー	
3	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
4	条件削除	検索条件を削除する		
5	条件追加	検索条件を追加表示する		
6	検索条件詳細	コンシューマーで設定した項目を検索条件として指定する		
7	条件削除	検索条件詳細を削除する		
8	条件追加	検索条件詳細を追加する		
9	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
10	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
11	編集	選択中のコンシューマー情報を編集する		
12	削除	選択中のコンシューマー情報を削除する		
13	コンシューマー一覧	検索結果に該当するコンシューマー情報を一覧表示する		
14	表示設定	表示設定画面を表示する		
15	レポート出力	コンシューマー一覧に表示している内容を CSV 出力する		

■表示

メインメニューから、「コンシューマー」を選択すると、当該画面（図 293）を表示します。

■操作

1. コンシューマー検索

検索条件を指定して「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当するコンシューマーの一覧が表示されます。

※検索方法の詳細は、『[5.2.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. コンシューマーの追加

(1) 「新規登録」ボタンをクリックします。

(2) コンシューマー編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

3. コンシューマーの編集

(1) 編集するコンシューマーの行の「編集」アイコンをクリックする、もしくは編集するコンシューマー（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「編集」ボタンをクリックします。

(2) コンシューマー編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

4. コンシューマーの削除

(1) 削除したいコンシューマーの行の「削除」アイコンをクリックする、もしくは削除するコンシューマー（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「削除」ボタンをクリックします。

5. 表示設定

- (1) 「表示設定」ボタンをクリックして表示設定画面を表示します。
- (2) 非表示項目、表示項目を設定します。

※設定方法の詳細は、『[6.2 表示設定](#)』と同様です。ご参照ください。

6. レポート出力

「レポート出力」ボタンをクリックすると、一覧に表示されている内容が CSV 形式でファイルに出力されます。

15.2 コンシューマー編集

■機能

コンシューマー情報を編集します。

図 294 コンシューマー編集

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	コンシューマー名称	コンシューマー名称を入力する	200 文字以内	
2	ロケーション	ロケーションを表示する		
3	ロケーション選択	ロケーション選択画面（図 398）を表示してロケーションを選択する		
4	コンシューマー詳細項目	コンシューマーメンテナンスで設定した項目を編集する	項目の型によって異なる	
5	保存	編集内容を保存してコンシューマー覧画面に戻る		
6	キャンセル	編集内容を破棄してコンシューマー覧画面に戻る		

■表示

コンシューマー一覧画面で「新規登録」ボタンまたは「編集」ボタンをクリックすると、当該画面（[図 294](#)）を表示します。

■操作

1. コンシューマー編集

(1) 各項目を入力します。

・コンシューマー名称

指定文字数内の文字列を入力してください。

・ロケーション

コンシューマーを紐づけるロケーションを選択してください。

「ロケーション選択」ボタンをクリックすると、ロケーション選択画面（[図 398](#)）が表示されます。

※ロケーション選択画面の操作方法は、『[52.2 ロケーション選択](#)』をご参照ください。

・コンシューマー詳細項目

コンシューマー詳細項目を入力します。

ここに表示される項目は、コンシューマーメンテナンスで設定された項目です。

各項目の入力制限に沿って入力してください。

※入力制限については、『[10.2.2 ラック詳細](#)』と同様です。ご参照ください。

2. コンシューマー情報を保存します。

(1) 入力不備がなければ、「保存」ボタンが有効となりますので、「保存」ボタンをクリックします。

(2) 保存完了すると、コンシューマー一覧に反映されます。

16 回線管理/案件

16.1 案件一覧

■機能

案件情報の追加、編集を行います。

The screenshot shows the '案件' (Case) list screen in the garmit application. At the top, there is a header with the garmit logo and a search bar. Below the header, there are several search condition fields, each with a red box around it. A large blue button labeled '+ 新規登録' (New Registration) is highlighted with a red box. On the right side of the search area, there are buttons for clearing conditions (条件をクリア), searching (検索), and a refresh icon. Below the search area is a table titled '案件一覧' (Case List) with 15 numbered callouts pointing to various UI elements. The table has columns for Case ID, Work Type, Work Number, Reception Date, User Name, Responsible Person, Completion Date, Call Date, Termination Date, and Work Conference Date. The first three rows of the table are highlighted with a red box. At the bottom of the table, there is a message indicating 3 items are displayed from 1 to 3, and a navigation bar with arrows.

案件ID	工事種別	工事番号	受付年月日	ユーザー名	担当者名	工事完了希望日	開通日	廃止日	工事立会日
1	新設	DEN-20001	2020/08/11	サンプルユーザー	デンソー太郎	2020/08/31	2020/09/01		2020/08/31
2	新設	DEN-20002	2020/08/11	サンプルユーザー	デンソー太郎	2020/09/30			
3	新設	DEN-20003	2020/09/01	サンプルユーザー	デンソー太郎	2020/09/30	2020/10/01		2020/09/30

図 295 案件一覧

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	新規登録	案件情報を新規登録する		
2	検索条件	検索条件を指定する	工事種別/工事番号/回線種別/回線名/ロケーション/回線 ID	
3	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
4	条件削除	検索条件を削除する		
5	条件追加	検索条件を追加表示する		
6	検索条件詳細	案件で設定した項目を検索条件として指定する		
7	条件削除	検索条件詳細を削除する		
8	条件追加	検索条件詳細を追加する		
9	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
10	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
11	編集	選択中の案件情報を編集する		
12	案件一覧	検索結果に該当する案件情報を一覧表示する		
13	出力種別	レポートの種別を選択する	案件のみ/まとめて出力/分けて出力	
14	表示設定	表示設定画面を表示する		
15	レポート出力	案件一覧に表示している内容を CSV 出力する		

■表示

メインメニューから、「回線管理」>「案件」を選択すると、当該画面（図 295）を表示します。

■操作

1. 案件検索

検索条件を指定して「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当する案件の一覧が表示されます。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. 案件の追加

- (1) 「新規登録」ボタンをクリックします。
- (2) 案件編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

3. 案件の編集

- (1) 編集する案件の行の「編集」アイコンをクリックする、もしくは編集する案件（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「編集」ボタンをクリックします。
- (2) 案件編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

4. 表示設定

- (1) 「表示設定」ボタンをクリックして表示設定画面を表示します。

(2) 非表示項目、表示項目を設定します。

※設定方法の詳細は、『[6.2 表示設定](#)』と同様です。ご参照ください。

5. 回線表示

一覧に表示されている「回線」ボタンをクリックすると、回線一覧画面が表示されます。



図 296 回線一覧

6. レポート出力

出力種別を選択し、「レポート出力」ボタンをクリックすると、表示中の一覧を CSV ファイルに出力します。

出力種別については、以下の通りです。

- ・案件のみ...案件情報一覧のみ CSV ファイルに出力します。
- ・まとめて出力...案件一覧画面に表示している情報と付随する情報を 1 つの CSV ファイルに出力します。
- ・分けて出力...案件一覧画面に表示している情報と付随する情報を別の CSV ファイルに出力します。

16.2 案件編集

■機能

案件情報を編集します。

案件概要

工事種別 :	新設 (1)	変更	撤去
工事番号*	DEN-20002 (2)	受付年月日*	2020/08/11 (3)
ユーザー名*	サンプルユーザー (4)	担当者*	デンソー太郎 (5)
工事完了希望日*	2020/09/30 (6)	開通年月日	YYYY/MM/DD (7)
備考	(9)		

詳細情報

表示ページ	ページ1 (10)
(1)項目1-1 (文字列)	(2)項目1-2 (整数)
(3)項目1-3 (日付)	yyyy/MM/dd (11)
(4)項目1-4 (実数)	0.0
(5)項目1-5 (選択肢)	(6)項目1-6 (複数行)

回線情報

回線種別*	NGNアクセス (12)	通信速度	5 (13) bps	回線数*	1 (14)																								
回線	(15)新規 (16)複数 (17)削除 (18)	件を表示																											
<table border="1"><thead><tr><th>回線ID</th><th>回線名</th><th>ロケーション</th><th>ワイア</th><th>局入線番</th><th>IDF線番1</th><th>IDF線番2</th><th>IDF線番3</th><th>IDF線番4</th><th>IDF線番5</th><th>IDF線番6</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>03-9876-5432</td><td>回線</td><td>センター 1F 電算室1-1 ラック EYC1102</td><td></td><td>局入(メタル)-0002</td><td>IDF3-2-1-0002</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>						回線ID	回線名	ロケーション	ワイア	局入線番	IDF線番1	IDF線番2	IDF線番3	IDF線番4	IDF線番5	IDF線番6	備考	03-9876-5432	回線	センター 1F 電算室1-1 ラック EYC1102		局入(メタル)-0002	IDF3-2-1-0002						
回線ID	回線名	ロケーション	ワイア	局入線番	IDF線番1	IDF線番2	IDF線番3	IDF線番4	IDF線番5	IDF線番6	備考																		
03-9876-5432	回線	センター 1F 電算室1-1 ラック EYC1102		局入(メタル)-0002	IDF3-2-1-0002																								
1 件中 1 から 1 までを表示																													

図 297 案件編集

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	工事種別	工事種別を選択する	新規/変更/撤去	新規登録時のみ編集可
2	工事番号	工事番号を入力する	20 文字以内	
3	受付年月日	受付年月日を入力する		
4	ユーザー名	ユーザー名を入力する	32 文字以内	
5	担当者	担当者を入力する	32 文字以内	
6	工事完了希望日	工事完了希望日を入力する		
7	開通年月日（廃止年月日）	開通年月日（廃止年月日）を入力する		工事種別が「新規」の場合は開通年月日、「撤去」の場合は廃止年月日 工事種別が「変更」の場合は非表示
8	工事立会日	工事立会日を入力する		
9	備考	備考を入力する	1000 文字以内	
10	表示ページ	編集対象ページを選択する		
11	管理項目一覧	案件メンテナンスで設定した項目を表示する	項目の型によって異なる	
12	回線種別	回線種別を選択する		
13	通信速度	通信速度を入力する	20 文字以内	
14	回線数	回線数を入力する	0~100	
15	編集	選択行の回線詳細画面を表示して、回線を編集する		
16	削除	選択行の回線を削除する		
17	追加	回線選択画面を表示して、回線を追加する		
18	回線一覧	回線一覧を表示する		
19	保存	編集内容を保存して案件一覧画面に戻る		
20	キャンセル	編集内容を破棄して案件一覧画面に戻る		

■表示

案件一覧画面で「新規登録」ボタンまたは「編集」ボタンをクリックすると、当該画面（図 296）を表示します。

■操作

1. 案件編集

(1) 各項目を入力します。

・工事種別

工事種別を選択してください。選択肢は以下の通りです。

種別：新規/変更/撤去

・工事番号

指定文字数内の文字列を入力してください。

・受付年月日

受付年月日を入力してください。

・ユーザー名

指定文字数内の文字列を入力してください。

・担当者

指定文字数内の文字列を入力してください。

・工事完了希望日

工事完了希望日を入力してください。

・開通年月日（廃止年月日）

開通年月日（廃止年月日）を入力してください。

・工事立会日

工事立会日を入力してください。

・備考

指定文字数内の文字列を入力してください。

・詳細情報

案件詳細項目を入力します。

ここに表示される項目は、案件メンテナンスで設定された項目です。

各項目の入力制限に沿って入力してください。

※入力制限については、『[10.2.2 ラック詳細](#)』と同様です。ご参照ください。

・回線種別

回線種別を選択してください。

・通信速度

指定文字数内の文字列を入力してください。

・回線数

指定範囲内の数値を入力してください。

2. 回線の追加

(1) 回線一覧の「追加」ボタンをクリックします。

(2) 回線詳細画面が表示されるので、項目を編集して「適用」ボタンをクリックします

※詳細は、『[16.3 回線詳細](#)』をご参照ください。

3. 回線の編集

(1) 編集したい回線の「編集」アイコンをクリックします。

(2) 回線詳細画面が表示されるので、項目を編集して「適用」ボタンをクリックします。

※詳細は、『[16.3 回線詳細](#)』をご参照ください。

4. 回線の削除

削除したい回線の「削除」アイコンをクリックするか、チェックを入れて回線一覧の左上にある「削除」ボタンをクリックします。

5. 案件情報の保存

(1) 入力不備がなければ、「保存」ボタンが有効となりますので、「保存」ボタンをクリックします。

(2) 保存確認画面が表示されるので、「保存」ボタンをクリックします。

※未確定の既存案件の編集の場合には「確定保存する」かどうか選択して「保存」ボタンをクリックします。

(3) 保存完了すると、案件一覧に反映されます。

※案件保存時は、案件の備考と回線詳細の備考を結合して保存します。各備考は「/（スラッシュ）」で区切れます。

※確定保存時、案件の備考と回線詳細の備考合わせて 2000 文字を超える場合は保存できません。

16.3 回線詳細

■機能

案件情報に回線情報を追加、編集します。

回線詳細

回線ID*	XXXX-XXXX-XXXX①	ワイヤ	4ワイヤ ②
回線名*	回線1 ③		
ロケーション*	センター / 1F / 電算室1-1 / ラックEYC1101 ④		
線番*	局入線番 局入(メタル) ⑥	0005 ⑦	⑤
	IDF線番 IDF3-1-1 ⑧	0001 ⑨	⑩
	⑪		
線番(2)*	局入線番 局入(メタル)	0006	
	IDF線番 IDF3-1-1	0002	
備考*	メモ ⑫		
	⑬ 適用		⑭ キャンセル

図 298 回線詳細（工事種別：新設）

回線詳細

回線ID*	xxxx-xxxx-xxxx	ワイヤ	4ワイヤ
回線名	回線1		
ロケーション*	センター / 1F / 電算室1-1 / ラック1101		
線番*	<p>局入線番</p> <p>局入（メタル） 0003 <input type="button" value="検索"/></p> <p>IDF線番</p> <p>IDF-1 0003</p>		
線番(2)*	<p>局入線番</p> <p>局入（メタル） 0005</p> <p>IDF線番</p> <p>IDF-1 0005</p>		
開通年月日	2021/08/02 ⑯		
備考*	メモ <small>(2文字)</small>		
<input type="button" value="○ 適用"/> <input type="button" value="× キャンセル"/>			

図 299 回線詳細（工事種別：変更）

回線詳細

回線ID*	XXXX-XXXX-XXXX	ワイヤ	4ワイヤ
回線名	回線1		
ロケーション*	センター / 1F / 電算室1-1 / ラック1101		
線番*	局入線番 <input type="button" value="局入（メタル）"/> <input type="text" value="0003"/> <input style="outline: 2px solid red;" type="button" value="Q 検索"/> ⑯ IDF線番 <input type="button" value="IDF-1"/> <input type="text" value="0003"/>		
線番(2)*	局入線番 <input type="button" value="局入（メタル）"/> <input type="text" value="0005"/> IDF線番 <input type="button" value="IDF-1"/> <input type="text" value="0005"/>		
備考*	メモ <small>(2文字)</small>		
撤去方法*	<input checked="" type="radio"/> 全て撤去 <input type="radio"/> 局入のみ ⑰		
<input type="button" value="○ 適用"/> <input type="button" value="× キャンセル"/>			

図 300 回線詳細（工事種別：撤去）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	回線 ID	回線 ID を入力する	20 文字以内	
2	ワイヤ	ワイヤを選択する	2 芯/4 ワイヤ	ワイヤ選択時に線番(2)の設定が可能
3	回線名	回線名を入力する	32 文字以内	
4	ロケーション	ロケーションを表示する		
5	ロケーション選択	ロケーション選択画面(図 398)を表示してロケーションを選択する		
6	局入配線盤	局入配線盤を選択する		
7	局入線番	局入線番を選択する		
8	IDF 配線盤	IDF 配線盤を選択する		
9	IDF 線番	IDF 線番を選択する		
10	クリア	選択した IDF 線番をクリアする		工事種別が「変更」または「撤去」の場合は非表示
11	IDF 線番追加	IDF 線番を追加する ※IDF 線番が 6 つ以上の場合は追加不可		工事種別が「変更」または「撤去」の場合は非表示
12	備考	備考を入力する	2000 文字以内	
13	保存	回線の設定を案件編集画面に適用して当該画面を消去する		
14	キャンセル	回線の設定を破棄して当該画面を消去する		
15	開通年月日	新設時に登録した開通年月日を表示する		工事種別が「変更」の場合のみ表示 編集不可
16	検索	局入線番に紐づく IDF 線番を検索する		工事種別が「新設」の場合は非表示
17	撤去方法	撤去方法を選択する ・全て撤去…線番の接続をすべてクリアする ・局入のみ…局入線番のみの接続をクリアし、IDF (PT) 線番のつながりは保持する	全て撤去/局入のみ	工事種別が「新設」または「変更」の場合は非表示

■表示

案件編集画面の回線一覧画面で「追加」ボタンまたは「編集」ボタンをクリックすると、当該画面(図 298/図 299/図 300)を表示します。

■操作

1. 回線詳細編集

(1) 各項目を入力します。

・回線 ID

指定文字数内の文字列を入力してください。

・ワイヤ

ワイヤを選択してください。

・回線名

指定文字数内の文字列を入力してください。

・ロケーション

回線のロケーションを選択してください。

「ロケーション選択」ボタンをクリックすると、ロケーション選択画面（[図 398](#)）が表示されます。

※ロケーション選択画面の操作方法は、『[52.2 ロケーション選択](#)』をご参照ください。

・局入線番

局入配線盤を選択し、局入線番を選択してください。

※工事種別が「変更」または「撤去」の場合、局入線番を選択して「検索」ボタンをクリックすると、回線 ID、ワイヤ、回線名、ロケーション、線番、線番（2）、備考欄が自動入力されます。

・IDF 線番

IDF 配線盤を選択し、IDF 線番を選択してください。

※IDF 線番は 6 つまで設定できます。

・備考

指定文字数内の文字列を入力してください。

・撤去方法（※工事種別が「撤去」の場合のみ）

撤去方法を選択してください。

選択肢：全て撤去/局入のみ

2. 回線詳細情報の適用

(1) 入力不備がなければ、「適用」ボタンが有効となりますので、「適用」ボタンをクリックします。

(2) 適用すると、案件編集画面に反映されます。

17 回線管理/回線

17.1 回線一覧

■機能

回線情報の編集を行います。

検索条件

① 検索条件を選択してください

②

③

④ +

⑤

⑥

⑦ +

⑧ 未使用を含む

⑨ × 条件をクリア

⑩ Q 検索

回線一覧

⑪ アップロード

⑫

⑬ 表示設定

⑭ レポート出力

10 件を表示

ファイル	IDF線番	局入稼番	中継稼番(1)	中継稼番(2)	中継稼番(3)	中継稼番(4)	中継稼番(5)	使用状態	回線ID
□	ファイル	IDF3-2-1-0001	局入(メタル)-0001					使用中	03-1234-5678
□	ファイル	IDF3-1-1-0003	局入(メタル)-0003					使用中	XXXX-XXXX-XXXX
□	ファイル	IDF3-1-1-0004	局入(メタル)-0004					使用中	XXXX-XXXX-XXXX
□	ファイル	IDF3-1-1-0001						未使用	
□	ファイル	IDF3-1-1-0002						未使用	
□	ファイル	IDF3-1-1-0005						未使用	
□	ファイル	IDF3-1-1-0011						未使用	
□	ファイル	IDF3-1-1-0012						未使用	
□	ファイル	IDF3-1-1-0013						未使用	
□	ファイル	IDF3-1-1-0014						未使用	

490 件中 1 から 10 までを表示

« < 1 2 3 4 5 … 49 > »

図 301 回線一覧

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索条件	検索条件を指定する	IDF 線番/局入線番/中継線番/回線 ID/回線名/回線種別/ユーザー名/工事番号/ロケーション/備考	
2	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
3	条件削除	検索条件を削除する		
4	条件追加	検索条件を追加表示する		
5	検索条件詳細	回線で設定した項目を検索条件として指定する		
6	条件削除	検索条件詳細を削除する		
7	条件追加	検索条件詳細を追加する		
8	未使用を含む	未使用回線を検索に含めるかどうか選択する		
9	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
10	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
11	アップロード	ファイル選択画面を表示し、回線一覧で選択した回線に紐づけるファイルをアップロードする		
12	回線一覧	検索結果に該当する回線情報を一覧表示する		
13	表示設定	表示設定画面を表示する		
14	レポート出力	回線一覧に表示している内容を CSV 出力する		

■表示

メインメニューから、「回線管理」>「回線」を選択すると、当該画面（図 301）を表示します。

■操作

1. 回線検索

検索条件を指定して「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当する回線の一覧が表示されます。

※検索方法の詳細は、『[5.2.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. 回線の編集

- (1) 編集する回線の行の「編集」アイコンをクリックします。
- (2) 回線編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

3. 表示設定

- (1) 「表示設定」ボタンをクリックして表示設定画面を表示します。
- (2) 非表示項目、表示項目を設定します。

※設定方法の詳細は、『[6.2 表示設定](#)』と同様です。ご参照ください。

4. ファイル一覧表示

一覧に表示されている「ファイル」ボタンをクリックすると、ファイル一覧画面が表示されます。



図 302 ファイル一覧

5. ファイルのアップロード

- (1) ファイルをアップロードする回線の行の「ファイル」ボタンをクリックすると、ファイル一覧画面が表示されるので、「追加」ボタンをクリックします。もしくは、ファイルをアップロードする回線（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「アップロード」ボタンをクリックします。
- (2) ファイル選択画面が表示されるので、ファイルを選択して「保存」をクリックします。

6. レポート出力

「レポート出力」ボタンをクリックすると、一覧に表示されている内容が CSV 形式でファイルに出力されます。

17.2 回線編集

■機能

回線情報を編集します。

図 303 回線編集

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	IDF 線番	IDF 線番を表示する		編集不可
2	局入線番	局入線番を表示する		編集不可
3	中継線番	中継線番を表示する		編集不可
4	回線 ID	回線 ID を表示する		編集不可
5	回線種別	回線種別名を表示する		編集不可
6	ワイヤ	ワイヤ名を表示する		編集不可
7	通信速度	通信速度を表示する		編集不可
8	回線名	回線名を表示する		編集不可
9	ロケーション	ロケーションを表示する		編集不可
10	ユーザー名	ユーザー名を表示する		編集不可
11	担当者	担当者を表示する		編集不可
12	工事番号	開通年月日を表示する		編集不可
13	開通年月日	開通年月日を表示する		編集不可
14	廃止年月日	廃止年月日を表示する		編集不可
15	備考	備考を入力する	2000 文字以内	
16	表示ページ	編集対象ページを選択する		
17	管理項目一覧	回線メンテナンスで設定した項目を表示する	項目の型によって異なる	

18	保存	編集内容を保存して回線一覧画面に戻る		
19	キャンセル	編集内容を破棄して回線一覧画面に戻る		

■表示

回線一覧画面で「編集」アイコンをクリックすると、当該画面（図 303）を表示します。

■操作

1. 回線編集

- (1) 各項目を入力します。

・備考

指定文字数内の文字列を入力してください。

※初期表示：

（使用中の回線） 案件備考および案件に紐づく回線の備考を「/（スラッシュ）」で区切った内容が表示されます。

（未使用の回線） 空欄で表示されます。

・詳細情報

回線詳細項目を入力します。

ここに表示される項目は、回線メンテナンスで設定された項目です。

各項目の入力制限に沿って入力してください。

※入力制限については、『[10.2.2 ラック詳細](#)』と同様です。ご参照ください。

2. 回線情報の保存

- (1) 入力不備がなければ、「保存」ボタンが有効となりますので、「保存」ボタンをクリックします。
- (2) 保存完了すると、回線一覧に反映されます。

※ここで編集された備考は、回線接続履歴には反映されません。

17.3 ファイル一覧

■機能

回線情報に紐づけるファイルの追加、削除を行います。



図 304 ファイル一覧

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ダウンロード	選択したファイルをダウンロードする		
2	削除	選択したファイルを削除する		
3	追加	ファイル選択画面を表示し、ファイルをアップロードする		
4	ファイル一覧	ファイル一覧を表示する		
5	開く	ファイルを別タブで開く		
6	閉じる	当該画面を消去する		

■表示

回線一覧画面で「ファイル」ボタンをクリックすると、当該画面（図 304）を表示します。

■操作

1. ファイルのダウンロード

- (1) ダウンロードするファイル（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「ダウンロード」ボタンをクリックします。

2. ファイルの追加

- (1) 「追加」ボタンをクリックします。
- (2) ファイル選択画面が表示されるので、アップロードしたいファイルを選択して「保存」をクリックします。

3. ファイルの削除

- (1) 削除したいファイルの行の「削除」アイコンをクリックする、もしくは削除するファイル（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「削除」ボタンをクリックします。

4. ファイルを開く

- (1) 対象となるファイルのダウンロードアイコンをクリックすると、新しいタブで PDF ファイルを開きます。

17.4 ファイル選択

■機能

回線情報に紐づけるファイルをアップロードします。

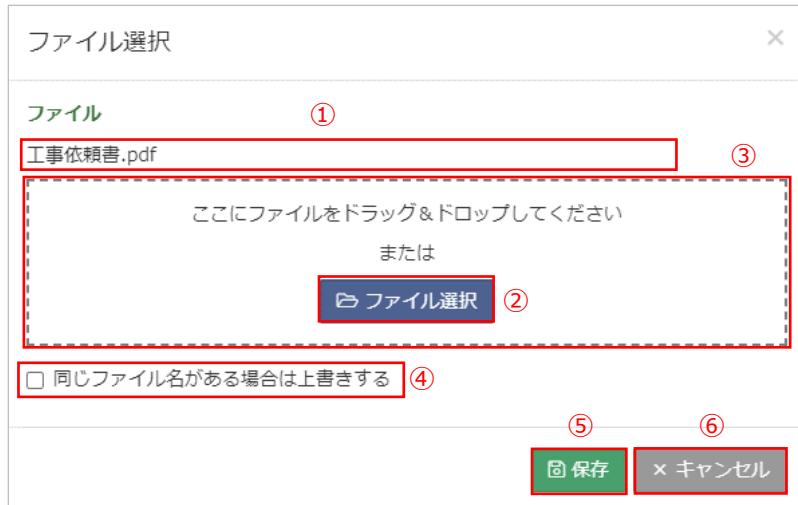


図 305 ファイル選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ファイル名	選択中のファイル名を表示する		
2	選択	ファイル選択ダイアログを表示し、ファイルを選択する	拡張子が「.pdf」のファイルのみ選択可	
3	ドラッグ & ドロップエリア	選択したファイルを指定領域内にドラッグ & ドロップする	拡張子が「.pdf」のファイルのみ選択可	
4	上書き保存の許可	同名ファイルが存在する場合に上書き保存を許可するかどうか選択する		
5	保存	選択したファイルを保存して当該画面を消去する		
6	キャンセル	選択したファイルを破棄して当該画面を消去する		

■表示

回線一覧画面で「アップロード」ボタンをクリックするか、ファイル一覧画面で「追加」ボタンをクリックすると当該画面（図 305）を表示します。

■操作

1. ファイルのアップロード（モーダルにてファイル選択）
 - (1) 「選択」ボタンをクリックします。
 - (2) ファイル選択ダイアログが表示されるので、アップロードしたいファイルを選択します。

※拡張子が「.pdf」のファイルのみ選択可能です。

(3) 同名ファイルが存在する場合に上書き保存を許可する場合はチェックボックスにチェックを入れます。

(4) 「保存」ボタンをクリックします。

2. ファイルのアップロード（選択したファイルをドラッグ & ドロップ）

(1) 選択したファイルを指定領域にドラッグ & ドロップします。

(2) 同名ファイルが存在する場合に上書き保存を許可する場合はチェックボックスにチェックを入れます。

(3) 「保存」ボタンをクリックします。

18 回線管理/配線盤

18.1 配線盤一覧

■機能

配線盤情報の追加、編集、削除を行います。

The screenshot shows the garmit software interface for managing distribution boards. The top navigation bar includes a logo, a title '配線盤', and various system status indicators. Below the header is a search panel with fields for '検索条件' (Search Conditions) and a '新規登録' (New Registration) button. The main area displays a table of distribution board data with columns for '配線盤種別' (Type), '名称' (Name), 'ロケーション' (Location), '開始線番' (Start Line Number), '終了線番' (End Line Number), '備考' (Remarks), 'メタル/光' (Metal/Fiber), and '親配線盤' (Parent Distribution Board). The table includes buttons for '編集' (Edit) and '削除' (Delete). The bottom of the table shows a message '7件中 1から7までを表示' (Displaying 1 to 7 of 7 items) and navigation arrows. The entire interface is overlaid with red numbers from 1 to 15, likely indicating specific features or steps in a tutorial.

配線盤種別	名称	ロケーション	開始線番	終了線番	備考	メタル/光	親配線盤
IDF	IDF1-1-1	センター 1F 電算室1-1	1	100		メタル	局入(メタル) IDF3-1-1 IDF2-1-1
IDF	IDF2-1-1	センター 2F 電算室2-1	1	100		メタル	局入(メタル) IDF3-1-1...
局入	局入(メタル)	センター 3F IDF室3-1	1	100		メタル	AAA
局入	局入(光)	センター 3F IDF室3-1	1	100		光	BBB
IDF	IDF3-1-1	センター 3F 電算室3-1	1	100		メタル	局入(メタル)
PT	PT3-1-1	センター 3F 電算室3-1	1	100		光	局入(光)
IDF	IDF3-2-1	センター 3F 電算室3-2	1	100		メタル	局入(メタル)

図 306 配線盤一覧

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	新規登録	配線盤情報を新規登録する		
2	検索条件	検索条件を指定する	配線盤種別/配線盤名称/ロケーション/ケーブル種別	
3	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
4	条件削除	検索条件を削除する		
5	条件追加	検索条件を追加表示する		
6	検索条件詳細	配線盤で設定した項目を検索条件として指定する		
7	条件削除	検索条件詳細を削除する		
8	条件追加	検索条件詳細を追加する		
9	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
10	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
11	編集	選択中の配線盤情報を編集する		
12	削除	選択中の配線盤情報を削除する		
13	配線盤一覧	検索結果に該当する配線盤情報を一覧表示する		
14	表示設定	表示設定画面を表示する		
15	レポート出力	配線盤一覧に表示している内容を CSV 出力する		

■表示

メインメニューから、「回線管理」>「配線盤」を選択すると、当該画面（図 306）を表示します。

■操作

1. 配線盤検索

検索条件を指定して「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当する配線盤の一覧が表示されます。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. 配線盤の追加

- (1) 「新規登録」ボタンをクリックします。
- (2) 配線盤編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

3. 配線盤の編集

- (1) 編集する配線盤の行の「編集」アイコンをクリックする、もしくは編集する配線盤（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「編集」ボタンをクリックします。
- (2) 配線盤編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

4. 配線盤の削除

- (1) 削除したい配線盤の行の「削除」アイコンをクリックする、もしくは削除する配線盤（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「削除」ボタンをクリックします。

5. 配線盤系統表示

- (1) 表示したい配線盤の「詳細」アイコンをクリックします。

6. 表示設定

- (1) 「表示設定」ボタンをクリックして表示設定画面を表示します。
- (2) 非表示項目、表示項目を設定します。

※設定方法の詳細は、『[6.2 表示設定](#)』と同様です。ご参照ください。

7. レポート出力

「レポート出力」ボタンをクリックすると、一覧に表示されている内容が CSV 形式でファイルに出力されます。

18.2 配線盤編集

■機能

配線盤情報を編集します。

The screenshot shows the 'garmit' application window titled 'Line Panel'. The main area is divided into two tabs: 'Line Panel Information' and 'Detailed Information'. The 'Line Panel Information' tab contains fields for 'Type' (IDF, ①), 'Name' (IDF1-1-1, ③), 'Location' (Center / 1F / Calculation Room 1-1, ⑧), 'Start Line Number' (1, ⑩), 'End Line Number' (100, ⑪), and 'Notes' (⑫). The 'Detailed Information' tab shows settings for 'Display Page' (Page 1, ⑬) and various project items (⑭). Buttons for saving (⑯) and canceling (⑯) are located at the top right.

図 307 配線盤編集

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	種別	種別を選択する	局入/IDF/PT	
2	メタル/光	ケーブル種別（メタル/光）を選択する	メタル/光	
3	名称	名称を入力する	32 文字以内	
4	親配線盤	親配線盤を表示する		種別が「局入」の場合は設定不可
5	配線盤選択	親配線盤設定画面（図 308）を表示して親配線盤を選択する		
6	クリア	親配線盤の選択を解除する		
7	親配線盤追加	親配線盤設定画面（図 308）を表示して親配線盤を追加する		
8	ロケーション	ロケーションを表示する		
9	ロケーション選択	ロケーション選択画面（図 398）を表示してロケーションを選択する		
10	開始線番	開始線番を入力する	1～5,000	
11	終了線番	終了線番を入力する	1～5,000	
12	備考	備考を入力する	100 文字以内	
13	表示ページ	編集対象ページを選択する		
14	管理項目一覧	配線盤メンテナンスで設定した項目を表示する	項目の型によって異なる	
15	保存	編集内容を保存して配線盤一覧画面に戻る		
16	キャンセル	編集内容を破棄して配線盤一覧画面に戻る		

■表示

配線盤一覧画面で「新規登録」ボタンまたは「編集」ボタンをクリックすると、当該画面（[図 307](#)）を表示します。

■操作

1. 配線盤編集

(1) 各項目を入力します。

・種別

配線盤の種別を選択してください。選択肢は以下の通りです。

種別：局入/IDF/PT

・メタル/光

ケーブル種別を選択してください。選択肢は以下の通りです。

ケーブル種別：メタル/光

・名称

指定文字数内の文字列を入力してください。

・親配線盤

配線盤の種別が「IDF」または「PT」の場合には紐づける親配線盤を選択してください。

「追加」ボタンをクリックすると、親配線盤選択画面（[図 308](#)）が表示され、親配線盤を選択できます。

・ロケーション

配線盤のロケーションを選択してください。

「ロケーション選択」ボタンをクリックすると、ロケーション選択画面（[図 398](#)）が表示されます。

※ロケーション選択画面の操作方法は、『[52.2 ロケーション選択](#)』をご参照ください。

・開始線番

指定範囲内の数値を入力してください。

・終了線番

指定範囲内の数値を入力してください。

・備考

指定文字数内の文字列を入力してください。

・詳細情報

配線盤詳細項目を入力します。

ここに表示される項目は、配線盤メンテナンスで設定された項目です。

各項目の入力制限に沿って入力してください。

※入力制限については、『[10.2.2 ラック詳細](#)』と同様です。ご参照ください。

2. 配線盤情報の保存

- (1) 入力不備がなければ、「保存」ボタンが有効となりますので、「保存」ボタンをクリックします。
- (2) 保存完了すると、配線盤一覧に反映されます。

18.3 親配線盤設定

■機能

親配線盤の選択を行います。

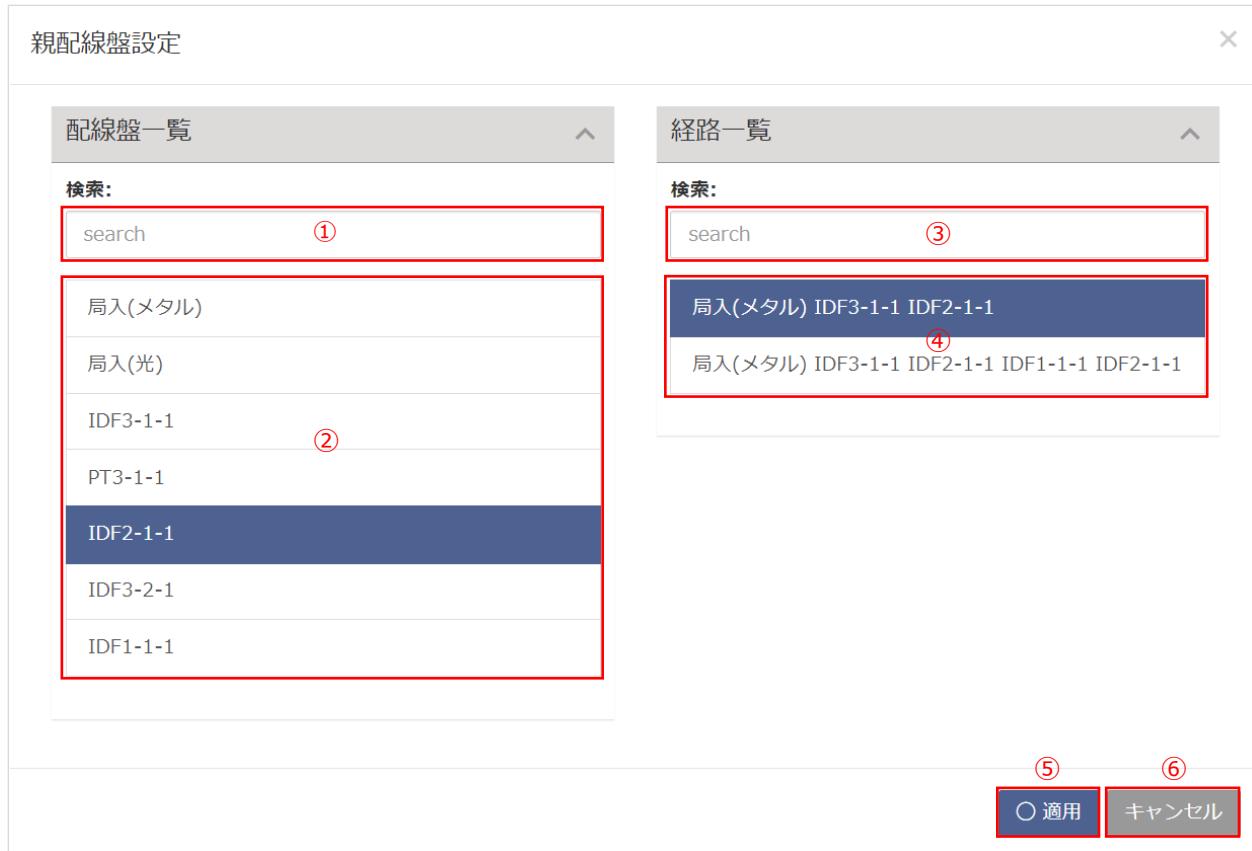


図 308 親配線盤設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	配線盤一覧絞り込み	入力した文字列で配線盤一覧を絞り込む		
2	配線盤一覧	配線盤を選択する		
3	経路一覧絞り込み	入力した文字列で経路一覧を絞り込む		
4	経路一覧	配線盤一覧で選択した配線盤の経路一覧が表示されるので、経路を選択する		
5	適用	親配線盤の選択を適用して当該画面を消去する		
6	キャンセル	当該画面を消去する		

■表示

配線盤編集画面で「配線盤選択」ボタンまたは「親配線盤追加」ボタンをクリックすると、当該画面（図 308）を表示します。

■操作

1. 親配線盤選択

- (1) 配線盤一覧から任意の配線盤を選択します。
- (2) 経路一覧に (1) で選択した配線盤の経路一覧が表示されるので、任意の経路を選択します。
- (3) 「適用」ボタンをクリックします。

18.4 配線盤系統表示

■機能

配線盤の系統情報を表示します。



図 309 配線盤系統表示

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	一覧に戻る	配線盤一覧画面に戻る		
2	経路選択	経路ツリーに表示する経路を選択する		
3	経路ツリー	経路ツリーを表示する 任意の配線盤をクリックするとその配線盤の情報で表示が更新される		
4	配線盤情報	経路ツリーで選択状態にある配線盤の情報を表示する		
5	詳細情報	経路ツリーで選択状態にある配線盤の詳細情報を表示する		
6	子配線盤一覧	経路ツリーで選択状態にある配線盤に紐づく子配線盤の一覧を表示する 任意の子配線盤をクリックするとその配線盤の情報で表示が更新される		

■表示

配線盤一覧画面で「詳細」アイコンをクリックすると、当該画面（図309）を表示します。

■操作

1. 経路選択

経路選択セレクトボックスには選択中の配線盤に紐づく経路のリストが選択肢として表示されます。

経路を選択すると、選択した経路のツリーが表示され、その経路に紐づく子配線盤一覧が表示されます。

2. 配線盤選択

経路ツリーで配線盤をクリックすると、クリックした配線盤の情報で、画面が表示更新されます。

3. 子配線盤選択

子配線盤一覧で配線盤をクリックすると、クリックした子配線盤の情報で画面が表示更新されます。

19 回線管理/スケジュール

■機能

案件情報に登録した工事完了希望日や開通年月日、廃止年月日、工事立会日の情報をカレンダー上で確認します。

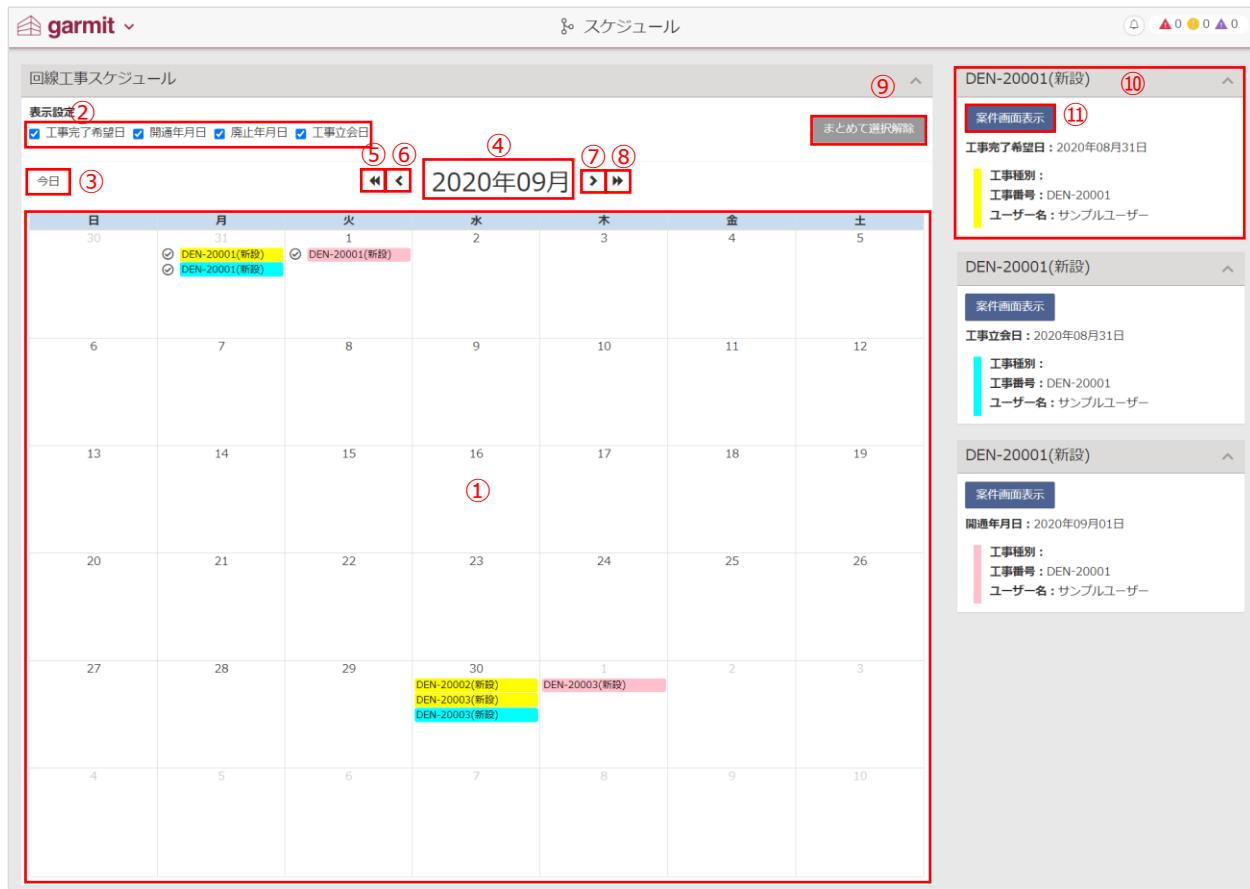


図 310 回線工事スケジュール

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	回線工事スケジュール	参照対象年月のカレンダーを表示する 表示設定で選択した種別の案件のスケジュールを表示する スケジュールの色は下記の通り ・工事完了希望日：黄色 ・開通年月日：ピンク ・廃止年月日：グレー ・工事立会日：水色		
2	表示設定	カレンダーに表示する対象（工事完了日/敬通年月日/廃止年月日/工事立会日）を選択する		
3	今日	回線工事スケジュールの表示中の年月を今日の年月にする		
4	年月	カレンダーに表示中の年月を表示する		
5	<<	1年前の年月のカレンダーを表示する		

6	<	1ヶ月前の年月のカレンダーを表示する		
7	>	1ヶ月後の年月のカレンダーを表示する		
8	>>	1年後の年月のカレンダーを表示する		
9	まとめて選択解除	選択中のスケジュールの選択を一括解除する		
10	スケジュール詳細	カレンダーで選択したスケジュールの詳細を表示する		
11	案件画面表示	当該スケジュールの案件編集画面に遷移する		

■表示

メインメニューから、「回線管理」>「スケジュール」を選択すると、当該画面（[図 310](#)）を表示します。

■操作

1. スケジュール詳細表示

カレンダーでスケジュールをクリックすると、画面右側にクリックしたスケジュールの詳細情報が表示されます。

2. 案件画面表示

「案件画面表示」ボタンをクリックすると、当該スケジュールの案件編集画面が表示されます。

20 回線管理/回線接続履歴

■機能

各回線の接続履歴を検索表示します。

各回線の接続履歴を検索表示します。

回線接続履歴

検索条件

検索条件を選択してください

検索条件を選択してください

期間: 期間を指定しない

2021/04/27 ~ 2021/07/27

x 条件をクリア Q 検索

回線接続履歴

編集

回線ID	工事種別	開通/廃止年月日	IDF線番	局入線番	中継線番（1）	中継線番（2）	中継線番（3）	中継線番（4）	中継線番（5）	ワイヤ
LINE_20210727-1	新設	2021/08/02	IDF1-0001	局入-0001						4ワイヤ
LINE_20210727-1	新設	2021/08/02	IDF1-0002	局入-0002						4ワイヤ
LINE_20210727-1	変更	2021/08/02	IDF1-0001	局入-0001						4ワイヤ
LINE_20210727-1	変更	2021/08/02	IDF1-0002	局入-0002						4ワイヤ

4 件中 1 から 4 までを表示

図 311 回線接続履歴

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索条件	検索条件を指定する	IDF 線番/局入線番/回線 ID/ユーザー名/ロケーション/備考	
2	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
3	条件削除	検索条件を削除する		
4	条件追加	検索条件を追加表示する		
5	期間を指定しない	期間を指定しないで検索するかどうか設定する		
6	期間	検索対象の日付（From/To）を入力する		
7	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
8	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
9	回線接続履歴一覧	検索結果に該当する回線接続履歴を一覧表示する		
10	編集	対象となる履歴にメモを追記する	1000 文字	
11	表示設定	表示設定画面を表示する		
12	レポート出力	回線接続履歴一覧に表示している内容を CSV 出力する		

■表示

メインメニューから、「回線管理」>「回線接続履歴」を選択すると、当該画面（図 311）を表示します。

■操作

1. 回線接続履歴検索

検索条件を指定して「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当する回線接続履歴の一覧が表示されます。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. 表示設定

(1) 「表示設定」ボタンをクリックして表示設定画面を表示します。

(2) 非表示項目、表示項目を設定します。

※設定方法の詳細は、『[6.2 表示設定](#)』と同様です。ご参照ください。

3. レポート出力

「レポート出力」ボタンをクリックすると、一覧に表示されている内容が CSV 形式でファイルに出力されます。

4. メモ編集

一覧の「編集」アイコンをクリックすると、メモ入力モーダルが表示されます。

制限文字数以内で入力可能です。

21 コネクション/ネットワーク

21.1 ネットワーク接続一覧

■機能

ネットワーク接続情報を一覧で表示します。



図 312 ネットワーク接続一覧

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション/所属/タグ/ ハッシュタグ	
2	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
3	条件削除	検索条件を削除する		
4	条件追加	検索条件を追加表示する		
5	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
6	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
7	接続元ラック搭載図	ネットワーク接続一覧で選択した接続情報の接続元ラックの搭載図を表示する 接続元のユニットを青で囲って表示する		
8	接続元ユニット情報	ネットワーク接続一覧で選択した接続情報の接続元ユニット情報を表示する		
9	削除	ネットワーク接続一覧で選択中の接続情報を削除する		
10	追加	ネットワーク接続登録画面を表示する		
11	経路表示	ネットワーク経路表示画面を表示する		
12	レポート出力	ネットワーク接続一覧に表示中の内容を CSV ファイルに出力する		
13	接続先も一致するものを表示する	表示中のネットワーク一覧で接続先も一致するものを絞り込む		
14	ネットワーク接続一覧	検索条件に該当するネットワーク接続情報をネットワーク接続一覧表示する		
15	ネットワーク情報	ネットワーク接続一覧で選択中のネットワーク情報を表示する		
16	接続先ラック搭載図	ネットワーク接続一覧で選択した接続方法の接続先ラックの搭載図を表示する 接続先ユニットを赤で囲って表示する		
17	接続先ユニット情報	ネットワーク接続一覧で選択した接続情報の接続先ユニット情報を表示する		

■表示

メインメニューから、「コネクション」>「ネットワーク接続」を選択すると、当該画面（図 312）を表示します。

■操作

1. 検索

検索条件を指定して「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当するネットワーク接続一覧が表示されます。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. ネットワーク選択

ネットワーク接続一覧で任意の行を選択すると、接続元ラック搭載図、接続先ラック搭載図が表示されます。

21.2 ネットワーク接続登録

■機能

ネットワーク接続情報の登録を行います。



図 313 ネットワーク接続登録（未接続）

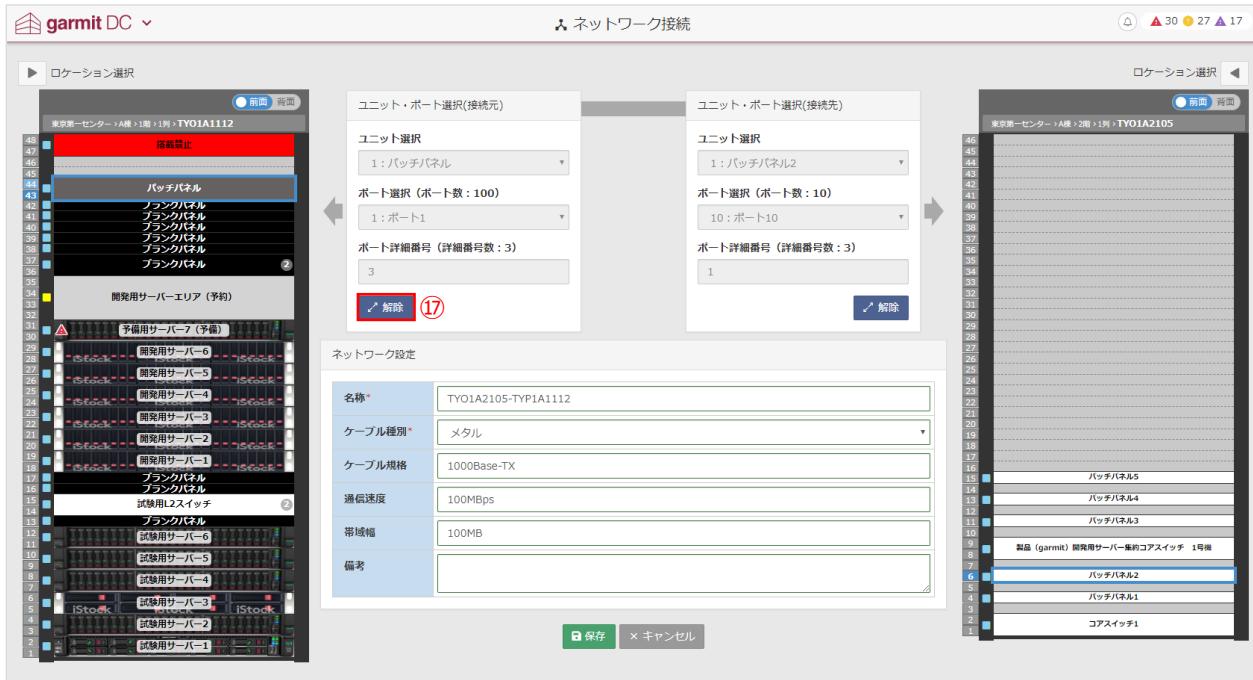


図 314 ネットワーク接続登録（接続中）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	接続元ロケーション選択	接続元のロケーション（ラック）を選択する		※接続中は操作不可
2	接続元ラック搭載図	接続元のラックの搭載図を表示する 接続元ユニットを選択する		※接続中はユニット選択不可
3	ユニット選択	ユニットを選択する		※接続中は編集不可
4	ポート選択	ポートを選択する		※接続中は編集不可
5	ポート詳細番号	ポートを選択すると、自動でポート詳細番号が振り当てる 手入力も可能 選択したポートに別のネットワーク情報が紐づいている場合はポート詳細番号が重複しないよう入力する	1~100	※接続中は編集不可
6	接続	接続元のポートと接続先のポートを紐づける		
7	名称	ネットワーク設定の名称を入力する	64 文字以内	
8	ケーブル種別	ケーブル種別を選択する		
9	ケーブル規格	ケーブル規格を入力する	32 文字以内	
10	通信速度	通信速度を入力する	32 文字以内	
11	帯域幅	帯域幅を入力する	32 文字以内	
12	備考	備考を入力する	256 文字以内	
13	接続先ロケーション選択	接続先のロケーションを選択する		※接続中は操作不可
14	接続先ラック搭載図	接続先のラック搭載図を表示する 接続先ユニットを選択する		※接続中はユニット選択不可
15	保存	ネットワーク設定情報を保存し、完了もしくは失敗のメッセージを表示する ネットワーク接続一覧画面へ遷移する		
16	キャンセル	ネットワーク接続一覧画面へ遷移する		
17	解除	登録済みのネットワーク接続を解除する		

■表示

ネットワーク接続一覧で「追加」もしくは「編集」ボタンをクリックすると、当該画面（[図 313](#)/[図 314](#)）を表示します。

■操作

1. ユニット選択

- (1) 「ロケーション選択」ボタンをクリックすると、ロケーションツリーが表示されるので、ロケーション（ラック）を選択します。
- (2) 選択したロケーション（ラック）のラック図が表示されるので、ユニットをクリックして選択します。
- (3) ユニット選択欄にて、搭載ユニットを選択します（複数ユニットが搭載されている場合）。

2. ポート選択

- (1) ユニットを選択すると、ポート選択の選択肢に選択したユニットのポート一覧がセットされます。
- (2) ポート選択でポートを選択すると、ポート詳細番号が自動で設定されます。

3. 接続

- (1) 接続元、接続先ともに、ポートを選択する。
- (2) 「接続」ボタンをクリックすると、接続元、接続先を紐づけます。

4. 解除

- (1) 「解除」ボタンをクリックすると、接続元/接続先のリンクを解除します。
- (2) 接続元、接続先ともに「解除」ボタンをクリックした場合には、ネットワーク情報が削除されます。

5. 保存

- (1) 必要な情報を編集します。
- (2) 「保存」ボタンをクリックすると、編集内容が登録されてネットワーク一覧画面に遷移します。

21.3 ネットワーク接続経路表示

■機能

ネットワーク経路図を表示します。

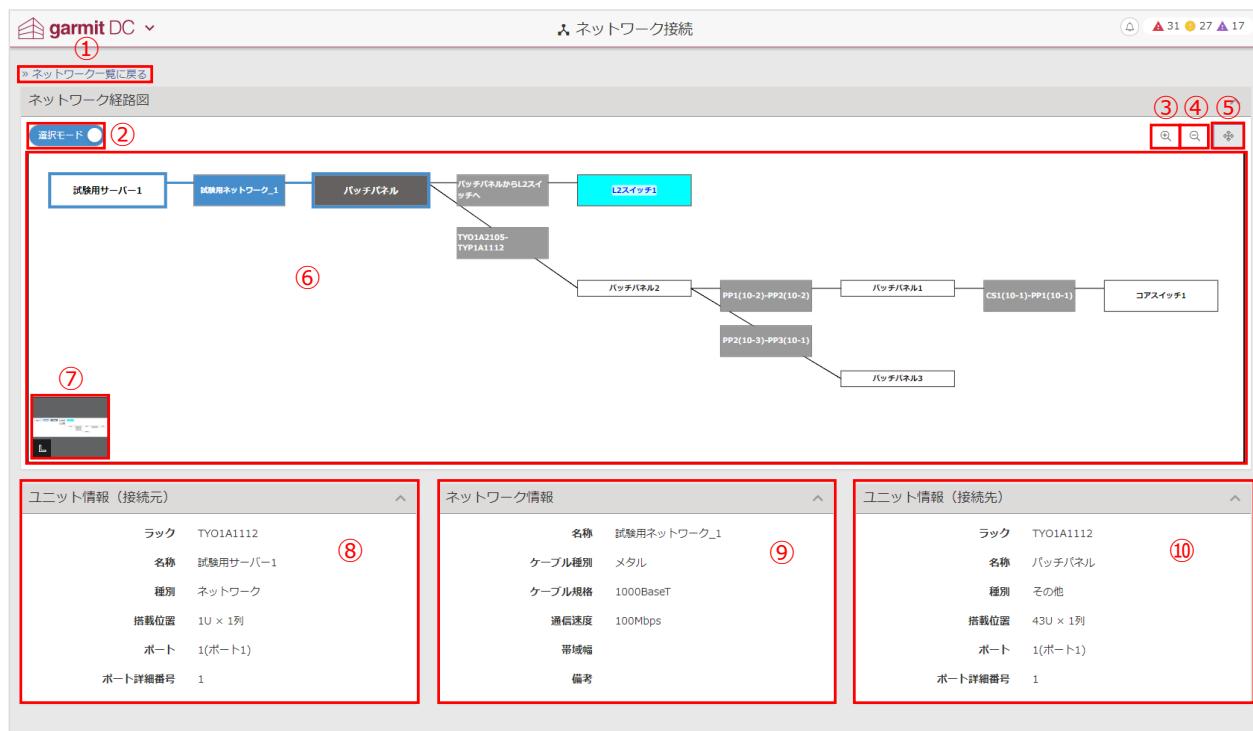


図 315 ネットワーク接続経路表示

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ネットワーク一覧に戻る	ネットワーク一覧画面に遷移する		
2	選択モード	ネットワーク情報選択モード/ネットワーク表示変更モードを選択する		
3	拡大	ネットワーク経路図を拡大する		
4	縮小	ネットワーク経路図を縮小する		
5	元のサイズに戻す	ネットワーク経路図を元のサイズに戻す		
6	ネットワーク接続経路図	ネットワーク接続経路図を表示する		
7	表示領域	現在の表示領域を示す		
8	ユニット情報（接続元）	選択したネットワークの接続元ユニットの情報を表示する		
9	ネットワーク情報	選択したネットワークの情報を表示する		
10	ユニット情報（接続先）	選択したネットワークの接続先ユニットの情報を表示する		

■表示

ネットワーク一覧画面で「経路表示」ボタンをクリックすると、当該画面（図 315）を表示します。

■操作

1. モード変更

「選択モード」をクリックすると、選択モードの ON/OFF が切り替わります。

選択モード ON...ネットワーク情報をクリックして選択可。ドラッグ＆ドロップすると経路図全体の表示位置を変更できる。

選択モード OFF...ネットワーク情報の選択不可。各オブジェクトをドラッグ＆ドロップしてオブジェクト毎の表示位置を変更できる。

2. 表示サイズ変更（拡大/縮小/元のサイズに戻す）

ネットワーク経路図の右上にある「+」をクリックする、もしくはネットワーク経路図上でマウスホイールを上にスクロールすると、ネットワーク経路図が拡大表示されます。

ネットワーク経路図の右上にある「-」をクリックする、もしくはネットワーク経路図上でマウスホイールを下にスクロールすると、ネットワーク経路図が縮小表示されます。

ネットワーク経路図の右上にある「元のサイズに戻す」ボタンをクリックすると、ネットワーク経路図が元のサイズ・元の位置に表示されます。

3. ネットワーク選択

選択モードが ON の時、ネットワーク情報をクリックして選択すると、選択したネットワーク情報の詳細をネットワーク情報欄に、それに接続する接続元ユニット情報、接続先ユニット情報が表示されます。

22 コネクション/電源

■機能

電源系統図を表示し、ラック・ユニットとの接続状況を確認します。



図 316 コネクション/電源

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
7	電源系統編集	電源系統編集画面へ遷移する		
8	電源系統選択	電源系統を選択する		
9	自動更新	画面の自動更新周期を切り替える	更新なし/30 秒 /60 秒	
10	手動更新	画面を手動で表示更新する		
11	電源系統図	選択した電源系統の図を表示する 上部…電源系統計測ポイント 下部…分岐電源		
12	ラック搭載図（左）	電源系統図で選択した分岐電源に紐づくラックの搭載図を表示する		
13	ラック搭載図（右）	電源系統図で選択した分岐電源に紐づくラックの搭載図を表示する		

■表示

メインメニューから「コネクション」>「電源」を選択すると、当該画面（図 316）を表示します。

初期表示は、電源系統未選択状態です。

■操作

1. 電源系統図の表示

電源系統選択で電源系統を選択すると、電源系統図が表示されます。

2. 分岐電源選択

表示した電源系統図の分岐電源を選択すると、その分岐電源が紐づくラックの搭載図が表示されます。

選択した分岐電源がユニットに紐づいている場合はユニットが太枠で囲われて表示されます。

※ラックに紐づいていない分岐電源は選択してもラック搭載図は表示されません。

3. 電源系統編集へ

電源系統を選択し、「電源系統編集へ」リンクをクリックすると、選択中の電源系統の編集画面（[図 340](#)）へ遷移します。

4. 自動更新の切替

自動更新は「更新なし」「30 秒」「60 秒」のいずれかをクリックして切り替えできます。

右側の「更新」ボタンをクリックするとクリックしたタイミングで表示更新します。

23 スケジュール/作業

23.1 作業スケジュール表示

■機能

作業スケジュールをカレンダー表示します。

garmit DC

作業

作業スケジュール

④⑤ ③ ⑥⑦ ⑧ ⑨

今日 ②

◀◀ 2018年11月 ▶▶

+スケジュール追加 □まとめて削除

日 月 火 水 木 金 土

28 29 30 31 1 2 3

4 5 08:00 ○○○メンテナンス
09:00 ×××交換作業

6 7 09:00 ■■システム×××作業
14:00 ■■システム停止

8 9 10

11 12 13 08:00 △△工事
08:00 ▲接続×××作業
14:00 ×××立入

14 15 16 17

18 19 20 21 22 23 24

25 26 08:00 ○○○取付工事

27 28 29 30 1

2 3 4 5 6 7 8

■■システム停止

⑪

開始: 2018年11月07日 09:00
終了: 2018年11月09日 18:00

09:00 作業名: ■■システム×××作業
システム調整を含めたため、××××システムについても影響を及ぼす可能性あり #○○電機

18:00

⑫

開始: 2018年11月07日 14:00
終了: 2018年11月07日 15:00

14:00 作業名: ■■システム停止

15:00

図 317 作業スケジュール表示

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
12	作業スケジュール	参照対象年月のカレンダーを表示する 登録済みの作業スケジュールを表示する		
13	今日	作業スケジュールの表示中の年月を今日の年月にする		
14	年月	カレンダーに表示中の年月を表示する		
15	<<	1年前の年月のカレンダーを表示する		
16	<	1ヶ月前の年月のカレンダーを表示する		
17	>	1ヶ月後の年月のカレンダーを表示する		
18	>>	1年後の年月のカレンダーを表示する		
19	スケジュール追加	スケジュール登録画面に遷移する		
20	まとめて削除	選択中のスケジュールを一括削除する		
21	スケジュール追加	スケジュール登録画面に遷移する		
22	スケジュール詳細	カレンダーで選択したスケジュールの詳細を表示する 開始...作業開始日時 終了...作業終了日時 作業名...作業の名称		
23	編集	スケジュール登録画面に遷移する		
24	削除	当該スケジュールを削除する ※確認メッセージ表示後		

■表示

メインメニューで「スケジュール」>「作業」を選択すると、当該画面（[図 317](#)）を表示します。

■操作

1. スケジュールの追加

- (1) 「スケジュール追加」ボタンまたはカレンダーの「+」ボタンをクリックするとスケジュール登録画面（[図 318](#)）が表示されます。
- (2) 必要項目を入力して、「保存」ボタンをクリックします。

2. スケジュールの編集

- (1) カレンダーから編集したいスケジュールを選択します。
- (2) 右側にスケジュール詳細が表示されるので、「編集」ボタンをクリックします。
- (3) スケジュール登録画面（[図 318](#)）が表示されるので、必要な項目を編集して「保存」ボタンをクリックします。

3. スケジュールの削除

- (1) カレンダーから削除したいスケジュールを選択します。
- (2) 右側にスケジュール詳細が表示されるので、「削除」ボタンをクリックします。

23.2 スケジュール登録

■機能

作業スケジュールを登録します。

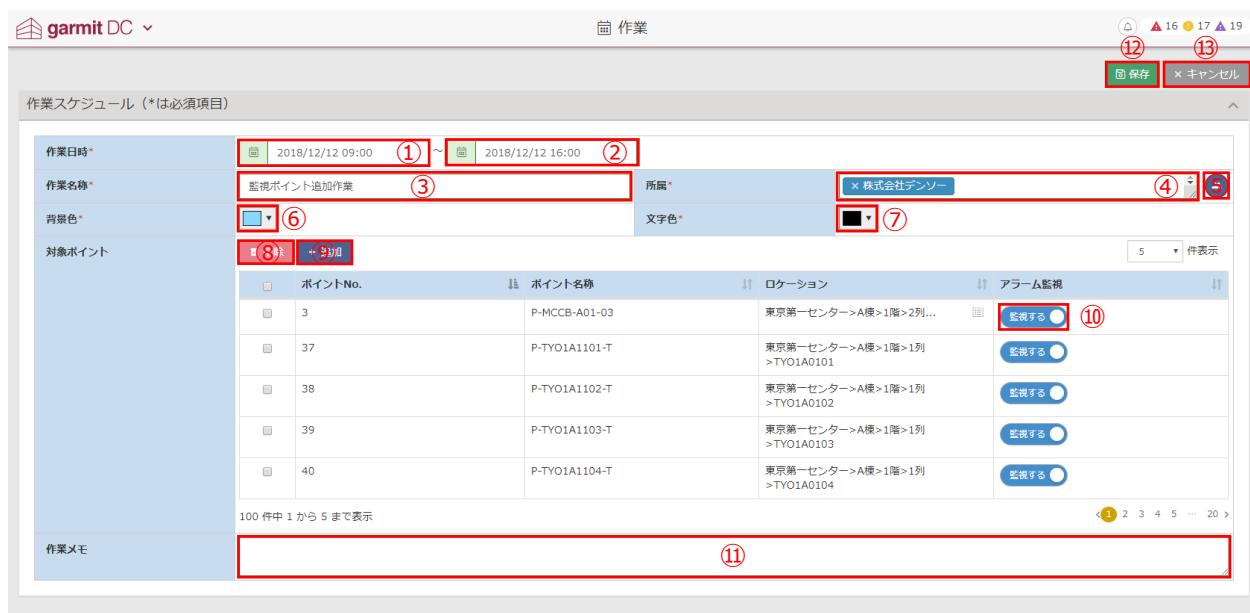


図 318 スケジュール登録

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	開始日時	作業開始日時を入力する		
2	終了日時	作業終了日時を入力する		
3	作業名称	作業名称を入力する	100 文字以内	
4	所属	選択中の所属を表示する		
5	所属選択	所属選択ダイアログを表示して所属を選択する		
6	背景色	カレンダーに表示する背景色を選択する		
7	文字色	カレンダーに表示する文字色を選択する		
8	削除	対象ポイント一覧でチェックを入れたポイントを削除する		
9	追加	ポイント選択ダイアログを表示して対象ポイントを追加する		
10	アラーム監視	ポイントのアラーム監視をするかどうか設定する		
11	作業メモ	作業メモを入力する	500 文字以内	
12	保存	編集内容を保存し、作業スケジュール画面に遷移する		
13	キャンセル	編集内容を破棄し、作業スケジュール画面に遷移する		

■表示

作業スケジュール（[図 317](#)）で「スケジュール追加」ボタンまたは「編集」ボタンをクリックすると、当該画面を表示します。

■操作

1. 初期表示

初期表示時の内容は下記の通りです。

【新規登録時】

開始日時：YYYY/MM/DD hh:mm

「スケジュール追加」ボタンをクリックした場合：現在日時 + 1 分後

カレンダーで日付を選択した場合：選択した日付 + 現在時刻の 1 分後

終了日時：YYYY/MM/DD hh:mm 開始日時の 1 時間後

作業名称：空欄

所属：ログインユーザーの所属

背景色：白

文字色：黒

対象ポイント一覧：空欄

作業メモ：空欄

【編集時】

開始日時：登録済みの開始日時

終了日時：登録済みの終了日時

所属：登録済みの所属

作業名称：登録済みの作業名称

背景色、文字色：登録済みの色

対象ポイント一覧：登録済みのポイント一覧

作業メモ：登録済みの作業メモ

2. 開始日時選択

作業開始日時を選択します。

※過去の日時は指定できません。

3. 終了日時選択

作業終了日時を選択します。

※過去の日時および開始日時より前の日時は指定できません。

4. 作業名称入力

作業名称を入力します。

指定文字数の文字列を入力してください。

5. 背景色、文字色選択

カレンダーに表示する作業スケジュールの背景色、文字色をカラーパレットから選択します。



6. 監視対象ポイント追加

「追加」ボタンをクリックすると、ポイント選択画面（[図 426](#)）を表示します。

ポイント選択画面にて選択したポイントを一覧に反映します。

7. 監視対象ポイント削除

「削除」ボタンをクリックすると、監視対象ポイント一覧で、削除対象とした（チェックした）ポイントを削除します。

※スケジュールとの紐づけが解除されるだけで、ポイント情報は削除されません。

8. 表示件数変更

監視対象ポイント一覧の 1 ページに表示する件数を変更します。

9. アラーム監視有無設定

監視対象ポイント一覧で、「監視する」を ON にした場合は、通常のアラーム判定を行います。

「監視する」を OFF にした場合は、作業開始時刻～作業終了時刻の間はアラーム判定を行いません。

作業終了時刻を超えた後、ポイント情報に登録したアラーム監視モードで監視を行います。

10. 作業メモ入力

作業スケジュールに関するメモ、コメントを入力します。

11. 「保存」ボタンクリック

編集したスケジュール内容を DB に登録し、作業スケジュール画面に遷移します。

12. 「キャンセル」ボタンクリック

編集したスケジュール内容を破棄し、作業スケジュール画面に遷移します。

24 スケジュール/レポート

24.1 レポートスケジュール一覧

■機能

レポートスケジュールの追加、編集、削除を行います。

garmit DC レポート

+ 新規登録 (1)

出力スケジュール一覧 (7) ▾

表示設定 (3)

② 消除 (2)

出力結果	レポートスケジュールID	スケジュール名	所轄名	出力日時	次回出力日時	値種別	出力種別	出力開始日	出力終了日
④⑤	⑥	1	リアルタイム-日報	株式会社デンソー	2019/03/14 00:00:00	2019/03/15 00:00:00	リアルタイム	日報	
	表示	2	リアルタイム-期間-1	株式会社デンソー			リアルタイム	期間	1
	表示	3	リアルタイム-期間-2	株式会社デンソー			リアルタイム	期間	1
	表示	4	ダイジェスト-日報	株式会社デンソー	2019/03/14 00:00:00	2019/03/15 00:00:00	ダイジェスト	日報	
	表示	5	ダイジェスト-月報	株式会社デンソー			ダイジェスト	月報	
	表示	6	ダイジェスト-年報	株式会社デンソー			ダイジェスト	年報	
	表示	7	ダイジェスト-期間-1	株式会社デンソー			ダイジェスト	期間	月末
	表示	8	ダイジェスト-期間-2	株式会社デンソー			ダイジェスト	期間	1
	表示	9	テストスケジュール1 (編集)	株式会社デンソー	2019/03/14 00:00:00	2019/03/15 00:00:00	リアルタイム	日報	
	表示	10	テストスケジュール2 (追加)	株式会社デンソー			リアルタイム	日報	

12 件中 1 から 10 までを表示

図 319 レポートスケジュール一覧

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	新規登録	レポートスケジュール編集画面に遷移してレポートスケジュールを新規登録する		
2	削除	選択中のレポートスケジュールを削除する		
3	レポートスケジュール一覧	登録済みのレポートスケジュールを一覧表示する		
4	編集	レポートスケジュール編集画面に遷移してレポートスケジュールを編集する		
5	削除	レポートスケジュールを削除する		
6	表示	出力		
7	表示設定	表示設定画面を表示する		

■表示

メインメニューから「スケジュール」>「レポート」を選択すると、当該画面（図319）を表示します。

■操作

1. レポートスケジュールの追加

- (1) 「新規登録」ボタンをクリックします。
- (2) レポートスケジュール編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

2. レポートスケジュールの編集

- (1) 編集するレポートスケジュールの行の「編集」アイコンをクリックします。
- (2) レポートスケジュール編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

3. レポートスケジュールの削除

- (1) 削除したいレポートスケジュールの行の「削除」アイコンをクリックする、もしくは削除するレポートスケジュール（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「削除」ボタンをクリックします。

4. 表示設定

- (1) 「表示設定」ボタンをクリックして表示設定画面を表示します。
 - (2) 非表示項目、表示項目を設定します
- ※設定方法の詳細は、『[6.2 表示設定](#)』と同様です。ご参照ください。

24.2 レポートスケジュール編集

■機能

レポートスケジュールを編集します。

The screenshot shows the 'Report' section of the garmit DC application. It includes:

- Schedule Information:** Includes fields for 'Schedule Name' (リアルタイム・日報 ①), 'Schedule ID' (1 ②), 'Owner' (株式会社デンソー ③), 'Execute' (実行する ④), and 'ON/OFF' switch (ON ⑤).
- Search Conditions:** Includes a search location dropdown (ロケーション ⑦) with '東京第一センター / A棟 / 1階 / 1列 / TYO1A1101' selected, a search content input field (検索内容 ⑧), and a clear button (クリア ⑨).
- Output Information:** Includes 'Output File Name' (realtime_daily ⑬), 'Output Type' (リアルタイム ⑭), 'Output Period' (期間 ⑮), 'Output Duration' (出力間隔 ⑯), 'Calculation' (換算する ⑰), and 'OFF/ON' switch (OFF ⑯, ON ⑯).
- Note for Digest Selection:** Shows a note '※ダイジェスト選択時' (When selecting a digest) with options for 'リアルタイム' (Realtime) and 'ダイジェスト' (Digest). It also includes 'Output Type' (期間 ⑲), 'Output Period' (1日 ⑳), and 'Calculation' (換算する ⑳).

図 320 レポートスケジュール編集

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	スケジュール名	スケジュール名称を入力する	100 文字以下	
2	スケジュール ID	スケジュール ID を表示する		※新規登録時は空欄
3	所属	レポートスケジュールに紐づける所属を表示する		
4	所属選択	所属選択画を表示してレポートスケジュールに紐づける所属を選択する		
5	所属クリア	選択中の所属をクリアする		
6	実行する	レポートスケジュールを実行するかどうかを設定する ON のときにレポートスケジュールを実行する	ON/OFF	
7	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション/所属/ タグ/電源系統	※電源系統は電源系 統メンテナンスの権限 が読み取り専用以上で指 定可能
8	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
9	クリア	検索条件を削除する		
10	検索条件追加	検索条件を追加表示する		

11	データ種別	データ種別を選択する		※複数選択可
12	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
13	出力ファイル名	出力ファイル名を入力する 実際に出力されるファイルは「{スケジュール ID}_{出力ファイル名}_yyyymmdd.csv」となる		
14	出力データ種別	出力データの種別を選択する	リアルタイム/ダイジェスト	
15	出力種別	出力種別を選択する	日報/月報/年報/ 期間	※リアルタイム選択時は日報、期間のみ選択可
16	出力開始日	出力開始日を入力する	1~30 または「月末」	※出力種別で期間を選択時のみ入力可
17	出力終了日	出力終了日を入力する	1~30 または「月末」	※出力種別で期間を選択時のみ入力可
18	出力間隔	出力間隔を選択する	指定なし/1 分/5 分/10 分	※リアルタイム選択時のみ入力可
19	換算する	換算するかどうかを設定する ON の時に換算した値を出力する	ON/OFF	
20	集計種別	集計種別を選択する	最大/最小/平均/ 瞬時/差分	※ダイジェスト選択時のみ入力可
21	保存	編集内容を保存してレポートスケジュール一覧画面に戻る		
22	キャンセル	編集内容を破棄してレポートスケジュール一覧画面に戻る		

■表示

レポートスケジュール一覧（図 319）で「新規登録」ボタンまたは「編集」ボタンをクリックすると、当該画面（図 320）を表示します。

■操作

1. レポートスケジュール編集

(1) 各項目を入力します。

・スケジュール名称

指定文字数以内の文字列を入力してください。

・スケジュール ID

スケジュール ID は自動採番のため、編集できません。

・所属

レポートスケジュールに紐づける所属を選択してください。

「所属選択」ボタンをクリックすると、所属選択画面（図 403）が表示されます。

※所属選択画面の操作方法は、『[52.3 所属選択](#)』をご参照ください。

・実行する

レポートスケジュールを実行する場合は ON に、実行しない場合は OFF を選択してください。

・検索条件

検索条件を指定してください。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

・データ種別

レポートに出力するデータ種別を選択してください。

※複数選択可能

・出力ファイル名

出力ファイル名を入力してください。

実際に出力されるファイルの名称は「{スケジュール ID}_{出力ファイル名}_yyyymmdd.csv」となります。

・出力データ種別

出力データ種別を選択してください。

・リアルタイム...瞬時データ

・ダイジェスト...瞬時データを集計したダイジェストデータ

・出力種別

出力種別を選択してください。

・日報...1 日分のデータを日報として 1 ファイルにまとめて出力します

・月報...1 ヶ月分のデータを月報として 1 ファイルにまとめて出力します

・年報...1 年分のデータを年報として 1 ファイルにまとめて出力します

・期間...指定した出力開始日～出力終了日のデータを 1 ファイルにまとめて出力します

・出力期間

レポートの出力期間を設定します。

出力開始日、出力終了日ともに 1～30 または「月末」を指定可能です。

出力種別で「期間」を選択時のみ設定可能です。

・出力間隔

出力間隔を選択します。選択肢は、以下の通りです。

・1 分

・5 分

・10 分

・指定なし...ポイント毎に設定されている収集周期の間隔で出力されます

・換算する

換算した値を出力する場合は ON に、そうでない場合は OFF を選択してください。

・集計種別

集計種別を選択してください。選択肢は、以下の通りです。

- ・最大…各ポイントの1時間ごとの最大値を算出して保存した値
- ・最小…各ポイントの1時間ごとの最小値を算出して保存した値
- ・平均…各ポイントの1時間ごとの平均値を算出して保存した値
- ・瞬時…各ポイントの毎正時の瞬時値を保存した値
- ・差分…正時と前回正時の瞬時の差分を保存した値

2. レポートスケジュールを保存します。

- (1) 入力不備がなければ、「保存」ボタンが有効となりますので、「保存」ボタンをクリックします。
- (2) 保存完了すると、レポートスケジュール一覧に反映されます。

24.3 出力結果

■機能

出力されたファイルのダウンロードや削除を行います。

	出力日時	ファイル名
④⑤	2019/03/14 01:00:00	1_realtime_daily_20190314.csv
④⑤	2019/03/13 01:00:00	1_realtime_daily_20190313.csv
④⑤	2019/03/12 01:00:00	1_realtime_daily_20190312.csv
④⑤	2019/03/11 01:00:00	1_realtime_daily_20190311.csv
④⑤	2019/03/10 01:00:00	1_realtime_daily_20190310.csv

図 321 出力結果

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	出力ファイル一覧	出力済みのファイル情報を一覧で表示する		
2	ダウンロード	選択中のファイルをまとめてダウンロードする		
3	削除	選択中のファイルをまとめて削除する		
4	削除	ファイルを削除する		
5	ダウンロード	ファイルをダウンロードする		
6	閉じる	当該画面を破棄する		

■表示

レポートスケジュール一覧（[図 319](#)）で「表示」ボタンをクリックすると、当該画面を表示します。

■操作

1. ファイルのダウンロード

- (1) ダウンロードするファイルの行の「ダウンロード」アイコンをクリックする、もしくはダウンロードするファイルにチェックを入れて一覧左上の「ダウンロード」ボタンをクリックします。

2. ファイルの削除

- (1) 削除するファイルの行の「削除」アイコンをクリックする、もしくは削除するファイルチェックを入れて一覧左上の「削除」ボタンをクリックします。

25 ポイントメンテナンス

25.1 ポイント一覧

■機能

計測ポイント情報の追加、編集、削除を行います。

The screenshot shows the garmit DC software interface for managing measurement points. The main window title is "garmit DC". The top navigation bar includes icons for search, refresh, and a user profile. A toolbar on the right contains buttons for "新規登録" (New Registration), "条件をクリア" (Clear Conditions), and "検索" (Search). The search area features a dropdown menu for search conditions (②) and a search input field (③). A button for "条件をクリア" (④) is also present. The main content area is titled "Point List" (⑤). It displays a table of point records with columns: Point ID, Point Name, Display Name, Measurement Instrument, Subgate ID, Address, Data Storage, Data Type, Point Type, and Location. The table includes rows for various points like P-MCCB-A01-01 through P-TYO1A1106-T. Buttons for "編集" (Edit) and "削除" (Delete) are located above the table (⑥ and ⑦). The bottom of the table shows page navigation from 1 to 117 (⑧ and ⑨). A red box highlights the search and table areas. The bottom status bar indicates "1162件中 1から 10までを表示" (Displaying 1 to 10 of 1162 items).

図 322 ポイント一覧

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	新規登録	ポイント情報を新規登録する		
2	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション/所属/タグ/電源系統/ハッシュタグ	※電源系統は電源系統メンテナンスの権限が読み取り専用以上で指定可能
3	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
4	条件削除	検索条件を削除する		
5	条件追加	検索条件を追加表示する		
6	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
7	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
8	編集	選択中のポイント情報を編集する		
9	削除	選択中のポイント情報を削除する		
10	ポイント一覧	検索結果に該当するポイント情報を一覧表示する		
11	表示設定	表示設定画面を表示する		
12	レポート出力	ポイント一覧に表示している内容を CSV 出力する		

■表示

メインメニューから「メンテナンス」>「ポイント」を選択すると、当該画面（図 322）を表示します。

■操作

1. ポイント検索

検索条件を指定して「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当するポイントの一覧が表示されます。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. ポイントの追加

- (1) 「新規登録」ボタンをクリックします。
- (2) ポイント編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

3. ポイントの編集

- (1) 編集するポイントの行の「編集」アイコンをクリックする、もしくは編集するポイント（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「編集」ボタンをクリックします。
- (2) ポイント編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

4. ポイントの削除

- (1) 削除したいポイントの行の「削除」アイコンをクリックする、もしくは削除するポイント（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「削除」ボタンをクリックします。

5. 表示設定

- (1) 「表示設定」ボタンをクリックして表示設定画面を表示します。
- (2) 非表示項目、表示項目を設定します

※設定方法の詳細は、『[6.2 表示設定](#)』と同様です。ご参照ください。

6. レポート出力

「レポート出力」ボタンをクリックすると、一覧に表示されている内容が CSV 形式でファイルに出力されます。

25.2 ポイント編集

■機能

ポイント情報を編集します。

garmit DC v

ポイント情報

ポイント番号	(1) 3	表示名称	(3)
ポイント名称*	(2) P-MCCB-A01-03	ポイント種別*	(7) 測定
ロケーション*	(4) 東京第一センター	タグ	(10) 要注意ポイント
データ種別*	(6) 電流		(8)
メール送信*	(9) 送信しない		(11)
コメント	(12) #ハッシュタグ		

測定情報

計測機器	(13) (1) G-MCCB-A01	IPアドレス: 172.19.40.24	(14)
サブゲートID	(15)	アドレス	(16) 30323
データ保存先*	(17) 東京DB	データ倍率	(18) 0.1
データ収集*	(19) 収集中	収集周期*	(20) 60 秒
判定開始状況*	(21) 判定開始	アラーム監視*	(22) 監視する
データフォーマット*	(24) #0.0	単位	(25) A
デマンド区分	(26) 選択してください	カウンタストップ値	(27)
MQTTデータ倍率	(28) 0.01		

アラーム判定情報

〔〕 デフォルト値適用		(29)	
閾値は 上限異常>上限注意>下限注意>下限異常 となるよう入力してください			
閾値（上限異常）	(30) 25	A 閾値（上限注意）	(31) 20
閾値（下限異常）	(32) 5	A 閾値（下限注意）	(33) 10
不感時間（異常発生）*	(34) 60	秒 不感時間（注意発生）*	(35) 60 秒
不感時間（異常復旧）*	(36) 60	秒 不感時間（注意復旧）*	(37) 60 秒

表示情報

ONメッセージ	(38)	OFFメッセージ	(39)
ON値	(40)	OFF値	(41)

換算情報

換算式	換算値 = 測定値 × 200 × 0.001		
換算値フォーマット*	(45) #0.0	換算値単位	(46) kVA

図 323 ポイント編集

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ポイント番号	ポイント番号を表示する		
2	ポイント名称	ポイント名称を入力する	32 文字以内	
3	表示名称	表示名称を入力する	32 文字以内	
4	ロケーション	ロケーションを表示する		
5	ロケーション選択	ロケーション選択画面（図 398）を表示してロケーションを選択する		
6	データ種別	データ種別を選択する		
7	ポイント種別	ポイント種別を選択する	測定/演算/仮想演算	
8	演算設定	演算ポイント編集画面（図 324）を表示して演算の設定をする		
9	メール送信	アラームメールを送信するかどうか選択する	送信する/送信しない	
10	タグ	設定済みのタグ名称を表示する		
11	タグ選択	タグ選択画面（図 421）を表示してタグを選択する		
12	コメント	コメントを入力する	100 文字以内	
13	計測機器	計測機器を選択する		
14	計測機器 IP アドレス	選択中の計測機器の IP アドレスを表示する		
15	サブゲート ID	サブゲート ID を入力する	0～32767	
16	アドレス	ポイントのアドレスを入力する	64 文字以内	
17	データ保存先	収集データの保存先を選択する		
18	データ倍率	計測機器からの取得値に対する倍率を入力する	0～1000	
19	データ収集	データ収集モードを選択する 収集中...データを収集する 停止中...データの収集を停止する	収集中/停止中	
20	収集周期 (秒)	収集周期を入力する		
21	判定開始状況	判定開始状況を入力する 判定開始...0 以外の値が一度でも検出されている状態 判定停止...0 以外の値が一度も検出されていない状態	判定開始/判定停止	
22	アラーム監視	アラーム監視モードを選択する 監視する...アラームの判定を行う 監視しない...アラームの判定を行わない	監視する/監視しない	
23	メンテナンススケジュール確認	メンテナンススケジュール確認画面（図 327）を表示する		※スケジュールが登録されている場合のみ表示
24	データフォーマット	データフォーマットを入力する	10 文字以内	
25	単位	単位を入力する	10 文字以内	
26	デマンド区分	デマンド区分を選択する		
27	カウンタストップ値	カウンタストップ値を入力する	0～ 2,147,483,647	
28	MQTT データ倍率	MQTT データ倍率を入力する	0～1,000	
29	デフォルト値適用	デフォルト値適用ダイアログを表示して、閾値、不感時間に対してあらかじめ登録したデフォルト値を設定する		
30	閾値（上限異常）	アラーム監視の閾値（上限異常）を入力する	-999,999～ 999,999	
31	閾値（上限注意）	アラーム監視の閾値（上限注意）を入力する	-999,999～ 999,999	
32	閾値（下限異常）	アラーム監視の閾値（下限異常）を入力する	-999,999～ 999,999	

33	閾値（下限注意）	アラーム監視の閾値（下限注意）を入力する	-999,999～999,999	
34	不感時間（異常発生）（秒）	アラーム監視の不感時間（異常発生）を入力する	0～2,147,483,647	
35	不感時間（注意発生）（秒）	アラーム監視の不感時間（注意発生）を入力する	0～2,147,483,647	
36	不感時間（異常復旧）（秒）	アラーム監視の不感時間（異常復旧）を入力する	0～2,147,483,647	
37	不感時間（注意復旧）（秒）	アラーム監視の不感時間（注意復旧）を入力する	0～2,147,483,647	
38	ON メッセージ	ON 値を検知した場合に表示する文字列を入力する	20 文字以内	
39	OFF メッセージ	OFF 値を検知した場合に表示する文字列を入力する	20 文字以内	
40	ON 値	接点の ON 値を入力する	0～255	
41	OFF 値	接点の OFF 値を入力する	0～255	
42	換算種別	換算種別を選択する	+/-/*/÷	
43	換算係数	換算係数を入力する	-99,999,999～99,999,999	
44	追加	換算種別、換算係数のセットを追加する		
45	換算値フォーマット	換算値のフォーマットを入力する	10 文字以内	
46	換算値単位	換算値の単位を入力する	10 文字以内	
47	保存	編集内容を保存してポイント一覧画面に戻る		
48	キャンセル	編集内容を破棄してポイント一覧画面に戻る		

■表示

ポイント一覧（図 322）で「新規登録」ボタンまたは「編集」ボタンをクリックすると、当該画面（図 323）を表示します。

■操作

1. ポイント編集

(1) 各項目を入力します。

・ポイント番号

ポイント番号は自動採番のため、編集できません。

・ポイント名称/表示名称

指定文字数内の文字列を入力してください。

・ロケーション

ポイントに紐づけるロケーションを選択してください。

「ロケーション選択」ボタンをクリックすると、ロケーション選択画面（図 398）が表示されます。

※ロケーション選択画面の操作方法は、『[52.2 ロケーション選択](#)』をご参照ください。

・データ種別

データ種別を選択してください。

※データ種別の選択肢は、導入時にインタビューします。

・ポイント種別

ポイント種別を選択してください。選択肢は、以下の通りです。

ポイント種別：測定/演算/仮想演算

・測定…測定機器から取得した計測値

・演算…測定値、固定値を利用した演算式を登録した演算結果（DBに演算結果を保存する）

・仮想演算…測定値、固定値を利用した演算式を登録した演算結果（DBに演算結果を保存しない）

・メール送信

当該ポイントの閾値超過時のメール送信可否を選択してください。

当該ポイントでは「送信する」となっていても、ロケーションに紐づいている所属の設定で「送信しない」と設定された場合はメール送信はしません。

・タグ

当該ポイントに紐づけるタグを選択してください。

「タグ選択」ボタンをクリックすると、タグ選択画面（[図 421](#)）を表示し、紐づけ対象のタグを選択します。

選択したタグ名称が表示されます。

ここで表示されるタグ選択画面には、ログインユーザーの所属に紐づくタグのみ選択肢として表示されます。

・コメント

指定文字数内の文字列を入力してください。

「#」+キーワードで入力すると、検索条件の「ハッシュタグ」として検索することができます。

・計測機器

登録済みの計測機器から、計測対象機器を選択してください。

・サブゲート ID

指定文字数内の文字列を入力してください。

サブゲート ID が必要な機器と不要な機器があります。

・アドレス

測定機器のデータ取得先のアドレスを入力してください。

・データ保存先

データの保存先を選択してください。選択肢は、登録済みのデータ保存先となります。

・データ倍率

指定範囲の実数を入力してください。

・データ収集

データ収集有無を選択してください。選択肢は、以下の通りです。

・停止中…データ収集を行いません。

・収集中…データ収集を行います。

・収集周期

計測機器のデータを計測値としてデータベースに保存する周期を入力します。

指定範囲内の数値を入力してください。

・判定開始状況

判定開始状況を選択してください。選択肢は、以下の通りです

・判定開始…アラーム判定を開始している

・判定停止…登録時、計測値が「0」の場合はアラーム判定せず、「0」を超える計測値を検知後、アラーム判定を開始する

・アラーム監視

アラーム監視有無を選択してください。選択肢は、下記の通りです。

・監視する…閾値超過のアラーム判定を行う

・監視しない…閾値超過のアラーム判定は行わない。閾値超過してもインシデントログに残らない。

・データフォーマット

計測値の表示フォーマットを入力します。

「#」+（整数部分）「.（小数点）」（小数部分）で指定します。

・単位

データ種別選択時に、デフォルトとして登録済みの単位が表示されます。

変更する場合は、単位を入力してください。

・デマンド区分

デマンド区分を選択してください。

・カウンタストップ値

指定範囲内の数値を入力してください。

・MQTT データ倍率

指定範囲の実数を入力してください。

・閾値（上限異常/上限注意/下限異常/下限注意）

指定範囲内の数値を入力してください。

閾値は、「上限異常」>「上限注意」>「下限注意」>「下限異常」となるように入力してください。

・不感時間

指定範囲内の数値を入力してください。

・ON メッセージ/OFF メッセージ

指定文字数内の文字列を入力してください。

ON メッセージ：計測値が ON 値に設定した値のときに表示する文字列

OFF メッセージ：計測値が OFF 値に設定した値のときに表示する文字列

※データ種別が「接点」の場合に使用することを想定しています。

・ON 値/OFF 値

指定範囲内の数値を入力してください。

ON 値：接点の ON 値

OFF 値：接点の OFF 値

※データ種別が「接点」の場合に使用することを想定しています。

・換算式

換算種別を選択し、換算係数を入力することで、換算式を登録します。

換算種別の選択肢は、「+/-/*/÷」の 4 種類です。

換算係数は、指定範囲内の数値を入力してください。

換算式を登録したポイントは、フロアマップなどで「換算表示」モードを選択すると、換算式で演算した結果が表示されます。

・換算値フォーマット

換算結果のフォーマットを入力します。

「#」+（整数部分）「.（小数点）」（小数部分）で指定します。

・換算値単位

換算値の単位を入力してください。

2. ポイント情報を保存します。

(1) 入力不備がなければ、「保存」ボタンが有効となりますので、「保存」ボタンをクリックします。

(2) 保存完了すると、ポイント一覧に反映されます。

25.3 演算ポイント編集

■機能

演算ポイント情報を編集します。

※演算は①～⑩に順番に行い、乗除算が優先されることはありませんのでご注意ください。



図 324 演算ポイント編集



図 325 演算設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	演算式/グループアラーム	演算ポイントのモードを選択する		
2	追加	演算項を追加する	10 演算項まで	
3	演算対象追加	演算対象選択画面を表示して演算対象を追加する	20 ポイントまで	
4	演算設定	演算設定画面を表示する		
5	演算項削除	演算対象および演算子を削除する		
6	保存	編集した演算式を保存し、当該画面を消去する		※ポイント編集画面で保存した時点で変更が確定
7	キャンセル	編集した演算式を破棄し、当該画面を消去する		
8	ポイント/固定値	ポイントを選択するか、固定値を登録するか選択する		※演算ポイント編集画面で「演算式」選択時のみ表示
9	演算子	演算項間の演算方法を選択する		
10	集計	集計方法を選択する	・演算式の場合…合計/最大/最小/平均 ・グループアラームの場合…注意/異常	
11	絶対値	演算項全体の演算結果を絶対値として演算する		※演算ポイント編集画面で「演算式」選択時のみ表示
12	換算値	演算項の各ポイントの換算値を用いて演算する		※演算ポイント編集画面で「演算式」選択かつ演算設定画面で「ポイント」選択時のみ表示
13	適用	選択した演算設定を演算式登録画面に反映し、演算設定画面を消去する		
14	キャンセル	選択した演算設定を破棄し、演算設定画面を消去する		
15	固定値	固定値を入力する	-10,000,000～10,000,000	※演算ポイント編集画面で「演算式」選択かつ演算設定画面で「固定値」選択時のみ表示
16	クリア	固定値を削除する		※演算ポイント編集画面で「演算式」選択かつ演算設定画面で「固定値」選択時のみ表示
17	固定値追加	固定値を追加する		※演算ポイント編集画面で「演算式」選択かつ演算設定画面で「固定値」選択時のみ表示

■表示

ポイント編集で「演算設定」ボタンをクリックすると、当該画面（図 325）を表示します。

■操作

1. 演算式/グループアラーム切替

演算ポイントのモードを切り替えます。

- ・演算式...指定のポイントの測定値を使用して演算します
- ・グループアラーム...指定のポイントのアラーム発生件数を使用して演算します

2. 演算項の追加

「+追加」ボタンをクリックすると、クリックした位置に演算項が追加されます。

3. 演算対象の追加

「+」ボタンをクリックすると、演算対象追加画面（[図 326](#)）が表示されます。

4. 演算設定

各演算項の「編集」ボタンをクリックすると、演算設定画面（[図 325](#)）が表示されます。

下記の各項目を入力して「適用」ボタンをクリックします。

・ポイント/固定値

演算項でポイントの計測値を使用するか、固定値を使用するか選択します。

・演算

演算子を選択します（+/-/×/÷）。

※①の演算項では設定できません。

※演算は①～⑩の順番に行われるため、乗除算が優先されることはありません。

・集計方法

集計方法を選択します。

・合計...ポイントの計測値または固定値の合計を演算項の値として集計します

・最大...ポイントの計測値または固定値の中で最大の値を演算項の値として集計します

・最小...ポイントの計測値または固定値の中で最小の値を演算項の値として集計します

・平均...ポイントの計測値または固定値の平均の値を演算項の値として集計します

・異常...演算対象に選択したポイントで発生している異常アラームの件数

・注意...演算対象に選択したポイントで発生している注意アラームの件数

・絶対値

演算項の値を絶対値とするか選択します。

※演算式の場合のみ設定可能。

・換算値

各ポイントの計測値を換算値で計算するか選択します。

※演算式かつポイントの場合のみ設定可能。

・固定値

固定値を設定します。

※演算式かつ固定値の場合のみ設定可能。

5. 演算項の削除

各演算項の「削除」ボタンをクリックすると、演算項が削除されます。

※演算項が 1 つしかない場合には削除されません。

6. 保存

「保存」ボタンをクリックすると、編集内容を適用してポイント編集画面に戻ります。

ポイント編集画面で保存するまではデータベースには保存されません。

7. キャンセル

「キャンセル」ボタンをクリックすると、編集内容を破棄してポイント編集画面に戻ります。

25.4 演算対象追加

■機能

演算対象のポイントを選択して追加します。

The '検索条件' section contains:

- (1) フィルターダイアログボックス: 「ロケーション」で「東京第一センター / A棟 / 1階 / 1列 / TYO1A10101」が選択されている。
- (2) 「検索条件」リスト内に選択された項目。
- (3) 「検索条件」リストのヘッダー部。
- (4) 「+」ボタン。
- (5) 「× 条件をクリア」ボタン。
- (6) 「検索」ボタン。

The '検索結果' section contains:

- (7) テーブルヘッダー: 「ポイント番号」(昇順)と「ポイント名称」(昇順)。
- 表示件数: 5件表示。
- テーブルデータ:

ポイント番号	ポイント名称
43	P-TYO1A1107-T
91	P-TYO1A1107-H
138	PDU-A11-100V-1-101
141	PDU-A11-200V-1-101
142	PDU-A11-200V-1-102
- 表示件数: 11件中1から5まで表示。
- ページナビゲーション: < 1 2 3 >
- (8) 「適用」ボタン。
- (9) 「キャンセル」ボタン。

図 326 演算対象追加

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション/所属/ タグ/電源系統/ハ ッシュタグ	
2	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		※選択した検索条件 によって入力方法が異 なる
3	クリア	検索条件を削除する		
4	追加	検索条件を追加表示する		
5	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
6	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
7	ポイント一覧	検索条件に該当するポイントを一覧表示する チェック状態で選択/未選択を切り替える		
8	適用	ポイント一覧でチェック状態のポイントを選択し て当該画面を閉じる		
9	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

演算ポイント編集（図324）で「+」ボタンをクリックすると、当該画面（図326）を表示します。

■操作方法

1. 検索

検索条件を指定して、検索を行います。

※検索方法の詳細は、『52.1 検索条件』をご参照ください。

2. 演算対象選択

(1) 選択するポイントにチェックを入れます。

(2) 「適用」ボタンをクリックします。

25.5 メンテナンススケジュール確認

■機能

編集中対象のポイントが対象に含まれているメンテナンススケジュールの一覧を表示します。

メンテナンススケジュール			
スケジュール名	開始日時	終了日時	アラーム監視
○○○作業	2018/10/09 17:00	2018/10/09 21:00	監視しない
×××作業	2018/10/08 14:00	2018/10/08 16:00	監視する

①

② 閉じる

図 327 メンテナンススケジュール確認

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	メンテナンススケジュール一覧	編集中ポイントが対象に含まれているメンテナンススケジュールの一覧を表示する		
2	閉じる	当該画面を消去する		

■表示

ポイント編集で「メンテナンススケジュール確認」ボタンをクリックすると、当該画面を表示します。

25.6 デフォルト値適用

■機能

デフォルト設定画面（図 381）で設定したデフォルト値をポイントの設定値に適用します。

項目	適用前	適用後
閾値 (上限異常)	30 ℃	28 ℃
閾値 (上限注意)	24 ℃	27 ℃
閾値 (下限注意)	6 ℃	20 ℃
閾値 (下限異常)	1 ℃	18 ℃
不感時間 (異常発生)	60 秒	0 秒
不感時間 (注意発生)	60 秒	0 秒
不感時間 (異常復旧)	60 秒	0 秒
不感時間 (注意復旧)	60 秒	0 秒

(5) 適用 (6) キャンセル

図 328 デフォルト値適用

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	適用対象	適用対象とするかどうかチェックする		
2	設定項目	設定項目の名称を表示する		
3	適用前の値	適用前の値を表示する		
4	適用後の値	適用後の値（デフォルト値）を表示する		
5	適用	適用して当該画面を消去する		
6	キャンセル	キャンセルして当該画面を消去する		

■表示

ポイント編集で「デフォルト値適用」ボタンをクリックすると、当該画面を表示します。

■操作

デフォルト値を適用する項目にチェックを入れ、「適用」ボタンをクリックします。

26 所属メンテナンス

26.1 所属一覧

■機能

所属情報の追加、編集、削除を行います。

The screenshot shows the 'garmit DC' application's 'Organization List' screen. The top navigation bar includes a logo, a search icon labeled '所属', and status indicators for notifications (29), errors (61), and warnings (21). A red box highlights the '新規登録' (New Registration) button (①). The search bar area has a dropdown menu (②) and a red box around the search input field (③). Below the search bar are buttons for '条件をクリア' (Clear Conditions) (④) and '検索' (Search) (⑤). The main content area is titled '所属一覧' (Organization List) (⑥) and contains a table with columns: '所属ID' (Organization ID), '所属名称' (Organization Name), '権限レベル' (Permission Level), '親所属名称' (Parent Organization Name), '上限ユーザー数' (Max User Count), 'データ参照開始日時' (Data Reference Start Date and Time), 'メール送信タイミング' (Email Delivery Timing), '許可レーション名' (Permission Rule Name), and 'コメント' (Comment). The table rows show various organizations with their details. Red boxes highlight several buttons and fields: '編集' (Edit) (⑦), '削除' (Delete) (⑧), '表示設定' (Display Settings) (⑪), 'レポート出力' (Report Output) (⑫), and the search results count '139 件中 1 から 10 までを表示' (139 items, showing from 1 to 10) (⑩). The bottom right corner shows a page number '1'.

図 329 所属一覧

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	新規登録	所属情報を新規登録する		
2	検索条件	検索条件を指定する	所属/ハッシュタグ	
3	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
4	条件削除	検索条件を削除する		
5	条件追加	検索条件を追加表示する		
6	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
7	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
8	編集	選択中の所属情報を編集する		
9	削除	選択中の所属情報を削除する		
10	所属一覧	検索結果に該当する所属情報を一覧表示する		
11	表示設定	表示設定画面（ 6.2 ）を表示する		
12	レポート出力	所属一覧に表示している内容を CSV 出力する		

■表示

メインメニューから「メンテナンス」>「所属」を選択すると、当該画面（[図 329](#)）を表示します。

■操作

1. 所属検索

検索条件を指定して「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当する所属の一覧が表示されます。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. 所属の追加

- (1) 「新規登録」ボタンをクリックします。
- (2) 所属編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

3. 所属の編集

- (1) 編集する所属の行の「編集」アイコンをクリックする、もしくは編集する所属（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「編集」ボタンをクリックします。
- (2) 所属編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

4. 所属の削除

削除したい所属の行の「削除」アイコンをクリックする、もしくは削除する所属（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「削除」ボタンをクリックします。

5. 表示設定

- (1) 「表示設定」ボタンをクリックして表示設定画面を表示します。
- (2) 非表示項目、表示項目を設定します。

※ 設定方法の詳細は、『[6.2 表示設定](#)』と同様です。ご参照ください。

6. レポート出力

「レポート出力」ボタンをクリックすると、一覧に表示されている内容が CSV 形式でファイルに出力されます。

26.2 所属編集

■機能

所属情報を編集します。

所属編集

所属

① 所属ID (編集不可) ② 株式会社デンソー・ソリューションズ
③ 親所属 ④ 株式会社デンソー ⑤ フォルダ
⑥ 子所属 (編集不可) ⑦ オペレーター ⑧ 上限ユーザー数 ⑨ メール送信タイミング ⑩ データ収録開始日 ⑪ メール送信先 ⑫ フォルダ
⑬ フォルダ ⑭ メール送信対象アラーム ⑮ コメント ⑯ ロケーション ⑰ アクセスレベル
⑱ モニタリング>フロアマップ ⑲ 所属ユーザー (編集不可) ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
モニタリング>リアルタイムモニタ ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
モニタリング>トレンドグラフ ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
モニタリング>インシデントログ ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
ロケーションビューワー ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
キャバシティ>ラック ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
アセット>ラック ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
アセット>ユニット ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
アセット>ユニット移動 ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
アセット>テンプレート ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
コネクション>ネットワーク接続 ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
コネクション>電源 ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
スクジュール>作業 ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
スクジュール>ラック施設 ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
スクジュール>レポート ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
メンテナンス>ポイント ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
メンテナンス>所属 ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
メンテナンス>ユーザー ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
メンテナンス>タグ ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
メンテナンス>電源系統 ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
メンテナンス>ラック ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
メンテナンス>ユニット ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
メンテナンス>ロケーション ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
メンテナンス>機器 ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
メンテナンス>グラフィック ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
メンテナンス>画像 ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
データ出力>インポート/エクスポート ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
データ出力>アセットレポート ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
データ出力>データーリポート ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
オペレーションログ ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
基本設定>メール設定 ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
基本設定>デフォルト設定 ⑳ 保存 ㉑ キャンセル
基本設定>サウンド設定 ⑳ 保存 ㉑ キャンセル

図 330 所属編集

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	所属 ID	所属 ID を表示する（編集不可）		
2	所属名称	所属名称を入力する	32 文字以内	
3	親所属	親所属を表示する		
4	(親所属) 選択	所属選択画面を表示する ログインユーザーが紐づく所属およびその配下の所属が選択可能		
5	(親所属) クリア	親所属を消去する		
6	子所属	子所属を表示する		
7	権限レベル	権限レベルを選択する		
8	上限ユーザー数	当該所属に紐づけられる上限ユーザー数を入力する		
9	メール送信タイミング	メール送信タイミングを選択する		
10	データ参照開始日	カレンダーを表示し日付を選択する ここで設定した日付以降の計測データのみが参照可能になる		
11	メール送信先	メール送信先アドレスを入力する (最大 10 件)	50 文字以内	
12	メール送信先削除	メール送信先アドレスを削除する		
13	追加	メール送信先入力欄を追加表示する		
14	メール送信対象アラーム	メールを送信するアラーム種別を選択する 親所属で「送信する」に設定されている種別のみ設定可能		
15	コメント	コメントを入力する	100 文字以内	
16	ロケーション	ロケーションを表示する 選択したロケーションに兄弟ノードが無い場合は、上位のロケーションが選択されて表示される		
17	(ロケーション) 選択	ロケーション選択画面を表示する 親所属に設定した所属に許可されているロケーション配下のロケーションを選択可能		
18	アクセスレベル	所属に紐づける機能を選択する 親所属で「非表示」ではない機能のみ設定可能		
19	所属ユーザー	当該所属に紐づけられたユーザーを表示する		
20	保存	入力内容を DB に反映し、所属一覧画面に遷移する		
21	キャンセル	入力内容を破棄し、所属一覧画面に遷移する		

■表示

所属一覧（図 329）で「新規登録」ボタンまたは「編集」ボタンをクリックすると、当該画面（図 330）を表示します。

■操作

1. 所属編集

(1) 各項目を入力および選択します。

・所属 ID

所属 ID は自動採番のため、編集できません。

・所属名称

指定文字数内で文字列を入力してください。

・親所属

親所属を選択します。

「所属選択」ボタンをクリックすると、所属選択画面（[図 403](#)）が表示されるので、親所属として登録する所属を選択します。

・権限レベル

アクセスレベルで「編集可」とした機能の中で、さらに権限レベルを設定します。選択肢は、以下の通りです。

権限レベル：システム管理者/運用管理者/運用者/参照

※権限レベルと操作可否については、『[表 2 操作権限レベル一覧](#)』をご参照ください。

・上限ユーザー数

上限ユーザー数を入力します。

親所属に割り振られている上限ユーザー数、親所属に紐づくユーザー数、同じ親所属を持つ他の所属に紐づくユーザー数をもとに

上限ユーザー数を入力し、入力したユーザー数がエラーの場合にはエラーメッセージが表示されます。

・メール送信タイミング

アラートメールの送信タイミングを選択します。選択肢は、以下の通りです。

送信タイミング：発生時/復旧時/継続時

・メール送信先

アラートメールの送信先アドレスを入力します。

最大 10 件まで登録可能です。

・データ参照開始日

カレンダーから、参照可能な日付を選択します。

リアルタイムモニタで参照できるのは、ここで設定した日付以降のデータとなります。

・メール送信対象アラーム

メール送信するアラーム種別を選択します。

親所属で、「送信しない」と選択されているアラームについては、選択肢として表示されません。

メール送信対象アラームの選択肢は、以下の通りです（全パターン）。

・上限異常

・下限異常

・上限注意

・下限注意

・期限超過（アセットのみ）

・期限超過前（アセットのみ）

・荷重制限超過（アセットのみ）

・荷重制限超過前（アセットのみ）

・スレーブ機器異常（システムエラー）

・通信異常（システムエラー）

・ファイル DL 異常（システムエラー）

・メール送信異常（システムエラー）

・データ収集異常（バッファ）（システムエラー）

・データ収集異常（瞬時）（システムエラー）

・データ収集異常（集計）（システムエラー）

・レポート出力異常

・コメント

指定文字数内の文字列を入力してください。

「#」+キーワードで入力すると、検索条件の「ハッシュタグ」として検索することができます。

・ロケーション

編集中の所属で参照可能なロケーションを選択します。

「ロケーション選択」ボタンをクリックすると、ロケーション選択画面（[図 398](#)）が表示されるので、対象ロケーションを選択します。

・アクセスレベル

編集中の所属が操作可能な機能を選択します。各機能について、「編集可/読み取り専用/非表示」のいずれかを設定します。

・編集可…機能の全機能を利用可能です（権限レベルによる）

・読み取り専用…機能の画面は参照できますが、登録・編集操作はできません

・非表示…メニューに機能が表示されません

(2) 保存ボタンをクリックし、保存します。

【注記】

下記のように、ロケーションの表記が所属一覧と所属編集画面で異なる場合があります。

所属編集では親所属で許可されているロケーションを選択可能ですが、下位のロケーションすべてにチェックが入ると、上位のロケーションにチェックが入るため、「東京第一センター」が選択状態で表示されます。

しかし、親所属で許可されているロケーション以外にも表示されないだけでロケーションが存在しており、実際に許可されているロケーションは「TYO1A10101」配下のロケーションとなります。そのため、所属一覧には「東京第一センター A 棟 1 階 1 列 TYO1A10101」と表示されます。

• 所属一覧

所属名称	メール送信タイミング	権限レベル	親所属名称	上限ユーザー数	データ参照開始日時	許可ロケーション名	コメント
株式会社デンソーソリューションズ	送信しない	システム管理者	株式会社デンソー	0	2019/01/25	東京第一センター A 棟 1 階 1 列 TYO1A10101	

• 所属編集

ロケーション*

x 東京第一センター

ロケーション選択

検索: search

左図のような、配下に 1 つしかロケーションがない場合に、
下位層のロケーションを選択すると、上位のロケーションも選択状態となります。
この場合、最上位階層にチェックが入るため、所属編集のロケーションには
最上位階層のロケーション名が表示されます。
所属に紐づくロケーションとしては、最下層のロケーションが登録されています。

- 東京第一センター
- A棟
- 1階
- 1列
- TYO1A10101

全て展開 全て閉じる

適用 キャンセル

図 331 ロケーションの表記の違い

27 ユーザーメンテナンス

27.1 ユーザー一覧

■機能

ユーザー情報の追加、編集、削除を行います。

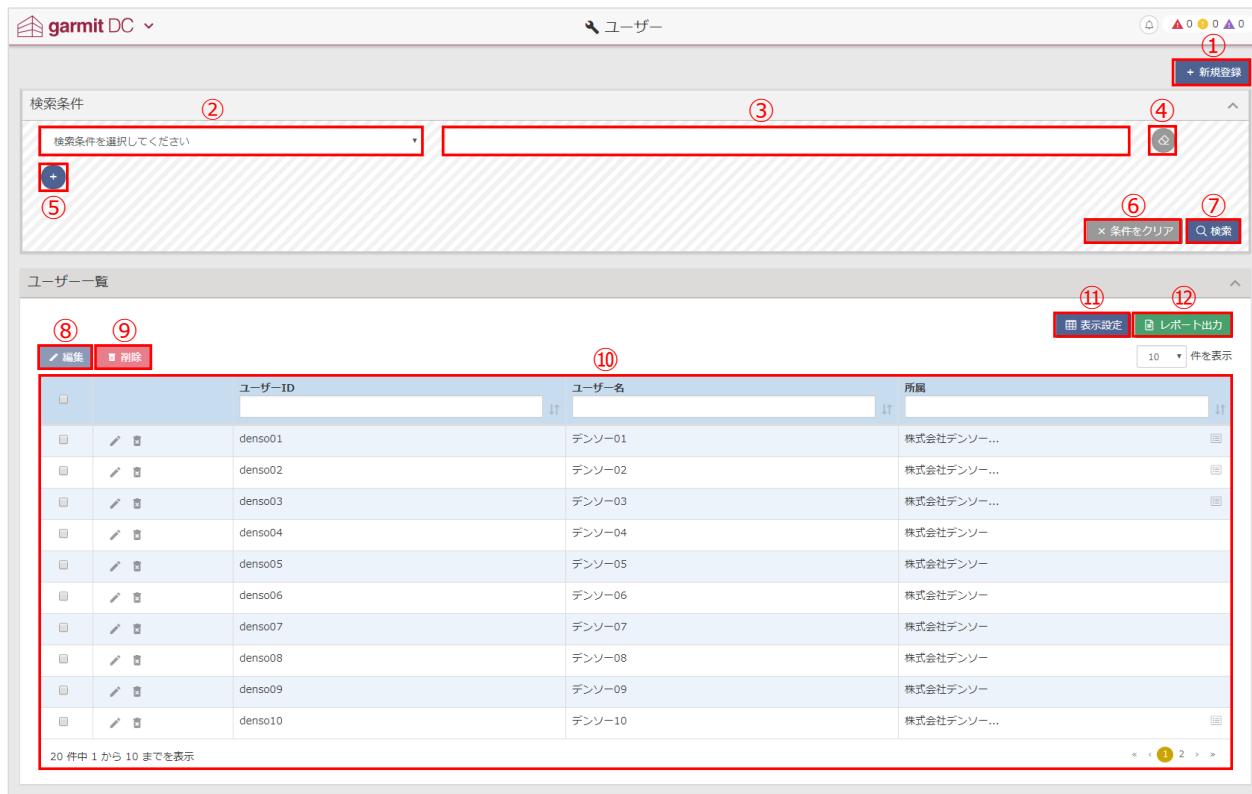


図 332 ユーザー一覧

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	新規登録	ユーザー情報を新規登録する		
2	検索条件	検索条件を指定する	所属/ユーザー	
3	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
4	条件削除	検索条件を削除する		
5	条件追加	検索条件を追加表示する		
6	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
7	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
8	編集	選択中のユーザー情報を編集する		
9	削除	選択中のユーザー情報を削除する		
10	ユーザー一覧	検索結果に該当するユーザー情報を一覧表示する		
11	表示設定	表示設定画面を表示する		
12	レポート出力	ユーザー一覧に表示している内容を CSV 出力する		

■表示

メインメニューから「メンテナンス」>「ユーザー」を選択すると、当該画面（図332）を表示します。

■操作

1. ユーザー検索

検索条件を指定して「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当するユーザーの一覧が表示されます。

※検索方法の詳細は、『[5.2.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. ユーザーの追加

(1) 「新規登録」ボタンをクリックします。

(2) ユーザー編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

3. ユーザーの編集

(1) 編集するユーザーの行の「編集」アイコンをクリックする、もしくは編集するユーザー（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「編集」ボタンをクリックします。

(2) ユーザー編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

4. ユーザーの削除

削除したいユーザーの行の「削除」アイコンをクリックする、もしくは削除するユーザー（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「削除」ボタンをクリックします。

5. 表示設定

(1) 「表示設定」ボタンをクリックして表示設定画面を表示します。

(2) 非表示項目、表示項目を設定します。

※設定方法の詳細は、『[6.2 表示設定](#)』と同様です。ご参照ください。

6. レポート出力

「レポート出力」ボタンをクリックすると、一覧に表示されている内容が CSV 形式でファイルに出力されます。

27.2 ユーザー編集

■機能

ユーザー情報を編集します。

The screenshot shows the 'User Edit' screen of the garmit application. At the top, there's a header bar with the garmit logo and a title 'ユーザー'. Below the header, the main form has several input fields and buttons:

- ① ユーザー編集 (Title)
- ② パスワードの有効期限は残り60日です (Message)
- ③ ユーザーID (denso01)
- ④ ユーザー名称 (デンソー01)
- ⑤ パスワード (確認) (Redacted)
- ⑥ 所属 (株式会社デンソー (選択))
- ⑦ 利用停止 (checkbox)
- ⑧ (Redacted)
- ⑨ 保存 (Save button)
- ⑩ キャンセル (Cancel button)

図 333 ユーザー編集

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	パスワード有効期限	パスワードの有効期限を表示する		
2	ユーザーID	ユーザーIDを入力する	100文字以内	※既存のユーザーの編集時は編集不可
3	ユーザー名称	ユーザー名称を入力する	32文字以内	
4	パスワード	パスワードを入力する	8文字以上50文字以内	※編集時はパスワードを変更する場合のみ入力する
5	パスワード（確認）	パスワードを入力する	8文字以上50文字以内	※編集時はパスワードを変更する場合のみ入力する
6	所属	編集中のユーザーが紐づいている所属を表示する メインの所属を濃い青色で表示する メインはクリックして切り替えることが可能		
7	所属選択	所属選択画面（図403）を表示してユーザーに紐づける所属を選択する		※複数選択可
8	利用停止	利用停止フラグを設定する チェックを入れると、そのユーザーでログインすることが不可能になる ログインに指定回数失敗したユーザーは利用停止になるが、チェックを外して保存すると利用可能になる		
9	保存	編集内容を保存してユーザー一覧画面（図332）に戻る		
10	キャンセル	編集内容を破棄してユーザー一覧画面（図332）に戻る		

■表示

ユーザー一覧（[図 332](#)）で「新規登録」ボタンまたは「編集」ボタンをクリックすると、当該画面（[図 333](#)）を表示します。

■操作

1. ユーザー編集

(1) 各項目を入力し、保存します。

・ユーザーID

制限事項に沿って、ユーザーIDを入力してください。

制限事項：半角英数字、100 文字以内

新規登録時のみ編集可能な項目ですので、既存ユーザーの編集時は編集不可となります。

・ユーザー名称

制限事項に沿って、文字列を入力してください。

制限事項：32 文字以内

・パスワード

制限事項に沿って、パスワードを入力してください。

制限事項：8 文字以上、大文字/小文字/数字/記号のうち 3 種類を使う

・パスワード（確認）

再度、パスワードを入力してください。

・所属

所属を選択します。

「所属選択」ボタンをクリックすると、所属選択画面（[図 403](#)）が表示されるので、親所属として登録する所属を選択します。

・利用停止

「利用停止」にチェックを入れると、編集中のユーザーはシステムを利用できなくなります。

また、ログイン時に指定回数（標準：5 回）ログインに失敗すると、利用停止となるため、ユーザー編集時には、当該項目がチェックされている状態となります。

28 タグメンテナンス

28.1 タグメンテナンス（参照モード）

■機能

タグ情報の追加、編集、削除を行います。

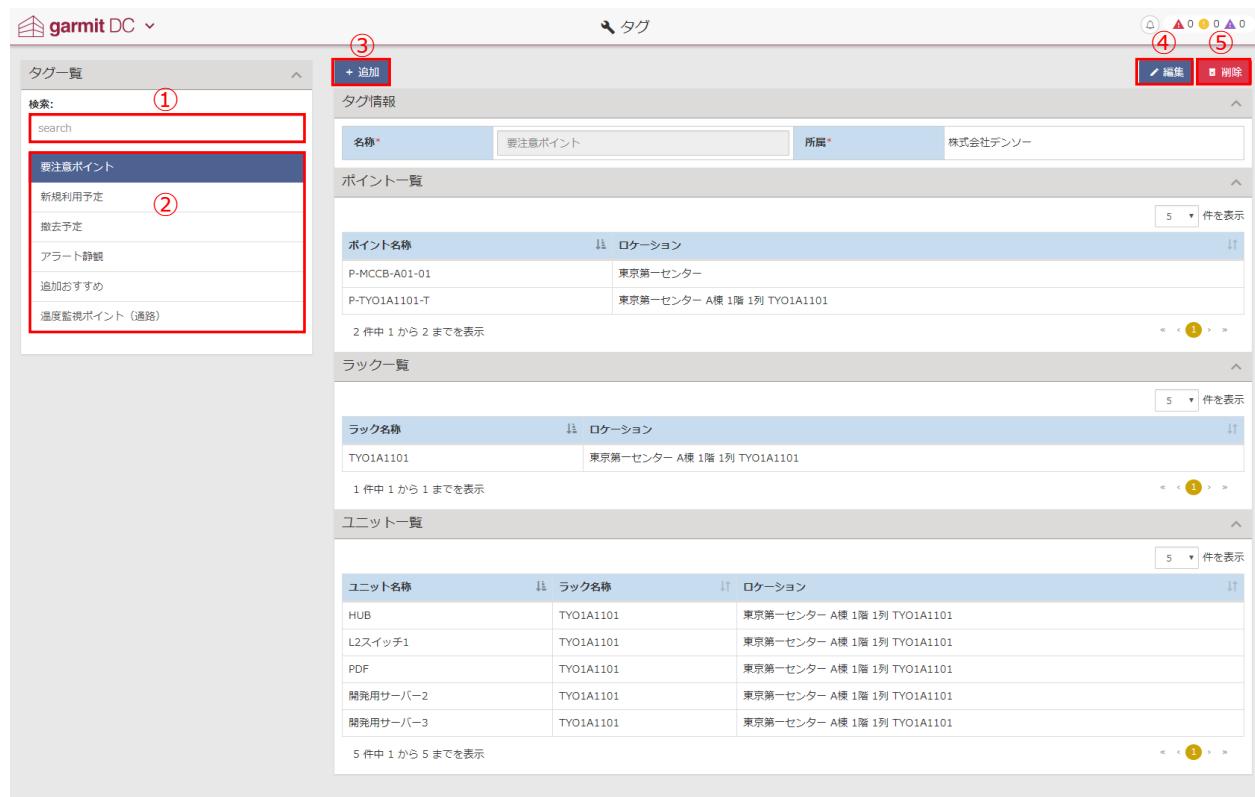


図 334 タグメンテナンス（参照モード）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索	タグ一覧で入力した文字列が含まれるタグを赤色で表示する		
2	タグ一覧	登録済みのタグ一覧を表示する		
3	追加	タグを新規作成する		
4	編集	登録済みのタグ情報を編集する		
5	削除	登録済みのタグ情報を削除する		

■表示

メインメニューから「メンテナンス」>「タグ」を選択すると、当該画面を表示します。

■操作

1. タグの検索

- (1) タグ一覧の検索テキストボックスに検索したいタグ名称の部分文字列を入力します。
- (2) 検索テキストボックスに入力した文字列をタグ名称に含むタグが赤で表示されます。

2. タグの追加

- (1) 「追加」ボタンをクリックします。
- (2) 必要な項目を入力して「保存」ボタンをクリックします。

3. タグの編集

- (1) 編集したいタグをタグ一覧で選択します。
- (2) 「編集」ボタンをクリックします。
- (3) 必要な項目を入力して「保存」ボタンをクリックします。

4. タグの削除

- (1) 削除したいタグをタグ一覧で選択します。
- (2) 「削除」ボタンをクリックします。

28.2 タグメンテナンス（編集モード）

■機能

タグ情報の編集を行います。

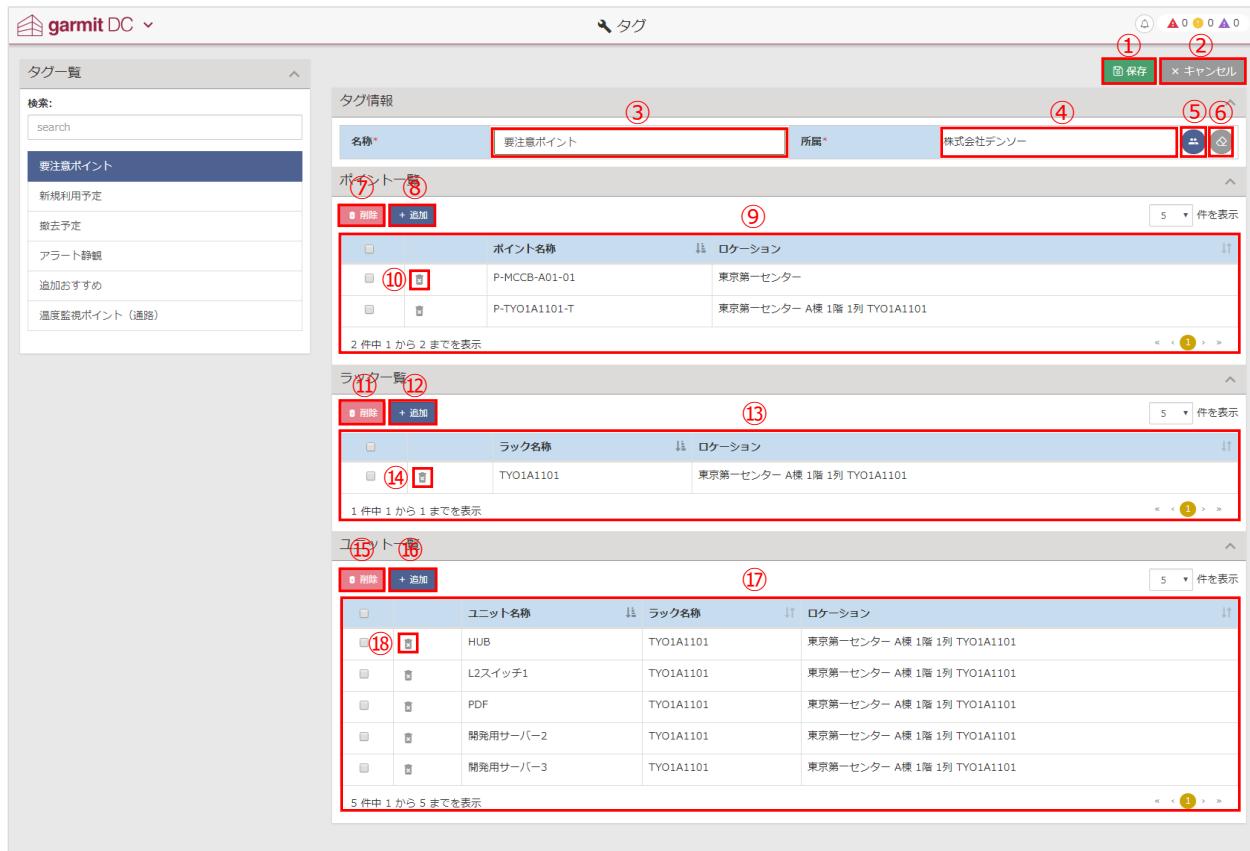


図 335 タグメンテナンス（編集モード）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	保存	編集内容を保存する		
2	キャンセル	編集内容を破棄する		
3	名称	タグの名称を入力する	32 文字以内	
4	所属	選択中のタグの所属を表示する		
5	所属選択	タグの所属を選択する		
6	所属クリア	選択中のタグの所属をクリアする		
7	削除	ポイント一覧でチェック状態のポイントをタグから削除する		※紐付けの解除だけで、ポイント自体は削除されません
8	追加	ポイント選択画面を表示してタグに紐づけるポイントを追加する		
9	ポイント一覧	タグに紐づくポイントの一覧を表示する	100 ポイントまで紐づけ可能	
10	削除	ポイント一覧からポイントを削除する		※紐付けの解除だけで、ポイント自体は削除されません
11	削除	ラック一覧でチェック状態のラックをタグから削除する		※紐付けの解除だけで、ラック自体は削除されません
12	追加	ラック選択画面を表示してタグに紐づけるラックを追加する		
13	ラック一覧	タグに紐づくラックの一覧を表示する	20 ラックまで紐づけ可能	
14	削除	ラック一覧からラックを削除する		※紐付けの解除だけで、ラック自体は削除されません
15	削除	ユニット一覧でチェック状態のユニットをタグから削除する		※紐付けの解除だけで、ユニット自体は削除されません
16	追加	ユニット選択画面を表示してタグに紐づけるユニットを追加する		
17	ユニット一覧	タグに紐づくユニットの一覧を表示する	800 ユニットまで紐づけ可能	
18	削除	ユニット一覧からユニットを削除する		※紐付けの解除だけで、ユニット自体は削除されません

■表示

タグメンテナンス（参照モード）（図 334）で「追加」ボタンまたは「編集」ボタンをクリックすると、当該画面（図 335）を表示します。

■操作

1. ポイント追加

- (1) ポイント一覧の「追加」ボタンをクリックします。
- (2) ポイント選択画面が表示されるので、追加するポイントを検索して追加します。

※操作方法は、『[52.9 ポイント選択](#)』をご参照ください。

2. ラック追加

- (1) ラック一覧の「追加」ボタンをクリックします。
- (2) ラック選択画面が表示されるので、追加するラックを検索して追加します。

※操作方法は、『[28.3 ラック選択](#)』をご参照ください。

3. ユニット追加

- (1) ユニット一覧の「追加」ボタンをクリックします。
- (2) ユニット選択画面が表示されるので、追加するユニットを検索して追加します。

※操作方法は、『[28.4 ユニット選択](#)』をご参照ください。

4. ポイント削除

削除したいポイントの行の削除アイコンをクリックする、もしくは削除したいポイントの行にチェックを入れてポイント一覧の左上の「削除」ボタンをクリックします。

5. ラック削除

削除したいラックの行の削除アイコンをクリックする、もしくは削除したいラックの行にチェックを入れてラック一覧の左上の「削除」ボタンをクリックします。

6. ユニット削除

削除したいユニットの行の削除アイコンをクリックする、もしくは削除したいユニットの行にチェックを入れてユニット一覧の左上の「削除」ボタンをクリックします。

28.3 ラック選択

■機能

ラックを選択します。

The screenshot shows the 'Rack Selection' dialog box. At the top left is the title 'ラック選択'. Below it is a search bar labeled '検索条件' with a dropdown menu set to 'ロケーション' (①). To the right of the dropdown is a text input field containing '東京第一センター / A棟 / 1階 / 1列' (②), which has a clear button 'x'. On the far right of the search bar is a refresh icon (③). Below the search bar is a blue circular button with a white '+' sign (④). To the right of the search bar are two buttons: '× 条件をクリア' (⑤) and 'Q 検索' (⑥).

The main area is titled 'ラック一覧' (Rack List). It displays a table with columns: 'ラック名' (Rack Name) and 'ロケーション' (Location). The table contains five rows of data:

ラック名	ロケーション
TYO1A10101	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101
TYO1A10101	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10101
TYO1A10102	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102
TYO1A10103	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10103
TYO1A10104	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10104

Below the table, there is a message '19 件中 1 から 5 までを表示' (Showing 1 to 5 of 19 items) and a page navigation bar with buttons for '« < 1 2 3 4 > »' (⑦).

At the bottom left of the list area is a checkbox '選択したラックにマウントされているユニットも選択する' (Select units mounted on the selected rack) (⑧).

At the bottom right are two buttons: '○ 適用' (Apply) (⑨) and '× キャンセル' (Cancel) (⑩).

図 336 ラック選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション//ハッシュタグ	
2	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
3	クリア	検索条件を削除する		
4	追加	検索条件を追加表示する		
5	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
6	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
7	ラック一覧	検索条件に該当するラックを一覧表示する チェック状態で選択/未選択を切り替える		
8	選択したラックにマウントされているユニットも選択する	チェックを入れた状態で適用すると、選択したラックにマウントされているユニットも選択されてユニット一覧に反映される		
9	適用	ラック一覧でチェック状態のラックを選択して当該画面を閉じる		
10	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

タグメンテナンス（編集モード）で、ラック一覧の「追加」ボタンをクリックすると当該画面（図336）が表示されます。

■操作

(1) 検索条件を指定して、検索を行います

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

(2) 選択するラックにチェックを入れます。

(3) 「適用」ボタンをクリックします。

28.4 ユニット選択

■機能

ユニットを選択します。

The screenshot shows the 'Unit Selection' dialog box. At the top, there is a search bar with a dropdown menu set to 'ロケーション' (Location) and a value '東京第一センター / A棟 / 1階 / 1列 / TYO1A10102'. Below the search bar are buttons for adding more search criteria (④), clearing the search conditions (⑤), and performing the search (⑥). The main area displays a table titled 'Unit List' (ユニット一覧) with columns: 'Select' (checkbox), 'Unit Name' (ユニット名称), 'Rack Name' (ラック名称), and 'Location' (ロケーション). The table contains five entries:

Select	Unit Name	Rack Name	Location
<input type="checkbox"/>	HUB	TYO1A10102	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102
<input type="checkbox"/>	PDF	TYO1A10102	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102
<input type="checkbox"/>	開発用サーバー1	TYO1A10102	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102
<input type="checkbox"/>	開発用サーバー2	TYO1A10102	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102
<input type="checkbox"/>	開発用サーバー3	TYO1A10102	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102

Below the table, it says '6 件中 1 から 5 までを表示' (Displaying items 1 to 5 of 6). To the right of the table are buttons for navigating between pages (1, 2, etc.) and a dropdown for selecting the number of items to display (5). At the bottom of the dialog box, there is a checkbox '選択したユニットがマウントされているラックも選択する' (Select the rack where the selected unit is mounted) with a radio button next to it (⑧), and two buttons: '適用' (Apply) (⑨) and 'キャンセル' (Cancel) (⑩).

図 337 ユニット選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション//ハッシュタグ	
2	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
3	クリア	検索条件を削除する		
4	追加	検索条件を追加表示する		
5	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
6	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
7	ユニット一覧	検索条件に該当するユニットを一覧表示する チェック状態で選択/未選択を切り替える		
8	選択したユニットがマウントされているラックも選択する	チェックを入れた状態で適用すると、選択したユニットがマウントされているラックも選択されてラック一覧に反映される		
9	適用	ユニット一覧でチェック状態のユニットを選択して当該画面を閉じる		
10	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

タグメンテナンス（編集モード）で、ユニット一覧の「追加」ボタンをクリックすると当該画面（図 337）が表示されます。

■操作

1. 検索

検索条件を指定して、検索を行います。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. ユニット選択

(1) 選択するユニットにチェックを入れます。

(2) 「適用」ボタンをクリックします。

29 電源系統メンテナンス

29.1 電源系統メンテナンス（参照モード）

■機能

電源系統情報の追加、編集、削除を行います。

garmit DC

電源系統一覧

検索: search

PDU-A01-100V

PDU-A02-200V

+ PDU-A11-100V

PDU-A11-200V

+ PDU-A12-100V

PDU-A21-100V ③

+ PDU-A22-200V

PDU-B01-100V

+ PDU-B02-200V

+ PDU-B11-100V

PDU-B12-100V

PDU-B21-100V

PDU-B22-200V

④ 全て展開

⑤ 全て閉じる

電源系統

⑥ 系統追加

⑦ 子系統追加

⑧ 電源系統表示へ

⑨ 編集

⑩ 削除

電源系統

電源系統名*: PDU-A01-100V

定格電流値: 100 A

定格電圧値: 100 V

定格周波数: 50 Hz

配電方式*: 単相2線

分歧電源数*: 4

行 × 2 列 8

電源系統計測ポイント

インデックス	表示名称	ポイント
1	PDU-A02-200V	P-PDU-A02-200V
2	PDU-A01-100V	P-PDU-A01-100V
3	PDU-B01-100V	P-PDU-B01-100V
4	PDU-B02-200V	P-PDU-B02-200V
5	PDU-B0201-200V	P-PDU-B0201-200V

8件中 1 から 5 までを表示

分歧電源

名称	定格電流値 (A)	定格電圧値 (V)	行	列	ステータス	ポイント	子電源系統
MCCB-A01-01	10	100	1	1	使用中	P-MCCB-A01-01	
MCCB-A01-02	10	100	2	1	未使用	P-MCCB-A01-02	
MCCB-A01-03	10	100	3	1	未使用	P-MCCB-A01-03	
MCCB-A01-04	10	100	4	1	未使用	P-MCCB-A01-04	
MCCB-A01-05	10	100	1	2	未使用	P-MCCB-A01-05	

8件中 1 から 5 までを表示

図 338 電源系統メンテナンス（参照モード）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	並べ替え	電源系統ツリーにて選択中の電源系統と同等の電源系統を並べ替える		
2	検索	電源系統ツリーで入力文字列に該当するものを文字色変更表示する		
3	電源系統ツリー	電源系統ツリーを表示する		
4	すべて展開	電源系統ツリーをすべて表示する		
5	閉じる	ツリーと閉じ、ルートノードのみ表示する		
6	電源系統追加	電源系統ツリーで選択中の電源系統と同階層の電源系統を新規作成する		
7	子電源系統追加	電源系統ツリーで選択中の電源系統の一段階下の階層の電源系統を新規作成する		
8	電源系統表示へ	電源系統表示画面へ遷移する		
9	編集	当該画面を編集モードに変更する		
10	削除	選択中の電源系統を削除する		

■表示

メインメニューから「メンテナンス」>「電源系統」を選択すると、当該画面（図338）を表示します。

■操作

1. 電源系統の追加

- (1) 電源系統を追加したい階層の電源系統を選択します。
- (2) 「系統追加」ボタンをクリックします。
- (3) 必要な項目を入力して「保存」ボタンをクリックします。

※親電源系統を変更した場合には、変更後の親電源系統の下に電源系統が追加されます

2. 子電源系統の追加

- (1) 子系統を追加したい電源系統を選択します。
- (2) 「子系統追加」ボタンをクリックします。
- (3) 必要な項目を入力して「保存」ボタンをクリックします。

※親電源系統を変更した場合には変更後の親電源系統の下に電源系統が追加されます

3. 電源系統の編集

- (1) 編集したい電源系統を選択して「編集」ボタンをクリックします。
- (2) 項目を編集して「保存」ボタンをクリックします。

4. 電源系統の削除

- (1) 削除したい電源系統を選択します。
- (2) 「削除」ボタンをクリックします。

5. 電源系統の並べ替え

- (1) 並べ替えをしたい階層の電源系統を選択します。
- (2) 「並べ替え」ボタンをクリックします。
- (3) 電源系統をドラッグ＆ドロップで並び替えます。
- (4) 「保存」ボタンをクリックします。

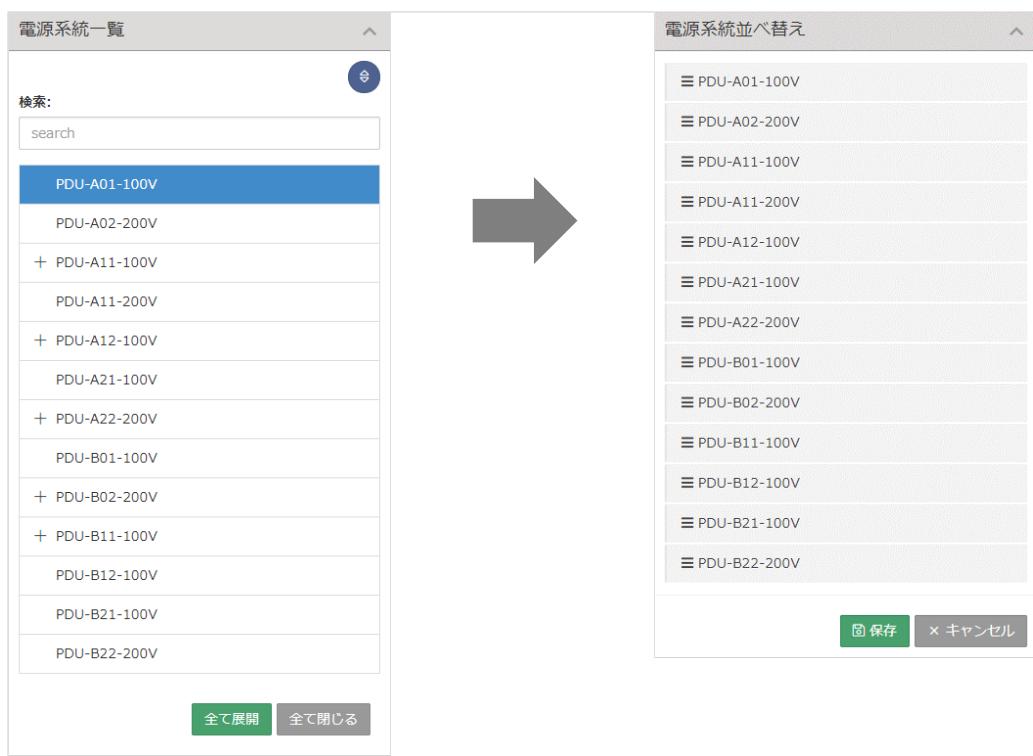


図 339 電源系統並べ替え

6. 電源系統表示画面への遷移

- (1) 電源系統表示画面で表示したい電源系統を選択します。
- (2) 「電源系統表示へ」リンクをクリックします。
- (3) 選択した電源系統を選択状態で電源系統表示画面（[図 316](#)）が表示されます。

29.2 電源系統メンテナンス（編集モード）

■機能

電源系統を編集します。

The screenshot shows the garmit DC software interface for power system maintenance in edit mode. The main window is divided into several sections:

- Left Sidebar:** "電源系統一覧" (Power System List) with a search bar and a tree view of power systems. A blue box highlights "PDU-A01-100V". Buttons at the bottom are "全て展開" (Expand All) and "全て閉じる" (Collapse All).
- Top Right:** "電源系統" (Power System) tab. Buttons include "電源系へ表示へ" (Show Power System), "保存" (Save), and "キャンセル" (Cancel). A status bar shows icons for battery level, signal strength, and connection status.
- Middle Top:** "電源系統" (Power System) configuration section with fields for:
 - ③ PDU-A11-100V
 - ⑥ 分岐電源に紐づける (Associate with branch power source)
 - ⑦ 電源系統名*: PDU-A01-100V
 - ⑧ 配電方式*: 單相2線 (Single-phase 2-wire)
 - ⑨ 定格電流値: 100 A
 - ⑩ 定格電圧値: 100 V
 - ⑪ 定格周波数: 50 Hz
 - ⑫ 行: 4, ⑬ 列: 2, ⑭ 行×列: 8
- Middle Bottom:** "電源系統計測ポイント" (Power System Measurement Points) table with columns: インデックス (Index), 表示名称 (Display Name), ポイント (Point). Rows show points 1 through 5, each associated with a PDU component and its point code (e.g., P-PDU-A02-200V).
- Bottom:** "分岐電源" (Branch Power Source) table with columns: 名称 (Name), 定格電流値 (A) (Nominal Current Value (A)), 定格電圧値 (V) (Nominal Voltage Value (V)), 行 (Row), 列 (Column), ステータス (Status), ポイント (Point), 子電源系統 (Sub Power System). Rows show MCCB components A01-01 to A01-05.

図 340 電源系統メンテナンス（編集モード）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	保存	電源系統、電源系統計測ポイント設定、分岐電源の編集した内容を保存し、当該画面を参照モードに変更する		
2	キャンセル	編集内容を破棄し、当該画面を参照モードに変更する		
3	親電源系統	親電源系統を表示する		
4	選択	電源系統選択モーダルを表示する		
5	紐づけ解除	親電源系統選択状態を解除する		
6	分岐電源紐づけ	分岐電源として登録済みの電源系統を選択する		
7	電源系統名	電源系統名称を入力する	32 文字以内	
8	配電方式	配電方式を選択する	対象外/単相 2 線/単相 3 線/三相 3 線/三相 4 線	
9	定格電流	定格電流を入力する	0~10000	
10	定格電圧	定格電圧を入力する	0~10000	
11	定格周波数	定格周波数を入力する	0~10000	
12	分岐電源数（行）	分電盤図に表示する分岐電源数（行）を入力する	0~100	
13	分岐電源数（列）	分電盤図に表示する分岐電源数（列）を入力する	0~100	
14	分岐電源数（全）	分岐電源数（行）×分岐電源数（列）を自動で計算して表示する		
15	削除	チェック状態の電源系統計測ポイントを削除する		
16	追加	電源系統計測ポイント編集ダイアログを表示して電源系統計測ポイントを追加する		
17	電源系統計測ポイント一覧	電源系統計測ポイントを一覧で表示する	最大 18 件まで登録可能	
18	編集	電源系統計測ポイント編集ダイアログを表示して電源系統計測ポイントを編集する		
19	削除	電源系統計測ポイントを削除する		
20	削除	チェック状態の分岐電源を削除する		
21	追加	分岐電源編集ダイアログを表示して分岐電源を追加する		
22	分岐電源一覧	分岐電源を一覧で表示する	分岐電源数まで登録可能	
23	編集	分岐電源編集ダイアログを表示して分岐電源を編集する		
24	削除	分岐電源を削除する		

■表示

電源系統メンテナンス（参照モード）（[図 338](#)）で「系統追加」ボタン、「子系統追加」ボタン、「編集」ボタンをクリックすると当該画面（[図 340](#)）を表示します。

■操作

1. 電源系統計測ポイントの追加

- (1) 電源系統計測ポイント一覧の「追加」ボタンをクリックします。
- (2) 電源系統計測ポイント編集画面（[図 341](#)）が表示されるので、項目を編集して「適用」ボタンをクリックします。

2. 電源系統計測ポイントの編集

- (1) 編集したい電源系統計測ポイントの「編集」アイコンをクリックします。
- (2) 電源系統計測ポイント編集画面（[図 341](#)）が表示されるので、項目を編集して「適用」ボタンをクリックします。

3. 電源系統計測ポイントの削除

削除したい電源系統計測ポイントの「削除」アイコンをクリックする、もしくはチェックを入れて電源系統計測ポイント一覧の左上にある「削除」ボタンをクリックします。

4. 分岐電源の追加

- (1) 分岐電源一覧の「追加」ボタンをクリックします。
 - (2) 分岐電源編集画面が表示されるので、項目を編集して「適用」ボタンをクリックします
- ※詳細は、『[29.4 分岐電源編集](#)』をご参照ください。

5. 分岐電源の編集

- (1) 編集したい分岐電源の「編集」アイコンをクリックします。
 - (2) 分岐電源編集画面が表示されるので、項目を編集して「適用」ボタンをクリックします。
- ※詳細は、『[29.4 分岐電源編集](#)』をご参照ください。

6. 分岐電源の削除

削除したい分岐電源の「削除」アイコンをクリックするか、チェックを入れて分岐電源一覧の左上にある「削除」ボタンをクリックします。

7. 編集内容の保存

- (1) 必要な項目を編集します。
- (2) 「保存」ボタンをクリックします。

29.3 電源系統計測ポイント編集

■機能

電源系統計測ポイントの編集を行います。



図 341 電源系統計測ポイント編集

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	インデックス	電源系統表示図の表示インデックスを入力する	1~18	
2	表示名称	電源系統表示図の表示名称を入力する	20 文字以内	
3	ポイント	選択中のポイントを表示する		
4	ポイント選択	ポイント選択画面（図 426）を表示してポイントを選択する		
5	適用	編集内容を適用する		
6	キャンセル	編集内容を破棄する		

■表示

電源系統メンテナンス（編集モード）（[図 340](#)）で電源系統計測ポイント一覧の「追加」または「編集」ボタンをクリックすると当該画面を表示します。

■操作

1. 編集

(1) 各項目を入力し、「適用」ボタンをクリックします。

・インデックス

電源系統図の表示インデックスを指定します。

指定範囲内の数値を入力してください。

電源系統図では下記の順で表示されます。

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18

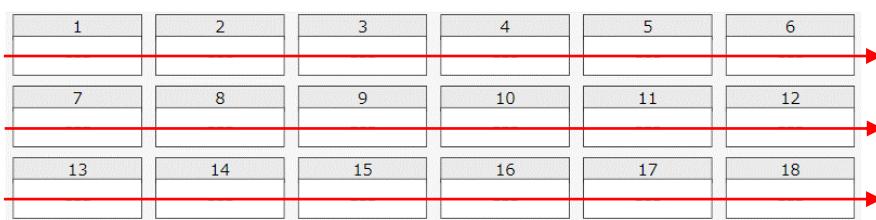


図 342 表示インデックス

・表示名称

電源系統図に表示する、系統計測ポイントの名称を入力します。

指定文字数内の文字列を入力してください。

・ポイント

「ポイント」選択ボタンをクリックすると、ポイント選択画面（[図 426](#)）が表示されるので、紐づけるポイントを選択します。

29.4 分岐電源編集

■機能

分岐電源の編集を行います。



図 343 分岐電源編集

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	電源名称	分岐電源の名称を入力する	20 文字以内	
2	ステータス	分岐電源のステータスを入力する	未使用/使用中	
3	表示位置	電源系統表示図の分岐電源の表示位置を入力する		
4	ポイント	選択中のポイントを表示する		
5	ポイント選択	ポイント選択画面（図 426）を表示してポイントを選択する		
6	クリア	ポイントの選択をクリアする		
7	定格電流値	分岐電源の定格電流値を入力する	0～10000	整数値
8	定格電圧値	分岐電源の定格電圧値を入力する	0～10000	整数値
9	適用	編集内容を適用する		
10	キャンセル	編集内容を破棄する		

■表示

電源系統メンテナンス（編集モード）（図 340）で分岐電源一覧の「追加」ボタン、分岐電源毎の「編集」ボタンをクリックすると当該画面（図 343）を表示します。

■操作

1. 分岐電源編集

(1) 各項目を入力し、「適用」ボタンをクリックします。

・電源名称

電源系統図の各分岐電源に表示する名称を入力します。

指定文字数内の文字列を入力してください。

・ステータス

分岐電源の使用状況を選択します。選択肢は、以下の通りです。

ステータス：未使用/使用中

・表示位置

分岐電源の表示位置（行および列）を入力します。

電源系統概要で登録した分岐電源数（行×列）の範囲内で設定します。

・ポイント

「ポイント」選択ボタンをクリックすると、ポイント選択画面（[図 426](#)）が表示されるので、紐づけるポイントを選択します。

・定格電流値/定格電圧値

分岐電源の電流値および電圧値を入力します。

指定範囲内の数値を入力してください。

30 ラックメンテナンス

■機能

ラックの管理項目の設定を行います。

The screenshot shows two windows of the garmit DC application. The left window is titled 'ページ一覧' (Page List) and lists various management items. Item 6, 'ラックメモ' (Rack Memo), is selected and highlighted with a blue background. The right window is titled 'ラック' (Rack) and is the 'Page Setting' screen for item 6. It contains a table for managing items under 'ラックメモ'. The table has columns for '有効' (Effective), '検索対象' (Search Target), '項目名*' (Item Name*), 'データ型' (Data Type), 'データ/書式' (Data/Format), and '監視状態' (Monitoring Status). Item 4, '重量' (Weight), is selected. A red box highlights the 'ページ名称*' field (③) containing 'ラックメモ'. Another red box highlights the '操作' (Operation) column for item 6, which contains a pencil icon (②). A third red box highlights the '令並替え' (Sort by Order) button (④) at the top right of the table. A fourth red box highlights the '監視開始日' (Monitoring Start Date) field (⑤) and its dropdown menu (⑥). A fifth red box highlights the '日付時刻型' (Date and Time Type) dropdown menu (⑦). A sixth red box highlights the 'yyyy/M/d' date format option (⑧). A seventh red box highlights the '監視する' (Monitor) checkbox (⑨). A eighth red box highlights the '日付時刻型' dropdown menu (⑩). A ninth red box highlights the 'HH:mm:ss' time format option (⑪). A tenth red box highlights the '時刻のみ指定' (Specify only time) checkbox (⑫). A eleventh red box highlights the '1' value in the '日付' (Date) input field (⑬). At the bottom right of the table are the '保存' (Save) button (⑭) and the 'キャンセル' (Cancel) button (⑮).

図 344 ラックメンテナンス

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ページ名	ページ名称を表示する		
2	編集	ページ設定（画面右側）を編集可とする		
3	ページ名称	ページ名称を入力する	32 文字以内	
4	並べ替え	項目並び替えダイアログが表示され、項目の並び替えを行う		
5	有効	項目のラック詳細に表示可否を設定する		
6	検索対象	項目をラックの検索に使用するかどうか設定する		
7	項目名	項目名を入力する	32 文字以内	
8	データ型	項目ごとのデータ型を選択する	文字列型/文字列型（複数行）/整数型/実数型/日付時刻型/選択肢型	
9	データ書式	データの書式を設定する ・実数型…小数点以下の桁数をフォーマットで指定（例: #0.0） ・日付時刻型…日付の表示形式を選択する ・選択肢型…選択肢を設定する		※データ型が実数型/日付時刻型/選択肢型の場合のみ
10	監視状態	項目を監視対象とするか否か設定する 監視状態にした場合、下記のアラームが発生する ・注意アラーム…ラック画面で本項目に設定した日時の指定日数前になったとき ・異常アラーム…ラック画面で本項目に設定した日時になったとき		
11	日数	注意アラームを発生させる対象日時までの日数を入力する	1～999	※監視状態がチェックされ、データ書式で時刻のみ指定にチェックされていない場合のみ指定可能
12	保存	編集した内容を登録し、ページ名称をページ一覧に反映する		
13	キャンセル	編集した内容を破棄する		

■表示

メインメニューから「メンテナンス」>「ラック」を選択すると、当該画面（図 344）を表示します。

■操作

1. ページ選択

ページ一覧で任意のページの「編集」ボタンをクリックすると、ページ設定にページの情報が表示されます。

2. ページ設定編集

(1) 下記の各項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

- ・ページ名称

制限事項に沿って、ページ名称を入力します。

制限事項：32 文字以内

- ・有効

ラック画面のラック詳細で当該項目を表示するかどうかを設定します。

- ・検索対象

ラックの検索で当該項目を指定可能にするかどうかを設定します。

- ・項目名

制限事項に沿って、管理項目の名称を入力します。

制限事項：32 文字以内

- ・データ型

データ型を選択します。選択肢は以下の通りです。

文字列型/文字列型（複数行）/整数型/実数型/日付時刻型/選択肢型

- ・データ/書式

データ型で実数型、日付時刻型、選択肢型を選択した場合に設定します。

- ・実数型の場合：

小数点以下の有効桁数をフォーマットで指定します。

例えば、小数点以下 2 衡までを設定可能とする場合は、「#0.00」と入力してください。

- ・日付時刻型の場合：

日付・時刻の表示フォーマットを選択します。

「時刻のみ指定」にチェックを入れると、時刻のみの項目に設定できます。

- ・選択肢型の場合：

選択肢の名称を入力します。

「+」ボタンをクリックすると、選択肢の入力欄が追加されます。

最大 50 件まで選択肢を設定できます。

- ・監視状態

データ型で日付時刻型を選択し、データ/書式で「時刻のみ指定」がチェックされていない場合に設定可能です。

「監視する」にチェックを入れた場合、下記のアラームが発生します。

- ・注意アラーム…ラック画面で本項目に設定した日時の指定日数前になったとき

- ・異常アラーム…ラック画面で本項目に設定した日時になったとき

31 ユニットメンテナンス

■機能

ユニットの管理項目の設定を行います。

The screenshot shows the garmit DC software interface for unit maintenance. On the left, there is a 'Page List' (ページ一覧) showing a list of pages with their names and edit operations. On the right, there are two main sections: 'Page Setting' (ページ設定) and 'Management Item' (管理項目).

Page Setting (③): This section includes fields for 'Page Name' (ページ名), 'Type' (種別), and a 'Add' button (⑥). There is also a 'Replace' button (⑦) at the bottom.

Management Item (⑧ to ⑯): This section lists management items with checkboxes, search criteria, project names, data types, data formats, and monitoring status. Some items have dropdown menus for date formats (yyyy/MM/dd, dd/MM/yyyy) and time formats (日付時刻型, 時刻のみ指定). A specific row for 'Contract Period' (契約期限) is highlighted with a red box, showing a date range from '指定なし' to '30日前'. Buttons for saving (⑮) and canceling (⑯) are located at the bottom right.

図 345 ユニットメンテナンス

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ページ名	ページ名称を表示する		
2	編集	ページ設定（画面右側）を編集可とする		
3	ページ名称	ページ名称を入力する	32 文字以内	
4	種別	ユニット種別を選択する		
5	削除	選択中の種別を削除する		
6	追加	種別選択欄を追加表示する		
7	並べ替え	項目並び替えダイアログが表示され、項目の並び替えを行う		
8	有効	項目のユニット詳細に表示可否を設定する		
9	検索対象	項目をユニットの検索に使用するかどうか設定する		
10	項目名	項目名を入力する	32 文字以内	
11	データ型	項目ごとのデータ型を選択する	文字列型/文字列型（複数行）/整数型/実数型/日付時刻型/選択肢型	
12	データ書式	データの書式を設定する ・実数型...小数点以下の桁数をフォーマットで指定（例: #0.0） ・日付時刻型...日付の表示形式を選択する ・選択肢型...選択肢を設定する		※データ型が実数型/日付時刻型/選択肢型の場合のみ
13	監視状態	項目を監視対象とするか否か設定する 監視状態にした場合、下記のアラームが発生する ・注意アラーム...ユニット画面で本項目に設定した日時の指定日数前になったとき ・異常アラーム...ユニット画面で本項目に設定した日時になったとき		
14	日数	注意アラームを発生させる対象日時までの日数を入力する	1～999	※監視状態がチェックされ、データ書式で時刻のみ指定にチェックされていない場合のみ指定可能
15	保存	編集した内容を登録し、ページ名称をページ一覧に反映する		
16	キャンセル	編集した内容を破棄する		

■表示

メインメニューから「メンテナンス」>「ユニット」を選択すると、当該画面（図 345）を表示します。

■操作

1. ページ選択

- (1) ページ一覧で任意のページの「編集」ボタンをクリックすると、ページ設定にページの情報が表示されます。

2. ページ設定編集

- (1) 下記の各項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

・ページ名称

制限事項に沿って、ページ名称を入力します。

制限事項：32 文字以内

・有効

ラック画面のラック詳細で当該項目を表示するかどうかを設定します。

・検索対象

ラックの検索で当該項目を指定可能にするかどうかを設定します。

・項目名

制限事項に沿って、管理項目の名称を入力します。

制限事項：32 文字以内

・データ型

データ型を選択します。選択肢は以下の通りです。

文字列型/文字列型（複数行）/整数型/実数型/日付時刻型/選択肢型

・データ/書式

データ型で実数型、日付時刻型、選択肢型を選択した場合に設定します。

・実数型の場合：

小数点以下の有効桁数をフォーマットで指定します。

例えば、小数点以下 2 衡までを設定可能とする場合は、「#0.00」と入力してください。

・日付時刻型の場合：

日付・時刻の表示フォーマットを選択します。

「時刻のみ指定」にチェックを入れると、時刻のみの項目に設定できます。

・選択肢型の場合：

選択肢の名称を入力します。

「+」ボタンをクリックすると、選択肢の入力欄が追加されます。

最大 50 件まで選択肢を設定できます。

・監視状態

データ型で日付時刻型を選択し、データ/書式で「時刻のみ指定」がチェックされていない場合に設定可能です。

「監視する」にチェックを入れた場合、下記のアラームが発生します。

・注意アラーム…ユニット画面で本項目に設定した日時の指定日数前になったとき

・異常アラーム…ユニット画面で本項目に設定した日時になったとき

32 ロケーションメンテナンス

■機能

ロケーション情報の追加、編集、削除を行います。

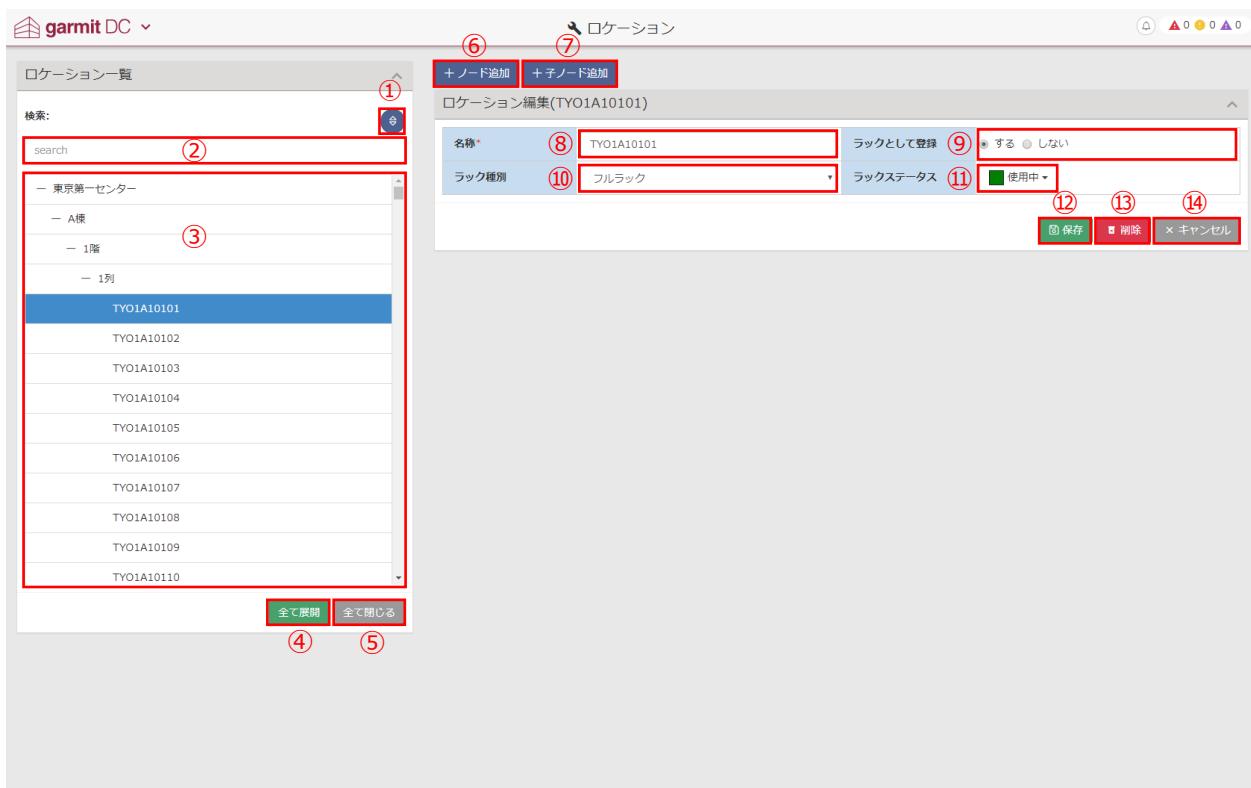


図 346 ロケーションメンテナンス

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	並べ替え	ロケーションツリーを並べ替えモードに変更する		
2	検索キーワード	ロケーションツリーを検索するキーワードを入力する		
3	ロケーションツリー	ロケーションツリーを表示する		
4	すべて展開	ロケーションツリーをすべて開いて表示する		
5	閉じる	ロケーションツリーをルートノードのみ表示する		
6	ノード追加	ロケーションツリーで選択中のノードと同階層のノードを追加する		
7	子ノード追加	ロケーションツリーで選択中のノードの一階層下にノードを追加する		
8	名称	ロケーション名称を入力する	32 文字以内	
9	ラックとして登録	編集中のロケーションをラックとして登録する		
10	ラック種別	ラック種別を選択する		「ラックとして登録」にチェックが入っているときのみ選択可
11	ラックステータス	ラックのステータスを選択する	空き/予約済み/ 使用中	「ラックとして登録」にチェックが入っているときのみ選択可
12	保存	入力した内容を保存する		
13	削除	選択中のノードを削除する		
14	キャンセル	入力した内容を破棄する		

■表示

メインメニューから「メンテナンス」>「ロケーション」を選択すると、当該画面（図 346）を表示します。

■操作

1. ロケーションの検索

検索する文字列を入力すると、入力された文字列を電源系統名称に含む電源系統が赤色で表示されます。



図 347 ロケーション検索

2. ロケーションの追加

- (1) ロケーションを追加したい階層のロケーションを選択します。
- (2) 「ノード追加」ボタンをクリックします。
- (3) ロケーション編集で必要な項目を入力して「保存」ボタンをクリックします。

3. 子ロケーションの追加

- (1) 子ロケーションを追加したいロケーションを選択します。
- (2) 「子ノード追加」ボタンをクリックします。
- (3) ロケーション編集で必要な項目を入力して「保存」ボタンをクリックします。

4. ロケーションの編集

- (1) 編集したいロケーションを選択します。
- (2) ロケーション編集で項目を編集して「保存」ボタンをクリックします。

5. ロケーションの削除

- (1) 削除したいロケーションを選択します。
- (2) 「削除」ボタンをクリックします。

※ラック画面でラック情報を登録済みのロケーションについては、ラック画面でラックの削除を行ってからでなければ削除できません。

6. ロケーションの並べ替え

- (1) 並べ替えをしたい階層のロケーションを選択します。
- (2) 「並べ替え」ボタンをクリックします。
- (3) ロケーションをドラッグ＆ドロップで並び替えます。
- (4) 「保存」ボタンをクリックします。

※並べ替えは、選択したロケーションと同階層のロケーションを対象とします。

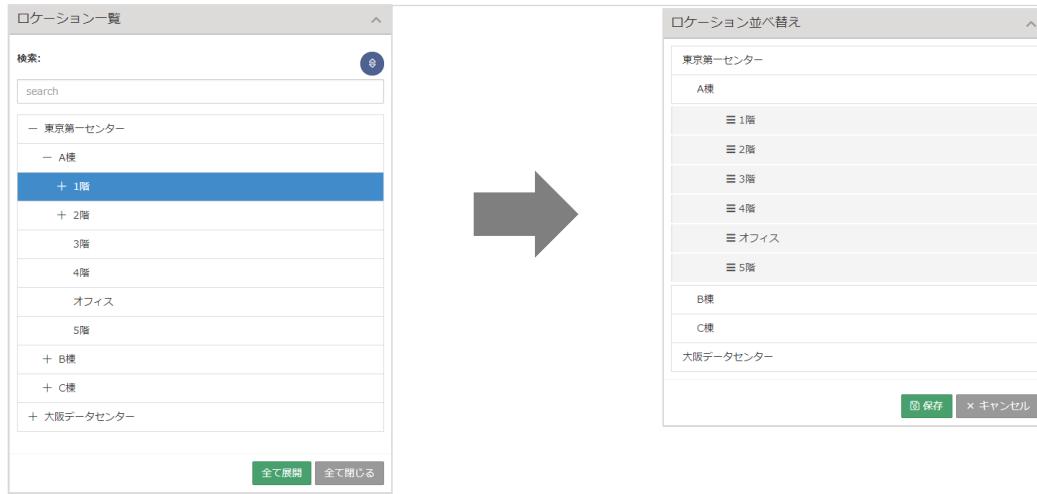


図 348 ロケーション並べ替え

33 機器メンテナンス

33.1 機器一覧

■機能

機器情報を一覧表示します。

The screenshot displays two pages of the garmit DC software interface:

- Machine List Page (Left):** Shows a table of 10 machines. The first row (G-MCCB-A01) is highlighted in red and has circled numbers ④ and ⑤ above it. Column headers include: 機器ID, 機器名称, 記録先, IPアドレス, ポート番号, 通信プロトコル, 計測/出力, and 通信オプション. Row 1 also includes status icons: a red triangle for warning and a green square for normal. Row 18 shows a message: 18件中 1から 10までを表示. Buttons at the top right include: 表示設定 (⑥), レポート出力 (⑦), 自動更新 (①), and 更新 (②).
- Machine Status Page (Right):** Shows detailed status for machine G-MCCB-A01. It includes:
 - 機器ID: 1
 - 機器名: G-MCCB-A01
 - 接続状態: 接続 (blue button)
 - エラーステータス: D-G/G-P短絡, D-P短絡, 24V電圧低下, 断線/スレーブ電源OFF
 - エラーアドレス数: 16
 - エラーアドレス一覧: WORD-IN:1, WORD-IN:2, WORD-IN:3, WORD-IN:4, WORD-IN:5, WORD-IN:6, WORD-IN:7, WORD-IN:8, WORD-IN:9, WORD-IN:10, WORD-IN:11, WORD-IN:12, WORD-IN:13, WORD-IN:14, WORD-IN:15, WORD-IN:16, WORD-IN:17, WORD-IN:18, WORD-IN:19, WORD-IN:20, WORD-IN:21, WORD-IN:22At the bottom right of this page, it says 最終ダウンロード日時: 2018/10/30 09:30:00.

図 349 機器一覧

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	自動更新	画面の自動更新周期を切り替える	更新なし/30 秒 /60 秒	
2	更新	画面を手動で表示更新する		
3	機器一覧	登録済みの機器一覧を表示する エラーが発生している機器の行は赤色で表示する		
4	編集	機器編集画面を表示する		
5	機器状態表示	機器の状態を表示する		
6	表示設定	表示設定モーダルを表示し、一覧に表示する項目を選択する		
7	レポート出力	表示中の内容を CSV ファイルに出力する		
8	機器状態	機器の状態を表示する 機器 ID...機器 ID 機器名称...機器の名称 接続状態...機器の接続状態 エラーステータス...エラーの発生状況 エラーアドレス数...エラーが発生している機器の数量 エラーアдрес一覧...エラーが発生している機器のアドレスを表示（最大 16 件） 最終ダウンロード日時...最後にトレンドファイルをダウンロードした日時		エラーステータス、エラー アドレス数、エラーアド レス一覧は AnywireGateServer のみ表示
9	エラーリセット	エラーリセットコマンドを送信する		※エラー発生中のみ表 示

■表示

メインメニューから「メンテナンス」>「機器」を選択すると、当該画面（図 349）を表示します。

■操作

1. 機器情報の編集

- (1) 「編集」ボタンをクリックします。
- (2) 機器編集画面（図 350）が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

2. 機器状態の表示

「機器状態表示」ボタンをクリックすると、「機器状態」に選択した機器の状態が表示されます。

3. エラーリセット

エラー発生中には「エラーリセット」ボタンが表示されるので、クリックすると計測機器に対してエラーリセットコマンドが送信されます。

33.2 機器編集

■機能

機器情報を編集します。

The screenshot shows the 'garmit DC' application window. In the center, there's a form titled '機器編集' (Machine Edit) with several input fields and dropdown menus. The fields are numbered ① through ⑪. At the top right, there are status indicators for battery levels (27%, 3%, 3%) and a save/cancel button area with buttons labeled ⑫ '保存' (Save) and ⑬ 'キャンセル' (Cancel). The fields include:

- 機器ID: ① 2
- IPアドレス*: ③ 192.168.1.200
- 計測*: ⑤ 計測 出力
- 通信プロトコル*: ⑦ SHINEI BatteryMonitorProtocol
- 使用状況*: ⑨ 使用中
- 機器種別: ⑪ バッテリモニタ
- 機器名称*: ② A局蓄電池01
- ポート番号: ④ 502
- 記録先*: ⑥ バッテリ監視DB
- 通信オプション: ⑧ 25
- ポーリング周期: ⑩ 30 秒

図 350 機器編集

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	機器 ID	機器の ID が表示される		
2	機器名称	機器の名称を入力する	32 文字以内	
3	IP アドレス	機器の IP アドレスを入力する		
4	ポート番号	機器のポート番号を入力する	0~65535	
5	計測	計測モードを選択する	計測/出力	
6	記録先	記録先を選択する		
7	通信プロトコル	通信プロトコルを選択する	SNMPv1/SNMPv2/標準 ModbusTCP/AnywireModbusTCP	
8	通信オプション	通信オプションを入力する	32 文字以内	※通信プロトコルが SNMP など、必要 な場合のみ
9	使用状況	使用状況を選択する	使用中/未使用	
10	ポーリング周期 (秒)	機器ヘデータ取得するポーリング周期 を秒単位で入力する	0.01~60	
11	機器種別	機器種別を選択する	指定なし/バッテリモニタ	
12	保存	編集内容を DB に登録し、当該画面 を消去する		
13	キャンセル	編集内容を破棄し、当該画面を消 去する		

■表示

機器一覧で「編集」をクリックすると、当該画面（図 350）を表示します。

■操作

1. 機器編集

(1) 各項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

・機器 ID

機器 ID は自動採番のため、編集できません。

・機器名称

機器名称を入力します。

指定文字数内の文字列を入力してください。

・IP アドレス

IP アドレスを入力します。

IP アドレスの形式になっていない場合には、エラーメッセージが表示されます。

・ポート番号

ポート番号を入力します。

指定範囲内の数値を入力してください。

・計測モード

計測モードを選択します。選択肢は、以下の通りです。

計測モード：計測/出力

・計測...データを取得する機器

・出力...警報を通知する外部機器

・記録先

機器から取得したデータの記録先を選択します。選択肢は、導入時に登録します。

・通信プロトコル

通信プロトコルを選択します。選択肢は、以下の通りです。

通信プロトコル：SNMPv1/SNMPv2/標準 ModbusTCP/AnywireModbusTCP

・通信オプション

通信オプションを入力します。

制限文字数内の文字列を入力してください。

通信プロトコルが SNMPv1、SNMPv2 の場合のコミュニティ名などは、本項目に入力します。

・使用状況

機器の使用状況を選択します。選択肢は、以下の通りです

使用状況：使用中/未使用

・使用中...機器からデータを収集します

・未使用...機器からデータを収集しません（機器情報登録のみ）

・ポーリング周期（秒）

機器からのデータ収集周期を入力します。

指定範囲内の数値を入力してください。

・機器種別

機器の種別を選択します。選択肢は以下の通りです。

機器種別：バッテリモニタ/指定なし

バッテリーモニタ以外の機器は全て「指定なし」を選択してください。

34 グラフィックメンテナンス

34.1 グラフィックメンテナンス（参照モード）

■機能

レイアウトの新規作成、編集、削除を行います。

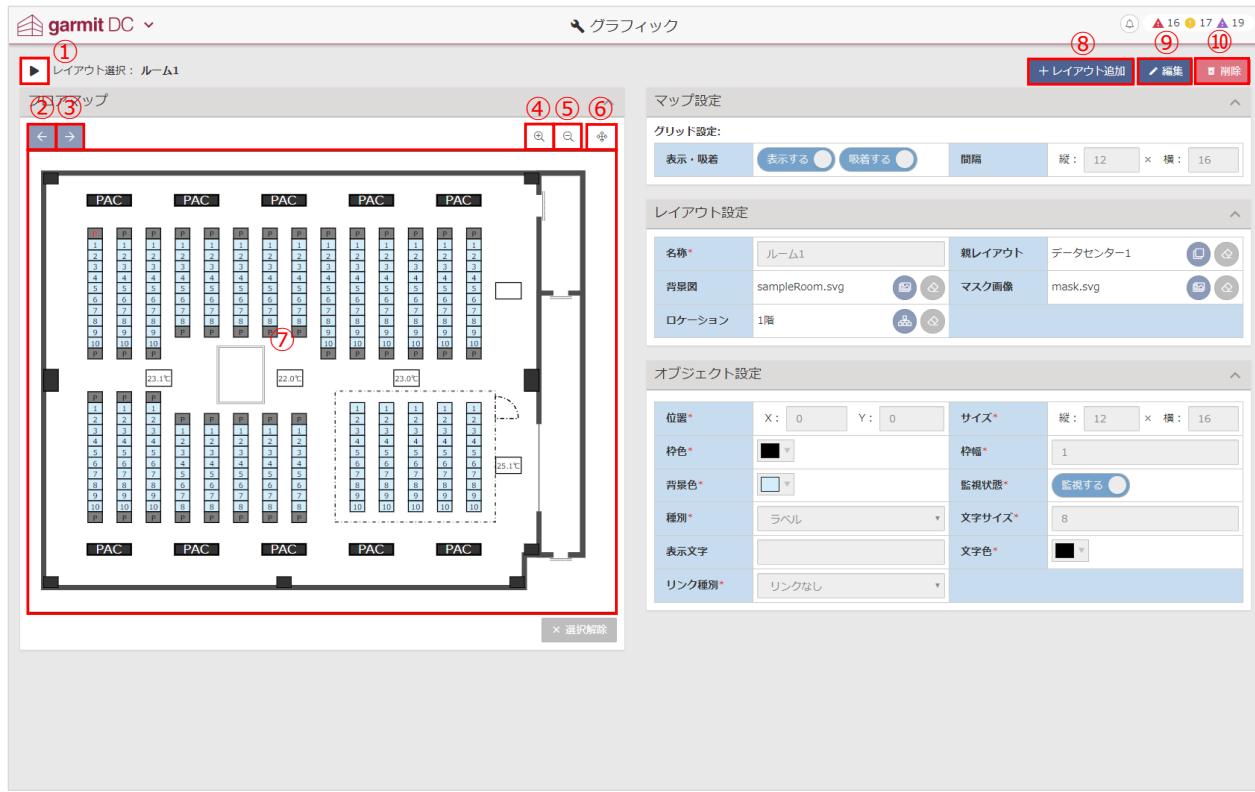


図 351 グラフィックメンテナンス（参照モード）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	レイアウト選択	レイアウトを選択します。		
2	前のレイアウトに戻る	1つ前のレイアウトを表示する		
3	次のレイアウトに進む	次のレイアウトを表示する		
4	拡大	フロアマップを拡大する		
5	縮小	フロアマップを縮小する		
6	元のサイズに戻す	フロアマップを元のサイズに戻す		
7	フロアマップ	選択したレイアウトの俯瞰図を表示する		
8	レイアウト追加	レイアウトを新規作成します。		
9	編集	レイアウトを編集します。		
10	削除	レイアウトを削除します。		

■表示

メインメニューから「メンテナンス」>「グラフィック」を選択すると、当該画面（[図 351](#)）を表示します。

■操作

1. レイアウトの追加

- (1) 「レイアウト追加」ボタンをクリックします。
- (2) 編集モード（[34.2](#)）になるので、必要な項目を入力して「保存」ボタンをクリックします。

2. レイアウトの編集

- (1) レイアウト選択で編集したいレイアウトを選択します。
- (2) 「編集」ボタンをクリックします。
- (3) 編集モード（[34.2](#)）になるので、必要な項目を編集して「保存」ボタンをクリックします。

3. レイアウトの削除

- (1) レイアウト選択で削除したいレイアウトを選択します。
- (2) 「削除」ボタンをクリックします。

34.2 グラフィックメンテナンス（編集モード）

■機能

レイアウトを編集します。

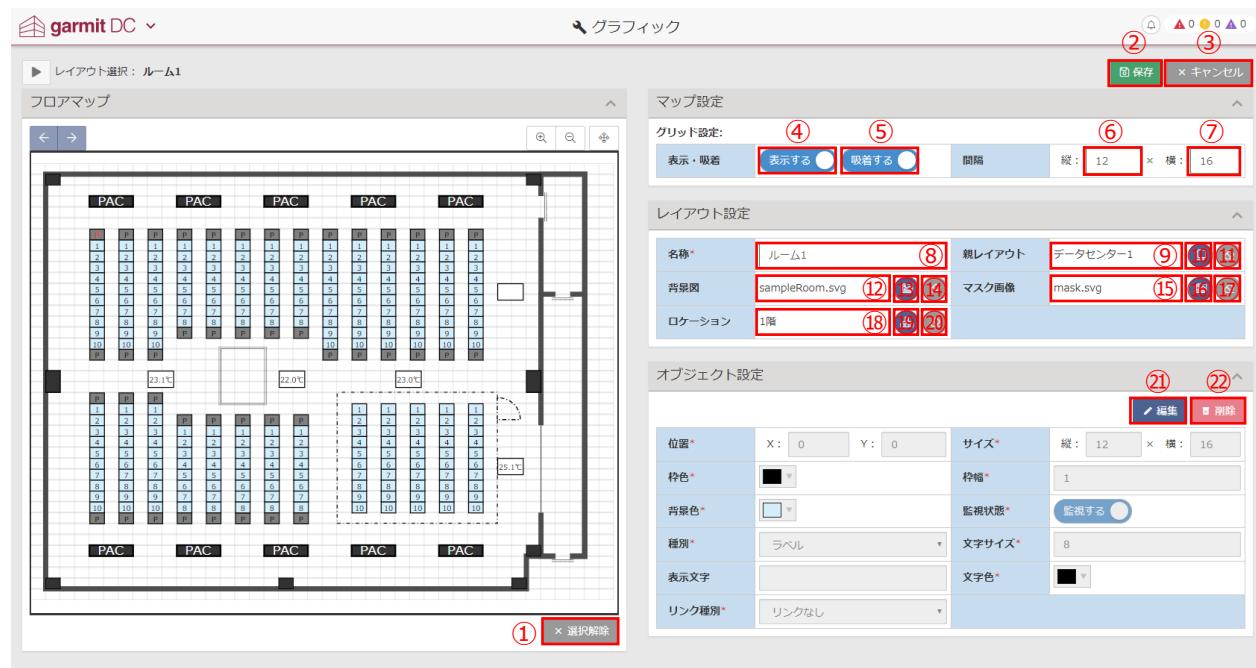


図 352 グラフィックメンテナンス（編集モード）



図 353 オブジェクト設定（編集モード）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	選択解除	フロアマップで選択中のオブジェクトの選択状態を解除する		
2	保存	編集内容を保存する		
3	キャンセル	編集内容を破棄する		
4	表示する	グリッド線を表示する/しないを切り替える		
5	吸着する	グリッド線にオブジェクトを吸着する/しないを切り替える		
6	間隔（縦）	グリッドの1マスの縦の長さを入力する	1~480	
7	間隔（横）	グリッドの1マスの横の長さを入力する	1~640	
8	名称	レイアウトの名称を入力する	30文字以内	
9	親レイアウト	呼び出し元のレイアウト名を表示する		
10	選択	レイアウト選択画面を表示して親レイアウトを選択する		
11	クリア	親レイアウトをクリアする		
12	背景図	背景図のファイル名称を表示する		
13	選択	背景画像選択画面を表示して背景画像を選択する		
14	クリア	選択中の背景画像をクリアする		
15	マスク画像	マスク画像のファイル名を表示する		
16	選択	背景画像選択画面を表示してマスク画像を選択する		
17	クリア	選択中のマスク画像をクリアする		
18	ロケーション	レイアウトを紐づけるロケーション		
19	選択	ロケーションを選択する		
20	クリア	選択中のロケーションをクリアする		
21	編集	フロアマップで選択中のオブジェクトを編集する		
22	削除	フロアマップで選択中のオブジェクトを削除する		
23	位置（X）	オブジェクトを配置する位置（X座標）を入力する	0~640	
24	位置（Y）	オブジェクトを配置する位置（Y座標）を入力する	0~480	
25	サイズ（縦）	オブジェクトのサイズを入力する（縦）	1~480	
26	サイズ（横）	オブジェクトのサイズを入力する（横）	1~640	
27	枠色	オブジェクトの枠線の色を選択する		
28	枠幅	オブジェクトの枠線の幅を入力する	1~10	
29	背景色	オブジェクトの背景色を選択する		
30	監視状態	アラーム発生状況を表示するかどうか選択する		
31	種別	オブジェクトの種別を選択する ・ラベル...通常のオブジェクト ・ピクチャ...背景に画像を指定可能なオブジェクト ・測定値ラベル...ポイントの測定値を表示可能なオブジェクト	ラベル/ピクチャ/測定値ラベル	
32	文字サイズ	オブジェクトの表示文字の文字サイズを入力する	1~72	
33	表示文字	オブジェクトに表示する文字を入力する	20文字以内	※種別でラベル、ピクチャを選択時のみ指定可
34	文字色	オブジェクトの表示文字の文字色を選択する		※種別でラベル、ピクチャを選択時のみ指定可
35	画像	オブジェクトの背景に表示する画像ファイル名		※種別でピクチャを選択時のみ指定可
36	選択	オブジェクトの背景に表示する画像を選択する		※種別でピクチャを選択時のみ指定可
37	クリア	オブジェクトの背景に表示する画像をクリアする		※種別でピクチャを選択時のみ指定可
38	リンク種別	オブジェクトのリンク種別を選択する	リンクなし/ポイント/ロケーション/レイアウト/電源系統	

39	リンク先	オブジェクトのリンク先を選択する 青色の丸ボタンをクリックすると、各選択画面が表示される ・ポイント...ポイント選択画面（ 図 426 ） ・ロケーション...ロケーション選択画面（ 図 398 ） ・レイアウト...レイアウト選択画面（ 図 427 ） ・電源系統...電源系統選択画面（ 図 413 ） 灰色の丸ボタンをクリックすると、選択中のリンク先が解除される		※リンク種別で選択した種別によって選択対象が異なる
40	分割ラック	分割ラックを設定するかどうか選択する		※分割ラックが設定可能な場合のみ
41	追加	オブジェクト編集で入力した内容のオブジェクトを新規に追加する		
42	適用	選択中のオブジェクトに編集内容を適用する		
43	キャンセル	編集内容を破棄する		

■表示

グラフィックメンテナンス（参照モード）（[図 351](#)）で「レイアウト追加」または「編集」ボタンをクリックすると、当該画面（[図 352](#)）を表示します。

■操作

1. オブジェクトの移動

オブジェクトをドラッグすると移動できます。

2. オブジェクトの選択

オブジェクト未選択状態で選択すると、オブジェクトが赤枠で囲われて選択状態になります。

赤枠で囲われたオブジェクトが存在するときに選択すると、オブジェクトが青枠で囲われて選択状態になります。

オブジェクト設定には赤枠で囲われたオブジェクトの情報が表示されます。

3. オブジェクトの選択解除

プロアマップにて選択中のオブジェクトをクリックするか、「選択解除」ボタンをクリックするとオブジェクトの選択が解除されます。

4. オブジェクトのサイズ変更

オブジェクトの右下にカーソルを合わせると○が表示されるので、○をドラッグするとオブジェクトのサイズが変更できます。

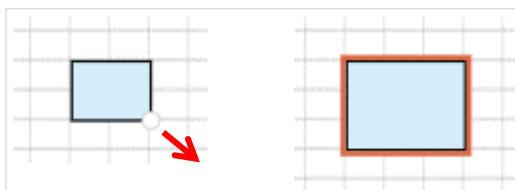


図 354 オブジェクトのサイズ変更

5. オブジェクトの追加

- (1) オブジェクト設定の「編集」ボタンをクリックしてオブジェクト設定を編集モードにします。
- (2) オブジェクト設定に追加するオブジェクトの情報を入力します。
- (3) オブジェクト設定の「追加」ボタンをクリックすると、オブジェクトがフロアマップに追加されます。

6. オブジェクトの編集

- (1) 編集するオブジェクトを選択します。
- (2) 「編集」ボタンをクリックしてオブジェクト設定を編集モードにします。
- (3) オブジェクト設定の必要な項目を編集します。
- (4) 「適用」ボタンをクリックします。

7. オブジェクトの削除

- (1) 削除するオブジェクトを選択します。
- (2) オブジェクト設定の「削除」ボタンをクリックします。

8. 編集内容の保存

必要な項目を編集し、「保存」ボタンをクリックします。

35 画像メンテナンス

35.1 画像一覧

■機能

ユニット画像情報とユニット種別情報の追加、編集、削除を行います。

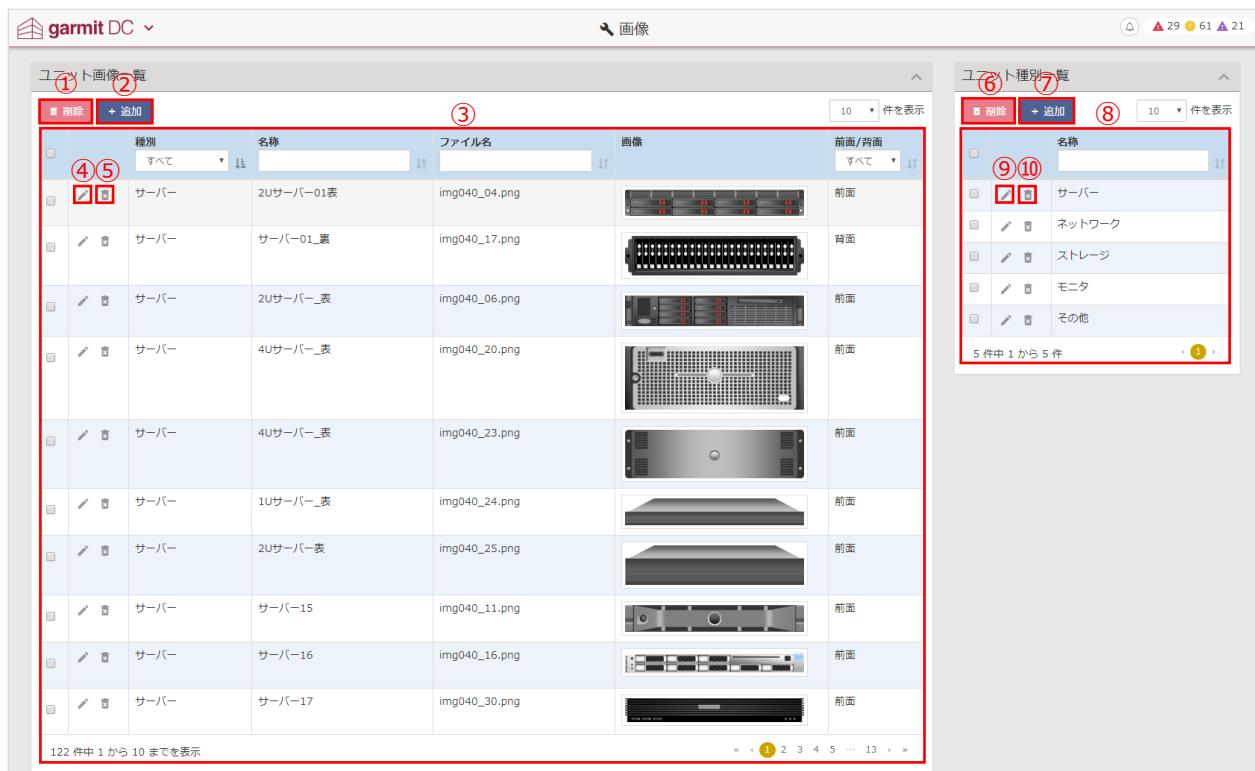


図 355 画像一覧

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	削除	画像一覧で選択した画像情報を削除する		
2	追加	画像編集画面が新規登録モードで表示される		
3	画像一覧	登録済みの画像情報を一覧表示する		
4	編集	画像編集画面が表示される		
5	削除	画像情報を削除する		
6	削除	ユニット種別一覧で選択したユニット種別を削除する		
7	追加	ユニット種別編集ダイアログが新規登録モードで表示される		
8	ユニット種別一覧	登録済みのユニット種別情報を一覧表示する		
9	編集	ユニット種別編集ダイアログが表示される		
10	削除	ユニット種別を削除する		

■表示

メインメニューから「メンテナンス」>「画像」を選択すると、当該画面（図355）を表示します。

■操作

1. 画像の追加・編集

- (1) 追加の場合は画像一覧の「追加」ボタン、編集の場合は「編集」ボタンをクリックします。
- (2) 画像編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

2. 画像の削除

削除したい画像にチェックを入れて「削除」ボタンをクリックする、もしくは各行の「削除」ボタンをクリックします。

3. ユニット種別の追加・編集

- (1) 追加の場合はユニット種別一覧の「追加」ボタン、編集の場合は「編集」ボタンをクリックします。
- (2) ユニット種別編集画面が表示されるので、名称を入力して「保存」をクリックします。

4. ユニット種別の削除

削除したいユニット種別にチェックを入れて「削除」ボタンをクリックする、もしくは各行の「削除」ボタンをクリックします。

35.2 画像編集

■機能

ユニット画像情報の編集を行います。

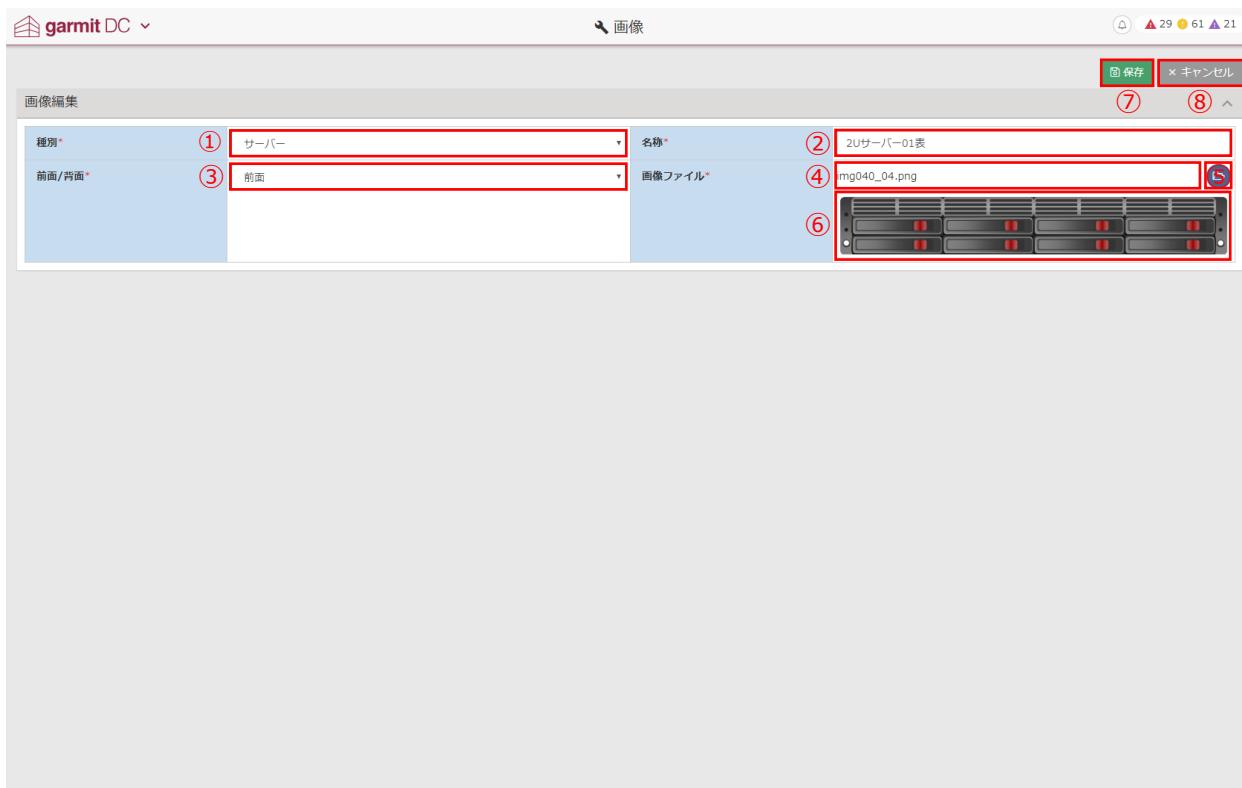


図 356 画像編集

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	種別	ユニット種別を選択する 選択肢は、登録済みのユニット種別とする		
2	名称	ユニット種別名称を入力する	64 文字以内	
3	前面/背面	前面/背面の画像種別を選択する		
4	画像ファイル名	選択中の画像ファイル名を表示する		
5	画像選択	ファイル選択ダイアログを表示し、画像ファイルを選択する	拡張子:jpeg, png, bmp, gif に対応 ファイルサイズ: 4MB 以下	
6	画像イメージ	選択した画像のイメージを表示する		
7	保存	編集した内容を保存する		
8	キャンセル	当該画面を消去する		

■表示

画像一覧画面の画像一覧で「編集」または「追加」ボタンをクリックすると、当該画面（図356）を表示します。

■操作

1. 画像編集

(1) 各項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

・種別

ユニット種別を選択します。選択肢は、予め登録したユニット種別となります。

・名称

ユニット画像名称を入力します。

指定文字数内の文字列を入力してください。

・前面/背面

ユニットの前面と背面のどちらの画像として登録するか選択します。

・画像ファイル

「画像選択」ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されるので、登録したい画像ファイルを選択します。

選択した画像、画像編集画面に表示されます。

保存すると、選択した画像ファイルがサーバーにアップロードされます。

35.3 ユニット種別編集

■機能

ユニット種別情報の編集を行います。



図 357 ユニット種別編集

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	名称	ユニット種別の名称を入力する	32 文字以内	
2	保存	編集した内容を保存する		
3	キャンセル	当該画面を消去する		

■表示

画像一覧画面のユニット種別一覧で「追加」または「編集」ボタンをクリックすると、当該画面（図 357）を表示します。

■操作

1. ユニット種別編集

- (1) ユニット種別の名称を 32 文字以内で入力します。
- (2) 「保存」ボタンをクリックします。

36 コンシユーマーメンテナンス

■機能

コンシユーマーの管理項目の設定を行います。

The screenshot displays the garmit software interface for consumer maintenance. On the left, a list of pages is shown with page 3 selected. On the right, the 'Consumer' maintenance settings are being configured.

Page List (Left):

No.	ページ名	操作
1	概要	(2)
2	照明・空調・キューピクル設備	
3	太陽光・蓄電池設備	
4	躯体	
5	未設定	
6	未設定	
7	未設定	
8	未設定	
9	未設定	
10	未設定	

Page Setting (Right):

① ページ名称: 太陽光・蓄電池設備
② 検索対象: 有
③ 管理項目: 有
④ 並べ替え: 有
⑤ 有効: 有
⑥ 検索対象: 有
⑦ 項目名: 蓄電池設置時期
⑧ データ型: 日付時刻型
⑨ データ/書式: yyyy/MM/dd
⑩ 監視状態: 監視する
⑪ 指定なし
⑫ 時刻のみ指定
⑬ 1
⑭ 日前
⑯ 保存
⑰ キャンセル

図 358 コンシユーマーメンテナンス

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ページ名	ページ名称を表示する		
2	編集	ページ設定（画面右側）を編集可とする		
3	ページ名称	ページ名称を入力する	32 文字以内	
4	並べ替え	項目並び替えダイアログが表示され、項目の並び替えを行う		
5	有効	項目をコンシューマー詳細に表示するかどうか設定する		
6	検索対象	項目をコンシューマーの検索に使用するかどうか設定する		
7	項目名	項目名を入力する	32 文字以内	
8	データ型	項目ごとのデータ型を選択する	文字列型/文字列型（複数行）/整数型/実数型/日付時刻型/選択肢型	
9	データ書式	データの書式を設定する ・実数型…小数点以下の桁数をフォーマットで指定（例: #0.0） ・日付時刻型…日付の表示形式を選択する ・選択肢型…選択肢を設定する		※データ型が実数型/日付時刻型/選択肢型の場合のみ
10	監視状態	項目を監視対象とするか否か設定する 監視状態にした場合、下記のアラームが発生する ・注意アラーム…コンシューマー画面で本項目に設定した日時の指定日数前になったとき ・異常アラーム…コンシューマー画面で本項目に設定した日時になったとき		
11	日数	注意アラームを発生させる対象日時までの日数を入力する	1～999	※監視状態がチェックされ、データ書式で時刻のみ指定にチェックされていない場合のみ指定可能
12	管理者のみ	所属の権限レベルが「管理者」のユーザーのみ設定可能な項目とするかどうか設定する		
13	保存	編集した内容を登録し、ページ名称をページ一覧に反映する		
14	キャンセル	編集した内容を破棄する		

■表示

メインメニューから「メンテナンス」>「コンシューマー」を選択すると、当該画面（図 358）を表示します。

■操作

1. ページ選択

- (1) ページ一覧で任意のページの「編集」ボタンをクリックすると、ページ設定にページの情報が表示されます。

2. ページ設定編集

- (1) 下記の各項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

・ページ名称

制限事項に沿って、ページ名称を入力します。

制限事項：32 文字以内

・有効

コンシューマー画面のコンシューマー詳細で当該項目を表示するかどうかを設定します。

・検索対象

コンシューマーの検索で当該項目を指定可能にするかどうかを設定します。

・項目名

制限事項に沿って、管理項目の名称を入力します。

制限事項：32 文字以内

・データ型

データ型を選択します。選択肢は以下の通りです。

文字列型/文字列型（複数行）/整数型/実数型/日付時刻型/選択肢型

・データ/書式

データ型で実数型、日付時刻型、選択肢型を選択した場合に設定します。

・実数型の場合：

小数点以下の有効桁数をフォーマットで指定します。

例えば、小数点以下 2 衡までを設定可能とする場合は、「#0.00」と入力してください。

・日付時刻型の場合：

日付・時刻の表示フォーマットを選択します。

「時刻のみ指定」にチェックを入れると、時刻のみの項目に設定できます。

・選択肢型の場合：

選択肢の名称を入力します。

「+」ボタンをクリックすると、選択肢の入力欄が追加されます。

最大 50 件まで選択肢を設定できます。

・監視状態

データ型で日付時刻型を選択し、データ/書式で「時刻のみ指定」がチェックされていない場合に設定可能です。

「監視する」にチェックを入れた場合、下記のアラームが発生します。

・注意アラーム…コンシューマー画面で本項目に設定した日時の指定日数前になったとき

・異常アラーム…コンシューマー画面で本項目に設定した日時になったとき

37 電気錠メンテナンス

37.1 電気錠設定一覧

■機能

電気錠設定の追加、編集、削除を行います。

The screenshot shows the 'garmit DC' software interface for managing electric lock settings. The main window title is '電気錠設定一覧'. The top navigation bar includes a logo, a search icon, and a status indicator (2, 0, 0, 0). A red box highlights the '検索条件' (Search Conditions) section, which contains a dropdown menu (②), a search input field (③), and a clear button (④). Another red box highlights the bottom right corner with a '新規登録' (New Registration) button (①). The main content area displays a table (⑩) with 13 rows of data, each representing an electric lock setting. The columns are: 設定ID (Setting ID), ロケーション (Location), 対象 (Target), 電気錠ポイント (Electric Lock Point), 電気錠施錠値 (Electric Lock Lock Value), ドアセンサポイント (Door Sensor Point), ドア開値 (Door Open Value), and こじ開けアラーム発生不 (Door Jamb Break Alarm Occurrence). Buttons for '検索' (Search) (⑧), '削除' (Delete) (⑨), '表示設定' (Display Settings) (⑪), and 'レポート出力' (Report Output) (⑫) are located at the top of the table. The bottom of the table shows a message '640 件中 1 から 10 までを表示' (Displaying items 1 to 10 of 640) and a page navigation bar.

設定ID	ロケーション	対象	電気錠ポイント	電気錠施錠値	ドアセンサポイント	ドア開値	こじ開けアラーム発生不
4	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10107	前面	電気錠TYO1A1101	0 (施錠)	ドアTYO1A1101	1 (CLOSE)	
5	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102	前面	TYO1A10102_電気錠 (前面)	0 (LOCK)	TYO1A10102_ドア (前面)	1 (CLOSE)	
6	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10103	前面	電気錠TYO1A1103	0 (施錠)	ドアTYO1A1103	1 (CLOSE)	
7	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10105	前面 / 背面	電気錠TYO1A1105	0 (施錠)	ドアTYO1A1105	1 (CLOSE)	
8	東京第一センター A棟 2階 2列 TYO1A2209 TYO1A2209-1	前面 / 背面	TYO1A2209-1_電気錠	0 (施錠)	TYO1A2209-1_ドア	1 (CLOSE)	
9	東京第一センター A棟 2階 2列 TYO1A2209 TYO1A2209-2	前面	TYO1A2209-2_電気錠 (前面)	0 (施錠)	TYO1A2209-2_ドア (前面)	1 (CLOSE)	
10	東京第一センター A棟 2階 2列 TYO1A2209 TYO1A2209-2	背面	TYO1A2209-2_電気錠 (背面)	0 (施錠)	TYO1A2209-2_ドア (背面)	1 (CLOSE)	
11	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10104	前面	電気錠TYO1A1104-2	0 (施錠)	ドアTYO1A1104-2	1 (CLOSE)	
12	東京第一センター A棟 2階 2列 TYO1A2210	前面 / 背面	TYO1A2210_電気錠	0 (施錠)	TYO1A2210_ドア	1 (CLOSE)	
13	東京第一センター A棟 2階 2列 TYO1A2211	前面	TYO1A2211_電気錠 (前面)	0 (施錠)	TYO1A2211_ドア (前面)	1 (CLOSE)	

図 359 電気錠設定一覧

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	新規登録	電気錠設定を新規登録する		
2	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション/所属	
3	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
4	条件削除	検索条件を削除する		
5	条件追加	検索条件を追加表示する		
6	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
7	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
8	編集	選択中の電気錠設定を編集する		
9	削除	選択中の電気錠設定を削除する		
10	電気錠設定一覧	検索結果に該当する電気錠設定を一覧表示する		
11	表示設定	表示設定画面を表示する		
12	レポート出力	電気錠設定一覧に表示している内容を CSV 出力する		

■表示

メインメニューから「メンテナンス」>「電気錠」を選択すると、当該画面（図 359）を表示します。

■操作

1. 電気錠設定検索

検索条件を指定して「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当する電気錠設定の一覧が表示されます。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. 電気錠設定の追加

(1) 「新規登録」ボタンをクリックします。

(2) 電気錠設定編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

3. 電気錠設定の編集

(1) 編集する電気錠設定の行の「編集」アイコンをクリックする、もしくは編集する電気錠設定（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「編集」ボタンをクリックします。

(2) 電気錠設定編集画面が表示されるので、必要な項目を入力して「保存」をクリックします。

4. 電気錠設定の削除

(1) 削除する電気錠設定の行の「削除」アイコンをクリックする、もしくは削除する電気錠設定（※複数可）にチェックを入れて一覧左上の「削除」ボタンをクリックします。

5. 表示設定

- (1) 「表示設定」ボタンをクリックして表示設定画面を表示します。
- (2) 非表示項目、表示項目を設定します

※設定方法の詳細は、『[6.2 表示設定](#)』と同様です。ご参照ください。

6. レポート出力

「レポート出力」ボタンをクリックすると、一覧に表示されている内容が CSV 形式でファイルに出力されます。

37.2 電気錠設定編集

■機能

電気錠設定を編集します。



図 360 電気錠設定編集

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ID	ID を表示する		
2	ロケーション	ロケーションを表示する		
3	ロケーション選択	ロケーション選択画面（図 398）を表示してロケーションを選択する		
4	鍵種別	鍵種別を選択する	電気錠/物理錠	
5	対象	対象を選択する	前面/背面/（前面/背面）	電気錠のみ
6	電気錠ポイント	電気錠ポイントを選択する		電気錠のみ
7	電気錠施錠値	電気錠施錠値を選択する		電気錠のみ
8	ドアセンサポイント	ドアセンサポイントを選択する		電気錠のみ
9	ドア閉値	ドア閉値を選択する		電気錠のみ
10	こじ開け発生不感時間	こじ開け発生不感時間を入力する	0～2147483647	電気錠のみ
11	こじ開け復旧不感時間	こじ開け復旧不感時間を入力する	0～2147483647	電気錠のみ
12	保存	編集内容を保存して電気錠設定一覧画面に戻る		
13	キャンセル	編集内容を破棄して電気錠設定一覧画面に戻る		

■表示

電気錠設定一覧（図 359）で「新規登録」ボタンまたは「編集」ボタンをクリックすると、当該画面（図 360）を表示します。

■操作

1. 電気錠設定編集

(1) 各項目を入力します。

・ID

IDは自動採番のため、編集できません。

・ロケーション

電気錠設定を紐づけるロケーションを選択してください。

「ロケーション選択」ボタンをクリックすると、ロケーション選択画面（[図398](#)）が表示されます。

※ロケーション選択画面の操作方法は、『[52.2 ロケーション選択](#)』をご参照ください。

・鍵種別

鍵種別（電気錠/物理錠）を選択してください。

・対象

対象を選択してください。選択肢は、以下の通りです。

・前面/背面/（前面/背面）

・電気錠ポイント

電気錠ポイントを選択してください。

選択肢には選択ロケーションに紐づく、計測機器およびアドレスが設定されている接点ポイントのリストが表示されます。

・電気錠施錠値

電気錠施錠値を選択してください。選択肢には、電気錠ポイントのON値、OFF値が表示されます。

・ドアセンサポイント

ドアセンサポイントを選択してください。

選択肢には選択ロケーションに紐づく、計測機器およびアドレスが設定されている接点ポイントのリストが表示されます。

・ドア閉値

ドア閉値を選択してください。選択肢には、ドアセンサポイントのON値、OFF値が表示されます。

・こじ開け発生不感時間/こじ開け復旧不感時間

指定範囲内の数値を入力してください。

2. 電気錠設定を保存します。

(1) 入力不備がなければ、「保存」ボタンが有効となりますので、「保存」ボタンをクリックします。

(2) 保存完了すると、電気錠設定一覧に反映されます。

※電気錠ポイントとドアセンサポイントの収集周期が異なる場合、電気錠設定の保存時に収集周期をどちらに統一するか選択して保存します。

※電気錠ポイント、ドアセンサポイントとして登録したポイントは、ポイント編集画面で電気錠設定の該当ロケーションを解除したり、データ種別を変更したりすることが出来なくなりますのでご注意ください。

38 案件メンテナンス

■機能

案件の管理項目の設定を行います。

The screenshot shows the 'garmit' application interface for case maintenance. On the left, there is a 'Page List' table with columns: No., Page Name, and Operation. A row for '詳細ページ1' is selected, indicated by a red box around its row and a blue edit icon in the 'Operation' column. On the right, the 'Page Setting' tab is active, showing a configuration form. The 'Page Name' field contains '詳細ページ1'. The 'Management Items' section contains several rows of settings:

有効	検索対象	項目名*	データ型	データ/書式	監視状態
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	文字列	文字列型		
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	整数	整数型		
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	実数	実数型	#0.0	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	日付時刻	日付時刻型	yyyy/MM/dd 指定なし 時刻のみ指定	<input checked="" type="checkbox"/> 監視する 10 日前
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	選択肢	選択肢型		<input type="checkbox"/> 選択肢1 <input type="checkbox"/> 選択肢2 <input type="checkbox"/> 選択肢3
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	文字列 (複数行)	文字列型 (複数行)		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	未設定	文字列型		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	未設定	文字列型		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	未設定	文字列型		

At the bottom right of the setting form, there are two buttons: '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel), both highlighted with red boxes.

図 361 案件メンテナンス

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ページ名	ページ名称を表示する		
2	編集	ページ設定（画面右側）を編集可とする		
3	ページ名称	ページ名称を入力する	32 文字以内	
4	並べ替え	項目並び替えダイアログが表示され、項目の並び替えを行う		
5	有効	項目の案件詳細に表示可否を設定する		
6	検索対象	項目を案件の検索に使用するかどうか設定する		
7	項目名	項目名を入力する	32 文字以内	
8	データ型	項目ごとのデータ型を選択する	文字列型/文字列型（複数行）/整数型/実数型/日付時刻型/選択肢型	
9	データ書式	データの書式を設定する ・実数型...小数点以下の桁数をフォーマットで指定（例: #0.0） ・日付時刻型...日付の表示形式を選択する ・選択肢型...選択肢を設定する		※データ型が実数型/日付時刻型/選択肢型の場合のみ
10	監視状態	項目を監視対象とするか否か設定する 監視状態にした場合、下記のアラームが発生する ・注意アラーム...案件画面で本項目に設定した日時の指定日数前になったとき ・異常アラーム...案件画面で本項目に設定した日時になったとき		
11	日数	注意アラームを発生させる対象日時までの日数を入力する	1～999	※監視状態がチェックされ、データ書式で時刻のみ指定にチェックされていない場合のみ指定可能
12	保存	編集した内容を登録し、ページ名称をページ一覧に反映する		
13	キャンセル	編集した内容を破棄する		

■表示

メインメニューから「メンテナンス」>「案件」を選択すると、当該画面（図 361）を表示します。

■操作

1. ページ選択

ページ一覧で任意のページの「編集」ボタンをクリックすると、ページ設定にページの情報が表示されます。

2. ページ設定編集

(1) 下記の各項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

- ・ページ名称

制限事項に沿って、ページ名称を入力します。

制限事項：32 文字以内

- ・有効

案件画面の案件詳細で当該項目を表示するかどうかを設定します。

- ・検索対象

案件の検索で当該項目を指定可能にするかどうかを設定します。

- ・項目名

制限事項に沿って、管理項目の名称を入力します。

制限事項：32 文字以内

- ・データ型

データ型を選択します。選択肢は以下の通りです。

文字列型/文字列型（複数行）/整数型/実数型/日付時刻型/選択肢型

- ・データ/書式

データ型で実数型、日付時刻型、選択肢型を選択した場合に設定します。

- ・実数型の場合：

小数点以下の有効桁数をフォーマットで指定します。

例えば、小数点以下 2 衡までを設定可能とする場合は、「#0.00」と入力してください。

- ・日付時刻型の場合：

日付・時刻の表示フォーマットを選択します。

「時刻のみ指定」にチェックを入れると、時刻のみの項目に設定できます。

- ・選択肢型の場合：

選択肢の名称を入力します。

「+」ボタンをクリックすると、選択肢の入力欄が追加されます。

最大 50 件まで選択肢を設定できます。

- ・監視状態

データ型で日付時刻型を選択し、データ/書式で「時刻のみ指定」がチェックされていない場合に設定可能です。

「監視する」にチェックを入れた場合、下記のアラームが発生します。

- ・注意アラーム…案件画面で本項目に設定した日時の指定日数前になったとき

- ・異常アラーム…案件画面で本項目に設定した日時になったとき

39 回線メンテナンス

■機能

回線の管理項目の設定を行います。

The screenshot shows two overlapping windows from the garmit software:

- Left Window (Page List):** A table titled "ページ一覧" (Page List) with columns "No.", "ページ名" (Page Name), and "操作" (Operation). The first row, "詳細ページ1", is selected and highlighted with a red box. Its operation icon (edit) is also highlighted with a red box and labeled **(2)**.
- Right Window (Page Setting):** A form titled "ページ設定" (Page Setting) for "詳細ページ1".
 - (3)** Page Name input field: "詳細ページ1".
 - Management Items:** A table with columns "有効" (Effective), "検索対象" (Search Target), "項目名*" (Item Name*), "データ型" (Data Type), "データ/書式" (Data/Format), and "監視状態" (Monitoring Status).
 - Item (1):** (1) 文字列 (Text String) - 文字列型 (Text String Type).
 - Item (2):** (2) 整数 (Integer) - 整数型 (Integer Type).
 - Item (3):** (3) 実数 (Real Number) - 実数型 (Real Number Type) #0.0.
 - Item (4):** (4) 日付時刻 (Date and Time) - 日付時刻型 (Date and Time Type).
 - Item (5):** (5) 選択肢 (Selection肢) - 選択肢型 (Selection肢 Type).
 - Item (6):** (6) 文字列 (Text String) - 文字列型 (Text String Type) (複数行) (Multiple Lines).
 - Item (7):** (7) 未設定 (Not Set) - 文字列型 (Text String Type).
 - Item (8):** (8) 未設定 (Not Set) - 文字列型 (Text String Type).
 - Item (9):** (9) 未設定 (Not Set) - 文字列型 (Text String Type).
 - Item (10):** (10) 未設定 (Not Set) - 文字列型 (Text String Type).- Monitoring Options:** A dropdown menu for "日付時刻" (Date and Time) includes:
 - yyyy/MM/dd (10) 監視する (Monitor) (11)
 - 指定なし (11)
 - 時刻のみ指定 (12)
- Buttons at the bottom:** "保存" (Save) (13) and "キャンセル" (Cancel) (14).

図 362 回線メンテナンス

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ページ名	ページ名称を表示する		
2	編集	ページ設定（画面右側）を編集可とする		
3	ページ名称	ページ名称を入力する	32 文字以内	
4	並べ替え	項目並び替えダイアログが表示され、項目の並び替えを行う		
5	有効	項目の回線詳細に表示可否を設定する		
6	検索対象	項目を回線の検索に使用するかどうか設定する		
7	項目名	項目名を入力する	32 文字以内	
8	データ型	項目ごとのデータ型を選択する	文字列型/文字列型（複数行）/整数型/実数型/日付時刻型/選択肢型	
9	データ書式	データの書式を設定する ・実数型…小数点以下の桁数をフォーマットで指定（例: #0.0） ・日付時刻型…日付の表示形式を選択する ・選択肢型…選択肢を設定する		※データ型が実数型/日付時刻型/選択肢型の場合のみ
10	監視状態	項目を監視対象とするか否か設定する 監視状態にした場合、下記のアラームが発生する ・注意アラーム…回線画面で本項目に設定した日時の指定日数前になったとき ・異常アラーム…回線画面で本項目に設定した日時になったとき		
11	日数	注意アラームを発生させる対象日時までの日数を入力する	1～999	※監視状態がチェックされ、データ書式で時刻のみ指定にチェックされていない場合のみ指定可能
12	保存	編集した内容を登録し、ページ名称をページ一覧に反映する		
13	キャンセル	編集した内容を破棄する		

■表示

メインメニューから「メンテナンス」>「回線」を選択すると、当該画面（図 362）を表示します。

■操作

1. ページ選択

ページ一覧で任意のページの「編集」ボタンをクリックすると、ページ設定にページの情報が表示されます。

2. ページ設定編集

(1) 下記の各項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

・ページ名称

制限事項に沿って、ページ名称を入力します。

制限事項：32 文字以内

・有効

回線画面の回線詳細で当該項目を表示するかどうかを設定します。

・検索対象

回線の検索で当該項目を指定可能にするかどうかを設定します。

・項目名

制限事項に沿って、管理項目の名称を入力します。

制限事項：32 文字以内

・データ型

データ型を選択します。選択肢は以下の通りです。

文字列型/文字列型（複数行）/整数型/実数型/日付時刻型/選択肢型

・データ/書式

データ型で実数型、日付時刻型、選択肢型を選択した場合に設定します。

・実数型の場合：

小数点以下の有効桁数をフォーマットで指定します。

例えば、小数点以下 2 衡までを設定可能とする場合は、「#0.00」と入力してください。

・日付時刻型の場合：

日付・時刻の表示フォーマットを選択します。

「時刻のみ指定」にチェックを入れると、時刻のみの項目に設定できます。

・選択肢型の場合：

選択肢の名称を入力します。

「+」ボタンをクリックすると、選択肢の入力欄が追加されます。

最大 50 件まで選択肢を設定できます。

・監視状態

データ型で日付時刻型を選択し、データ/書式で「時刻のみ指定」がチェックされていない場合に設定可能です。

「監視する」にチェックを入れた場合、下記のアラームが発生します。

・注意アラーム...回線画面で本項目に設定した日時の指定日数前になったとき

・異常アラーム...回線画面で本項目に設定した日時になったとき

40 配線盤メンテナンス

■機能

配線盤の管理項目の設定を行います。

The screenshot shows the garmit software interface with the following details:

- Left Panel (Page List):** Shows a list of pages with the first page "詳細ページ1" selected. A red box highlights the page name "詳細ページ1" (①) and the edit icon (②).
- Right Panel (Page Setting):**
 - Top Bar:** Displays the title "配線盤" and a search bar with placeholder "ページ名称" (③). A red box highlights the search bar.
 - Setting Grid:** A table for managing items. Columns include "有効" (Effective), "検索対象" (Search Target), "項目名*" (Item Name*), "データ型" (Data Type), "データ/書式" (Data/Format), and "監視状態" (Monitoring Status).
 - Row 1:** Item (1) is checked, "検索対象" is checked, "項目名*" is "文字列" (Text String), "データ型" is "文字列型" (Text String Type), and "データ/書式" is "yyyy/MM/dd". A red box highlights the "検索対象" checkbox (④) and the monitoring status checkbox (⑩) which is checked.
 - Row 2:** Item (2) is checked, "検索対象" is checked, "項目名*" is "整数" (Integer), "データ型" is "整数型" (Integer Type), and "データ/書式" is "未設定" (Not Set).
 - Row 3:** Item (3) is checked, "検索対象" is checked, "項目名*" is "実数" (Real Number), "データ型" is "実数型" (Real Number Type), and "データ/書式" is "#0.0".
 - Row 4:** Item (4) is checked, "検索対象" is checked, "項目名*" is "日付時刻" (Date and Time), "データ型" is "日付時刻型" (Date and Time Type). A red box highlights the "検索対象" checkbox (⑤) and the "項目名*" input field (⑦).
 - Row 5:** Item (5) is checked, "検索対象" is checked, "項目名*" is "選択肢" (Selection肢), "データ型" is "選択肢型" (Selection肢 Type).
 - Row 6:** Item (6) is checked, "検索対象" is checked, "項目名*" is "文字列 (複数行)" (Text String (Multiple Lines)), "データ型" is "文字列型 (複数行)" (Text String Type (Multiple Lines)).
 - Rows 7-10:** Items (7) through (10) are not checked, so their columns are mostly empty or show "未設定" (Not Set).
 - Bottom Buttons:** Includes "確認保存" (Confirm Save) (⑫) and "× キャンセル" (Cancel) (⑬).

図 363 配線盤メンテナンス

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ページ名	ページ名称を表示する		
2	編集	ページ設定（画面右側）を編集可とする		
3	ページ名称	ページ名称を入力する	32 文字以内	
4	並べ替え	項目並び替えダイアログが表示され、項目の並び替えを行う		
5	有効	項目の配線盤詳細に表示可否を設定する		
6	検索対象	項目を配線盤の検索に使用するかどうか設定する		
7	項目名	項目名を入力する	32 文字以内	
8	データ型	項目ごとのデータ型を選択する	文字列型/文字列型（複数行）/整数型/実数型/日付時刻型/選択肢型	
9	データ書式	データの書式を設定する ・実数型...小数点以下の桁数をフォーマットで指定（例: #0.0） ・日付時刻型...日付の表示形式を選択する ・選択肢型...選択肢を設定する		※データ型が実数型/日付時刻型/選択肢型の場合のみ
10	監視状態	項目を監視対象とするか否か設定する 監視状態にした場合、下記のアラームが発生する ・注意アラーム...配線盤画面で本項目に設定した日時の指定日数前になったとき ・異常アラーム...配線盤画面で本項目に設定した日時になったとき		
11	日数	注意アラームを発生させる対象日時までの日数を入力する	1～999	※監視状態がチェックされ、データ書式で時刻のみ指定にチェックされていない場合のみ指定可能
12	保存	編集した内容を登録し、ページ名称をページ一覧に反映する		
13	キャンセル	編集した内容を破棄する		

■表示

メインメニューから「メンテナンス」>「配線盤」を選択すると、当該画面（図 363）を表示します。

■操作

1. ページ選択

ページ一覧で任意のページの「編集」ボタンをクリックすると、ページ設定にページの情報が表示されます。

2. ページ設定編集

(1) 下記の各項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

・ページ名称

制限事項に沿って、ページ名称を入力します。

制限事項：32 文字以内

・有効

配線盤画面の配線盤詳細で当該項目を表示するかどうかを設定します。

・検索対象

配線盤の検索で当該項目を指定可能にするかどうかを設定します。

・項目名

制限事項に沿って、管理項目の名称を入力します。

制限事項：32 文字以内

・データ型

データ型を選択します。選択肢は以下の通りです。

文字列型/文字列型（複数行）/整数型/実数型/日付時刻型/選択肢型

・データ/書式

データ型で実数型、日付時刻型、選択肢型を選択した場合に設定します。

・実数型の場合：

小数点以下の有効桁数をフォーマットで指定します。

例えば、小数点以下 2 衡までを設定可能とする場合は、「#0.00」と入力してください。

・日付時刻型の場合：

日付・時刻の表示フォーマットを選択します。

「時刻のみ指定」にチェックを入れると、時刻のみの項目に設定できます。

・選択肢型の場合：

選択肢の名称を入力します。

「+」ボタンをクリックすると、選択肢の入力欄が追加されます。

最大 50 件まで選択肢を設定できます。

・監視状態

データ型で日付時刻型を選択し、データ/書式で「時刻のみ指定」がチェックされていない場合に設定可能です。

「監視する」にチェックを入れた場合、下記のアラームが発生します。

・注意アラーム…配線盤画面で本項目に設定した日時の指定日数前になったとき

・異常アラーム…配線盤画面で本項目に設定した日時になったとき

41 インポート/エクスポート

41.1 ポイント

■機能

ポイント情報を CSV ファイルからインポートします。

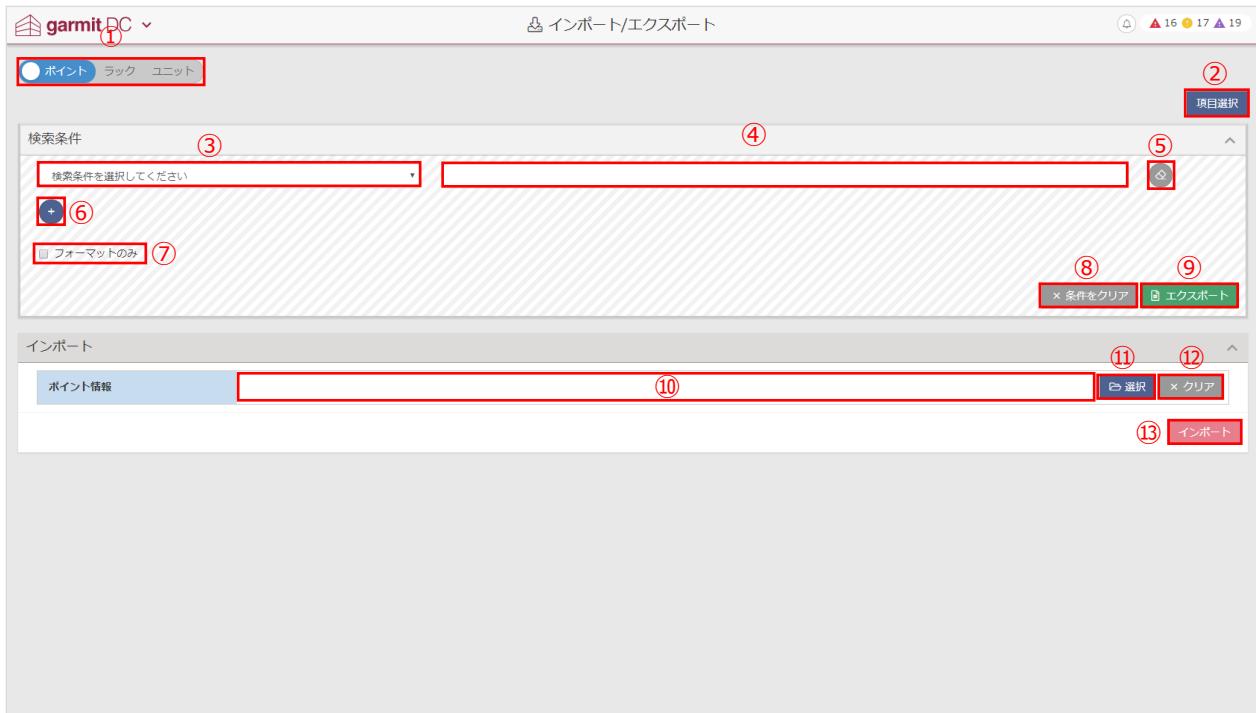


図 364 インポート/エクスポート（ポイント）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	対象データ	インポート/エクスポート対象のデータを選択する	ポイント/ラック/ユニット	
2	項目選択	項目選択モーダル（図 367）を表示し、エクスポートする項目を選択する		
3	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション/所属/タグ/電源系統/ハッシュタグ	※電源系統は電源系統メンテナンスの権限が読み取り専用以上で指定可能
4	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
5	条件削除	検索条件を削除する		
6	条件追加	検索条件を追加表示する		
7	フォーマットのみ	フォーマットのみエクスポートするかどうかチェックする		
8	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
9	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
10	ファイル名	選択したファイル名を表示する		
11	選択	ファイル選択ダイアログを表示する		
12	クリア	ファイルの選択をクリアする		
13	インポート	選択した CSV ファイルをインポートする		

■表示

メインメニューから「データ出力」>「インポート/エクスポート」を選択し、対象データで「ポイント」を選択すると、当該画面（図 364）を表示する。

■操作

1. 項目選択

「項目選択」ボタンをクリックして項目選択画面（図 367）を表示し、エクスポートする項目を設定します。

※詳細な方法については、『[41.4 項目選択](#)』をご参照ください。

2. フォーマットのみエクスポート

- (1) 項目選択を行います。
- (2) 「フォーマットのみ」にチェックを入れます。
- (3) 「エクスポート」ボタンをクリックすると、フォーマットのみの CSV ファイルが output されます。

※項目選択で選択項目に指定した項目のみが output されます。

3. エクスポート

- (1) 項目選択を行います。
- (2) 検索条件を指定します。

※詳細な方法については、『[41.4 項目選択](#)』をご参照ください。

- (3) 「エクスポート」ボタンをクリックすると、指定した検索条件に該当するポイントの一覧が CSV 形式で出力されます。

※項目選択で選択項目に指定した項目のみが出力されます。

4. インポート

- (1) インポート用の CSV ファイルを用意します。

※各項目の設定方法の詳細に関しては、別紙をご参照ください。

- (2) 「選択」ボタンをクリックして、ファイル選択ダイアログで対象となるファイルを選択します。

- (3) 「インポート」ボタンをクリックすると、インポートが開始されます。

- (4) インポート処理が終了するとインポートの結果（成功/失敗）が表示されます。失敗時には原因も表示されます。

41.2 ラック

■機能

ラック情報、電源情報、アウトレット情報、リンク情報を CSV ファイルからインポートします。

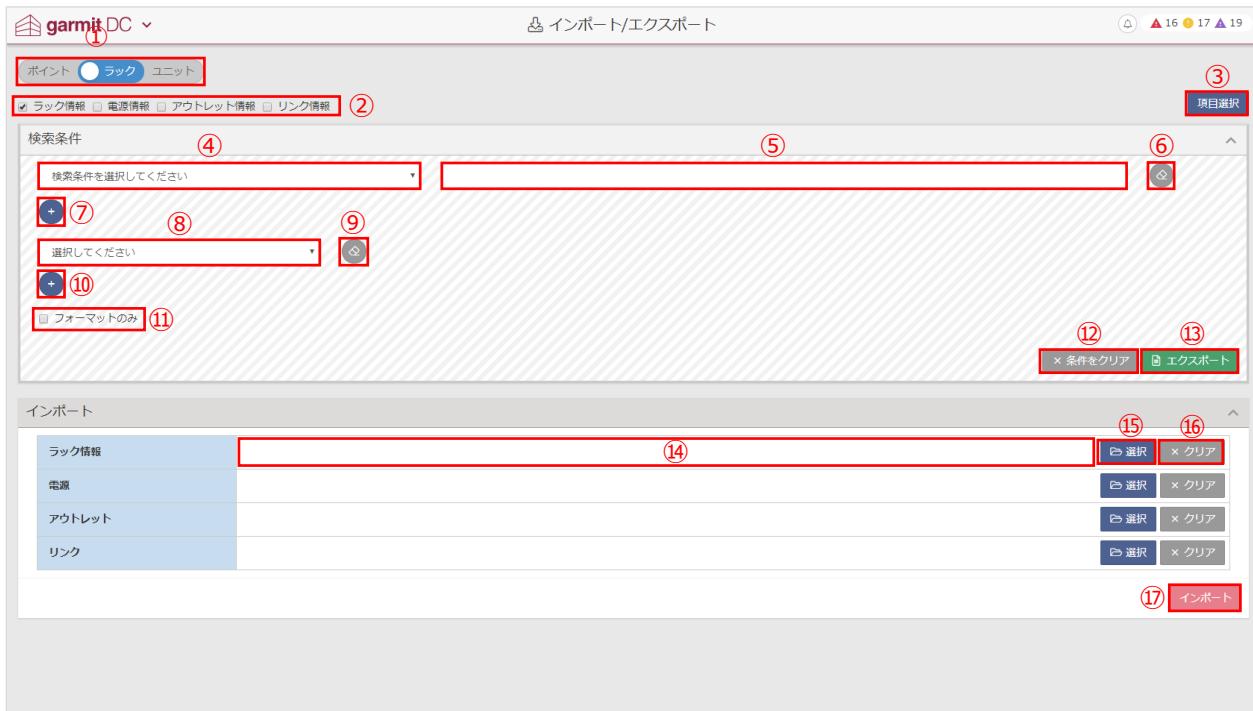


図 365 インポート/エクスポート（ラック）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	対象データ	インポート/エクスポート対象のデータを選択する	ポイント/ラック/ユニット	
2	出力ファイル選択	エクスポートするファイルを選択する		
3	項目選択	項目選択モーダル（図 367）を表示し、エクスポートする項目を選択する		
4	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション/所属/タグ/電源系統/ハッシュタグ	※電源系統は電源系統メンテナンスの権限が読み取り専用以上で指定可能
5	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
6	条件削除	検索条件を削除する		
7	条件追加	検索条件を追加表示する		
8	検索条件詳細	詳細な検索条件を指定する		ラック概要、ラック詳細の設定項目が指定可能
9	条件削除	検索条件詳細を削除する		
10	条件追加	検索条件詳細を追加する		
11	フォーマットのみ	フォーマットのみエクスポートするかどうかチェックする		
12	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
13	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
14	ファイル名	選択したファイル名を表示する		
15	選択	ファイル選択ダイアログを表示する		
16	クリア	ファイルの選択をクリアする		
17	インポート	選択した CSV ファイルをインポートする		

■表示

メインメニューから「データ出力」>「インポート/エクスポート」を選択し、対象データで「ラック」を選択すると、当該画面（図 365）を表示する。

■操作

1. 項目選択

「項目選択」ボタンをクリックして項目選択画面（図 367）を表示し、エクスポートする項目を設定します。

※詳細な方法については、『[41.4 項目選択](#)』をご参照ください。

2. フォーマットのみエクスポート

(1) 出力ファイル選択で、出力するファイルを選択します（※複数選択可能）。

(2) 項目選択を行います。

(3) 「フォーマットのみ」にチェックを入れます。

(4) 「エクスポート」ボタンをクリックすると、フォーマットのみの CSV ファイルが出力されます。

※項目選択で選択項目に指定した項目のみが出力されます。

3. エクスポート

(1) 出力ファイル選択で、出力するファイルを選択します（※複数選択可能）。

(2) 項目選択を行います。

(3) 検索条件を指定します

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』ご参照ください。

(4) 「エクスポート」ボタンをクリックすると、指定した検索条件に該当するラックのファイルが output されます。

※出力ファイル選択で選択したファイルのみが出力されます。

※項目選択で選択項目に指定した項目のみが出力されます。

4. インポート

(1) インポート用の CSV ファイルを用意します。

※各項目の設定方法の詳細に関しては、別紙をご参考ください。

※複数のファイル（例：ラック情報 & 電源情報）を同時にインポートする場合は、ラック ID で紐づけて下さい。

ただし、新規のラックでラック ID が未割当のラックについては、紐づけ ID に同一の番号を振って紐づけて下さい。

※ラック名称はロケーション名称であるため、変更してインポートしても反映されないのでご注意ください。

(2) 「選択」ボタンをクリックして、ファイル選択ダイアログで対象となるファイルを選択します。

(3) 「インポート」ボタンをクリックすると、インポートが開始されます。

(4) インポート処理が終了するとインポートの結果（成功/失敗）が表示されます。失敗時には原因も表示されます。

41.3 ユニット

■機能

ユニット情報、電源情報、リンク情報、ポート情報、IP アドレス情報を CSV ファイルからインポートします。

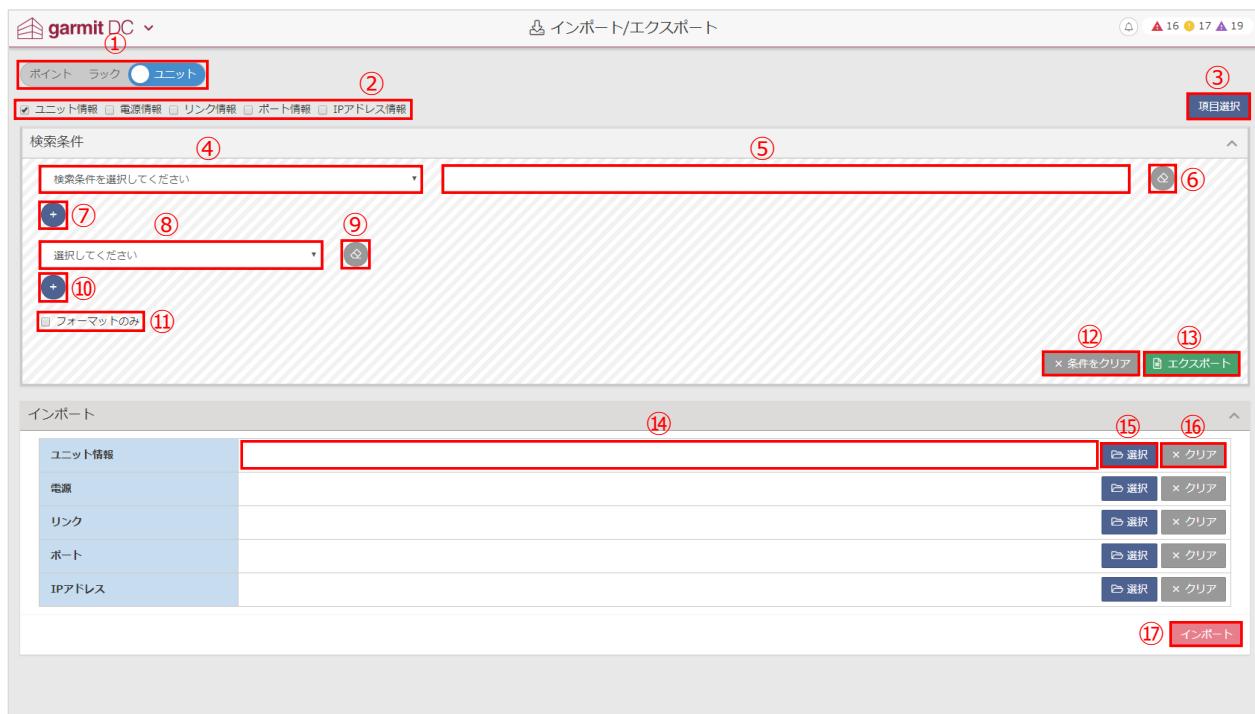


図 366 インポート/エクスポート（ユニット）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	対象データ	インポート/エクスポート対象のデータを選択する	ポイント/ラック/ユニット	
2	出力ファイル選択	エクスポートするファイルを選択する		
3	項目選択	項目選択モーダル（図 367）を表示し、エクスポートする項目を選択する		
4	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション/所属/タグ/電源系統/ハッシュタグ	※電源系統は電源系統メンテナンスの権限が読み取り専用以上で指定可能
5	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
6	条件削除	検索条件を削除する		
7	条件追加	検索条件を追加表示する		
8	検索条件詳細	詳細な検索条件を指定する		ユニット概要、ユニット詳細の設定項目が指定可能
9	条件削除	検索条件詳細を削除する		
10	条件追加	検索条件詳細を追加する		
11	フォーマットのみ	フォーマットのみエクスポートするかどうかチェックする		
12	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
13	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
14	ファイル名	選択したファイル名を表示する		
15	選択	ファイル選択ダイアログを表示する		
16	クリア	ファイルの選択をクリアする		
17	インポート	選択した CSV ファイルをインポートする		

■表示

メインメニューから「データ出力」>「インポート/エクスポート」を選択し、対象データで「ユニット」を選択すると、当該画面（図 366）を表示する。

■操作

1. 項目選択

「項目選択」ボタンをクリックして項目選択画面（図 367）を表示し、エクスポートする項目を設定します。

※詳細な方法については、『[41.4 項目選択](#)』をご参照ください。

2. フォーマットのみエクスポート

(1) 出力ファイル選択で、出力するファイルを選択します（※複数選択可能）。

(2) 項目選択を行います。

(3) 「フォーマットのみ」にチェックを入れます。

(4) 「エクスポート」ボタンをクリックすると、フォーマットのみの CSV ファイルが出力されます。

※項目選択で選択項目に指定した項目のみが出力されます。

3. エクスポート

- (1) 出力ファイル選択で、出力するファイルを選択します（※複数選択可能）。
- (2) 項目選択を行います。
- (3) 検索条件を指定します。

※検索方法の詳細は『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

- (4) 「エクスポート」ボタンをクリックすると、指定した検索条件に該当するユニットのファイルが出力されます。

※出力ファイル選択で選択したファイルのみが出力されます。

※項目選択で選択項目に指定した項目のみが出力されます。

4. インポート

- (1) インポート用の CSV ファイルを用意します。

※各項目の設定方法の詳細に関しては、別紙をご参照ください。

※複数のファイル（例：ユニット情報 & 電源情報）を同時にインポートする場合は、ユニット ID で紐づけて下さい。

ただし、新規でユニット ID が未割当のユニットについては、紐づけ ID に同一の番号を振って紐づけて下さい。

- (2) 「選択」ボタンをクリックして、ファイル選択ダイアログで対象となるファイルを選択します。
- (3) 「インポート」ボタンをクリックすると、インポートが開始されます。
- (4) インポート処理が終了するとインポートの結果（成功/失敗）が表示されます。失敗時には原因も表示されます。

41.4 項目選択

■機能

エクスポートする項目を設定します。



図 367 項目選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	出力カテゴリ	出力カテゴリを選択する		※対象がラック、ユニットの場合に指定
2	非選択項目	エクスポートしない項目を設定する 選択項目にドラッグすると選択項目に設定可能		
3	選択項目	エクスポートする項目を設定する 非選択項目にドラッグすると非選択項目に設定できる ・黄色の項目...インポートに必須のキー項目で、非選択項目には設定できない ・「*」のついた項目...新規登録時のインポートに必須の項目		
4	適用	編集内容を適用して当該画面を消去する		
5	キャンセル	編集内容を破棄して当該画面を消去する		

■表示

インポート画面（[図 364](#)、[図 365](#)、[図 366](#)）で「項目選択」ボタンをクリックすると、当該画面（[図 367](#)）を表示します。

■操作

1. 項目選択

- (1) 項目をドラッグして、非選択項目、選択項目を設定します。
- (2) 「適用」ボタンをクリックすると、編集内容が適用されて当該画面が消去されます。

※エクスポート時に保存した選択項目は次回エクスポート時にそのまま反映されます。

42 アセットレポート

■機能

ラック情報、電源情報、アウトレット情報、リンク情報を CSV ファイルからインポートします。

The screenshot shows the 'Asset Report' search interface. At the top, there is a search condition panel with the following numbered fields:

- (1) 出力対象: ラック (Output Target: Rack)
- (2) 検索条件を選択してください (Select search condition)
- (3) (Red box)
- (4) (Red box)
- (5) (Red box)
- (6) (Red box)
- (7) (Red box)
- (8) (Red box)
- (9) × 条件をクリア (Clear conditions)
- (10) 検索 (Search)

Below the search condition panel is the search result table, which includes the following columns:

最大ユニット数	ラック種別	ラックステータス	ラック重量	耐荷重	重量を含める	コメント	更新者	更新日	電源	購入情報 - 購入日	購入情報 - 購入部署	購入
42U×1列	フルラック	空き	30.0	680.0	含めない			2018/12/10	電源			デンソーホールディングス
42U×1列	フルラック	空き	30.0	340.0	含める			2018/12/10	電源			デンソーホールディングス
42U×1列	フルラック	空き	20.0	170.0	含める			2018/12/10	電源			デンソーホールディングス
42U×2列	フルラック	空き	50.0	680.0	含めない			2018/04/18	電源			デンソーホールディングス
42U×1列	フルラック	空き	50.0	680.0	含めない			2018/04/18	電源			デンソーホールディングス
42U×1列	フルラック	空き	20.0	170.0	含めない			2018/12/10	電源			デンソーホールディングス
48U×1列	フルラック	空き	116.0	600.0	含めない			2018/12/10	電源			デンソーホールディングス
42U×1列	フルラック	空き	200.0	1000.0	含める		システム管理者	2018/10/19	電源	2018/10/01		デンソーホールディングス
46U×1列	フルラック	空き	94.0	600.0	含めない		デンソー11	2018/08/30	電源			デンソーホールディングス
0U×0列	フルラック	空き	0.0	0.0	含めない		デンソー01	2018/08/29	電源			デンソーホールディングス

At the bottom of the table, it says "302 件中 1 から 10 までを表示" (Displaying 1 to 10 of 302 items). There are also buttons for "表示設定" (Display settings), "レポート出力" (Report output), and "出力種別" (Output type).

図 368 アセットレポート

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	出力対象	レポート出力対象を選択する	ラック/ユニット	
2	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション/所属/タグ/電源系統/ハッシュタグ	※電源系統は電源系統メンテナンスの権限が読み取り専用以上で指定可能
3	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
4	条件削除	検索条件を削除する		
5	条件追加	検索条件を追加表示する		
6	検索条件詳細	ラック詳細/ユニット詳細で設定した項目を検索条件として指定する		
7	条件削除	検索条件詳細を削除する		
8	条件追加	検索条件詳細を追加する		
9	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
10	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
11	条件に適用	表示しているデータのロケーションを検索条件に設定する		
12	表示設定	表示設定ダイアログを表示し、一覧に表示する項目を選択する		
13	レポート出力	一覧に表示しているデータを CSV 出力する		
14	出力種別	CSV ファイルに出力する方法を選択する		ラックのみ/まとめて出力/分けて出力
15	レポート	検索結果を表示する		

■表示

メインメニューから「データ出力」>「アセットレポート」を選択すると、当該画面（図 368）を表示する。

■操作

1. 検索

検索条件を指定して「検索」ボタンをクリックすると、条件に該当するラックもしくはユニット情報が一覧表示されます。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. 表示設定変更

「表示設定」ボタンをクリックすると、表示設定画面が表示されます。

※表示設定変更画面については、『[6.2 表示設定](#)』をご参照ください。

3. 電源・ネットワーク表示

一覧に表示されている「電源」ボタン（ラックの場合）もしくは「電源/NW」ボタン（ユニットの場合）をクリックすると、電源一覧もしくは電源・ネットワーク一覧画面が表示されます。

※出力対象が「ラック」の場合は、ラックごとに紐づいている電源一覧が表示されます。

※出力対象が「ユニット」の場合は、ユニットに紐づいている電源およびネットワーク一覧が表示されます。



図 369 電源一覧（ラックレポートの場合）



図 370 電源・ネットワーク一覧（ユニットレポート）

4. レポート出力

出力種別を選択し、「レポート出力」ボタンをクリックすると、表示中の一覧を CSV ファイルに出力します。

出力種別については、以下の通りです。

- ・ラックのみ/ユニットのみ...ラック情報一覧のみ/ユニット情報一覧のみ CSV ファイルに出力します。
- ・まとめて出力...アセットレポート画面に表示している情報と付随する情報を 1 つの CSV ファイルに出力します。
- ・分けて出力...アセットレポート画面に表示している情報と付随する情報を別の CSV ファイルに出力します。

5. 条件に適用

一覧表示中に、「条件に適用」ボタンをクリックすると、表示中のすべてのロケーションを検索条件として設定します。
この際、前回検索時の条件はクリアし、ロケーションのみ設定している状態です。

43 データレポート

■機能

リアルタイムデータ、ダイジェストデータをレポート形式で表示し、CSVに出力します。

The screenshot shows the garmit Data Report interface. At the top, there are search filters for location (①), date range (②), and time interval (③). Below these are buttons for 'Realtime' (④) and 'Digest' (⑤). The report type is set to '日报' (⑥) and the date is '2021/02/20' (⑦). The output interval is set to '5分' (⑧). There is a 'Report Output' button (⑩) and a 'Report Format' button (⑪). The bottom section displays a table of data points (⑫) with columns for point name, location, unit, and various temperature measurements over time intervals from 2021/02/20 00:00:00 to 00:45:00. A red box highlights the entire data table area.

ポイント名	21-0229	21-0230	22-0209	22-0210	2A110_温度	2A111_温度	2A112_温度	2A113_温度	2A114_温度	2A115_温度
ロケーション	東京第1データセンタ→2F A1 A115	東京第1データセンタ→2F A1 A115	東京第1データセンタ→2F A1 A115	東京第1データセンタ→2F A1 A115	東京第1データセンタ→2F A1 A110	東京第1データセンタ→2F A1 A111	東京第1データセンタ→2F A1 A112	東京第1データセンタ→2F A1 A113	東京第1データセンタ→2F A1 A114	東京第1データセンタ→2F A1 A115
単位	A	A	A	A	°C	°C	°C	°C	°C	°C
2021/02/20 00:00:00	5.1	8.0	1.1	6.5	21.7	20.8	22.7	24.1	20.3	22.3
2021/02/20 00:05:00	3.1	7.8	5.9	3.4	21.9	21.6	24.9	22.1	22.6	21.9
2021/02/20 00:10:00	7.2	1.4	4.2	4.3	22.1	24.8	23.1	22.9	24.8	20.8
2021/02/20 00:15:00	9.4	9.9	3.0	8.9	21.1	24.0	22.5	24.0	21.7	21.6
2021/02/20 00:20:00	7.1	5.3	2.7	6.4	23.6	21.4	24.5	24.0	24.5	22.8
2021/02/20 00:25:00	0.6	7.4	7.8	7.6	21.5	22.8	20.8	23.5	21.6	22.6
2021/02/20 00:30:00	5.2	3.6	0.2	8.1	20.5	20.9	22.7	22.0	23.6	24.7
2021/02/20 00:35:00	6.9	1.7	9.7	1.0	24.9	20.1	21.8	21.6	22.5	24.9
2021/02/20 00:40:00	7.3	5.6	8.5	3.8	20.7	23.9	21.2	22.2	22.0	23.1
2021/02/20 00:45:00	5.9	3.0	0.7	4.5	23.0	20.9	22.6	22.5	22.0	20.3

図 371 データレポート（リアルタイム）

garmit ▾

データレポート

△ 3 ○ 0 ▲ 8

検索条件

ロケーション 東京第1データセンター / 2F / A1 東京第1データセンター / 2F / A1 / A101

リアルタイム ダイジェスト

日報 2021/02/21

検索種別 最大 (19)

検算表示

帳票出力 帳票フォーマット

× 条件をクリア Q 検索 R レポート出力

検索結果

データ種別

絞り込み：すべて

10 件を表示

ポイント名	21-0229	21-0230	22-0209	22-0210	2A110_温度	2A111_温度	2A112_温度	2A113_温度	2A114_温度	2A115_温度
ロケーション	東京第1データセンター 2F A1 A115	東京第1データセンター 2F A1 A110	東京第1データセンター 2F A1 A111	東京第1データセンター 2F A1 A112	東京第1データセンター 2F A1 A113	東京第1データセンター 2F A1 A114	東京第1データセンター 2F A1 A115			
単位	A	A	A	A	°C	°C	°C	°C	°C	°C
2021/02/21 00:00	9.9	9.9	9.8	9.8	24.9	24.9	24.9	24.9	24.9	24.7
2021/02/21 01:00	9.8	9.4	9.9	9.9	24.9	24.9	24.9	24.9	24.7	24.8
2021/02/21 02:00	9.8	9.9	9.8	9.8	24.9	24.9	24.9	24.8	24.9	24.8
2021/02/21 03:00	9.9	9.8	9.6	9.8	24.8	24.9	24.9	24.9	24.9	24.9
2021/02/21 04:00	9.9	9.8	9.9	9.9	24.9	24.8	24.9	24.8	24.9	24.8
2021/02/21 05:00	9.9	9.9	9.7	9.9	24.8	24.8	24.9	24.9	24.9	24.8
2021/02/21 06:00	9.9	9.8	9.5	9.7	24.9	24.9	24.9	24.9	24.9	24.9
2021/02/21 07:00	9.8	9.9	9.7	9.6	24.7	24.9	24.9	24.9	24.9	24.9
2021/02/21 08:00	9.8	9.8	9.8	9.8	24.9	24.9	24.9	24.9	24.9	24.9
2021/02/21 09:00	9.5	9.8	9.8	9.8	24.9	24.9	24.9	24.9	24.8	24.9

20 件中 1 から 10 までを表示

図 372 データレポート（ダイジェスト）

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション/所属/タグ/電源系統/ハッシュタグ	※電源系統は電源系統メンテナンスの権限が読み取り専用以上で指定可能
2	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
3	条件削除	検索条件を削除する		
4	条件追加	検索条件を追加表示する		
5	出力データ種別	出力データの種別を選択する	リアルタイム/ダイジェスト	
6	出力種別	出力種別を選択する		
7	対象期間	出力の対象期間を入力する		
8	出力間隔	出力間隔を選択する		※出力データ種別がリアルタイムの時のみ
9	換算表示	各ポイントに登録した換算式で演算した結果を表示・出力する		
10	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
11	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
12	レポート出力	検索条件に該当する内容を出力する		
13	データ種別	表示中のレポートをデータ種別で絞り込む		
14	表示ポイント切替	表示中のポイントを切り替える		
15	レポート	検索条件に該当するレポートを表示する		
16	レポート出力	表示中のレポートを CSV ファイルに出力する		
17	帳票出力	指定した検索条件に該当する計測データを帳票として出力する		
18	帳票フォーマット	帳票の出力フォーマットを登録する		
19	積算種別	積算種別を選択する ・最大...各ポイントの 1 時間ごとの最大値を算出して保存した値 ・最小...各ポイントの 1 時間ごとの最小値を算出して保存した値 ・平均...各ポイントの 1 時間ごとの平均値を算出して保存した値 ・瞬時...各ポイントの毎正時の瞬時値を保存した値 ・差分...正時と前回正時の瞬時の差分を保存した値	最大/最小/平均/瞬時/差分	※出力データ種別がダイジェストの時のみ

■表示

メインメニューから「データ出力」>「データレポート」を選択すると、当該画面（図 371）を表示する。

■操作

1. 検索

検索条件を指定して「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に該当するデータレポートが表示されます。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

2. レポート出力

「レポート出力」をクリックすると、表示中のデータレポートが CSV 形式で出力されます。

3. 帳票出力

- (1) 「帳票出力」ボタンをクリックすると、帳票出力確認モーダル（[図 373](#)）が表示されます。
- (2) 帳票出力確認モーダルで、各項目を入力し「出力」ボタンをクリックすると、帳票が出力されます。

4. ラックの帳票フォーマット登録

- (1) 「帳票フォーマット」ボタンをクリックすると、帳票フォーマットモーダル（[図 273](#)）が表示されます。
- (2) 帳票フォーマットモーダルで「追加」ボタンをクリックすると、帳票フォーマット登録モーダル（[図 374](#)）が表示されます。
- (3) 帳票フォーマット登録モーダルで、各項目を入力し「保存」ボタンをクリックすると、帳票フォーマットが新規登録されます。

43.1 帳票出力確認

データレポート、電気錠ログなどの帳票を出力します。

帳票出力確認

① 所属

株式会社デンソー

② フォーマット

データレポートフォーマット.xlsx

③ タイトル

ロケーション：東京第1データセンター 2F A1 / 東京第1データセンター 2F A1 A101 / 東京第1データセンター 2F A1 A102 / 東京第1データセンター 2F A1 A103 / 東京第1データセンター 2F A1 A104 / 東京第1データセンター 2F A1 A105 / 東京第1データセンター 2F A1 A106 / 東京第1データセンター 2F A1 A107 / 東京第1データセンター 2F A1 A108 / 東京第1データセンター 2F A1 A109 / 東京第1データセンター 2F A1 A110 / 東京第1データセンター 2F A1 A111 / 東京第1データセンター 2F A1 A112 / 東京第1データセンター 2F A1 A113 / 東京第1データセンター 2F A1 A114 / 東京第1データセンター 2F A1 A115 / 東京第1データセンター 2F A1 A116 / 東京第1データセンター 2F A1 A117 / 東京第1データセンター 2F A1 A118
検索データ：リアルタイム
日報：2021/02/21
出力間隔：指定なし
換算表示する

④ 出力

⑤ キャンセル

図 373 帳票出力確認画面

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	所属	所属を選択する		
2	フォーマット	フォーマットを選択する		
3	タイトル		1000 文字以内	
4	出力	帳票を出力する		
5	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

データレポート画面もしくは電気錠ログ画面の「帳票出力」ボタンをクリックすると、当該画面（図 373）が表示されます。

■操作

1. 帳票出力

- (1) ログインユーザーが紐づく所属リストから対象となる所属を選択します。
- (2) 選択した所属に紐づくフォーマットリストから対象となるフォーマットを選択します。
- (3) タイトルを入力します。

初期表示は、指定した検索条件が表示されます。

任意の文字列を入力してタイトルを変更することができます（1000 文字まで）。

例）対象となるデータ種別（電流/温度など）、○○管理表など

- (4) 「出力」ボタンをクリックします。

43.2 帳票フォーマット登録

■機能

データレポートおよび電気錠ログの帳票フォーマットを新規登録します。



図 374 帳票フォーマット登録画面

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
9	所属	所属を選択する		
10	フォーマット	選択中のフォーマットファイル名を表示する		
11	フォーマット選択	ファイル選択ダイアログを開いてフォーマットファイルを選択する	拡張子:.xlsx のみ対応 ファイルサイズ: 2MB 以下 ファイル名は 20 文字以下	
12	上書き保存の可否	同じ名前のファイルが存在する場合に上書きを許可するかどうかを選択する		
13	保存	編集した内容を保存する		
14	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

データレポート画面および電気錠ログ画面にて、「帳票フォーマット」ボタンをクリックすると、帳票フォーマット画面（図 273）が表示されます。

帳票フォーマット画面で「追加」ボタンをクリックすると、当該画面が表示されます。

■操作

1. フォーマットファイルの作成

- (1) Excel アプリケーションを起動し、新規ファイルを作成します。
- (2) ラック、ユニットの各項目の値を埋め込みたいセルに、タグを入力します。

※使用可能なタグの一覧については、別途資料（『データレポート帳票埋込タグ一覧』／『電気錠ログ帳票埋込タグ一覧』）をご参照ください。

- (3) ファイルを .xlsx 形式で保存します。

2. 帳票フォーマット登録

- (1) 帳票フォーマットを紐づける所属を選択します。
- (2) 「選択」ボタンをクリックしてファイル選択ダイアログを開き、フォーマットファイルを選択します。
フォーマットファイル名は、拡張子を含めて 20 文字までです。
- (3) 同じ名前のファイルが存在する場合に上書きを許可する場合はチェックボックスにチェックを入れます。
本項目のチェックが入っておらず、同名のファイルが存在する場合はエラーとなります。
- (4) 「保存」ボタンをクリックします。

44 オペレーションログ

■機能

各画面を操作した履歴を検索表示します。

The screenshot shows the 'garmit' application window titled 'オペレーションログ'. The search bar at the top has a dropdown menu (①) and a search button (②). To the right of the search bar is a clear condition button (③). Below the search bar is a date range input field (④) with a date range selection button (⑤). Further to the right are a clear condition button (⑥) and a search button (⑦). On the far right of the header are display setting (⑨) and report output (⑩) buttons. The main area displays a table of operation logs (⑧) with columns: 操作ログ番号, 操作者, 機能名, 操作種別, 操作日時, 変更前の値, 変更後の値, メッセージ. The table lists various log entries such as new registration, modification, and login actions. At the bottom left is a message input field (⑫). A footer at the bottom indicates '42件中 1から 10までを表示' and page navigation buttons.

図 375 オペレーションログ

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索条件	検索条件を指定する	ユーザー/操作機能/操作種別	
2	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
3	条件削除	検索条件を削除する		
4	条件追加	検索条件を追加表示する		
5	操作日時	検索対象の操作日時(From/To)を入力する		
6	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
7	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
8	オペレーションログ	検索条件に該当するオペレーションログを表示する		
9	表示設定	オペレーションログに表示する項目を選択する		
10	レポート出力	表示中のオペレーションログをCSVファイルに出力する		

■表示

メインメニューから「ログ」>「オペレーションログ」を選択すると、当該画面（図375）を表示します。

■操作

1. 検索

(1) 検索条件を入力して、「検索」ボタンをクリックします。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

(2) 検索条件に該当するオペレーションログが表示されます。

2. 表示設定

(1) 「表示設定」ボタンをクリックして表示設定画面を表示します。

(2) 非表示項目、表示項目を設定します。

※表示設定変更画面については、『[6.2 表示設定](#)』をご参照ください。

3. レポート出力

「レポート出力」ボタンをクリックすると、一覧に表示されている内容が CSV 形式でファイルに出力されます。

4. 該当機能ページへの遷移

オペレーションログ一覧の「機能名」列のセルをクリックすると、該当の機能のページ遷移します。

45 電気錠ログ

■機能

サーバーラックの電気錠を操作した履歴を検索表示します。また検索結果を帳票出力します。

The screenshot shows the garmit software interface with the following details:

Search Conditions (検索条件):

- ① Location (ロケーション): 東京第1データセンター / 2F / A1 B, 東京第1データセンター / 2F / A1 / A101 B
- ② Filter Buttons: 開錠 (Unlock) and 施錠 (Lock)
- ③ Clear Conditions (条件をクリア): Red box around the button.
- ④ Add Location (+): Red box around the button.
- ⑤ Date Range: 2021/02/01 00:00 ~ 2021/02/21 20:00
- ⑥ Filter Buttons: 開錠 (Unlock) and 施錠 (Lock) (both checked)
- ⑦ Purpose (開錠目的): 全て (All)
- ⑧ Export (帳票出力): Red box around the button.
- ⑨ Format (帳票フォーマット): Red box around the button.
- ⑩ Clear Conditions (条件をクリア): Red box around the button.
- ⑪ Search (検索): Red box around the button.

Results (電気錠ログ):

- ⑫ Display Settings (表示設定): Red box around the button.
- ⑬ Report Output (レポート出力): Red box around the button.
- ⑭ Row Selection: Red box around the 14th row of the table.
- Table Headers:
 - ラック名 (Rack Name)
 - ロケーション (Location)
 - 開錠日時 (Unlock Time)
 - 開錠ユーザー (Unlock User)
 - 開錠目的 (Unlock Purpose)
 - 開錠時コメント (Unlock Comment)
 - 施錠日時 (Lock Time)
 - 施錠ユーザー (Lock User)
 - 施錠時コメント (Lock Comment)
- Table Data:

ラック名	ロケーション	開錠日時	開錠ユーザー	開錠目的	開錠時コメント	施錠日時	施錠ユーザー	施錠時コメント
A1-A113	東京第1データセンター 2F	2021/02/20 11:21	システム管理者	設定・構築	11:21 開錠	2021/02/20 11:40	システム管理者	11:21 開錠...
A1-A114	東京第1データセンター 2F	2021/02/20 11:21	システム管理者	設定・構築	11:21 開錠	2021/02/20 11:40	システム管理者	11:21 開錠...
A1-A115	東京第1データセンター 2F	2021/02/20 11:21	システム管理者	設定・構築	11:21 開錠	2021/02/20 11:40	システム管理者	11:21 開錠...
A1-A110	東京第1データセンター 2F	2021/02/20 11:16	システム管理者	機器設置	2021/02/20 11:16 開錠	2021/02/20 11:18	システム管理者	11:05 開錠...
A1-A111	東京第1データセンター 2F	2021/02/20 11:16	システム管理者	機器設置	2021/02/20 11:16 開錠	2021/02/20 11:18	システム管理者	11:05 開錠...
A1-A112	東京第1データセンター 2F	2021/02/20 11:16	システム管理者	機器設置	2021/02/20 11:16 開錠	2021/02/20 11:18	システム管理者	11:05 開錠...
A1-A111	東京第1データセンター 2F	2021/02/19 21:21	システム管理者	機器撤去		2021/02/19 21:59	システム管理者	2021/02/19 21:59 施錠 (電気錠操作)
A1-A116	東京第1データセンター 2F	2021/02/19 21:04	システム管理者	機器撤去	2021/02/19 21:04 開錠 (電気錠操作)	2021/02/20 10:40	システム管理者	2021/02/19 19:50 開錠(2A110-2A1)
A1-A115	東京第1データセンター 2F	2021/02/19 20:04	システム管理者	機器設置	2021/02/19 20:05 開錠(2A115)	2021/02/20 10:40	システム管理者	2021/02/19 19:50 開錠(2A110-2A1)
A1-A110	東京第1データセンター 2F	2021/02/19 19:51	システム管理者	機器設置	2021/02/19 19:51 開錠(2A110-2A14)	2021/02/20 10:40	システム管理者	2021/02/19 19:50 開錠(2A110-2A1)
- Page Number: 45 件中 1 から 10 までを表示
- Page Navigation: < < 1 2 3 4 5 > >

図 376 電気錠ログ

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索条件	検索条件を指定する	ロケーション/所属/タグ/ユーザー	
2	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		
3	条件削除	検索条件を削除する		
4	条件追加	検索条件を追加表示する		
5	期間	検索対象の操作日時(From/To)を入力する		
6	操作種別	電気錠の操作種別を選択する	開錠/施錠	
7	開錠目的	開錠目的を選択する		
8	帳票出力	指定した検索条件に該当する電気錠ログを帳票として出力する		
9	帳票フォーマット	帳票の出力フォーマットを登録する		
10	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
11	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
12	電気錠ログ	検索条件に該当するオペレーションログを表示する		
13	表示設定	電気錠ログに表示する項目を選択する		
14	レポート出力	表示中の電気錠ログを CSV ファイルに出力する		

■表示

メインメニューから「ログ」>「電気錠ログ」を選択すると、当該画面(図 376)を表示します。

■操作

1. 検索条件指定

(1) 検索条件(ロケーション/所属/タグ/ユーザー)を指定します。

※検索方法の詳細は、『[52.1 検索条件](#)』をご参照ください。

(2) 期間は From/To どちらも入力します。未指定の場合はエラーとなります。

(3) 操作種別を指定します。「開錠/施錠」のどちらかを選択してください。どちらも未選択の場合はエラーとなります。

(4) 開錠目的を選択します。開錠目的のリストは下記の通りです。未選択状態でも可。

<選択肢>

・すべて

・登録済みの目的

2. 検索

指定した検索条件に該当する電気錠操作履歴を検索し、一覧に表示されます。

<操作種別>

開錠/施錠の両方をチェックした場合：指定した期間に開錠/施錠した電気錠ログが表示されます。

開錠のみをチェックした場合：指定した期間に開錠した電気錠ログが表示されます。

施錠のみをチェックした場合：指定した期間に施錠した電気錠ログが表示されます。

<開錠目的>

すべて：登録した開錠目的すべてに該当する、指定した期間に操作した電気錠ログが表示されます。

未選択：開錠目的を入力せずに操作した電気錠ログも含めて、指定した期間に操作した電気錠ログが表示されます。

3. 表示設定

- (1) 「表示設定」ボタンをクリックして表示設定画面を表示します。
- (2) 非表示項目、表示項目を設定します。

※表示設定変更画面については、『[6.2 表示設定](#)』をご参照ください。

4. レポート出力

「レポート出力」ボタンをクリックすると、一覧に表示されている内容が CSV 形式でファイルに出力されます。

5. 帳票出力

- (1) 「帳票出力」ボタンをクリックすると、帳票出力確認モーダル（[図 373](#)）が表示されます。
- (2) 帳票出力確認モーダルで、各項目を入力し「出力」ボタンをクリックすると、帳票が出力されます。

帳票は xlsx 形式です。

6. ラックの帳票フォーマット登録

- (1) 「帳票フォーマット」ボタンをクリックすると、帳票フォーマットモーダル（[図 273](#)）が表示されます。
- (2) 帳票フォーマットモーダルで「追加」ボタンをクリックすると、帳票フォーマット登録モーダル（[図 374](#)）が表示されます。
- (3) 帳票フォーマット登録モーダルで、各項目を入力し「保存」ボタンをクリックすると、帳票フォーマットが新規登録されます。

46 メール設定

46.1 メール送信設定

■機能

メール送信の設定をします。

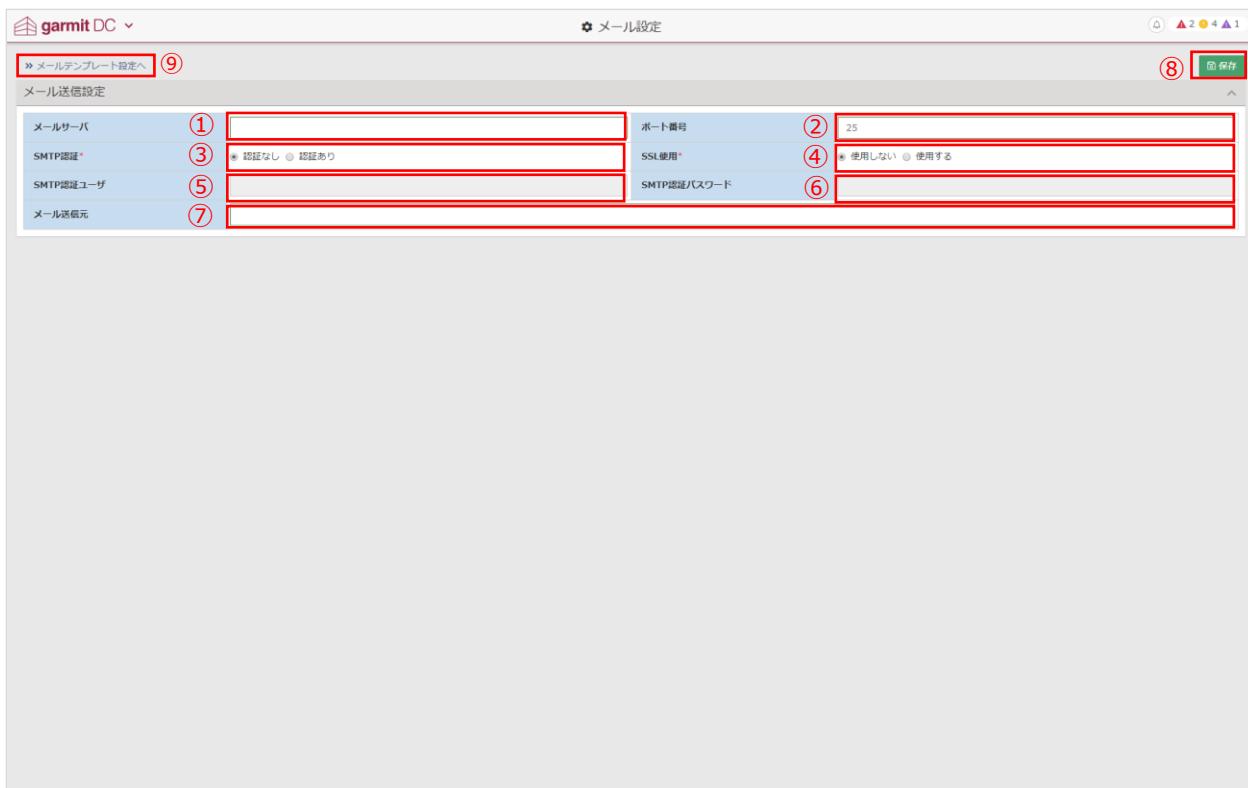


図 377 メール送信設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	メールサーバ	メールサーバのIPアドレスを入力する	64文字以内	
2	ポート番号	メールサーバのポート番号を入力する	0～65535	
3	SMTP認証	SMTP認証有無を選択する		
4	SSL使用	SSLの使用有無を選択する		
5	SMTP認証ユーザー	SMTP認証ユーザーIDを入力する	64文字以内	
6	SMTP認証パスワード	SMTP認証パスワードを入力する	16文字以内	
7	メール送信元	メール送信元アドレスを入力する	256文字以内	
8	保存	メール送信設定情報を登録する		
9	メールテンプレート設定へ	メールテンプレート画面へ遷移する		

■表示

メインメニューから、「基本設定」>「メール設定」を選択すると、当該画面（図377）を表示します。

■操作

1. メール設定の編集

下記の各項目を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

・メールサーバ

メールサーバのIPアドレスもしくはドメイン名を入力します。

制限事項：英数字、「.（ピリオド）」、「-（ハイフン）」、「_（アンダーバー）」、64文字以内

・ポート番号

メールサーバのポート番号を入力します。

制限事項：半角数字、0～65535。

・SMTP認証

SMTP認証の有無を選択します。

「認証あり」を選択した場合は、SMTP認証ユーザー、SMTP認証パスワードを編集可、必須項目とします。

「認証なし」を選択した場合は、SMTP認証ユーザー、SMTP認証パスワードを編集不可とします。

・SSL使用

SSL使用有無を選択します。

・SMTP認証ユーザー

SMTP認証ユーザーIDを入力します。

制限事項：64文字以内。

・SMTP認証パスワード

SMTP認証用パスワードを入力します。入力した文字列は、マスク表示されます。

制限事項：16文字以内

・メール送信元

メールを送信する際のメール送信元となるアドレスを入力します。

制限事項：256 文字以内

2. メールテンプレート設定画面への遷移

「メールテンプレート設定へ」リンクをクリックすると、メールテンプレート設定画面（[図 378](#)）へ遷移します。

46.2 メールテンプレート設定

■機能

アラーム発生/継続/復旧時に送信するメールのテンプレートを設定します。



図 378 メールテンプレート設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	選択	メールテンプレート選択画面（図 379）を表示する		
2	アラーム種別	選択中のテンプレートのアラーム種別を表示する		
3	データ種別	選択中のテンプレートのデータ種別を表示する		
4	イベント種別	選択中のテンプレートのイベント種別を表示する		
5	件名	テンプレートの件名を入力する	128 文字以内	
6	本文	テンプレートの本文を入力する	4000 文字以内	
7	制御文字一覧	テンプレートで使用可能な制御文字の一覧を表示する		
8	プレビュー	メールプレビュー画面を表示する		
9	保存	編集内容を保存する		
10	メール送信設定へ	メール送信設定画面に遷移する		

■表示

メール送信設定画面で「メールテンプレート設定へ」をクリックすると、当該画面（図 378）を表示します。

■操作

1. テンプレートの選択

「選択」ボタンをクリックすると、メールテンプレート選択画面（[図 379](#)）が表示されます。

2. テンプレートの編集

下記項目を入力して、「保存」ボタンをクリックします。

・件名

メールテンプレートの件名を入力します。

制御文字を入力した場合、実際のメールではアラームの内容で置換されます。

制限事項：128 文字以内

・本文

メールテンプレートの本文を入力します。

制御文字を入力した場合、実際のメールではアラームの内容で置換されます。

制限事項：4000 文字以内

3. プレビュー

「プレビュー」ボタンをクリックすると、メールプレビュー画面（[図 380](#)）が表示されます。

4. メール送信設定画面への遷移

「メール送信設定へ」リンクをクリックすると、メール送信設定画面（[図 377](#)）へ遷移します。

46.3 メールテンプレート選択

■機能

メールテンプレートを選択します。



図 379 メールテンプレート選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	アラーム種別	アラーム種別を選択する		
2	データ種別	データ種別を選択する		※アラーム種別で上限異常/下限異常/上限注意/下限注意を選択したときのみ指定可能
3	イベント種別	イベント種別を選択する		
4	選択	選択した種別のテンプレートを選択する		
5	キャンセル	テンプレートの選択をキャンセルする		

■表示

メールテンプレート設定（図 378）で「選択」ボタンをクリックすると、当該画面（図 379）を表示します。

■操作

1. 選択

- (1) アラーム種別、データ種別（※アラーム種別が上限異常、下限異常、上限注意、下限注意の場合）、イベント種別を選択します。
- (2) 「選択」ボタンをクリックすると、選択したテンプレートの内容がメールテンプレート画面に表示されます。

46.4 メールプレビュー

■機能

メールテンプレート設定（[図 378](#)）で編集中のテンプレートのプレビューを表示します。

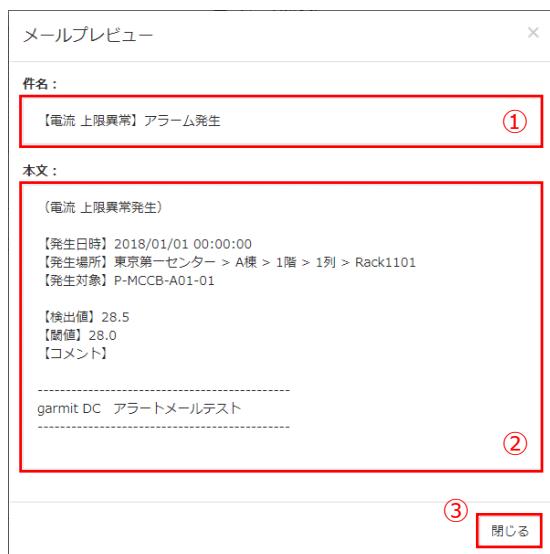


図 380 メールプレビュー

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	件名	件名のプレビューを表示する		
2	本文	本文のプレビューを表示する		
3	閉じる	メールプレビュー画面を閉じる		

■表示

メールテンプレート設定（[図 378](#)）で「プレビュー」ボタンをクリックすると、当該画面（[図 380](#)）を表示します。

■操作

1. 送信メールプレビュー表示

メールテンプレート画面で入力した、プレビュー表示用データを使用し、実際に送信するメールのイメージが表示されます。

47 デフォルト設定

■機能

デフォルト値を設定します。

garmit DC デフォルト設定

ポイント

閾値は 上限異常>上限注意>下限注意>下限異常 となるよう入力してください

データ種別	単位	① 閾値（上限異常）	② 閾値（上限注意）	③ 閾値（下限注意）	④ 閾値（下限異常）	⑤ 不感時間（異常発生）(秒)	⑥ 不感時間（異常発生）(秒)	⑦ 不感時間（注音発生）(秒)	⑧ 不感時間（異常復旧）(秒)	⑨ 不感時間（注音復旧）(秒)
電流	A	100	25			0	0	0	0	0
温度	℃	28	27	20	18	0	0	0	0	0
湿度	%					0	0	0	0	0
電気錠状態						0	0	0	0	0
ドア状態						0	0	0	0	0
電圧	V					0	0	0	0	0

ラック

⑩

ラック耐荷重（注意）*

90

図 381 デフォルト設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	単位	デフォルトの単位を入力する	10 文字以内	
2	閾値（上限異常）	上限異常の閾値を入力する	-999,999～999,999	
3	閾値（上限注意）	上限注意の閾値を入力する	-999,999～999,999	
4	閾値（下限注意）	下限注意の閾値を入力する	-999,999～999,999	
5	閾値（下限異常）	下限異常の閾値を入力する	-999,999～999,999	
6	不感時間（異常発生）	閾値超過からアラーム判定するまでの時間を入力する	0～2,147,483,647	
7	不感時間（注意発生）	閾値超過からアラーム判定するまでの時間を入力する	0～2,147,483,647	
8	不感時間（異常復旧）	閾値超過からアラーム判定するまでの時間を入力する	0～2,147,483,647	
9	不感時間（注意復旧）	閾値超過からアラーム判定するまでの時間を入力する	0～2,147,483,647	
10	ラック耐荷重（注意）	ラックの耐荷重に対し、注意アラームと判定する閾値を入力する 単位：%（パーセント）	0～100	
11	保存	編集した内容を登録する		

■表示

メインメニューから、「基本設定」>「デフォルト設定」を選択すると、当該画面（図 381）を表示します。

■操作

1. 保存

(1) 下記の項目を入力して、「保存」ボタンをクリックします。

・単位

データ種別ごとにデフォルトの単位を入力します。

制限事項：10 文字以内

・閾値

データ種別ごとに、上限異常、上限注意、下限異常、下限注意のデフォルトの閾値を入力します。

制限事項：-999,999～999,999、上限異常>上限注意>下限注意>下限異常

・不感時間

データ種別ごとに、異常発生/復旧、注意発生/復旧の不感時間を入力します。

制限事項：0～2,147,483,647

・ラック耐荷重（注意）

ラックの耐荷重で注意アラームと判定する閾値を%単位で入力します。

制限事項：0～100

48 サウンド設定

48.1 サウンド設定

■機能

アラーム発生時に鳴らすサウンドファイルの設定を行います。

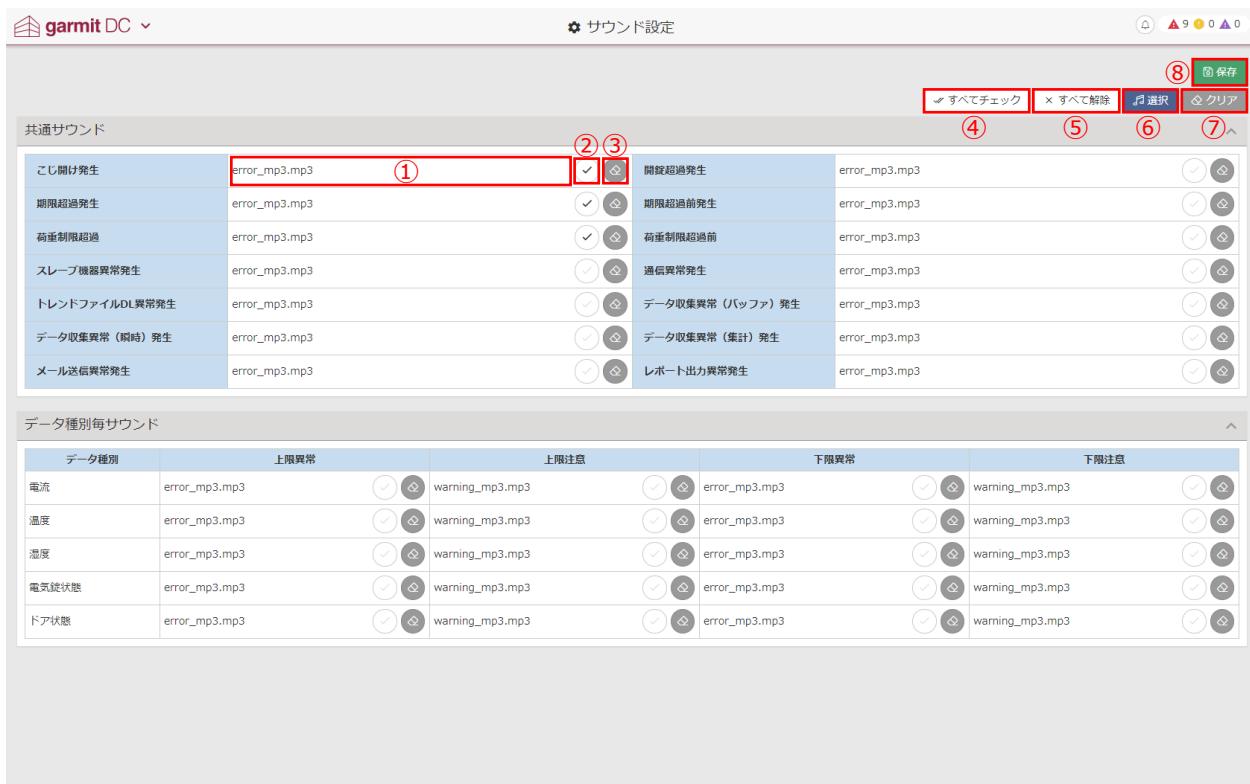


図 382 サウンド設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	サウンドファイル名	設定したサウンドファイル名を表示する		
2	チェック（個別）	サウンド選択の対象にするかどうかのチェックを切り替える		
3	クリア（個別）	設定したサウンドファイルをクリアする		
4	すべてチェック	すべてサウンド選択の対象にする		
5	すべて解除	すべてサウンド選択の対象から外す		
6	選択	サウンド選択画面を表示する 選択したサウンドファイルを、チェック状態のアラーム種別に設定する		
7	クリア	チェック中のアラーム種別に設定したサウンドファイルをクリアする		
8	保存	編集した内容を保存する		

■表示

メインメニューから「基本設定」>「サウンド設定」を選択すると、当該画面（図382）を表示します。

■操作

1. チェック状態の変更

「チェック」ボタンをクリックすると、チェック状態が切り替わります。

2. すべてチェック

「すべてチェック」ボタンをクリックするとすべての項目にチェックが入ります。

3. すべて解除

「すべて解除」ボタンをクリックするとすべての項目のチェックが外れます。

4. サウンドファイルの変更

- (1) サウンドファイルを変更したい項目をチェック状態にします。
- (2) 「選択」ボタンをクリックすると、サウンド選択画面が表示されます。
- (3) サウンドファイルを選択して「適用」ボタンをクリックします。
※サウンド選択画面の詳細は、『[48.2 サウンド選択](#)』をご参照ください。
- (4) サウンドファイルが変更されます。

5. 個別クリア

各項目の「クリア」ボタンをクリックすると、個別にクリアできます。

6. まとめてクリア

- (1) クリアしたい項目をチェック状態にします。
- (2) 画面右上の「クリア」ボタンをクリックすると、チェック状態の項目のサウンドがクリアされます。

7. 編集内容の保存

「保存」ボタンをクリックします。

48.2 サウンド選択

■機能

アラーム発生時に鳴らすサウンドファイルを選択します。



図 383 サウンド選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	追加	ファイル選択ダイアログを表示する		
2	サウンド一覧	登録済みのサウンドを一覧表示する		
3	再生	サウンドを再生する		
4	削除	サウンドファイルを削除する		
5	適用	当該画面を消去する 選択したサウンドファイル名をサウンド設定画面 にて選択したアラーム種別に表示する		
6	キャンセル	当該画面を消去する		

■表示

サウンド設定画面で「選択」ボタンをクリックすると、当該画面（図 383）を表示します。

■操作

1. サウンドファイルの追加

- (1) 「追加」ボタンをクリックしてファイル選択ダイアログを開きます。
- (2) 追加するサウンドファイルを選択します。

※MP3 および WAV 形式以外のファイルには対応していません。

- (3) 追加したサウンドファイルがサウンド一覧に追加されます。

2. サウンドファイルの再生

- (1) 再生したいサウンドの「再生」ボタンをクリックすると、サウンドが再生されます。
- (2) サウンド再生中は「再生」ボタンが「停止」ボタンに変わり、クリックするとサウンドの再生を停止します。

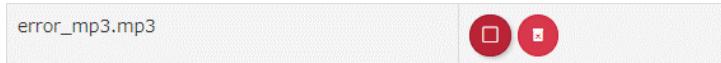


図 384 サウンド再生中

3. サウンドファイルの選択

- (1) 選択したいサウンドファイルの行をクリックします。
- (2) 「適用」ボタンをクリックします。

49 ダッシュボード設定

■機能

ダッシュボードに表示する内容を設定します。

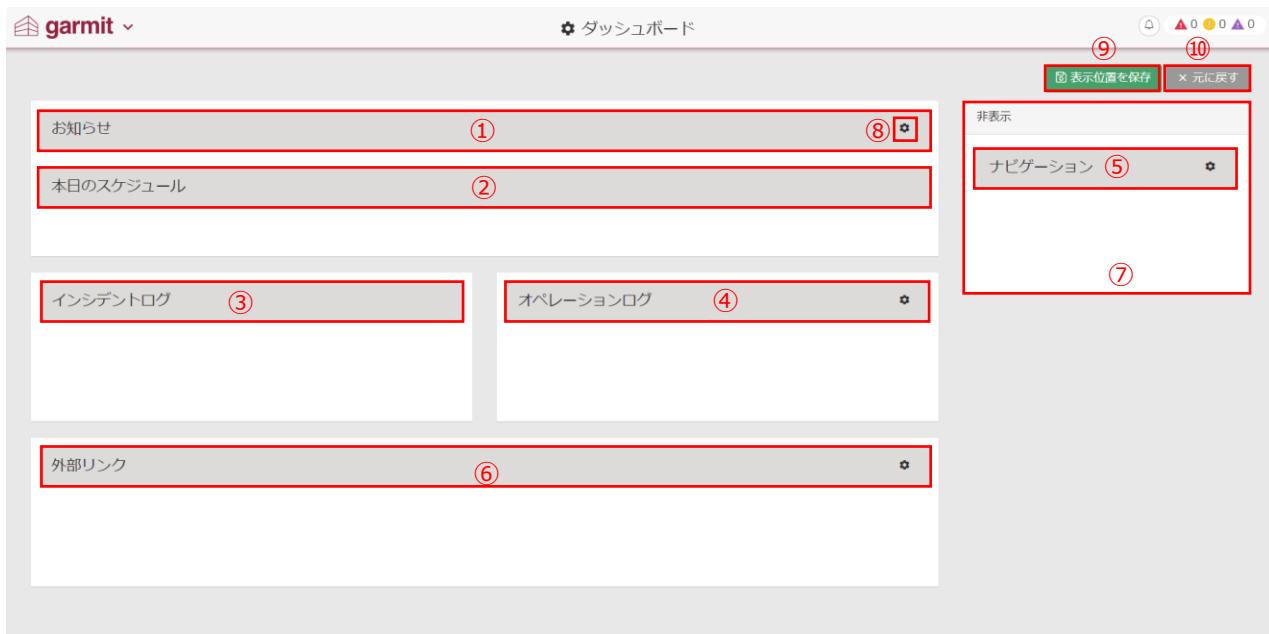


図 385 ダッシュボード設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	お知らせ	お知らせを表示する位置を変更する		
2	本日のスケジュール	本日のスケジュールを表示する位置を変更する		
3	インシデントログ	インシデントログを表示する位置を変更する		
4	オペレーションログ	オペレーションログを表示する位置を変更する		
5	ナビゲーション	ナビゲーションを表示する位置を変更する		
6	外部リンク	外部リンクを表示する位置を変更する		
7	非表示	ダッシュボードに表示しない項目を配置する		
8	設定	各項目の編集モーダルを表示する		
9	表示位置を保存	各項目の表示位置を保存する		
10	元に戻す	位置変更を無効とし、元の位置に戻す		

■表示

メインメニューから「基本設定」>「ダッシュボード」を選択すると、当該画面（図385）を表示します。

■操作

1. 表示位置の変更

項目ごとのバーをドラッグ & ドロップすることで、対象項目のダッシュボード表示位置を変更することができます。

非表示パネルに移動した項目は、ダッシュボードに表示されません。

2. 設定

設定ボタンをクリックすると、項目毎の編集モーダルが表示されます。

詳細は、次項以降をご参照ください。

49.1 お知らせ設定

■機能

ダッシュボードに表示するお知らせ内容を編集します。

④ メッセージ	①	掲載開始	②	掲載終了	③
お知らせ1		2020/09/01 09:00		2020/12/01 17:30	
お知らせ2		2020/09/18 09:00		2020/12/01 17:30	
お知らせ3		2020/09/20 09:00		2020/12/01 17:30	
お知らせ4		2020/09/25 09:00		2020/12/01 17:30	
お知らせ5		2020/09/28 09:00		2020/12/01 17:30	
お知らせ6		2020/10/01 09:00		2020/12/01 17:30	
お知らせ7		2020/10/09 09:00		2020/12/01 17:30	
お知らせ8		2020/10/10 09:00		2020/12/01 17:30	
お知らせ9		2020/10/13 09:00		2020/12/01 17:30	
お知らせ10		2020/10/16 09:00		2020/12/01 17:30	
お知らせ11		2020/10/17 09:00		2020/12/01 17:30	
お知らせ12		2020/10/20 09:00		2020/12/01 17:30	

(5)

(6) ⑦ +

[保存] [キャンセル]

図 386 お知らせ設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	メッセージ	お知らせに表示するメッセージを入力する	100 文字まで	
2	掲載開始	お知らせ表示を開始する日時を選択する		
3	掲載終了	お知らせ表示を終了する日時を選択する		
4	削除	お知らせを削除する		
5	追加	お知らせを追加する		
6	保存	設定内容を保存する		
7	キャンセル	当該画面を消去する		

■表示

ダッシュボード設定画面（図 385）にて、お知らせの設定ボタンをクリックすると、当該画面（図 386）を表示します。

■操作

1. メッセージ入力

お知らせに表示するメッセージを入力します。100 文字まで入力可能です。

2. 掲載開始日時選択

掲載開始日時を選択します。

カレンダーから選択するか、「yyyy/MM/DD HH:mm」の形式で入力します。

3. 掲載終了日時選択

掲載終了日時を選択します。

カレンダーから選択するか、「yyyy/MM/DD HH:mm」の形式で入力します。

4. お知らせ追加

「+」ボタンをクリックすると、お知らせ登録欄を表示します。

5. お知らせ削除

登録済みのお知らせを削除します。

掲載終了日時を超過した場合でも自動削除は行いませんので、本設定画面からの削除が必要となります。

49.2 ナビゲーション設定

■機能

ダッシュボードに表示するナビゲーションを編集します。



図 387 ナビゲーション設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	メニュー	ダッシュボードから遷移するメニューを選択する		
2	表示文字	ナビゲーションボタンに表示する文字を入力する	20 文字まで	
3	クリア	ナビゲーション情報をクリアする		
4	保存	設定内容を保存する		
5	キャンセル	当該画面を消去する		

■表示

ダッシュボード設定画面（[図 385](#)）にて、ナビゲーションの設定ボタンをクリックすると、当該画面（[図 387](#)）を表示します。

ダッシュボードには最大 5 件のナビゲーションボタンを表示可能です。空欄となっている行については、ボタンが非表示となります。

■操作

1. メニュー選択

ナビゲーションボタンから遷移するメニューを選択します。

2. 表示文字入力

ナビゲーションボタンに表示する文字を入力します。20 文字まで入力可能です。

3. クリア

ナビゲーション情報（メニュー、文字）を空欄にします。

49.3 オペレーションログ設定

■機能

ダッシュボードに表示するオペレーションログを編集します。



図 388 オペレーションログ設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	機能絞り込み	オペレーションログに表示する機能を選択する		
2	表示文字	ダッシュボードに表示するオペレーションログの件数を選択する	1~10	
3	保存	設定内容を保存する		
4	キャンセル	当該画面を消去する		

■表示

ダッシュボード設定画面（図 385）にて、オペレーションログの設定ボタンをクリックすると、当該画面（図 388）を表示します。

■操作

1. 機能絞り込み

ダッシュボードのオペレーションログに表示する機能を絞り込みます。

表示する機能を絞り込まない設定も可能です。

2. 表示件数入力

ダッシュボードに表示するオペレーションログの件数を入力します。最大 10 件まで表示可能です。

49.4 外部リンク設定

■機能

ダッシュボードに表示する外部リンク設定を編集します。

外部リンク設定	
③ リンク名	② URL
① garmitホームページ	https://garmit.jp/
マニュアル	¥¥nas01¥documents¥manual.pdf
デンソー製品	https://www.kk-denso.co.jp/img/product/pdf/movable-camera_202004.pdf

④ ⑤

④ 保存 × キャンセル

図 389 外部リンク設定

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	リンク名	ダッシュボードのリンクボタンに表示する文字を入力する	20 文字まで	
2	URL	リンク先を入力する	100 文字まで	
3	クリア	リンク名、URL を空欄とする		
4	保存	設定内容を保存する		
5	キャンセル	当該画面を消去する		

■表示

ダッシュボード設定画面（[図 385](#)）にて、外部リンクの設定ボタンをクリックすると、当該画面（[図 389](#)）を表示します。

■操作

1. リンク名入力

ダッシュボードのリンクボタンに表示する文字を入力します。20 文字まで入力可能です。

2. URL 入力

サイトの URL もしくはファイルパスを入力します。100 文字まで入力可能です。

3. クリア

リンク情報（リンク名、URL）を空欄にします。

50 パスワード変更

■機能

ログインユーザーが自身のパスワードを変更します。

The screenshot shows a 'Password Change' dialog box. It contains the following elements:

- User ID: denso01 (labeled ①)
- Current Password field (labeled ②)
- Message: '必須項目です' (Required item) (labeled ③)
- New Password field (labeled ④)
- Message: '必須項目です' (Required item) (labeled ⑤)
- Confirmation Password field (labeled ⑥)
- Buttons: 'パスワード変更' (Change Password) (labeled ⑦) and 'キャンセル' (Cancel)

図 390 パスワード変更

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ユーザーID	ログイン中のユーザーIDを表示する		
2	パスワード	現在のパスワードを入力する		
3	新しいパスワード	新しいパスワードを入力する 8~50文字 数字、英大文字、英小文字、一部記号 (@_-.*!#\$%&'+/=?^{ }) から3種以上を使用		
4	平文表示	入力したパスワードを平文表示する		
5	新しいパスワード（確認）	新しいパスワードを再度入力する		
6	パスワード変更	新しいパスワードを保存し、当該画面を消去する		
7	キャンセル	入力内容を破棄し、当該画面を消去する		

■表示

メインメニューから、「(ログインユーザー名)」>「パスワード変更」をクリックすると、当該画面（図 390）を表示します。

■操作

1. 現在のパスワード入力

現在のパスワードを入力します。

2. 新しいパスワード入力

新しく設定するパスワードを入力します。入力された文字列はマスク表示されます。

※8～50 文字で、半角英数字および一部記号 (@_-.*!#\$%&'=/=?^{|}) が使用可

※半角数字、半角英大文字、半角英子文字、記号のうち 3 種以上を使用

3. 平文表示

平文表示アイコンをクリックすると、クリックしている間だけ入力したパスワードが平文表示されます。

4. 新しいパスワード（確認）入力

新しいパスワードに入力した文字列と同じ文字列を再度入力します。

5. パスワード変更

現在のパスワード、新しいパスワード、新しいパスワード（確認）を入力して、「パスワードを変更」ボタンをクリックします。

入力した内容に問題がなければパスワードが変更され、問題がある場合はエラーメッセージが表示されます。

51 アラームサイドバー

■機能

発生中アラームの情報を表示します。

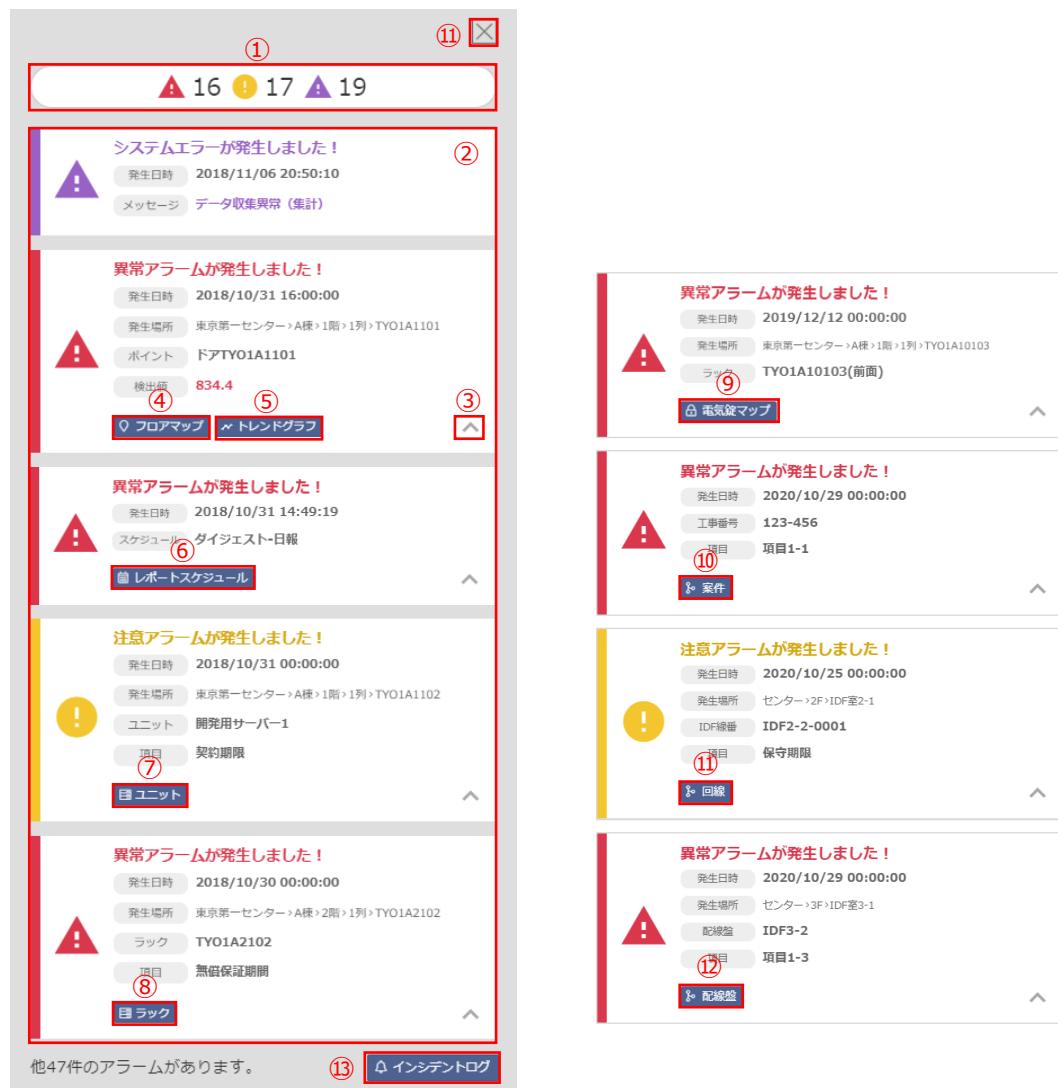


図 391 アラームサイドバー

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	アラーム件数	発生中のアラーム件数を表示する 異常、注意、システムアラームの種別ごとに件数を表示する		
2	発生中アラーム	発生中アラームのうち最新のアラームを最大5件表示する		
3	ボタン表示切替	ボタンの表示/非表示を切り替える		
4	フロアマップ	ポイントに関するアラームの場合に表示される クリックするとフロアマップ画面に遷移し、そのポイントの紐づレイアウトが表示される		
5	トレンドグラフ	ポイントに関するアラームの場合に表示される クリックするとトレンドグラフ画面に遷移し、そのポイントのトレンドデータが表示される		
6	レポートスケジュール	レポート出力異常の場合に表示される クリックするとレポートスケジュール編集画面に遷移し、そのレポートスケジュールの情報が表示される		
7	ユニット	ユニットに関するアラームの場合に表示される クリックするとユニット画面に遷移し、そのユニットの情報が表示される		
8	ラック	ラックに関するアラームの場合に表示される クリックするとラック画面に遷移し、そのラックの情報が表示される		
9	電気錠マップ	こじ開けの場合に表示される クリックすると電気錠マップ画面に遷移し、その電気錠ラックの紐づレイアウトが表示される		
10	案件	案件に関するアラームの場合に表示される クリックすると案件編集画面に遷移し、その案件の情報が表示される		
11	回線	回線に関するアラームの場合に表示される クリックすると回線編集画面に遷移し、その回線の情報が表示される		
12	配線盤	配線盤に関するアラームの場合に表示される クリックすると配線盤編集画面に遷移し、その配線盤の情報が表示される		
13	インシデントログ	アラームサイドバーを閉じ、インシデントログ画面へ遷移する		
14	閉じる	アラームサイドバーを閉じる		

■表示

画面のヘッダーに表示中のアラーム件数をクリックすると当該画面（図391）を表示します。

■操作

1. リンクボタンの表示切替

「ボタン表示切替」ボタンをクリックすると、リンクボタンの表示/非表示が切り替わります。

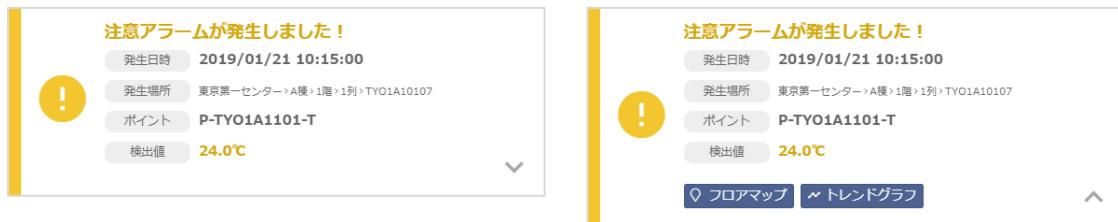


図 392 リンクボタン表示切替

2. フロアマップ画面への遷移

「フロアマップ」ボタンをクリックすると、フロアマップ画面に遷移し、アラーム発生ポイントの紐づくレイアウトが表示されます。

3. トレンドグラフ画面への遷移

「トレンドグラフ」ボタンをクリックすると、トレンドグラフ画面に遷移し、アラーム発生ポイントのアラーム発生前後のトレンドグラフが表示されます。

4. レポートスケジュール編集画面への遷移

「レポートスケジュール」ボタンをクリックすると、レポートスケジュール編集画面に遷移し、レポート出力異常の発生しているレポートスケジュールの情報が表示されます。

5. ラック画面への遷移

「ラック」ボタンをクリックすると、ラック画面に遷移し、アラーム発生ラックのラック情報が表示されます。

6. ユニット画面への遷移

「ユニット」ボタンをクリックすると、ユニット画面に遷移し、アラーム発生ユニットのユニット情報が表示されます。

7. 電気錠マップ画面への遷移

「電気錠マップ」ボタンをクリックすると、電気錠マップ画面に遷移し、アラームが発生している電気錠ラックの紐づくレイアウトが表示されます。

8. 案件編集画面への遷移

「案件」ボタンをクリックすると、案件編集画面に遷移し、アラームが発生している案件の情報が表示されます。

9. 回線編集画面への遷移

「回線」ボタンをクリックすると、回線編集画面に遷移し、アラームが発生している回線の情報が表示されます。

10. 配線盤編集画面への遷移

「配線盤」ボタンをクリックすると、配線盤編集画面に遷移し、アラームが発生している配線盤の情報が表示されます。

11. インシデントログ画面への遷移

「インシデントログ」ボタンをクリックすると、インシデントログ画面へ遷移します。

12. 閉じる

右上の「×」ボタンをクリックすると、アラームサイドバーが閉じます。

52 共通

52.1 検索条件

■機能

検索条件を設定して検索を行います。



■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索条件	検索条件を指定する		※画面によって指定可能な検索条件が異なる
2	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		※選択した検索条件によって入力方法が異なる
3	クリア	検索条件を削除する		
4	追加	検索条件を追加表示する		
5	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
6	検索	検索条件に該当する内容を検索する 検索条件の指定が無い場合は、全件検索を行う		

■表示

リアルタイムモニタ画面やトレンドグラフ画面など、検索を行う画面で表示されます。

■操作

1. 検索条件選択

検索条件の項目一覧から、項目を選択します。

選択肢には下記のものがあり、画面によって選択可能な項目が異なります。

- ・ ロケーション
- ・ 所属
- ・ タグ
- ・ 電源系統
- ・ ハッシュタグ
- ・ ユーザー
- ・ 操作機能
- ・ 操作種別
- ・ テンプレート名称
- ・ テンプレートメモ
- ・ 工事種別
- ・ 工事番号
- ・ 回線種別
- ・ 回線名
- ・ 回線 ID
- ・ IDF 線番
- ・ 局入線番
- ・ 中継線番
- ・ ユーザー名
- ・ 備考
- ・ 配線盤種別
- ・ 配線盤名称
- ・ ケーブル種別

※電源系統については、「メンテナンス>電源系統」機能の権限が「読み取り専用」以上の所属に属するユーザーのみ指定可能です。

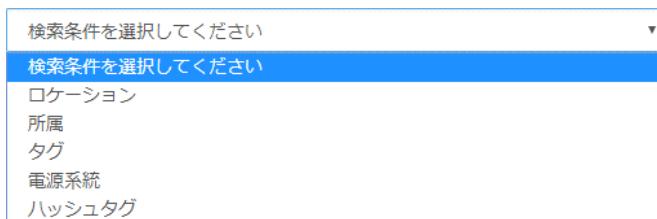


図 393 検索条件選択

2. 検索内容選択・入力

【選択項目の場合】(ロケーション/所属/タグ/電源系統/ユーザー/操作機能/操作種別)

(1) 検索条件を指定し、検索内容のフォームをクリックします。

(2) 選択画面が表示されるので（例はロケーション選択画面）、検索対象を選択して「適用」ボタンをクリックします。

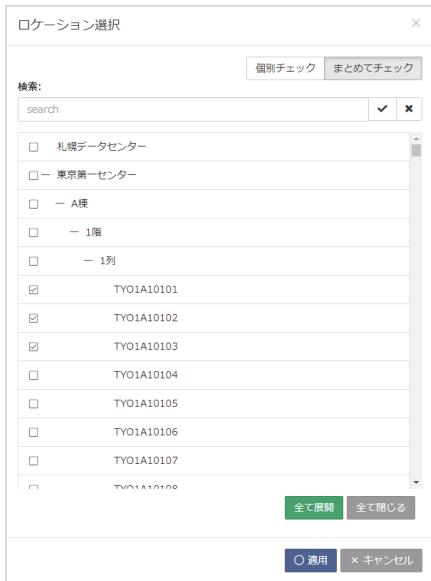


図 394 検索対象選択

(3) 検索内容に選択した対象が表示されます。選択中の対象は左端の「×」をクリックすると、対象から削除することができます。



図 395 検索対象の削除

【入力項目の場合】(ハッシュタグ/テンプレート名称/テンプレートメモ)

検索条件を指定し、通常のテキストフォームと同じように検索内容を入力します。

※ハッシュタグは「# (シャープ)」+文字列の形式で入力し、複数のハッシュタグを指定する場合には、「, (カンマ)」もしくは「半角スペース」で区切ってください。

3. 検索条件追加

「追加」ボタンをクリックすると、検索条件が一行追加されます。

The screenshot shows two instances of a search interface. In the first instance, there is a red box around the '追加' (Add) button. A large downward arrow points to the second instance, where a red dotted box highlights the newly added search condition '検索条件を選択してください' (Please select search conditions). The search bar contains 'x 東京第一センター / A棟 / 1階 / 1列 / TYO1A10101' and 'x 東京第一センター / A棟 / 1階 / 1列 / TYO1A10102'. The bottom right buttons are '× 条件をクリア' and 'Q 検索'.

図 396 検索条件追加

4. 検索条件削除

「クリア」ボタンをクリックすると、その行の検索条件が削除されます。

※ただし、検索条件が 1 行の場合については、検索条件はクリアされますが行自体は削除されません。

The screenshot shows two instances of a search interface. In the first instance, there is a red box around the 'クリア' (Clear) button. A large downward arrow points to the second instance, which shows the search bar now containing only 'x 東京第一センター / A棟 / 1階 / 1列 / TYO1A10101' and 'x 東京第一センター / A棟 / 1階 / 1列 / TYO1A10102'. The bottom right buttons are '× 条件をクリア' and 'Q 検索'.

図 397 検索条件削除

5. 検索条件全削除

「条件をクリア」ボタンをクリックすると、すべての検索条件がクリアされます。

52.2 ロケーション選択

■機能

ロケーションを選択します。

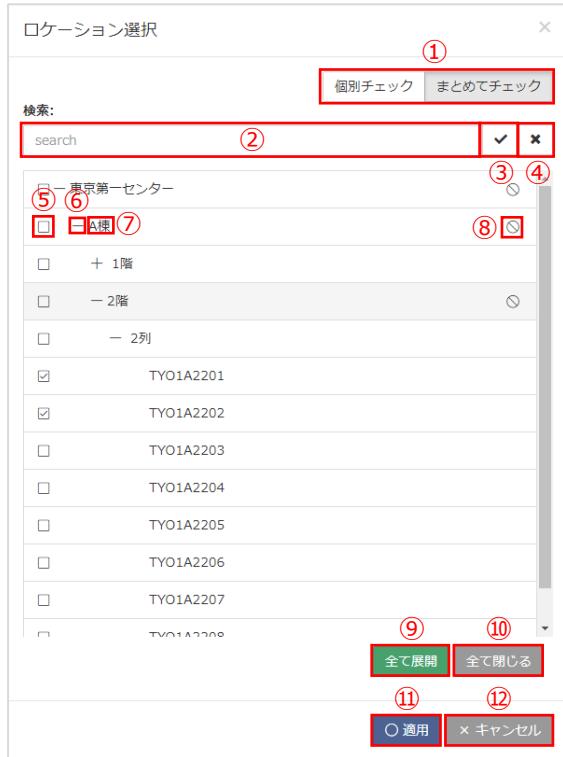


図 398 ロケーション選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	モード	チェックのモードを切り替える ・個別チェック...チェック状態を変更したノードのみチェック状態が変更になる ・まとめてチェック...チェック状態を変更したノードと、その配下のノードのチェック状態が変更になる	個別チェック/まとめてチェック	
2	検索文字列	検索する文字列を入力する 入力した文字列がロケーション名称に含まれるロケーションが赤色で表示される		
3	検索結果にチェックを入れる	検索に該当して赤色で表示されているロケーションにチェックを入れる		
4	検索結果のチェックを解除する	検索に該当して赤色で表示されているロケーションのチェックを解除する		
5	チェックボックス	クリックしてロケーションのチェック状態を切り替える		
6	ノード状態	クリックしてノードの展開状態を切り替える + ...未展開状態 - ...展開状態		
7	ロケーション名称	ロケーションの名称を表示する		
8	許可状態	配下のノードすべてに権限がない場合にアイコンが表示される		
9	全て展開	ノードを全て展開状態にする		
10	全て閉じる	ノードを全て未展開状態にする		
11	適用	チェック状態のロケーションを選択して当該画面を閉じる		
12	キャンセル	ロケーションの選択をキャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

検索条件でロケーションを選択し、検索内容のフォームをクリックすると当該画面が表示されます。

■操作

1. ノードの展開

ノードの「+」アイコンをクリックすると、ノードが展開されて子ノードが表示されます。



図 399 ノードの展開

2. ノードを閉じる

ノードの「-」アイコンをクリックすると、ノードが閉じます。



図 400 ノードの閉じ方

3. チェック状態の変更

チェックボックスをクリックするとチェック状態を変更できます。

モードによってチェックの入り方が異なります。

【個別チェック】

クリックしたノードのチェック状態が変更になります。

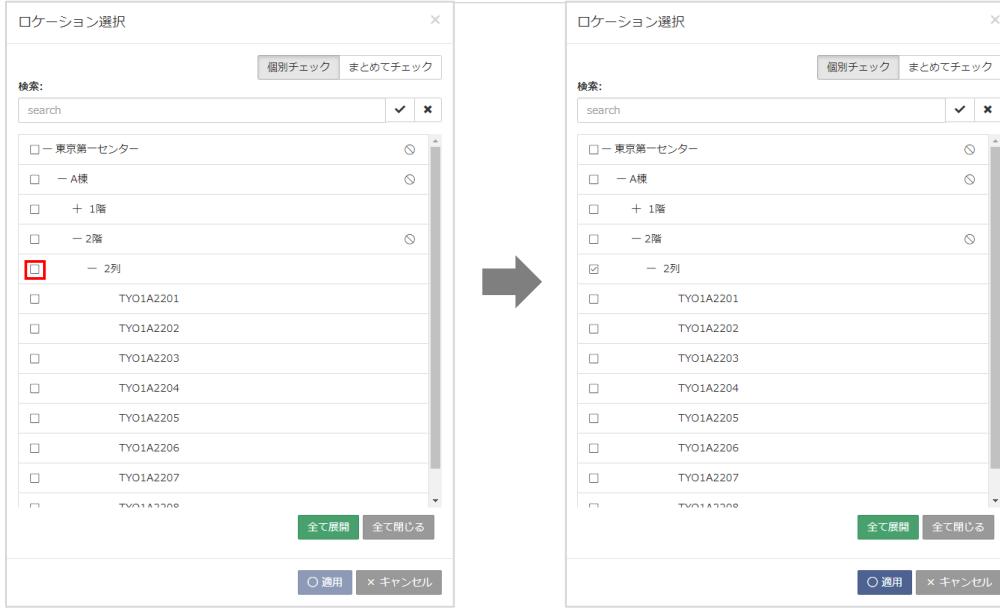


図 401 チェック状態の変更（個別チェック）

【まとめてチェック】

クリックしたノードの配下のノードのチェック状態も変更になります。

また、配下のノードすべてがチェック状態になると、親ノードもチェック状態になります。

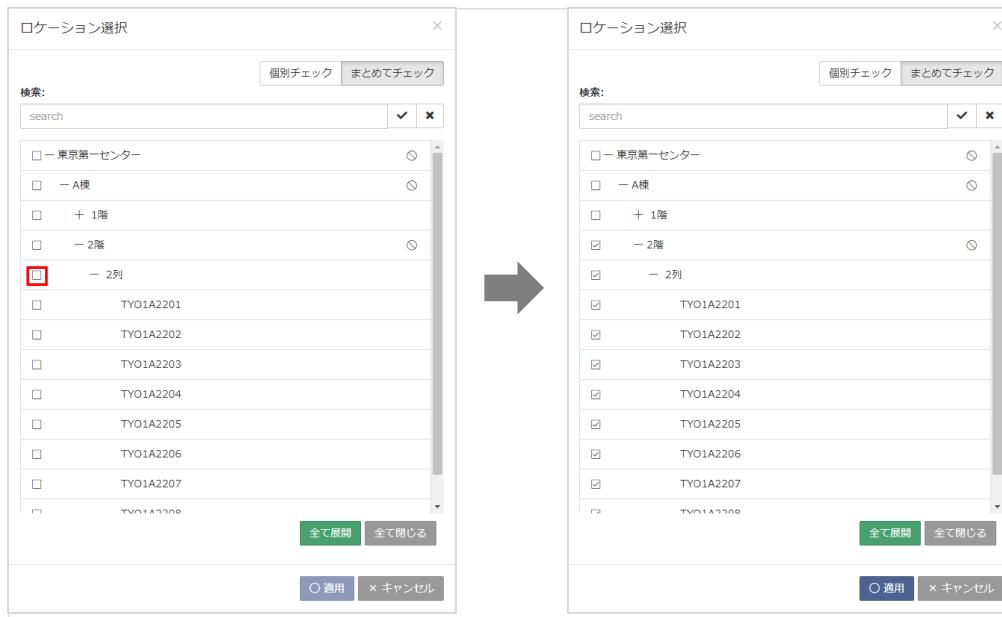


図 402 チェック状態の変更（まとめてチェック）

52.3 所属選択

■機能

所属を選択します。

所属選択

①

個別チェック まとめてチェック

検索: search ② ③ ④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
 株式会社デンソー

+ 株式会社デンソーソリューションズ
 株式会社デンソーソリューションズ（説明専用）
 株式会社デンソーテック
 株式会社デンソーテック（アセットのみ）
 garmitソリューション
 garmitソリューション（回線のみ）

⑩ ⑪

⑫ 適用 | ⑬

図 403 所属選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	モード	チェックのモードを切り替える ・個別チェック…チェック状態を変更したノードのみチェック状態が変更になる ・まとめてチェック…チェック状態を変更したノードと、その配下のノードのチェック状態が変更になる	個別チェック/まとめてチェック	
2	検索文字列	検索する文字列を入力する 入力した文字列が所属名称に含まれる所属が赤色で表示される		
3	検索	入力文字列をもとに検索を実行する		
4	ツリー表示に戻る	検索モードからツリー表示モードに変更になる		
5	検索結果にチェックを入れる	検索に該当して赤色で表示されている所属にチェックを入れる		
6	検索結果のチェックを解除する	検索に該当して赤色で表示されている所属のチェックを解除する		
7	チェックボックス	クリックして所属のチェック状態を切り替える		
8	ノード状態	クリックしてノードの展開状態を切り替える + …未展開状態 - …展開状態		
9	所属名称	所属の名称を表示する		
10	許可状態	配下のノードすべてに権限がない場合にアイコンが表示される		
11	全て展開	ノードを全て展開状態にする		
12	全て閉じる	ノードを全て未展開状態にする		
13	適用	チェック状態の所属を選択して当該画面を閉じる		
14	キャンセル	所属の選択をキャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

検索条件で所属を選択し、検索内容のフォームをクリックすると当該画面が表示されます。

■操作

1. ノードの展開

ノードの「+」アイコンをクリックすると、ノードが展開されて子ノードが表示されます。



図 404 ノードの展開

2. ノードを閉じる

ノードの「-」アイコンをクリックすると、ノードが閉じます。



図 405 ノードの閉じ方

3. チェック状態の変更

チェックボックスをクリックするとチェック状態を変更できます。

モードによってチェックの入り方が異なります。

【個別チェック】

クリックしたノードのチェック状態が変更になります。



図 406 チェック状態の変更（個別チェック）

【まとめてチェック】

クリックしたノードの配下のノードのチェック状態も変更になります。

また、配下のノードすべてがチェック状態になると、親ノードもチェック状態になります。



図 407 チェック状態の変更（まとめてチェック）

4. 検索

検索する文字列を入力すると、入力された文字列を所属名称に含む所属が表示されます。



図 408 キーワード入力

「検索結果にチェックを入れる」ボタンをクリックすると、表示されている全ての所属にチェックが入ります。



図 409 検索結果にチェックを入れる

「検索結果のチェックを解除する」ボタンをクリックすると、表示されている所属のチェックが解除されます。



図 410 検索結果のチェックを解除する

52.4 タグ選択

■機能

タグを選択します。



図 411 タグ選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索	検索する文字列を入力する 入力された文字列をタグ名称に含むタグのみに 絞り込んで表示する		
2	チェックボックス	クリックしてタグの選択状態を切り替える		
3	タグ名称	タグの名称を表示する		
4	適用	チェック状態のタグを選択して当該画面を閉じる		
5	キャンセル	タグの選択をキャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

検索条件でタグを選択し、検索内容のフォームをクリックすると当該画面が表示されます。

■操作

1. 検索

検索欄に検索する文字列を入力すると、入力した文字列をタグ名称に含むタグのみに絞り込んで表示します。



図 412 検索（キーワード入力）

2. 選択の適用

- (1) 選択するタグにチェックを入れます。
- (2) 「適用」ボタンをクリックします。

52.5 電源系統選択

■機能

電源系統を選択します。



図 413 電源系統選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	モード	チェックのモードを切り替える ・個別チェック...チェック状態を変更したノードのみチェック状態が変更になる ・まとめてチェック...チェック状態を変更したノードと、その配下のノードのチェック状態が変更になる	個別チェック/まとめてチェック	
2	検索文字列	検索する文字列を入力する 入力した文字列が電源系統名称に含まれる電源系統が赤色で表示される		
3	検索	入力文字列をもとに検索を実行する		
4	ツリー表示に戻る	検索モードからツリー表示モードに変更になる		
5	検索結果にチェックを入れる	検索に該当して赤色で表示されている電源系統にチェックを入れる		
6	検索結果のチェックを解除する	検索に該当して赤色で表示されている電源系統のチェックを解除する		
7	チェックボックス	クリックして電源系統のチェック状態を切り替える		
8	ノード状態	クリックしてノードの展開状態を切り替える + ...未展開状態 - ...展開状態		
9	電源系統名称	電源系統の名称を表示する		
10	許可状態	配下のノードすべてに権限がない場合にアイコンが表示される		
11	全般展開	ノードを全般展開状態にする		

12	全て閉じる	ノードを全て未展開状態にする		
13	適用	チェック状態の電源系統を選択して当該画面を閉じる		
14	キャンセル	電源系統の選択をキャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

検索条件で電源系統を選択し、検索内容のフォームをクリックすると当該画面が表示されます。

■操作

1. ノードの展開

ノードの「+」アイコンをクリックすると、ノードが展開されて子ノードが表示されます。

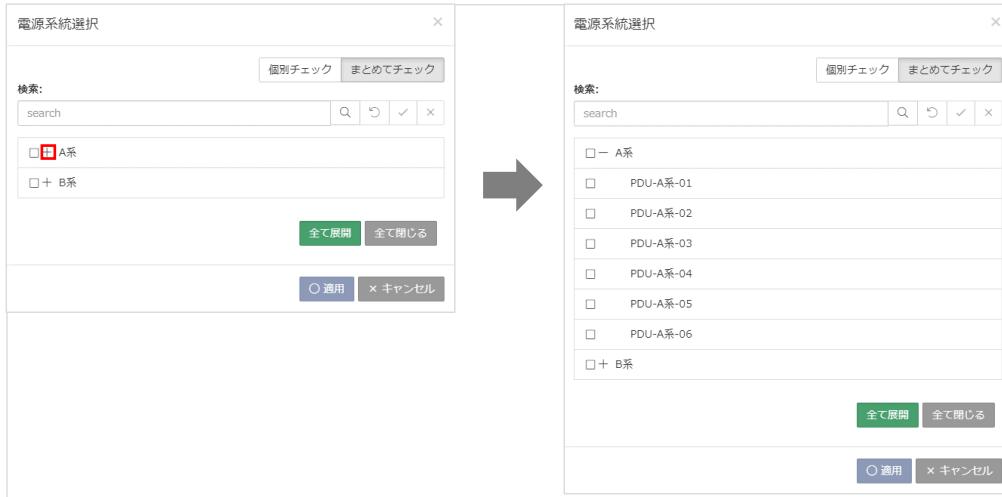


図 414 ノードの展開

2. ノードを閉じる

ノードの「-」アイコンをクリックすると、ノードが閉じます。

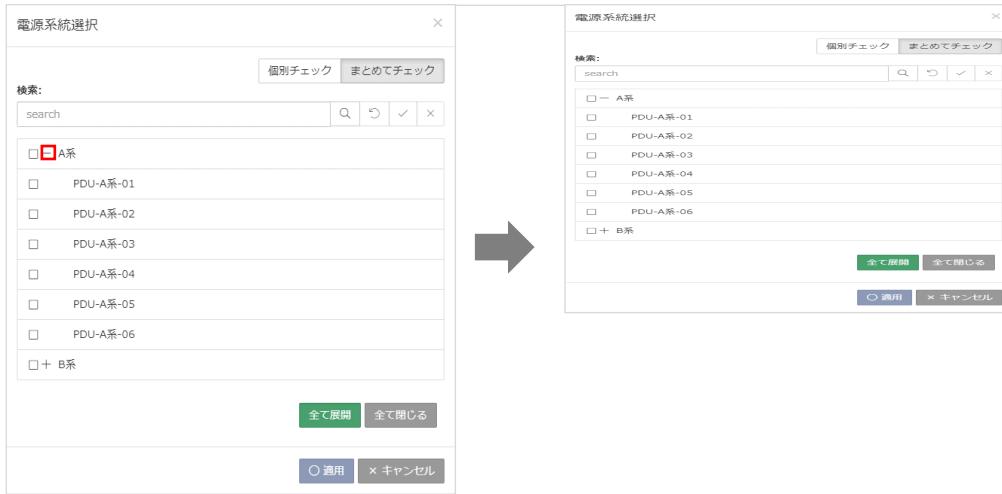


図 415 ノードの閉じ方

3. チェック状態の変更

チェックボックスをクリックするとチェック状態を変更できます。

モードによってチェックの入り方が異なります。

【個別チェック】

クリックしたノードのチェック状態が変更になります。



図 416 チェック状態の変更（個別チェック）

【まとめてチェック】

クリックしたノードの配下のノードのチェック状態も変更になります。

また、配下のノードすべてがチェック状態になると、親ノードもチェック状態になります。



図 417 チェック状態の変更（まとめてチェック）

4. 検索

検索する文字列を入力すると、入力された文字列を電源系統名称に含む電源系統が表示されます。



図 418 検索（キーワード入力）

「検索結果にチェックを入れる」ボタンをクリックすると、表示されている全電源系統にチェックが入ります。



図 419 検索結果にチェックを入れる

「検索結果のチェックを解除する」ボタンをクリックすると、表示されている電源系統のチェックが解除されます。



図 420 検索結果のチェックを解除する

52.6 ユーザー選択

■機能

ユーザーを選択します。

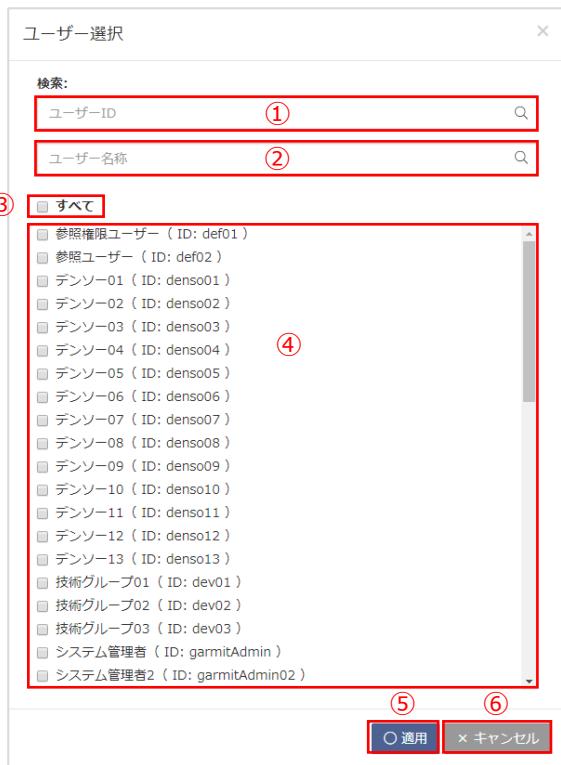


図 421 タグ選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ユーザーID 検索	検索するユーザーIDを入力する 入力された文字列をユーザーIDに含むユーザーがユーザー一覧に表示される		
2	ユーザー名称	検索するユーザー名称を入力する 入力された文字列をユーザー名称に含むユーザーがユーザー一覧に表示される		
3	すべて	ユーザー一覧のすべてのチェック状態を切り替える		
4	ユーザーリスト	選択可能なユーザーを表示する チェックの状態で選択/未選択を切り替える		
5	適用	ユーザーリストで選択状態のユーザーを適用して当該画面を閉じる		
6	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

検索条件でユーザーを選択し、検索内容のフォームをクリックすると当該画面が表示されます。

■操作

1. 検索

ユーザーID の検索欄に文字列を入力すると、入力された文字列をユーザーID に含むユーザーに絞り込んで表示されます。

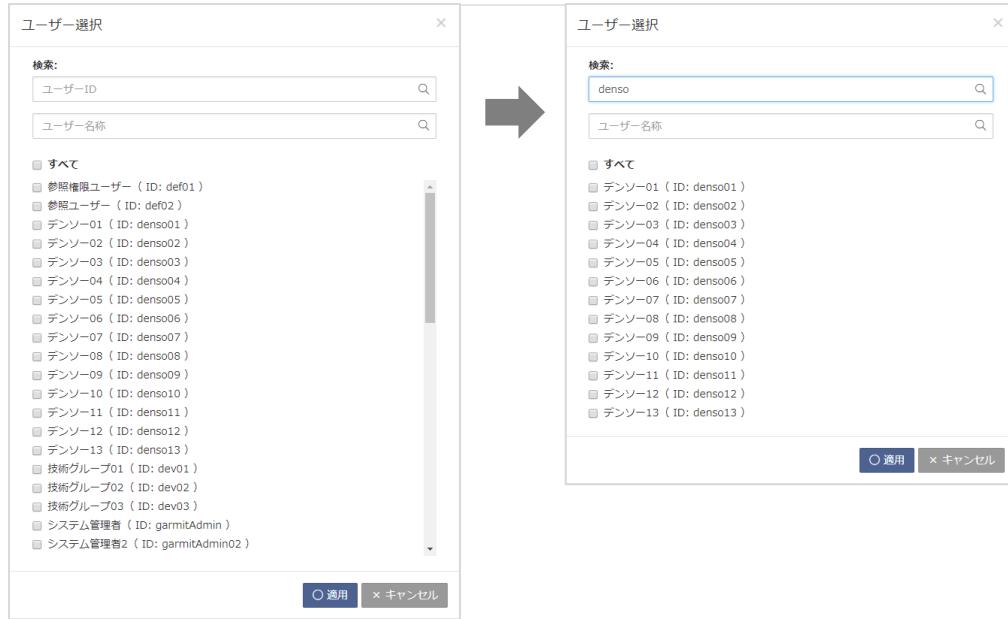


図 422 ユーザー検索（キーワード入力）

ユーザー名称についてもユーザーIDと同様に、入力された文字列をユーザー名称に含むユーザーに絞り込んで表示されます。

ユーザーID、ユーザー名称の両方を入力した場合はどちらも該当するユーザーに絞り込まれます。

2. ユーザー選択

表示されたユーザーのうち、選択対象のユーザーにチェックを入れます。

「すべて」にチェックを入れると、全ユーザーが選択状態となります。

3. 適用

「適用」ボタンをクリックします。

52.7 操作機能選択

■機能

操作機能を選択します。

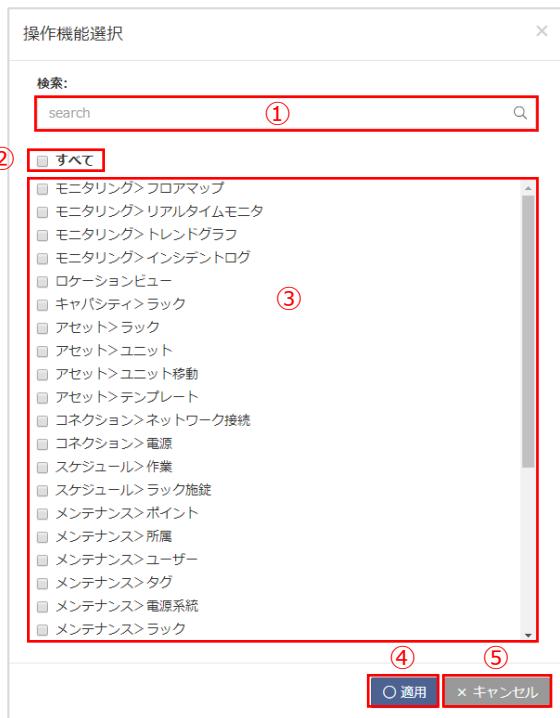


図 423 操作機能選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索	検索する文字列を入力する 入力された文字列を含む操作機能のみに絞り 込んで表示する		
2	すべて	すべての操作機能のチェック状態を切り替える		
3	操作機能一覧	選択可能な操作機能を表示する チェックの状態で選択/未選択を切り替える		
4	適用	操作機能一覧で選択状態の操作機能を適 用して当該画面を閉じる		
5	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

検索条件で操作機能を選択し、検索内容のフォームをクリックすると当該画面が表示されます。

■操作

1. 検索

検索欄に文字列を入力すると、入力された文字列を含む操作機能に絞り込んで表示されます。



図 424 操作機能検索（キーワード入力）

2. 選択の適用

- (1) 選択する操作機能にチェックを入れます。
- (2) 「適用」ボタンをクリックします。

52.8 操作種別選択

■機能

操作種別を選択します。

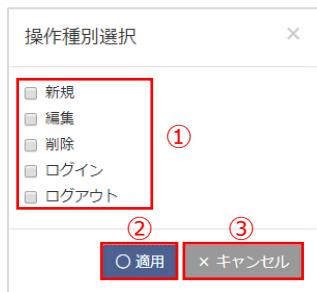


図 425 操作機能選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	操作種別一覧	選択可能な操作種別を表示する チェックの状態で選択/未選択を切り替える		
2	適用	操作種別一覧で選択状態の操作種別を適用して当該画面を閉じる		
3	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

検索条件で操作種別を選択し、検索内容のフォームをクリックすると当該画面が表示されます。

■操作

- (1) 選択する操作種別にチェックを入れます。
- (2) 「適用」ボタンをクリックします。

52.9 ポイント選択

■機能

ポイントを選択します。

検索条件

① ロケーション
② 東京第一センター / A棟 / 1階 / 1列 / TYO1A10102
③ ▲
④ +
⑤ × 条件をクリア
⑥ 検索
⑦ 検索結果
10 件を表示
⑧ ○ 適用
⑨ × キャンセル

ポイントNo	ポイント名称	ロケーション	アラーム監視	閾値（上限異常）
38	P-TYO1A1102-T	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102	する	28
86	P-TYO1A1102-H	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102	する	80
138	PDU-A11-100V-1-101	東京第一センター	する	27
141	PDU-A11-200V-1-101	東京第一センター A棟 1階 1列	する	27
142	PDU-A11-200V-1-102	東京第一センター A棟 1階 1列	する	100
143	PDU-A11-200V-1-103	東京第一センター A棟 1階 1列	する	100
144	PDU-A11-200V-1-104	東京第一センター A棟 1階 1列	する	100
145	PDU-A11-200V-1-105	東京第一センター A棟 1階 1列	する	100
147	電気錠TYO1A1102	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102	する	
152	ドアTYO1A1102	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A10102	する	

14 件中 1 から 10 までを表示
1 2 > >>

図 426 ポイント選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索条件	検索条件を指定する		※画面によって指定可能な検索条件が異なる
2	検索内容	条件とする内容を入力、選択する		※選択した検索条件によって入力方法が異なる
3	クリア	検索条件を削除する		
4	追加	検索条件を追加表示する		
5	条件をクリア	全ての検索条件を削除する		
6	検索	検索条件に該当する内容を検索する		
7	ポイント一覧	検索条件に該当するポイントを一覧表示する チェック状態で選択/未選択を切り替える		
8	適用	ポイント一覧でチェック状態のポイントを選択して当該画面を閉じる		
9	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

各画面の「ポイント選択」ボタンをクリックすると当該画面が表示されます。

■操作

(1) 検索条件を指定して、検索を行います

※検索方法の詳細は [52.1](#) をご参照ください。

(2) 選択するポイントにチェックを入れます。

(3) 「適用」ボタンをクリックします。

52.10 レイアウト選択

■機能

レイアウトを選択します。

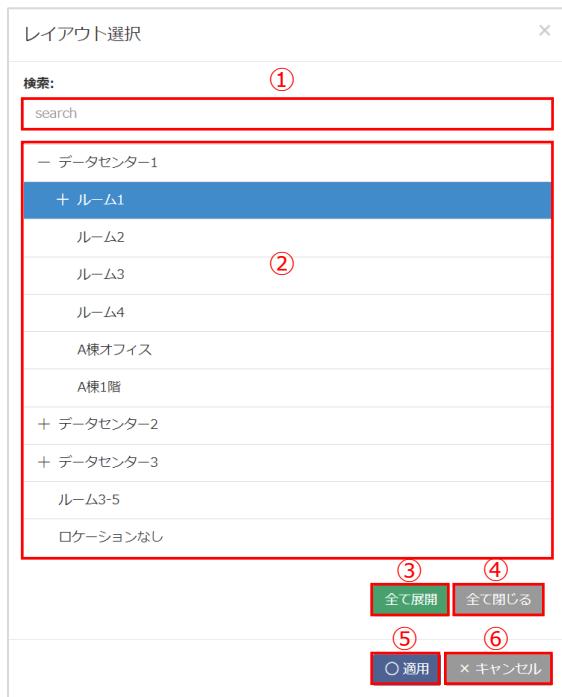


図 427 レイアウト選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索文字列	検索する文字列を入力する 入力された文字列を含むレイアウトを赤色で表示する		
2	レイアウトツリー	レイアウトをツリー表示する レイアウトをクリックすると、選択状態になり、青色で表示される		
3	全て展開	全てのノードを展開状態にする		
4	全て閉じる	全てのノードを閉じる		
5	適用	レイアウトツリーで選択状態のレイアウトを選択して当該画面を閉じる		
6	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

各画面で「レイアウト選択」ボタンをクリックすると当該画面が表示されます。

■操作

1. ノードの展開

ノードの「+」アイコンをクリックすると、ノードが展開されて子ノードが表示されます。

2. ノードを閉じる

ノードの「-」アイコンをクリックすると、ノードが閉じます。

3. 検索

検索文字列を入力すると、入力した文字列をレイアウト名称に含むレイアウトが赤色で表示されます。



図 428 レイアウト検索（キーワード入力）

4. レイアウト選択

(1) 選択したいレイアウトをクリックすると、背景色が青色になり選択状態になります。

(2) 「適用」ボタンをクリックします。

52.11 工事種別選択

■機能

工事種別を選択します。



図 429 工事種別選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	工事種別一覧	選択可能な工事種別を表示する チェックの状態で選択/未選択を切り替える		
2	適用	工事種別一覧で選択状態の工事種別を適用して当該画面を閉じる		
3	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

検索条件で工事種別を選択し、検索内容のフォームをクリックすると当該画面が表示されます。

■操作

- (1) 選択する工事種別にチェックを入れます。
- (2) 「適用」ボタンをクリックします。

52.12 回線種別選択

■機能

回線種別を選択します。

回線種別選択

検索: ①

search

すべて ②

光回線
 NGNアクセス
 NGNイーサ
 光INSネット
 ネクストファミリー
 ダークファイバー
 メタル回線
 電話
 構内
 その他 ③

④ ⑤

図 430 回線種別選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	検索	検索する文字列を入力する 入力された文字列を含む回線種別のみに絞り込んで表示する		
2	すべて	すべての回線種別のチェック状態を切り替える		
3	回線種別一覧	選択可能な回線種別を表示する チェックの状態で選択/未選択を切り替える		
4	適用	回線種別一覧で選択状態の回線種別を適用して当該画面を閉じる		
5	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

検索条件で回線種別を選択し、検索内容のフォームをクリックすると当該画面が表示されます。

■操作

1. 検索

検索欄に文字列を入力すると、入力された文字列を含む回線種別に絞り込んで表示されます。



図 431 回線種別検索（キーワード入力）

2. 選択の適用

- (1) 選択する回線種別にチェックを入れます。
- (2) 「適用」ボタンをクリックします。

52.13 配線盤種別選択

■機能

配線盤種別を選択します。



図 432 配線盤種別選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	配線盤種別一覧	選択可能な配線盤種別を表示する チェックの状態で選択/未選択を切り替える		
2	適用	配線盤種別一覧で選択状態の配線盤種別 を適用して当該画面を閉じる		
3	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

検索条件で配線盤種別を選択し、検索内容のフォームをクリックすると当該画面が表示されます。

■操作

- (1) 選択する配線盤種別にチェックを入れます。
- (2) 「適用」ボタンをクリックします。

52.14 ケーブル種別選択

■機能

ケーブル種別を選択します。



図 433 ケーブル種別選択

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
1	ケーブル種別一覧	選択可能なケーブル種別を表示する チェックの状態で選択/未選択を切り替える		
2	適用	ケーブル種別一覧で選択状態のケーブル種別 を適用して当該画面を閉じる		
3	キャンセル	キャンセルして当該画面を閉じる		

■表示

検索条件でケーブル種別を選択し、検索内容のフォームをクリックすると当該画面が表示されます。

■操作

- (1) 選択するケーブル種別にチェックを入れます。
- (2) 「適用」ボタンをクリックします。

52.15 一覧表示

■機能

一覧表示する。

操作ログ番号	操作者	機能名	操作種別	操作日時	変更前の値	変更後の値	メッセージ
23969	デンソーアイ	メンテナンス>ロケーション	編集	2019/01/09 09:41:37	予約済み	空き	ステータス変更...
23968	デンソーアイ	メンテナンス>ロケーション	編集	2019/01/09 09:41:37	ハーフラック	フルラック	種別変更...
23967	デンソーアイ	メンテナンス>ロケーション	編集	2019/01/09 09:41:13	予約済み	空き	ステータス変更...
23966	デンソーアイ	メンテナンス>ロケーション	編集	2019/01/09 09:41:13	ハーフラック	フルラック	種別変更...
23965	デンソーアイ		ログイン	2019/01/09 09:40:25			
23963	デンソーアイ	メンテナンス>ロケーション	編集	2019/01/09 09:33:16	空き	予約済み	ステータス変更...
23962	デンソーアイ	メンテナンス>ロケーション	編集	2019/01/09 09:33:16	フルラック	ハーフラック	種別変更...
23961	デンソーアイ		ログイン	2019/01/09 09:32:44			
23935	デンソーアイ		ログイン	2019/01/08 17:09:58			
23926	デンソーアイ	メンテナンス>ロケーション	編集	2019/01/08 16:50:22	予約済み	空き	ステータス変更...

197 件中 1 から 10 までを表示

図 434 一覧表示

■要素

NO.	名称	説明	制限	備考
	表示件数	1 ページに表示する件数を選択する		
	絞り込み	入力した文字列を含むデータに絞り込んで表示する		
	並べ替え	クリックした項目の値の順番に並び替えて表示する 続けてクリックすると、昇順/降順を切り替える		
	ページ選択	1 ページの表示件数を超えるデータがある場合、ページを選択する 「<<」...最初のページを表示する 「<」...1つ前のページを表示する 「>」...1つ後ろのページを表示する 「>>」...最後のページを表示する		

■表示

インシデントログ画面やポイント一覧画面などの一覧表示画面に表示されます。

■操作

1. 表示件数

表示件数を選択すると、一覧に表示する件数が選択した値に変更されます。

2. 絞り込み

ヘッダーのテキストボックスに文字列を入力すると、入力した文字列を含むデータのみに絞り込んで表示されます。

操作ログ番号	操作者	機能名	操作種別	操作日時	変更前の値	変更後の値	メッセージ
23969	デンソー03	メンテナンス>ロケーション	編集	2019/01/09 09:41:37	予約済み	空き	ステータス変更...
23968	デンソー03	メンテナンス>ロケーション	編集	2019/01/09 09:41:37	ハーフラック	フルラック	種別変更...
23967	デンソー03	メンテナンス>ロケーション	編集	2019/01/09 09:41:13	予約済み	空き	ステータス変更...
23966	デンソー03	メンテナンス>ロケーション	編集	2019/01/09 09:41:13	ハーフラック	フルラック	種別変更...
23963	デンソー03	メンテナンス>ロケーション	編集	2019/01/09 09:33:16	空き	予約済み	ステータス変更...
23962	デンソー03	メンテナンス>ロケーション	編集	2019/01/09 09:33:16	フルラック	ハーフラック	種別変更...
23926	デンソー02	メンテナンス>ロケーション	編集	2019/01/08 16:50:22	予約済み	空き	ステータス変更...
23925	デンソー02	メンテナンス>ロケーション	編集	2019/01/08 16:50:22	ハーフラック	フルラック	種別変更...
22557	デンソー03	アセット>ラック	編集	2019/01/07 15:02:03		PDU-A01-100V(2) MCCB-A01-01	ブレーカー変更...
22556	デンソー03	アセット>ユニット	編集	2019/01/07 15:00:41		R-000000002-PS02	ラック電源変更...

図 435 絞り込み

3. 並べ替え

ヘッダーの並べ替えアイコンをクリックすると、その項目の値で並べ替えて表示します。

続けてクリックすると、昇順/降順が切り替わります。

4. ページ選択

ページを選択すると、そのページのデータが表示されます。



參考資料

インポート項目説明（ポイント）

■ポイント					
No.	項目名	データ型	必須	入力候補	説明
1	ポイント番号	数値			ポイント番号を記入した場合：同一ポイント番号のものを上書きします。 ポイント番号を記入しない場合：新規ポイント情報として登録します。
2	ポイント名称	文字列	○		ポイントの名称を記入します。
3	表示名称	文字列			ポイントの表示名称を記入します。
4	ロケーション	文字列	○		各ロケーションの階層間に半角スペースを入れて記入します。 複数ロケーション記入する場合は、「/（スラッシュ）」で区切ります。
5	データ種別	選択肢	○	電流/温度 等	ポイント編集画面のポイント種別欄に選択肢として表示されるものを文字列で記入します。
6	ポイント種別	選択肢	○	測定/演算/仮想演算	選択肢の項目を文字列で記入します。
7	メール送信	選択肢	○	送信する/送信しない	選択肢の項目を文字列で記入します。
8	タグ	文字列			登録タグのタグ名称を文字列で記入します。 複数タグを記入する場合は、「/（スラッシュ）」で区切ります。
9	コメント	文字列			ハッシュタグを登録する場合は、「#」+文字列を記入してください。
10	グートID	数値			ポイント編集画面の計測機器欄に選択肢として表示される項目の（）内の数字を記入します。
11	サポートID	文字列			計測機器のサポートIDを記入します。
12	アドレス	文字列			計測機器のアドレスを記入します。
13	データ保存先	選択肢	○		ポイント編集画面のデータ保存先欄に選択肢として表示される項目を文字列で記入します。
14	データ倍率	数値			計測したデータを表示用に変換するための倍率を記入します。
15	データ収集	選択肢	○	収集中/停止中	選択肢の項目を文字列で記入します。
16	収集周期（ミリ秒）	数値	○		データを収集する周期をミリ秒単位で記入します。
17	判定開始状況	選択肢	○	判定開始/判定停止	選択肢の項目を文字列で記入します。
18	アラーム監視	選択肢		監視しない/監視する	選択肢の項目を文字列で記入します。
19	データフォーマット	文字列	○		表示フォーマットを「#」+数値で記入します。 整数部分と小数第何位まで表示するかを指定します。
20	単位	文字列			単位を文字列で記入します。
21	閾値（上限異常）	数値			上限異常アラーム発生の閾値を記入します。
22	閾値（上限注意）	数値			上限注意アラーム発生の閾値を記入します。
23	閾値（下限注意）	数値			下限注意アラーム発生の閾値を記入します。
24	閾値（下限異常）	数値			下限異常アラーム発生の閾値を記入します。
25	不感時間（異常発生）（秒）	数値	○		異常アラーム発生の不感時間を秒単位で記入します。
26	不感時間（異常復旧）（秒）	数値	○		異常アラーム復旧の不感時間を秒単位で記入します。
27	不感時間（注意発生）（秒）	数値	○		注意アラーム発生の不感時間を秒単位で記入します。
28	不感時間（注意復旧）（秒）	数値	○		注意アラーム復旧の不感時間を秒単位で記入します。
29	ONメッセージ	文字列			ON値を検知した場合に表示する文字列を入力する
30	OFFメッセージ	文字列			OFF値を検知した場合に表示する文字列を入力する
31	換算種別1	選択肢		+/-×/÷	選択肢の項目を文字列で記入します。 +（加算）：全角文字 -（減算）：全角文字 ×（乗算）：記号 ÷（除算）：記号
32	換算係数1	数値			取得したデータを換算する数値を記入します。
33	換算種別2	選択肢		+/-×/÷	選択肢の項目を文字列で記入します。 +（加算）：全角文字 -（減算）：全角文字 ×（乗算）：記号 ÷（除算）：記号
34	換算係数2	数値			取得したデータを換算する数値を記入します。
35	換算種別3	選択肢		+/-×/÷	選択肢の項目を文字列で記入します。 +（加算）：全角文字 -（減算）：全角文字 ×（乗算）：記号 ÷（除算）：記号
36	換算係数3	数値			取得したデータを換算する数値を記入します。
37	換算値フォーマット	文字列	○		表示フォーマットを「#」+数値で記入します。 整数部分と小数第何位まで表示するかを指定します。
38	MQTT倍率	数値			
39	カウンタストップ値	数値			
40	デマンド区分	選択肢		電力量/発電量 等	ポイント編集画面のデマンド区分に選択肢として表示されるものを文字列で記入します。
41	換算値単位	文字列			換算した値の単位を文字列で記入します。
42	ON値	数値			接点のON値を入力する
43	OFF値	数値			接点のOFF値を入力する
					(1つだけ登録する場合) 東京第一センター A棟 1階 1列 TY01A1101 (複数登録する場合) 東京第一センター A棟 1階 1列 TY01A1101/東京第一センター A 棟 1階 1列 TY01A1102
					(1つだけ登録する場合) タグ1 (複数登録する場合) タグ1/タグ2
					10.0と表示する場合: #0.0
					(計測値) × 100 × 0.001と登録したい場合 換算種別1: × 換算係数1: 100 換算種別2: × 換算係数2: 0.001
					※接点の場合は必須 ※接点の場合は必須

インポート項目説明（ラック）

■ラック情報							
No.	項目名	データ型	必須	入力候補	説明	設定例	備考
1	紐づけID	数値			新規ラック情報を電源情報、アウトレット情報、リンク情報と合わせてインポートする場合に紐づけIDを記入します。 ラックIDと同時に記入することはできません。		
2	ラックID	文字列			既存のラック情報を紐づけてインポートする場合に記入します。 ラックIDと同時に記入することはできません。		
3	ロケーション	文字列	<input checked="" type="radio"/>		各ロケーションの階層の間に半角スペースを入れて記入します。	東京第一センター A棟 1階 1列 TYO1A1101	
4	ラック名称	文字列			ラック名称=最下層のロケーション名であるため、ラック名称を変更してインポートしても変更が適用されません。		
5	ユニット数 (U)	数値	<input checked="" type="radio"/>		ラックのユニット数 (U) を記入します。		
6	ユニット数 (列)	数値	<input checked="" type="radio"/>		ラックのユニット数 (列) を記入します。		
7	ラック種別	選択肢	<input checked="" type="radio"/>	フルラック/ハーフラック 等	ラック画面のラック種別欄に選択肢として表示される項目を文字列で記入します。		
8	ラックステータス	選択肢	<input checked="" type="radio"/>	空き/予約済み/使用中等	ラック画面のラックステータス欄に選択肢として表示される項目を文字列で記入します。		
9	重量	数値	<input checked="" type="radio"/>		ラックの重量を記入します。		
10	耐荷重	数値	<input checked="" type="radio"/>		ラックの耐荷重を記入します。		
11	ラック重量を含める	選択肢	<input checked="" type="radio"/>	含める/含めない	選択肢の項目を文字列で記入します。		
12	コメント	文字列			ハッシュタグを登録する場合は、「#」+文字列を記入してください。		
13	〔詳細情報ページ1〕・項目1				ラックメンテナンスで登録したデータ型によって記入する内容が異なるため、ラックメンテナンス画面をご確認ください。		
14	〔詳細情報ページ1〕・項目2						
15	… (最大100項目)						
■電源情報							
1	紐づけID	数値			新規ラック情報を紐づけてインポートする場合に紐づけたいラック情報を同じ紐づけIDを記入します。 ラックIDと同時に記入することはできません。		
2	ラックID	文字列			既存のラック情報を紐づけてインポートする場合に記入します。		
3	電源番号	数値			電源番号を記入します。		
4	電源名称	文字列	<input checked="" type="radio"/>		電源名称を記入します。		
5	インレット形状	選択肢	<input checked="" type="radio"/>	2P/3P 等	ラック画面の電源設定でインレット形状欄に選択肢として表示される項目を文字列で記入します。		
6	アウトレット数	数値	<input checked="" type="radio"/>		アウトレット数を記入します。		
7	定格電流	数値	<input checked="" type="radio"/>		定格電流の値を記入します。		
8	定格電圧	数値	<input checked="" type="radio"/>		定格電圧の値を記入します。		
9	電源系統名称	文字列			割り当てるブレーカーが紐づく電源系統の名称を記入します。		
10	ブレーカー名称	文字列			割り当てるブレーカーの名称を記入します。		
11	ブレーカー開閉利用	選択肢	<input checked="" type="radio"/>	使用する/使用しない	選択肢の項目を文字列で記入します。		
12	開値 (上限異常)	数値			上限異常アラーム発生の閾値を記入します。		
13	閉値 (下限注意)	数値			上限注意アラーム発生の閾値を記入します。		
14	コメント	文字列			ハッシュタグを登録する場合は、「#」+文字列を記入してください。		
■アウトレット情報							
1	紐づけID	数値			新規ラック情報を紐づけてインポートする場合に紐づけたいラック情報を同じ紐づけIDを記入します。 ラックIDと同時に記入することはできません。		
2	ラックID	文字列			既存のラック情報を紐づけてインポートする場合に記入します。		
3	電源番号	数値			アウトレットが紐づく電源情報の電源番号を記入します。		
4	アウトレット番号	数値	<input checked="" type="radio"/>		アウトレット番号を記入します。		
5	アウトレット形状	選択肢	2P/3P 等		ラック画面の電源設定でアウトレット形状欄に選択肢として表示される項目を文字列で記入します。		
6	ポイント番号	文字列			アウトレットに紐づけるポイントのポイント番号を記入します。		
■リンク情報							
1	紐づけID	数値			新規ラック情報を紐づけてインポートする場合に紐づけたいラック情報を同じ紐づけIDを記入します。 ラックIDと同時に記入することはできません。		
2	ラックID	文字列			既存のラック情報を紐づけてインポートする場合に記入します。		
3	リンク番号	数値			リンク番号を記入します。		
4	タイトル	文字列	<input checked="" type="radio"/>		リンクのタイトルを記入します。		
5	URL	文字列	<input checked="" type="radio"/>		リンクのURLを記入します。		

インポート項目説明（ユニット）

■ユニット情報							
No.	項目名	データ型	必須	入力候補	説明	設定例	備考
1	組付けID	数値			新規ユニット情報を電源情報、リンク情報、ポート情報、IPアドレス情報と合わせてインポートする場合に組付けIDを記入します。 ユニットIDと同時に記入することはできません。		
2	ユニットID	文字列			ユニットIDを記入した場合: 同一ユニットIDのものを上書きします。 ユニットIDを記入しない場合: 新規リンク情報をとして登録します。		
3	ロケーション	文字列			各ロケーションの階層の中に光路ベースを入れて記入します。	東京第一センター A棟1階1列 TYO1A1101	
4	ラック名称	文字列			ラック名←最下層のロケーション名であるため、ラック名称を変更してインポートしても変更が適用されません。		
5	ユニット番号	数値	○		ユニット番号を入力します。		
6	ユニット種別	選択肢	○	サーバー/ネットワーク/ストレージ 等	ユニット画面のユニット種別欄に選択肢として表示される項目を文字列で記入します。		
7	ステータス	選択肢	○	新規/予約/利用 等	ユニット画面のステータス欄に選択肢として表示される項目を文字列で記入します。		
8	ユニット名称	文字列	○		ユニット名称を記入します。		
9	文字色	文字列	○		ラック搭載図でユニット名称を表示する文字色を記入します。カラーコード、カラーネームで指定することができます。	(カラーコードの場合) 16進表記例:#FF0000 / 10進表記例:rgb(255,0,0) (カラーネームの場合) red, black, blue など	
10	背景色	文字列	○		ラック搭載図でユニットを表示する背景色を記入します。カラーコード、カラーネームで指定することができます。	(カラーコードの場合) 16進表記例:#FF0000 / 10進表記例:rgb(255,0,0) (カラーネームの場合) red, black, blue など	
11	フォントサイズ	数値	○		ラック搭載図でユニット名称を表示するフォントサイズをpx単位で記入します。		
12	画像(前面)	文字列			ラック搭載図の前面に表示する画像の名称(※ファイル名ではありません)を記入します。		
13	画像(背面)	文字列			ラック搭載図の背面に表示する画像の名称(※ファイル名ではありません)を記入します。		
14	搭載位置(U)	数値	○		ユニットの搭載位置(U)を記入します。		
15	搭載位置(列)	数値	○		ユニットの搭載位置(列)を記入します。		
16	占有ユニット数(U)	数値	○		ユニットの占有ユニット数(U)を記入します。		
17	占有ユニット数(列)	数値	○		ユニットの占有ユニット数(列)を記入します。		
18	重量	数値	○		ユニットの重量をkg単位で記入します。		
19	定格電力	数値	○		ユニットの定格電力をW単位で記入します。		
20	ラック電源とする	選択肢		ラック電源とする/ラック電源としない	選択肢の項目を文字列で記入します。		
21	ラック電源番号	数値			ラック電源番号を記入します。		
22	ポート数	数値			ポート数を記入します。		
23	コメント	文字列			ハッシュタグを登録する場合は、「#」+文字列を記入してください。		
24	(詳細情報ページ1) -項目1				ユニットメンテナンスで登録したデータ型によって記入する内容が異なるため、ユニットメンテナンス画面をご確認ください。		
25	(詳細情報ページ1) -項目2				ユニットの(詳細情報ページ1) -項目2を記入します。		
26	… (最大100項目)				ユニット… (最大100項目) をkg単位で記入します。		
■電源情報							
1	組付けID	数値			新規ユニット情報を組づけてインポートする場合に組づけるユニット情報と同じ組付けIDを記入します。 ユニットIDと同時に記入することはできません。		
2	ユニットID	文字列			既存のユニット情報を組づけてインポートする場合に記入します。		
3	電源番号	数値			電源番号を記入します。		
4	ロケーション	文字列	○		各ロケーションの階層の中に光路ベースを入れて記入します。	東京第一センター A棟1階1列 TYO1A1101	
5	ラック名称	文字列			ラック名←最下層のロケーション名であるため、ラック名称を変更してインポートしても変更が適用されません。		
6	ラック電源番号	数値	○		ラック電源番号を記入します。		
7	アウトレット番号	数値	○		アウトレット番号を記入します。		
8	消費電力(W)	数値	○		消費電力をW単位で記入します。		
9	補正値	数値	○		補正値を記入します。		
■リンク情報							
1	組付けID	数値			新規ユニット情報を組づけてインポートする場合に組づけるユニット情報と同じ組付けIDを記入します。 ユニットIDと同時に記入することはできません。		
2	ユニットID	文字列			既存のユニット情報を組づけてインポートする場合に記入します。		
3	リンク番号	数値			リンク番号を記入します。		
4	タイトル	文字列	○		リンクのタイトルを記入します。		
5	URL	文字列	○		リンクのURLを記入します。		
■ポート情報							
1	組付けID	数値			新規ユニット情報を組づけてインポートする場合に組づけるユニット情報と同じ組付けIDを記入します。 ユニットIDと同時に記入することはできません。		
2	ユニットID	文字列			既存のユニット情報を組づけてインポートする場合に記入します。		
3	リンク番号	数値			リンク番号を記入します。		
4	タイトル	文字列	○		リンクのタイトルを記入します。		
5	URL	文字列	○		リンクのURLを記入します。		
■IPアドレス情報							
1	組付けID	数値			新規ユニット情報を組づけてインポートする場合に組づけるユニット情報と同じ組付けIDを記入します。 ユニットIDと同時に記入することはできません。		
2	ユニットID	文字列			既存のユニット情報を組づけてインポートする場合に記入します。		
3	ポート連番	数値			ポート連番を記入します。		
4	ポート番号	数値			ポート番号を記入します。		
5	ポート名称	文字列	○	RJ-45/BNC/LC/SC 等	ポート名称を記入します。		
6	コネクター形状	選択肢			ユニット画面のポート一覧でコネクター形状欄に選択肢として表示される項目を文字列で記入します。		

ラック帳票埋込タグ一覧

■ラック情報

No.	タグ	埋込内容	備考
1	#R_Location_ALL	ロケーション名称（全階層）	
2	#R_Location_N	Nで指定した階層のロケーション名称	
3	#R_FrontView	ラック搭載図前面（このタグを2つ記載してそのセル間を搭載図の幅とする）	(例) A1セルからB1セルの幅で貼り付けたい場合には、A1セルとC1セルにタグを入力する
4	#R_RearView	ラック搭載図背面（このタグを2つ記載してそのセル間を搭載図の幅とする）	(例) A1セルからB1セルの幅で貼り付けたい場合には、A1セルとC1セルにタグを入力する
5	#R_ID	ラックID	
6	#R_Name	ラック名称	
7	#R_RowCount	ユニット数（行数）	
8	#R_ColCount	列数	
9	#R_BankUnit	空きユニット数	
10	#R_Type	ラック種別	
11	#R_Status	ステータス	
12	#R_Weight	ラック重量	
13	#R_MaxLoad	耐荷重	
14	#R_CurrentLoad	現在の荷重	
15	#R_Comment	コメント	
16	#R_Pagename_P	ラック詳細のPで示したページのページ名	
17	#R_DetailName_P-N	ラック詳細のPで示したN番目の項目の名称	
18	#R_DetailValue_P-N	ラック詳細のPで示したN番目の項目の値	
19	#R_PSName_N	Nで指定した電源の名称	
20	#R_PSInlet_N	Nで指定した電源のインレット形状	
21	#R_PSOutlet_N	Nで指定した電源のアウトレット数	
22	#R_PSBreakerName_N	Nで指定した電源の割り当てブレーカー名	
23	#R_PSComment_N	Nで指定した電源のコメント	
24	#R_PSCurrent_N	Nで指定した電源の定格電流	
25	#R_PSVoltage_N	Nで指定した電源の定格電圧	
26	#R_PSPower_N	Nで指定した電源の定格電力	
27	#R_PSUsageP_N	Nで指定した電源の使用電力（定格）	
28	#R_PSUsageM_N	Nで指定した電源の使用電力（実測）	

■ユニット情報

1	#U_No	ユニット番号	
2	#U_ID	ユニットID	
3	#U_Type	ユニット種別	
4	#U_Status	ステータス	
5	#U_Name	ユニット名称	
6	#U_RowPosition	搭載位置（U）	
7	#U_ColPosition	搭載位置（列）	
8	#U_RowHeight	占有ユニット数（U）	
9	#U_ColWidth	占有ユニット数（列）	
10	#U_Weight	重量	
11	#U_Power	定格電力	
12	#U_Comment	コメント	
13	#U_Pagename_P	ユニット詳細のPで示したページのページ名	
14	#U_DetailName_P-N	ユニット詳細のPで示したN番目の項目の名称	
15	#U_DetailValue_P-N	ユニット詳細のPで示したN番目の項目の値	
16	#U_PSNo_N	Nで指定した電源の電源番号	
17	#U_PSName_N	Nで指定した電源のラック電源名称	
18	#U_PSOutletNo_N	Nで指定した電源のアウトレット番号	
19	#U_PSWatt_N	Nで指定した電源の消費電力	
20	#U_PSCoeff_N	Nで指定した電源の補正値	
21	#U_PSkVA_N	Nで指定した電源の電力量	
22	#U_PortName_N	Nで指定したポート情報のポート名称	
23	#U_PortSeqNo_N	Nで指定したポート情報のポート連番	
24	#U_PortConnectorName_N	Nで指定したポート情報のコネクタ名称	
25	#U_IPAddressName_N	Nで指定したIPアドレス情報の名称	
26	#U_IPAddressType_N	Nで指定したIPアドレス情報の種別(IPv4/IPv6)	
27	#U_IPAddressAddress_N	Nで指定したIPアドレス情報のIPアドレス	
28	#U_IPAddressSubnetMask_N	Nで指定したIPアドレス情報のサブネットマスク	
29	#U_IPAddressDefaultGateway_N	Nで指定したIPアドレス情報のデフォルトゲートウェイ	

データレポート帳票埋込タグ一覧

■データレポート タグの大文字/小文字の区別はしない			
No.	タグ	埋込内容	備考
1	#TITLE	帳票出力時に入力したタイトル	
2	#DIRECTINO_V	測定値の埋込方向(縦) ※出力時、本マーカーは空欄表示	開始行から終了行までデータを埋め込んでから、次の列へ移動する
3	#DIRECTINO_H	測定値の埋込方向(横) ※出力時、本マーカーは空欄表示	各列にデータを埋め込んでから、次の行へ移動する
4	#OUTPUT_YEAR	帳票出力した年	
5	#OUTPUT_MONTH	帳票出力した月	
6	#OUTPUT_DAY	帳票出力した日	
7	#DATA_F_YEAR	検索結果のデータ内の最初の日時の年	
8	#DATA_F_MONTH	検索結果のデータ内の最初の日時の月	
9	#DATA_F_DAY	検索結果のデータ内の最初の日時の日	
10	#DATA_T_YEAR	検索結果のデータ内の最後の日時の年	
11	#DATA_T_MONTH	検索結果のデータ内の最後の日時の月	
12	#DATA_T_DAY	検索結果のデータ内の最後の日時の日	
13	#SCH_F_YEAR	検索条件の最初の日時の年	検索条件未指定の場合は当日
14	#SCH_F_MONTH	検索条件の最初の日時の月	検索条件未指定の場合は当日
15	#SCH_F_DAY	検索条件の最初の日時の日	検索条件未指定の場合は当日
16	#SCH_T_YEAR	検索条件の最後の日時の年	検索条件未指定の場合は当日
17	#SCH_T_MONTH	検索条件の最後の日時の月	検索条件未指定の場合は当日
18	#SCH_T_DAY	検索条件の最後の日時の日	検索条件未指定の場合は当日
19	#COL_n	n列目を指定する列マーカー	
20	#ROW_S	データ埋込開始行 ※出力時、本マーカーは空欄表示	
21	#ROW_E	データ埋込終了行 ※出力時、本マーカーは空欄表示	
22	#POINT_NAME	ポイント名称	
23	#POINT_UNIT	単位	
24	#VALUE_F	検索結果の先頭の値 ※換算設定が「ON」の場合は換算値	数値の場合はフォーマットを適用/接点の場合はメッセージを適用
25	#VALUE_T	検索結果の最後の値 ※換算設定が「ON」の場合は換算値	
26	#VALUE_MAX	検索結果内の最大値 ※換算設定が「ON」の場合は換算値	
27	#VALUE_MIN	検索結果内の最小値 ※換算設定が「ON」の場合は換算値	
28	#VALUE_AVE	検索結果内の平均値 ※換算設定が「ON」の場合は換算値	
29	#VALUE_DIF	検索結果内の最後の値から最初の値を引いた値 ※換算設定が「ON」の場合は換算値	
30	#LOCATION_ALL	該当ポイントのロケーション(全階層)	
31	#LOCATION_m	該当ポイントのロケーション(m階層目)	
32	#LOCATION_R	該当ポイントのロケーション名	電気統ログ画面で表示されるラック名
33	#RACK_SDATA_P-N	該当ポイントのロケーションのラック詳細項目 P : ラック詳細項目ページ番号 (ラックメンテナンス) N : ラック詳細項目の項目番号 (ラックメンテナンス)	

電気録ログ帳票埋込タグ一覧

■電気録ログ ※タグの大文字/小文字の区別はしない			
No.	タグ	埋込内容	備考
1	#TITLE	帳票出力時に入力したタイトル	
2	#OUTPUT_YEAR	帳票出力した年	
3	#OUTPUT_MONTH	帳票出力した月	
4	#OUTPUT_DAY	帳票出力した日	
5	#LOG_F_YEAR	検索結果のデータ内の最初の日時の年	
6	#LOG_F_MONTH	検索結果のデータ内の最初の日時の月	
7	#LOG_F_DAY	検索結果のデータ内の最初の日時の日	
8	#LOG_T_YEAR	検索結果のデータ内の最後の日時の年	
9	#LOG_T_MONTH	検索結果のデータ内の最後の日時の月	
10	#LOG_T_DAY	検索結果のデータ内の最後の日時の日	
11	#SCH_F_YEAR	検索条件の最初の日時の年	検索条件未指定の場合は当日
12	#SCH_F_MONTH	検索条件の最初の日時の月	検索条件未指定の場合は当日
13	#SCH_F_DAY	検索条件の最初の日時の日	検索条件未指定の場合は当日
14	#SCH_T_YEAR	検索条件の最後の日時の年	検索条件未指定の場合は当日
15	#SCH_T_MONTH	検索条件の最後の日時の月	検索条件未指定の場合は当日
16	#SCH_T_DAY	検索条件の最後の日時の日	検索条件未指定の場合は当日
17	#ROW_n	n行目のログを出力する行マーカー	
18	#OPEN_TIME	開録日時	
19	#CLOSE_TIME	施錠日時	
20	#LOCATION_ALL	該当ラックのロケーション（全階層）	
21	#LOCATION_m	該当ラックのロケーション（m階層目）	
22	#LOCATION_R	該当ラックのロケーションラック名	電気録ログ画面で表示されるラック名
23	#SDATA_O_x	開録時の詳細項目ID=x	
24	#SDATA_C_x	施錠時の詳細項目ID=x	
25	#PURPOSE	開録目的	
26	#LOCK_TYPE	鍵種別（電気録/物理錠）	
27	#USER_O	開録時のログインユーザー名	
28	#USER_C	施錠時のログインユーザー名	
29	#MEMO_O	開録時のメモ	
30	#MEMO_C	施錠時のメモ	